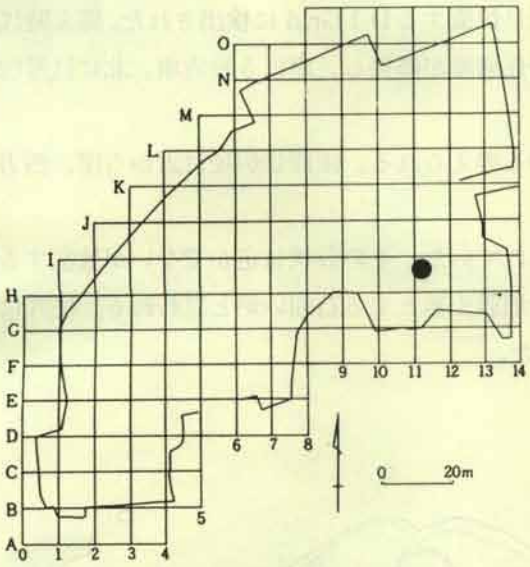
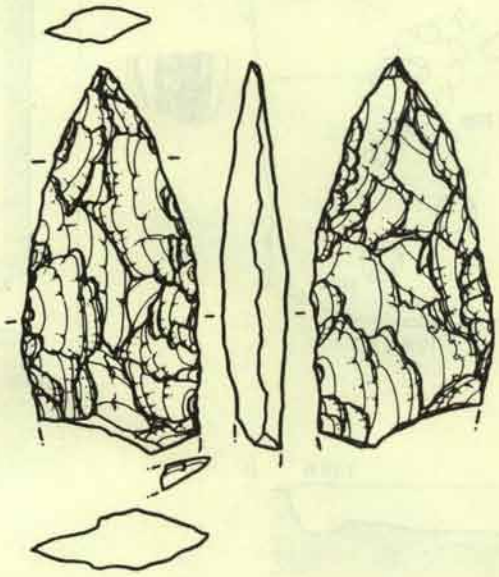
# 第Ⅲ章　調査の記録

## 第１節　先土器時代




第６図　石器出土位置図



第７図　槍先形尖頭器

### 先土器時代の石器

本遺跡では、縄文時代以降の遺構等出土の石器のなかに先土器時代の資料の有無を検討してきたが、当該期の遺物は特にないと判断した。

今回の調査においては、調査期間等の関係もあり先土器時代の発掘調査を実施しなかった。しかし、出土資料を最終的に検討するうちに、当該期の資料として考えられるものが１点あることが確認された。

第７図は、10号溝より出土した。中形で木葉形の槍先形尖頭器である。下半部約４分の１を欠損するが、裏面中央のやや上部には、石器の素材となった剝片の一部と考えられる調整加工によるものとやや異なった剝離面がのこされている。

最大幅は器体中央のやや下部にあり、断面形状は凸レンズ状を呈している。大きさ、形状、調整加工のあり方から、先土器時代の槍先形尖頭器と考えて差し支えないものと考えられる。灰褐色に風化した黒色安山岩製で、現状長さ5.1cm、幅2.4cm、厚さ0.8cmを測り、重量は8.5ｇである。

本遺跡は、相沢忠洋氏が調査した三ツ屋遺跡と荒砥川低地を挟んで対岸にあり、南傾斜の台地上に位置している。

今回の発掘調査では、当該期の資料は１点のみの出土にとどまり、調査区内に良好な石器群の存在が予想できなかった。しかし、三ツ屋遺跡を含めた本遺跡周辺に先土器時代、特に槍先形尖頭器文化期の遺跡群の存在を予想させる資料として評価しておきたい。

## 第２節　縄文時代の遺構と遺物

### 第１項　住居址

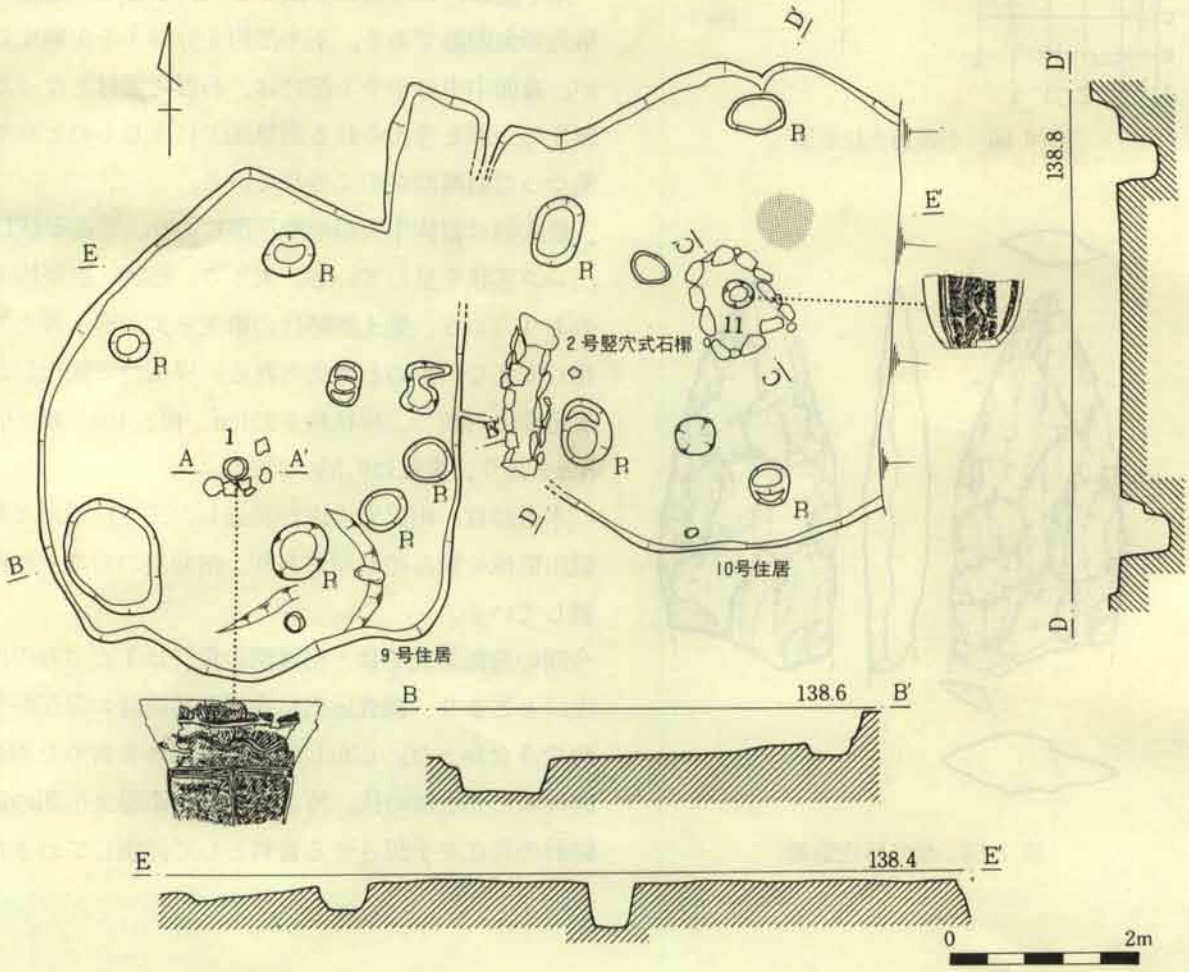
**９号住居址**（第８図）

南西方向に突出する標高138,40m前後の台地先端付近に位置するＤ１Grid に検出された。縄文時代の住居址で最も南に位置する。東には２号竪穴石槨・10号住居址が隣接し、南に５号古墳、北に11号住居址がある。

平面形は明確を欠くが円形か楕円形を呈していたものと考えられる。床面は炉址付近から南、西方向に緩やかに傾斜し、著しく攪乱を受けている。

炉址は確認できたが、炉石、炉内の埋設土器も攪乱されていた。その形状は定かでないが散乱する礫から口縁部の一部と胴部下半を欠く深鉢（第８図１）を埋設土器とする石囲い炉と思われる。柱穴は、$P_1$～$P_5$に可能性が考えられる。周溝も検出されなかった。

遺物は覆土中より少量出土した。

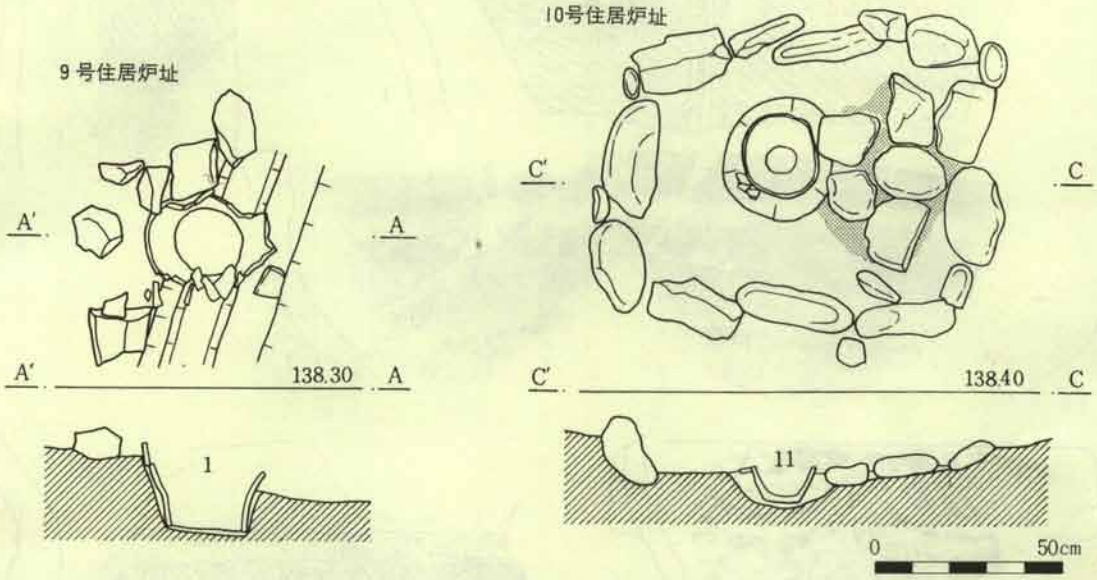



第８図　９、10号住居址

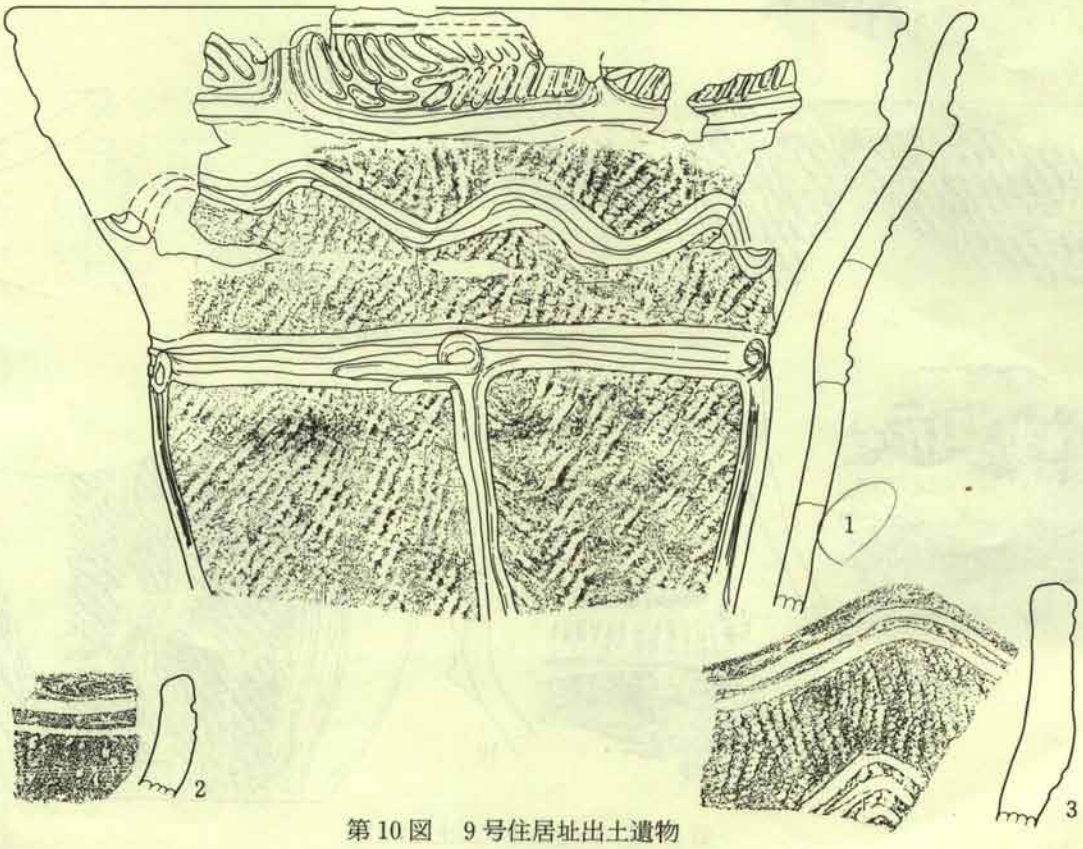
**９号住居址出土遺物**（第10図１～３）

１は炉内の埋設土器。口縁部文様帯は隆帯による楕円区画文を配し、区画文内に矢羽状の短沈線を充塡する。頸部には２本沈線で波状文を巡らす。胴部文様帯は小渦巻文を伴い３本沈線を巡らし、少渦巻文から２本沈線の懸垂文を垂下させる。復元口径35.2cmを測る。

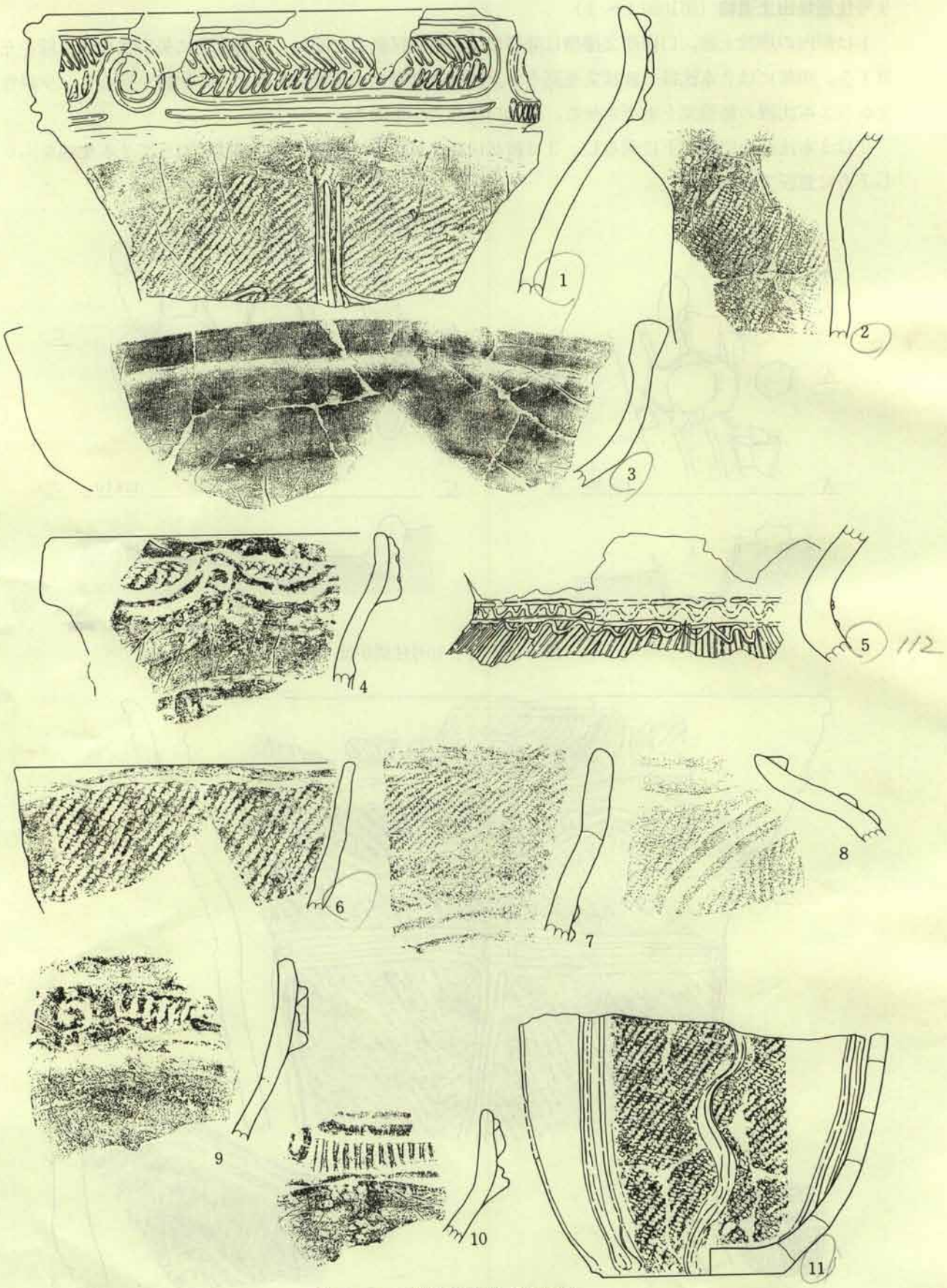
２は２本沈線を口唇部下に巡らし、３は波状口縁を呈する口縁部片で、波状に沿って２本沈線を巡らし下方に意匠文を施す。



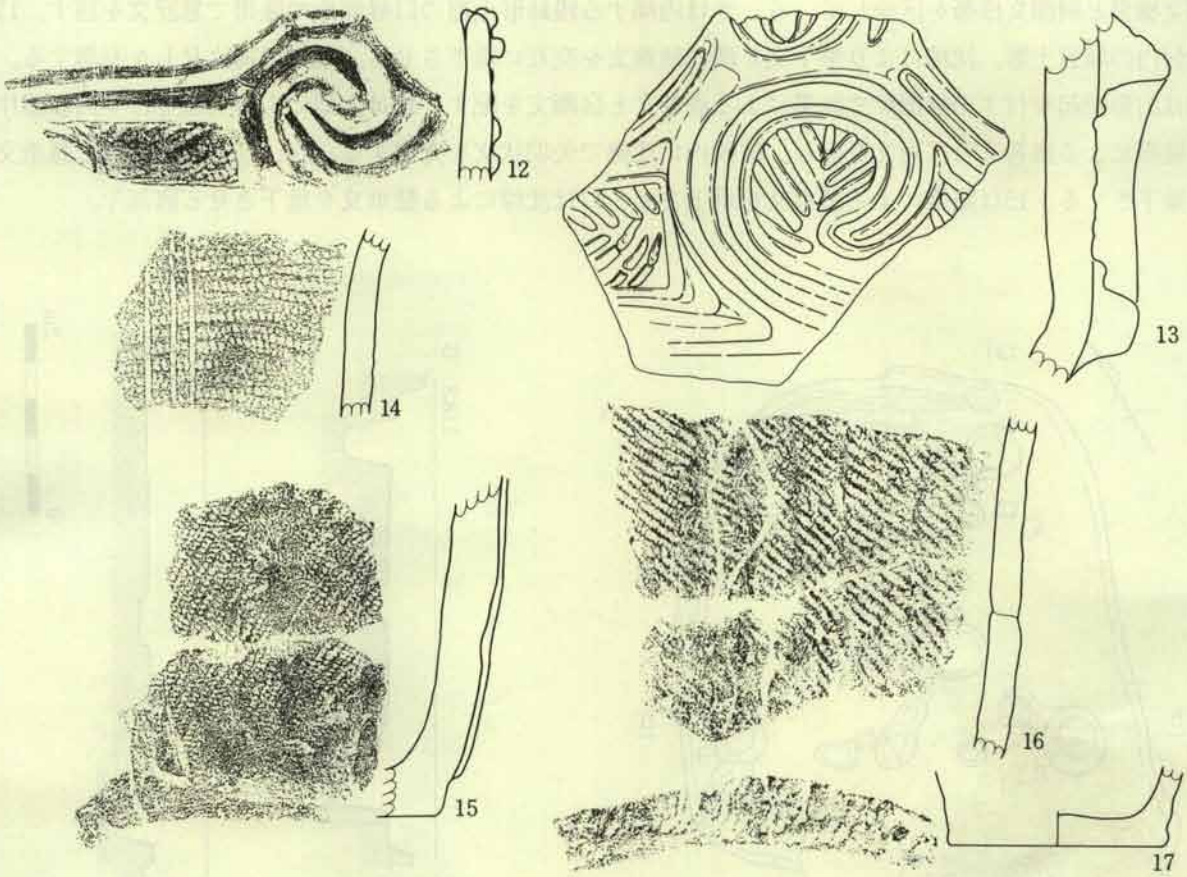

第９図　９、10号住居炉址




第10図　９号住居址出土遺物




第 11 図　10号住居址出土遺物(1)




第12図　10号住居址出土遺物(2)

(12H)

**10号住居址**（第８図）

調査区南西の標高138.60m前後の先端部付近で検出した。Ｄ２Grid にその大半が位置する。東方は６号墳の周堀によって一部を切られ、西で２号竪穴式石槨と接する。

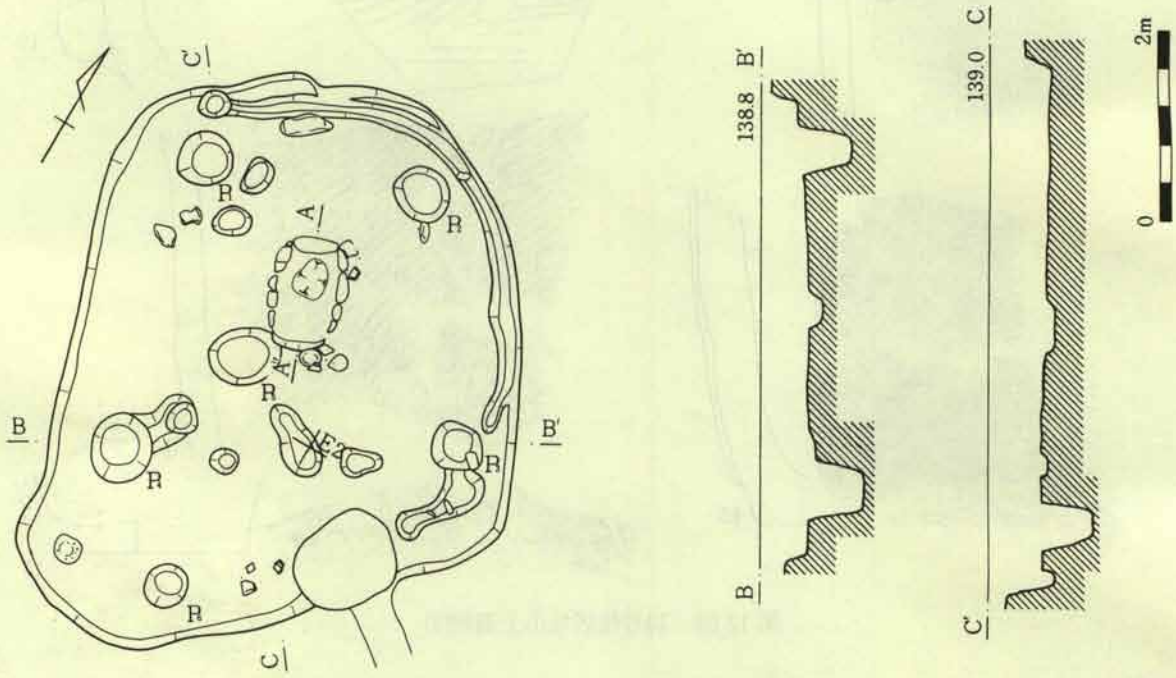
平面形は4.90m前後を測る円形を呈すると考えられ、残存の良い北側の壁高30cmを測る。床面は平坦で堅く締まっている。

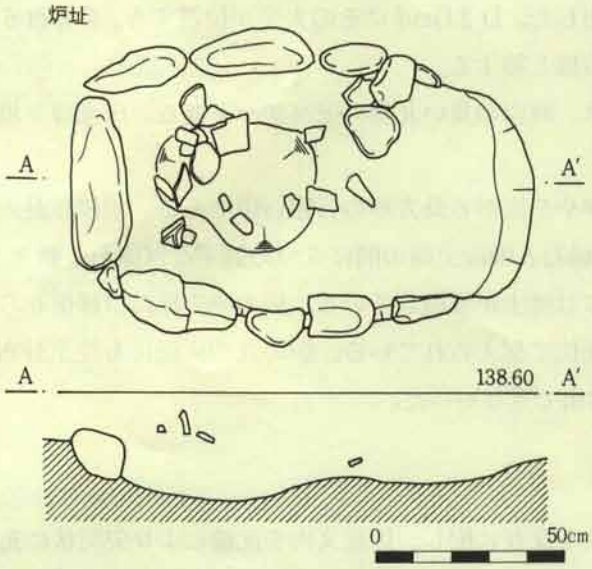
炉址はほぼ中央に位置し、埋設土器をもつ南短辺がやや広がる長方形の石囲い炉である。規模は長辺中央が1.08m、短辺北幅67cm・南幅82cmを測る。南側縁石と埋設土器の間に５つの偏平な河原石を敷き、埋設土器方向に緩やかに傾斜を設けている。敷石間には焼土が堆積している。炉の中央部に口縁部から胴部上半を欠く深鉢（第11図11）が埋設土器として正位で据えられている。炉の北の床面にも焼土分布が広がる。柱穴は$P_1$～$P_4$に可能性がある。周溝は検出できなかった。

**10号住居址出土遺物**（第11、12図１～17）

１は口縁部文様帯に隆帯による渦巻文と楕円区画文を交互に配し、区画文内を沈線により矢羽状に充填する。頸部から胴部上半には沈線による意匠文を施す。復元口径31.2cmを測る。９、10は口縁部文様帯の楕円区画文内を縦位の沈線、４は縄文で充填する。２は縄文ＲＬを地文とする小形の土器。３は無文の浅鉢の口縁部片で復元口径34cmを測る。５は曽利Ⅱ式と考えられる土器の頸部片で、「く」の字状に括れ部にソーメン状隆帯を波状文などに貼付する。６は口唇下に１条の沈線を巡らす。７は隆帯で口縁

部文様帯と胴部文様帯を区画している。8は内傾する浅鉢形土器の口縁部片で隆帯で意匠文を施す。11は炉内の埋設土器。沈線により垂下文と波状懸垂文を交互に垂下させる。地文は縄文ＲＬを充填する。12は山形突起を付す口縁部片で隆帯による渦巻文と区画文を配す。13は大型の山形突起を付す口縁部片で隆帯による渦巻文と区画文を配し。区画内に沈線で矢羽状文を充填する。14、16は細い沈線で懸垂文を垂下させる。15は隆帯による懸垂文を垂下させ、17は沈線による懸垂文を垂下させる底部片。



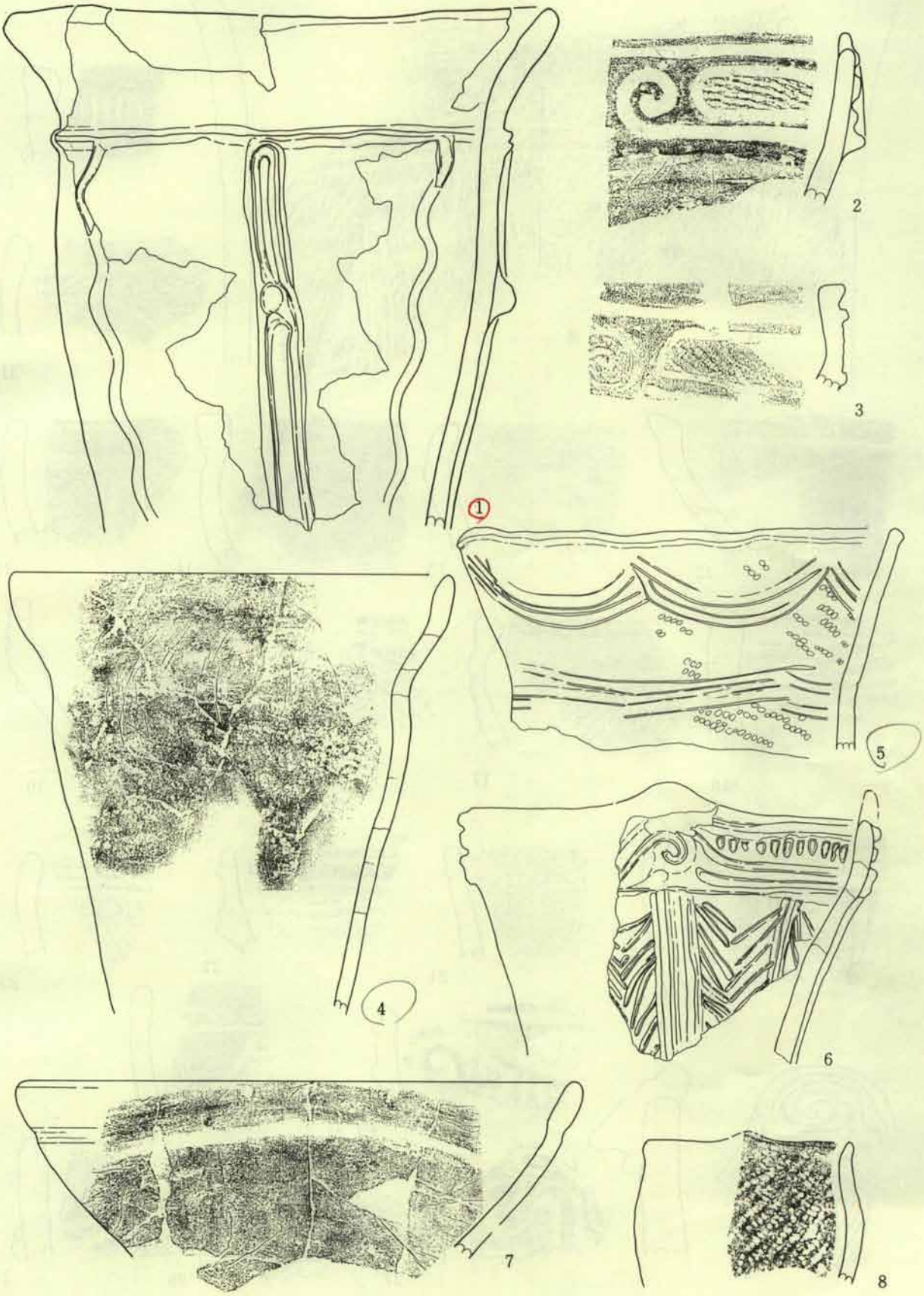




第13図　11号住居址

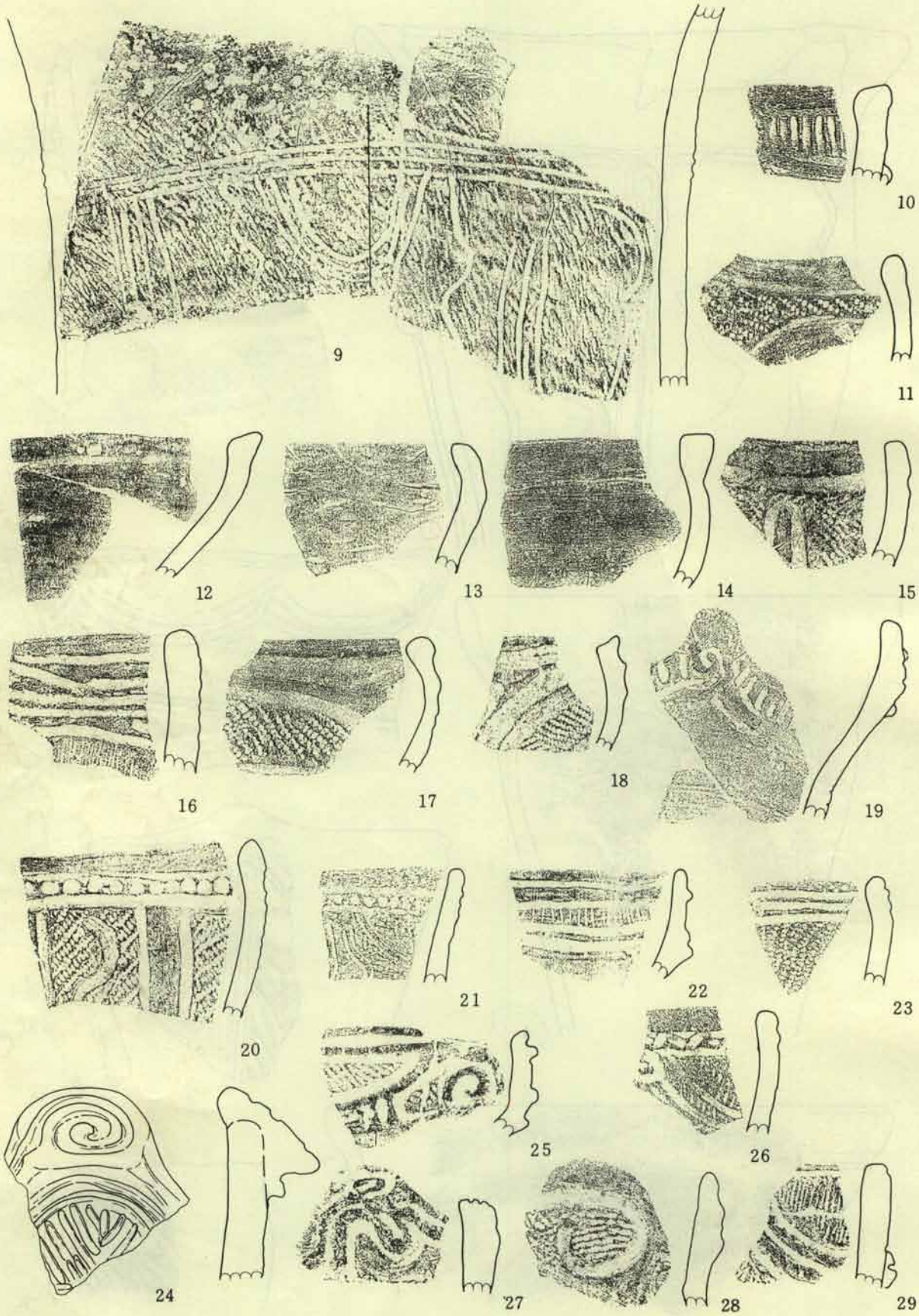
**11号住居址**（第13図）

Ｅ２Grid point 周辺に検出され、南方に９、10号住居址が隣接し、北方に11号住居址が位置し、標高137.70mを測る。平面形は南方がやや突出し、不明瞭な部分があるが５m前後を測る円形か楕円形であろう。壁高は残存の良い東側で30cmである。床面は東側が平坦であるが西側はやや傾斜を呈している。

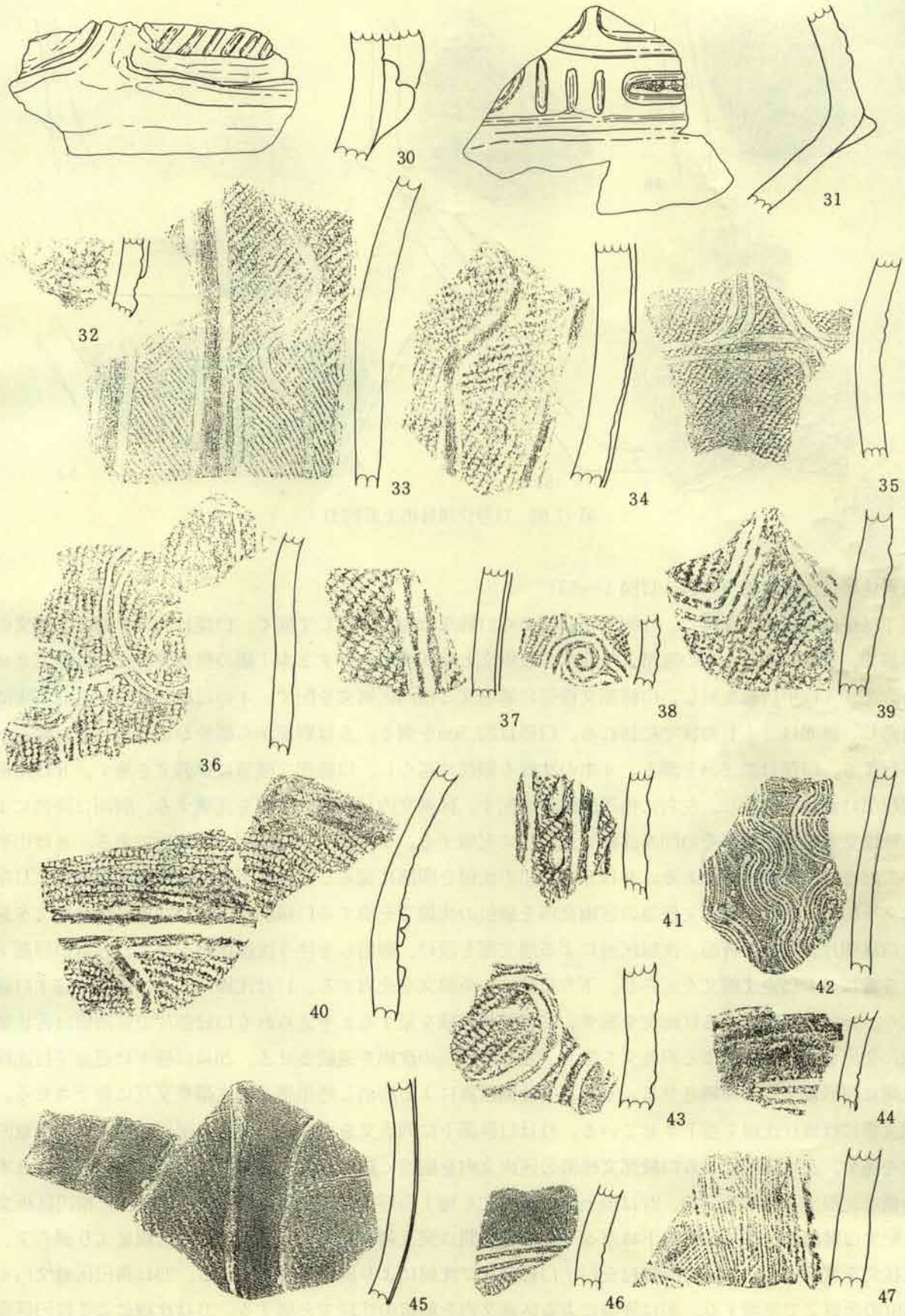
炉址は中央やや北に位置すると思われ、南方が開口する南北に長い長方形の石囲い炉である。北辺に長さ45cmの１石を設け、東西辺を４石で縁取る。規模は南北1.22m、東西幅75cm、最深部で16cmを測る。炉床は北側縁石の前面から中央部分に浅い皿状の窪みを設け、南側開口部分に向けて緩やかに立ち上がる。縁石には熱によるヒビ割れが見られる。柱穴は$P_1$～$P_4$に可能性が考えられる。周溝はおよそ東半分に確認され、幅20cm、深さ５～10cmを測る。



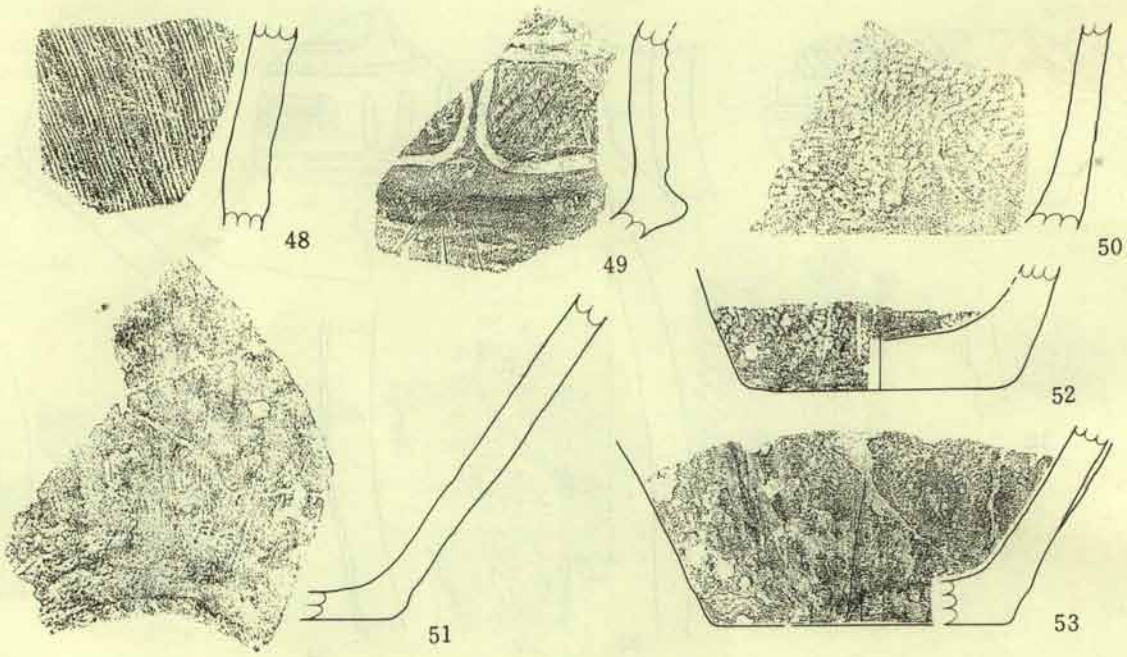

第 14 図　11号住居址出土遺物(1)




第15図　11号住居址出土遺物(2)




第16図　11号住居址出土遺物(3)

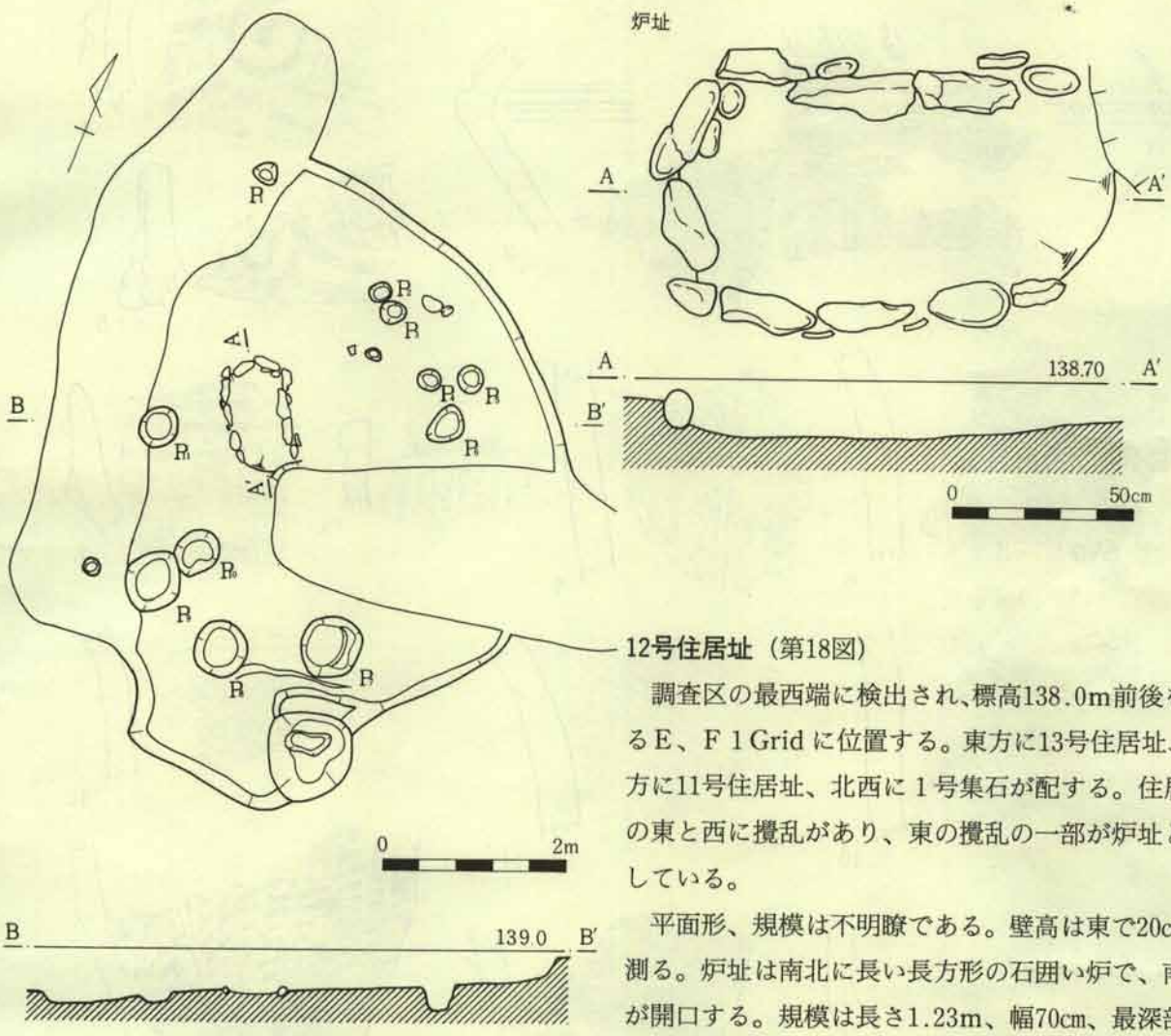



第17図　11号住居址出土遺物(4)

**11号住居址出土遺物**（第14～17図１～53）

１は炉内の出土の深鉢で、寸胴気味胴部から口縁部は短く外反して開く。口径は28cmを測る。無文の体部で、頸部を巡る１本の隆帯より波状の懸垂文と瘤状突起を付す２本１組の懸垂文を交互に垂下させる。２、３は平口縁を呈し、口縁部文様帯に渦巻文と楕円区画文を配す。４の口縁部は短く直立気味に内湾し、頸部は「く」の状字に括れる。口径は22.5cmを測る。５は胴部から緩やかに外反して口縁部へ移行する。口径は22.6cmを測る。４本の沈線を頸部に巡らし、口縁部文様帯に連弧文を施す。６は山形突起部に渦巻文を施し、左右に楕円区画文を配す。区画文内は縦位に沈線を充填する。胴部は隆帯による懸垂文を垂下させ、その間を沈線で矢羽状に充填する。７、12、14は無文の浅鉢片である。８は山形小突起を付す小型土器である。９は３本１組の沈線を頸部に巡らし、その下方に波状文・懸垂文・U字状文を施す。10は口縁部文様帯の区画文内を縦位の沈線で充填する口縁部片。11は沈線区画に縄文を施す口縁部片。15は口唇部に沈線区画による無文部を設け、磨消しを伴う沈線区画を施す。16は口唇部下に５本ほどの横走沈線文を巡らし、下方に縦位の条線文を充填する。17は沈線による区画文を施す口縁部片。18は微隆帯による区画文を施す。19は波状口縁を呈すると考えられる口縁部片で波頂部は舌状気味に突出する。沈線による渦巻文を描き、左右に縦位の沈線を連続させる。20は口唇下に巡る平行沈線文間に円形刺突文を連続させる。それより沈線区画による磨消し懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる。縄文帯には波状沈線を垂下させている。21は口唇部下に列点文を巡らし、下方に平行沈線文により意匠文を施す。22は隆帯による口縁部文様帯の区画文内を縦位に細い沈線で充填する。23は口唇部下に３本の横走沈線文を巡らす。24、27は頂上部に渦巻文を施す山形突起。25は隆帯による渦巻文と楕円区画文を配す口縁部片。26は口唇部下に巡る平行沈線文間に交互刺突文を施し、下方には沈線により渦巻文、波状文を意匠する。28は山形突起を付す口縁部片で沈線により渦巻文を意匠する。29は楕円区画文内を縦位の条線文で充填する。30は隆帯による区画文内を斜位の沈線で充填する。31は沈線による楕円区画文などを施す。32は隆帯による渦巻文と円形刺突文を施す。33は沈線区画による磨消し懸垂帯と縄文帯

を垂下させ、縄文帯に波状懸垂文を施す。34は隆帯による懸垂文と波状懸垂文を垂下させる。35、36、38、39、43は沈線で渦巻文等の意匠文を施す。37は34と同一個体。40は２本１組の隆帯を巡らし、それより波状懸垂文を垂下させる。41は沈線区画による磨消し懸垂帯と縄文帯を垂下させ、縄文帯に刺突文を施す。42は波状条線を縦位に施す。44、46は沈線により横位文を施す。45は微隆帯により区画文を施す。47、48は条線を地文とし47は沈線で意匠文を描く。49は沈線による区画文を配す。50は沈線による波状懸垂文を垂下させる。53は隆帯による懸垂文を垂下させる底部片。




第18図　12号住居址

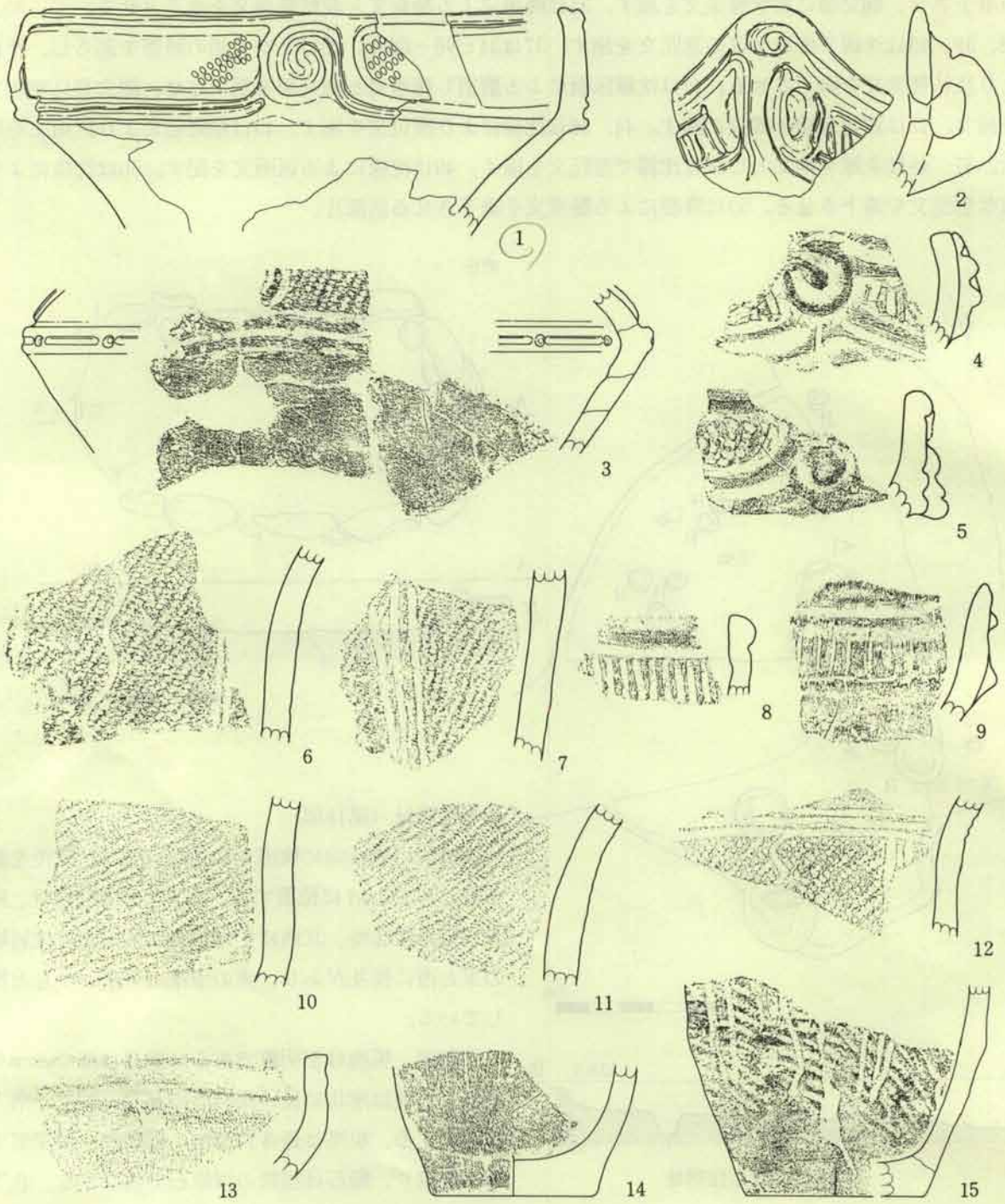
**12号住居址**（第18図）

調査区の最西端に検出され、標高138.0m前後を測るE、F１Grid に位置する。東方に13号住居址、南方に11号住居址、北西に１号集石が配する。住居址の東と西に攪乱があり、東の攪乱の一部が炉址と接している。

平面形、規模は不明瞭である。壁高は東で20cmを測る。炉址は南北に長い長方形の石囲い炉で、南方が開口する。規模は長さ1.23m、幅70cm、最深部で10cmを測り、縁石は複数の河原石で構成する。北辺の縁石は熱によるヒビ割れを生じている。炉床は北辺部分から緩やかに南方開口部に立ち上がる。柱穴は$P_1$～$P_{11}$で$P_7$～$P_{11}$が可能性があるが規則性はない。周溝も確認できない。

**12号住居址出土遺物**（第19図１～15）

１は口縁部文様帯に渦巻文と楕円区画文を配し、区画文内を縄文で充填する。頸部は無文帯とする。復元口径は24cmを測る。２は山形突起に橋状把手を付す口縁部片で波頂部に渦巻文を施し、把手の左右の区画文内に縦位の沈線を充填する。３は屈曲部に沈線文と円形刺突文を交互に巡らし、上部は沈意匠




第19図　12号住居址出土遺物

文を施し、下部を無文帯とする浅鉢形土器であろう。4は口縁部文様帯を隆帯により渦巻文と楕円区画文を配し、区画文内を縦位の沈線で充填し、5は区画文内を縄文で充填する。6、7、12、14、15は沈線による懸垂文と波状懸垂文を交互に垂下させる。8，9は口縁部文様帯の区画文内を縦位の沈線で充填する口縁部片で、9は緩やかな山形突起を付すのであろう。10、11は同一個体の胴部片で縄文ＲＬを充填する。13は無文の浅鉢形土器の口縁部片である。

**13、14号住居址**（第20図）

13号住居址はＥ２、Ｆ３Grid にまたがって検出され、標高139.20m前後の平坦部に位置する。南側で古墳時代前期の８号住居址と14号住居址が重複している。また、南東には敷石住居である15号住居址、敷石住居下にある16号住居址が南東部分で僅かに重複していると考えられる。

平面形は東西に長い楕円形を呈し、東西長6.95m、南北長6.15mを測る。壁高は30cmを測る。床面は炉址付近の中央部が皿状に窪むが周辺は平坦で硬く締まっている。

炉址は中央やや北寄りに位置し、南方が開口する南北に長い長方形の石囲い炉で中央に埋設土器がある。規模は長さ1.04m、幅80cm、深さ10cmを測る。南を除き３方の縁石は複数の礫で構成され、西辺には多孔石が含まれている。埋設土器は口唇部の一部と胴部下半を欠く深鉢（第17図１）が正位で据えられている。炉床は埋設土器より開口部にむけて緩やかに立ち上がる。

柱穴は$P_1$～$P_{16}$に可能性があり、壁沿いに巡る$P_1$～$P_7$に規則性が見られる。周溝は南方を除いて$P_3$と$P_{11}$、$P_1$の西、$P_7$の３カ所に僅かに見られる。

14号住居址はその中にすっぽりと８号住居址が包括されていた。北は13号住居址に切られ、東も敷石住居の15号住居址に切られ、16号住居址と重複関係にある。

平面形は５m前後を測る歪んだ円形が考えられる。壁高は25cmほどが南壁で測る。床面は南にやや凹凸を呈するが硬く締まっている。

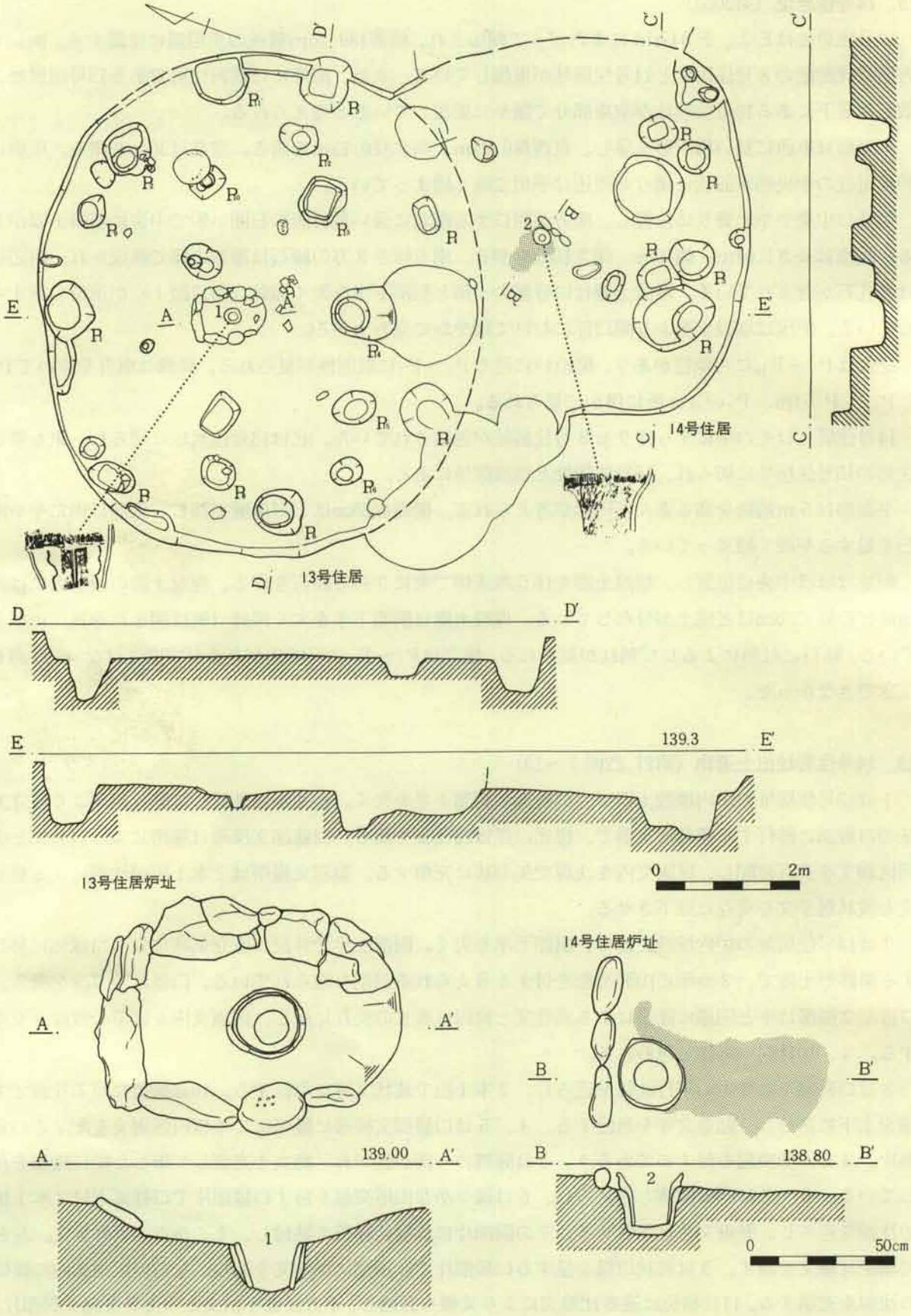
炉址はほぼ中央に位置し、埋設土器を伴う地床炉で東に３石で縁石を作る。埋設土器の西前面には25cmほどの幅で50cmほど焼土が分布している。埋設土器は胴部下半を欠く深鉢（第17図２）を正位に据えている。縁石には熱によるヒビ割れが見られる。柱穴は$P_1$～$P_5$に可能性があるが規則性はない。周溝も確認できなかった。

**13、14号住居址出土遺物**（第21,22図１～13）

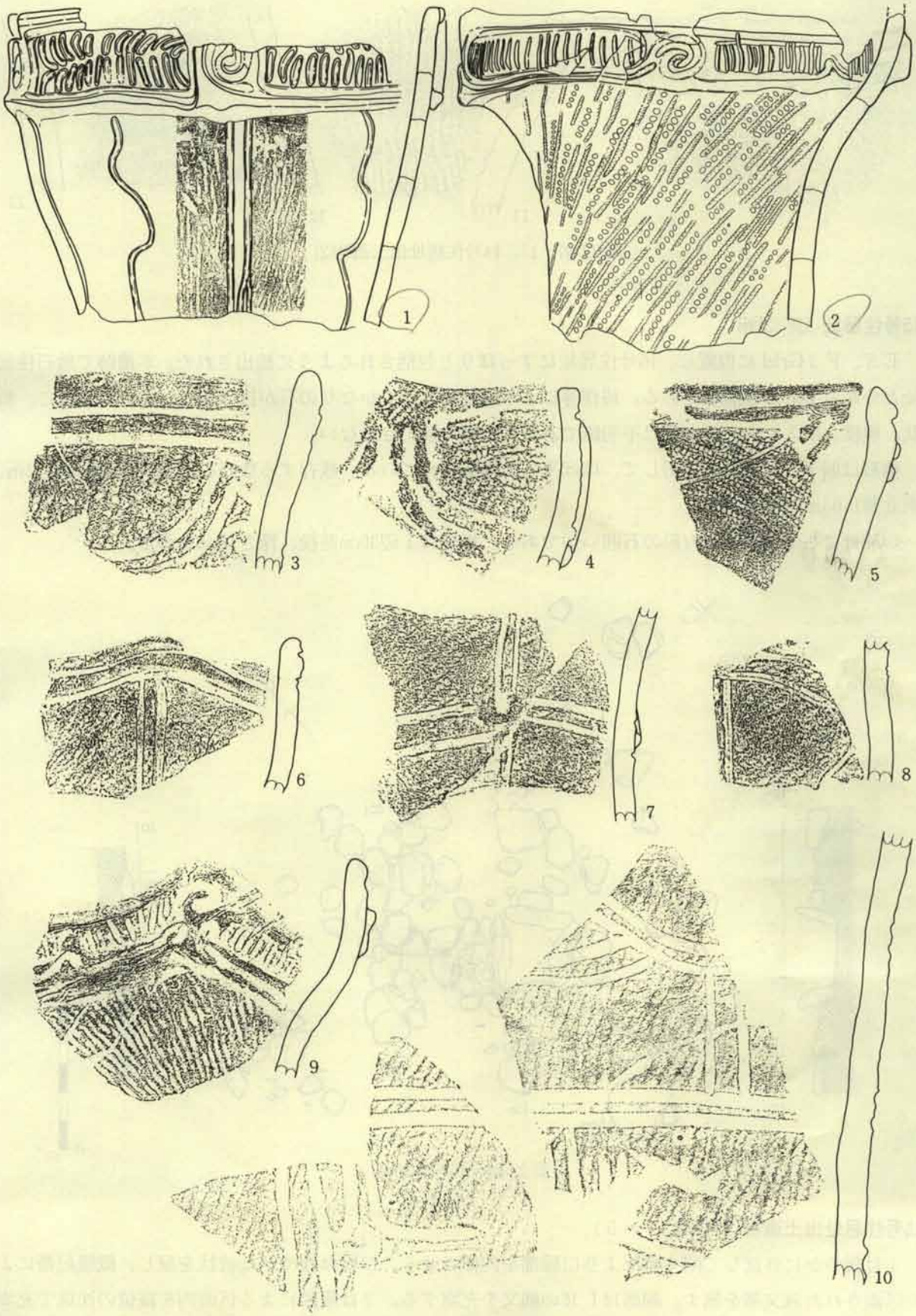
１は13号住居址の炉内埋設土器で、口唇部と胴部下半を欠く。緩やかに外反して開く胴部より直立気味の口縁部に移行する深鉢形土器で、復元口径は22.5cmを測る。口縁部文様帯は隆帯による渦巻文と楕円区画文を交互に配し、区画文内を沈線で矢羽状に充填する。胴部文様帯は２本１組の沈線による懸垂文と波状懸垂文を交互に垂下させる。

２は14号住居址の炉内埋設土器で、胴部下半を欠く。胴部上半で外反し直立気味に立つ口縁部に移行する深鉢形土器で、２カ所に山形突起を付すと考えられるが削り取られている。口径は22.7cmを測る。口縁部文様帯は１と同様に隆帯による渦巻文と楕円区画文の交互に配し、区画文内を縦位の沈線を充填する。３、10は同一個体と思われる。

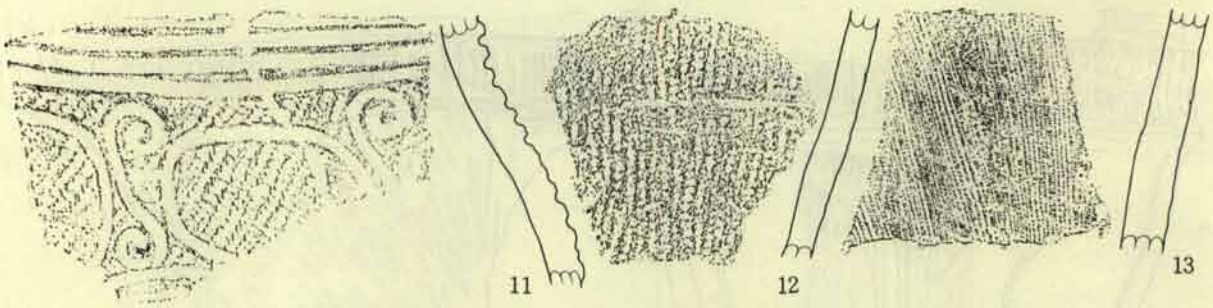
３は口唇部下に２本の平行沈線を巡らし、２本１組で波状文等を意匠する。10は横位に巡る沈線で文様を上下に区分し、懸垂文等を意匠する。４、５は口縁部文様帯に隆帯による楕円区画文を配する口縁部片。４は山形突起を付すのであろう。５は隆帯の一部が剝がれ、縄文を充填して施した後に隆帯を付している。６～８は同一個体と考えられ、６は緩やかな山形突起を付す口縁部片で口唇部下に２本１組の沈線を巡らし、懸垂文を垂下させる。７の胴部片には瘤状隆帯を貼付し、そこから上下懸垂文、左右に横走沈線文を施す。９は波状口縁を呈する口縁部片で波頂部に渦巻文を配し、左右の区画文内に縦位の沈線を充填する。11は横位に巡る沈線文により文様を区画し、下方に蕨手状文と円文等を施す胴部片。12は縄文を充填する。13は条線文を縦位に充填する胴部片。




第20図　13、14号住居址




第 21 図　13、14号住居址出土遺物(1)



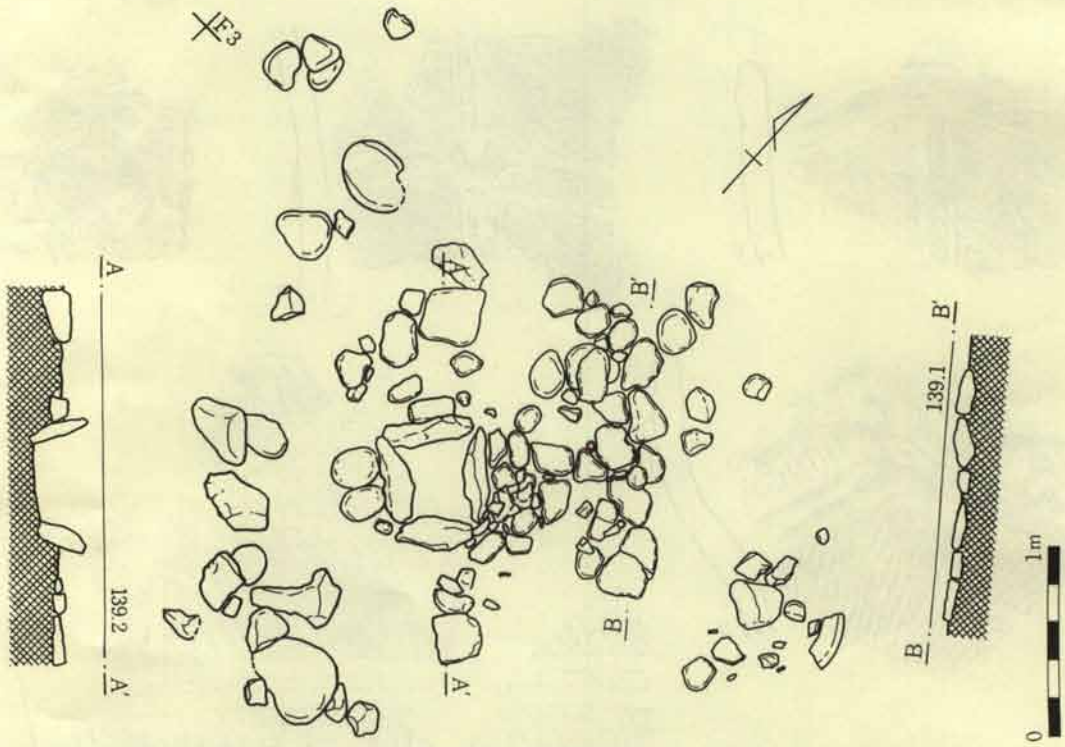

第22図　13、14号住居址出土遺物(2)

**15号住居址**（第23図）

Ｅ３、Ｆ３Grid に位置し、16号住居址にすっぽりと包括されるように検出された。本遺跡で敷石住居址と分かる１軒の住居址である。耕作等による攪乱によってかなりの石が抜き取られているために、形状、規模、出入り口、柱穴等は不明瞭である。埋甕も検出されない。

敷石は偏平な河原石を使用して、ほぼ平らに構築されている。残存する敷石の広がりは東西長2.2m、南北長1.65mを測る。

炉址は４石で構成する方形の石囲い炉である。規模は１辺30cm前後、深さ12cmを測る。

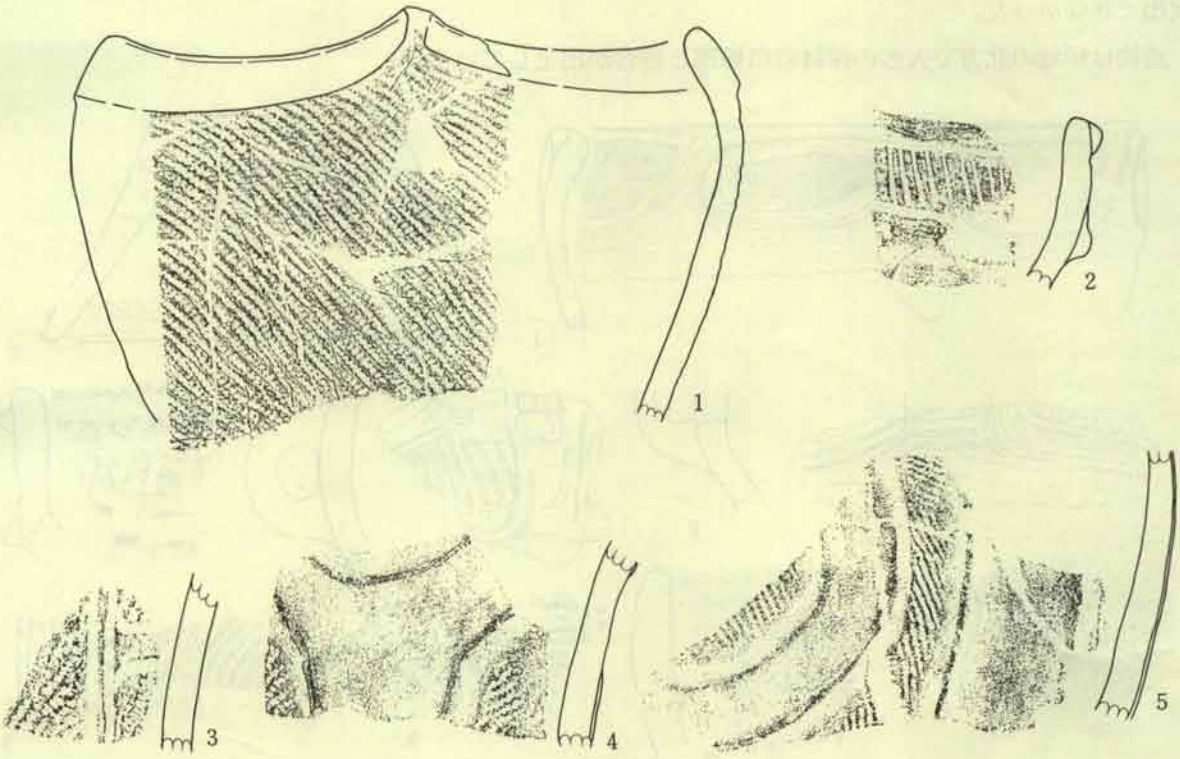



第23図　15号住居址

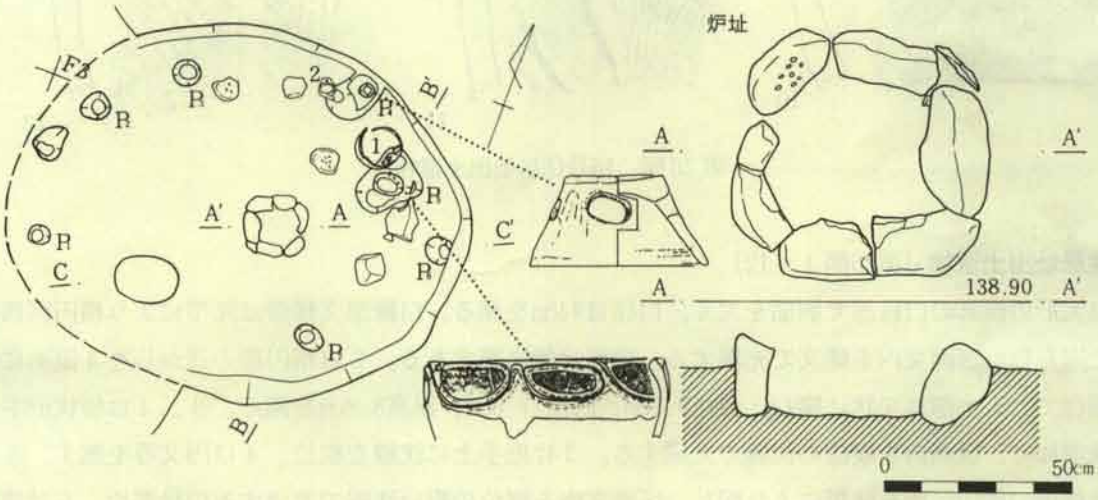
**15号住居址出土遺物**（第24図１～５）

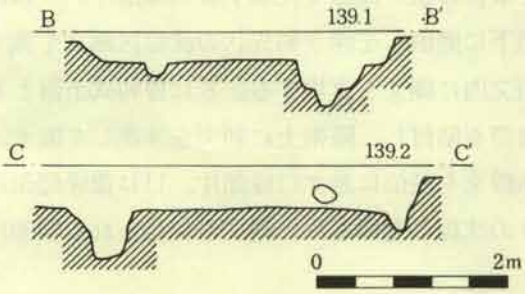
１は緩やかに外反して開く胴部より口縁部を内傾させる。口縁は緩やかな波状を呈し、微隆起帯により区画された無文帯を施す。胴部はＬＲの縄文を充填する。２は隆帯による区画内を縦位の沈線で充填

する口縁部片。３は沈線による懸垂文等を施す胴部片。４、５は微隆起帯により区画文を施し、区画内に縄文を充填する。




第24図　15号住居址出土遺物



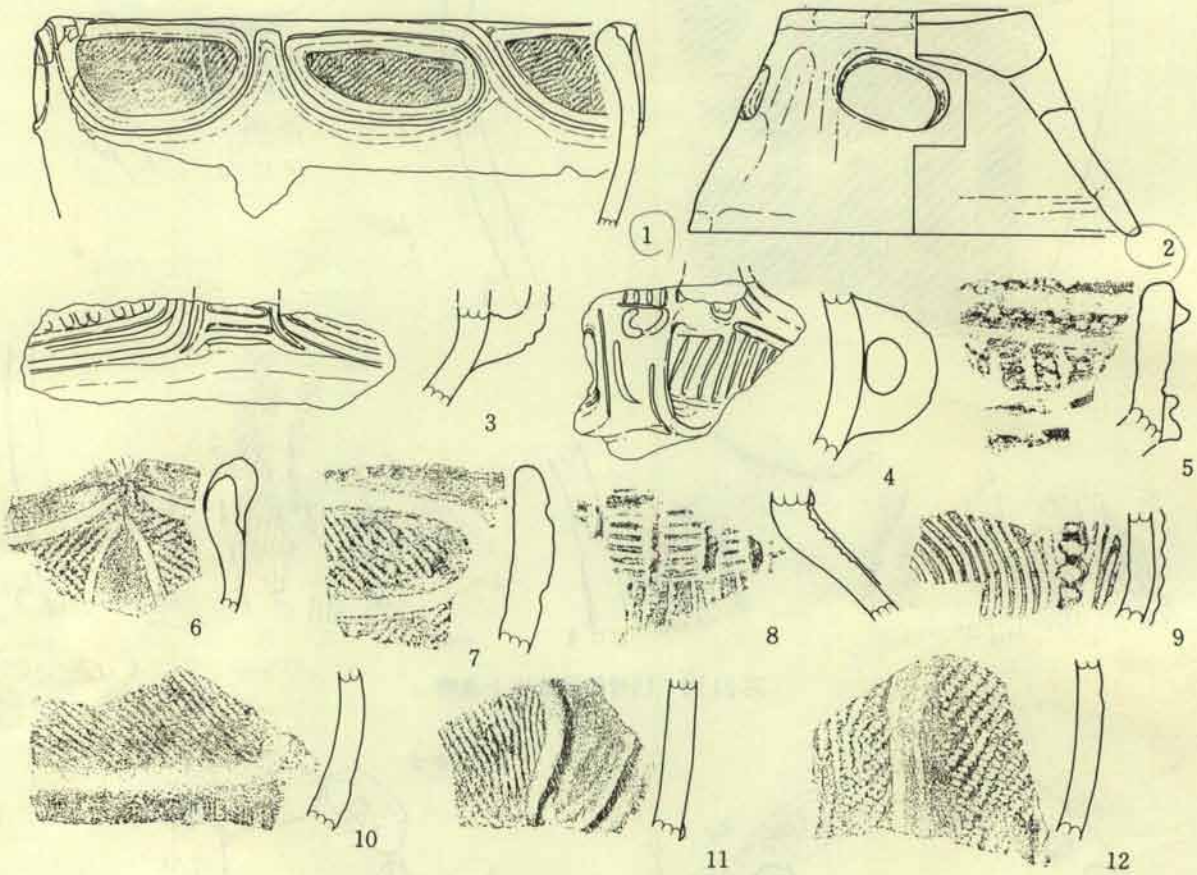

第25図　16号住居址

**16号住居址**（第25図）

15号敷石住居址の下に検出され、13、14号住居址と重複関係にある。平面形は東西に長い楕円形を呈し、規模は東西長4.90m、南北長４m、深さ東壁で40cmを測る。床面はほぼ平坦であるが炉址の東周辺がやや高まる。

炉址は中央やや東に位置する方形の石囲い炉である。西辺を１石とし、他辺は２石で構成し東辺に多孔石を転用している。規模は一辺が65cm前後で深さ11cmを測る。柱穴は$P_1$～$P_7$が可能性がある。周溝は検出できなかった。

遺物は炉址の北方で大形の深鉢の口縁部と器台が出土している。



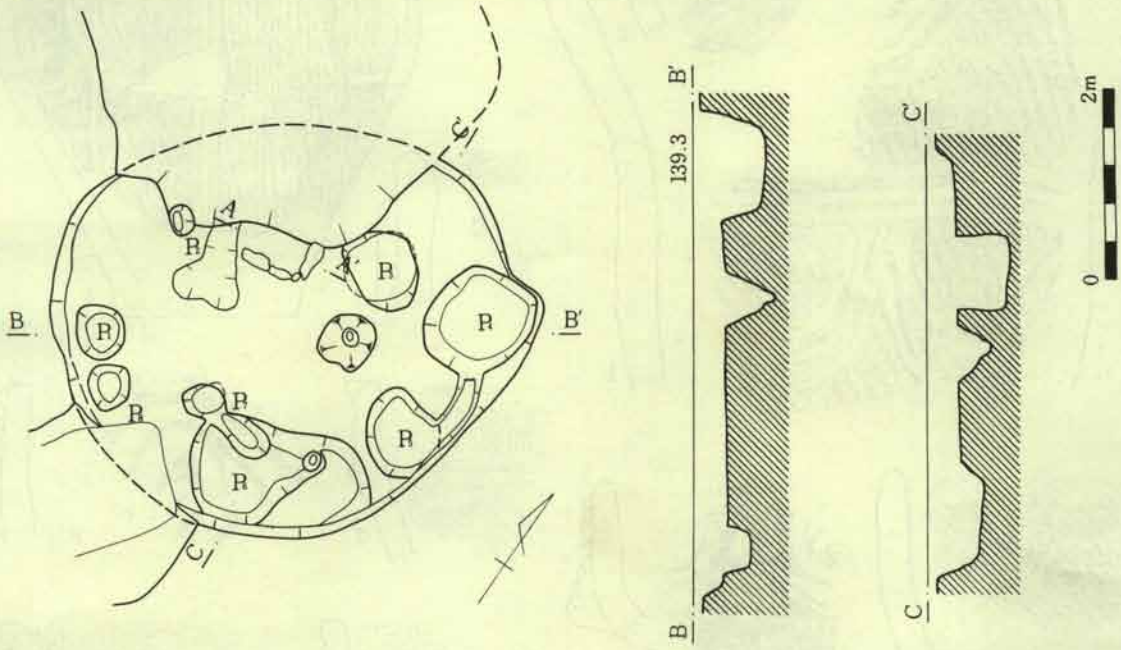

第 26 図　16号住居址出土遺物

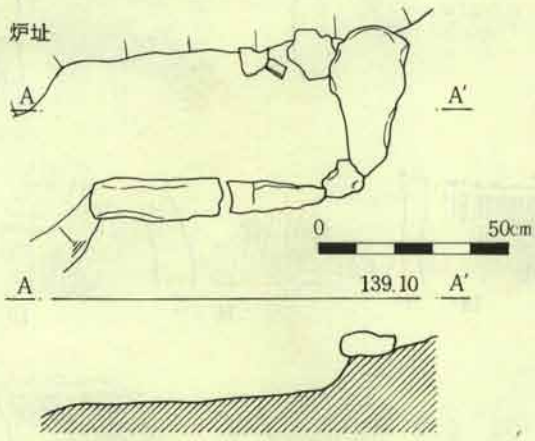
**16号住居址出土遺物**（第26図１～12）

１は大形の深鉢の口縁部で胴部を欠く。口径は44cmを測る。口縁部文様帯は隆帯により楕円区画文を７単位巡らし、区画文内を縄文で充填する。頸部は無文帯である。２は楕円形の透かしを４箇所に施す台形器台で、天上部は皿状に窪む。口径9.7cm、底径17.5cm、器高8.8cmを測る。３、４は橋状把手を付す口縁部片で、区画内を縦位の沈線で充填する。３は把手上に沈線を横位、４は円文等を施す。５は口縁部文様帯の楕円区画を隆帯により配し、区画文内を縦位の粗い沈線で充填する口縁部片。６は波状口縁を呈する口縁部片で口唇部下に沈線を巡らし、波頂下に磨消しを伴う剣先状の沈線区画文を施す。７は口縁部文様帯に沈線による楕円区画文を配し、区画文内に縄文を充填する。８は曽利式土器と考えられる頸部片。９は条線文を充填する胴部に垂下する隆帯を貼付し、隆帯上に刺突を連続して施す。10はなぞりによる沈線区画文内に縄文を充填し、下方に条線文を縦位に施す口縁部片。11は微隆起帯による区画内に縄文を充填する胴部片。12は垂下するなぞりの沈線と充填された縄文帯が見られる胴部片。

**17号住居址**（第27図）

１号方形周溝墓の西に位置し、標高139.20mほどを測る平坦部のＧ２Grid に検出された。南方には６mの距離を隔てて13号住居址、北方に10mほど離れて18号住居址が位置する。住居址の南方は攪乱、北西部は風倒木によって炉址の一部まで破壊されている。



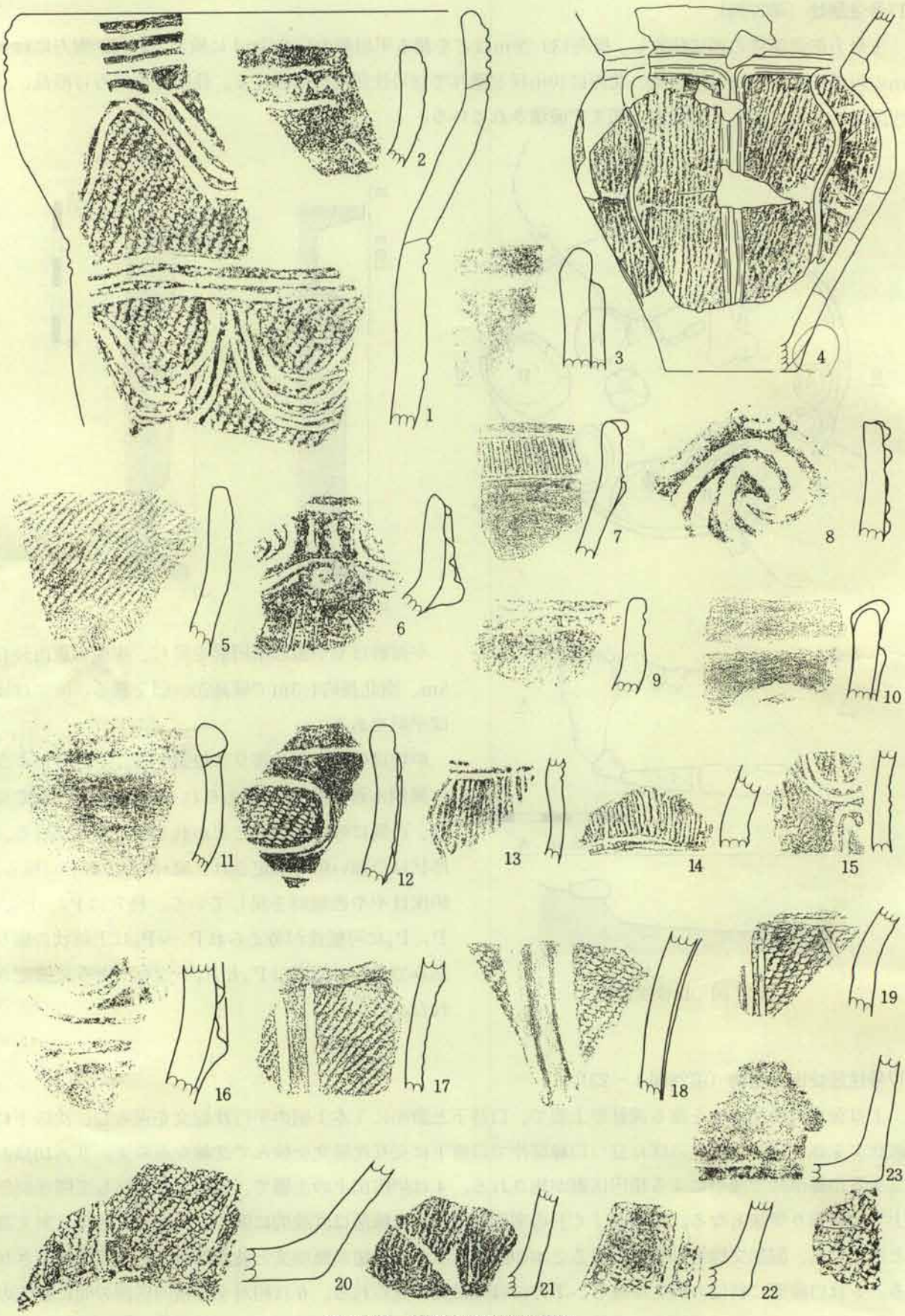

第27図　17号住居址

平面形はやや歪む楕円形を呈し、規模は東西長4.5m、南北長約4.3mで壁高20cm弱を測る。床面はほぼ平坦である。

炉址は中央やや北寄りに位置する。上記したように風倒木跡の存在が考えられる北側の縁石まで及び、西側には倒木の跡と思われる浅い窪みが残る。形状は石囲い炉と想定され、東・南辺の縁石が残る。炉床はやや西傾斜を呈している。柱穴は$P_1$、$P_2$、$P_7$、$P_8$に可能性が考えられ$P_3$～$P_6$は土坑状の掘り込みである。周溝は$P_4$と$P_5$をつなぐように確認された。

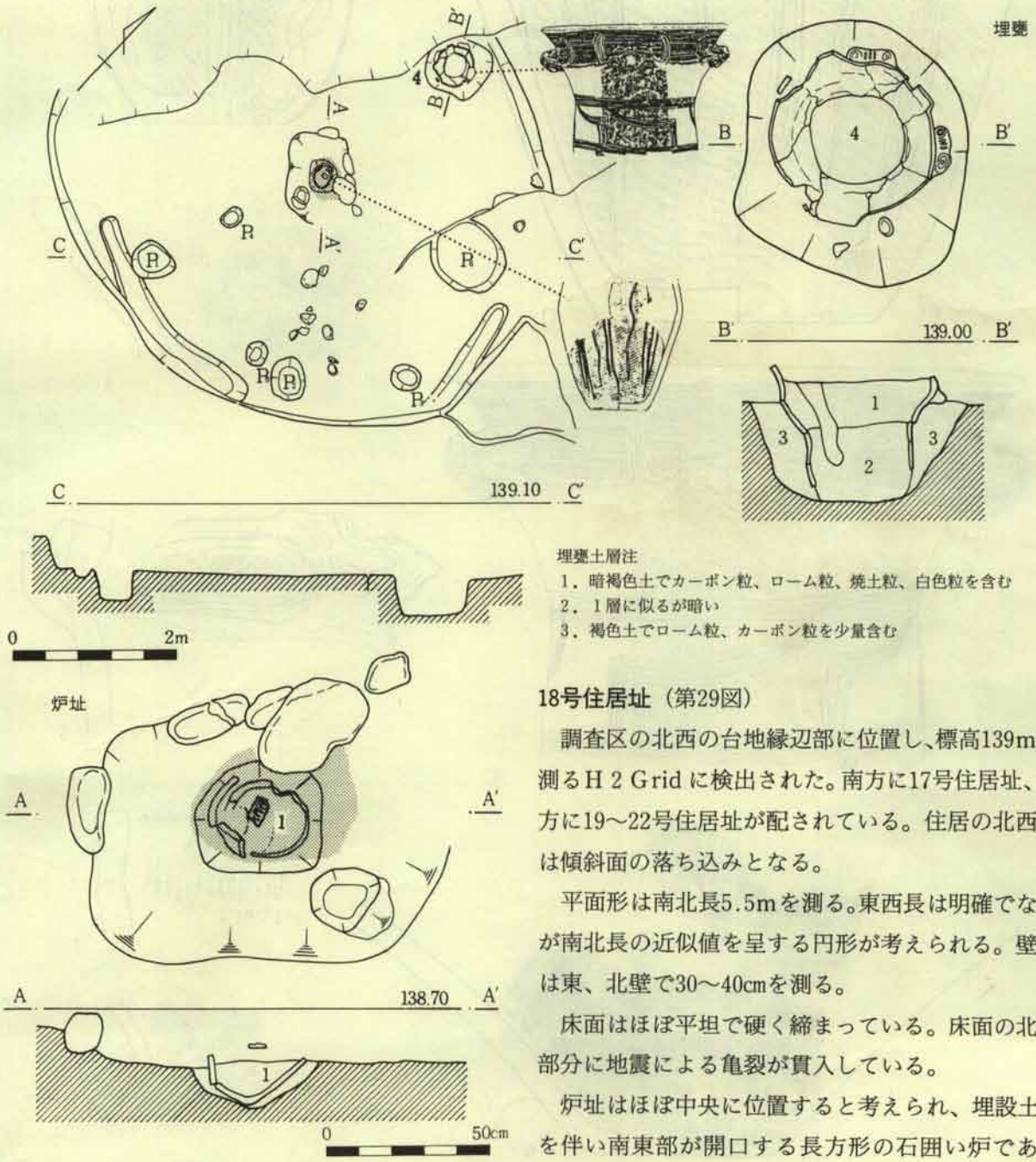
**17号住居址出土遺物**（第28図１～23）

１は復元口径23.8cmを測る深鉢形土器で、口唇下と頸部に３本１組の平行沈線文を巡らし、沈線下に波状文を施す。２は直立気味に立つ口縁部片で口唇下に交互沈線文を挟んで沈線を巡らす。３、10は直立する口縁部片で隆帯による楕円区画が施される。４は炉内出土の土器で、底部より外反して開き胴部上半で肩張り気味となる。頸部で「く」の字形に屈曲し口縁部は直線的に開く。口縁部文様帯は無文帯と考えられ、胴部文様帯は頸部に巡る２本の隆帯より２本１組の懸垂文と波状懸垂文を交互に垂下させる。５は口縁部に斜位の縄文を施し、下方には条線文が見られる。６は相対する楕円区画の間に縦位の沈線文を施し、その下に渦巻文を配す口縁部片。７は隆帯による区画文内を縦位の細沈線で充填する。




第 28 図　17号住居址出土遺物

８は山形突起を付す口縁部片で頂上部に渦巻文を施し、突起部に隆帯による渦巻文を施す。９は口唇下に巡る平行沈線文間に交互刺突文を連続させる。11は無文の浅鉢形土器の口縁部片で補修孔が穿たれている。12は隆帯による楕円区画内を縄文で充塡する。13は沈線を頸部に巡らし、波状懸垂文を垂下させる胴部片。14は頸部に巡る沈線が見られる。15は沈線より意匠文を施す。16は隆帯による渦巻文を施す口縁部片であろう。17は沈線区画による磨消し懸垂帯を垂下させる。18は微隆起帯による区画内に縄文を充塡する。19は頸部に沈線を巡らせ、それより懸垂文を垂下させる。20、22は沈線による懸垂文が底部立上がりまで施されている。21は撚糸を充塡する。23は底部より直立気味に立ち上がり、底面に網代痕が施されている。




埋甕土層注
1．暗褐色土でカーボン粒、ローム粒、焼土粒、白色粒を含む
2．１層に似るが暗い
3．褐色土でローム粒、カーボン粒を少量含む

第29図　18号住居址

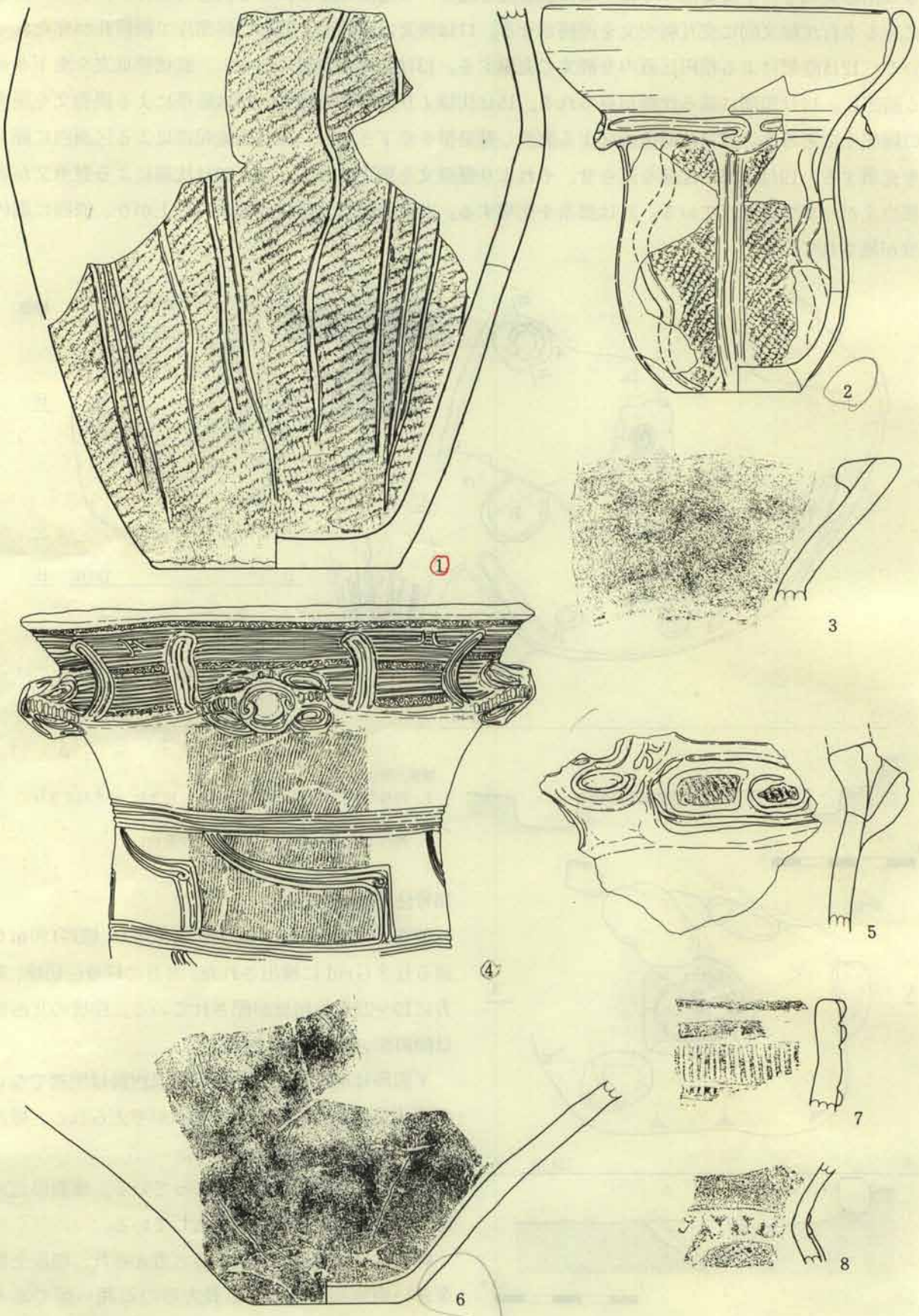
**18号住居址**（第29図）

調査区の北西の台地縁辺部に位置し、標高139mを測るＨ２Ｇrid に検出された。南方に17号住居址、東方に19～22号住居址が配されている。住居の北西部は傾斜面の落ち込みとなる。

平面形は南北長5.5mを測る。東西長は明確でないが南北長の近似値を呈する円形が考えられる。壁高は東、北壁で30～40cmを測る。

床面はほぼ平坦で硬く締まっている。床面の北東部分に地震による亀裂が貫入している。

炉址はほぼ中央に位置すると考えられ、埋設土器を伴い南東部が開口する長方形の石囲い炉であろう。石囲いの縁石はその多くが抜き去られ、東辺に




第30図　18号住居址出土遺物

複数、北辺に１石残存するのみである。東辺部の縁石には熱によるヒビ割れの石が見られる。規模は長さ1.17m、幅0.8m、深さ15cmを測る。炉床はほぼ平坦で、中央に胴部上半から口縁部を欠く深鉢(第30図１）が埋設土器として炉の開口部に向けて倒れ気味に据えられている。埋設土器とその掘り方の周辺は焼土が分布し、南脇に不明確な浅い掘り込みがある。柱穴は$P_1$～$P_5$に可能性があり、$P_4$は土坑状の掘り込みである。周溝は西壁沿いと東壁沿いに確認され、幅は25cm前後、深さ18cmを測る。

炉体土器の北方２mに胴部下半を欠く大形深鉢(第27図４)の埋甕を正位に据えている。埋甕は、80×68cmのやや歪んだ楕円形で深さ30cmの掘り込みにほぼ水平で埋められている。

**18号住居址出土遺物**（第30図１～８）

１は埋設土器で底部より直線的にやや開き、胴部中位で内傾して頸部に移行する大型の深鉢形土器。底径は12.5cmを測る。体部は縄文を充填し、沈線による２本～３本の懸垂文と波状懸垂文を交互に垂下させる。

２はやや下膨れの胴部より内湾する無文帯の口縁部に移行する深鉢形土器で、頸部に鍔状に張り出した隆帯を巡らし、４箇所に突出部を設ける。突出部より横位に蕨手状文を沈線で施している。胴部は突出部下より隆帯による２本１組の懸垂文と波状懸垂文を交互に垂下させる。地文は縄文ＲＬを充填する。口径18.3cm、器高20cm、底径6.5cmを測る。覆土上面の出土である。３は無文帯の口縁部分片で頸部に僅かであるが隆帯が巡る痕跡が見られる。

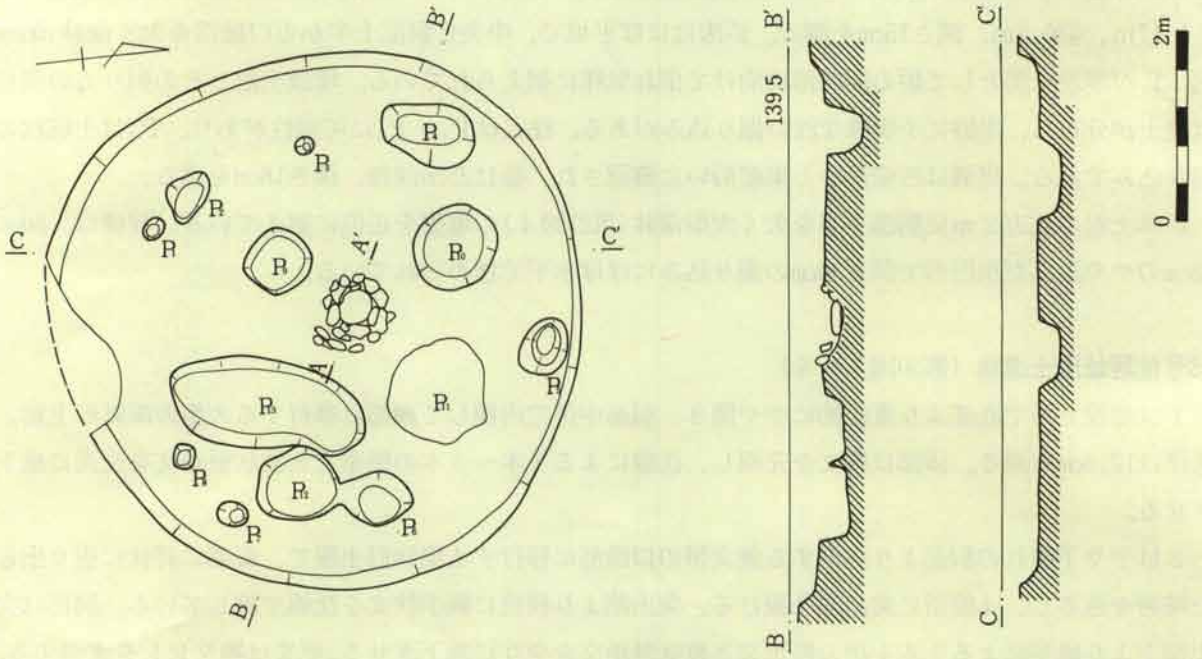
４は埋甕土器である。口径は50.5cmを測る。平口縁を呈し、口縁部文様帯は４単位の構成をとる。横位に巡る沈線文を挟んで３段に施文された連続交互刺突文で構成され、中段と下段の連続交互刺突文間に４つの環状突起を付す。環状突起は上下左右に脚を出し、四隅に円文を配す。環状部には吊手状に沈線文を施す。突起の左右には上方に伸びる角状の意匠文があり、さらにその先端部横にハの字状に沈線を施す。胴部には横位に巡る沈線文が２段に施され、その間を中間に蕨手文を挟んで３本１組の沈線でクランク文を施す。行幸田山遺跡Ｂ121号土坑出土の大型の深鉢形土器に非常に良く似る。５は渦巻文を施すやや偏平気味の橋状把手を付す口縁部片で、隆帯による楕円区画文を施す。区画文内は沈線によりさらに小さい楕円区画文を施し、区画文内を縄文で充填する。６は底部より外反して大きく開く浅鉢形土器である。７は口縁部文様帯の区画文を隆帯で施し、区画内を縦位の沈線で充填する口縁部片。８は「く」の字状に屈曲する頸部片で、括れ部に隆帯を巡らせ、隆帯上を沈線により交互に施して鋸歯状とする。

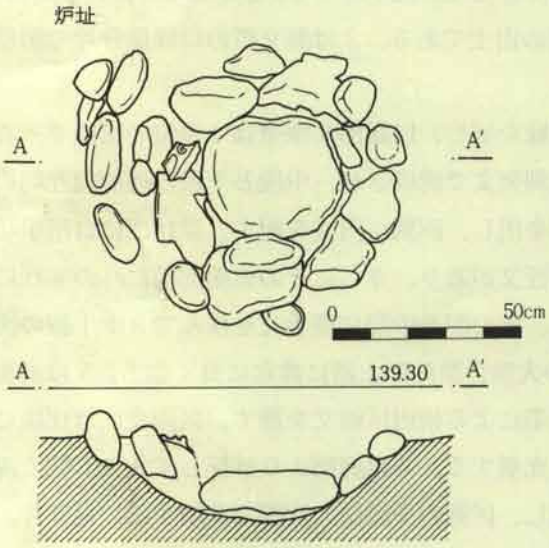
**19号住居址**（第31図）

Ｈ３Grid で標高139.30mを測る平坦部に検出され、南方に１号方形周溝墓、北に20号住居址が位置する。住居址の北辺には攪乱が接し、南では土坑が重複する。

平面形は東西長、南北長とも5.6mほどを測る円形を呈している。掘り込みは20cm前後の深さである。床面はほぼ平坦である。

炉址は中央やや北寄りに位置し、河原石を使用した集石炉である。掘り方の底面に30×37cmの大きさを測る偏平な石を置き、これを囲む様に立上がり部に傾斜をもたせて石を配す。東方には更に取り巻く様に石を配している。規模は長軸85cm、短軸75cm、深さ10cmを測る。



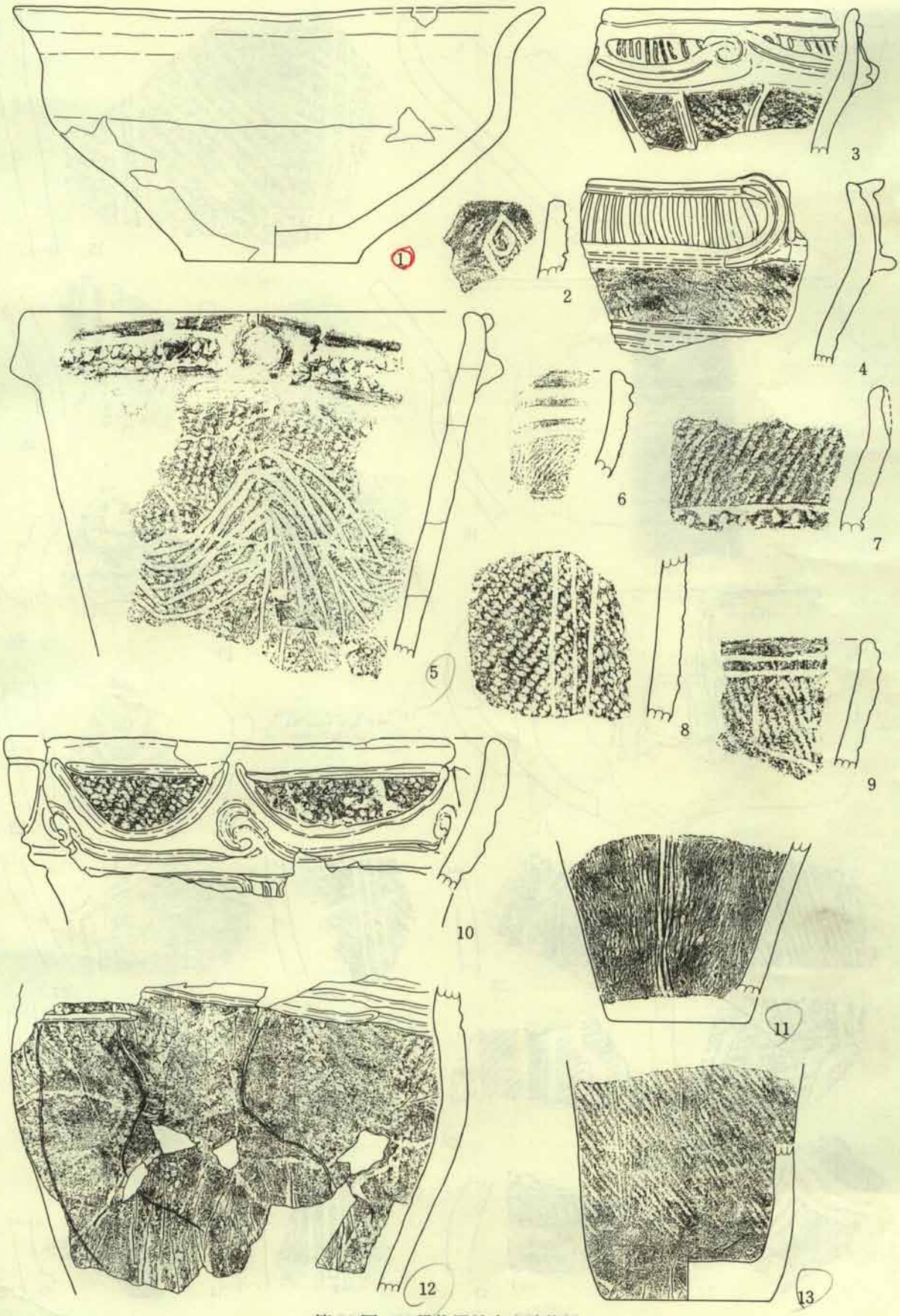

第31図　19号住居址

柱穴は$P_1$～$P_3$、$P_5$～$P_8$に可能性が考えられ、$P_4$、$P_9$～$P_{13}$は土坑状掘り込みである。

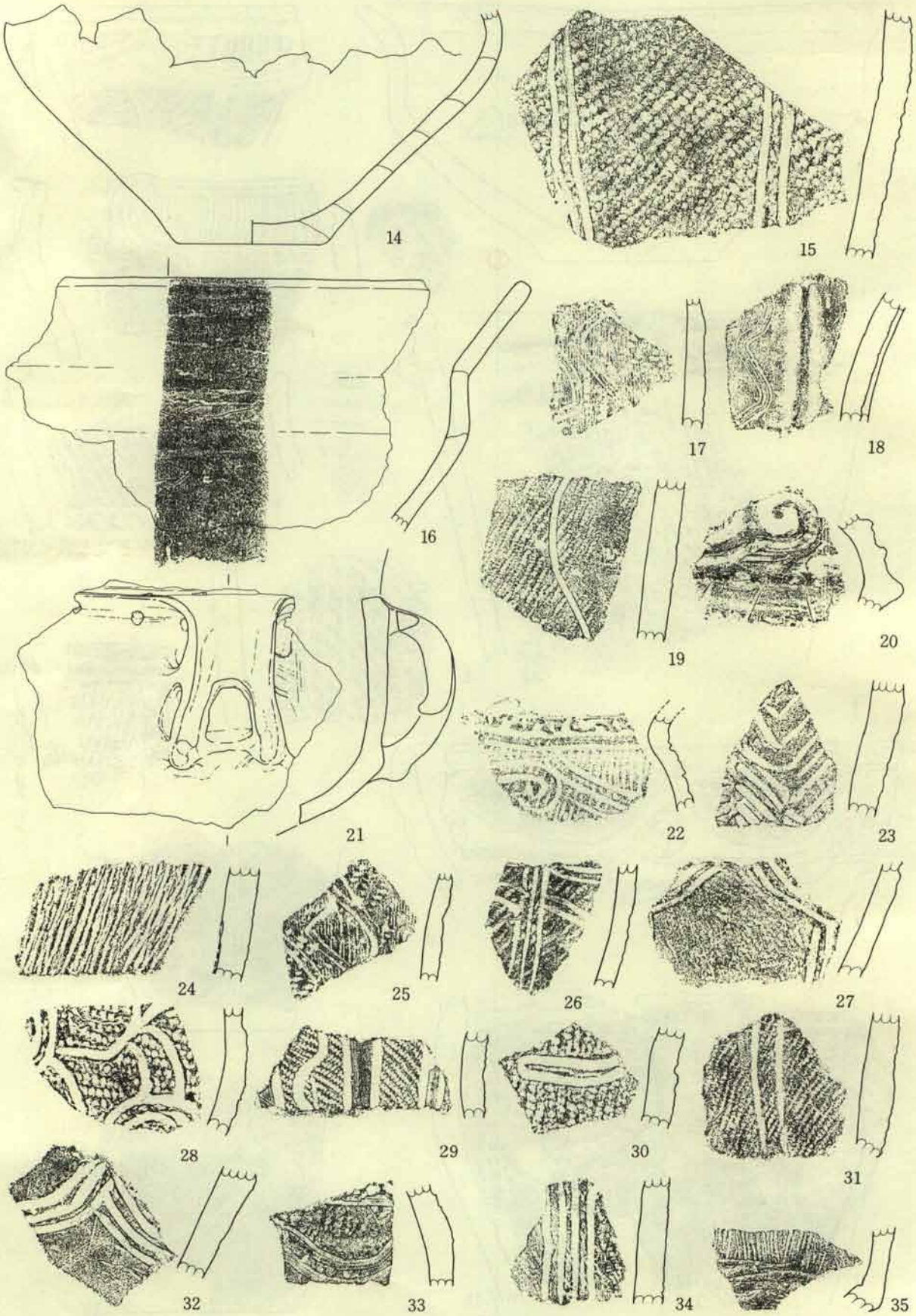
周溝は検出されなかった。

**19号住居址出土遺物**（第32、33図1～35）

1、14、16は無文の浅鉢である。1は底部より外反して開き、胴部上半で直線気味に立上がる。口縁部は短く外反して開く。口径27.8cm、器高13.2cm、底径9cmを測る。2は山形突起部片で沈線により菱形文を施し、内に円文を施す。3は口縁部文様帯を隆帯による渦巻文と楕円区画文を交互に配し、区画内に縦位の沈線文を充填する。渦巻文の施された隆帯は舌状に突出する。口縁部文様帯下に沈線文を垂下させる。口径13cmを測る。4は隆帯による楕円区画内を縦位の沈線で充填する口縁部片である。5は隆帯による渦巻文と楕円区画文を配し、楕円区画内を2段の刺突文で充填する。胴部は沈線文を波状に施す。復元口径23.5cmを測る。6は隆帯、9は沈線文を口唇下に巡らす。7は横位に巡る隆帯に連続交互刺突文を施し、口縁部文様帯と胴部文様帯を区分する。8、11、15、31、34は沈線で懸垂文を施す。10は復元口径25.6cmを測る深鉢の口縁部片で、隆帯による渦巻文と楕円区画文を交互に配し区画内に縄文を充填する。12は沈線文を横位に巡らし、それより細沈線を波状に垂下させる。13は筒形を呈する胴部で細沈線文を垂下させている。17、18は平行沈線で波状懸垂文を垂下させる。20は隆帯による渦巻文が施されている。21は有孔鍔付土器で鍔より橋状把手を付す。23は沈線を矢羽状に施す。25は縄文そして条線文を施文し、平行沈線文を波状に垂下させる胴部片である。26は3本1組の沈線を垂下させ、左右に平行沈線で意匠文を施す。27、32は沈線による連弧文を施す。28は沈線により意匠文を施す。29は




第 32 図　19号住居址出土遺物(1)




第 33 図　19号住居址出土遺物(2)

平行沈線と波状懸垂文を垂下させ、平行沈線の区画内を磨消す。30は沈線で意匠文を施す。33は頸部に交互刺突文を施し、下方に平行沈線文で波状文を描く。35は条線文を縦位に充填する。

**20号住居址**（第34図）

H、Ｉ３Grid にまたがり標高139mを測る台地縁部に検出された。南西で21号住居址と重複し、北西には22号住居址が位置する。

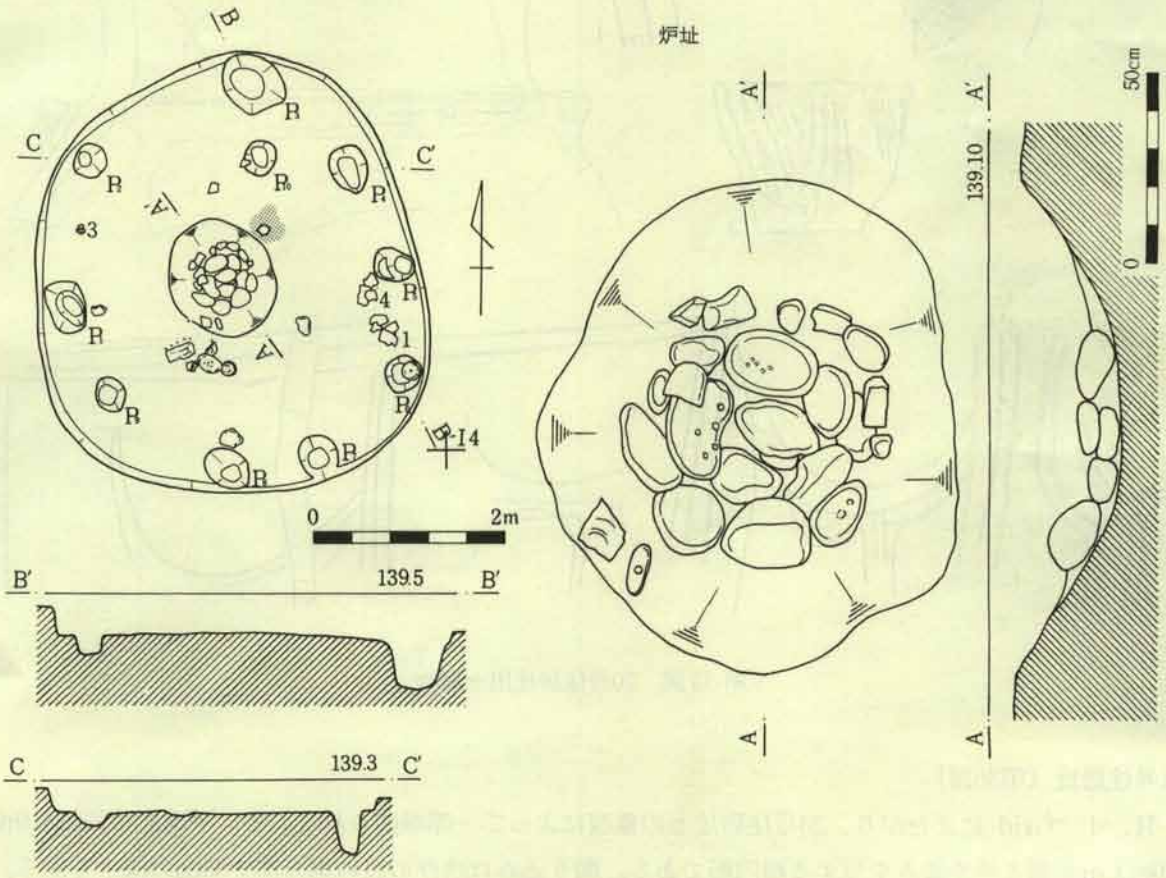
平面形は南北長4.65m、東西長4.1mを測る楕円形を呈する。掘り込みは残存の良い北壁で30cmを測る。床面はほぼ平坦で硬く締まっている。

炉址はほぼ中央に位置し、河原石と多孔石・凹石で構成される集石炉である。規模は1.3×1.2m、深さ26cmを測る楕円形の掘り込みの底面に石を敷く。敷石は径70cmの円形に敷かれ、石と石の隙間には多量のカーボン粒子を含む黒色土が充填している。炉址の北には焼土の分布がある。

柱穴は$P_1$～$P_{10}$が検出され、$P_1$～$P_9$が主柱穴と考えられる。$P_7$、$P_8$は出入り口と推察される。周溝は検出されなかった。

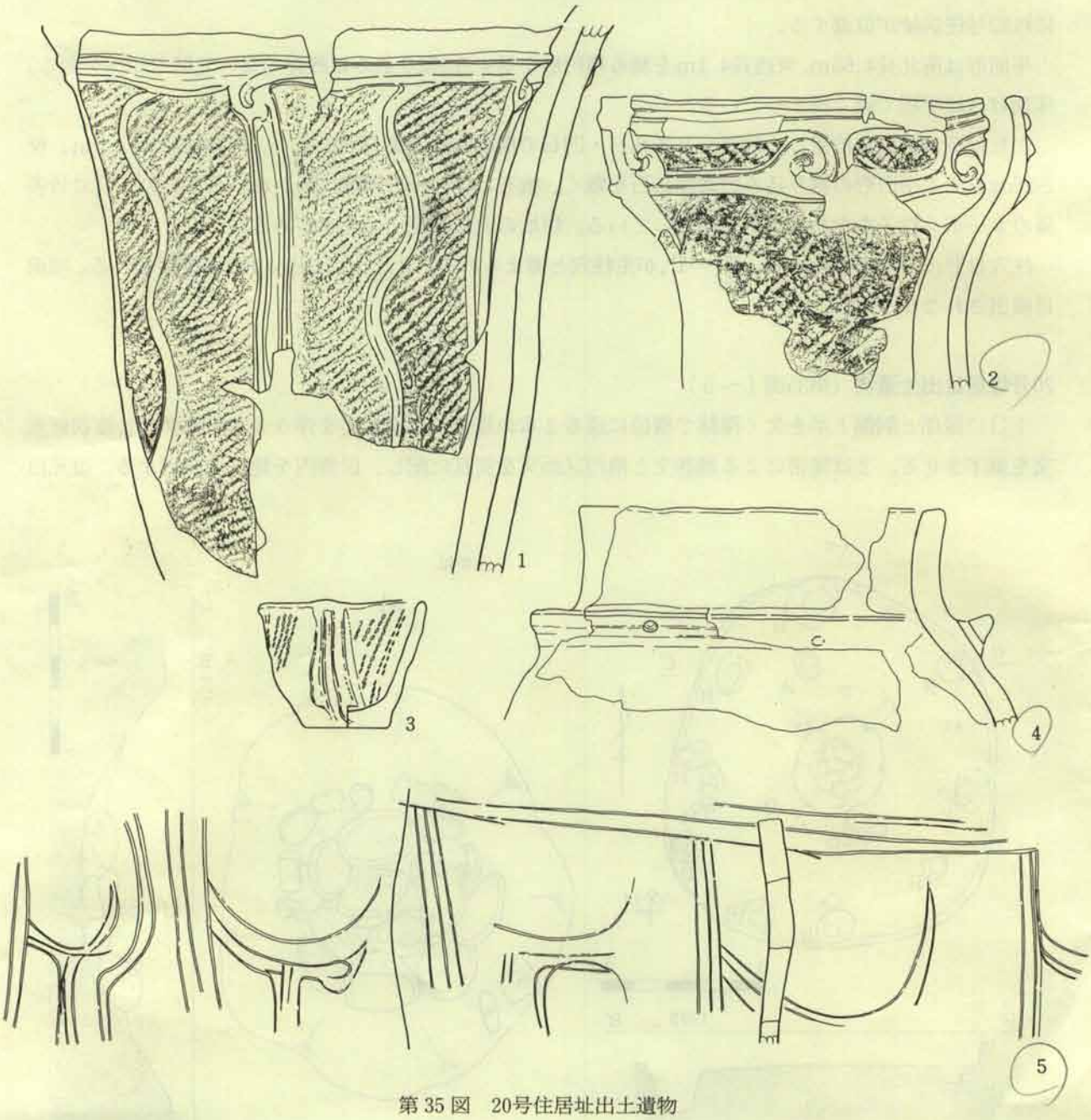
**20号住居址出土遺物**（第35図１～５）

１は口縁部と胴部下半を欠く深鉢で横位に巡る２本の隆帯から渦巻文を伴う２本の懸垂文と波状懸垂文を垂下させる。２は隆帯による渦巻文と楕円区画文を交互に配し、区画内を縄文で充填する。復元口




第34図　20号住居址

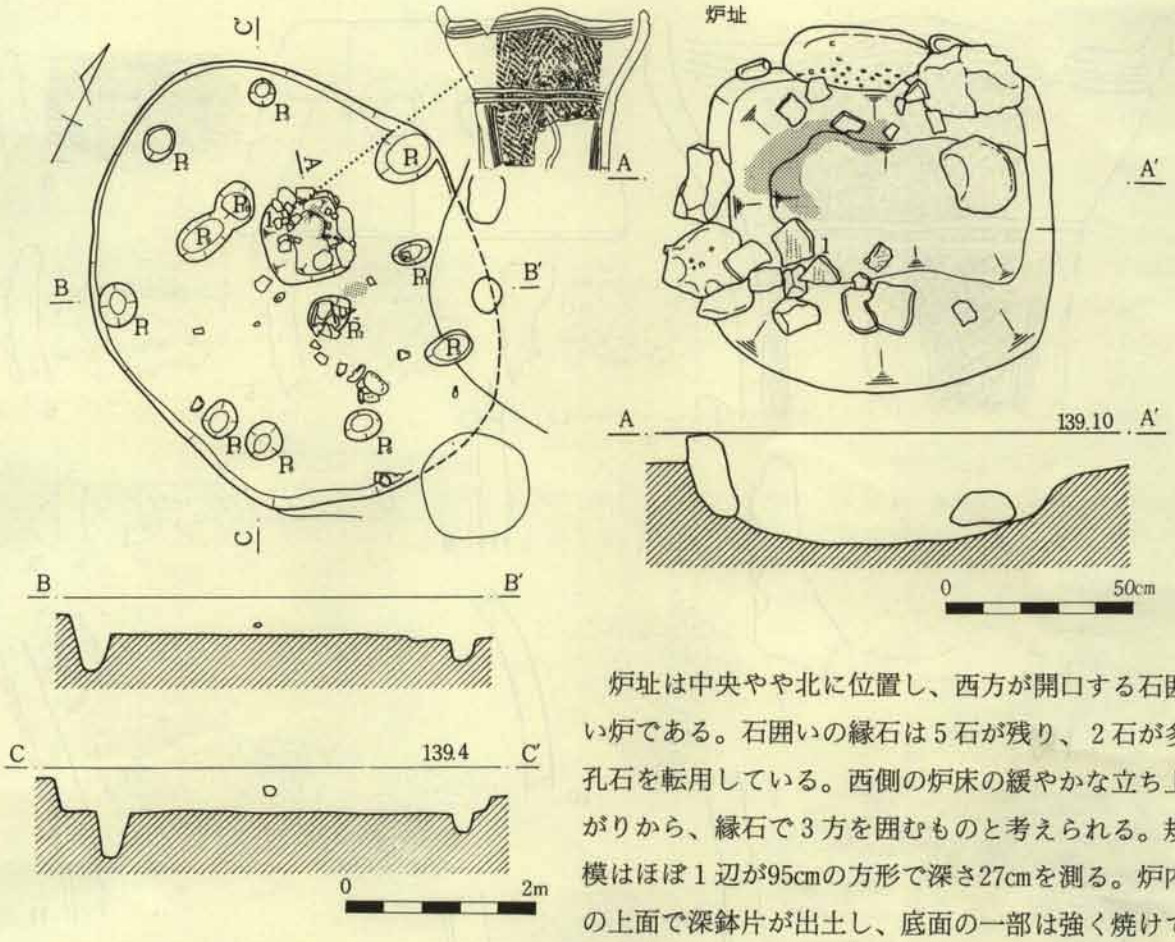
径17.5cmを測る。3はP₁とP₂間の床面出土。口径7.3cm、器高6cm、底径3.8cmを測る。口唇部より2本1組の隆帯を2単位で垂下させる。4は有孔鍔付土器で口径16.8cmを測る。口縁部は直立気味で口唇部でやや外反し、鍔は断面三角形で上向きに付されている。5は横位に巡る沈線区画より3条1組の沈線で懸垂文を4単位で施す。区画内には連弧文状の弧文を施し、そこから懸垂文を垂下させている。




第35図　20号住居址出土遺物

**21号住居址**（第36図）

H、I 3 Grid にまたがり、20号住居址との重複によって一部が切られている。平面形は長軸4.9m、短軸4mを測るやや歪みを呈する楕円形である。掘り込みは残存の良い南方部で35cmの深さを測る。床面は硬く締まり安定したレベルを呈している。




第36図　21号住居址

炉址は中央やや北に位置し、西方が開口する石囲い炉である。石囲いの縁石は５石が残り、２石が多孔石を転用している。西側の炉床の緩やかな立ち上がりから、縁石で３方を囲むものと考えられる。規模はほぼ１辺が95cmの方形で深さ27cmを測る。炉内の上面で深鉢片が出土し、底面の一部は強く焼けている。

柱穴は$P_1$～$P_{12}$に可能性があり$P_1$～$P_7$が主柱穴と考えられる。周溝は検出できなかった。

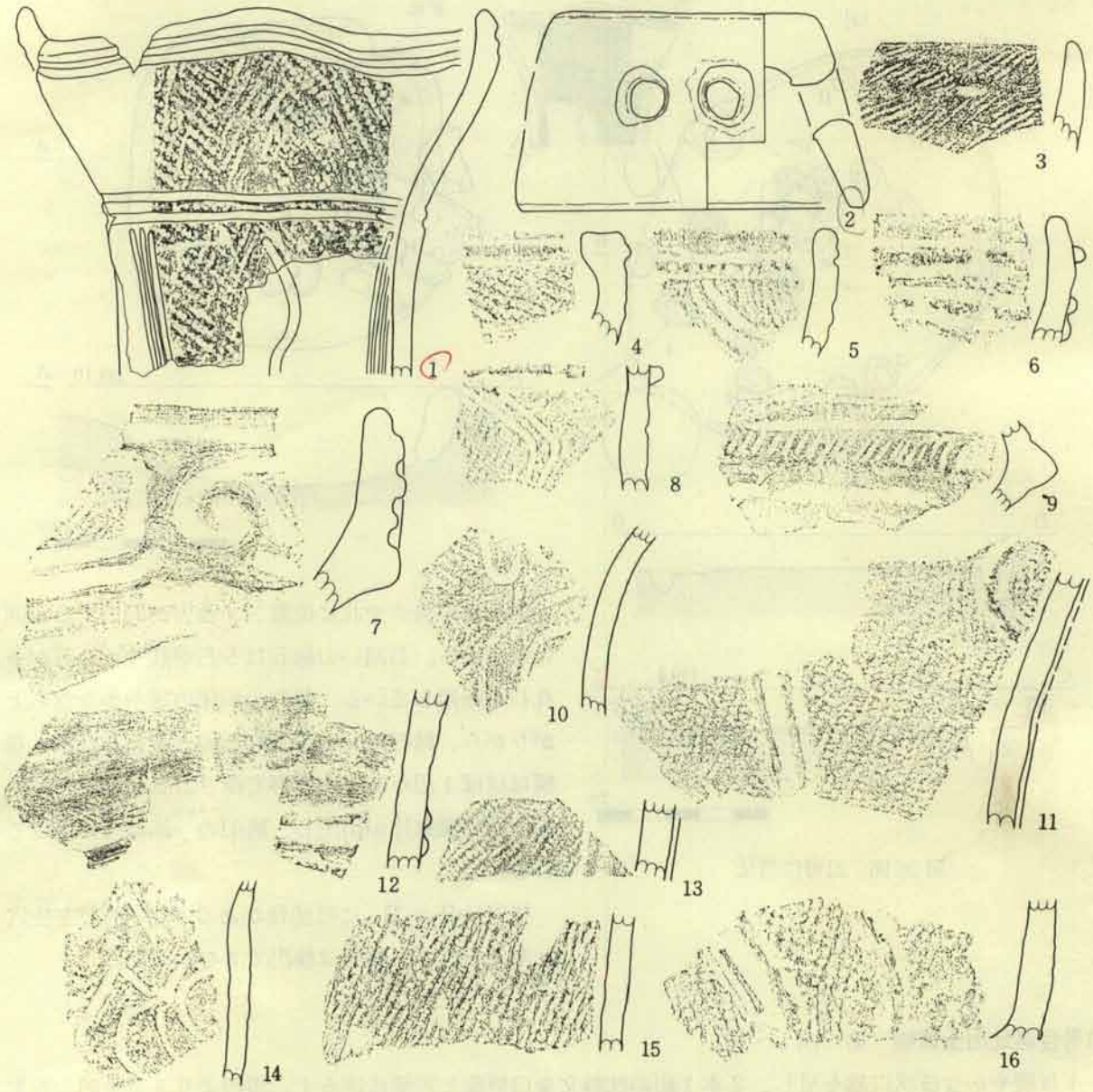
**21号住居址出土遺物**（第37図１～16）

１は緩やかな波状口縁を呈し、２本１組の沈線文を口唇部と頸部に巡らす。頸部より３本１組の懸垂文と波状懸垂文を垂下させる。地文は縄文を充填する。炉内上面の出土。復元口径は20cmである。

２は台形器台で、２個一対の円形透かしを２カ所に施す。口径11cm、器高8.6cm、底径14.9cmを測る。

３は直立気味に内湾する口縁部片で、縄文を充填する。４は隆帯による区画文内を縄文で充填する。５は口唇下に連続刺突文を施す平行沈線文が巡り、下方に連弧文を施文する。６は隆帯を横位に巡らす口縁部片。７は頸部無文帯を呈し、口縁部文様帯は隆帯による渦巻文と区画文を配し、区画内に縄文を充填する。８は、隆帯を横位に巡らし、下方に平行沈線文を波状に垂下させる。９は屈曲部に縦位の刻みを連続して施す。10は沈線で意匠文を施す。

11、16は同一個体の胴部片で、隆帯による２本１組の懸垂文と波状懸垂文を垂下させる。12は２本の隆帯を横位に巡らす。頸部は無文帯である。13は隆帯による懸垂文を施す。14は沈線による意匠文を施す。15は縄文を充填している胴部片。




第37図　21号住居址出土遺物

**22号住居址**（第38図）

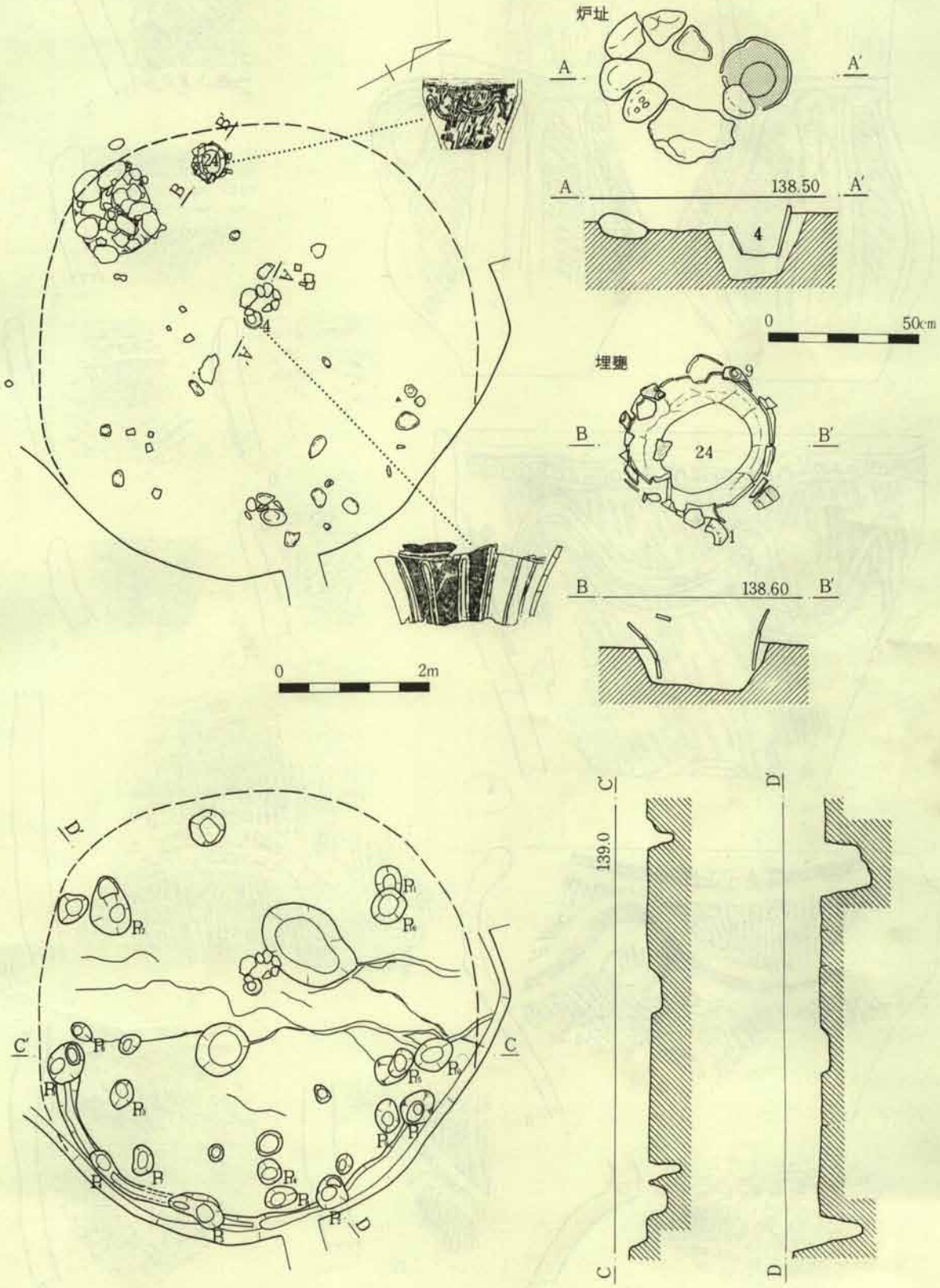
Ⅰ3Grid に位置し、台地縁部に検出された。住居中央を東西に1Mが横切り、西方に3号集石、南方に20、21号住居址が隣接する。

平面形は西方部が明瞭でないが柱穴から推測すると5.8m前後を測る円形になろう。掘り込みは東壁で35cmの深さである。床面はほぼ平坦であるが住居の中央部に地割れが南北に走行し、僅かであるが段差を生じている。

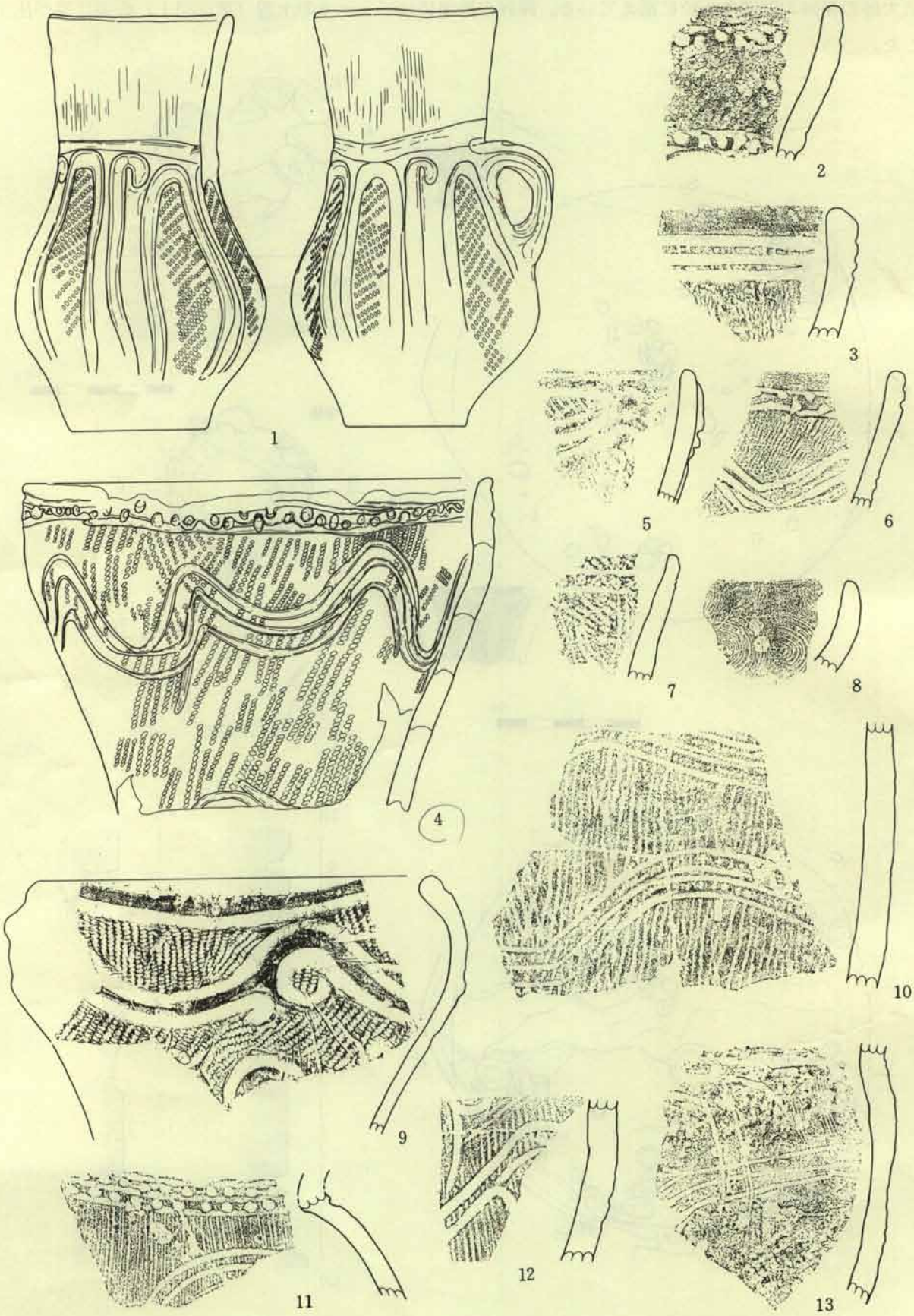
炉址は中央やや西に位置し、底部と口縁部を欠く深鉢（第39図4）を埋設土器として正位に据えている石囲い炉と考えられる。石囲いは凹石と河原石で構成され、炉体土器の北西に弧を描いて配されているがその形状は明瞭でない為、その規模も不明である。炉体土器の内部は焼土が堆積する。

埋設土器の西2mに埋甕（第40図24）が検出された。45cmのほぼ円形で深さ15cm前後を測る掘り込み

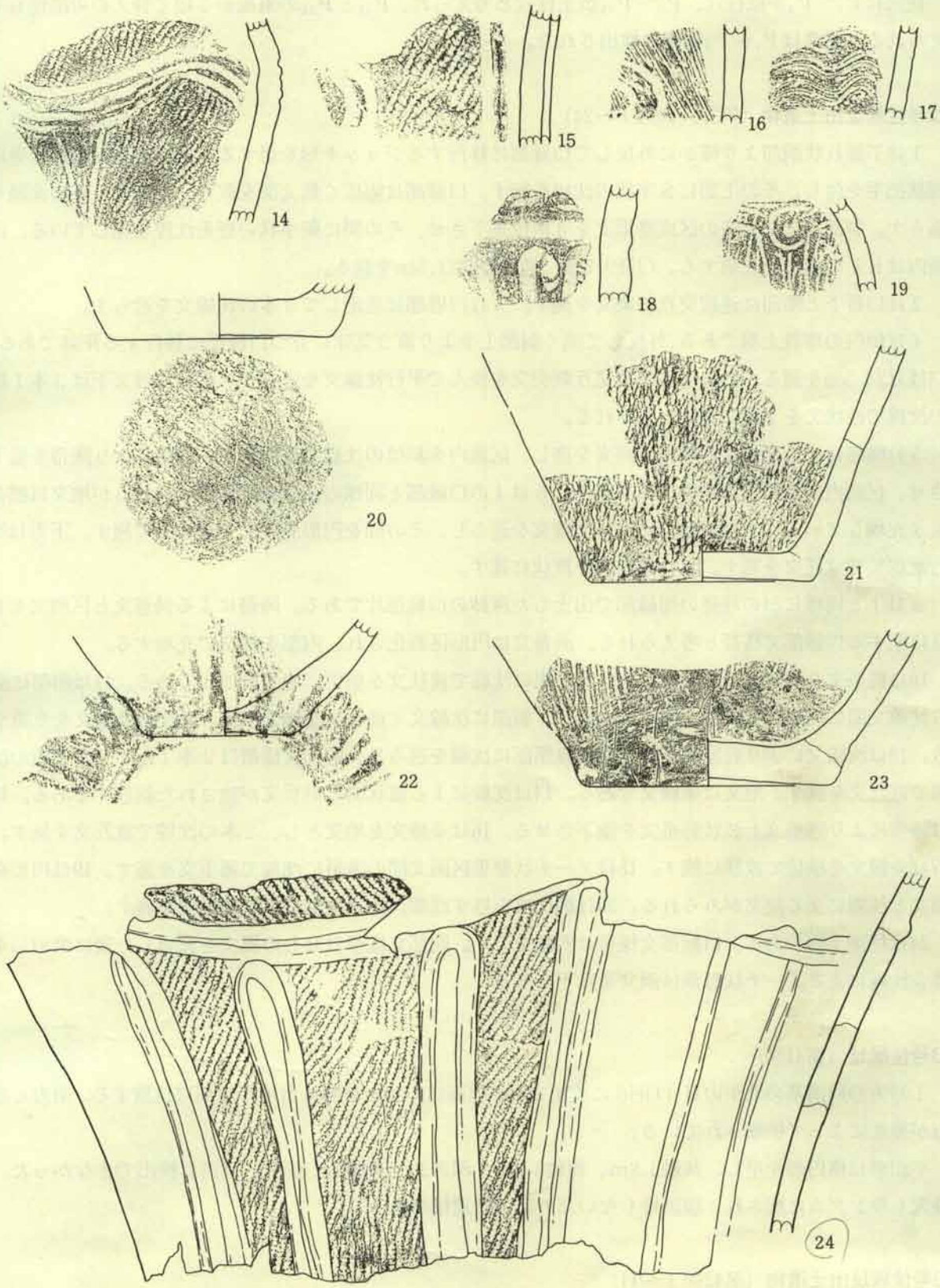
に大形の深鉢の胴部を正位に据えている。深鉢の縁部にはジョッキ形土器（第38図１）の破片等が出土した。




第38図　22号住居址




第 39 図　22号住居址出土遺物(1)




第40図　22号住居址出土遺物(2)

柱穴は$P_1$～$P_5$が壁柱穴、$P_6$～$P_{16}$が主柱穴と考えられ、$P_{11}$と$P_{16}$の重複から建て替えの可能性も考えられる。周溝は$P_1$～$P_5$の間に検出された。

**22号住居址出土遺物**（第39、40図１～24）

１は下膨れ状胴部より僅かに外反して口縁部に移行するジョッキ形を呈する土器である。胴部上半に橋状把手を付し、その上面にＳ字状の沈線を施す。口縁部は幅広く無文部を置き、頸部に１条の沈線を巡らす。胴部はアーチ条の区画懸垂文を８単位垂下させ、その間に蕨手状の懸垂沈線を施している。区画内はＲＬの縄文を充填する。口径9.2cm、推定器高21.5cmを測る。

２は口唇下と頸部に連続交互刺突文を施す。３は口唇部に並走して３本の沈線文を巡らす。

４は炉内の埋設土器である。外反して開く胴部上半より直立気味に立つ口縁部に移行する深鉢である。口径は24.3cmを測る。口唇下に連続交互刺突文を挟んで平行沈線文を巡らす。平行沈線文下は３本１組の沈線で波状文を２段に施すと思われる。

５は隆帯による渦巻文と楕円区画文を施し、区画内を斜位の沈線で充填する。渦巻文より隆帯を垂下させ、区画内に綾杉状に沈線を施文する。６は４の口縁部と同様の文様構成が考えられるが地文は撚糸文を充填している。７は口唇下に平行沈線文を巡らし、その間を円形刺突文を連続して施す。下方は平行沈線文で意匠文を施す。８は条線文を波状に施す。

９は１と同様に24の埋甕の周縁部で出土した深鉢の口縁部片である。隆帯による渦巻文と区画文を交互に配する口縁部文様帯と考えられる。渦巻文は円形区画化され、内部を縄文で充填する。

10は撚糸文を地文として充填し、３本１組の沈線で波状文を横位に施す胴部片である。11は頸部に巡る沈線文間に円形刺突文を２段以上に施し、胴部に沈線文で曲線文を施文する。地文は条線文を充填する。12は沈線文により意匠文を施す。13は頸部に沈線を巡らし、胴部文様帯は２本１組と３本１組の沈線で意匠文を施す。地文は条線文である。14は沈線による波状文と懸垂文が施された胴部片である。15は隆帯により懸垂文と波状懸垂文を垂下させる。16は条線文を地文とし、２本の沈線で意匠文を施す。17は条線文を横位で波状に施す。18はアーチ状懸垂区画文間の隆帯に沈線で蕨手文を施す。19は円形刺突文と沈線による施文がみられる。20は網代痕を残す底部。22は沈線により懸垂文を施す。

24は埋甕土器である。口縁部文様帯は明瞭を欠く。胴部文様帯はＲＬの縄文を充填した後に磨消しを伴う沈線によるアーチ状懸垂区画文を垂下させる。

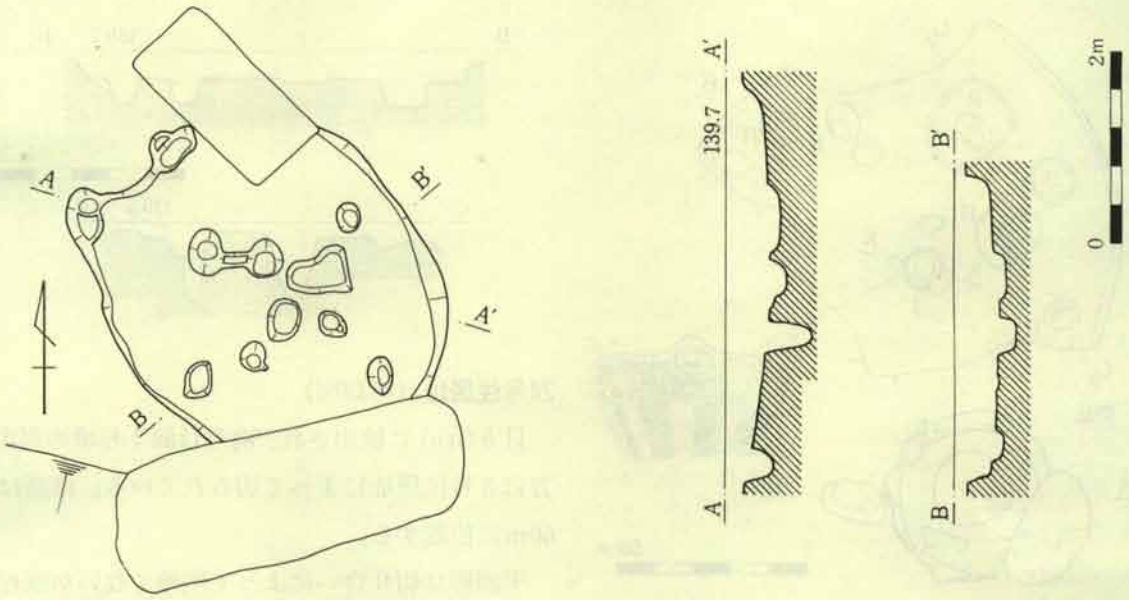
**23号住居址**（第41図）

１号方形周溝墓の北東のＨ４Grid に検出され、標高139.50mを測る台地平坦部に位置する。南方と北方が攪乱によって破壊されている。

平面形は楕円形を呈し、長軸3.8m、短軸3.3m、深さ30cmを測る。炉址、周溝は検出できなかった。柱穴もランダムに配され、規則性もない落ち込み状遺構である。

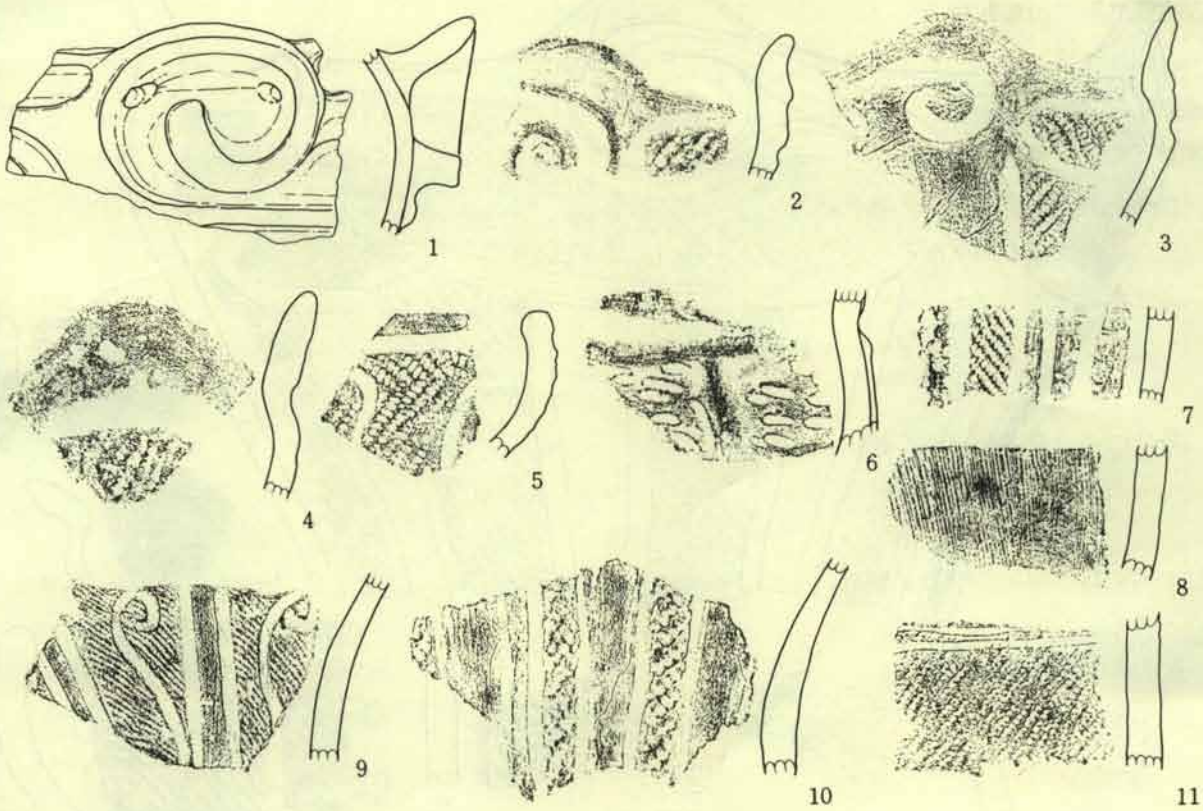
**23号住居址出土遺物**（第42図１～11）

１は渦巻状の突起を付す胴部片。２～４は山形突起を有する口縁部片で、２は隆帯により渦巻文と楕円区画文を施し区画内を縄文で充填する。３は沈線による簡略された渦巻文と楕円区画文を配し区画内を縄文で充填する。渦巻文の下方に沈線で区画された懸垂磨消帯を垂下させる。４はなぞりによる太い

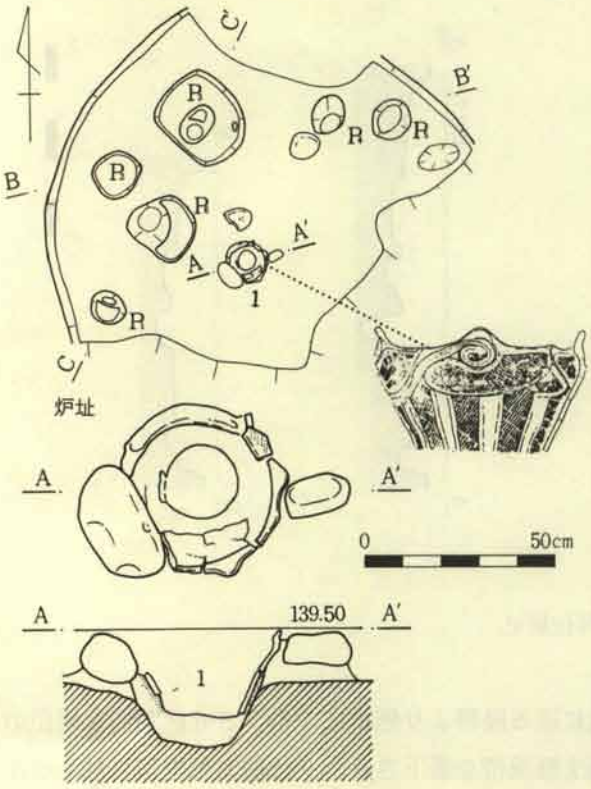



第41図　23号住居址

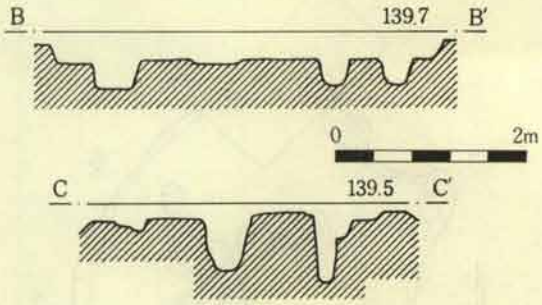
沈線で施文する。５は沈線により施文する。６は横位に巡る隆帯より懸垂文を垂下させ区画内に横位の短い沈線を充填する。７、９、10は磨消し懸垂帯と縄文懸垂帯を垂下させ、９は縄文懸垂帯に蕨手状沈線を施す。８は縦位の条線文を充填する。11は横位に沈線を巡らす。




第42図　23号住居址出土遺物




第 43 図　24号住居址

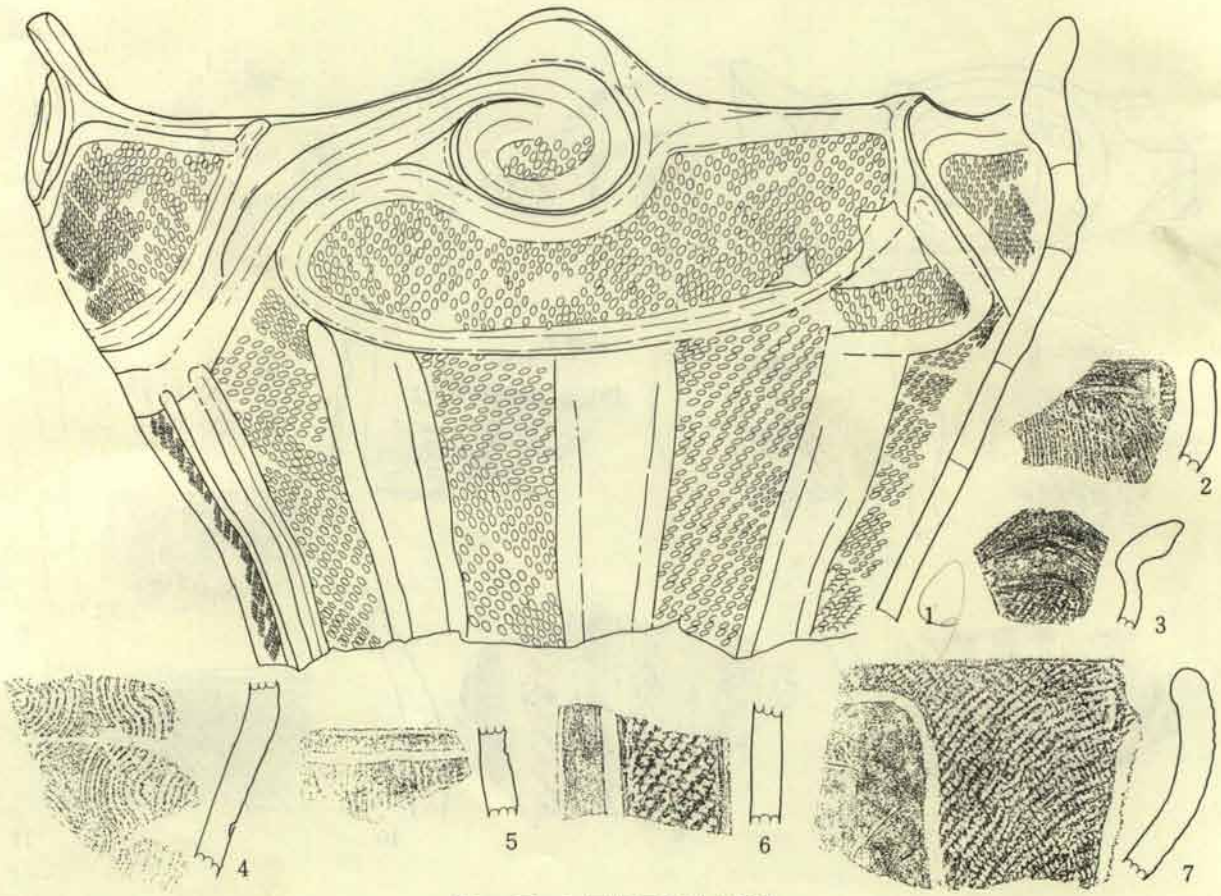



**24号住居址**（第43図）

H 5 Grid に検出され、南方は漏 1 号墳の周堀、北方は 3 号住居址によって切られている。標高は139.60mに位置する。

平面形は切り合いによって明瞭でないが残存状態から円形か楕円形と思われる。規模は東西長4.7mで20cmほどの掘り込みを測る。床面はやや中央部に高まりを呈している。

炉址は中央やや西寄りに位置すると考えられ、東西に縁石を伴う埋甕炉である。埋甕は胴部下半と口



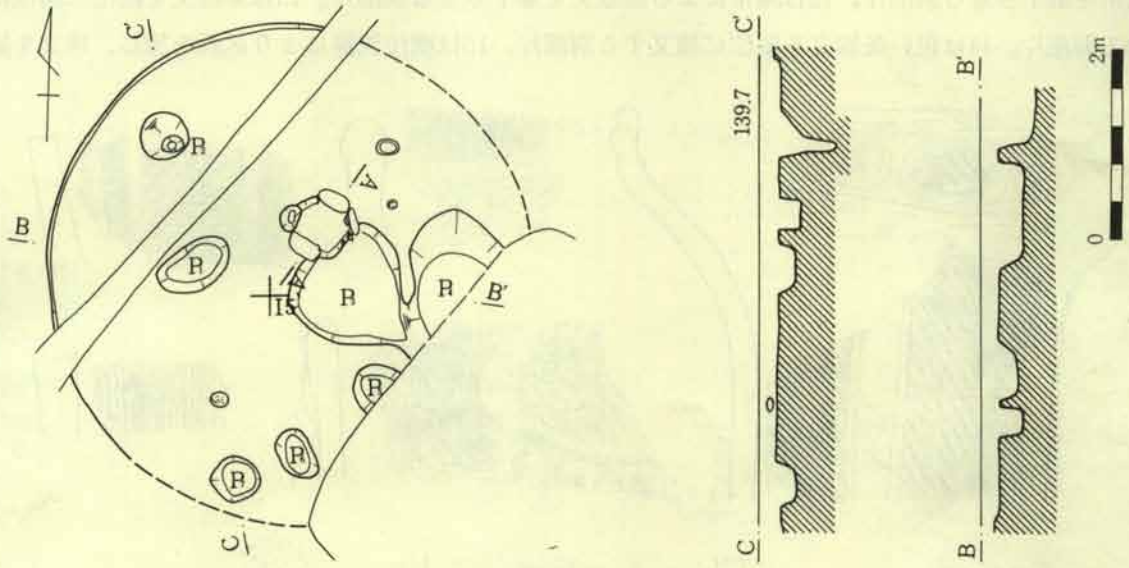

第 44 図　24号住居址出土遺物

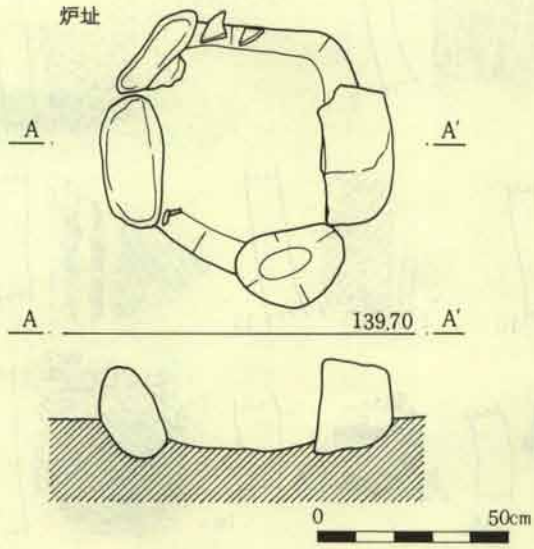
縁部の一部を欠く深鉢（第44図１）である。径33cm、深さ15cmの掘り込みに底面より７cmほど浮かした状態で正位に据えられている。東側の縁石は口縁部の高さで据えられ、西側は欠損する口縁部に覆いかぶさるようにある。

柱穴は$P_1$～$P_6$に可能性があるが、南方部が周堀によって切られているために規則性は明確でない。周溝は検出できなかった。

**24号住居址出土遺物**（第44図１～７）

１は炉の埋甕土器である。口縁が緩やかに内湾する深鉢で外反する山形の突起を付す。口縁部文様帯は沈線で渦巻文と楕円区画文を入り組み状に配し、胴部は磨消懸垂帯を垂下させる。地文はＬＲの縄文を充填する。２は条線文を施す口縁部片。３は内湾する口縁に外反する山形突起を付す口縁片。４はアーチ状懸垂区画文を垂下させる。５は沈線を横位に巡らし、下方に意匠文を施す胴部片。６は磨消懸垂帯を垂下させる。７は条線文を縦位で波状に施す。




第45図　25号住居址

**25号住居址**（第45図）

３号住居址によって南東の一部を切られ、北東～南西方向には１条の耕作による溝が走行する。Ｉ５Grid point をほぼ住居址の中心として北方には１Ｍを挟んで27号住居址がある。標高は139.50mを測る平坦部に位置する。

平面形は５ｍ前後を測る円形を呈すると考えられる。掘り込みは浅く北西部で８cmの壁高が残存する。床面はほぼ平坦で硬く締まっている。

炉址は中央やや北東寄りに位置し、石囲い炉と考えられるが縁石が抜き取られているので全容は明確でない。恐らく４辺に縁石を巡らす方形の石囲い炉

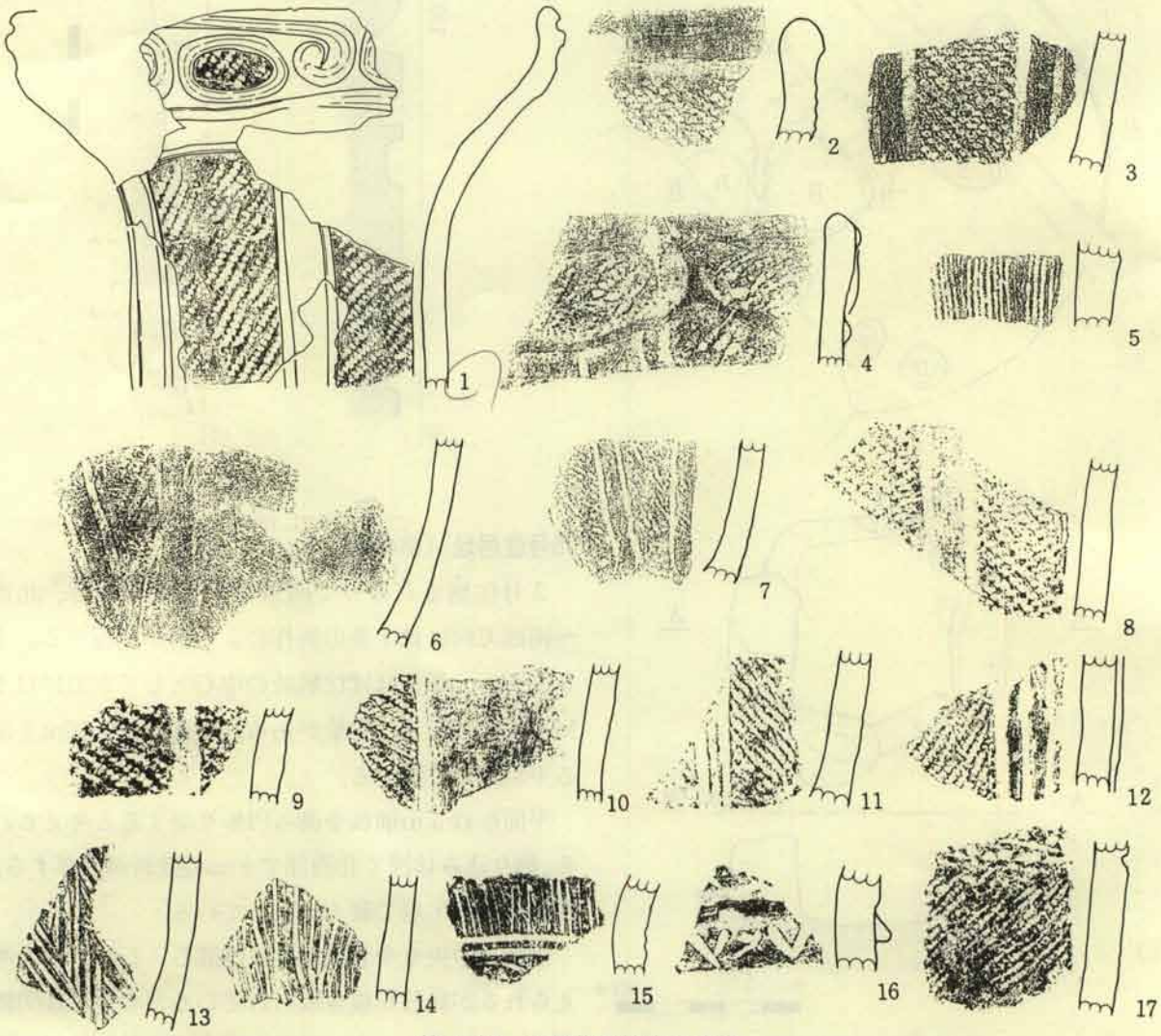
と思われる。その規模は１辺75cm前後を測り、深さ25cmを呈す。炉床は緩やかな皿状である。

柱穴は$P_1$、$P_2$、$P_5$～$P_7$が可能性があるが規則性はない。$P_4$、$P_5$は土坑状の掘り込みである。周溝は検出できなかった。

**25号住居址出土遺物**（第46図１～７）

１はキャリパー状を呈する深鉢形土器で、復元口径は21.7cmを測る。頸部に幅の狭い無文帯を有する。口縁部文様帯は、沈線区画による渦巻文と楕円区画文を配し、区画文内を縄文で充填する。胴部文様帯は沈線区画による磨消し懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる。

２は沈線区画による口縁部文様帯の楕円区画文内を縄文で充填する口縁部片。３、６、８、10、11は、沈線区画による磨消し懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる胴部片。４は口縁部文様帯を隆帯により楕円区画文を相対させて配し、区画文内を縄文で充填する。胴部は磨消懸垂帯を垂下させる。５は縦位の条線文を充填する胴部片。７は沈線による懸垂文を垂下させる胴部片。10は沈線による幅広の磨消懸垂帯と縄文帯を垂下させる胴部片。12は隆帯による懸垂文を垂下させる胴部片。13は条線文を縦位と斜位に充填する胴部片。14は粗い条線文を縦位に施文する胴部片。15は横位沈線により区画を施し、地文を縦




第46図　25号住居址出土遺物

位の条線文で充填する。16は隆帯を横位に巡らし下方に短沈線により鋸歯状文を施す。17は横位沈線に連続する刺突文を施す。

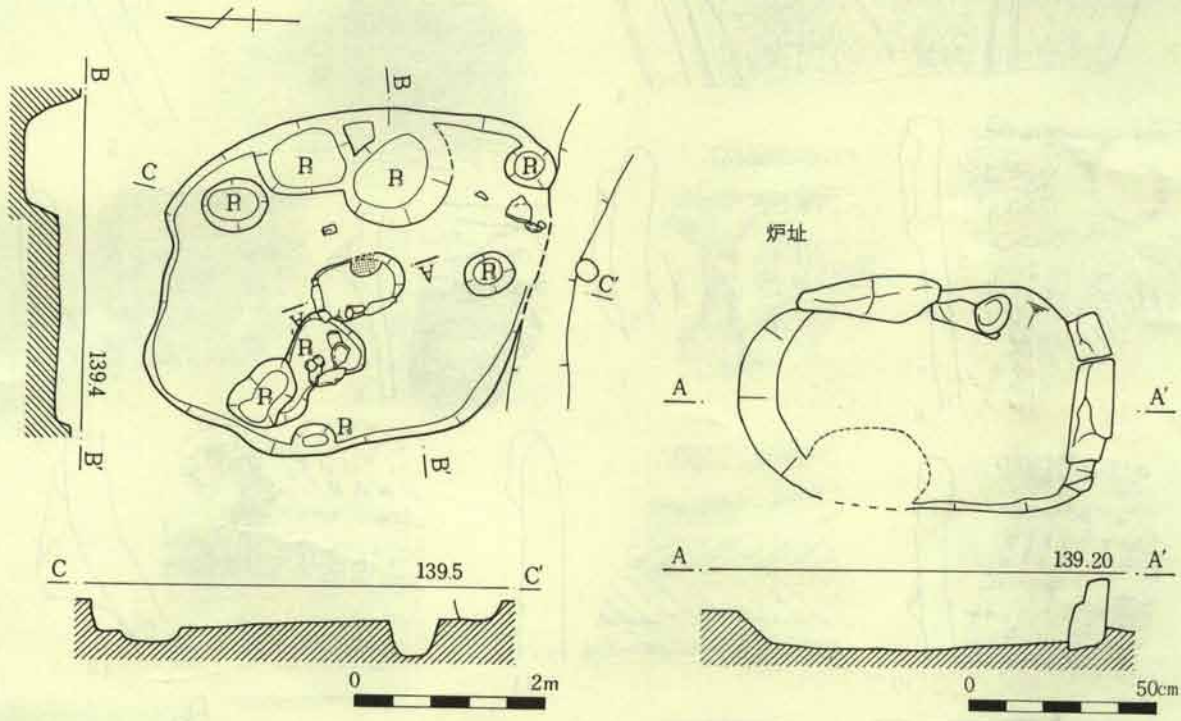
**26号住居址**（第47図）

Ⅰ４Grid の北で検出され、南壁が１Ｍと接する。台地縁部付近の標高139.40ｍを測る位置で東方に27号住居址、西方に22号住居址がある。

平面形は歪んだ南北に長い楕円形であり、不明瞭の点が多い。規模は南北長4.6ｍ、東西長3.5ｍ、深さ20～30cmを測る。底面は僅かに北傾斜を呈している。

炉址はほぼ中央に位置し、南方が開口すると考えられる長方形の石囲い炉である。東辺と北西隅の縁石が欠損していると思われる。規模は長軸99cm、短軸60cm、深さ16cmを測る。炉床は緩やかに南方にむけて傾斜を呈している。東辺の南に焼土が分布する。

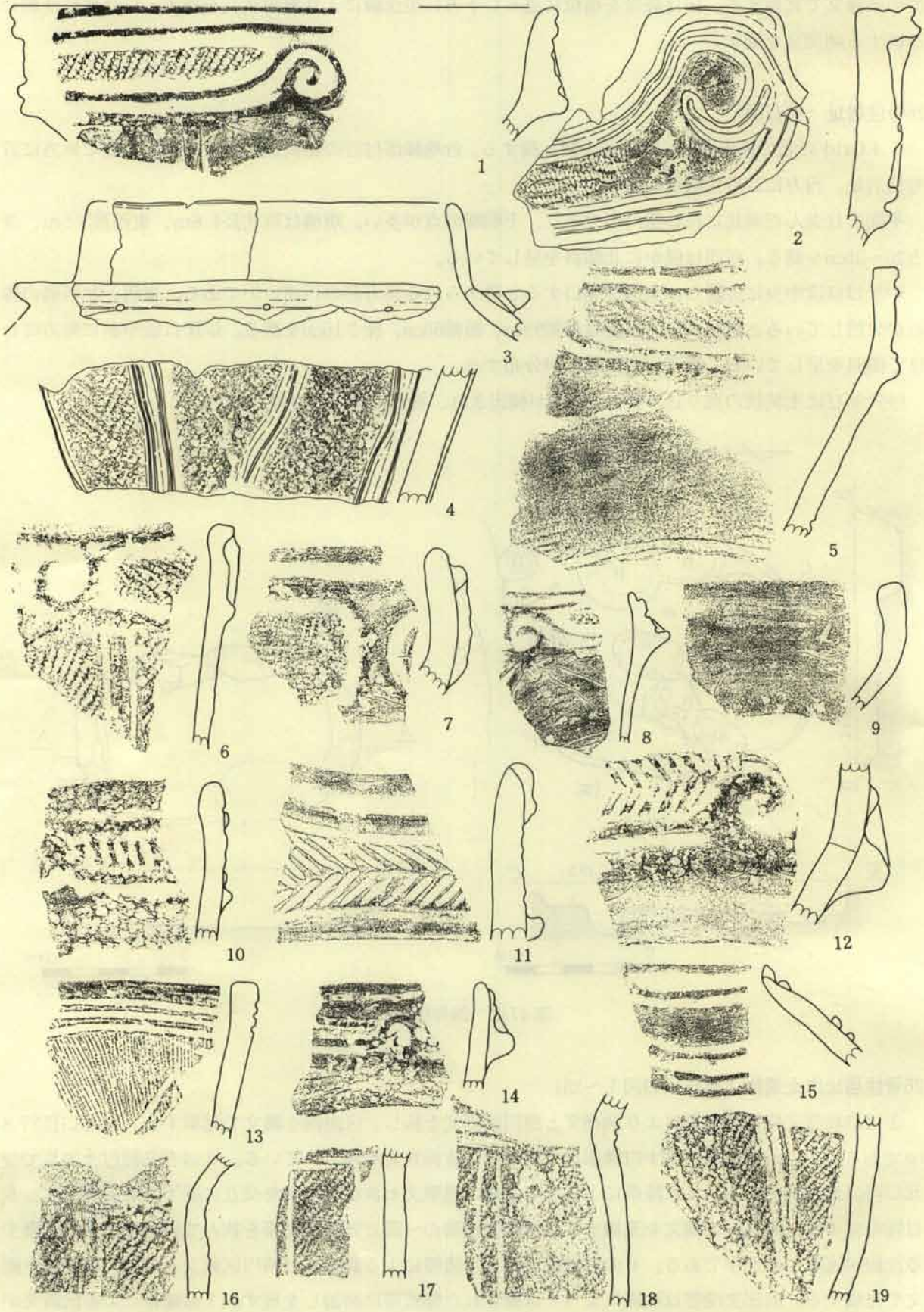
柱穴並びに土坑状の掘り込みは$P_1$～$P_8$が検出され、周溝は検出できなかった。



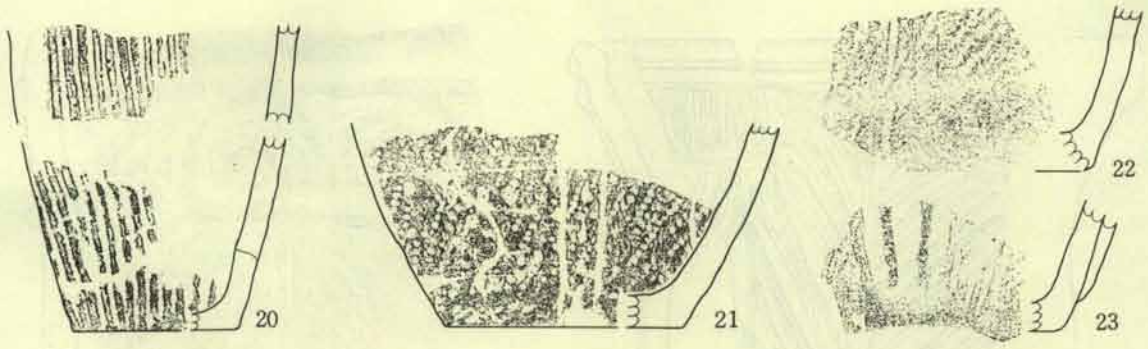

第 47 図　26号住居址

**26号住居址出土遺物**（第48、49図１～23）

１は口縁部文様帯を隆帯により渦巻文と楕円区画文を施し、区画内を縄文で充填する。復元口径27.8cmである。２は山形突起を付す口縁部片で隆帯による渦巻文が施されている。３は有孔鍔付土器片で復元口径は18.6cmである。４は隆帯による２本１組の懸垂文と波状懸垂文を交互に垂下させる胴部片。５は隆帯による区画文内に縄文を充填する口縁部文様帯の一部と頸部無文帯を挟んで胴部文様帯を区画する沈線が巡る口縁部片である。６の口縁部文様帯は隆帯による渦巻文と楕円区画文を配し、区画内を縄文で充填する。胴部文様帯は沈線によって区画された懸垂帯に磨消しを施す。７は隆帯による区画文が施されている。８は頸部無文帯と隆帯による渦巻文と楕円区画文を配する口縁部文様帯である。９は内




第48図　26号住居址出土遺物(1)

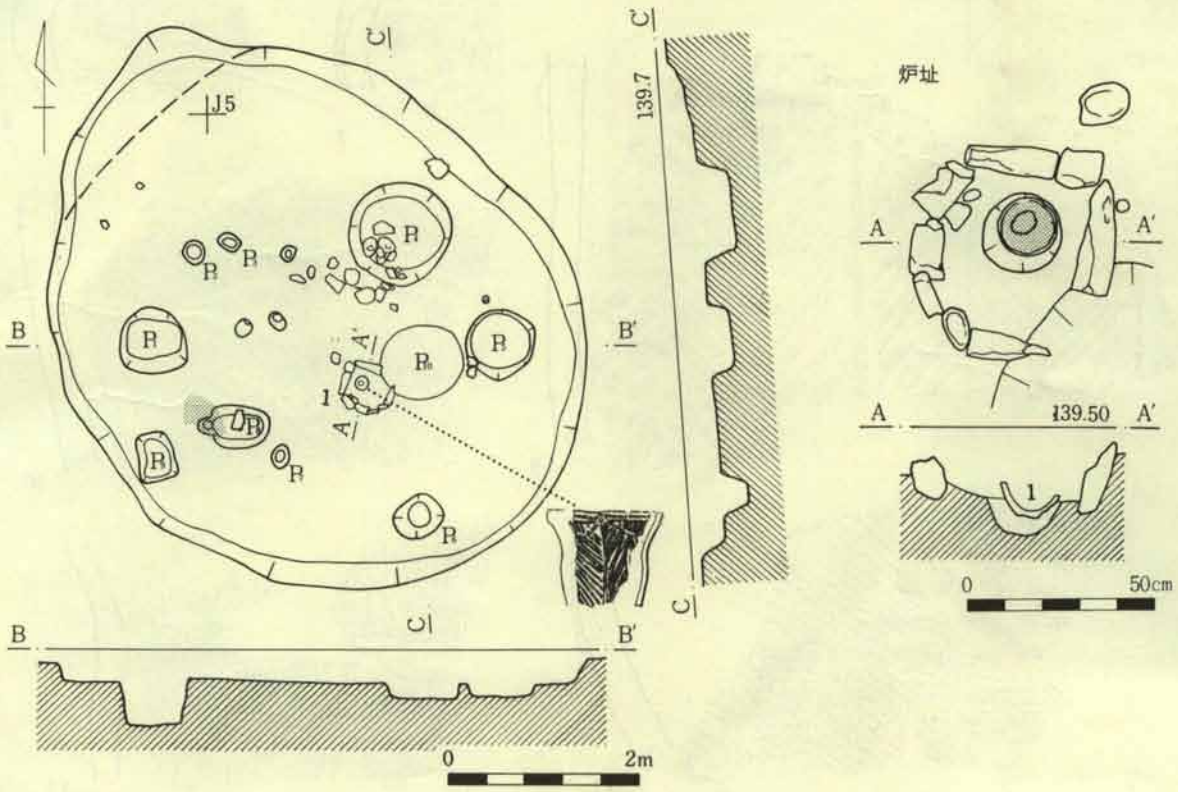



第 49 図　26号住居址出土遺物(2)

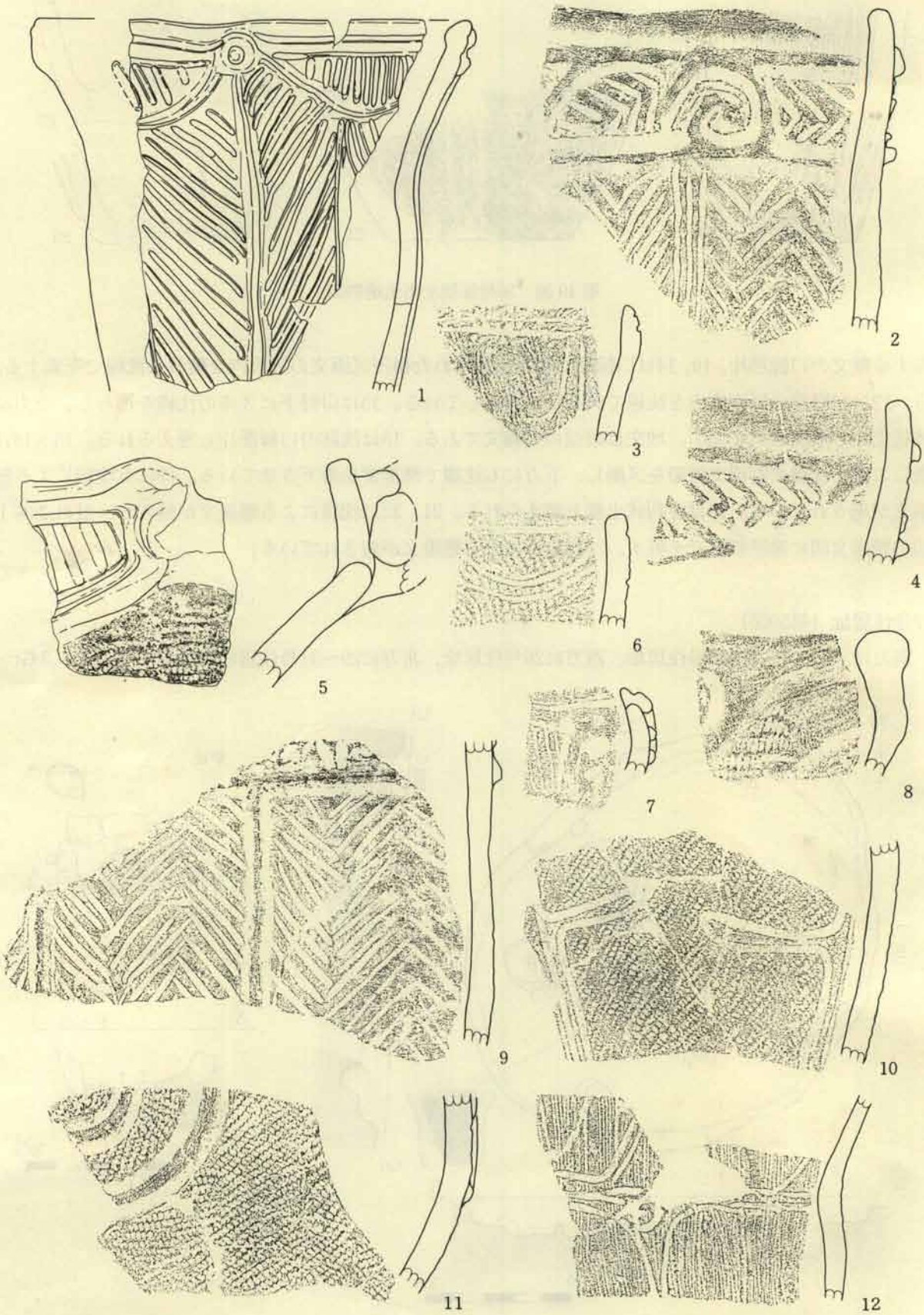
湾する無文の口縁部片。10、14は口縁部文様帯に施された楕円区画文の区画内を縦位の沈線で充填する。11、12は口縁部の区画文内を沈線で矢羽状に充填している。13は口唇下に３本の沈線を巡らし、下方に波状文らしき曲線文を施す。地文は縦位の条線文である。15は浅鉢の口縁部片と考えられる。16～18は横位に巡る沈線で胴部文様帯を区画し、下方にも沈線で懸垂文を垂下させている。19にも沈線による懸垂文が施されている。20は曽利式土器と考えられる。21、22は沈線による懸垂文が施され、21は２本１組の懸垂文間に連続刺突文を施す。23は隆帯による懸垂文が施されている。

**27号住居址**（第50図）

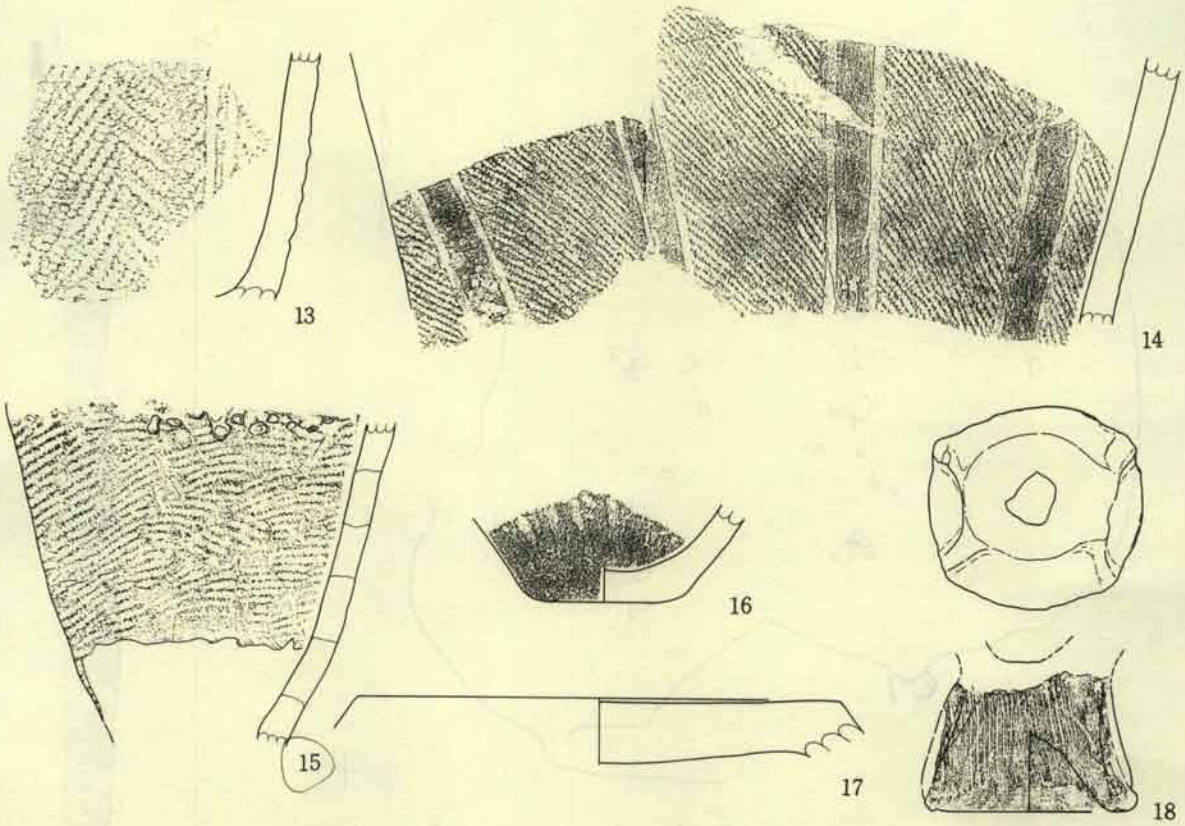
南方は１Ｍを挟んで25号住居址、西方に26号住居址、北方に29～31号住居址が隣接するＩ４・５Grid




第 50 図　27号住居址




第51図　27号住居址出土遺物(1)




第52図　27号住居址出土遺物(2)

に検出された。標高は139.60mを測る平坦部に位置する。

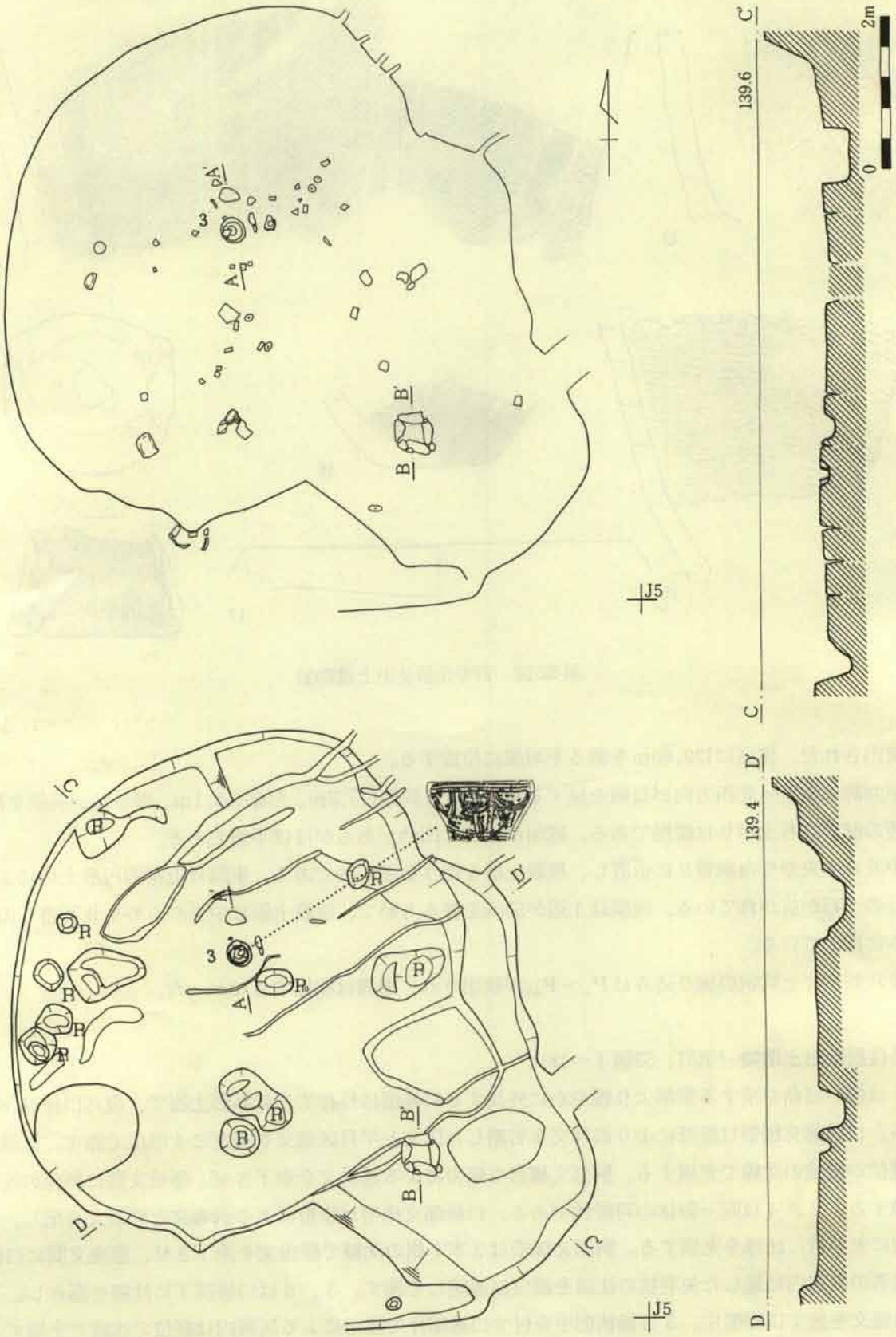
平面形は南東～北西方向が長軸を呈する楕円形で、長軸長5.7m、短軸長5.1m、深さ20cm前後を測り、北辺の壁の立ち上がりは緩慢である。底面は僅かな凹凸があるがほぼ平坦である。

炉址は中央やや南東寄りに位置し、埋設土器を伴う石囲い炉である。東隅は近世の円形土坑によって炉石の１石が抜かれている。規模は１辺が55cmを測る方形で、埋設土器は中央からやや北西寄りの掘り込みに据えている。

柱穴並びに土坑状の掘り込みは$P_1$～$P_{10}$が検出され、周溝は検出できなかった。

**27号住居址出土遺物**（第51、52図１～18）

１は弱い屈曲を呈する頸部より緩やかに外反する口縁部に移行する深鉢形土器で、復元口径21.8cmを測る。口縁部文様帯は隆帯により渦巻文を省略した円文と半月区画文を交互に４単位で施す。区画文内は縦位か斜位の沈線で充塡する。胴部文様帯も隆帯による懸垂文を垂下させ、懸垂文間に斜位の沈線を充塡する。２、４は同一個体の可能性がある。口縁部文様帯は隆帯による渦巻文と区画文を配し、区画文内に矢羽状に沈線を充塡する。胴部文様帯は３本１組の沈線で懸垂文を垂下させ、懸垂文間に口縁部文様帯の区画内に施した矢羽状の沈線を縦位に連続して施す。３、６は口唇部下に沈線を巡らし、下方に曲線文を施す口縁部片。５は橋状把手を付す口縁部片で隆帯による区画内は縦位の沈線で充塡する。７は隆帯に円形刺突文を施し、区画文内には縦位の沈線を充塡している。８は口唇部が玉縁状を呈する口縁部片。９は隆帯による懸垂文を垂下させ、懸垂文区画内を矢羽状に斜位の沈線を縦位に施す。10は




第53図　28、29号住居址

沈線による懸垂文を垂下させ、途中で相対する角状の曲線文を施文する。11は縄文で充填し、隆帯で曲線文を施す。12は頸部に巡る沈線より円文をはさんで懸垂文を垂下させる。地文は縦位の条線文で充填している。13は沈線による懸垂文を垂下させる。14は磨消し懸垂帯を垂下させる胴部片。15は頸部に交互刺突文を巡らす。16は沈線による懸垂文が施させれている。17は器台形土器片。18は脚台付土器の脚部で条線文を施す。

**28、29号住居址**（第53図）

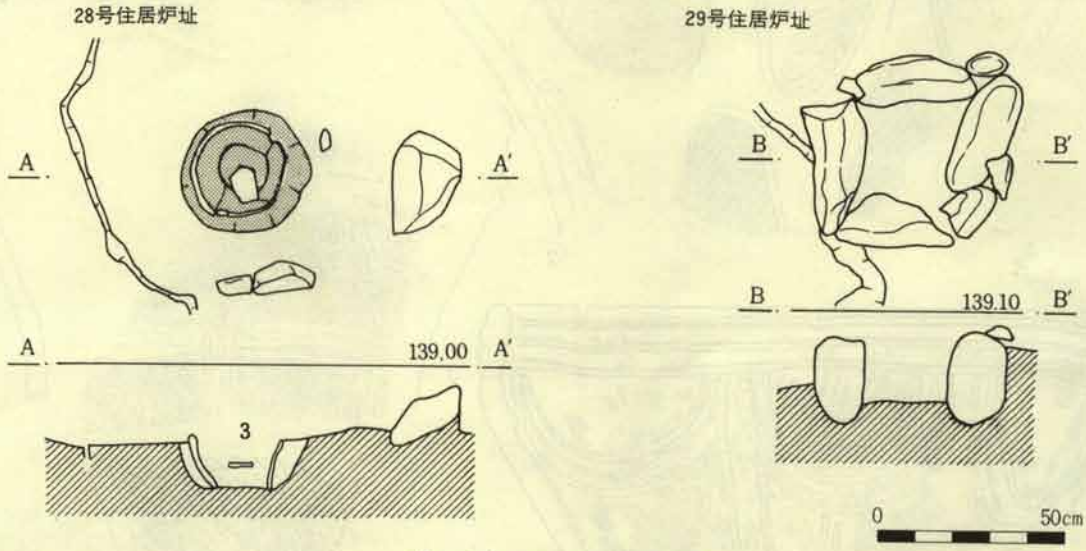
28号住居址はＪ４Grid に包括され、29号住居址との重複関係は28号住居址が後出の所産と考えられる。北東に32号住居址、東には30号住居址、そして南には29号住居址を挟んで26号、27号住居址が隣接する台地縁部に検出された。住居址の北辺で標高139mを測る。

平面形はやや南北に長い楕円形を呈し、その規模は長軸6.8m、短軸5.2m前後を測り、20cm以下の壁高が残存する。床面は地震による亀裂が北東方向から南西に向けて走行し、僅かであるが亀裂間の床面に段差が生じている。

炉址はほぼ中央に位置し、埋設土器（第55図３）を伴う石囲い炉が考えられる。しかし、石囲いに伴う縁石の残存が悪いためにその形状は定かでない。埋設土器は33cm前後の円形を呈する掘り込みに正位に据えられている。縁石は埋設土器の北に１石、東に２石が残る。

柱穴は$P_1$～$P_{10}$に可能性が考えられるが規則性はない。周溝は検出されなかった。

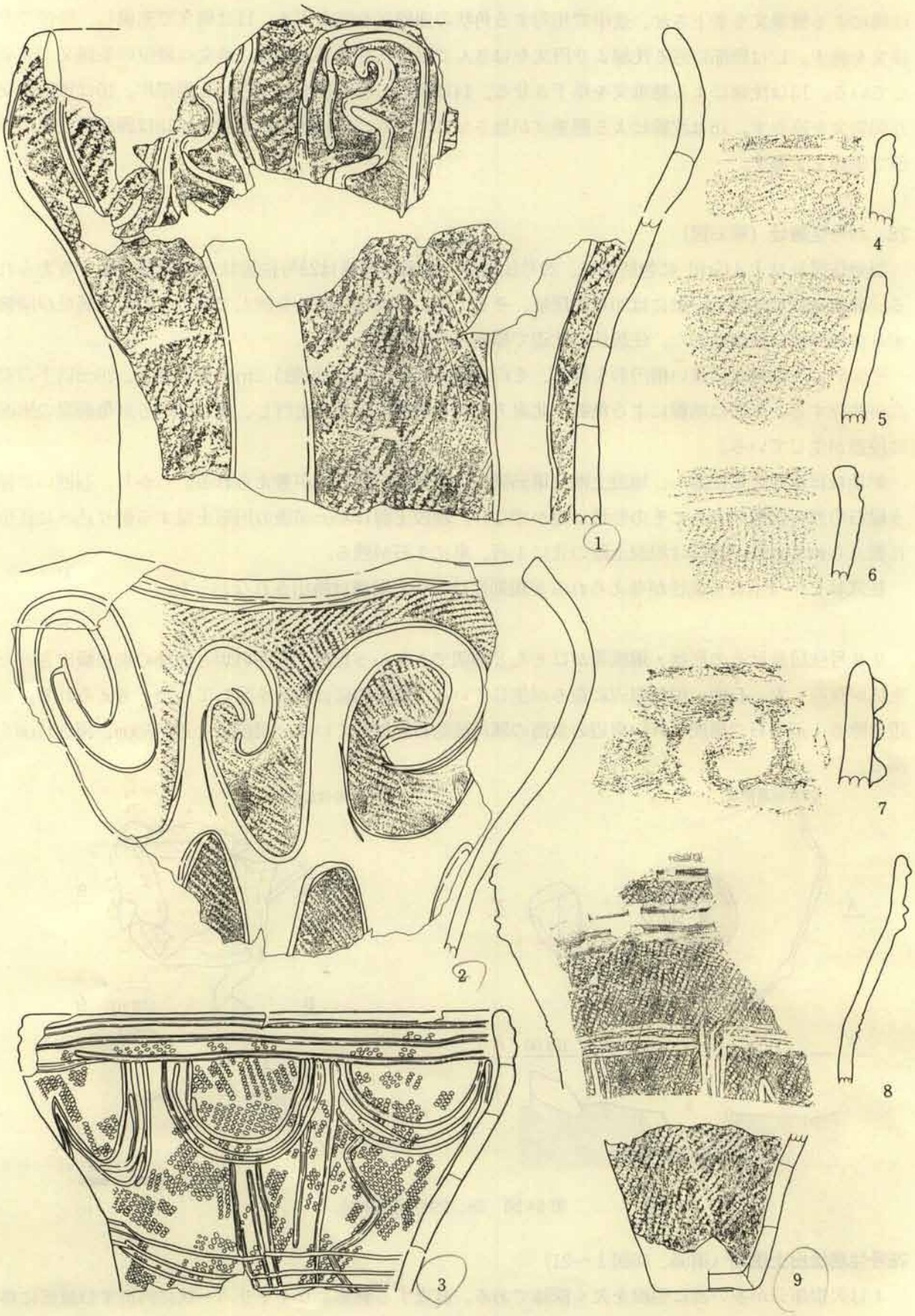
２９号住居址はその形状・規模等がほとんど解明できなかったが、石囲い炉と炉址の東に検出された土坑が存在した。石囲い炉は南辺に歪みが生じているが基本的には方形を呈していたと考えられる。南辺を除き１辺１石で構成され、南辺の東西の隅に補助石を加えている。規模は１辺が50cm、深さ17cmを測る。



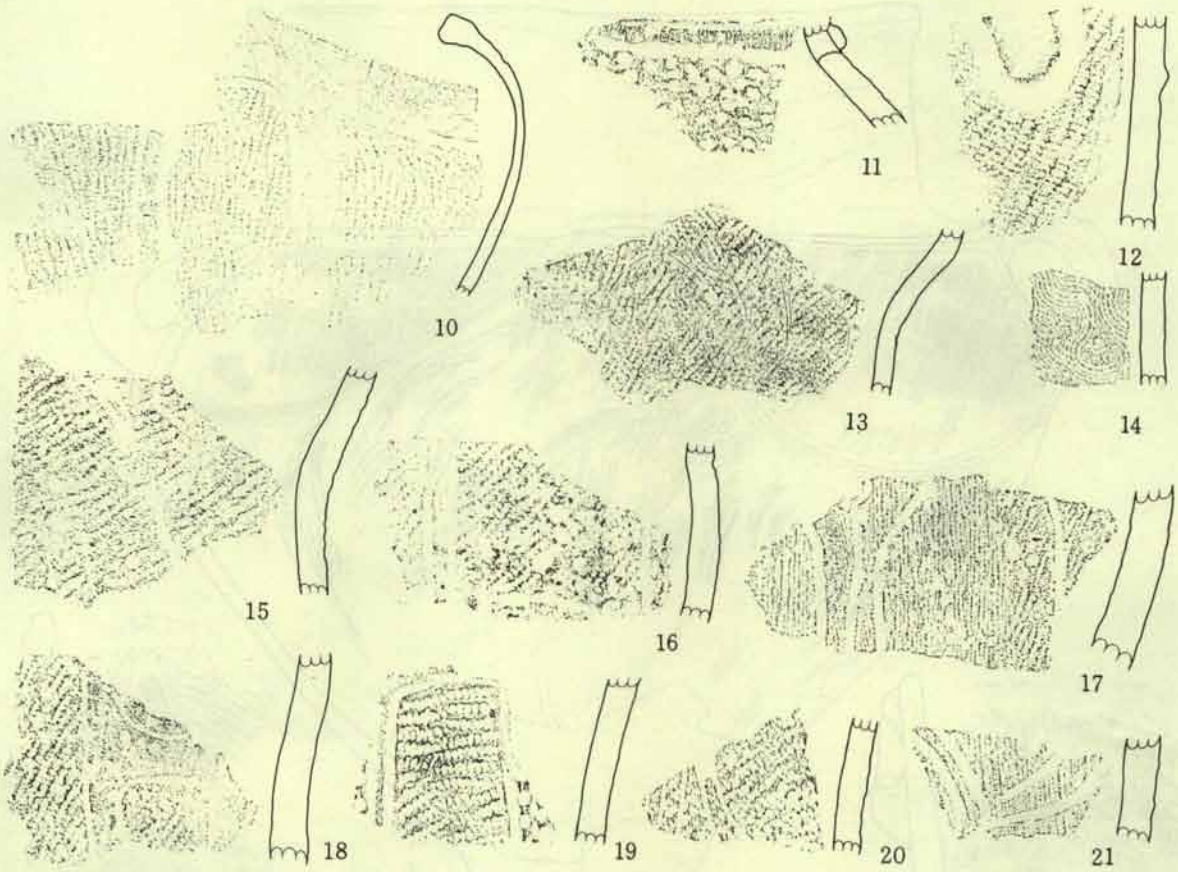

第54図　28、29号住居炉址

**28号住居址出土遺物**（第55、56図１～21）

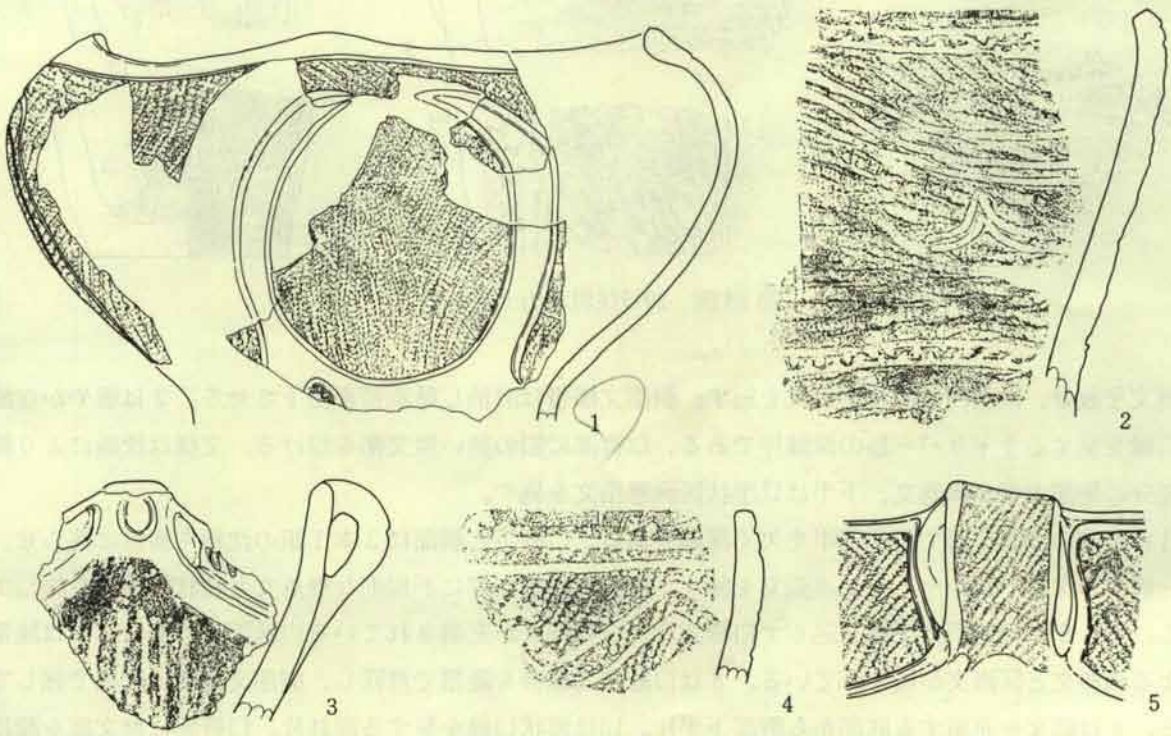
１は欠損部分が多い為に明瞭を欠く深鉢である。直立する胴部よりキャリパー状に内湾す口縁部に移行する。口縁部には突起が付されていたと思われる部分がある。口縁部文様帯は沈線による縦位の枠状



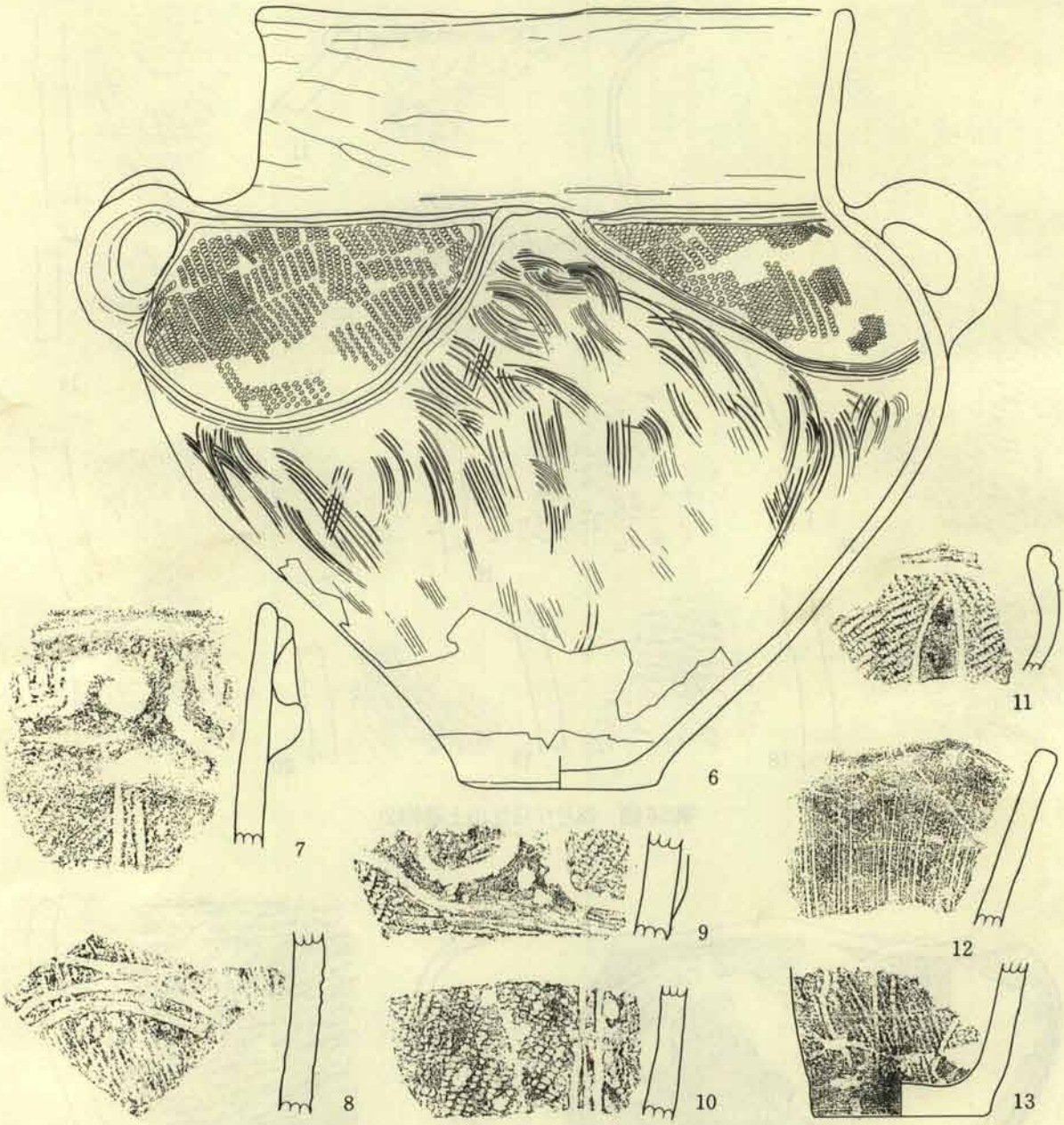

第 55 図　28号住居址出土遺物(1)




第56図　28号住居址出土遺物(2)




第57図　29号住居址出土遺物(1)




第58図　29号住居址出土遺物(2)

区画文を設け、区画内に波状懸垂文を施す。胴部文様帯は磨消し懸垂帯を垂下させる。2は緩やかな波状口縁を呈するキャリパー形の深鉢片である。口唇部に幅の狭い無文部を設ける。文様は沈線により縄文部分の胴部上半が渦巻文、下半はU字状区画懸垂文を施す。

3は炉内の埋設土器で胴部下半を欠く深鉢である。口唇下と胴部に3本1組の沈線を横位に巡らせ、同一構成の沈線で口縁部上半に連弧文を施す。連弧文の施文前に不規則な懸垂文と波状懸垂文を施している。4、6は口唇下に沈線を巡らす口縁部片。5は縄文が充填されている口縁部片である。7は隆帯による渦巻文と区画文が施されている。8は口縁部文様帯を隆帯で意匠し、胴部文様帯は沈線で施している。9は縄文を充填する底部から胴部下半片。10は波状口縁を呈する深鉢片。口唇部に無文部を設け磨消しを伴うU字状区画文が施されている。11は頸部に隆帯を巡らし、下方は突刺文を施す。12は微隆

帯による意匠文を施す。13、15は直立気味の胴部から外反して開く口縁部に移行する破片。14は条線文を渦巻状に施文する。16、20は沈線により懸垂文等を施す。17、21は地文を縦位の条線文で充填し、沈線により意匠文を施す。18は磨消しを伴うH状区画文が施されている。19は垂下する２本の沈線文間に連続刺突を施す懸垂文と枠状区画文が施されている。

**29号住居址出土遺物**（第57、58図１～13）

１は４単位の波状口縁を呈するキャリパー形の深鉢片で口唇部に無文部を設けている。口縁部分が文様帯に角状の磨消しを伴う沈線によって区画文が施されている。２は口唇部下と胴部に連続交互刺突文を施す沈線を巡らし、口縁部文様帯に波状文を施す。３は円文を施す橋状把手を付す波状口縁の深鉢片で、把手の脇に僅かにであるが縦位の沈線が見られる。４は２本１組の平行沈線文を口唇部下に巡らし、下方に波状文を施す。

６は土坑内の出土の両耳壺。口径25.8cm、器高34.2cm、底径７cm、最大胴部径36cmを測る。直立気味に立つ無文の口縁部で肩部は脹む。胴部は両耳の間を隆帯により波状に繋ぎ内部に縄文を充填する。下方は櫛歯状文をランダムに施す。５は両耳壺の把手部分で上面にも縄文を施している。７は直立気味にやや開く深鉢。口縁部文様帯は隆帯による渦巻文と区画文が施され、区画内を縦位の沈線で充填する。胴部には沈線による懸垂文を垂下させている。８は沈線により曲線文を施す。９は隆帯により渦巻文と区画文を入り組み状に配している口縁部片。10は沈線による懸垂文を垂下させる胴部片。11は沈線による磨消しを伴う剣先状区画を施す口縁部片。12は直線的に開く口縁部片で条線文を施す。13は沈線で懸垂文と波状懸垂文を垂下させる。

**30、31号住居址**（第59図）

Ｊ４，５Grid に検出され、30号住居址が31号住居址を切って作られている。南方に27号、西方に28・29号、北方に32・33号住居址が隣接する。標高は30号住居址周辺で139.60ｍを測る。

30号住居址は５～5.15ｍを測るやや歪みを呈する円形で、20～30cmの壁高が残存する。床面には地震による亀裂が北東～南西に走行し、段差を生じている。

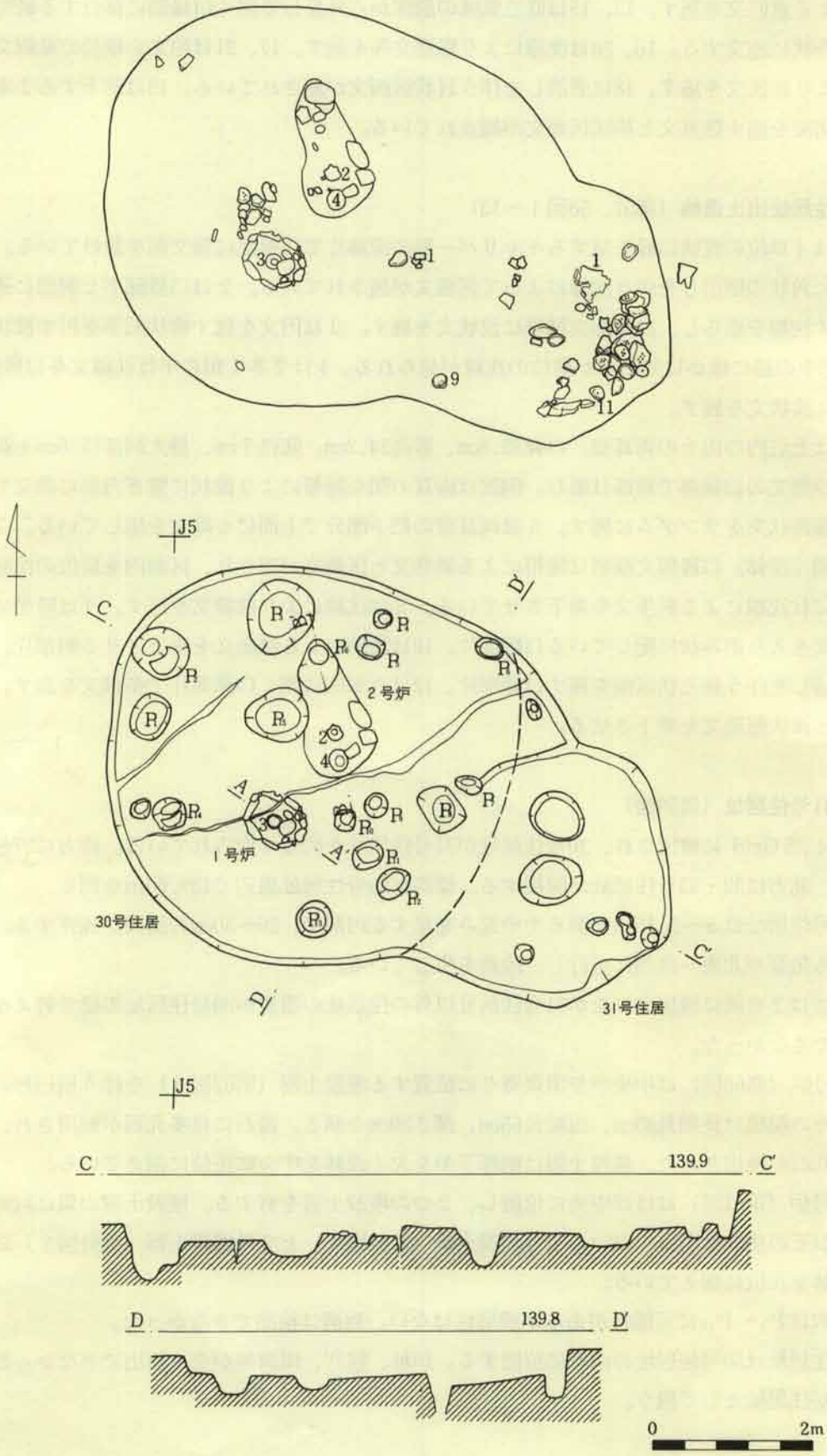
炉址は２カ所に検出されたが31号住居址以外の住居址の重複か30号住居址の建て替えが考えられるが確認できなかった。

１号炉（第60図）は中央やや南東寄りに位置する埋設土器（第62図３）を伴う楕円形の石囲い炉である。その規模は長軸長85cm、短軸長65cm、深さ20cmを測る。縁石には多孔石が転用され、炉内にも凹石と多孔石が検出された。埋設土器は胴部下半を欠く深鉢を中央に正位に据えている。

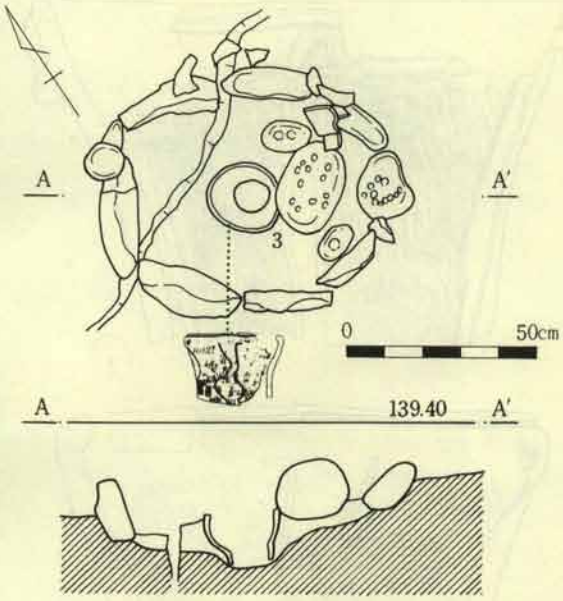
２号炉（第61図）はほぼ中央に位置し、２つの埋設土器を有する。埋設土器の東に河原石が３つ残存するがその構成は明確でない。１号埋設土器（第61図４）と２号埋設土器（第61図２）は胴部下半を欠く深鉢を正位に据えている。

柱穴は$P_1$～$P_{16}$に可能性があるが規則性はない。周溝は検出できなかった。

31号住居址は30号住居址の南東に位置する。炉址、柱穴、周溝等が全く検出できなかった竪穴状遺構であるが住居址として扱う。




第59図　30、31号住居址




第60図　30号住居１号炉址

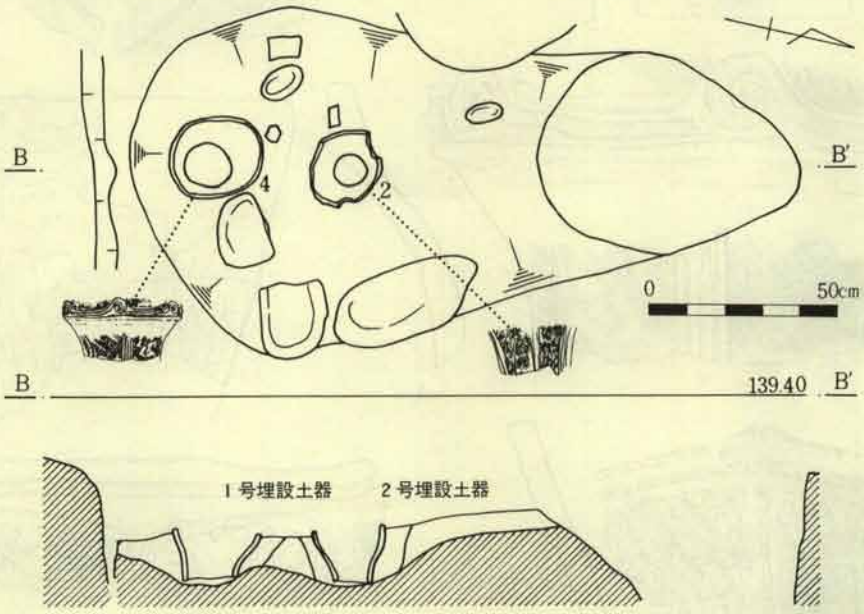
**30号住居址出土遺物**（第62～64図１～44）

１は山形の小突起を２カ所に付す深鉢で、口径20.5cm、器高（小突起を含む）28.8cm、底径8.2cmを測る。突起間のほぼ中央にはボタン状の貼り付け文を付す。地文は細かい条線文で器面を充填する。

２は２号炉の２号埋設土器で胴部下半と口縁部の大半を欠く深鉢。口縁部文様帯は横位に巡る隆帯で区画され、区画内に円文を施す。胴部文様帯は沈線で区画された磨消し懸垂帯を垂下させる。

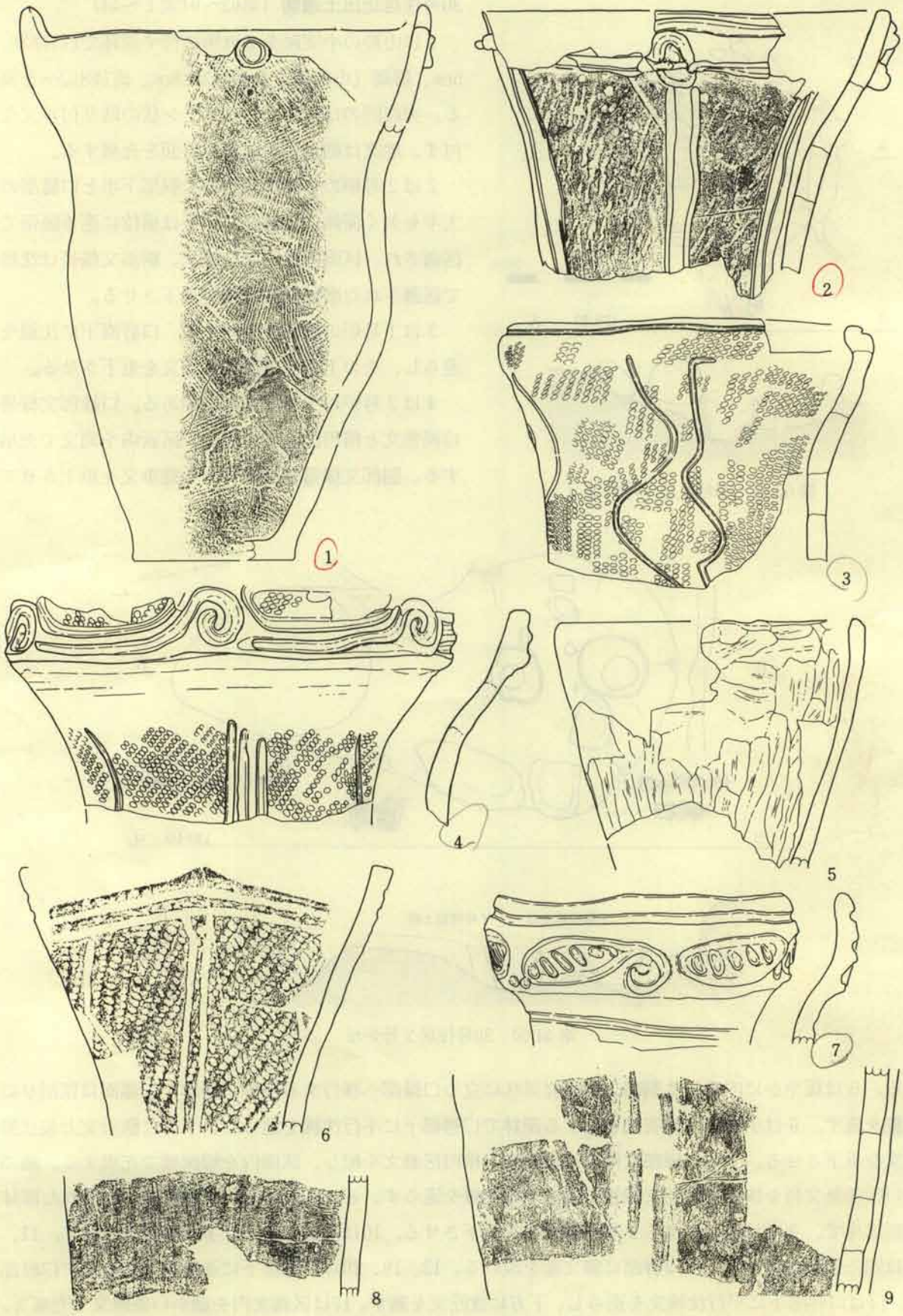
３は１号炉の埋設土器である。口唇直下に沈線を巡らし、その下方には波状懸垂文を垂下させる。

４は２号炉の１号埋設土器である。口縁部文様帯は渦巻文と楕円区画文を配し、区画内を縄文で充填する。胴部文様帯は沈線による懸垂文を垂下させて

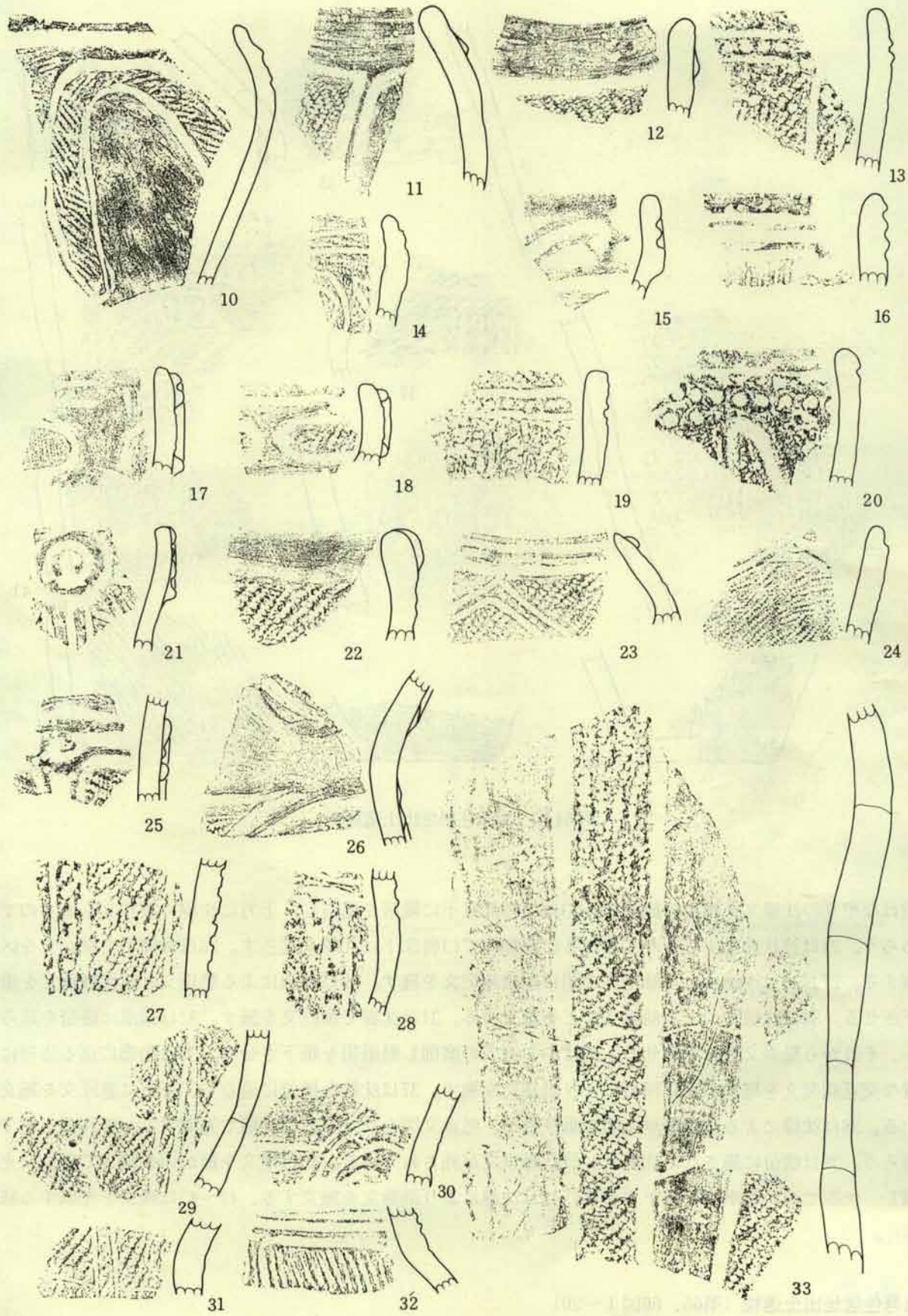



第61図　30号住居２号炉址

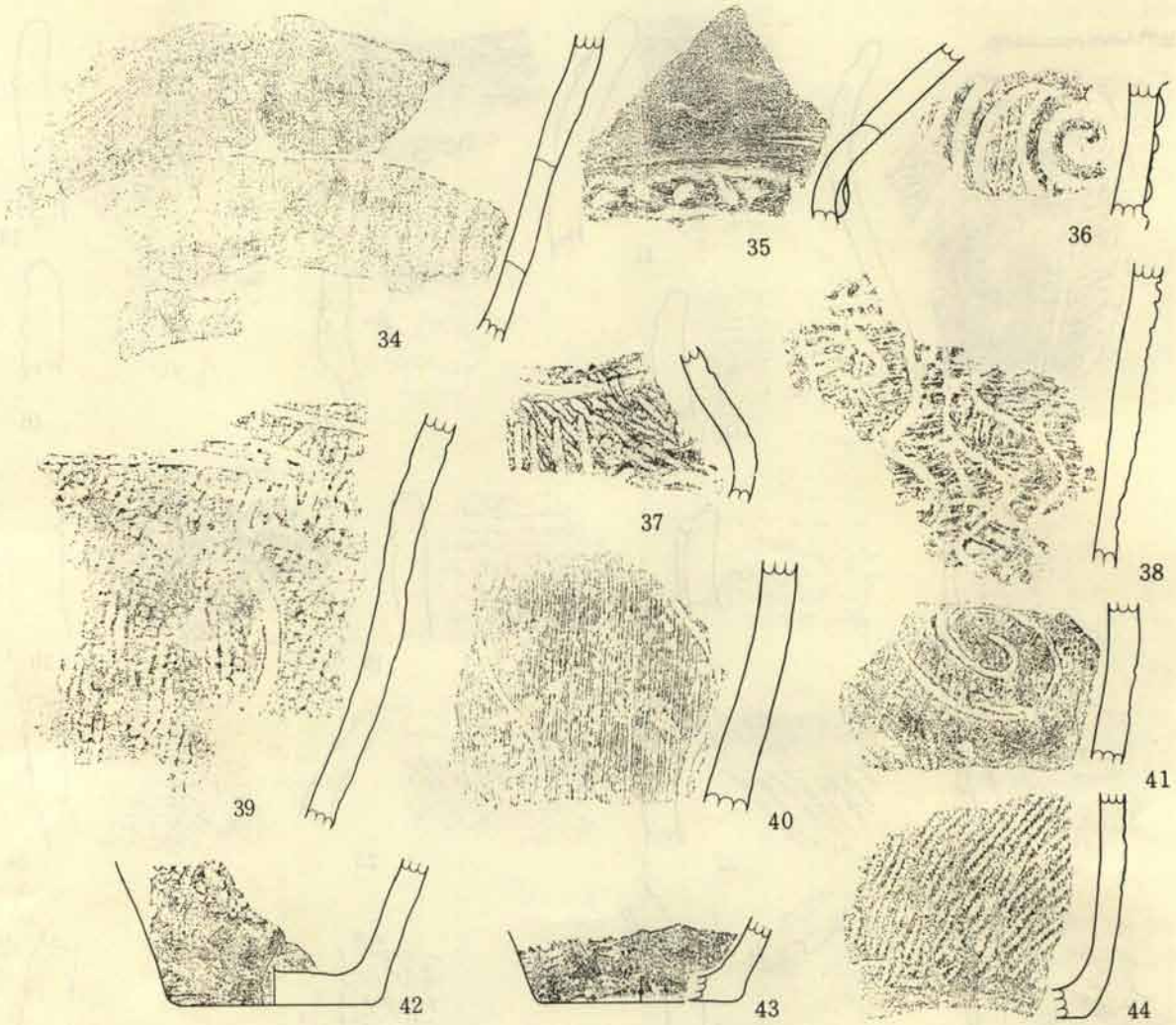
いる。５は緩やかに内湾する胴部より直立気味に立つ口縁部へ移行する小形の深鉢で、器面は箆削りの調整を施す。６は小さな山形突起を有する深鉢で口唇部下に平行沈線を巡らし、下方に懸垂文と波状懸垂文を垂下させる。７の口縁部文様帯は渦巻文と楕円区画文を配し、区画内を短沈線で充填する。幅の狭い頸部無文帯を挟んで胴部文様帯を区画する沈線を巡らす。８、９、34は丁寧に器面調整された深鉢の胴部片で、９には隆帯による２本の懸垂文を垂下させる。10は沈線によるU字状区画文を施す。11、12は同一個体と考えられ、口唇部に無文部を設ける。13、19、20は口唇部下に連続刺突文を施す口縁部片。14は口唇部下に平行沈線文を巡らし、下方に意匠文を施す。17は区画文内を細かい条線文で充填し、18は区画文内を縄文で充填する。21、25は口縁部文様帯に渦巻文を配し、下方に懸垂文を垂下させる。




第62図　30号住居址出土遺物(1)




第63図　30号住居址出土遺物(2)

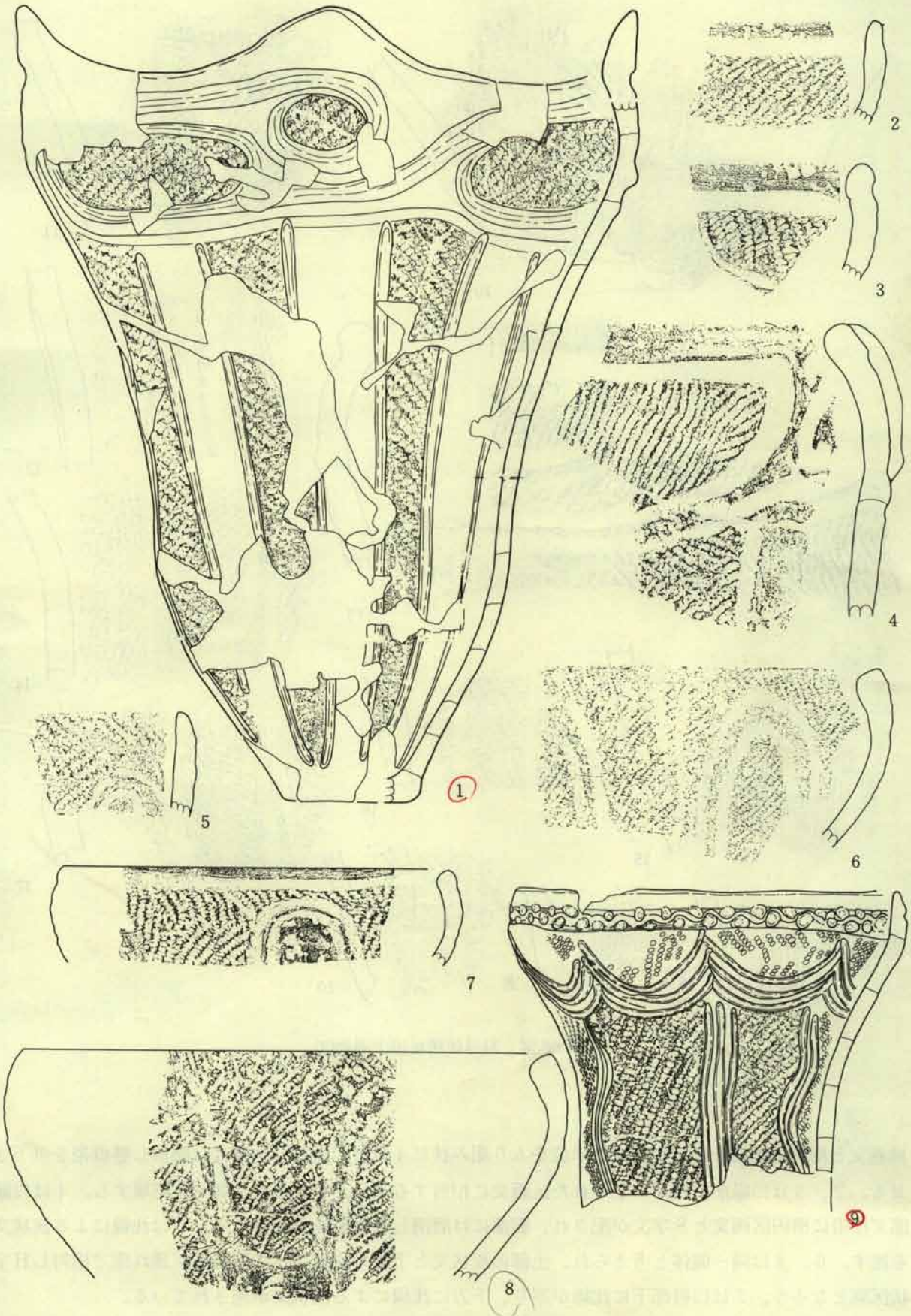



第64図　30号住居址出土遺物(3)

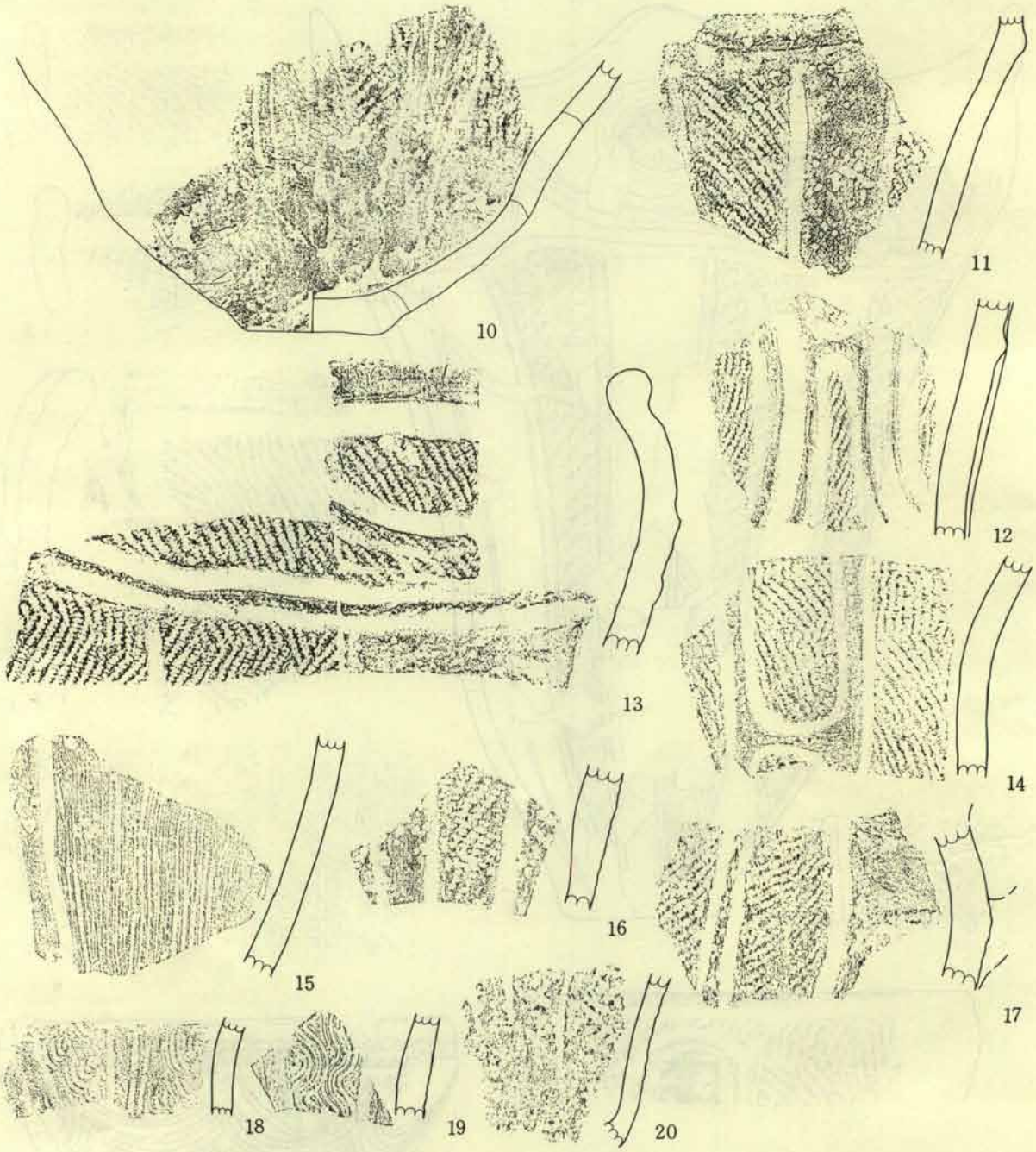
22はなぞりの沈線文を施す口縁部片。23は口唇部直下に隆帯を巡らし、下方に沈線で波状文を施すのであろう。24は波状を呈すると考えられる口縁部片で口唇部下に沈線を巡らす。26は微隆帯で意匠文を区画する。27、28は沈線による懸垂文の間に連続刺突文を施す。29は沈線による懸垂文と波状懸垂文を垂下させる。30は沈線文により曲線文などを施文する。31は沈線で意匠文を施す。32は頸部に隆帯を巡らし、それから懸垂文を垂下させる。33はやや幅広の磨削し懸垂帯を垂下させる。35は頸部に巡る隆帯に雑な交互刺突文を施す。36は隆帯により渦巻文を施す。37は沈線を横位に巡らし、下方に意匠文を施文する。38は沈線による波状懸垂文等を垂下させ、懸垂文間をランダムに沈線で充塡する。曽利式土器であろう。39は横位に施された沈線文と波状懸垂文が施されている。40は地文を細かい条線文で縦位に充塡し、沈線で波状懸垂文を垂下させる。41は沈線により渦巻文を施文する。42～43は縄文を充塡する底部片。

**31号住居址出土遺物**（第65、66図１～20）

１は４単位の波状を呈する深鉢形土器で、口径32cm、器高41.5cm、底径6.5cmを測る。口縁部文様帯は




第 65 図　31号住居址出土遺物(1)




第66図　31号住居址出土遺物(2)

渦巻文と楕円区画文を連結した文様単位を入り組み状に4単位で配し、胴部には磨消し懸垂帯を垂下させる。2、3は口縁部文様帯に配された区画文に相当する部分と考えられ、縄文を充填する。4は口縁部文様帯に楕円区画文とS字文が配され、胴部には磨消し懸垂帯を垂下させる。5は沈線による波状文を施す。6、8は同一個体と考えられ、上部の波状文と下部の逆U字状の区画文が頸れ部で相対しH字状区画となろう。7は口唇部下に沈線が巡り、下方に沈線による波状文が施されている。

9は口唇部下に連続交互刺突文を巡らし、その下方には3本1組の沈線で連弧文そして懸垂文と波状

懸垂文を交互に垂下させる。10は底部より外反して開く胴部に移行する。沈線による懸垂文が垂下している。11、16は磨消し懸垂帯を垂下させる。12は隆帯で14は磨消しでＨ字状区画文が施されている。13は幅広の磨消し懸垂帯が施されている。15は縦位の条線文を充填する。17は橋状把手が付されていた胴部片。18、19は条線文により波状文を施す。20は沈線による懸垂文が施されている。

**32号住居址**（第67図）

Ｋ５Grid point の四方に広がり東に33号住居址、西に28、29号住居址、南に30、31号住居址が位置する台地縁部に検出された。東の33号住居址との重複関係は不明である。

形状は、柱穴の配置より円形が考えられる。その規模は、４、３ｍ前後の径を測る。床面には地震による亀裂が北東～南西方向に数多く走行し、多少段差を生じている。

炉址は埋設土器を伴う石囲い炉と考えられる。石囲いの縁石は５石が残存するがその配置は明確でない。埋設土器（第69図５）は正位に据えられている。

柱穴は$P_1$～$P_9$に可能性が考えられる。周溝は検出できなかった。

**33号住居址**（第67図）

32号住居址の東に位置し、同住居址と重複するが新旧関係は不明である。形状は円形を呈すると考えられ、3.9m前後の径と推察され、残存する壁高は20～30cmを測る。床面は西方部が緩やかに傾斜を呈している。

炉址は明瞭ではないが、$P_{11}$の土坑状掘り込みの北の立ち上がり部に焼土分布が確認される。この部分に地床炉が位置したと思われる。柱穴は$P_9$、$P_{10}$を除く壁沿に巡る$P_1$～$P_8$に可能性が考えられる。周溝は検出できなかった。

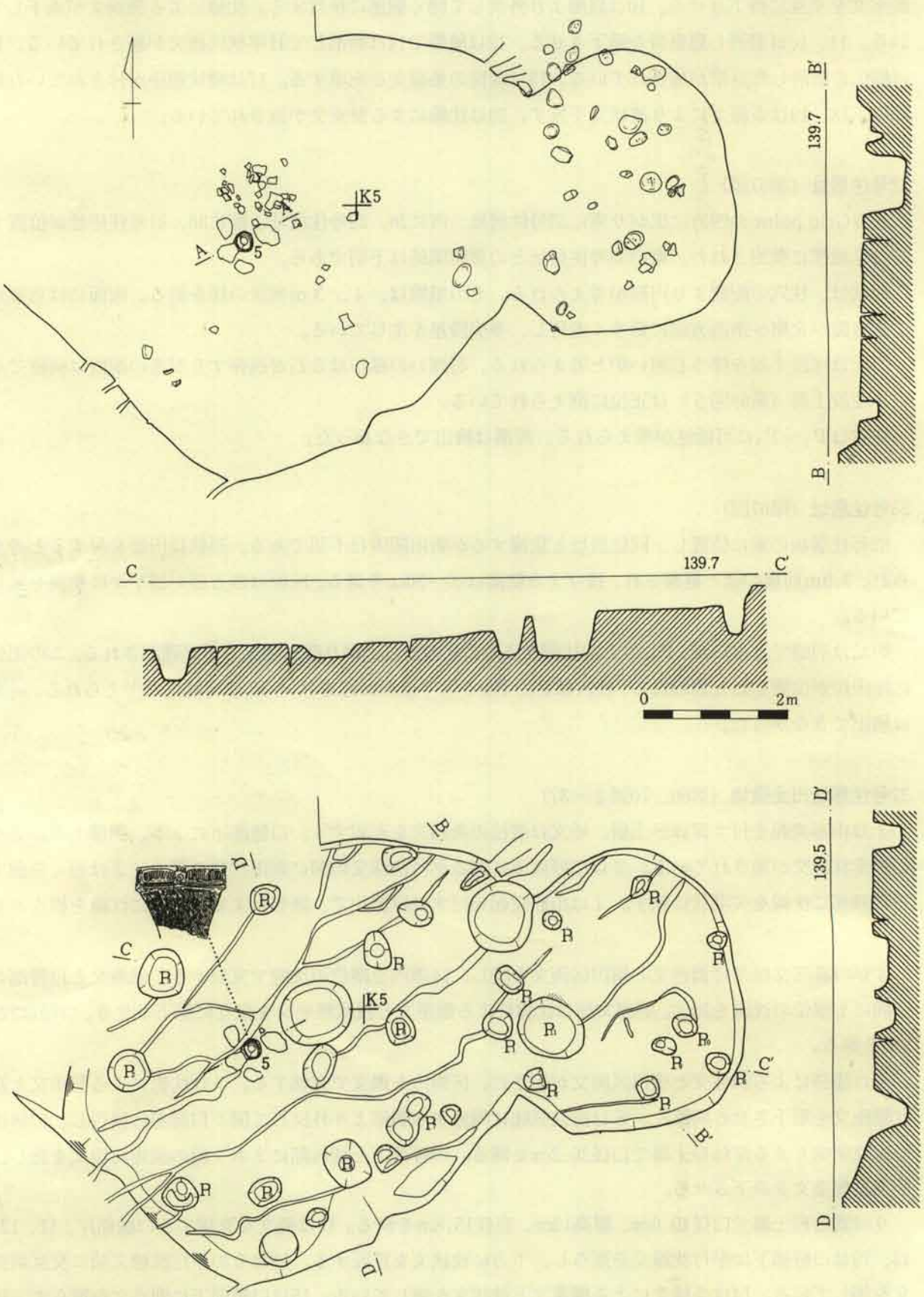
**32号住居址出土遺物**（第69、70図１～37）

１は山形突起を付す深鉢形土器。地文は縦位の条線文を充填する。口唇部下に２本、胴部上半に３本の横走沈線文が施されている。２は口唇部下に巡る平行沈線文の間に鋸歯状文を施す。３は短く屈曲する口縁部に沈線を矢羽状に施す。４は山形突起を付す口縁部片で、隆帯による区画内に沈線を横走させる。

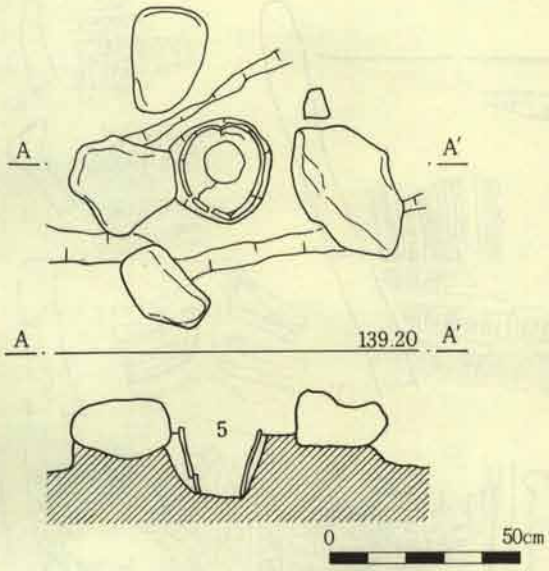
５は口縁部文様帯に渦巻文と楕円区画文を配し、区画内を縦位の沈線で充填する。渦巻文と口唇部の空間にも縦位の沈線を施す。胴部文様は沈線による懸垂文と波状懸垂文を交互に垂下させる。口径は22.5cmを測る。

６は隆帯による渦巻文と楕円区画文が配され、区画内を縄文で充填する。７は沈線による懸垂文と波状懸垂文を垂下させる胴部片。８は直立気味に内湾する胴部より外反して開く口縁部に移行し、口唇部を直立気味とする深鉢形土器で口径26.2cmを測る。口唇部下と括れ部に２本１組の横走沈線文を施し、胴部は懸垂文を垂下させる。

９は器台形土器で口径10.6cm、器高12cm、底径15.8cmを測る。10は縄文を充填する口縁部片。11、12、13、19は口唇部下に平行沈線文を巡らし、下方に波状文を意匠する。13はその平行沈線文間に交互刺突文を施している。14は条線文による横走文と波状文を施している。15は口唇部下に列点文を巡らす。16は口唇部に無文帯を設け、隆帯による区画文を施す。17は口縁部文様帯を隆帯により渦巻文と区画文で




第67図　32、33号住居址



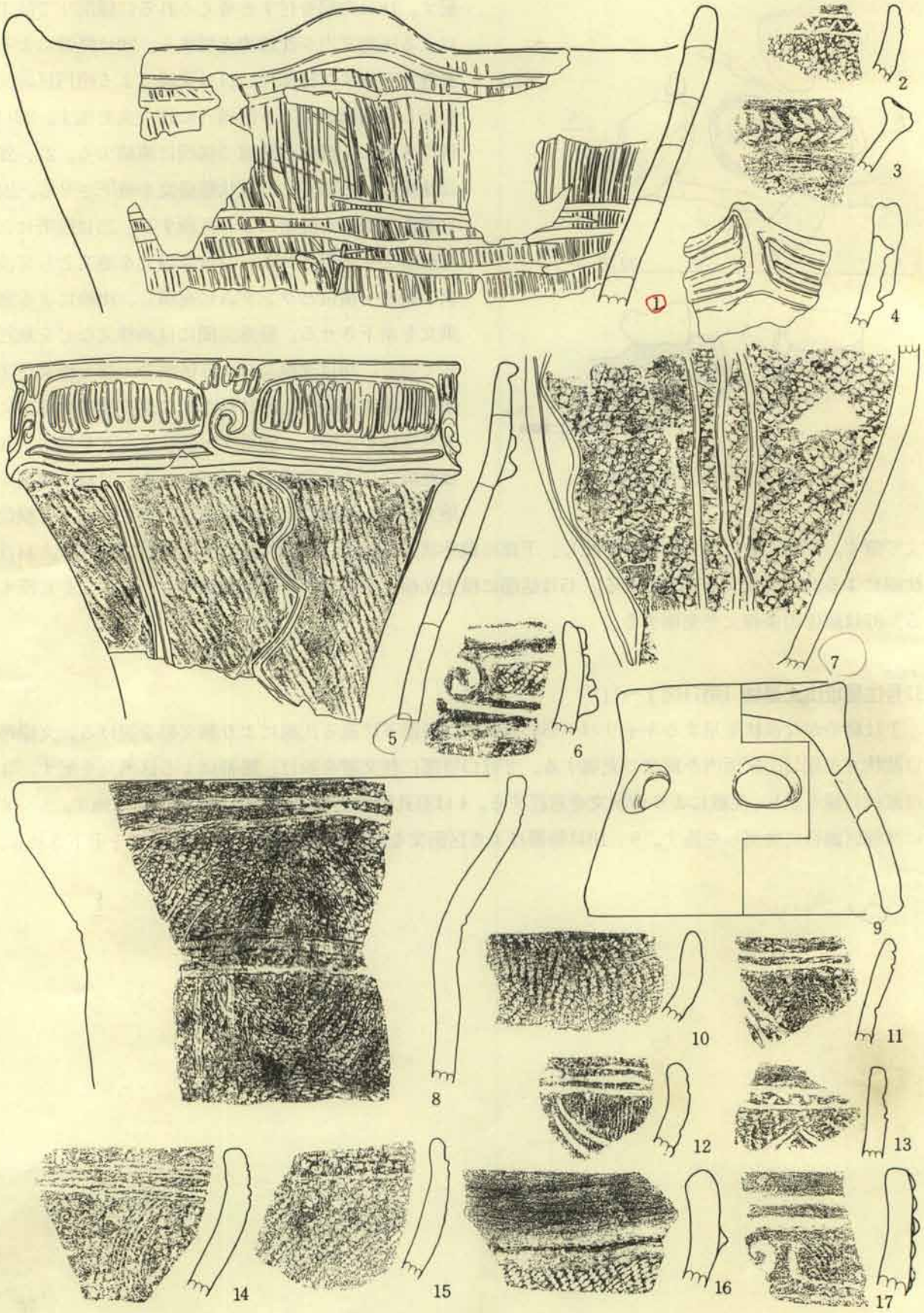

第68図　32号住居炉址

配す。18は突起を付すと考えられる口縁部片で隆帯による区画文内を沈線で充填する。20は隆帯による渦巻文を施す口縁部片。21は沈線による楕円区画文を配し、区画の上下と区画内に列点文を施す。22は楕円区画文を横位の沈線で梯状に連結する。23、26は沈線による懸垂文と波状懸垂文を垂下させる。24は胴部文様帯を隆帯により区画する。25は隆帯により懸垂文を垂下させる。27は条線文を地文として波状・縦位・横位とランダムに充填し、沈線による懸垂文を垂下させる。懸垂文間には渦巻文などを意匠している。28は沈線文による区画の上部を縄文、下部を条線文で施す。29は括れ部に巡る横走沈線文により文様を区画し、懸垂文・波状文などを施す。30は沈線文により懸垂文を垂下させる。31は条線文を地文とし、沈線により曲線文を対称させ弧文と横位文で繋ぐ。32は沈線による波状文を配し、下部に蕨手状文を施す。33は沈線による意匠文を施す。34は沈線による波状懸垂文を垂下させる。35は括部に横走沈線文を巡らす。36は沈線により波状文を意匠する。37は縦位の条線文を充填する。

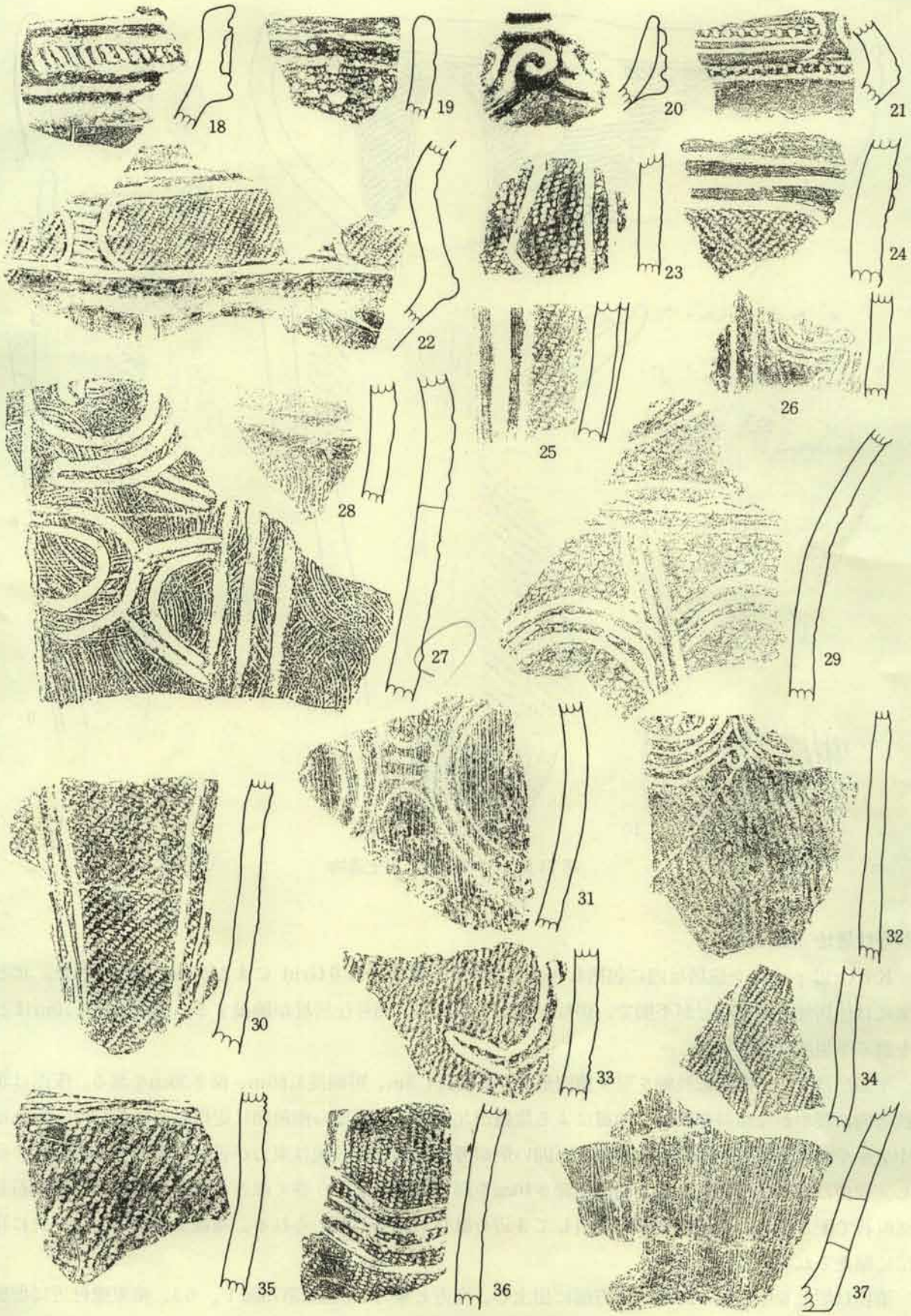
(34H)

**33号住居址出土遺物**（第71図１～11）

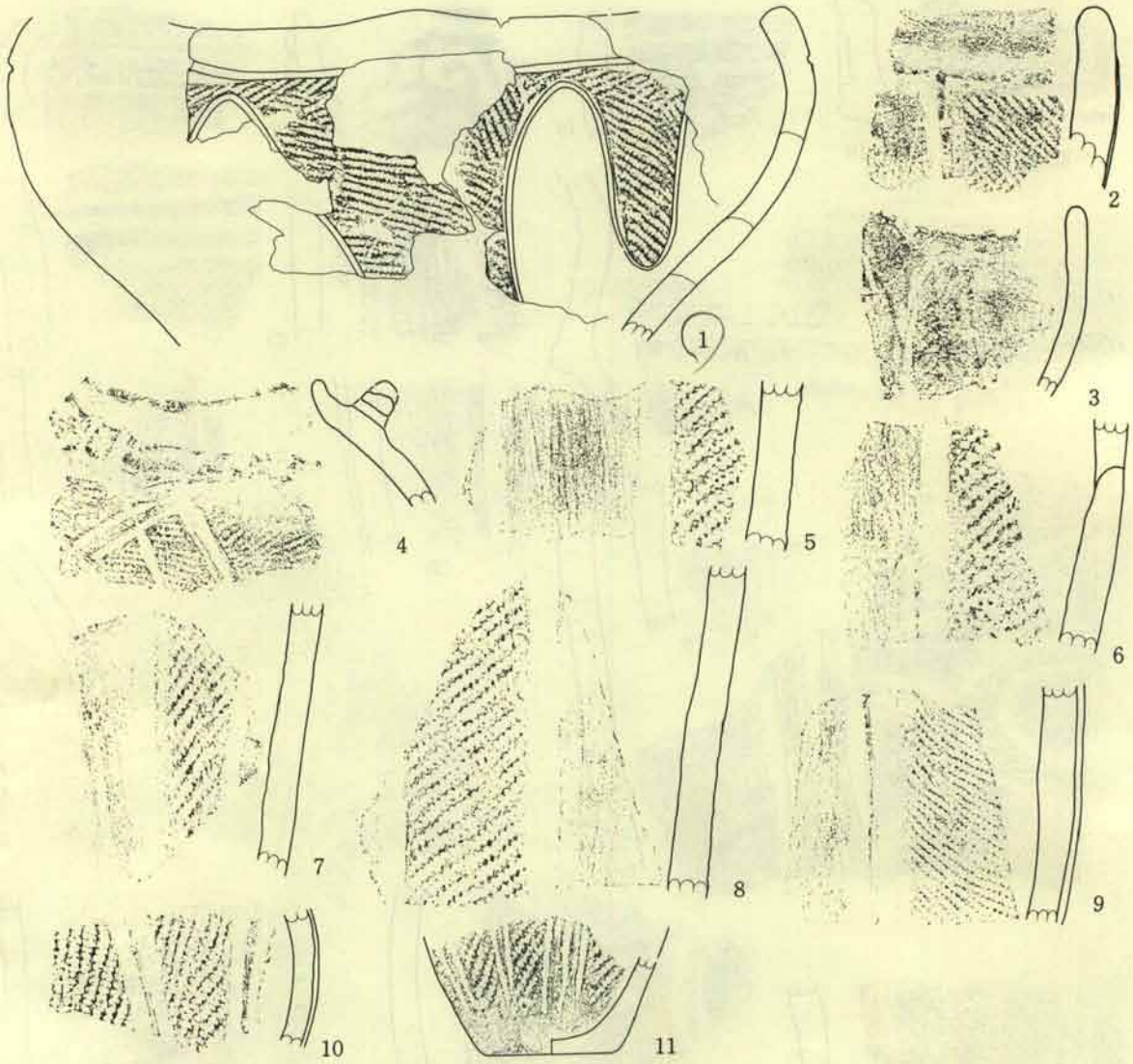
１は緩やかな波状を呈するキャリパー形の深鉢で口唇部下に巡る沈線により無文帯を設ける。文様帯は波状文を配し、区画内を縄文で充填する。２は口唇部に無文帯を設け、隆帯による区画文を配す。３は波状口縁を呈し、沈線により波状文を意匠する。４は有孔鍔付土器で沈線により意匠文を施す。５～８は沈線区画帯に磨消しを施す。９、10は隆帯による区画文を施す。11は沈線により懸垂文を垂下させる。




第 69 図　32号住居址出土遺物(1)




第70図　32号住居址出土遺物(2)



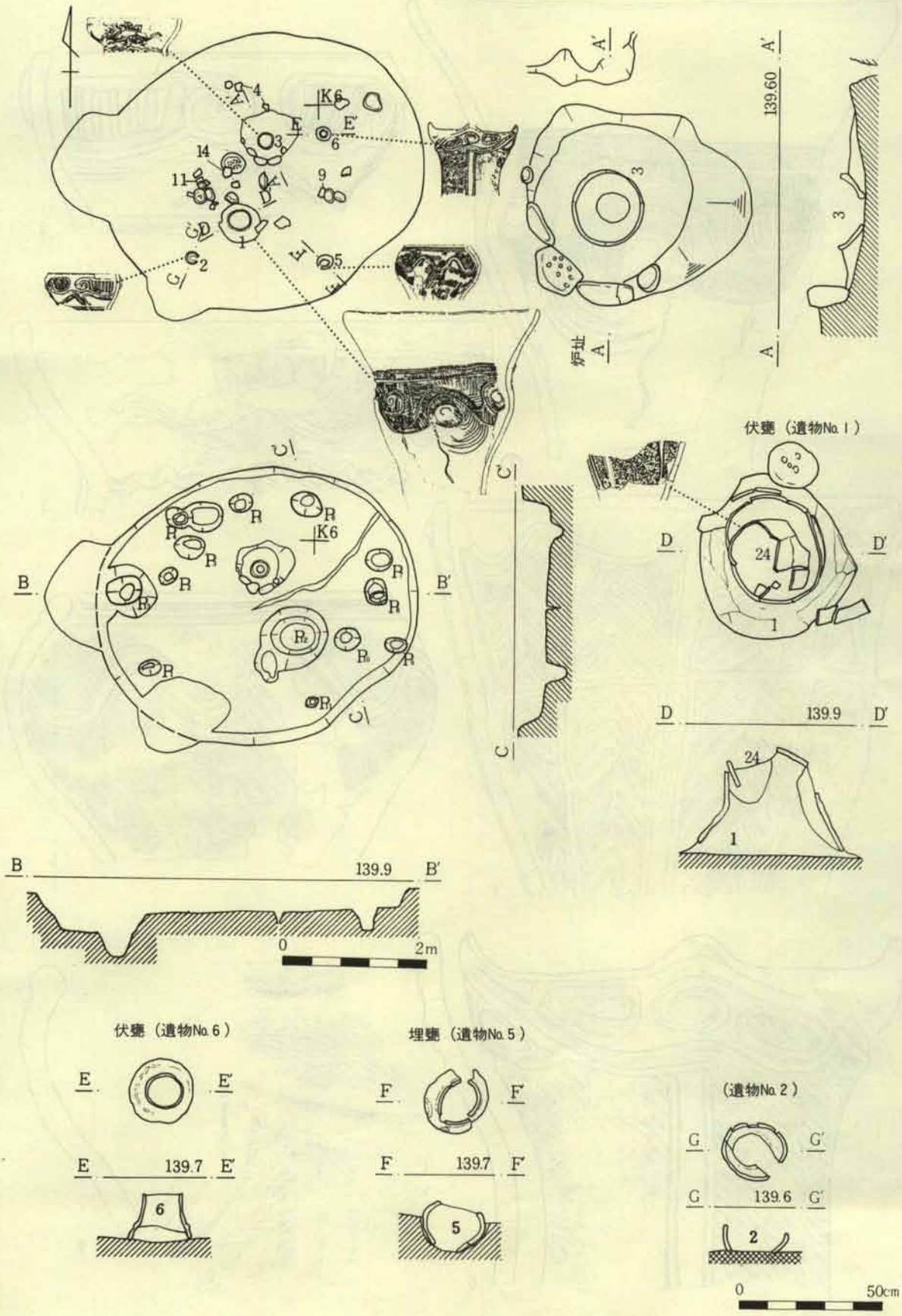

第71図　33号住居址出土遺物

**34号住居址**（第72図）

K 6 Grid point を住居址内に包括し、J 5、J 6、K 5、K 6 Grid にまたがって検出された。北と東には住居址の規模などが不明で、炉址が検出された35、36号住居址が隣接する。標高は139.70mほどを測る平坦部に位置する。

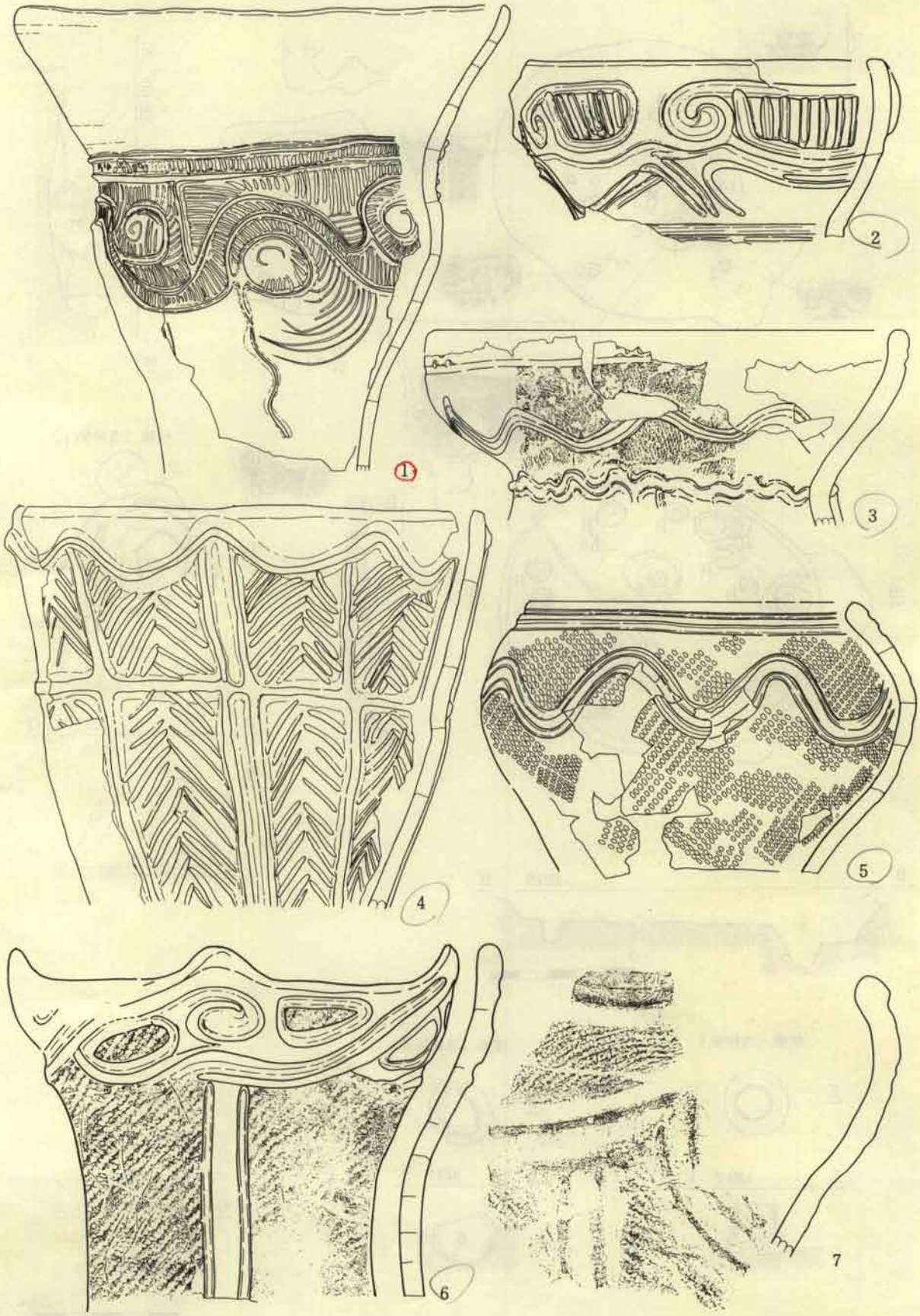
平面形は北東～南西に長軸を呈す楕円形で、長軸長4.5m、短軸長3.85m、深さ30cmを測る。床面は北西方向に緩やかな傾斜を設け、地震による亀裂が北東壁より炉址の南前面に走行している。　炉址は中央やや北に位置し、埋設土器を伴う石囲い炉が考えられる。形状は東方が舌状に突出する楕円形を呈し、規模は長軸80cm、短軸70cm前後、深さ10cmを測る。炉址を取り巻く縁石の残存は南辺部に多孔石と河原石で配されている。東辺部を開口して３辺を縁石が巡ると考えられる。埋設土器は炉内の中央に正位に据えられている。

遺物は炉址を中心として東～南方部に出土し、南方と東方に伏甕(第73図１、６)、南東壁付近に埋甕（第73図５）が検出された。柱穴と土坑状の掘り込みは$P_1$～$P_{13}$が可能性が考えられる。周溝は検出で

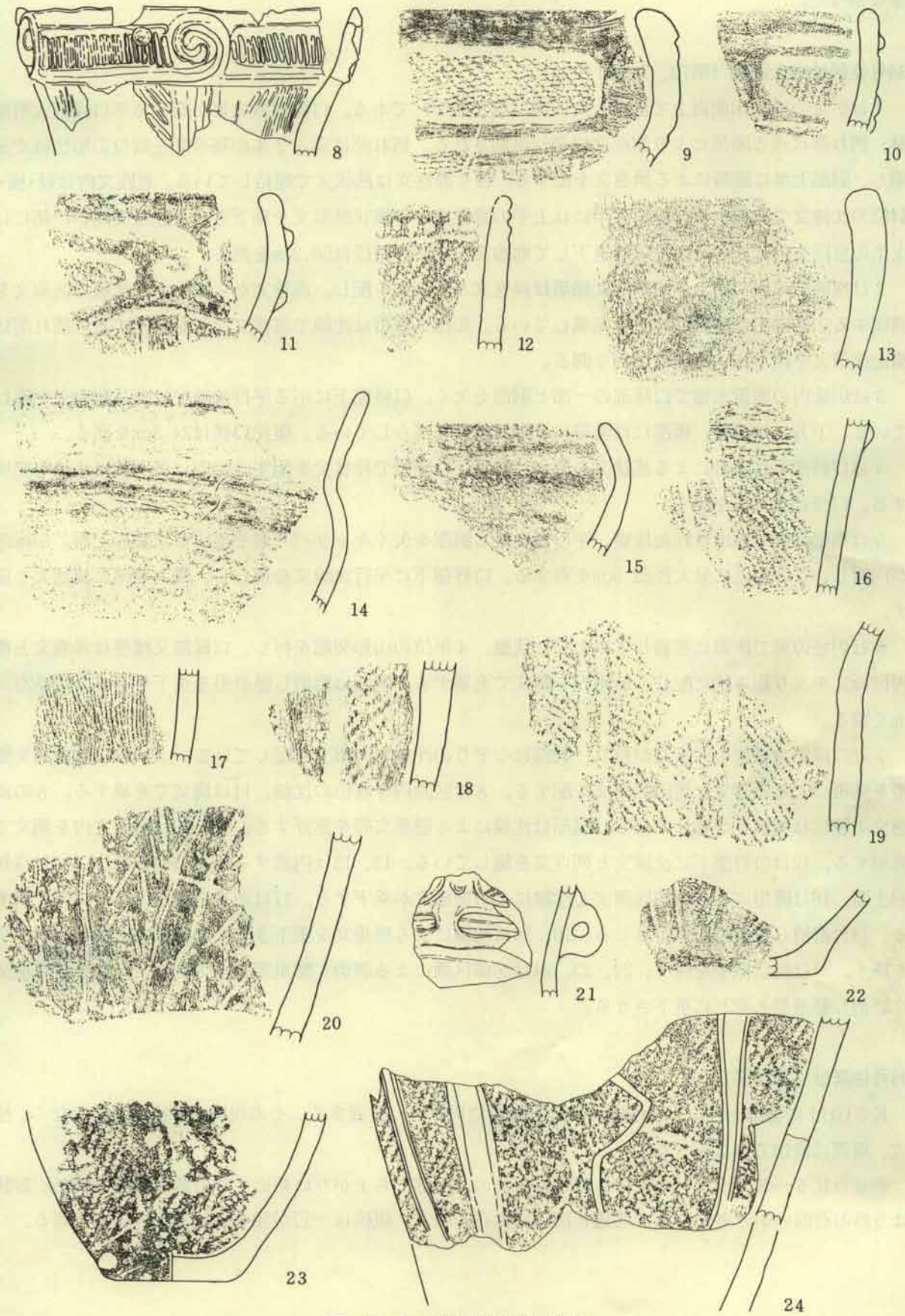


139.60
炉址
伏甕（遺物No.1）
139.9
0
2m
伏甕（遺物No.6）
139.7
埋甕（遺物No.5）
139.7
（遺物No.2）
139.6
0
50cm


第72図　34号住居址




第 73 図　34号住居址出土遺物(1)




第74図　34号住居址出土遺物(2)

きなかった。

**34号住居址出土遺物**（第73、74図１～24）

１は炉址の南の床面直上で出土した伏甕（第70図１）である。口縁部無文帯を有する平口縁の大型深鉢。括れ部に巡る隆帯により胴部文様帯が区画される。括れ部に巡る２本の隆帯間を縦位の短沈線で充塡し、胴部上半に隆帯による渦巻文を配する。各々渦巻文は波状文で連結している。意匠文内は縦・横・斜位の沈線文で充塡する。胴部下半には上半の意匠文から波状懸垂文を垂下させ、懸垂文間の一部には上半の意匠文内に施された沈線が垂下して曲線文を描く。口径は50.2cmを測る。

２は南西の床面で出土。口縁部文様帯は渦巻文と区画文を配し、渦巻文から派生する沈線で区画文を構成する。区画内は縦位の沈線で充塡している。頸部文様帯は沈線で波状文などを意匠する。括れ部は横走沈線文を巡らす。口径は18cmを測る。

３は炉址内の埋設土器で口縁部の一部と胴部を欠く。口唇部下に巡る平行沈線文に交互刺突文を施している。下方には沈線、頸部には隆帯により波状文を巡らしている。復元口径は24.3cmを測る。

４は口唇部下に隆帯による波状文を施し、波長下に隆帯で枠状文を配す。枠内は矢羽状に沈線を充塡する。口径は23.7cmを測る。

５は南壁付近で検出された埋甕。平口縁を呈し胴部を欠くキャリパー形を呈する深鉢形土器。口縁部が内湾し、この位置に最大径22.5cmを有する。口唇部下に平行沈線文を巡らし、最大径部に波状文を施す。

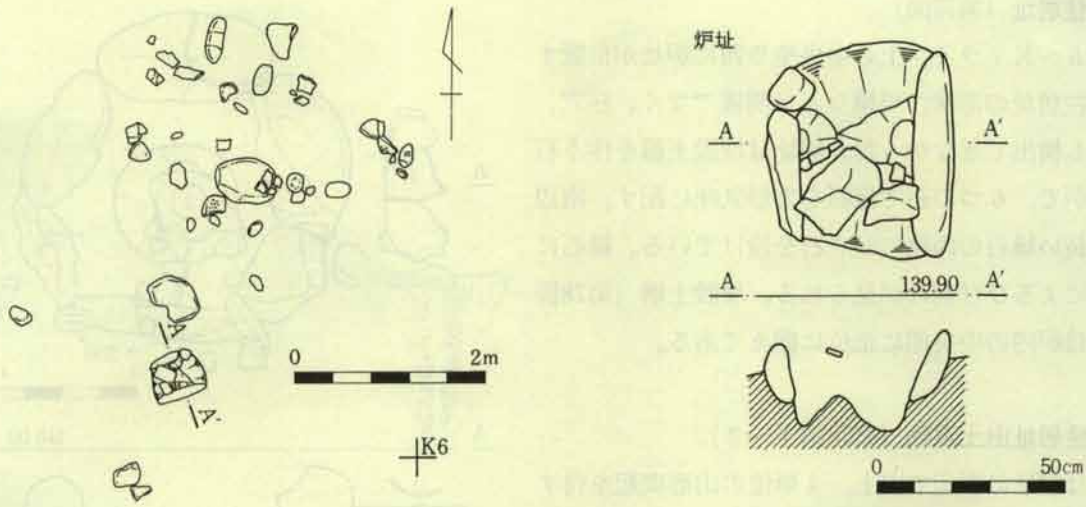
６は炉址の東で床面に密着して出土した伏甕。４単位の山形突起を付し、口縁部文様帯は渦巻文と楕円区画文を入り組み状に配し、区画内を縄文で充塡する。胴部は磨消し懸垂帯を垂下させる。口径22.4cmを測る。

７は口縁部文様帯の区画文が残り、胴部はなぞりの沈線で区画文を配している。８、11は口縁部文様帯を隆帯による渦巻文と楕円区画文を配する。８は区画内を縦位の沈線、11は縄文で充塡する。８の渦巻文の脇には補修孔が施してある。胴部は沈線による懸垂文等を意匠する。９、10は区画文内を縄文で充塡する。12は口唇部下に沈線文と列点文を施している。13、15は内湾する無文の口縁部片。14は浅鉢形土器。16は隆帯による胴部区画文と沈線による懸垂文が垂下する。17は地文を縦位の条線文で充塡する。18は磨消し懸垂帯を垂下させる。19、20は沈線による懸垂文を垂下させ、20は沈線文間を矢羽状文を施す。21は橋状把手を付す。22、23、24は沈線区画による磨消し懸垂帯を垂下させ、24は波状懸垂文を磨消し懸垂帯と交互に垂下させる。

**35号住居址**（第75図）

Ｋ５Grid に検出され、29号住居址の北方で台地周縁部に位置する。その規模、形状は明確でなく、柱穴、周溝は検出できなかった。

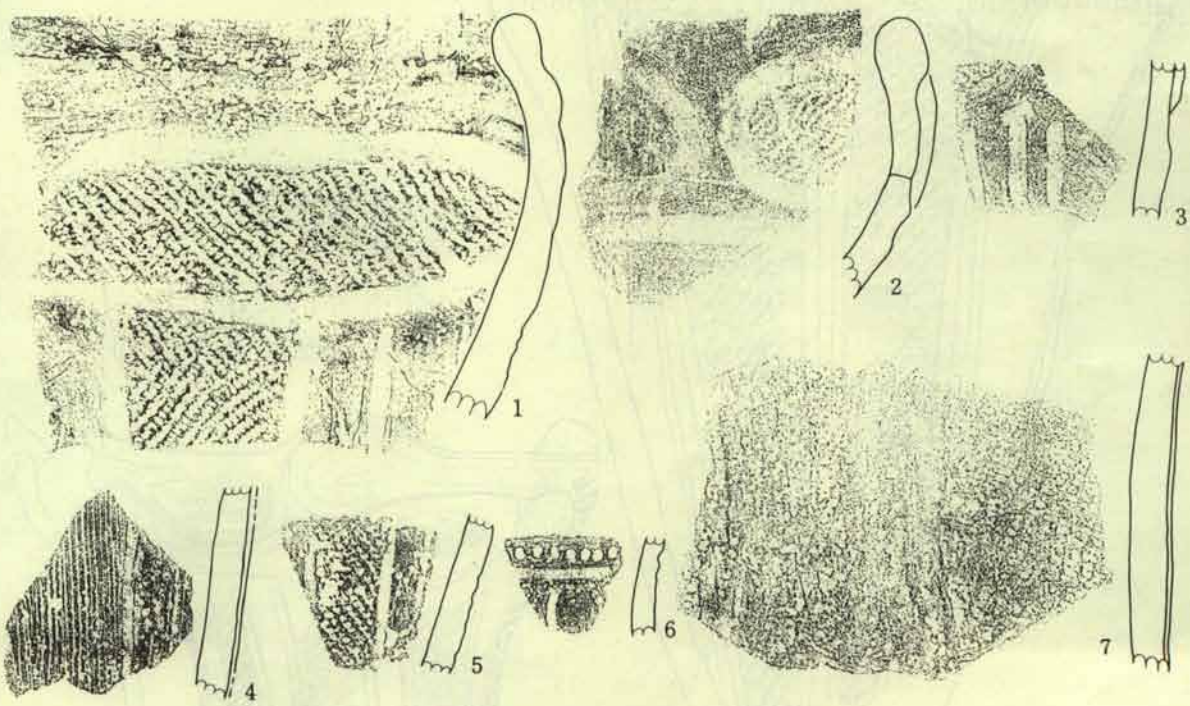
炉址はＫ５～Ｋ６ラインの東で、34号住居址の北西部立ち上がりに接近する位置に検出された。形状は方形の石囲い炉と考えられ、北辺と南辺に縁石を残す。規模は一辺が50～55cmで深さ15cmを測る。




第75図　35号住居址

**35号住居址出土遺物**（第76図１～７）

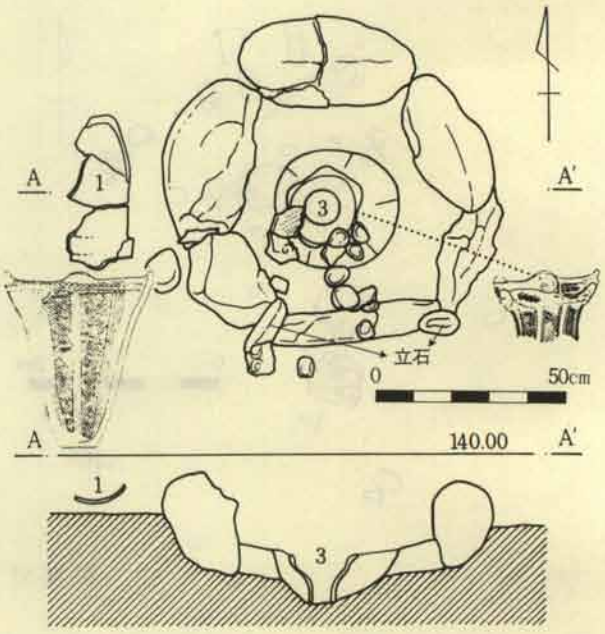
１、２は口唇部に無文部を設け、なぞりの沈線により口縁部文様帯の楕円区画文を施す。胴部は磨消し懸垂帯を垂下させる。３は沈線による懸垂文を垂下させている。４は隆帯による懸垂文を垂下させ、地文は縦位の条線文を充填する。５は沈線区画による磨消し懸垂帯を垂下する。６は頸部に巡る横走沈線文に列点文を施す。７は微隆帯による区画文を施す胴部片である。




第76図　35号住居址出土遺物

**36号住居址**（第77図）

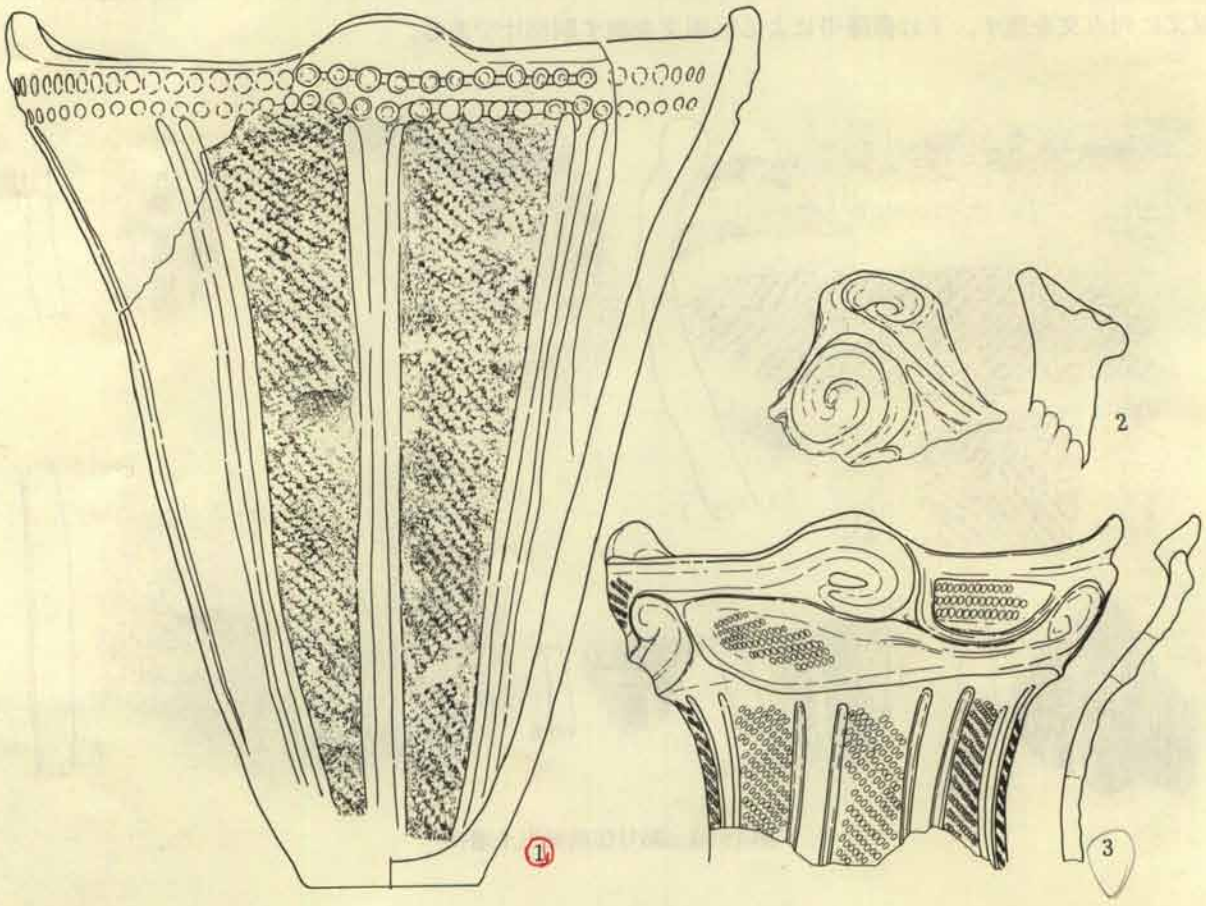
Ｋ６～Ｋ７ライン上の中央やや西に炉址が位置する。住居址の形状、規模などは明確でなく、柱穴、周溝も検出できなかった。炉址は埋設土器を伴う石囲い炉で、６つの石で縁石を方形気味に配す。南辺の細長い縁石の両脇には立石を設けている。縁石には熱によるひび割れが見られる。埋設土器（第78図３）は炉内の中央部に正位に据えてある。




第77図　36号住居址

**36号住居址出土遺物**（第78図１～３）

１は炉址の西辺で出土。４単位の山形突起を付す平口縁の深鉢形土器。直線的に開く胴部より口縁部は緩やかに内湾する。口径29cm、器高34.5cm、底径6.6cmを測る。口唇部下に横走沈線文を巡らし、沈線上に円形刺突文を２段にめぐらしている。胴部には沈線区画による磨消し懸垂帯を垂下させる。２は山形突起部で頂上部に渦巻文を施し、口縁部文様帯にも渦巻文を配す。




第78図　36号住居址出土遺物

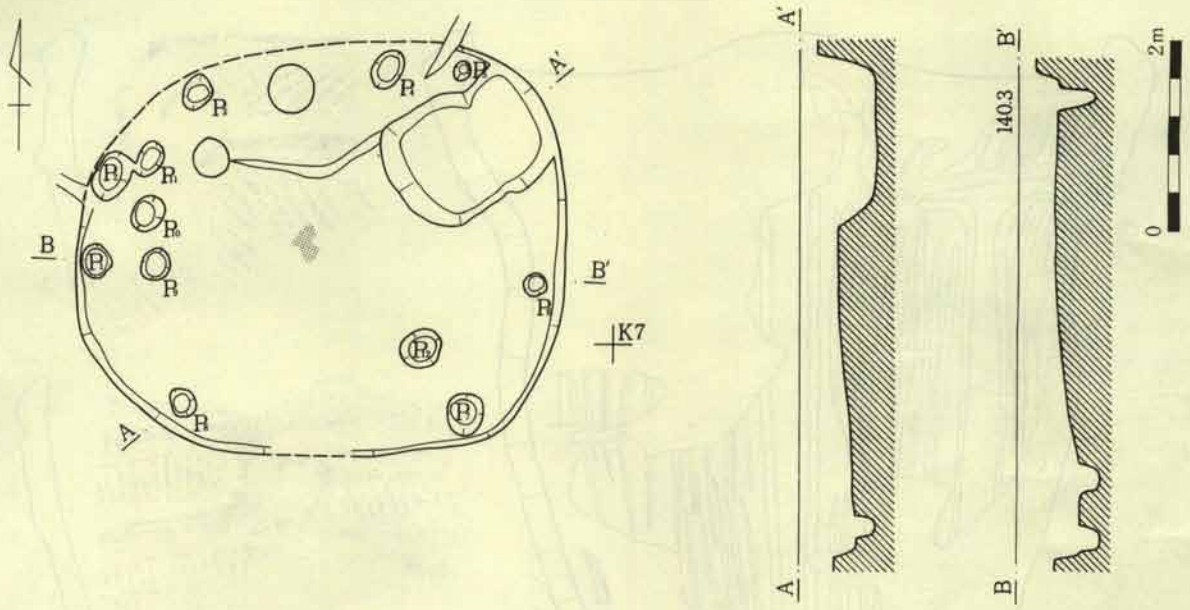
３は炉内の埋設土器で胴部下半を欠く。４単位の山形突起を付し、口縁部文様帯は渦巻文と楕円区画文を入り組み状に配す。胴部は沈線区画による磨消し懸垂帯を垂下させる。

**37号住居址**（第79図）

Ｇ６、Ｋ６Grid の２Grid にまたがり、標高140mほどを測る台地の平坦部に検出された。西には36号住居址の炉址が隣接し、北方は39号住居址と重複している。

形状は東西に長い楕円形を呈し、長軸長5.15m、短軸長4.30m前後、深さ20cmほどを測る。床面は北方下がりを呈しているが明確でない。

炉址は中央部に分布する焼土に可能性があり、地床炉と思われる。柱穴は$P_1$～$P_{12}$に可能性が考えられるが規則性はない。周溝は検出できなかった。遺物は埋土中の出土である。

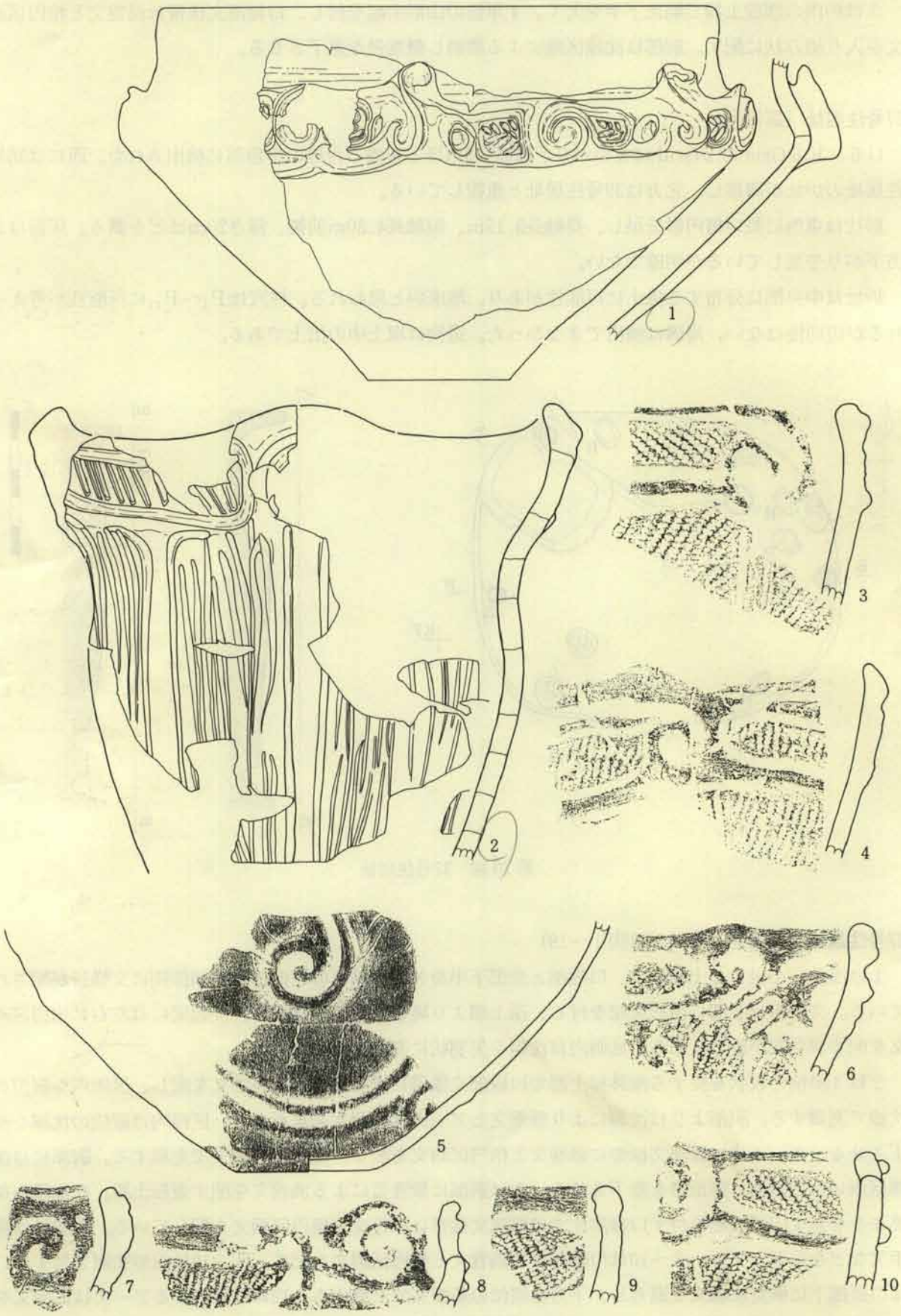



第79図　37号住居址

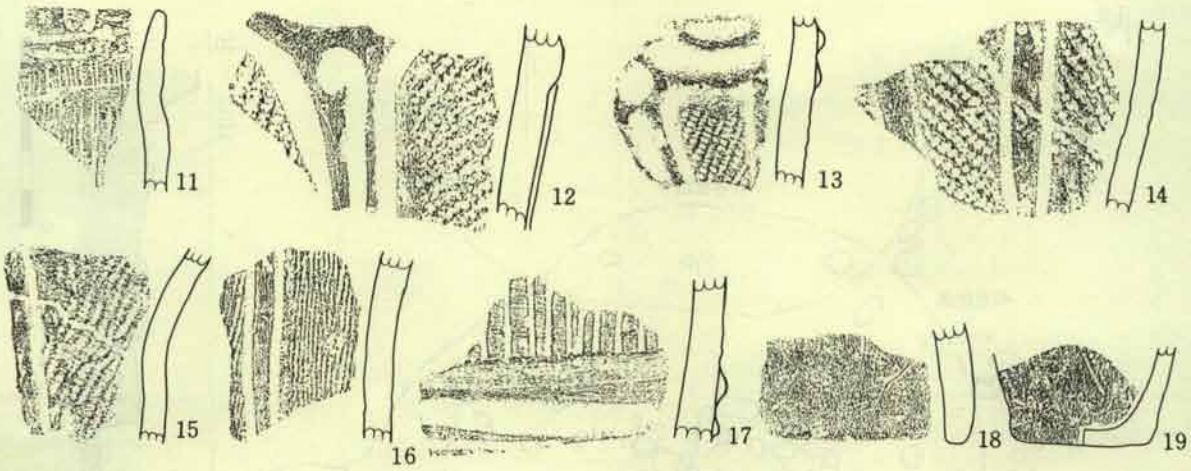
**37号住居址出土遺物**（第80、81図１～19）

１は浅鉢形を呈する土器片で、口縁部と底部下半を欠く。胴部の屈曲部から頸部間に文様帯が配されている。文様帯は上部に山形突起を付し、頂上部より隆帯をＳ字状に施し、突起間には左右に楕円区画文を配す渦巻文が施してある。区画内は沈線を矢羽状に充填する。

２は４単位の波状を呈する深鉢形土器で口縁部文様帯に渦巻文と楕円区画文を配し、区画内を縦位の沈線で充填する。胴部よりは沈線により懸垂文とアーチ状区画文を垂下させ、区画内は縦位の沈線を垂下させる。３、４は口縁部文様帯に渦巻文と楕円区画文を配し、区画内を縄文で充填する。胴部には沈線区画による磨消し懸垂帯を垂下させる。５は胴部に微隆帯による渦巻文を配す壺形土器。６は僅かな高まりを呈す山形突起を付す口縁部片で口縁部文様帯に渦巻文と楕円区画文を配している。胴部には蕨手文などを垂下させる。７～10は口縁部片で渦巻文と楕円区画文を配す。８、10は山形突起を付す。11は口唇部下に横走沈線文を巡らし、下方を縦位の条線文で充填する。12は沈線によるアーチ状区画文を垂下させ、区画内を縄文で充填する。区画間には蕨手文を垂下させる。14、15、16は沈線区画による磨




第 80 図　37号住居址出土遺物(1)




第81図　37号住居址出土遺物(2)

消し懸垂帯を垂下させ、16は縦位の条線文を地文としている。17は隆帯区画内を縦位の沈線で充填する。18は器台形土器の脚部片。19は小形土器の底部片。

**38、39号住居址**（第82図）

Ｋ６Grid に位置し、38号住居址は37、39～41号住居址と複雑な重複関係を呈している。その新旧関係は明確でない。南では39、37号住居址、北方は40、41号住居址と重複する。

形状は不明瞭な点が多いが柱穴の配置より推察すれば東西長5.7m、南北長5.5mの円形が考えられる。床面はほぼ平坦であったろうと思われるが、北東～南西に走行する地震の地割れによって段差が生じている。

炉址は中央やや北寄りに位置し、胴部下半を欠く埋設土器（第84図１）を伴う方形の石囲い炉であろう。石囲いの縁石は南西部に乱れがあるが４辺を囲むものと考えられる。規模は長軸長92cm、短軸長70cm前後、深さ北側の縁石で20cmを測る。

埋設土器は中央やや北寄りに位置し正位に据えられている。炉址の南方には１、２号埋甕が検出され、２号埋甕に隣接して伏甕が出土している。

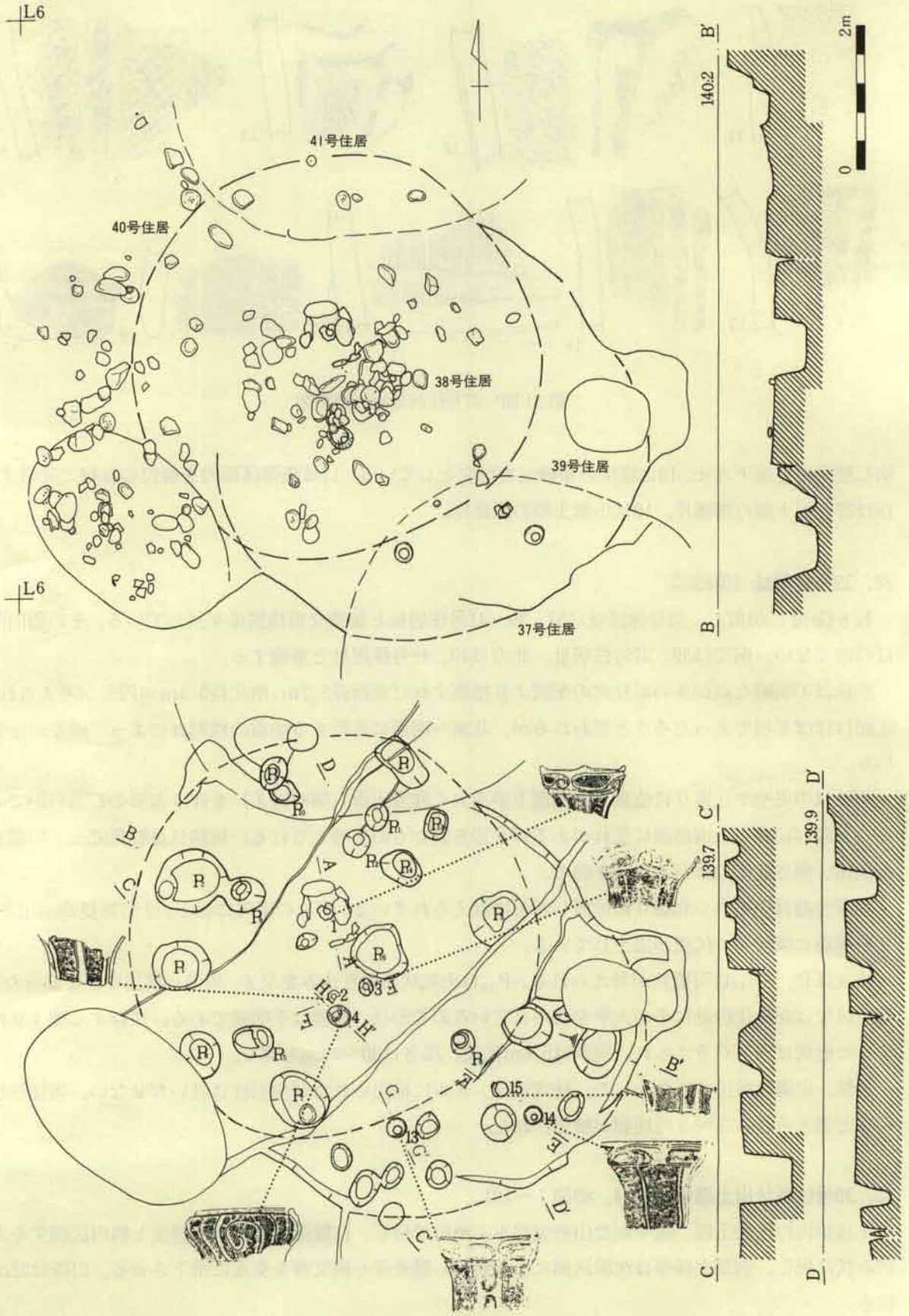
柱穴は$P_1$～$P_{15}$に可能性が考えられる。$P_{16}$は土坑状の掘り込みを呈す。周溝は検出できなかった。39号住居址は38号住居址にその大半を切られているので形状、規模は不明確である。残存する壁より推測すると形状は円形が考えられ、規模は5.6m前後、深さは30～40cmを測る。

炉址、周溝は検出できなかった。柱穴はランダムに検出されたが規則性は見いだせない。当住居址に伴うと考えられる３～５号埋甕が検出された。

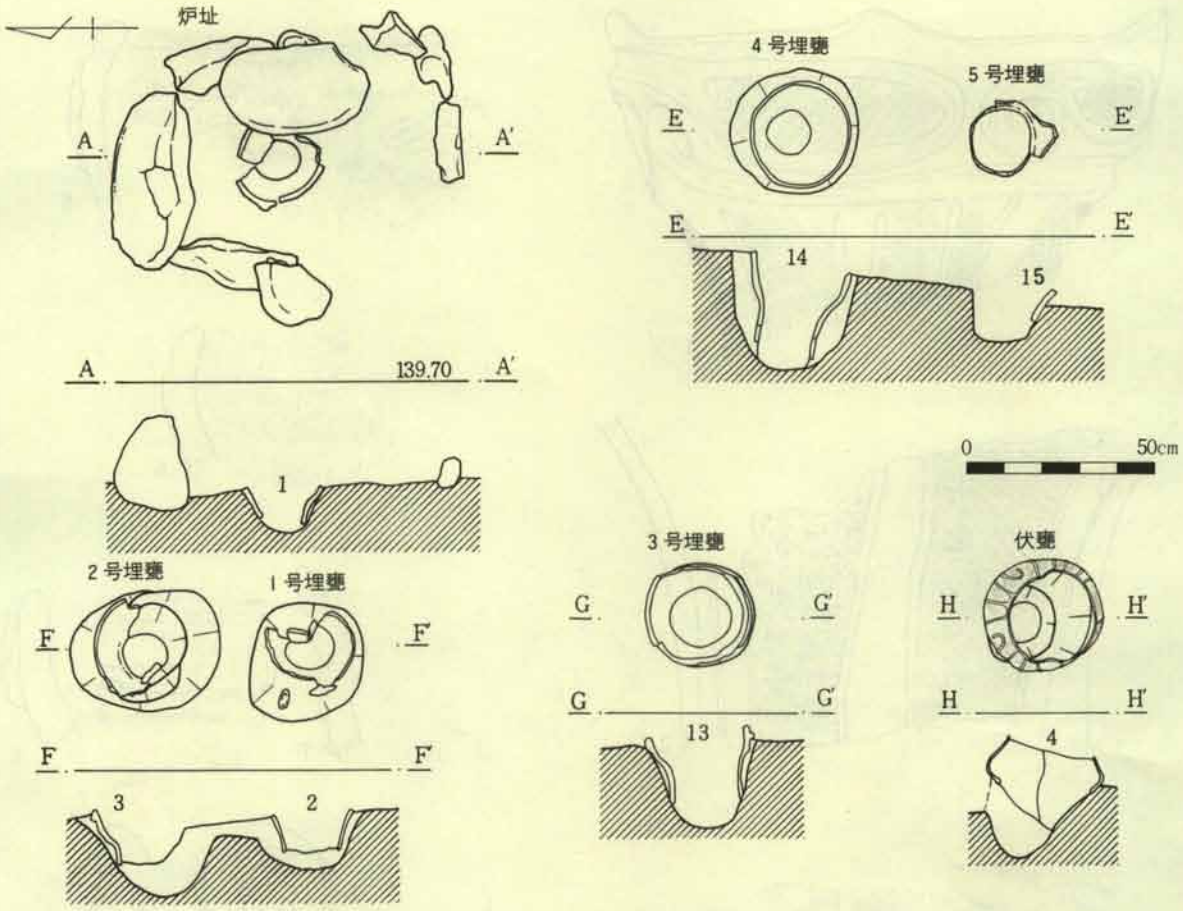
**38、39号住居址出土遺物**（第84、85図１～19）

１は炉内の埋設土器。緩やかな山形突起を４単位で付し、口縁部文様帯は渦巻文と楕円区間文を入り組み状に配し、胴部文様帯は沈線区画による磨消し懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる。口径は22cmを測る。

２は１号埋甕。沈線区画による磨消し懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる胴部片。３は２号埋甕。口




第 82 図　38、39号住居址

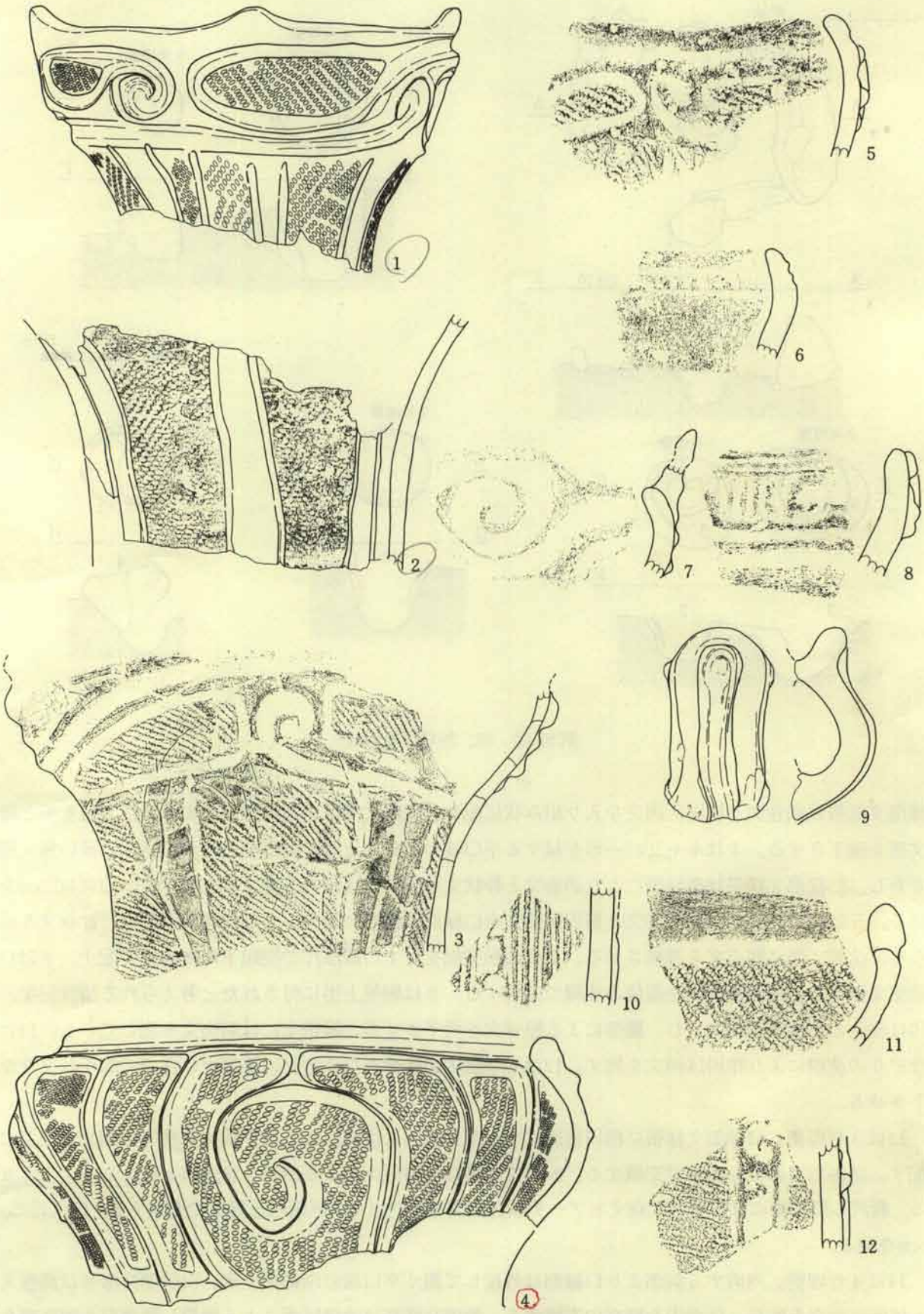



第83図　38、39号住居炉址

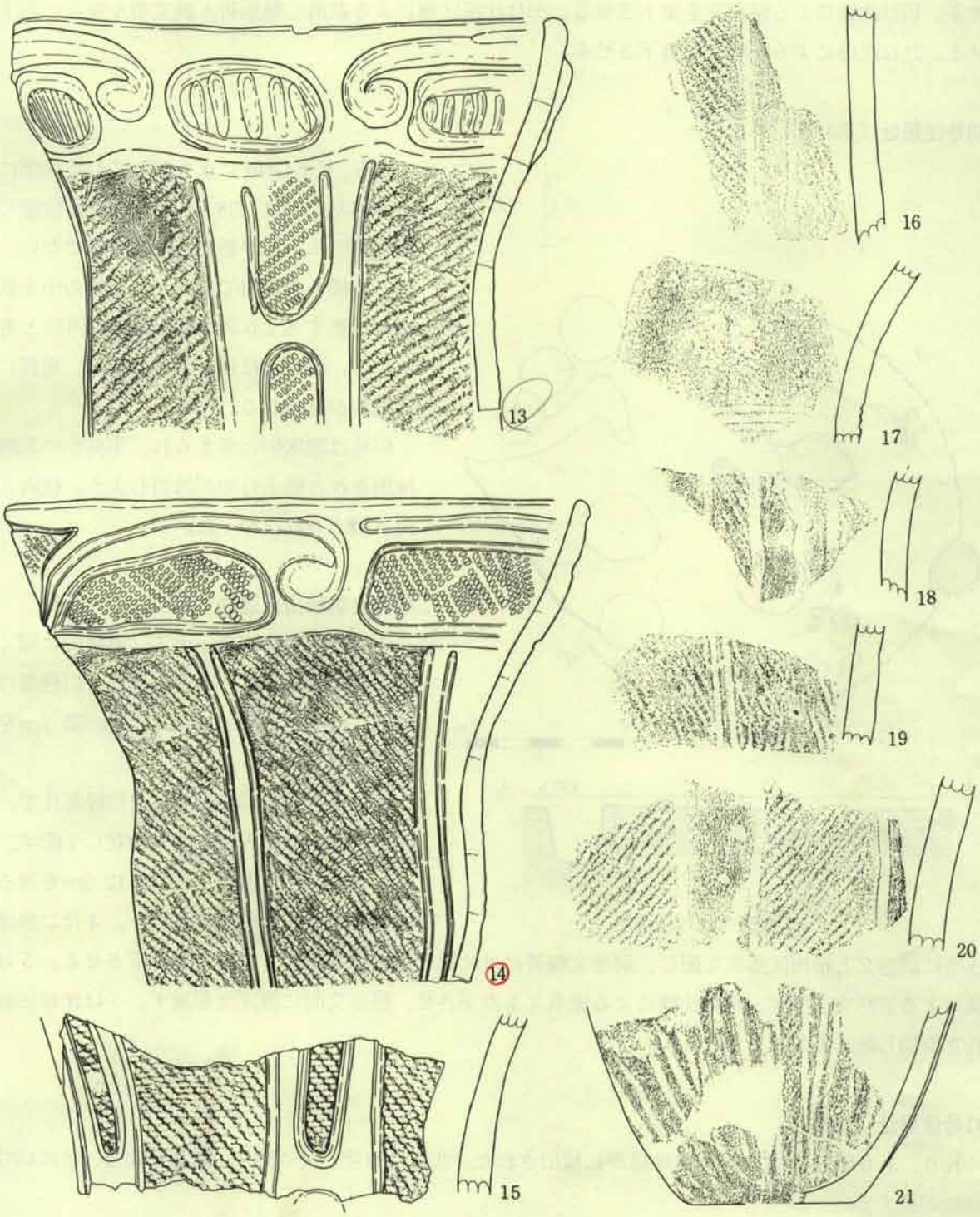
縁部文様帯に渦巻文と楕円区画文を入り組み状に配し、胴部文様帯は沈線区画による磨消し懸垂帯と縄文帯を垂下させる。４はキャリパー形を呈する平口縁の深鉢形土器で胴部を欠く。口唇部に狭い無文帯を有し、口縁部文様帯は微隆帯により渦巻文と枠状文を配し、区画内を縄文で充填する。口径は25cmを測る。５は隆帯区画による渦巻文と楕円区画文を口縁部文様帯に配す。６は口唇部下に平行沈線文を巡らし、沈線文間に列点文を連続させる。７は山形突起を付す口縁部片で突起下に渦巻文を配す。８は口縁部文様帯の楕円区画文内を縦位の沈線で充填する。９は胴部上半に付されたと考えられる橋状把手。10は縦位の条線文を地文とし、隆帯による懸垂文を垂下させる。隆帯上には刺突文を施している。11はなぞりの沈線により楕円区画文を施す。12はやや幅広の隆帯を垂下させ、隆帯上に沈線で蕨手状文を垂下させる。

13は３号埋甕。口縁部文様帯に楕円区画文を上部より包む沈線による吊手状文と楕円区画文を交互に配す。区画内は縦位の沈線で充填する。胴部文様帯は沈線区画による磨消し懸垂帯と縄文帯を垂下させる。磨消し懸垂帯にはU字状区画文とアーチ状区画文を相対させ、区画内を縄文で充填する。口径は25.5cmを測る。

14は４号埋甕。内湾する胴部より口縁部は外反して開く平口縁の深鉢形土器。口縁部文様帯は渦巻文と楕円区画文を配し、区画内を縄文で充填する。胴部文様帯は沈線区画による磨消し懸垂帯と縄文帯を垂下させる。口径は27.1cmを測る。




第 84 図　38、39号住居址出土遺物(1)



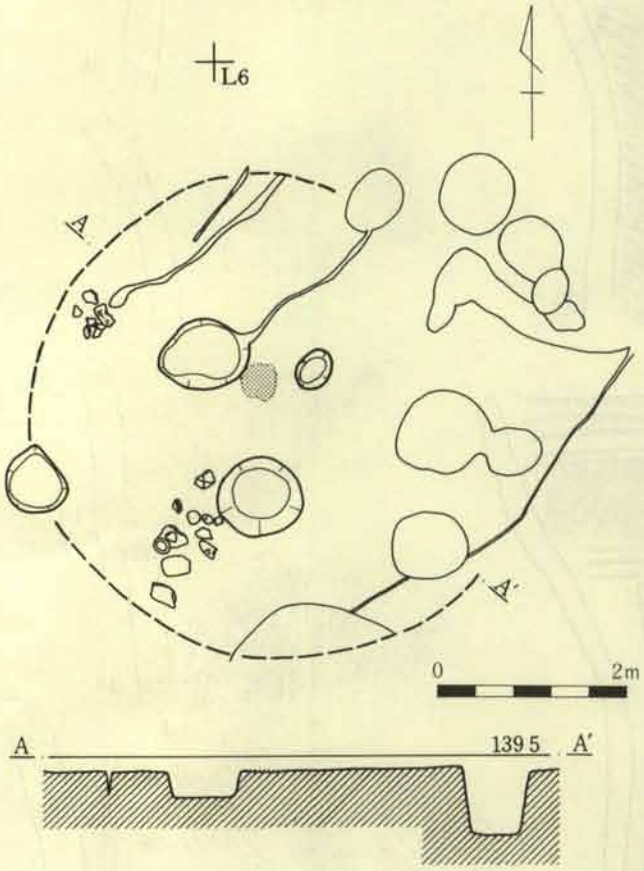

第85図　38、39号住居址出土遺物(2)

15は５号埋甕。沈線区画による磨消し懸垂帯と縄文帯を垂下させ、磨消し懸垂帯にＵ字状区画文とアーチ状区画文を相対させ区画内を縄文で充填するのであろう。

16は沈線区画による磨消し懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる。17は胴部文様帯を区画する横走沈線文が巡る。18は沈線区画による磨消し懸垂帯と縄文帯を垂下させ、磨消し懸垂帯に波状懸垂文を垂下さ

せる。19は沈線による懸垂文を垂下させる。20は沈線区画による磨消し懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる。21は沈線による懸垂文を垂下させる。

**40号住居址**（第86図）




第86図　40号住居址

K５、K６Grid にまたがって台地縁部に検出された。東には38、39号住居址が位置し、重複関係にあるが新旧関係は明確でない。形状、規模も不明瞭であるが、遺物の出土状況から推察すると5.2m前後を測る円形と考えられる。床面はほぼ平坦であるが、地震による亀裂が見られる。

炉址は地床炉と考えられ、中央やや北西に検出された焼土分布が該当しよう。柱穴、周溝は検出されなかった。

**40号住居址出土遺物**（第87図１～７）

１は無文の体部を呈する。直線的に開く胴部より頸部は「く」の字に括れ、口縁部は緩やかに内湾して開く。復元口径は35.7cmを測る。

２は小さい山形突起を付す口縁部片で、口縁部文様帯は楕円区画文を相対して配す。

３は器台形土器片で、口径12.5cmを測る。体部には透かしを施している。４は口縁部文様帯に渦巻文と楕円区画文を配し、胴部文様帯には沈線区画による磨消し懸垂帯を垂下させる。５は沈線による意匠文を施す。６は沈線による懸垂文を垂下させ、懸垂文間に意匠文を施す。７は沈線区画された磨消し懸垂帯を垂下される。

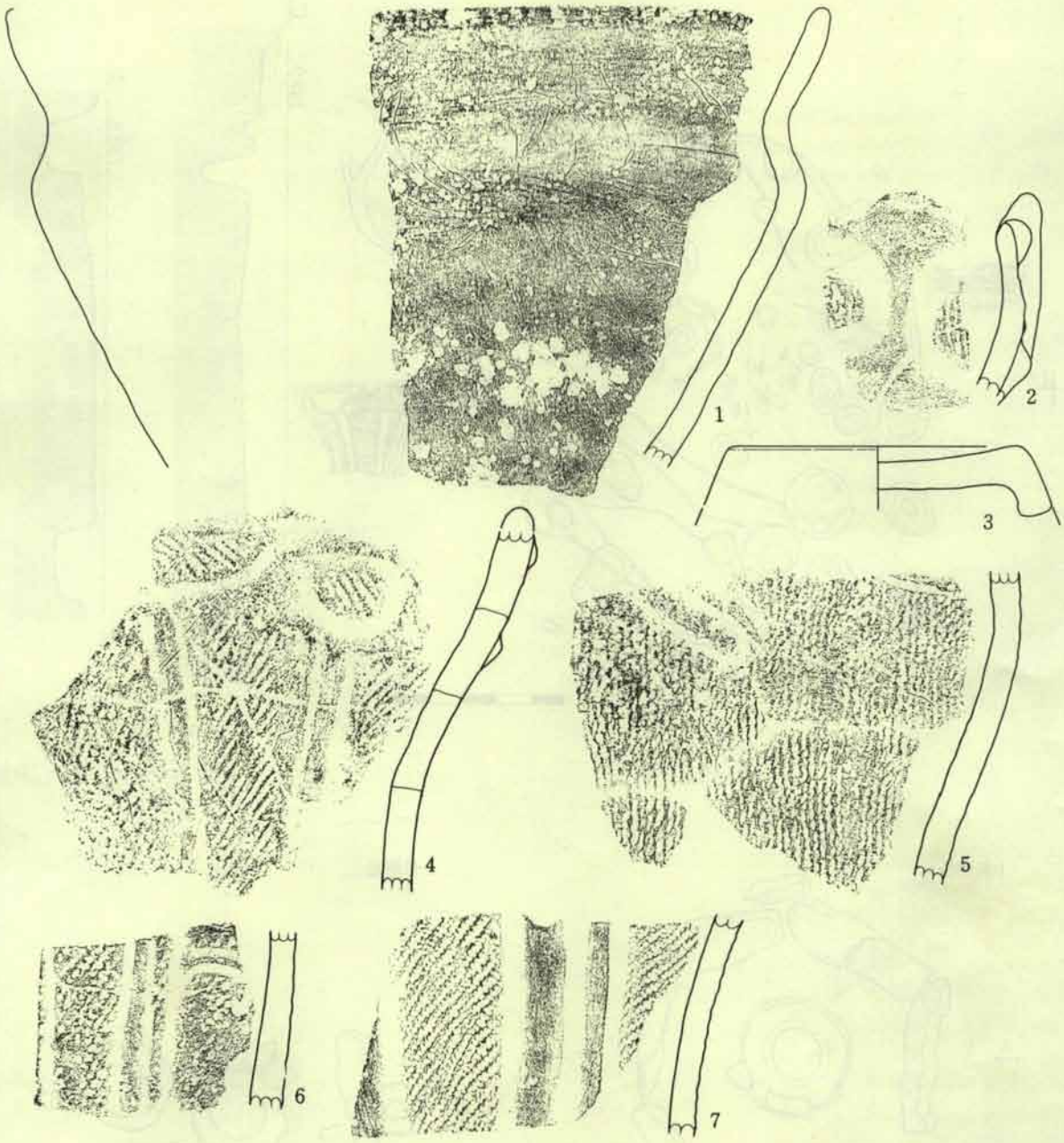
**41号住居址**（第88図）

K６、L６Grid にまたがり台地縁部に検出された。北東に42号、南に38号、南西に40号、北に43号住居址が接する。

形状は、明確でないが南北に長軸を呈す楕円形が考えられる。規模は、長軸長６m前後、短軸長5.6mほどを測る。床面には地震による亀裂が南方部に集中して北東～南西方向に走行している。

柱穴は$P_1$～$P_8$、$P_{10}$～$P_{15}$が主柱穴と考えられる。周溝は南方部分で僅かに検出された。

炉址は埋設土器を伴う石囲い炉と２カ所に埋甕炉が検出された。１号炉址は埋設土器（第89図１）を伴う石囲い炉で、ほぼ中央に検出された。形状は、河原石と多孔石により六角形に縁石を施している。縁石には熱によるひび割れが生じているものがある。南西部には２カ所に石の抜き取り痕が見られる。規模は、各対角線の長さ１mを測る。埋設土器は、胴部下半を欠く深鉢形土器を炉内のほぼ中央に正位

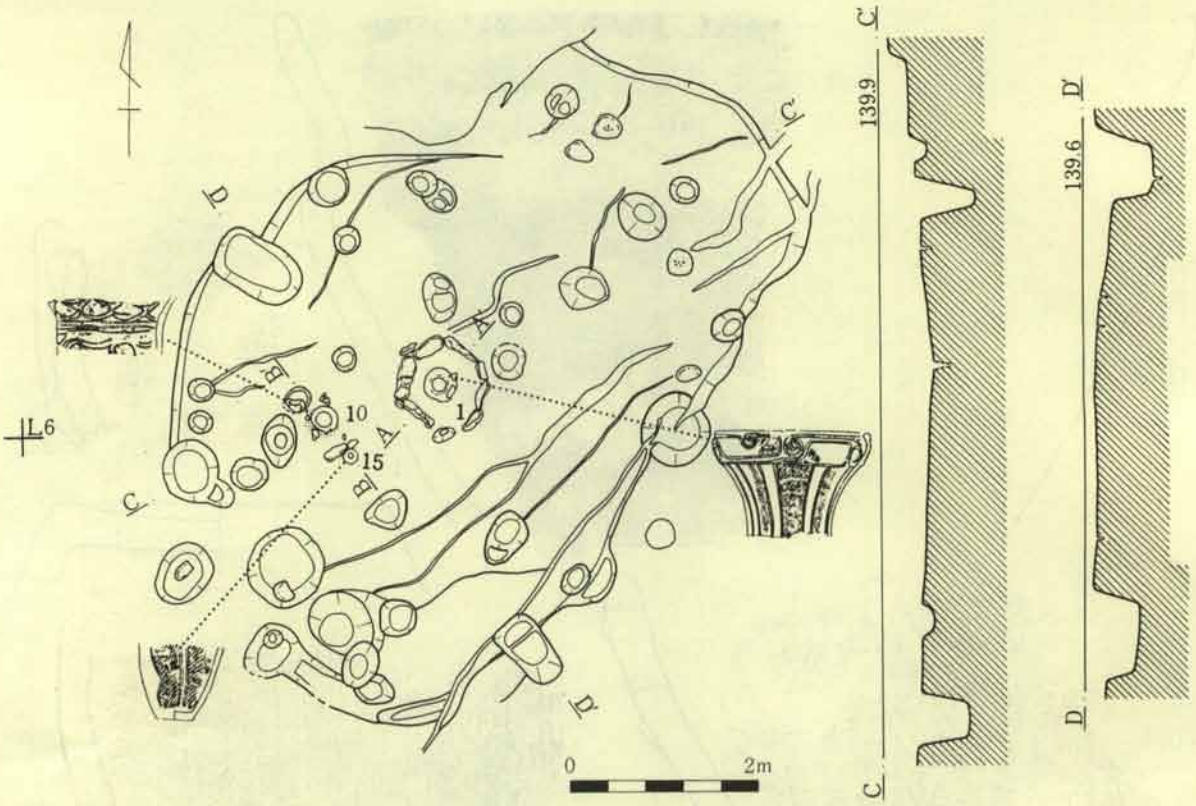



第 87 図　40号住居址出土遺物

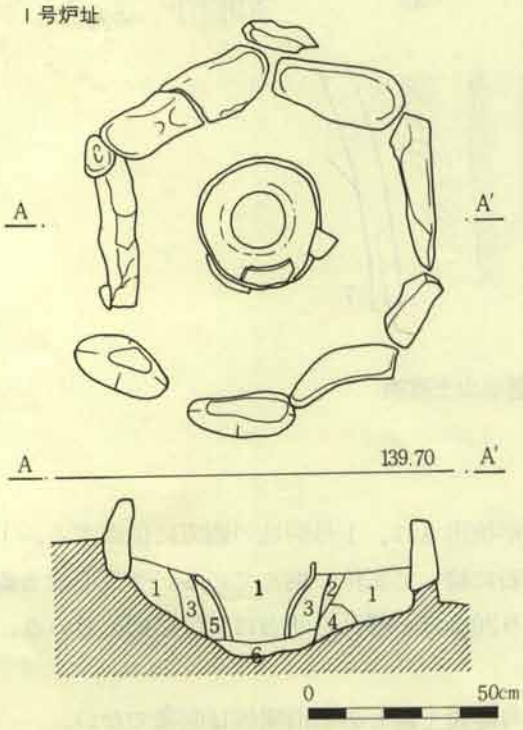
に据えている。

２号炉址は縁石を伴う埋甕炉で、２箇所に埋設土器が検出され、１号炉址の西方に位置する。１号埋設土器（第89図15）は、底部から胴部下半の個体を縁石に接して正位に据えている。２号埋設土器（第89図10）は、胴部上半から頸部に至る個体で、縁石より20cmほど離れた北方に正位に据えている。西方の上面には焼土が分布する。

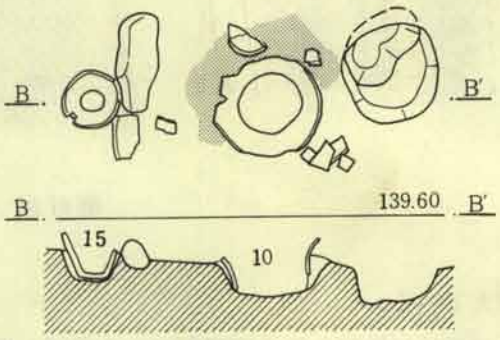
１号炉址と２号炉址、２号炉址の１号埋設土器と２号埋設土器との新旧関係は明確でない。



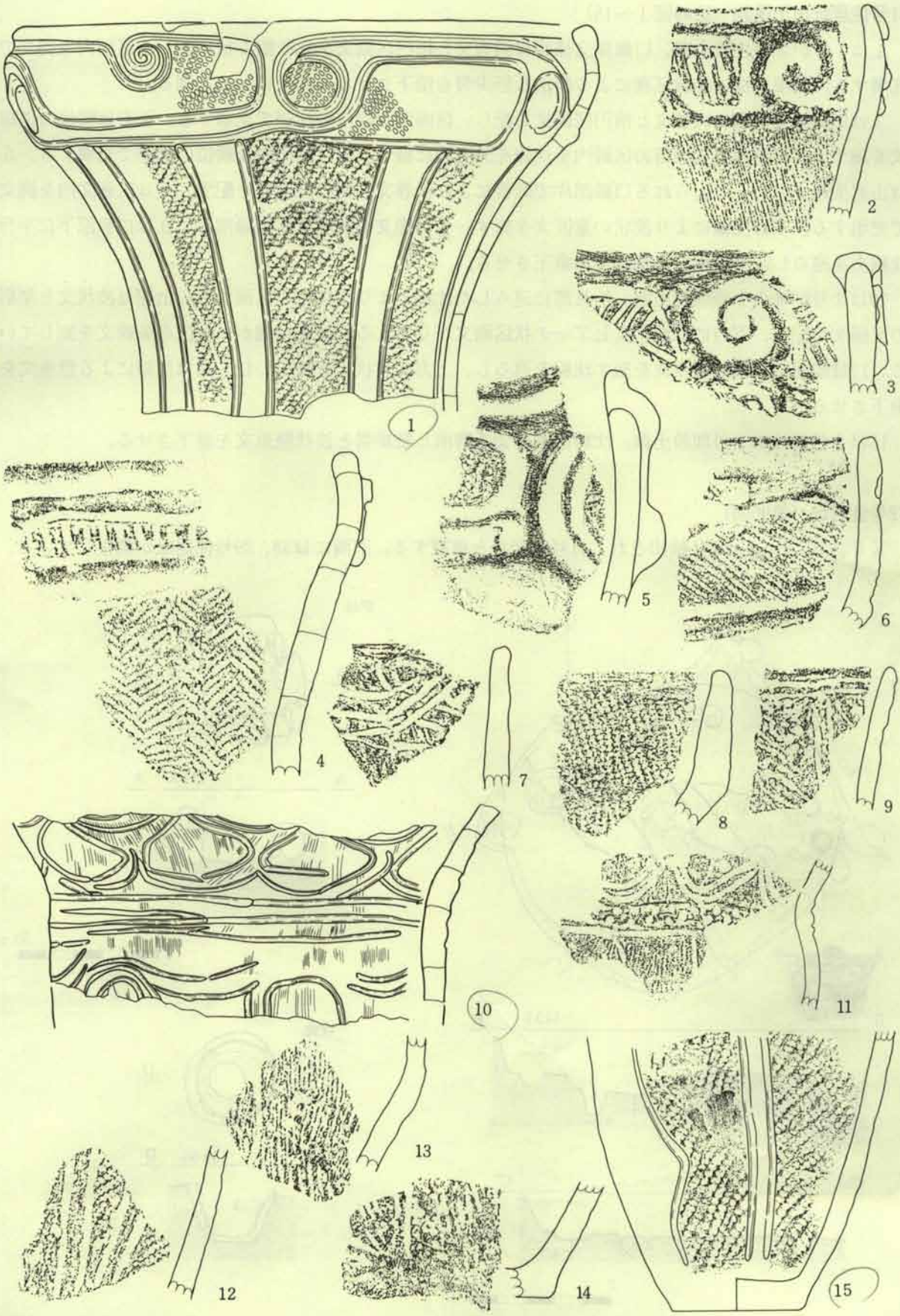

1号炉址




2号炉址




第88図　41号住居址




第89図　41号住居址出土遺物

**41号住居址出土遺物**（第89図１～15）

１は１号炉址の埋設土器。口縁部文様帯に渦巻文と楕円区画文を入り組み状に配し、区画内を縄文で充填する。胴部文様は沈線区画による磨消し懸垂帯を垂下させる。口径は30cmを測る。

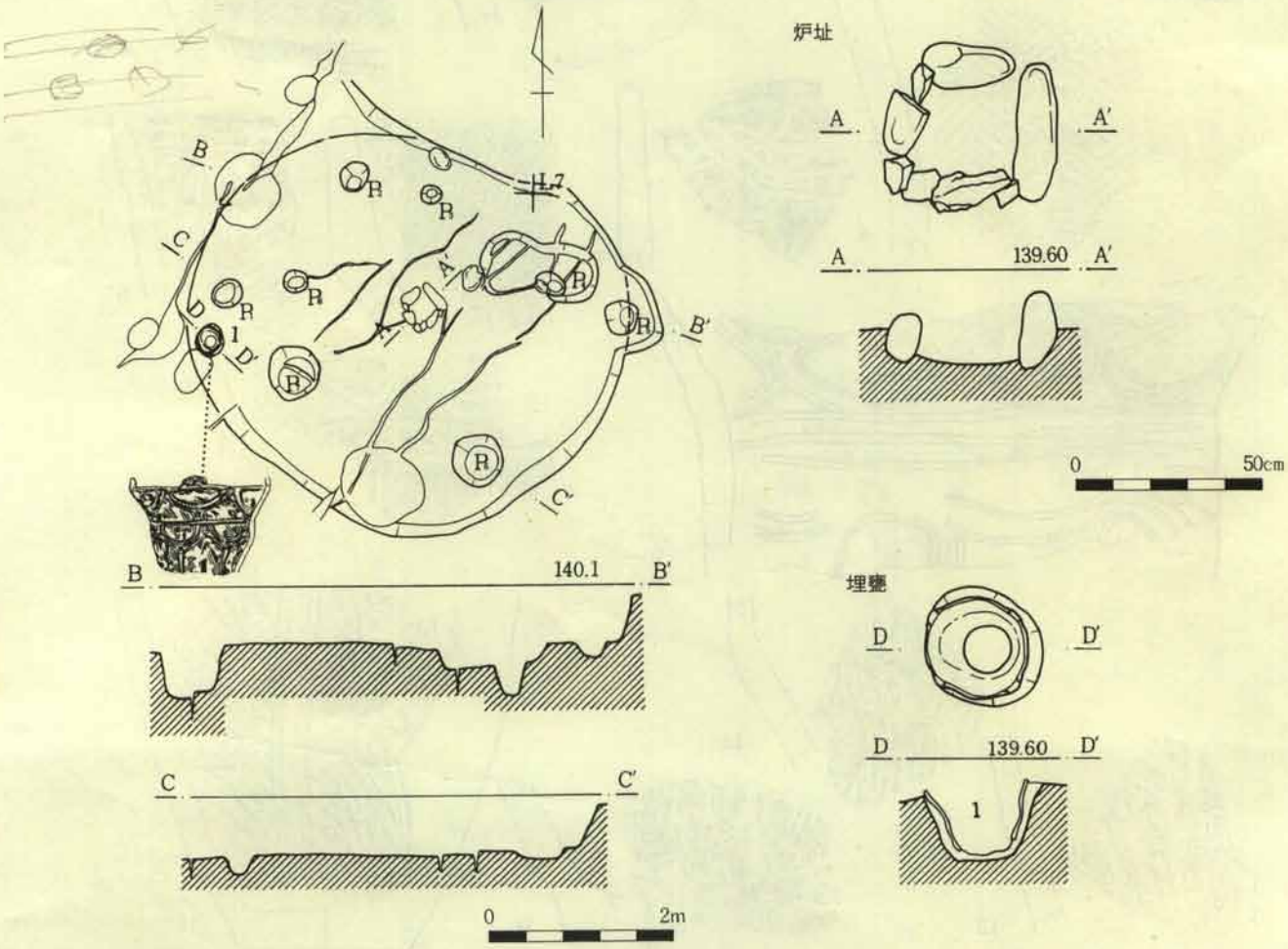
２は口縁部文様帯に渦巻文と楕円区画文を配し、区画内を縦位の沈線で充填する。下方は縦位の条線文を施す。３は口縁部文様帯の区画内を沈線を矢羽状に施す。４は区画内を縦位の沈線で充填する。５は山形突起を付すと考えられる口縁部片で隆帯により渦巻文と楕円区画文を配す。６は区画文内を縄文で充填する。７は沈線により波状の意匠文を施す。８は縄文を充填する口縁部片。９は口唇部下に平行沈線文を巡らし、その下方に懸垂文を垂下させる。

10は２号炉址の２号埋設土器。括れ部に巡らした沈線により文様帯を区画する。上部は波状文と栗形の区画文を配し、下方には波状文とアーチ状区画文が見られる。地文は細かい縦位の条線文を施している。11は頸部に２段の列点文を施す沈線を巡らし、上方に波状文を施す。12～14は沈線による懸垂文を垂下させる。

15は２号炉址の１号埋設土器。沈線区画による磨消し懸垂帯と波状懸垂文を垂下させる。

**42号住居址**（第90図）

Ｋ６、７、Ｌ６Grid に検出され、41号住居址と重複する。南西には38、39号住居址が隣接している。

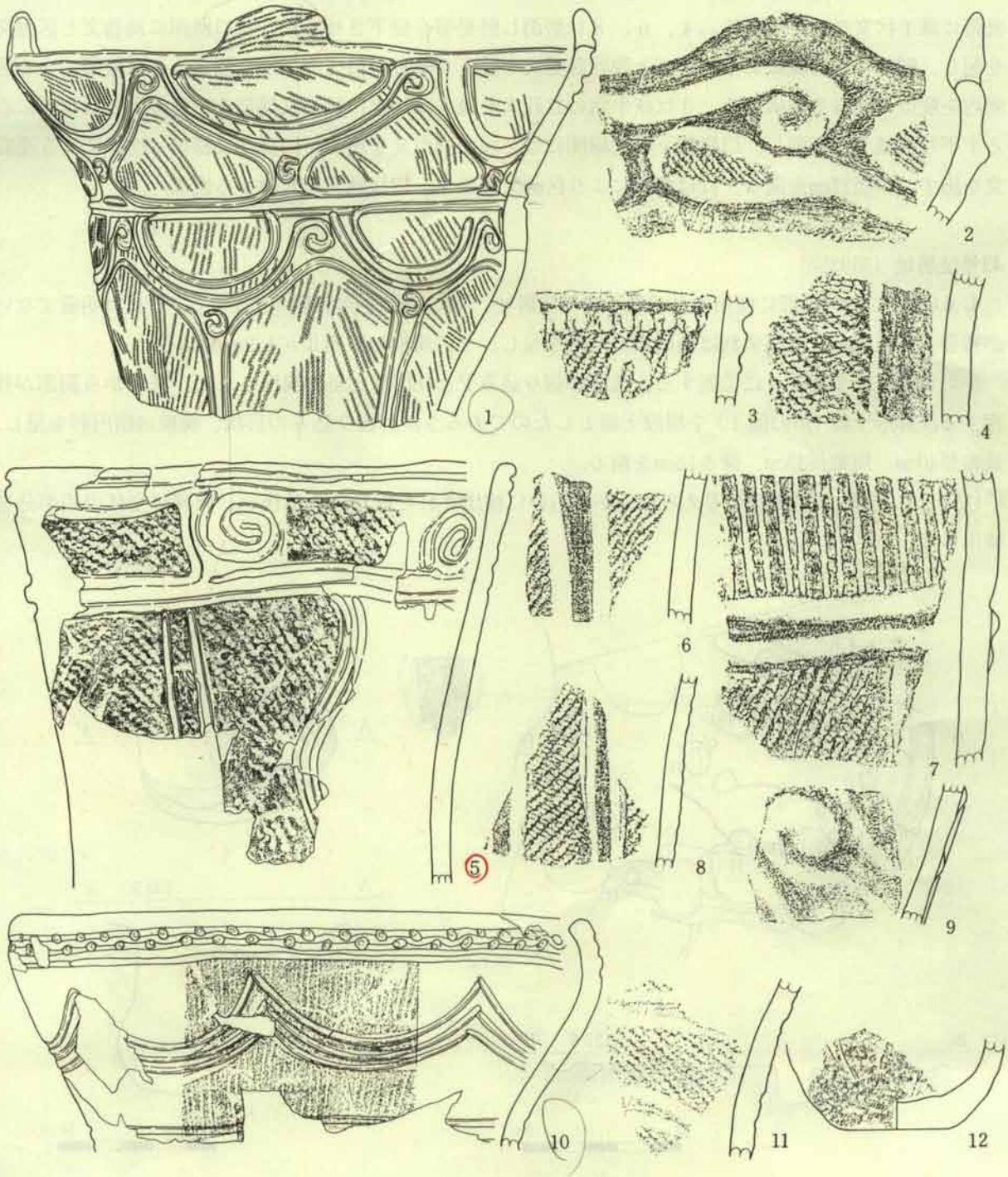



第 90 図　42号住居址

形状は南東～北西方向を長軸とする楕円形を呈し、規模は長軸長4.6m、短軸長４m、深さは残存する南東壁で50cmを測る。床面は北東～南西方向に走行している地震による亀裂により、段差を生じている。

炉址は中央やや北東寄りに位置する方形の石囲い炉である。縁石は河原石を使用し、東辺をのぞいて複数の石で辺を構成する。規模は１辺45cm前後、深さ16cmを測る。

柱穴は$P_1$～$P_8$に可能性が考えられ。周溝は検出できなかった。西壁直下に埋甕（第87図１）が検出された。




第91図　42号住居址出土遺物

**42号住居址出土遺物**（第91図１～12）

１は埋甕。４単位の山形突起を付す平口縁の深鉢形土器で、文様構成は括れ部に巡らした沈線により口縁部と胴部に分かれる。口縁部文様帯は上部の半月文と下部の隅丸三角形の区画文を入り組ませ、区画間を蕨手文とＣ字文を施す。胴部文様帯の上部は口縁部の上部に配された半月文に似る区画文と下部には先端部が剣先状に尖るアーチ状区画を入り組ませる。区画間は口縁部文様帯と同様の構成を施す。口径は26.7cmを測る。

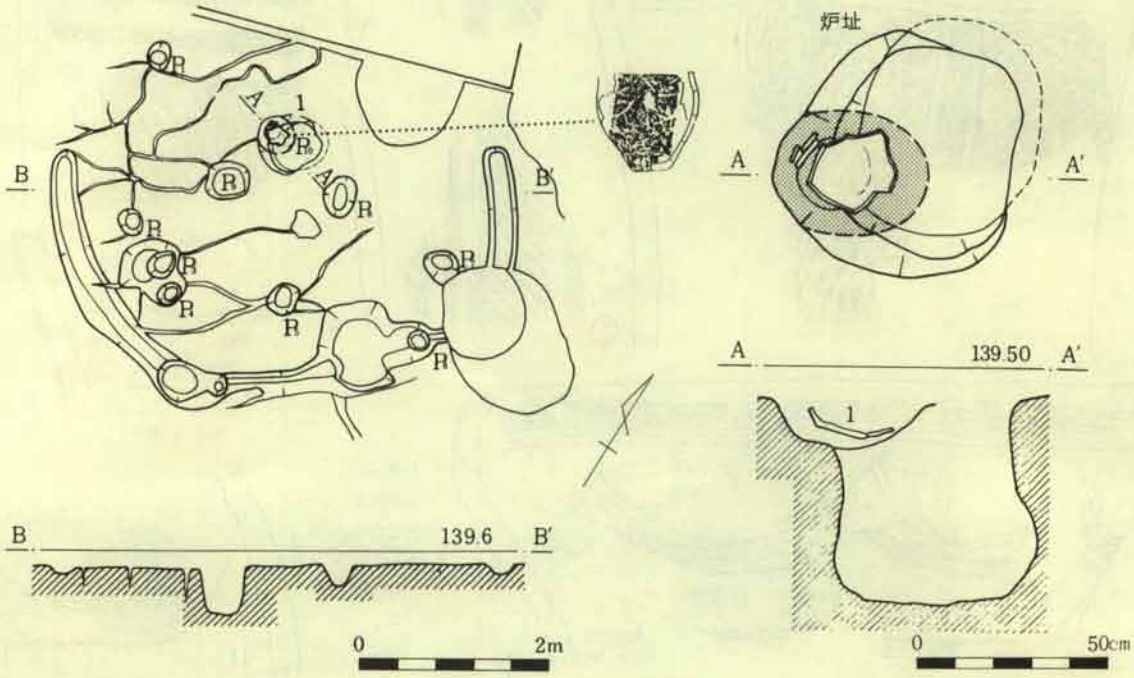
２は山形突起を付す口縁部片で渦巻文と楕円区画文を入り組み状に配す。３は縄文を充填する沈線区画帯に蕨手状文を垂下させる。４、６、８は磨消し懸垂帯を垂下させる。５は口縁部に渦巻文と区画文を配し、胴部には沈線による懸垂文と波状懸垂文を垂下させる。口径23.6cmを測る。７は隆帯による区画内を縦位の沈線で充填する。９は蕨手状の意匠文を施す。10は口縁部文様帯を口唇部下と括れ部に巡らす平行沈線文で区画し、口唇部下の沈線間には２段の列点文を施す。口縁部文様帯は沈線による連弧文を施す。口径27cmを測る。11は沈線により区画文を施す。12は縄文を充填する底部片。

**43号住居址**（第92図）

Ｌ６Grid の台地縁部に検出され、東に44号住居址、南に41号住居址等が位置する。形状は明確でないが残存する周溝から推察すれば楕円形か円形を呈し、その規模は東西長が4.9mを測る。

炉址は中央やや西寄りに位置する土坑状の掘り込み$P_{10}$の北西上面に検出された。底部から胴部が残存する深鉢形土器（第93図１）を埋設土器としたのであろうか。掘り込みの形状、規模は楕円形を呈し、長軸長40cm、短軸長33cm、深さ12cmを測る。

柱穴は$P_1$～$P_9$に可能性が考えられるが壁沿いに検出された掘り込みは浅い。周溝は全体の約半分を検出した。

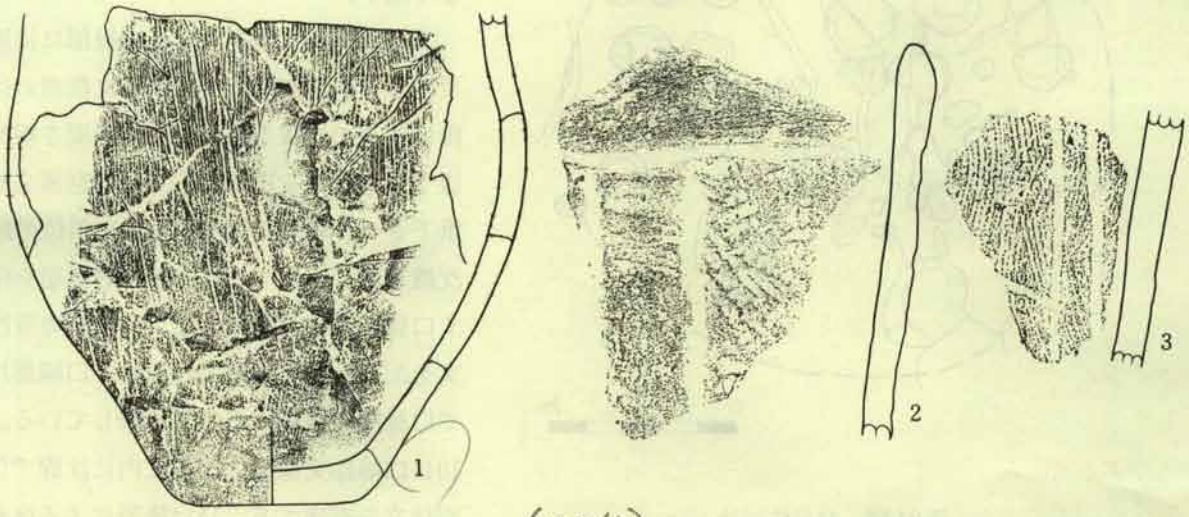



第92図　43号住居址

**43号住居址出土遺物**（第93図１～３）

１は炉内の出土で、底部より外反して開き胴部中位で内湾する深鉢形土器。地文は縦位の条線文を充填する。

２は山形突起を付す口縁部片で口唇部下に巡る沈線下より磨消し懸垂帯を垂下させる。３は条線文を地文とし、沈線による懸垂文を垂下させる。




(47H)

第93図　43号住居址出土遺物

**44号住居址**（第94図）

Ｌ７Grid に検出され、北東に45～47号住居址、西に土坑群を隔てて43号住居址が位置し、１号掘立柱建物址と重複する。

形状は、明確でないが柱穴の配置から円形が推察される。その規模は、5.6～5.8mを測る。床面には地震による亀裂が北東～南西方向に走行している。

炉址は、中央やや南寄りに位置する石囲い炉である。７石の河原石を使用して円形気味に縁石を配している。その規模は、80cmほどの径を測る。

炉址の１m南西には埋甕（第95図３）が検出された。柱穴は、$P_1$～$P_{13}$に可能性が考えられる。周溝は検出できなかった。

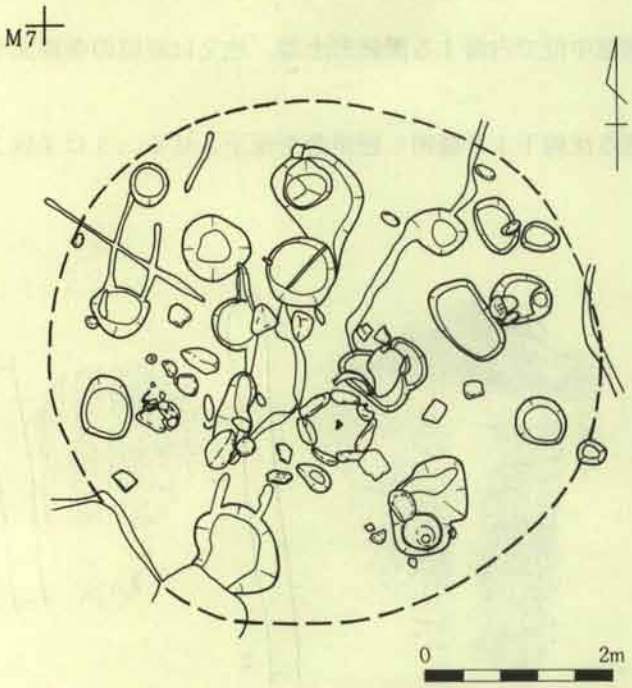
**44号住居址出土遺物**（第95、96図１～25）

１は、口縁部無文帯を設け、隆帯によるアーチ状区画文を垂下させる。区画文は磨消し懸垂帯と縄文帯を交互に配する。口径は49.4cmを測る大型土器で、炉址の東方に出土。

２は頸部無文帯を有し、口縁部文様帯は隆帯により渦巻文と区画文を配すのであろう。胴部文様帯は横位に巡る沈線で区画され、沈線より懸垂文を垂下させる。

３は埋甕。底部より内湾して開き、胴部下半に括れ部を設け、胴部上半で再び内湾して口縁部に移行する大型の深鉢形土器である。胴部文様帯は沈線区画による磨消し懸垂帯を垂下させる。最大径を胴部上半に有し39cmを測る。

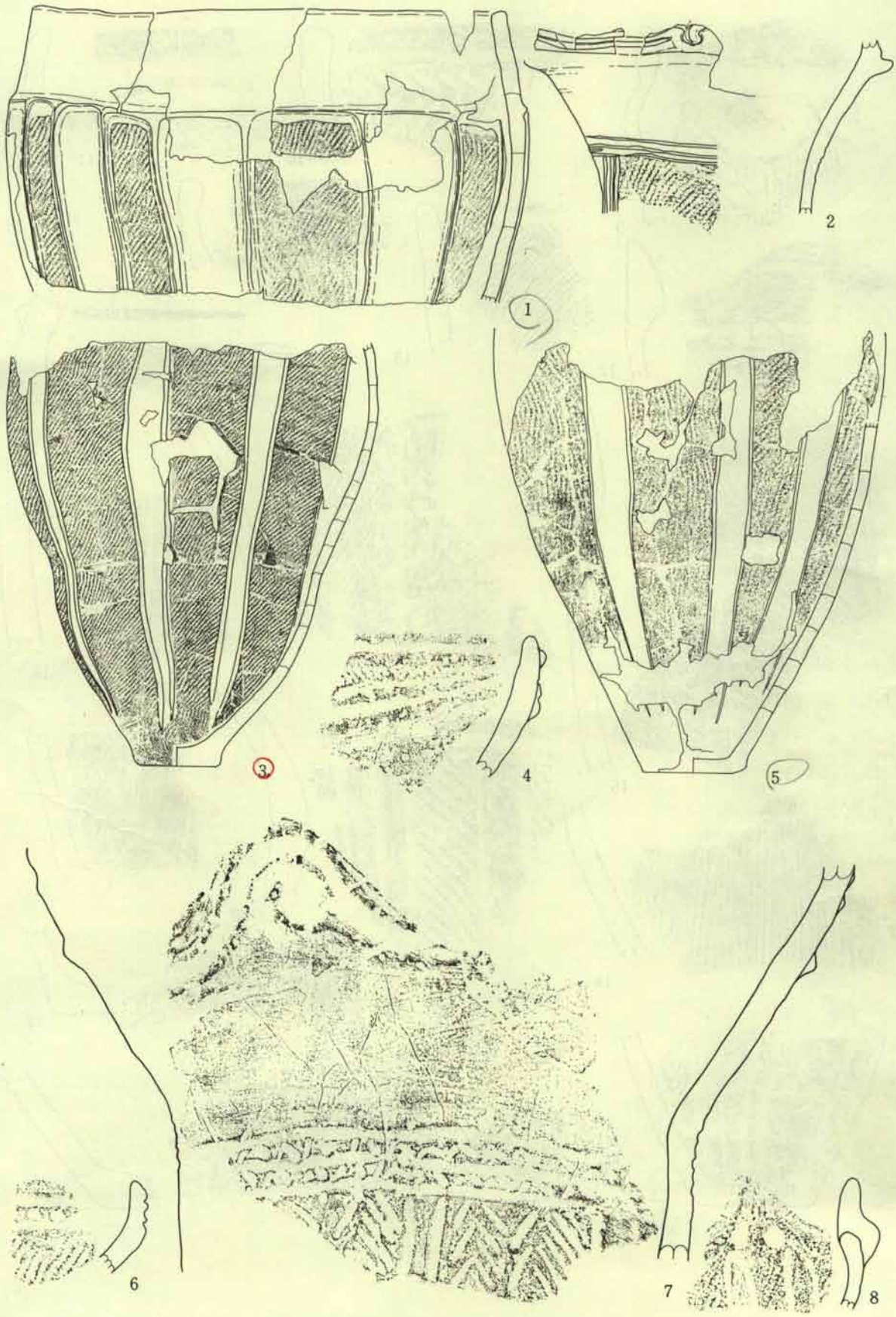
４は隆帯による区画文内を斜位の沈線で充填する。



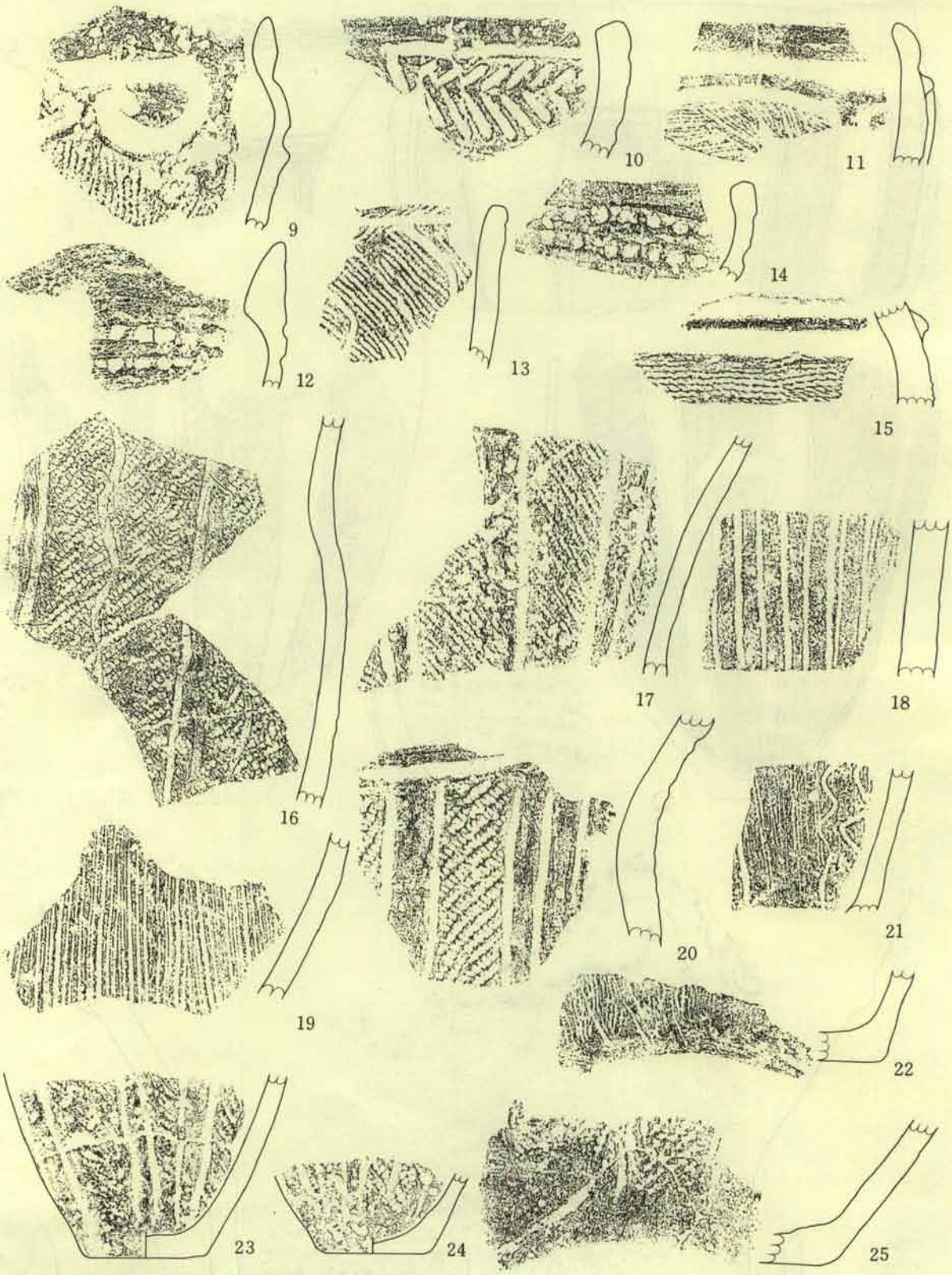

第94図　44号住居址

5は底部より内湾して緩やかに開く胴部へ移行する大型の深鉢で沈線区画による磨消し懸垂帯を垂下させる。炉址の北に隣接して出土。6は口唇部下に平行沈線を巡らし、沈線間に円形の刺突文を連続して施す。

7は頸部無文帯を有し、口縁部には隆帯による渦巻文を配す。胴部文様帯の区画は3本の沈線を巡らし、沈線間を短沈線で鋸歯状文を施す。下方には懸垂文を垂下させ、懸垂文間を矢羽状に斜位の短沈線を施し充填する。8は山形突起を付す口縁部片で沈線によるアーチ状の意匠文を配す。9も山形突起を付す口縁部片で口縁部文様帯に渦巻文を施している。10は口縁部文様帯の区画文内に沈線で矢羽状文を充填する。11は隆帯による区画文内に条線文を施す。12は山形突起を付す口縁部片で平行する2段の刺突文を施す。13は口唇部下に横走沈線文を巡らし、その下方に波状文を意匠する。14は口唇部下に2段の連続刺突文を施す。15は隆帯による区画文下に縄文を充填する。16は沈線による懸垂文と波状懸垂文を垂下させる。17、20、23は沈線区画による磨消し懸垂帯を垂下させる。18は縦位の沈線文を垂下させ、19は縦位の条線文を地文とする。21は19と同様に縦位の条線文を地文とし、沈線による波状懸垂文などを垂下させる。22は条線文を縦位に充填する。24、25は沈線による懸垂文が垂下している。




第 95 図　44号住居址出土遺物(1)




第 96 図　44号住居址出土遺物(2)

**45～48号住居址**（第97、98図）

45～48号住居址は、Ｌ７、Ｍ７Grid に検出され、東には49号住居址と土坑群が広がり、西には44号住居址、南東は近世の掘立柱建物址が位置する。

45号住居址は、１号炉址を伴うと考えられる。形状は、炉址を中心として環状に位置する柱穴$P_1$～$P_5$を包括する円形が考えられる。その規模は、4.4～4.5m前後を測る。

１号炉址は、ほぼ中央に位置する方形の石囲い炉である。形状は、長軸辺が１～２石、短軸辺は１石で縁石を構成する。南辺の縁石がやや炉内に入り込む様に乱れが生じている。規模は、長軸長70cm前後、短軸長60cm、深さ25cmほどを測る。

柱穴は、前記したように$P_1$～$P_5$に可能性が考えられ、規則性が見られるが東方部は確認できなかった。周溝は検出されなかった。

46号住居址は、２～３号炉址を伴うと考えられ、建て替えが推察される。形状は、$P_1$～$P_{22}$を包括する円形の広がりが考えられ、規模は、6.7m前後の径を測る。

２、３号炉址は、中央やや西寄りに位置し、埋設土器を伴う石囲い炉である。２号炉址は、埋設土器（第99図２）を炉内中央やや南寄りに正位に据え、縁石を方形に施す石囲い炉が考えられる。縁石は東辺と南辺の一部に３石が残存するのみである。規模は、長軸長95cm、短軸長85cm、深さ10cmほどを測る。２号炉址と３号炉址の中間には完形の鉢形土器（第99図３）が出土した。

３号炉址も炉内の中央部に埋設土器（第99図９）を正位に据える石囲い炉と考えられる。形状は、明確でないが方形に縁石を施すものと推察される。縁石は東辺と西辺の一部に残存し、北辺部には周溝状に縁石を配す掘り方が残る。規模は、一辺が70cm前後を測る方形となろう。

当住居址に伴うと考えられる埋甕は、南東から南方向で３基を検出した。

１号埋甕（第99図１）は、２号炉址の南東3.6mに位置する。30cm前後の円形で13cmほどの掘り込みを測り、やや北方向に傾くが正位に据えている。

２号埋甕（第99図４）は、２号炉址の南方2.8mに位置する。30cm前後の円形で15cm前後の掘り込みを測り、ほぼ正位に据えている。

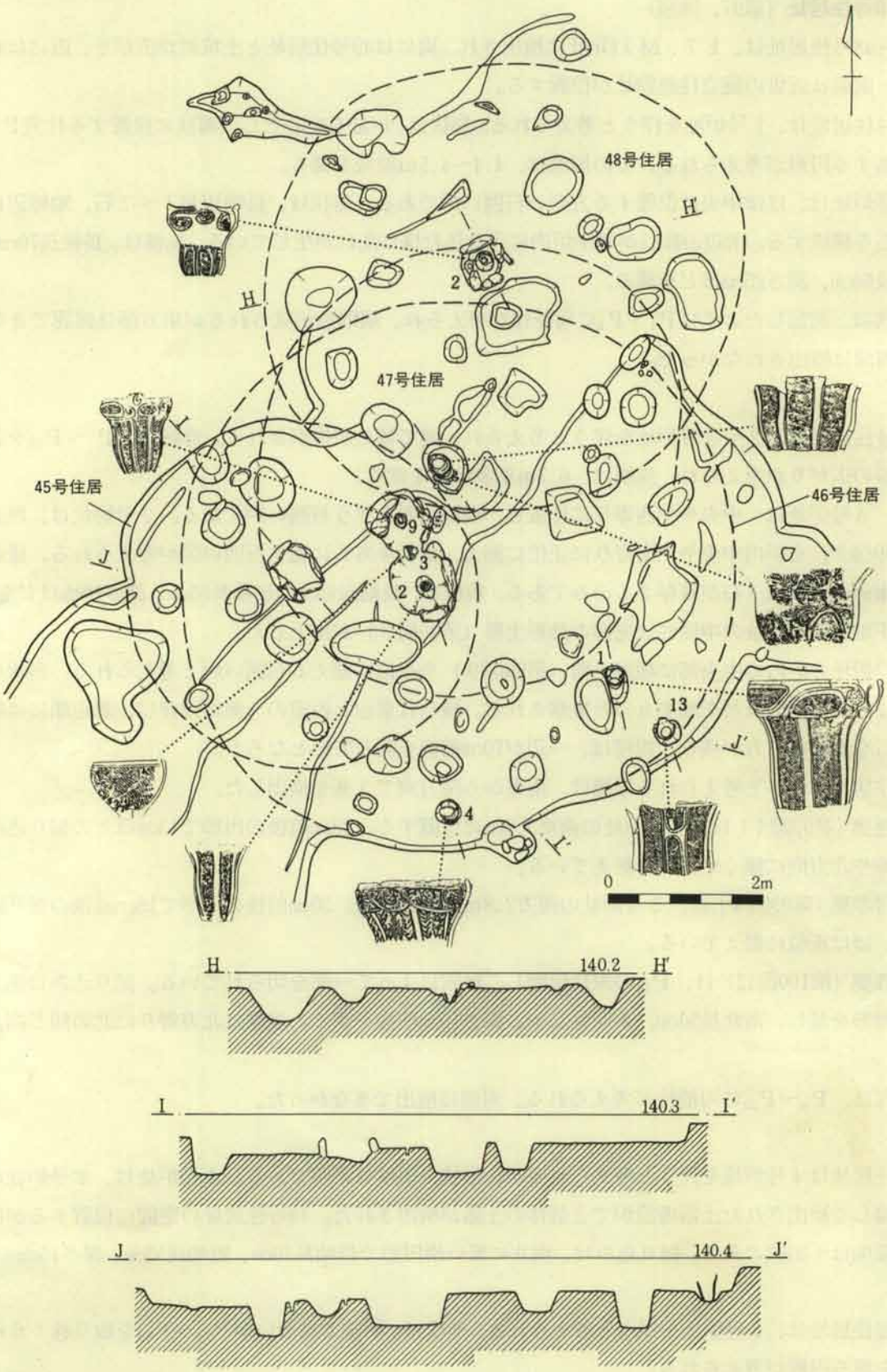
３号埋甕（第100図13）は、$P_{14}$の東に位置し、柱穴によって一部を切られている。掘り込みは南北に長い楕円形を呈し、南北長50cm、東西長35cm、深さ10cm前後を測る。埋甕は北方寄りに北の傾で据えている。

柱穴は、$P_6$～$P_{22}$に可能性が考えられる。周溝は検出できなかった。

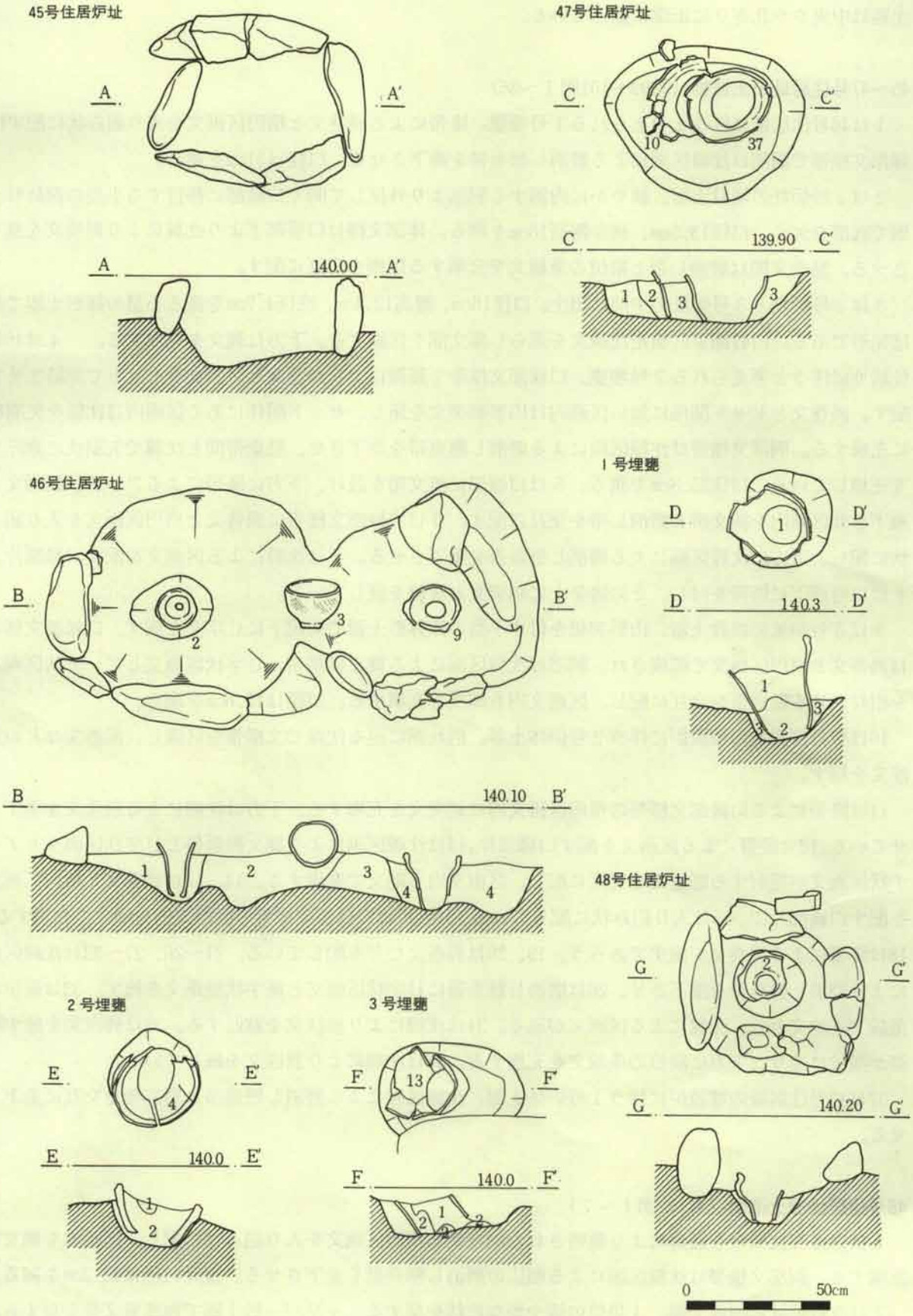
47住居址は４号炉址を伴うと考えられるが、形状、規模は不明である。４号炉址は、２号炉址の北東に隣接して検出された土器埋設炉で２個体の土器が検出された。46号住居址の空間に位置するが住居址との関係は不明確である。掘り込みは、南北に長い楕円形で長軸長70cm、短軸長53cm、深さ15cmを測る。

48号住居址は、５号炉址を伴うと考えられる。形状は、明確ではないが$P_{23}$～$P_{30}$を取り巻く６mほどの径を測る円形が考えられる。

５号炉址は、埋設土器（第102図２）を伴う方形の石囲い炉である。東辺と西辺の一部が縁石を欠くが、東西辺を１石、南北辺２石で構成する。規模は、東西長60cm、南北長65cm、深さ20cmほどを測る。埋設




第97図　45～48号住居址




第98図　45～48号住居炉址

土器は中央やや北寄りに正位に据えている。

**45～47号住居址出土遺物**（第99～101図１～36）

１は46号住居址に伴うと考えられる１号埋甕。隆帯による渦巻文と楕円区画文を入り組み状に配す口縁部文様帯で胴部は沈線区画による磨消し懸垂帯を垂下させる。口径は31cmを測る。

２は２号炉址の埋設土器。緩やかに内湾する胴部より外反して開く口縁部に移行する小型の深鉢形土器で底部を欠く。口径13.5cm、残存器高18cmを測る。体部文様は口唇部下より沈線により懸垂文を垂下させる。懸垂文間は磨消し帯と縦位の条線文を充填する区画を交互に配す。

３は２号炉址と３号炉址の中間に出土。口径16cm、器高12.4cm、底径4.7cmを測る小型の鉢形土器でほぼ完形である。口唇部下に横走沈線文を巡らし無文部を区画する。下方は縄文を充填する。　４は46号住居址に伴うと考えられる２号埋甕。口縁部文様帯を隆帯により渦巻文と区画文をセットで連結させて配す。渦巻文とセット関係に無い区画内は円形刺突文を施し、セット関係にある区画内は沈線を矢羽状に充填する。胴部文様帯は沈線区画による磨消し懸垂帯を垂下させ、懸垂帯間も沈線で矢羽状に意匠文を充填している。口径25.8cmを測る。５は口唇部に無文帯を設け、下方に隆帯によるアーチ状区画文を垂下させ区画内を縄文帯と磨消し帯を交互に配す。６は口縁部文様帯に渦巻文と楕円区画文を入り組み状に配し、下方に沈線区画による磨消し懸垂帯を垂下させる。７は沈線による区画文を配す口縁部片。８は口唇部下に隆帯を付し、その隆帯上に刺突文と沈線を施している。

９は３号炉址の埋設土器。山形突起を付す小型の深鉢形土器で突起下にＣ字文を施す。口縁部文様帯は渦巻文と楕円区画文で構成され、胴部は沈線区画による縄文懸垂帯とＵ字状区画文とアーチ状区画文を相対させる懸垂帯を交互に配し、区画文内も縄文で充填する。口径は15.6cmを測る。

10は47号住居址の埋設炉に伴う２号炉体土器。括れ部に巡る沈線で文様帯を区画し、渦巻文などの意匠文を施す。

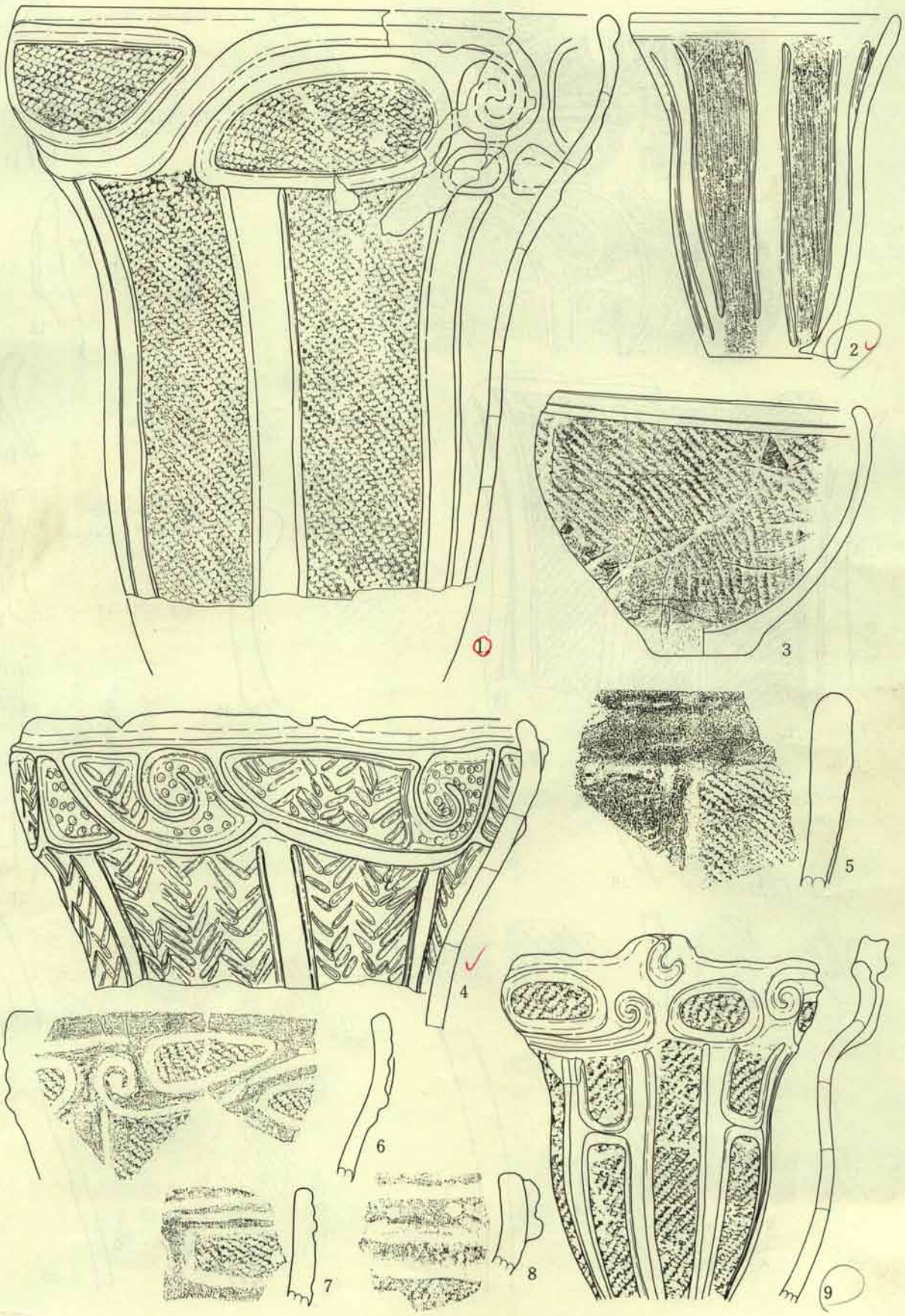
11は隆帯による口縁部文様帯の楕円区画文内に刺突文を充填する。下方は沈線による懸垂文を垂下させている。12は隆帯による区画文を配す口縁部片。13は沈線区画による縄文懸垂帯とＵ字状区画文とアーチ状区画文が相対する懸垂帯を交互に配し、区画文内も縄文で充填する。14、15は渦巻文と楕円区画文を配す口縁部片で、15は入り組み状に配している。16、17は口縁部文様帯の区画文内を縄文で充填する。18は隆帯による渦巻文が施すであろう。19、20は渦巻文などを配している。21～26、27～32は沈線区画による磨消し懸垂帯を垂下させ、26は磨消し懸垂帯にＵ字状区画文と蕨手状懸垂文を施す。33は縦位の条線文を地文とし、沈線による区画文が巡る。34は沈線により波状文を意匠する。35は列点文を施す隆帯が横位に巡り、下方に縦位の条線文を充填する。36は沈線により意匠文を施している。

37は47号住居址の埋設炉に伴う１号炉体土器。沈線区画による磨消し懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる。

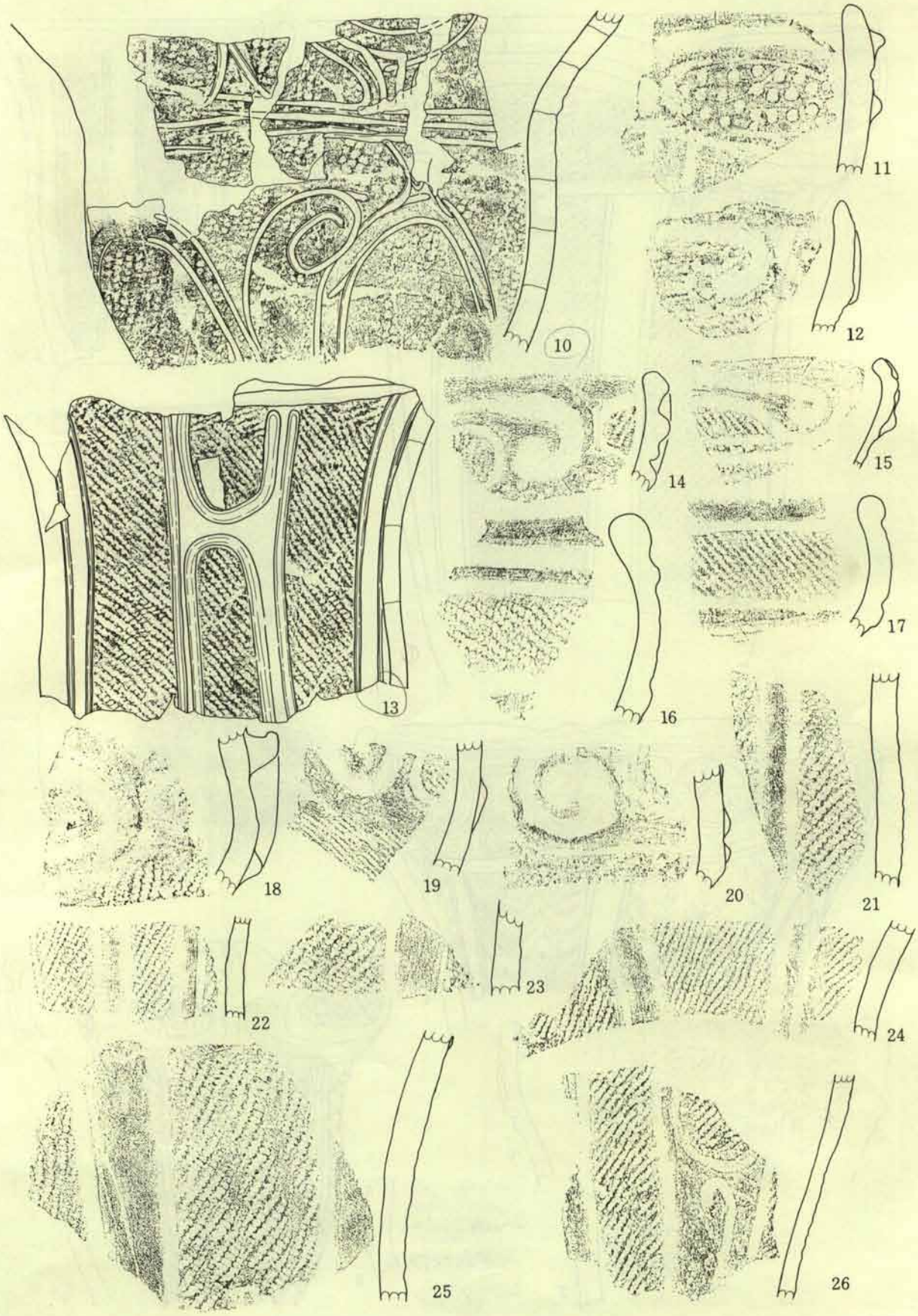
**48号住居址出土遺物**（第102図１～７）

１は口縁部文様帯を隆帯により簡略された渦巻文と楕円区画文を入り組み状に配し、区画内を縄文で充填する。胴部文様帯は沈線区画による幅広の磨消し懸垂帯を垂下させる。復元口径は42.2cmを測る。

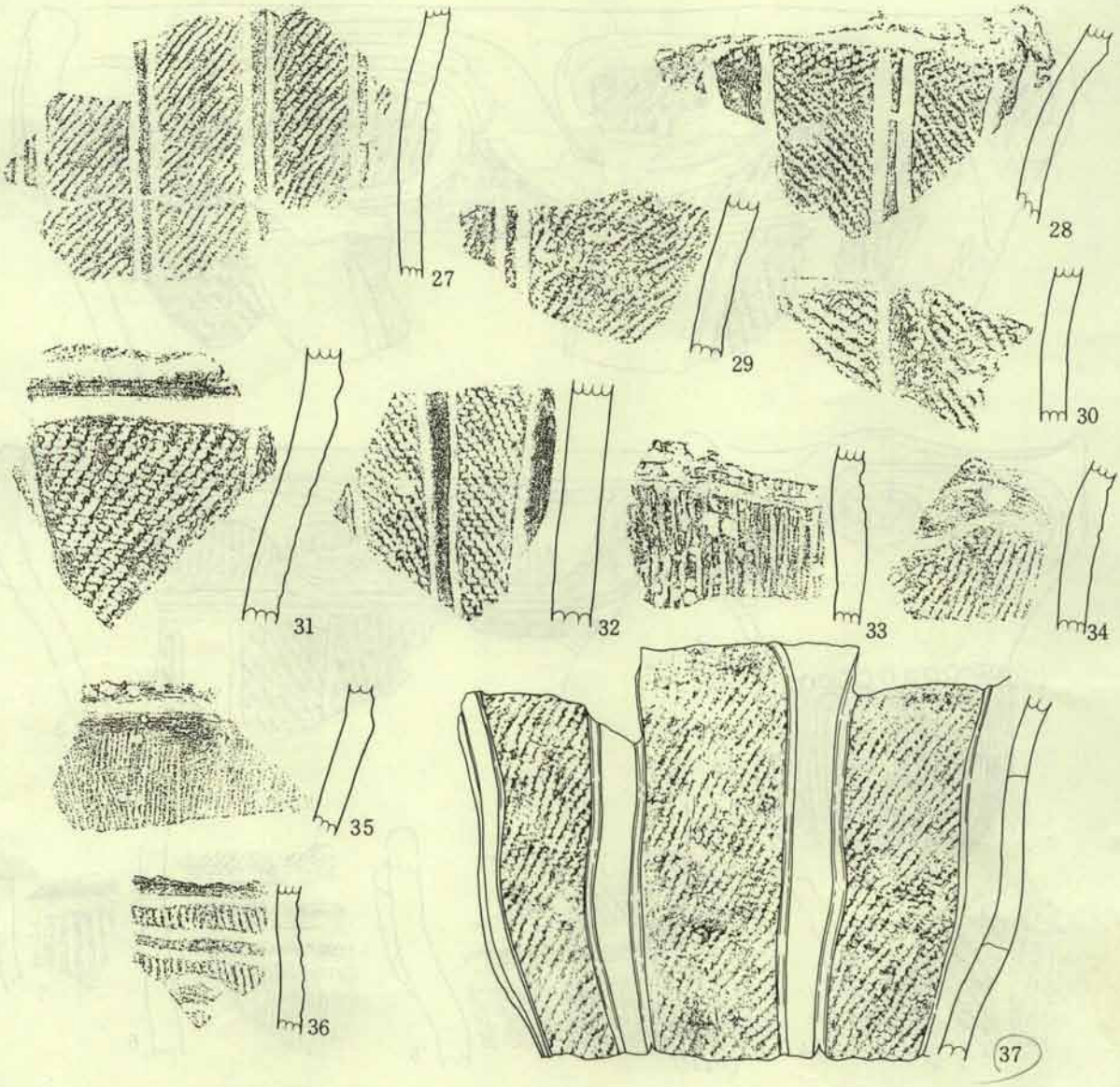
２は５号炉址の埋設土器。４単位の緩やかな波状を呈するキャリパー形土器で頸部無文帯を有する。口縁部文様帯は両端を蕨手状に丸める吊手状文と楕円区画文を配し、区画文内を縄文で充填する。胴部




第99図　45～47号住居址出土遺物(1)




第100図　45～47号住居址出土遺物(2)

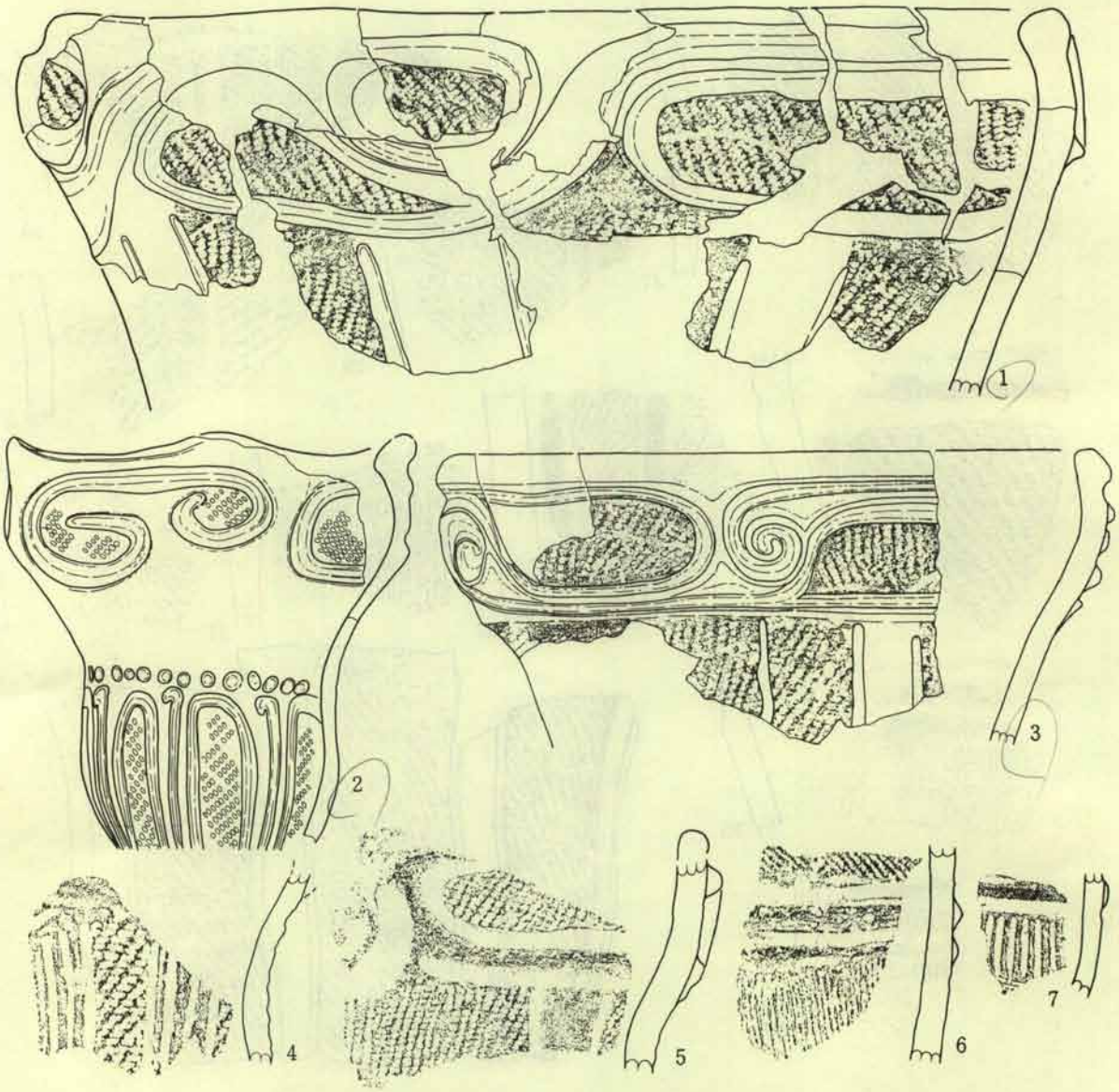



第101図　45～47号住居址出土遺物(3)

文様帯は括れ部に円形刺突文を巡らして区画する。下方は沈線による蕨手状文とアーチ状区画文を交互に垂下させる。口径は16.1cmを測る。

3は口縁部文様帯に渦巻文と楕円区画文を配し、区画内を縄文で充填する。胴部文様帯は沈線区画による磨消し懸垂帯と懸垂文を垂下させる。口径27cmを測る。

4は縄文帯を挟んで沈線による懸垂文を垂下させる。5は隆帯による渦巻文と楕円区画文を口縁部文様帯に配し、胴部には沈線区画による磨消し懸垂帯を垂下させる。6は隆帯による区画文下を縦位の条線文で充填する。7は区画文内を縦位の沈線で充填している。




第102図　48号住居址出土遺物

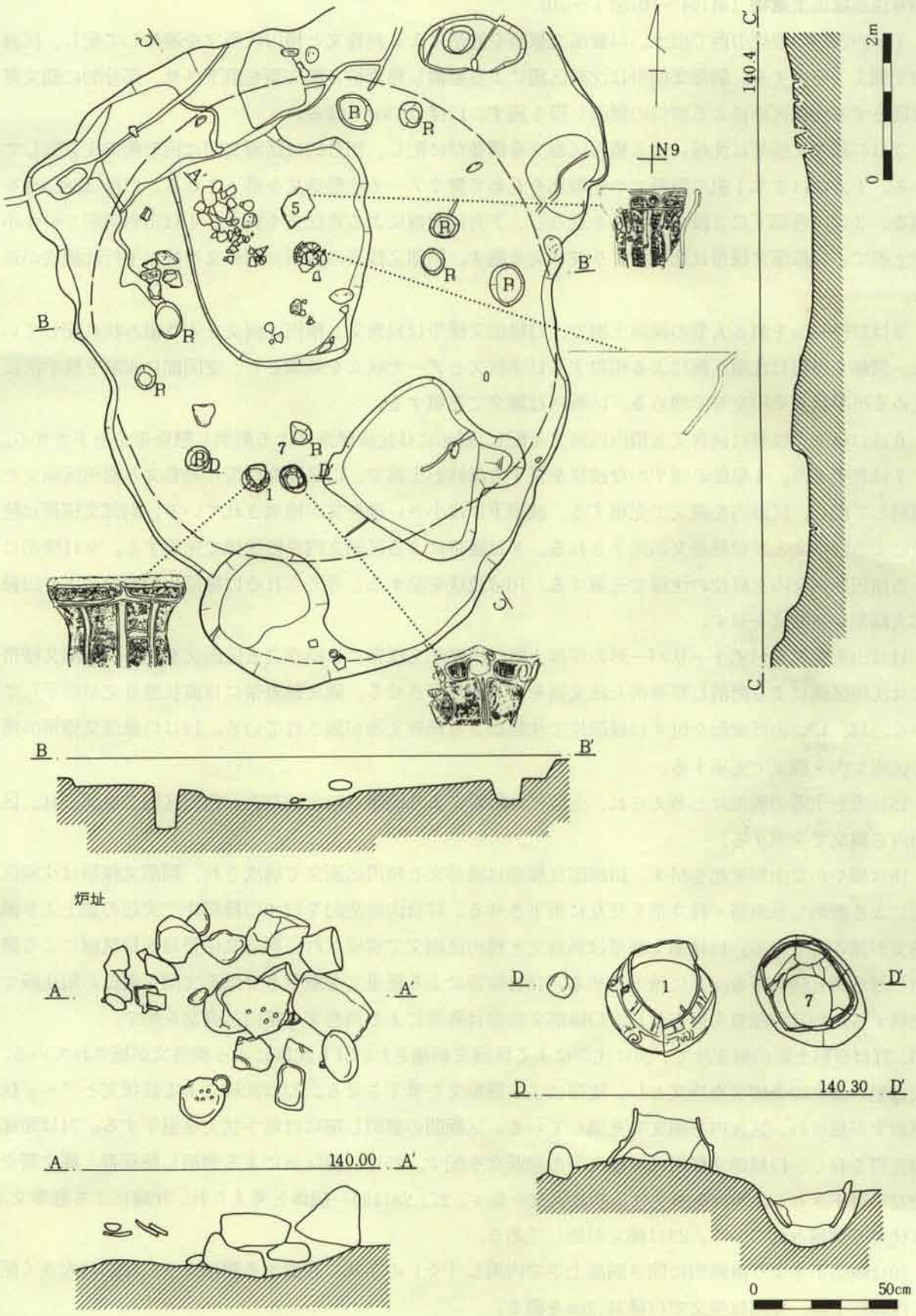
**49号住居址**（第103図）

M８、N８Grid にまたがって検出され、北東部から北部に土坑群、南西に48号住居址、南方には近世の掘立柱建物跡が位置する。

形状、規模は不明確であるが、6.4m前後の径を測る円形が考えられる。床面には、中央部から北方部に落ち込み状遺構が検出された。形状は、北東部に歪みを呈する方形で、東西長2.5m、南北長3.2m、深さ20cm前後を測る。

炉址と考えられる石組みは、落ち込み状遺構に位置する。形状は明確でないが、方形に縁石を配す石囲い炉と思われ、炉床に敷石を施している。

柱穴は、$P_1$～$P_9$に可能性が考えられる。周溝は検出できなかった。




第103図　49号住居址

**49号住居址出土遺物**（第104～107図１～30）

１は南西部の埋甕の西で出土。口縁部文様帯を隆帯による渦巻文と楕円区画文を連結して配し、区画内を縄文で充填する。胴部文様帯は沈線区画による磨消し懸垂帯と縄文帯を垂下させ、部分的に縄文帯を区分する沈線区画による横位の磨消し帯を施す。口径は33cmを測る。

２は口縁部文様帯に沈線による楕円区画文を横並びに配し、部分的に区画文間に円形刺突文を施している。下方には２本１組の懸垂文や先端部を丸めて繋ぐアーチ状懸垂文を垂下させる。口径は38.5cmを測る。３は口唇部下に２段の列点文を巡らし、下方に沈線による意匠文を施す。４は山形突起を付す小型土器で、口縁部文様帯は沈線により波状文を施す。胴部文様帯の区画は列点文を挟む平行沈線文が巡る。

５は口径50cmを測る大型の深鉢土器で、口縁部文様帯は渦巻文と楕円区画文を入り組み状に配している。胴部文様帯は沈線区画による相対するU字状文とアーチ状文を基調とし、空間部に両端を蕨手状に丸める吊手状文や円文等で埋める。区画内は縄文で充填する。

６は口縁部文様帯に渦巻文と楕円区画文を配し、胴部には沈線区画による磨消し懸垂帯を垂下させる。

７は埋甕土器。４単位の緩やかな波状を呈する深鉢形土器で、口縁部文様帯は渦巻文と楕円区画文を連結して配し、区画内を縄文で充填する。波頂下には小さい渦巻文が補填されている。胴部文様帯は隆帯による懸垂文と波状懸垂文が垂下される。８は隆帯による区画文内を短沈線で充填する。９は隆帯による楕円区画文内を縦位の沈線で充填する。10は波状を呈すると考えられる口縁部片で沈線により口縁部文様帯に意匠文を施す。

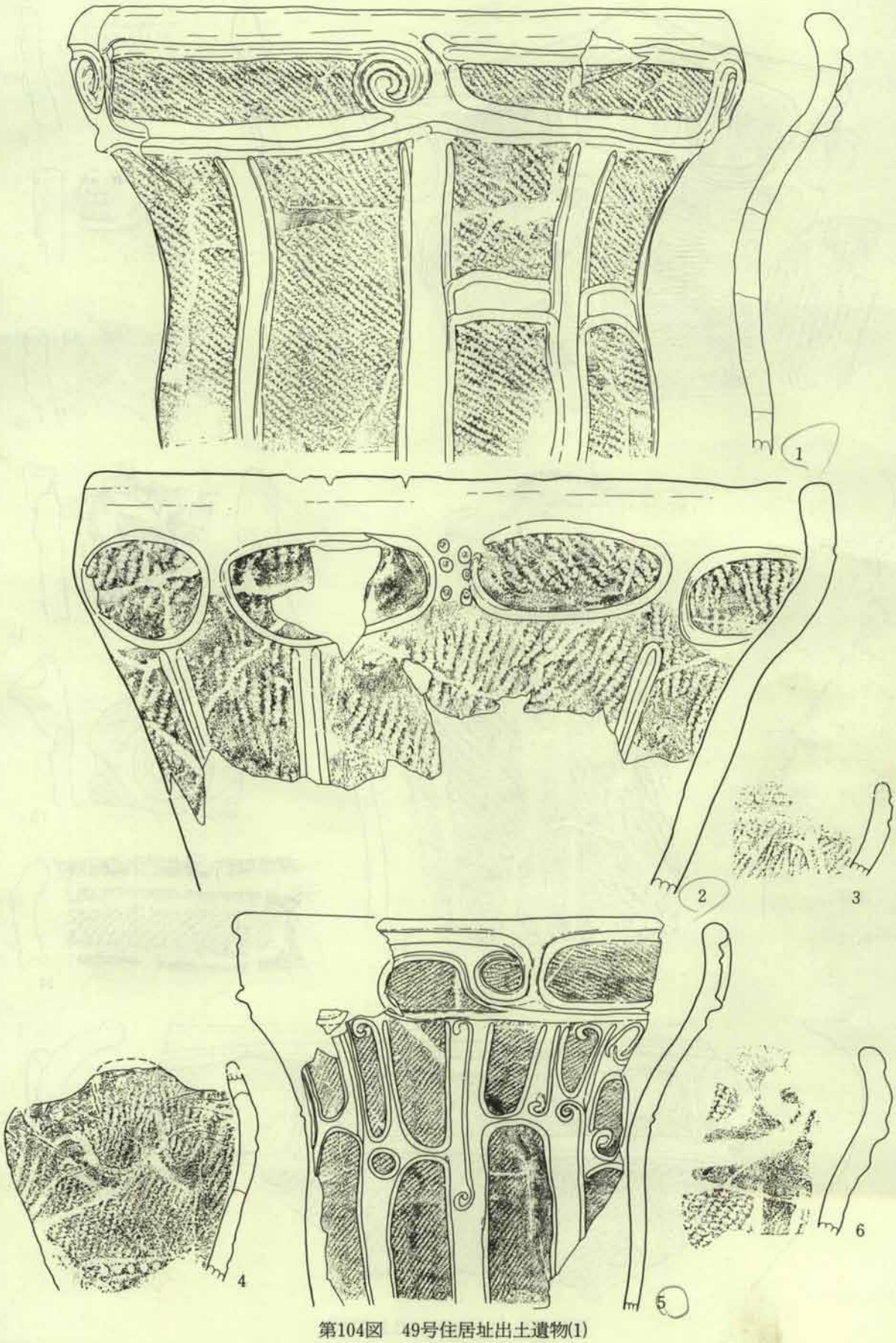
11は山形突起を付すキャリパー形の深鉢土器。口縁部文様帯には渦巻文と区画文を配し、胴部文様帯には沈線区画による磨消し懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる。縄文懸垂帯には波状懸垂文が垂下している。12、13は山形突起を付す口縁部片で沈線による渦巻文等が施されている。14は口縁部文様帯の楕円区画文内を縄文で充填する。

15は壺形土器の胴部片と考えられ、上位には隆帯により簡略された渦巻文と楕円区画文が配され、区画内を縄文で充填する。

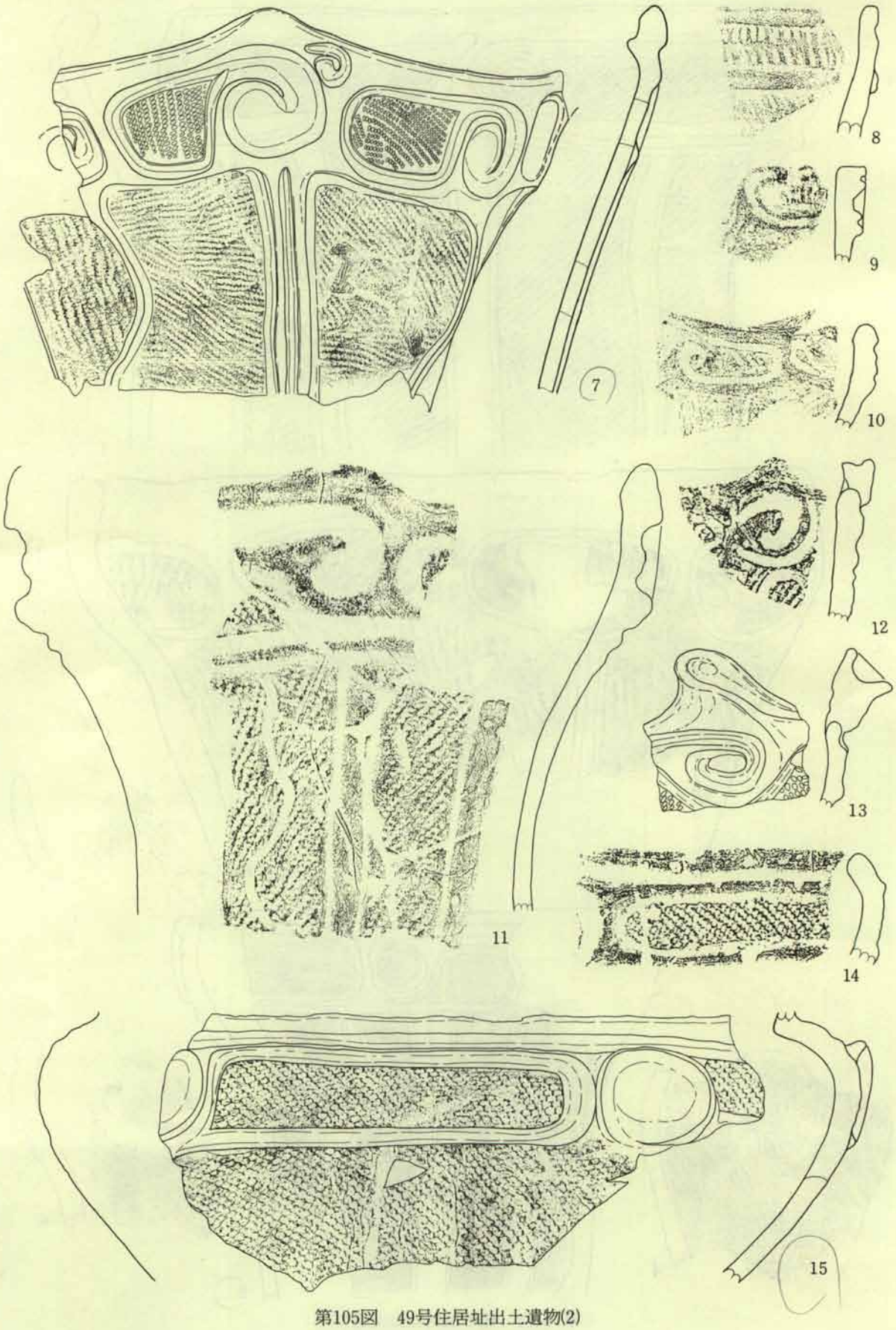
16は緩やかな山形突起を付す。口縁部文様帯は渦巻文と楕円区画文で構成され、胴部文様帯は沈線区画による磨消し懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる。17は山形突起を付す口縁部片で突起の頂上より渦巻文が施されている。口縁部文様帯は渦巻文と楕円区画文で構成され、胴部文様帯は沈線区画による磨消し懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる。18は隆帯による懸垂文を垂下させ懸垂文間を斜位の短沈線で充填する。19は頸部無文帯を有し、口縁部文様帯は隆帯による渦巻文と楕円区画文を配す。

20、21は壺形土器の胴部片で、20は沈線による区画文が施され、21も沈線による渦巻文が施されている。22は粗い縦位の条線文を地文とし、隆帯による懸垂文を垂下させる。23は沈線による波状文とアーチ状区画文が施され、区画内を縄文で充填している。区画間の磨消し部には蕨手状文を垂下する。24は頸部無文帯を有し、口縁部文様帯に区画文等の意匠文を配す。25は沈線区画による磨消し懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる。26は条線文により波状文を施す。27、28は同一個体と考えられ、沈線による懸垂文、波状文等が施されている。29は縄文が施してある。

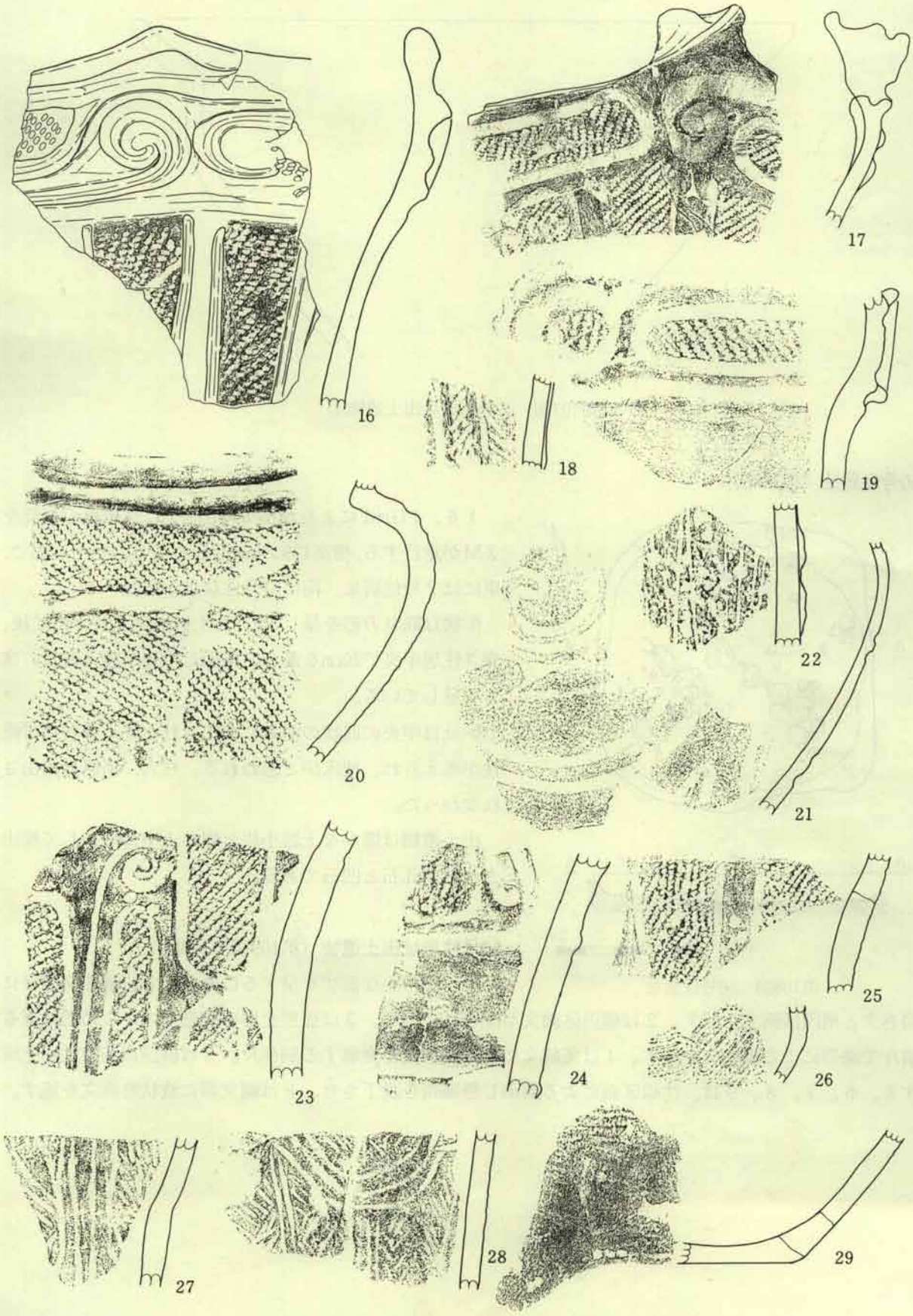
30は胴部下半より直線的に開き胴部上半で内湾し「く」の字状に屈曲する頸部より口縁部は大きく開く浅鉢形土器。体部は無文で口径34.2cmを測る。



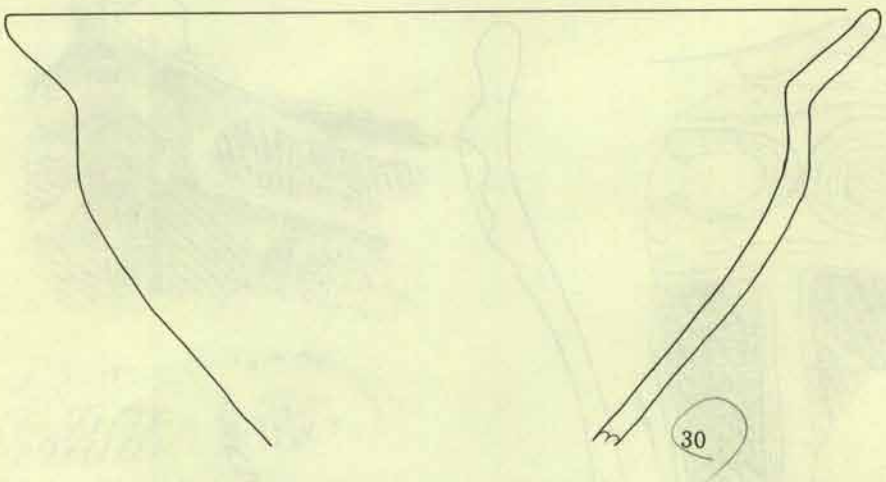

第104図　49号住居址出土遺物(1)




第105図　49号住居址出土遺物(2)

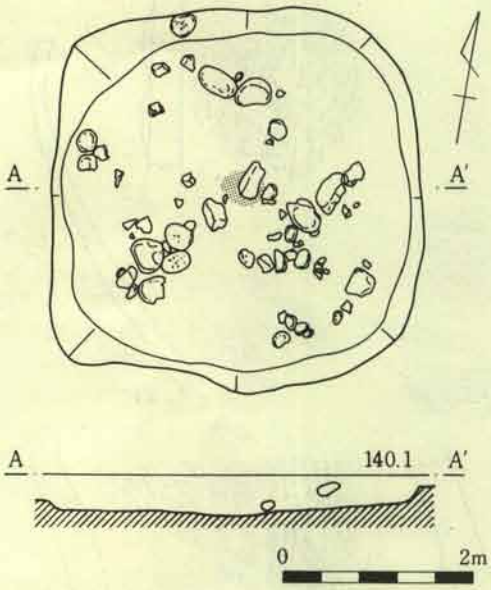



第106図　49号住居址出土遺物(3)




第107図　49号住居址出土遺物(4)

**50号住居址**（第108図）




第108図　50号住居址

Ⅰ6、7 Grid にまたがって検出され、住居址の南部を2Mが走行する。標高139.90m前後を測る台地中央部で、東には2号住居址、南に51号住居址が位置する。

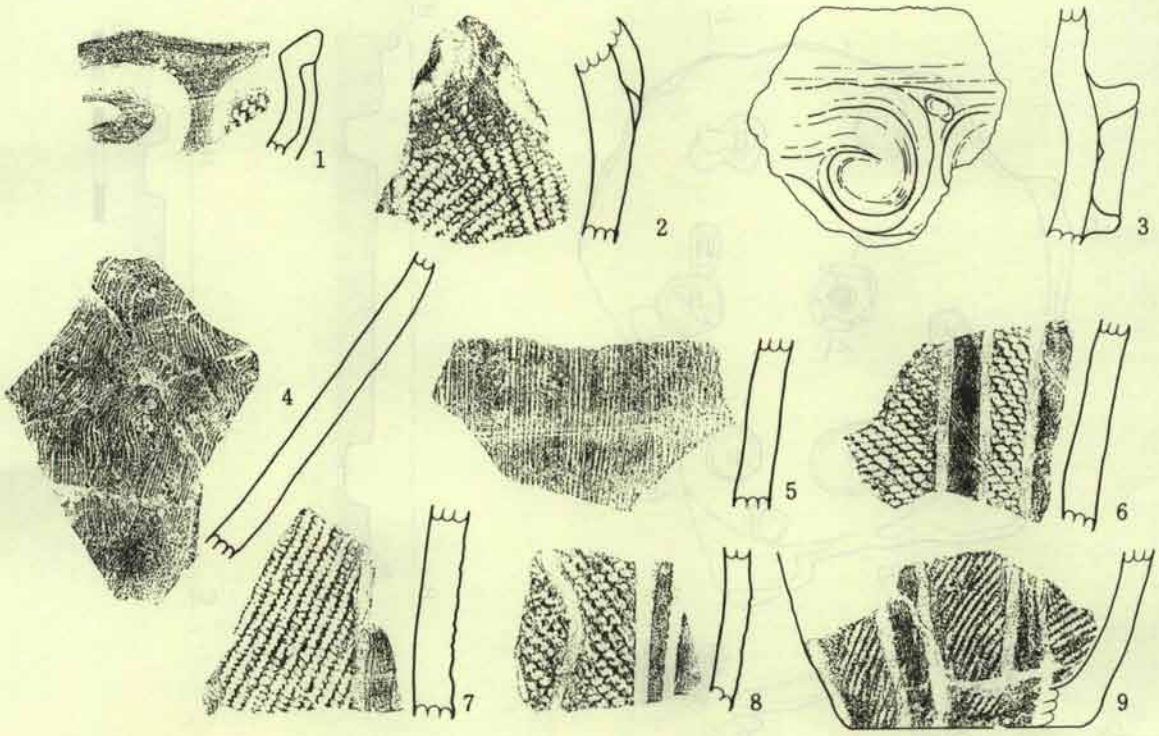
形状は隅丸方形を呈し、東西長3.9m、南北長4m前後、深さ住居中央で20cmを測る。床面は中央が浅い皿状の窪みを呈している。

炉址は中央の皿状の窪みに検出された焼土分布に可能性が考えられ、地床炉と思われる。柱穴、周溝は検出されなかった。

出土遺物は僅かな土器小片と埋め土中に散在して検出された多孔石と凹石である。

**50号住居址出土遺物**（第109図1～9）

1は緩やかな波状を呈する口縁部片で口縁部文様帯に渦巻文と楕円区画文を配す。2は楕円区画文が配されている。3は壺形土器の胴部上半から頸部に至る破片で隆帯による渦巻文を施す。4は条線文による波状文を充填する胴部片。5は縦位に条線文を充填する。6、7、8、9は、沈線区画による磨消し懸垂帯を垂下させ、8は縄文帯に波状懸垂文を施す。




第109図　50号住居址出土遺物

**51号住居址**（第110図）

Ｉ７Grid Point を住居内に包括し、Ｈ６、Ｈ７、Ｉ６、Ｉ７Gridのまたがる台地の中央平坦部に検出された。住居址の東壁部は４Ｍにより切られている。北には50号住居址、南には52号住居址が位置する。

形状は南北にやや長い楕円形を呈し、長軸長5.2m、短軸長５ｍ前後、深さ20cmを測る。床面はほぼ平坦である。

炉址は中央やや西寄りに位置し、入れ子状の埋設土器を伴う石囲い炉である。北東の１石が炉内にずれ込んでいるが形状は方形気味に多孔石と河原石により縁石配置を施していると考えられる。規模は東西長65cm、南北長73cm、深さ15cm前後を測る。

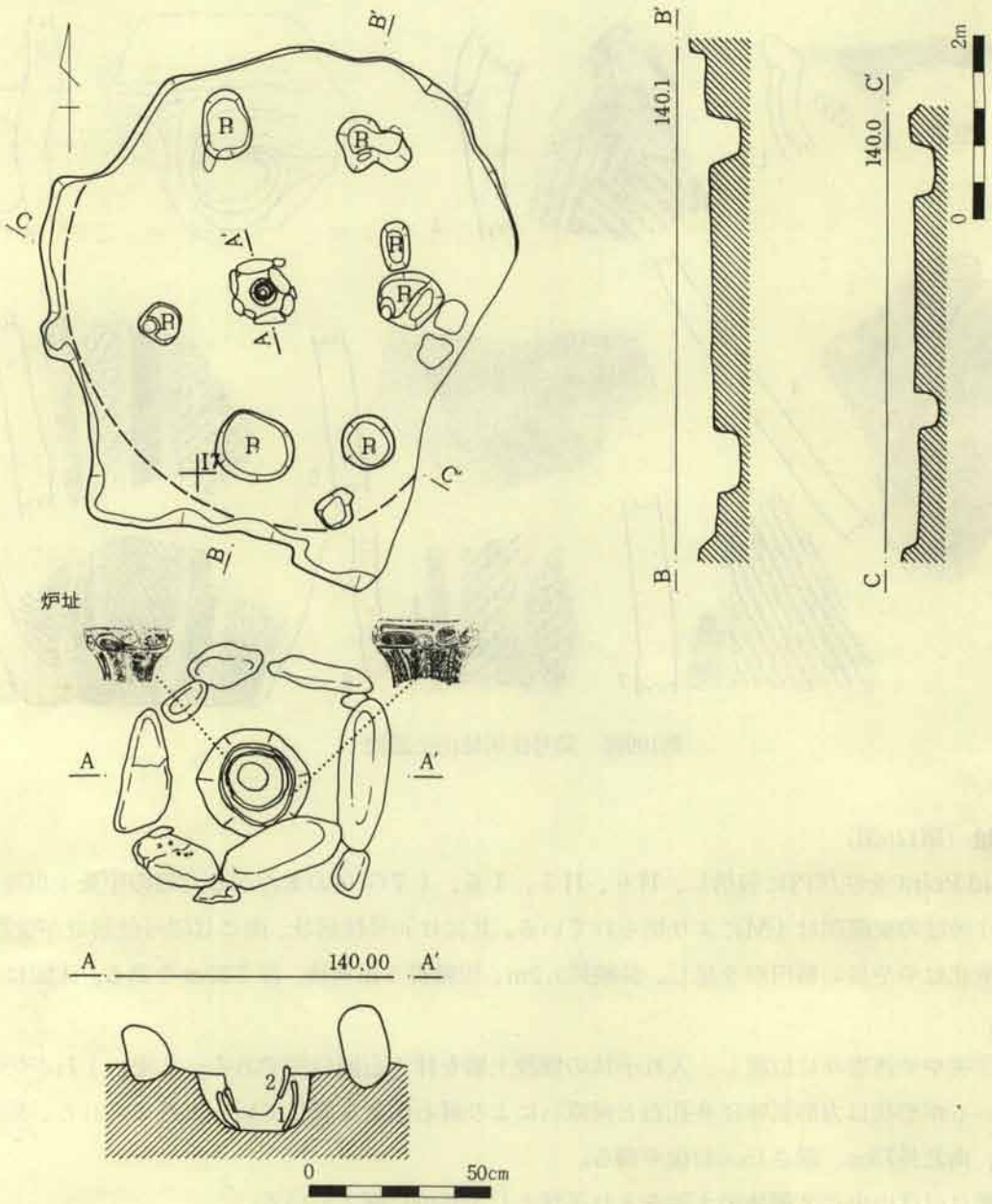
埋設土器はほぼ中央に２個体の土器を入れ子状として正位に据えている。

柱穴状掘り込みは$P_1$～$P_7$が考えられる。周溝は検出できなかった。遺物は炉内に埋設された２個体の土器を除き、埋め土中より小片が僅かに出土した。

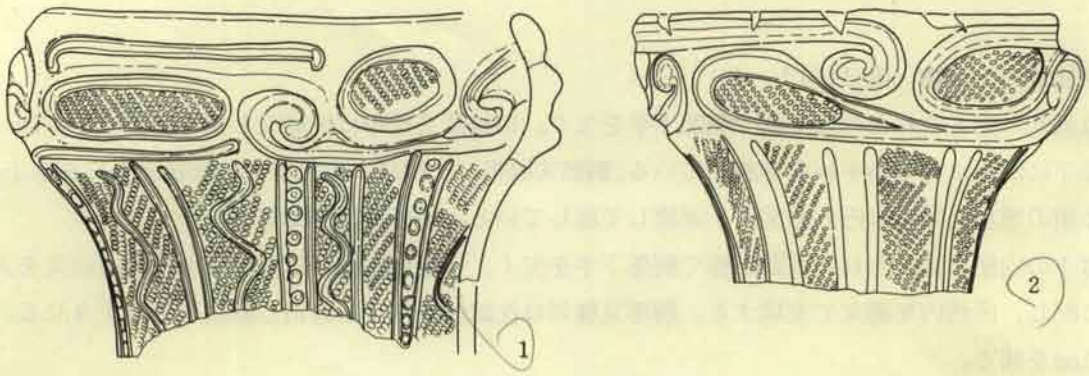
**51号住居址出土遺物**（第111図１、２）

１は最初に据えられた埋設土器で胴部下半を欠く。口縁部文様帯は渦巻文と楕円区画文を基調とし、口唇部下に沈線による吊手状文を施している。胴部文様帯は沈線による懸垂文と波状懸垂文を垂下させ、２本１組の懸垂文間には円形刺突文を連続して施している。口径は18.7cmを測る。

２は１の内部に据えられた埋設土器で胴部下半を欠く。口縁部文様帯は渦巻文と楕円区画文を入り組み状に配し、区画内を縄文で充填する。胴部文様帯は沈線区画による磨消し懸垂帯を垂下させる。口径は16.1cmを測る。




第110図　51号住居址




第111図　51号住居址出土遺物

**52号住居址**（第112図）

Ｈ６、７Grid にまたがり、調査区のほぼ中央部に検出された。住居址の中央部を南北に４Ｍが走行し、東方で２号方形周溝墓と重複する。

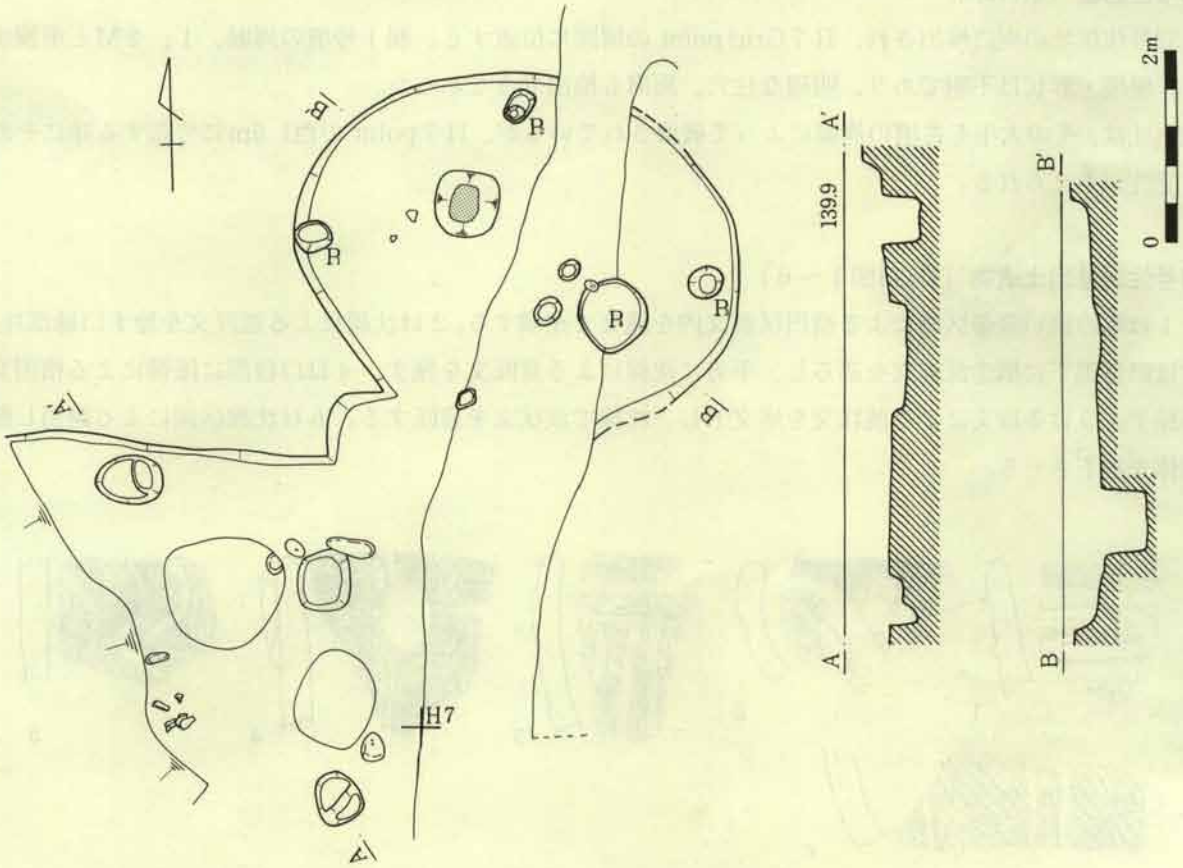
形状は、東西に長い楕円形を呈している。規模は、長軸長4.8m、短軸長3.9m、深さ20cm前後を測る。床面は北から南に緩やかな傾斜を呈している。

炉址は、中央やや北西寄りに位置する地床炉と考えられる。規模は70×65cmを測る隅丸方形を呈する皿状の掘り込みで、底面に焼土面が確認された。

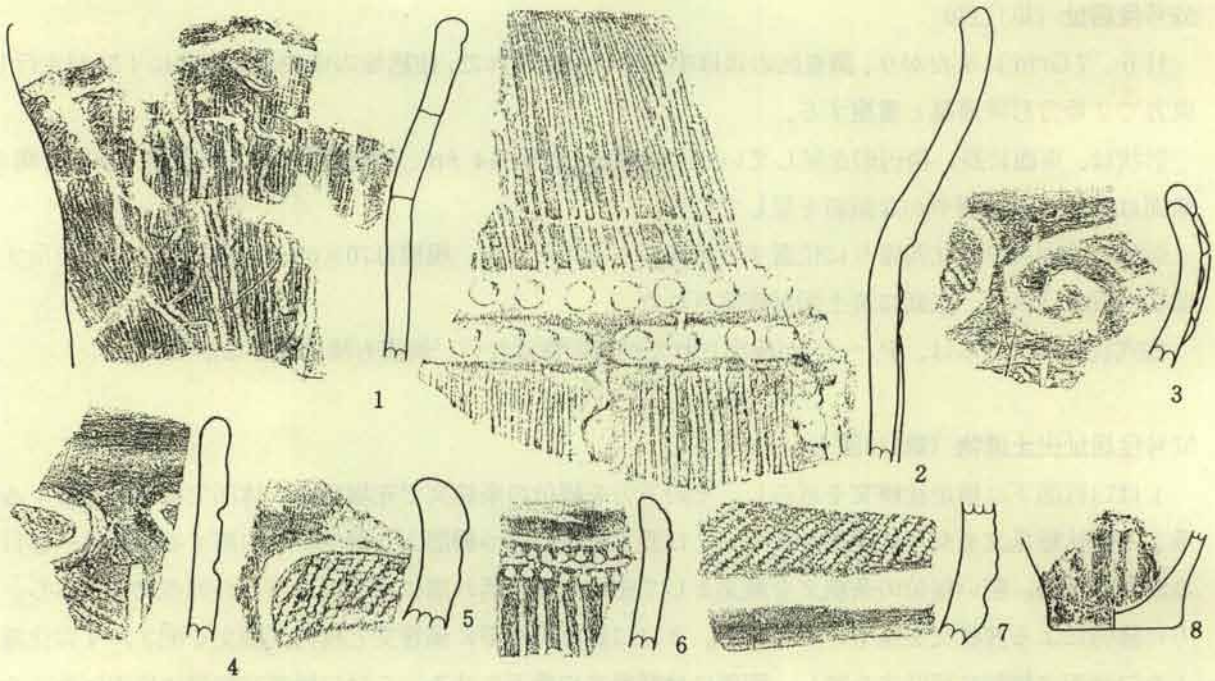
柱穴状の掘り込みは、$P_1$～$P_4$が検出されたが規則性はない。周溝も検出できなかった。

**52号住居址出土遺物**（第113図１～８）

１は口唇部下に横走沈線文を巡らし、その下方を縦位の条線文で充填する。体部文様は沈線による懸垂文と波状懸垂文を交互に垂下させる。２は直立気味に立つ胴部より緩やかに内湾する口縁部へ移行する深鉢形土器。粗い縦位の条線文を地文として充填する。括れ部には２段に円形の列点文を巡らし、下方に隆帯による波状文を垂下させている。３は口縁部文様帯に渦巻文と楕円区画文を配す。４は沈線により口縁部文様帯に意匠文を施し、胴部には懸垂文を垂下させる。５は口縁部文様帯に楕円区画文を配す。６は口唇部下に平行沈線文と２段の列点文を施し、下方に縦位の沈線を施している。７は口縁部文様帯に楕円区画文を配す。８は沈線による懸垂文が垂下している。




第112図　52、53号住居址




第113図　52号住居址出土遺物

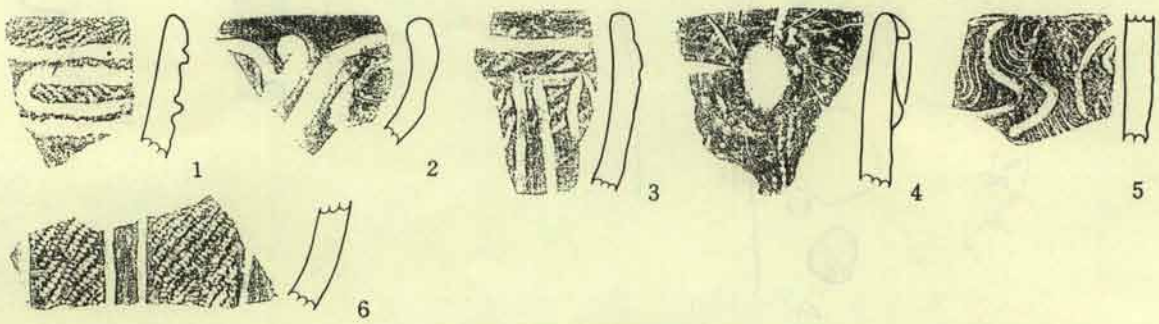
**53号住居址**（第112図）

52号住居址の南に検出され、H 7 Grid point の周囲に位置する。漏1号墳の周堀、1、2Mと重複する。規模・形状は不明であり、明確な柱穴、周溝も検出できなかった。

炉址は、その大半を古墳の周堀によって破壊されているが、H 7 point の西1.6mに分布する礫にその可能性が考えられる。

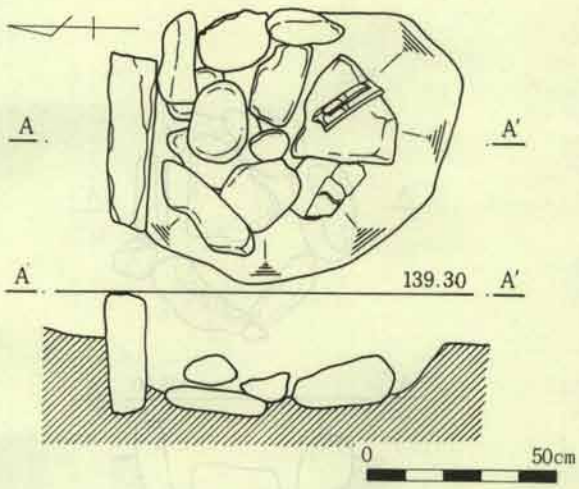
**53号住居址出土遺物**（第114図1～6）

1は幅の狭い隆帯区画による楕円区画文内を縄文で充填する。2は沈線による意匠文を施す口縁部片。3は口唇部下に横走沈線文を巡らし、下方に沈線による意匠文を施す。4は口唇部に隆帯による楕円文を施す。5は条線文による波状文を地文とし、沈線で波状文を意匠する。6は沈線区画による磨消し懸垂体を垂下させる。




第114図　53号住居址出土遺物

**54号住居址**（第115図）



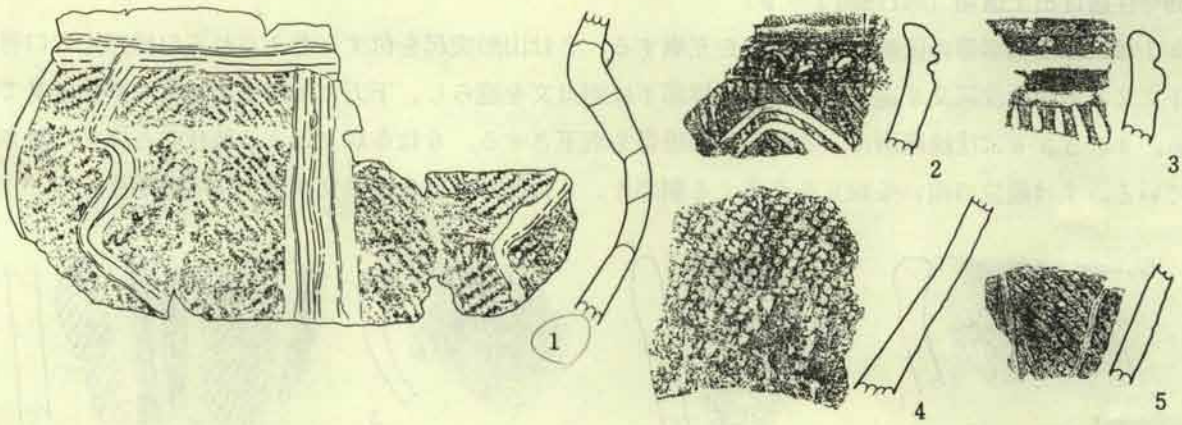

第115図　54号住居炉址

１号住居址の南西で漏１号墳の東周堀との間に位置する住居址で、炉址のみが検出された。

形状は石囲いによる方形炉が考えられ、底面に敷石を施している。規模は、長軸長0.9m、短軸長0.7m、深さ20cmほどを測る。

**54号住居址出土遺物**（第116図１～５）

１は胴部上半から頸部に至る破片で頸部に巡る隆帯から懸垂文と波状懸垂文を交互に垂下させる。２は口唇部下に交互刺突文を施す平行沈線文を巡らし、下方に波状文を施す口縁部片。３は口縁部文様帯の区画文内を縦位の沈線で充填する口縁部片。４は縄文を充填する胴部片。５は沈線による懸垂文が垂下する。



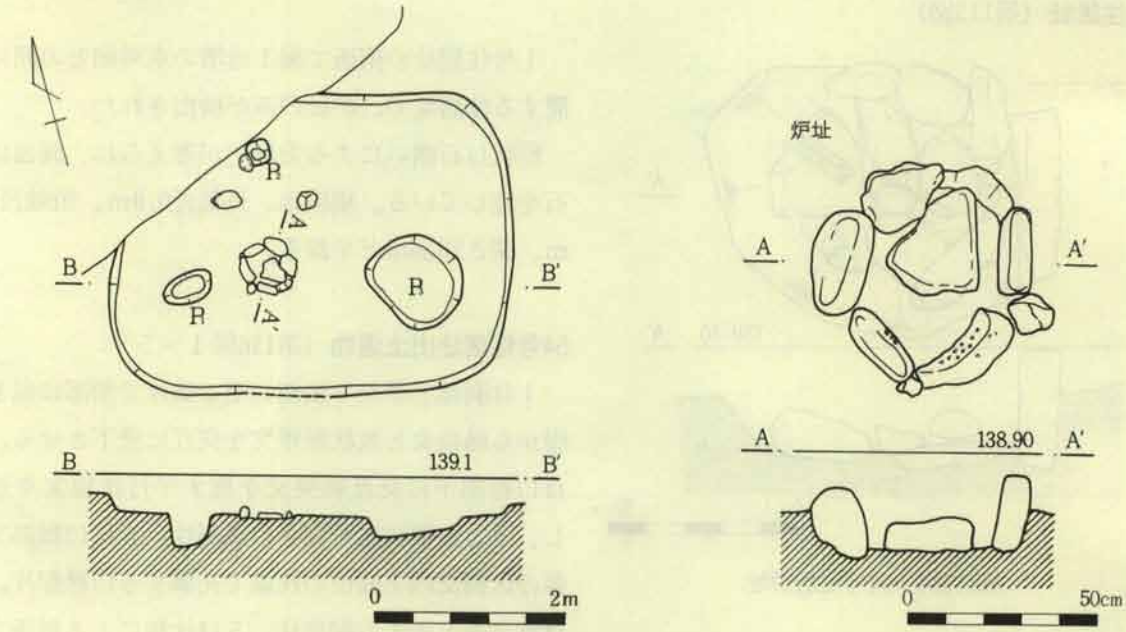

第116図　54号住居址出土遺物

**55号住居址**（第117図）

Ｅ６Grid に検出され、北西部は古墳時代前期の５号住居址によって切られている。形状は明確でないが現状では隅丸方形が考えられ、規模は長軸長4.2m、短軸長3.2m、深さ10～20cmを測る。床面はほぼ平坦である。

炉址は中央やや北西寄りに位置する。その形状は炉内の石を合わせて基本的には６石で縁石を構成する方形気味の石囲い炉と考えられる。縁石は河原石と多孔石を使用している。規模は長軸長60cm、短軸長55cm、深さ20cm前後を測る。

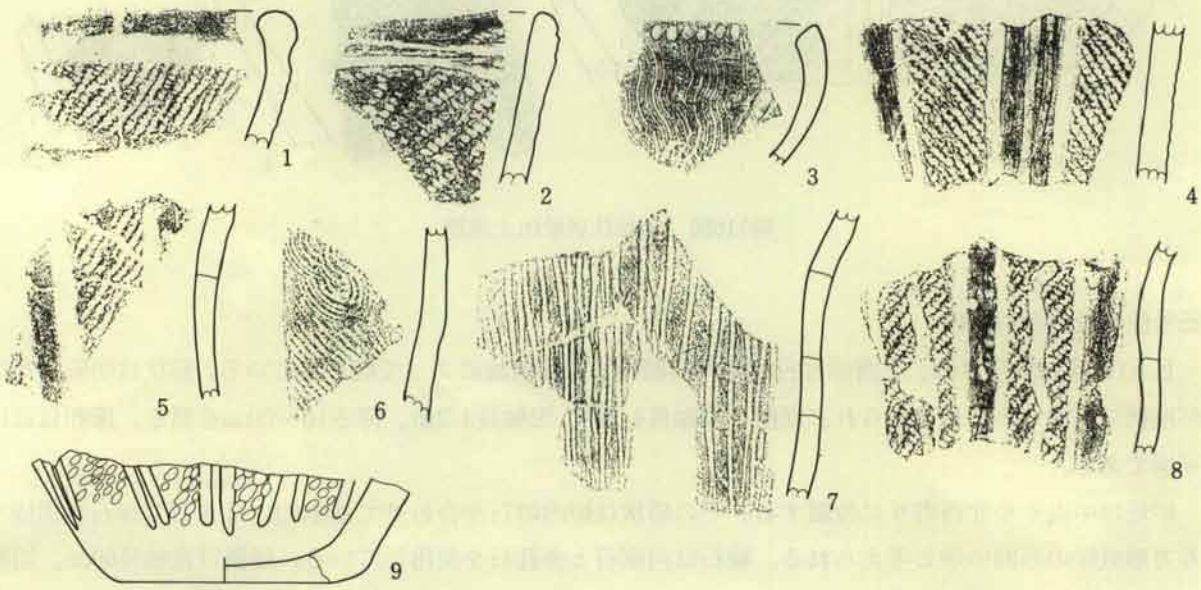
柱穴は$P_1$、$P_2$に可能性が考えられ、$P_3$は土坑状の掘り込みを呈している。周溝は検出できなかった。




第117図　55号住居址

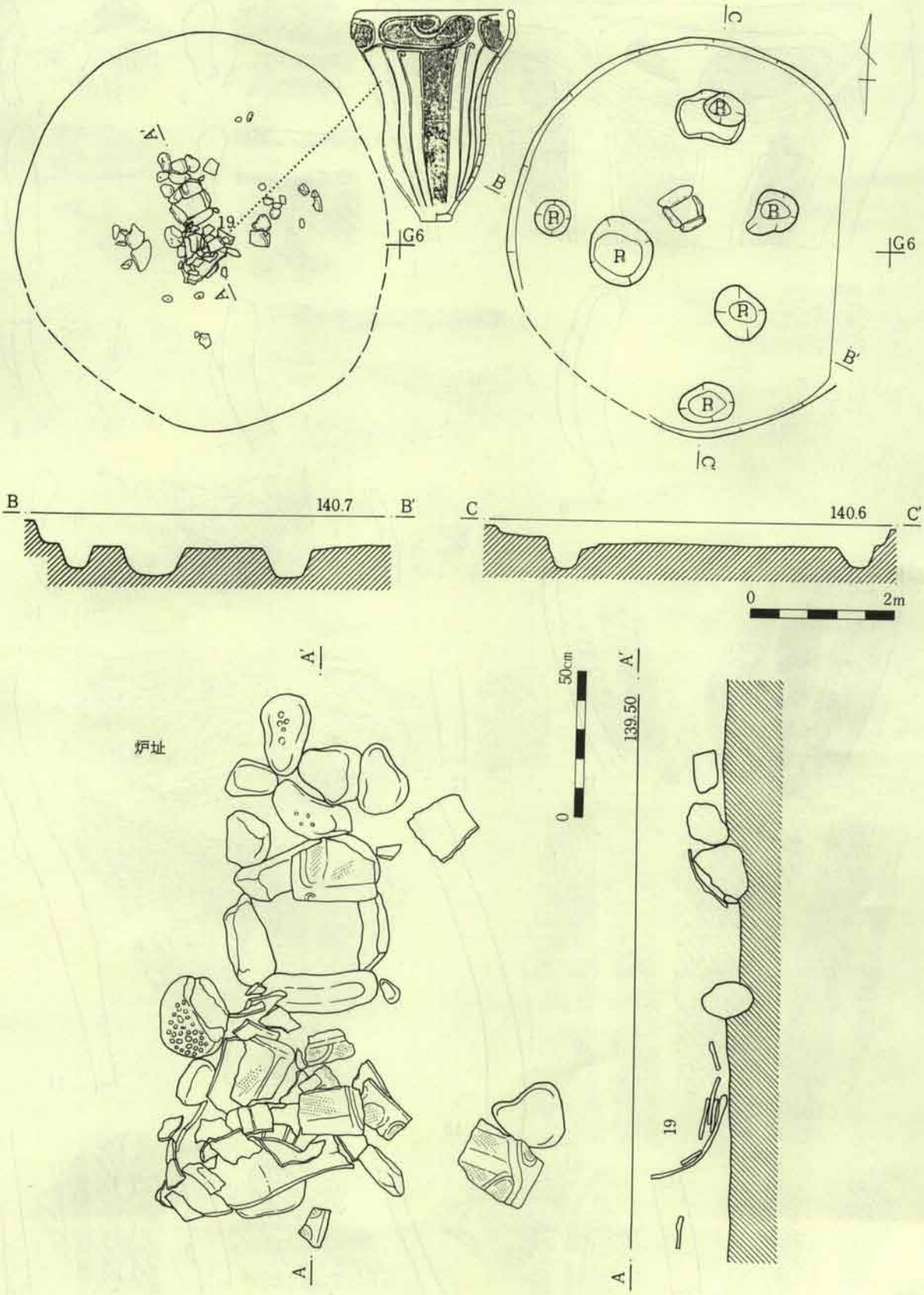
**55号住居址出土遺物**（第118図１～９）

１は口縁部文様帯の区画文内に縄文を充填する。２は山形突起を付すと考えられる口縁部片で口唇部下に２本の横走沈線文を巡らす。３は口唇部下に列点文を巡らし、下方に条線で波状文を垂下させている。４、５、８は沈線区画による磨消し懸垂帯を垂下させる。６は条線文による波状文と縄文が施されている。７は縦位の粗い条線文を充填する胴部片。９は沈線による懸垂文が垂下する底部片。

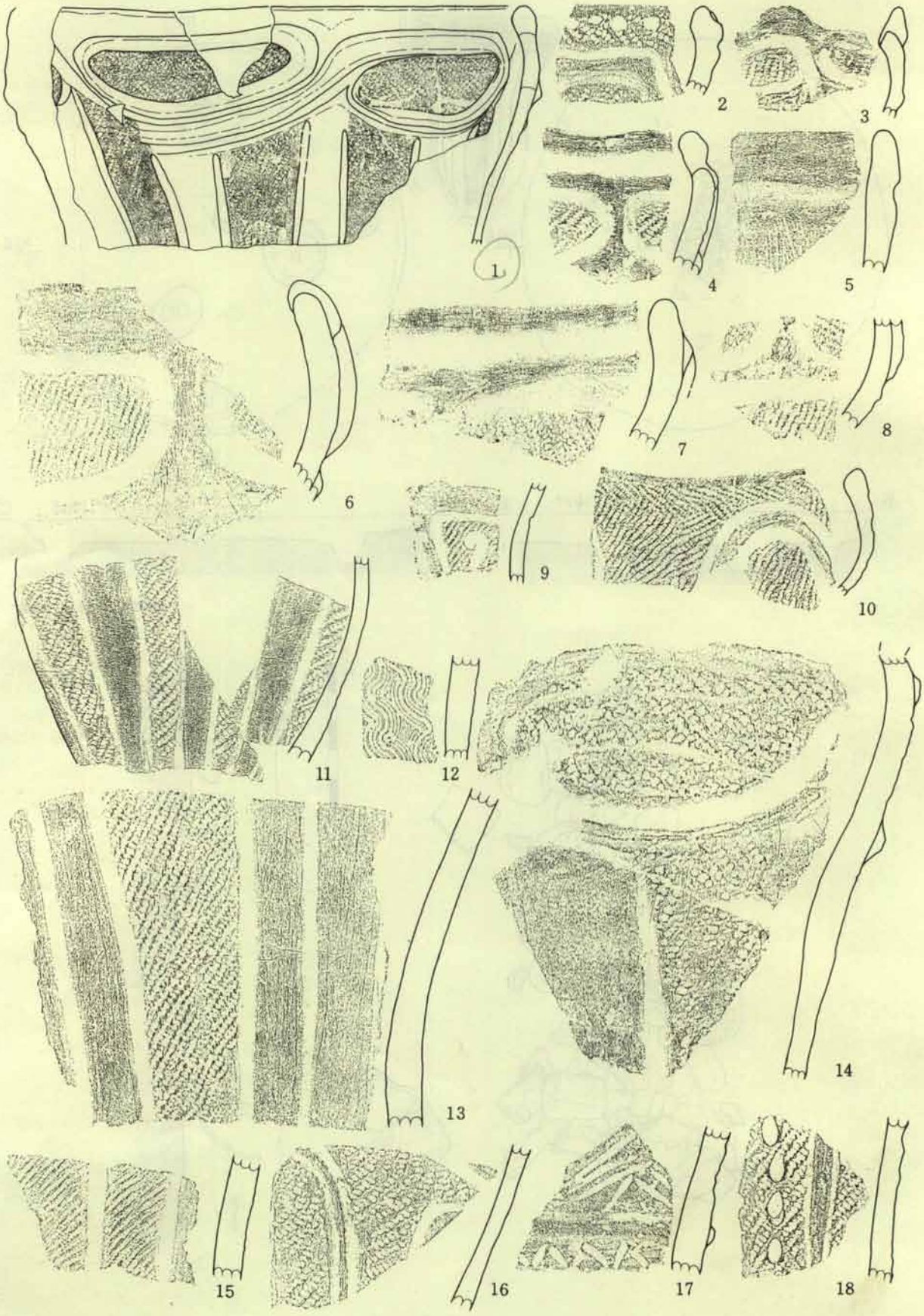



第118図　55号住居址出土遺物

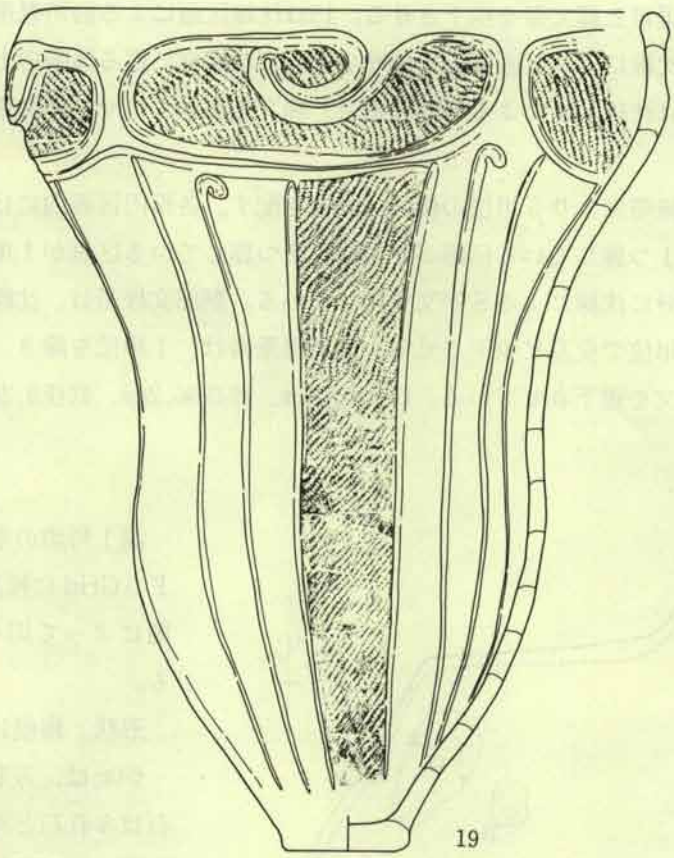
**56号住居址**（第119図）




第119図　56号住居址




第120図　56号住居址出土遺物(1)




第121図　56号住居址出土遺物(2)

漏１号墳の墳丘下に検出され、57号住居址に接する。形状は南北長がやや長い楕円形を呈し、長軸長5.4m、東西長（5.2）m、深さ20～30cmを測る。床面はほぼ平坦である。

炉址は中央やや北西寄りに位置する方形の石囲い炉である。各辺１石で方形を構成する。規模は１辺が50cm、深さ15cm前後を測る。炉址の南方に大型の深鉢片（第121図19）が集中して出土している。

柱穴は$P_1$～$P_6$に可能性が考えられるが規則性はない。周溝は検出できなかった。

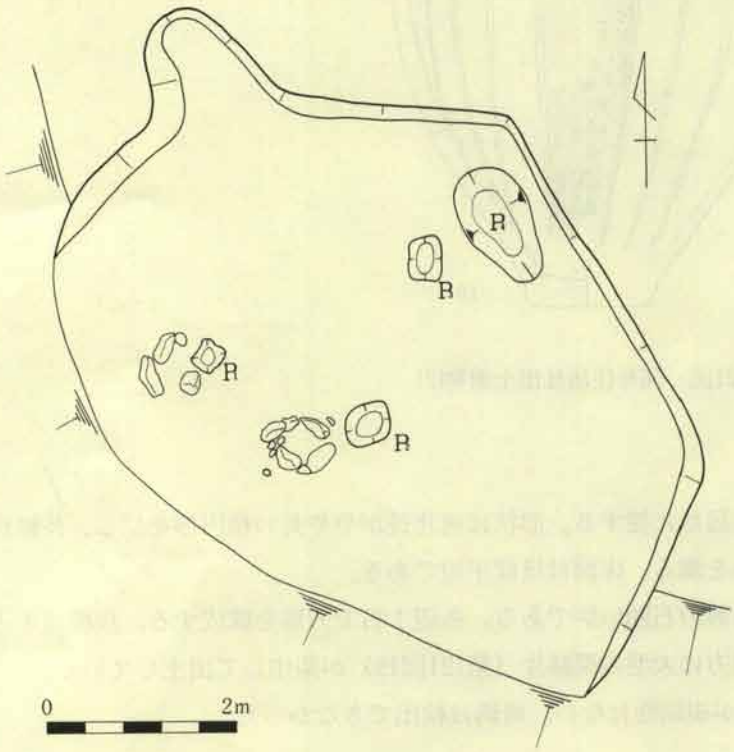
**56号住居址出土遺物**（第120、121図１～19）

１は口縁部文様帯をなぞりの沈線により楕円区画文を入り組状に配す。胴部文様帯は沈線区画による磨消し懸垂帯と縄文帯が交互に垂下する。２は口唇部下に円形刺突文を巡らし、下方に沈線による区画文を配すであろう。３は山形突起を付す口縁部片で、沈線により区画文を配す。４は口縁部文様帯を隆帯により区画文を配す。５は口縁部無文帯を横位沈線で区画し、下方を縦位の条線文を充填する。６～８は、隆帯による楕円区画文を配す口縁部片。９は沈線による区画文を意匠し、区画内に先端を蕨手状とする懸垂文を垂下させる。10は波状口縁を呈すると考えられる口縁部片で、磨消しを伴う沈線区画でアーチ状文を施す。11は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる胴部片。12は縦位に波状文を施す胴部片。13は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる胴部片で、幅広の磨消懸垂帯を沈線により２分している。14は口縁部文様帯を隆帯により楕円区画文を配し、胴部文様帯は沈線区

画による幅広の磨消懸垂帯と縄文帯を垂下させる。15は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を垂下させる胴部片。16は隆帯と沈線により区画文等を意匠する。17は横位に巡る隆帯の上下に沈線により鋸歯状文と綾杉文を施す。18は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を垂下させ、縄文帯に刺突文を連続して縦位に施す。

19は口縁部文様帯を隆帯により５単位の楕円区画文を配す。各楕円区画内には口唇部より垂下する渦巻文を意匠する隆帯が１つ施している区画が４単位、２つ施している区画が１単位で構成している。楕円区画間の隆帯の一部分に沈線によるＳ字文を施している。胴部文様帯は、沈線区画による磨消懸垂帯を７単位、縄文帯を７単位で交互に垂下させる。磨消懸垂帯は、１単位を除き、中央に先端部を蕨手状とする沈線による懸垂文を垂下させている。口径48.8cm、器高66.2cm、底径9.2cmを測る。

**57号住居址**（第122図）




第122図　57号住居址

漏１号墳の南西墳丘裾部に位置するＦ５Grid に検出され、南、西方部が周堀によって切られていると考えられる。

形状、規模は明確でない。

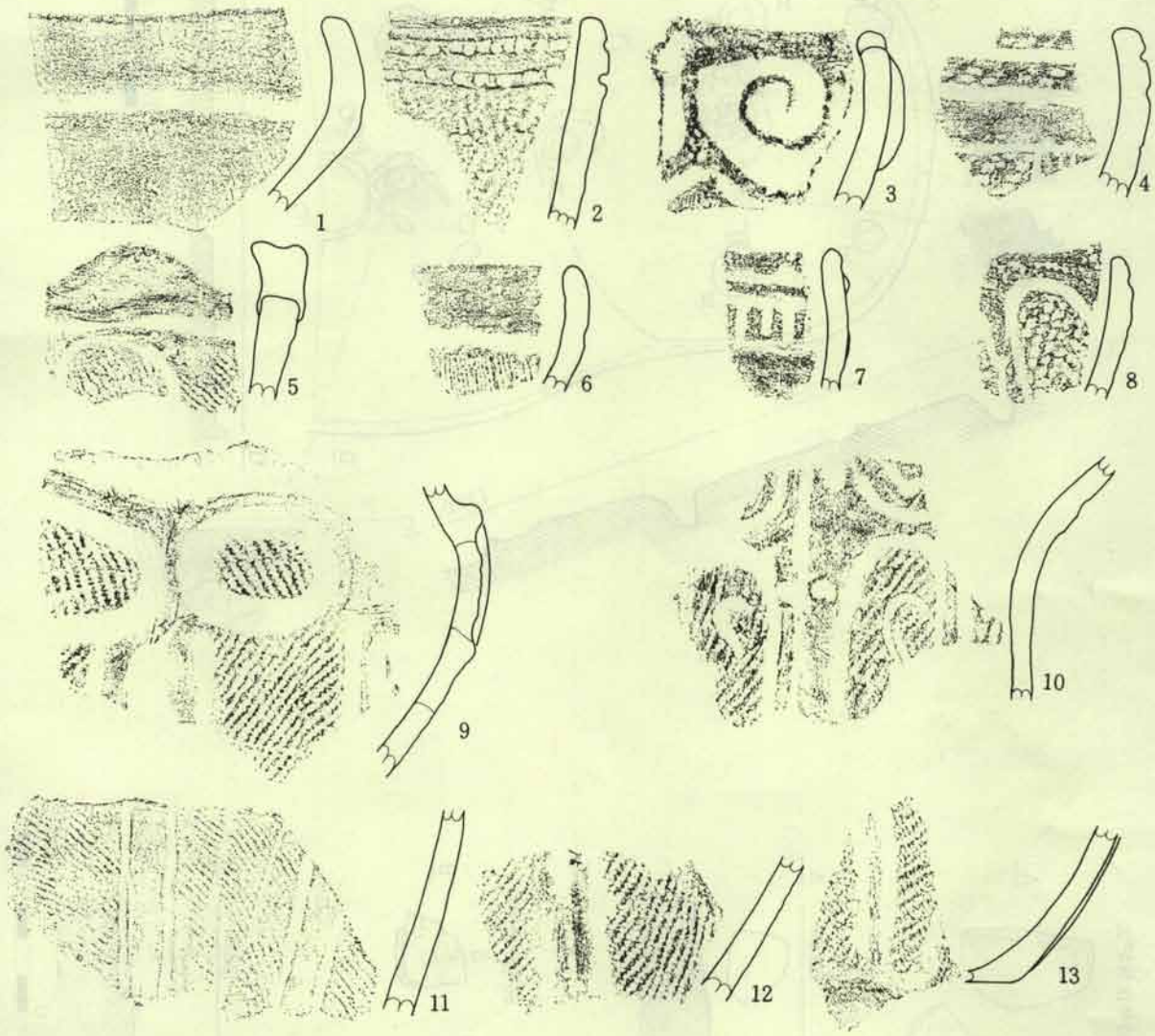
炉址は、方形の石囲い炉である。縁石は多孔石と河原石を使用している。規模は、西方部に乱れが見られるが一辺が30cm前後を測る。

柱穴、土坑状の掘り込みは$P_1$～$P_4$が検出されたが規則性はない。周溝も検出できなかった。

**57号住居址出土遺物**（第123図１～13）

１は直線的に開く胴部より口縁部を直立気味に内湾させる浅鉢形土器。２は口唇部下に２段で連続刺突文を巡らす。３は口縁部文様帯に渦巻文を配す。４は口唇部下にやや太めの平行沈線文を巡らしている。５は山形突起を付す口縁部片で沈線による意匠文を施す。６は口唇部下を沈線により区画し、無文帯とする。下方は縦位の条線文を充填する。７は口縁部文様帯の区画文内を縦位の沈線で充填する。８は沈線によるアーチ状区画内を縄文で充填する。９は壺形土器の胴部片と考えられ、胴部上半に円文と楕円文を配し、その下方に蕨手状文を挟む沈線区画による磨消し懸垂帯を垂下させる。10は沈線による波状文の谷部と相対するアーチ状区画文に縄文を充填し、区画内に蕨手状文を施す。区画文間には蕨手

状懸垂文を垂下させる。11、12は沈線区画による磨消し懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる胴部片。13は隆帯による懸垂文を垂下させる。



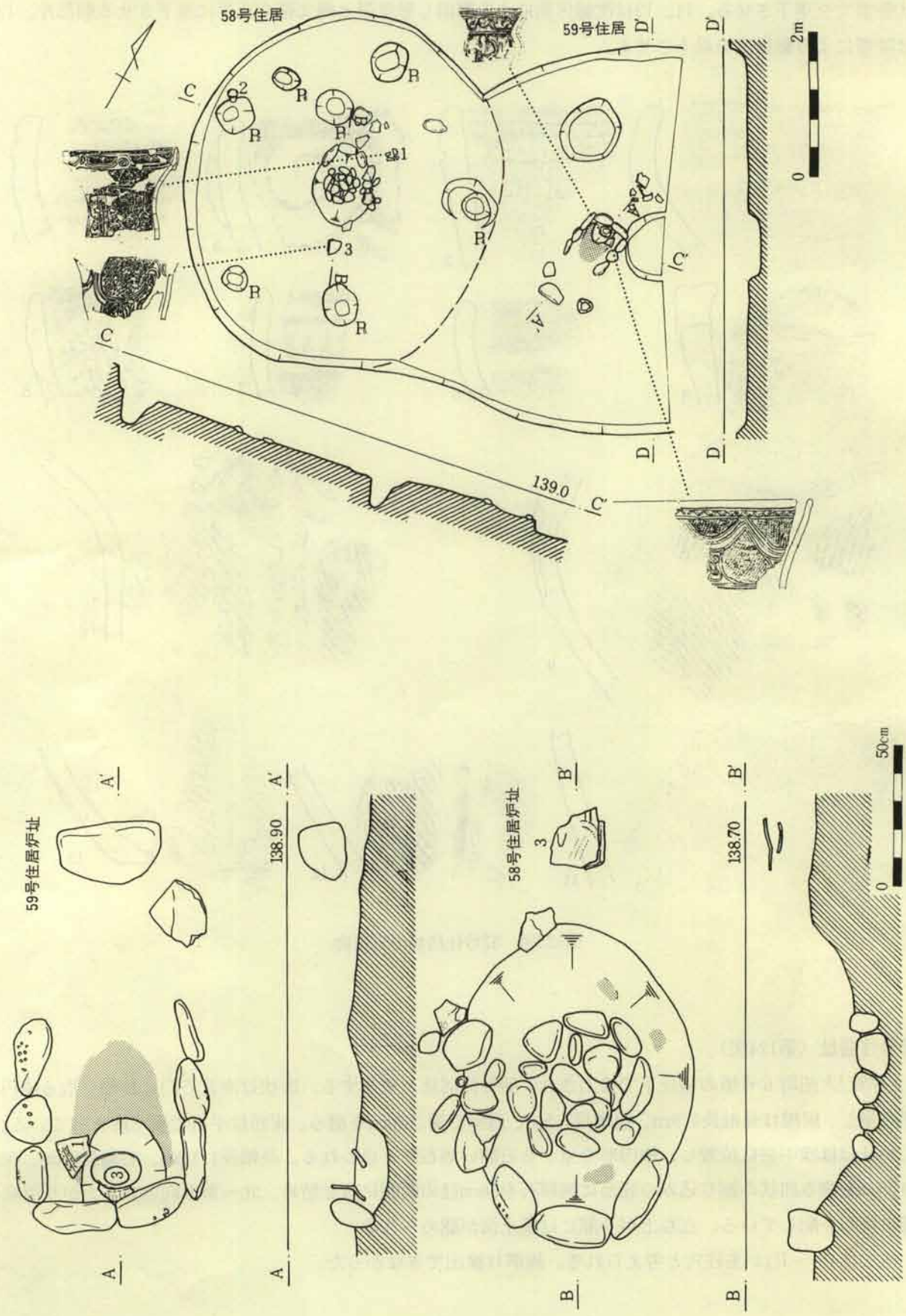

第123図　57号住居址出土遺物

**58号住居址**（第124図）

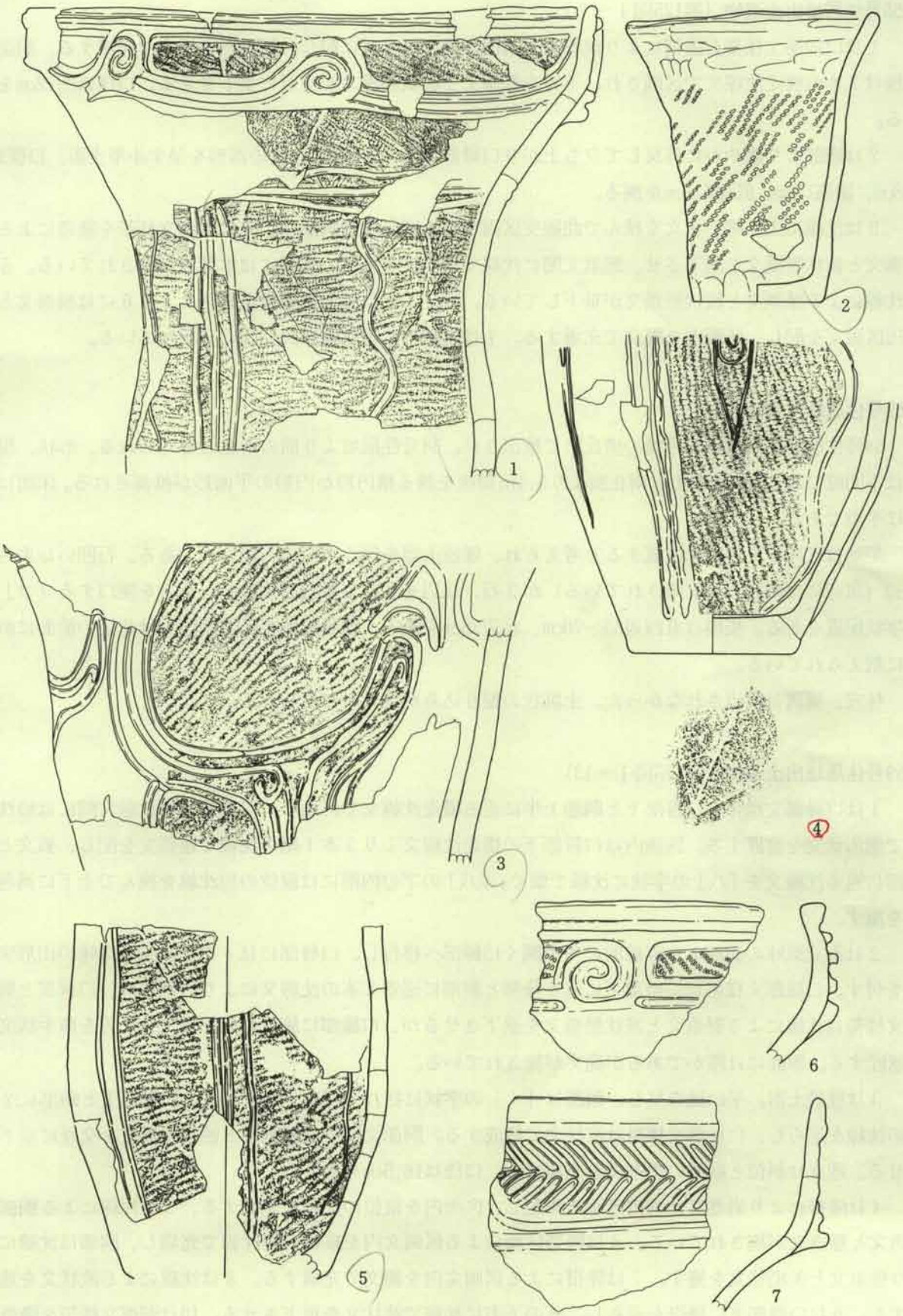
「綜覧」大胡町６号墳の墳丘下で検出され、59号住居址と重複する。形状は南北方向に長軸を取る楕円形を呈し、規模は長軸長4.9m、短軸長4.5m、西壁で深さ30cmを測る。床面は平坦で硬く締まっている。

炉址はほぼ中央に位置し、楕円形を呈する石囲い集石炉と思われる。長軸長1.15m、短軸長81cm、深さ25cmを測る皿状の掘り込みの底部に河原石を50cm径の範囲に敷き詰め、北～東方向の立ち上がり周縁部に縁石を配している。立ち上がり部には焼土面が認められる。

柱穴は$P_1$～$P_5$が主柱穴と考えられる。周溝は検出できなかった。




第124図　58、59号住居址




第125図　58号住居址出土遺物

**58号住居址出土遺物**（第125図１～７）

１は口縁部文様帯を隆帯により渦巻文と楕円区画文を交互に配し、区画内を縄文で充填する。胴部文様は３本の横走沈線文で区画され、下方を懸垂文と波状懸垂文を交互に垂下させる。口径は29.2cmを測る。

２は底部より緩やかに外反して立ち上がり口縁部が開く「ラッパ」状の器形を呈す小型土器。口径12.8cm、器高15cm、底径6.7cmを測る。

３は沈線により蕨手状文を挟んで曲線文区画などを意匠する胴部片。４は胴部文様帯を隆帯による懸垂文と波状懸垂文を垂下させ、懸垂文間に沈線で意匠文を施す。底部には木葉痕が施されている。５は沈線による懸垂文と波状懸垂文が垂下している。６、７は口縁部文様帯を隆帯により６には渦巻文と楕円区画文を配し、区画内を縄文で充填する。７は区画内に短沈線を矢羽状に充填している。

**59号住居址**（第124図）

58号住居址と同様に６号墳の墳丘下で検出され、58号住居址より前の所産と考えられる。形状、規模は不明瞭であるが、残存する南北壁より5.4m前後を測る楕円形か円形の平面形が推測される。床面はほぼ平坦である。

炉址はほぼ中央付近に位置すると考えられ、埋設土器を伴う方形の石囲い炉である。石囲いは東西の辺（東辺には多孔石が転用されている）が３石、北辺を２石で縁石を構成し、南方を開口する「コ」の字状配置をとる。規模は東西辺65～70cm、北辺55cmを測る。埋設土器（第126図３）は北辺の前面に斜位に据えられている。

柱穴、周溝は検出されなかった。土坑状の掘り込みが２カ所に見られる。

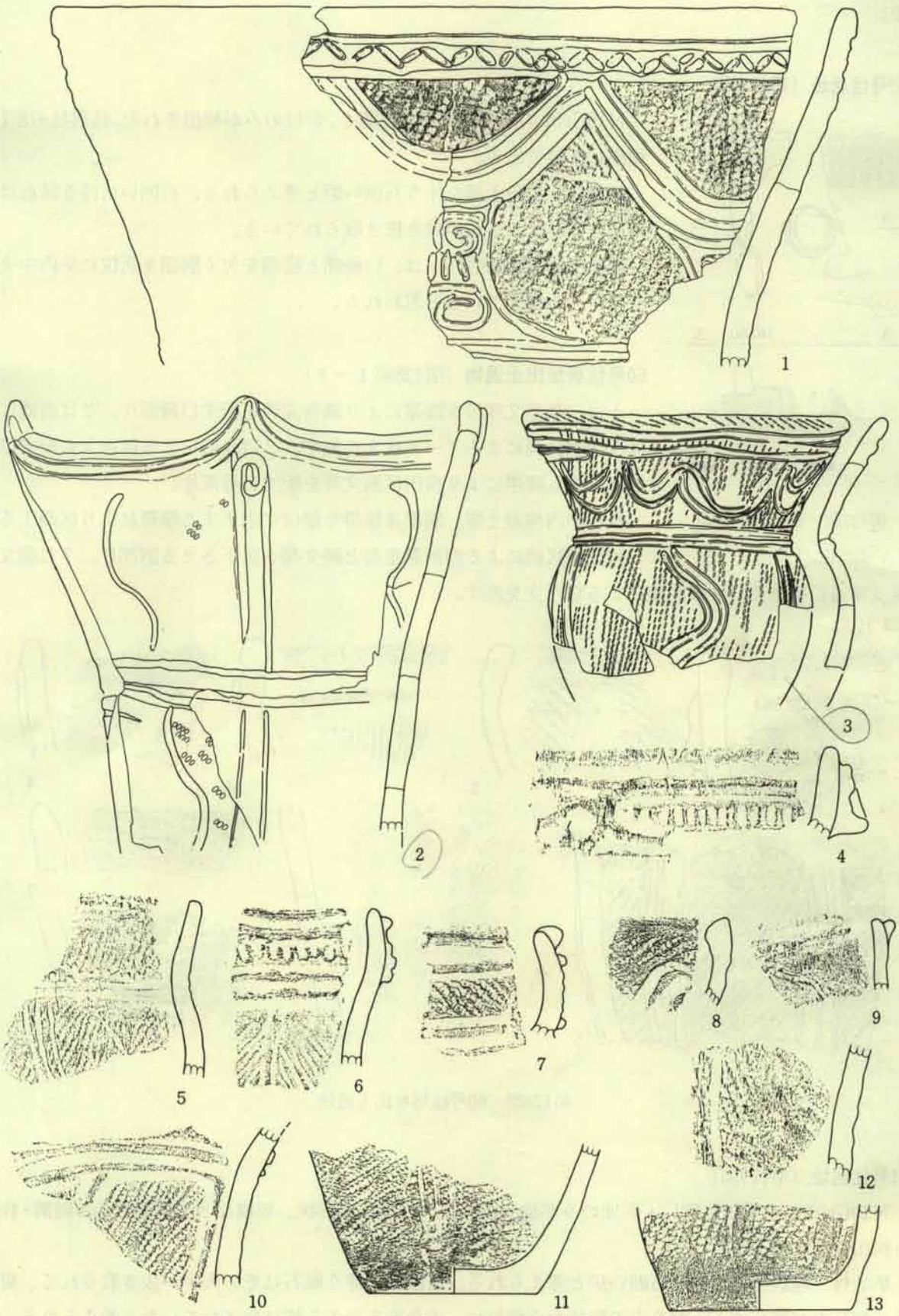
**59号住居址出土遺物**（第126図１～13）

１は口縁部文様帯を口唇部下と胴部上半に巡る横走沈線文で区画し、口唇部下の沈線文間には短沈線で鋸歯状文を意匠する。区画内は口唇部下の横走沈線文より３本１組の沈線で連弧文を配し、弧文と胴部に巡る沈線文を「八」の字状に沈線で繋ぐ。「八」の字の内部には縦位の短沈線を挟んで上下に渦巻文を施す。

２は直立気味の胴部より直線的にやや開く口縁部へ移行し、口唇部には４単位で尖り気味の山形突起を付す。口縁部文様帯は口唇部下に巡る隆帯と胴部に巡る２本の沈線文により区画され、口縁部と胴部文様帯は沈線による懸垂文と波状懸垂文を垂下させるが、口縁部に施された懸垂文は一方を蕨手状文を意匠する。器面には僅かであるが縄文が施されている。

３は埋設土器。平口縁を呈し、頸部は「く」の字状に括れ、胴部下半を欠く。口唇部下と頸部に２本の沈線を巡らし、口縁部文様帯は波状文で構成する。胴部文様帯は懸垂文と波状懸垂文を交互に垂下させる。地文は斜位と縦位の撚糸文を充填する。口径は16.5cmを測る。

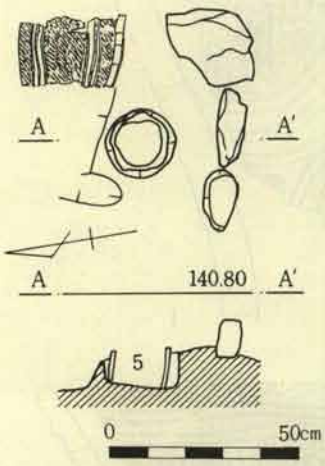
４は隆帯により渦巻文と楕円区画文を配し、区画内を縦位の沈線で充填する。５は沈線による胴部区画文と懸垂文が施されている。６は隆帯区画による区画文内を縦位の短沈線で充填し、胴部は沈線により懸垂文と矢羽状文を施す。７は隆帯による区画文内を縄文で充填する。８は沈線による波状文を意匠する。９は口唇部下に隆帯を巡らし、その下方に沈線で波状文を垂下させる。10は胴部文様帯を隆帯で区画し、その下方に懸垂文と波状懸垂文を垂下させる。11、12、13は沈線による懸垂文を垂下させてい




第126図　59号住居址出土遺物

る。

**60号住居址**（第127図）




第127図　60号住居炉址

N10Grid の中央やや南に位置し、炉址のみが検出された。住居址の形状、規模は不明である。

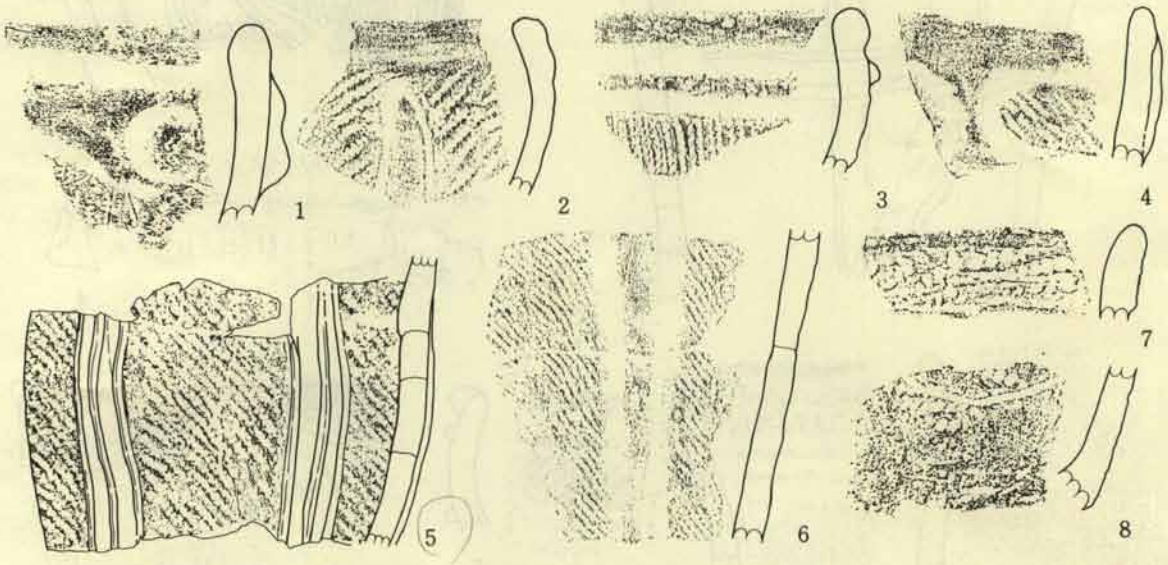
炉址は、埋設土器を伴う石囲い炉と考えられる。石囲いに伴う縁石は、南辺に残存する２石が除き抜き取られている。

埋設土器（第128図５）は、口縁部と底部を欠く胴部を正位に炉内中央やや西寄りに据えていると思われる。

**60号住居址出土遺物**（第128図１～８）

１は口縁部文様帯を隆帯により渦巻文等を配す口縁部片。２は磨消しを伴う沈線区画によるアーチ状文を施す。３は隆帯による区画文を配す口縁部片。４も隆帯により楕円区画文等を配す口縁部片。

５は炉内埋設土器。胴部文様帯を縦位に垂下する隆帯により区画する。６は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を垂下させる胴部片。７は縄文を施文する口縁部片。８は沈線による意匠文を施す。

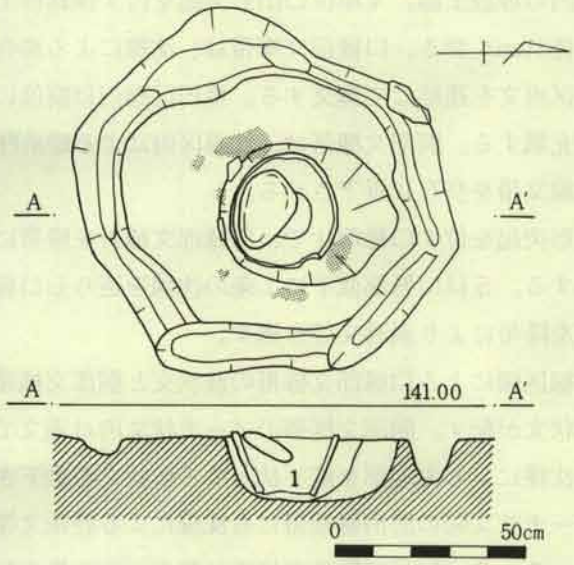



第128図　60号住居址出土遺物

**61号住居址**（第129図）

N10Grid の東方に位置し、炉址のみが検出された。住居址の形状、規模などを推測できる周溝・柱穴も検出されなかった。

炉址は、埋設土器を伴う石囲い炉と考えられる。石囲いに伴う縁石はその大半が抜き取られて、周溝状の掘り方が残存する。掘り方の形状から縁石は、六角形を呈する様に施されていたと考えられる。規模は最大長1.05mで、北部の掘り込みは10cmほどを測る。

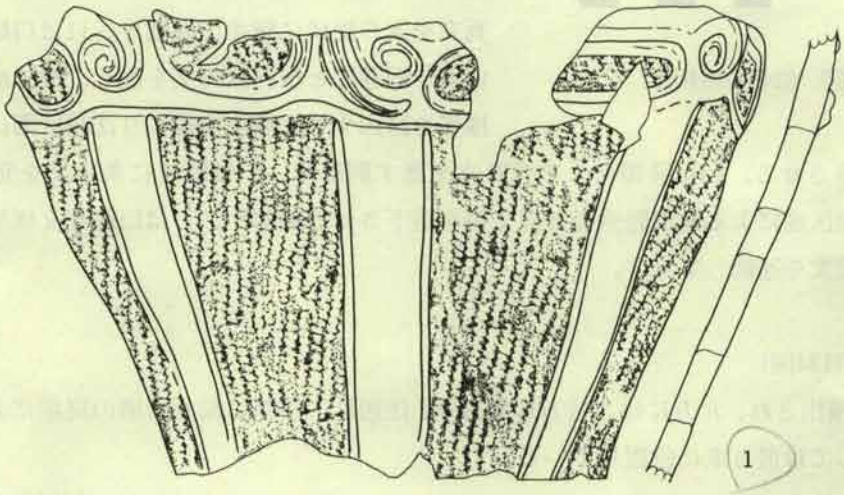



第129図　61号住居炉址

埋設土器（第130図）は、中央やや北寄りに正位に据えられている。

**61号住居址出土遺物**（第130図）

当住居址に伴う遺物は、炉内の埋設土器のみである。口唇部と胴部下半を欠き、口縁部文様帯は渦巻文と楕円区画文を配し、区画文内を縄文で充填する。胴部文様帯は沈線区画による磨消し懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させている。




第130図　61号住居址出土遺物

(ωH)

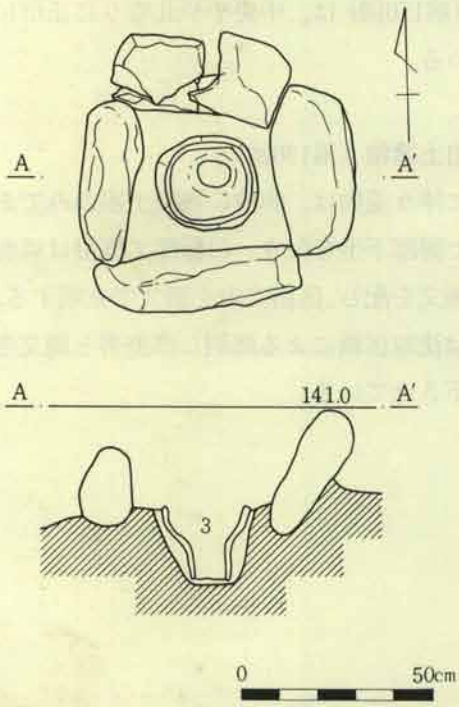
**62号住居址**（第131図）

N11Grid の南西部に炉址のみを検出した。住居址の形状、規模は不明である。炉址は、埋設土器を伴う方形の石囲い炉である。規模は、一辺が70cm、深さ10cm前後を測る。縁石は各辺１石で構成する。北辺の縁石は熱により２つに割れている。胴部下半を欠く埋設土器（第132図３）は、炉内中央に正位に据えられている。

**62号住居址出土遺物**（第132、133図１～17）

１は口縁部文様帯を隆帯により渦巻文と楕円区画文を配し、楕円区画文内を刺突文で充填する。胴部文様帯は、沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる。復元口径は、44cmを測る。

２は口唇部下に縦位の刺突文を施す口縁片。




第131図　62号住居炉址

3は炉内の埋設土器。4単位の山形突起を付す深鉢形土器で、口径21cmを測る。口縁部文様帯は、沈線による渦巻文と楕円区画文を連結して施文する。楕円区画内は縦位の条線文で充填する。胴部文様帯は、沈線区画による磨消懸垂帯と条線文帯を交互に垂下させる。

4は山形突起を付す口縁部片で、口縁部文様帯を隆帯により区画する。5は口唇部直下に1条の沈線を巡らし口縁部文様帯を隆帯により渦巻文等を施す。

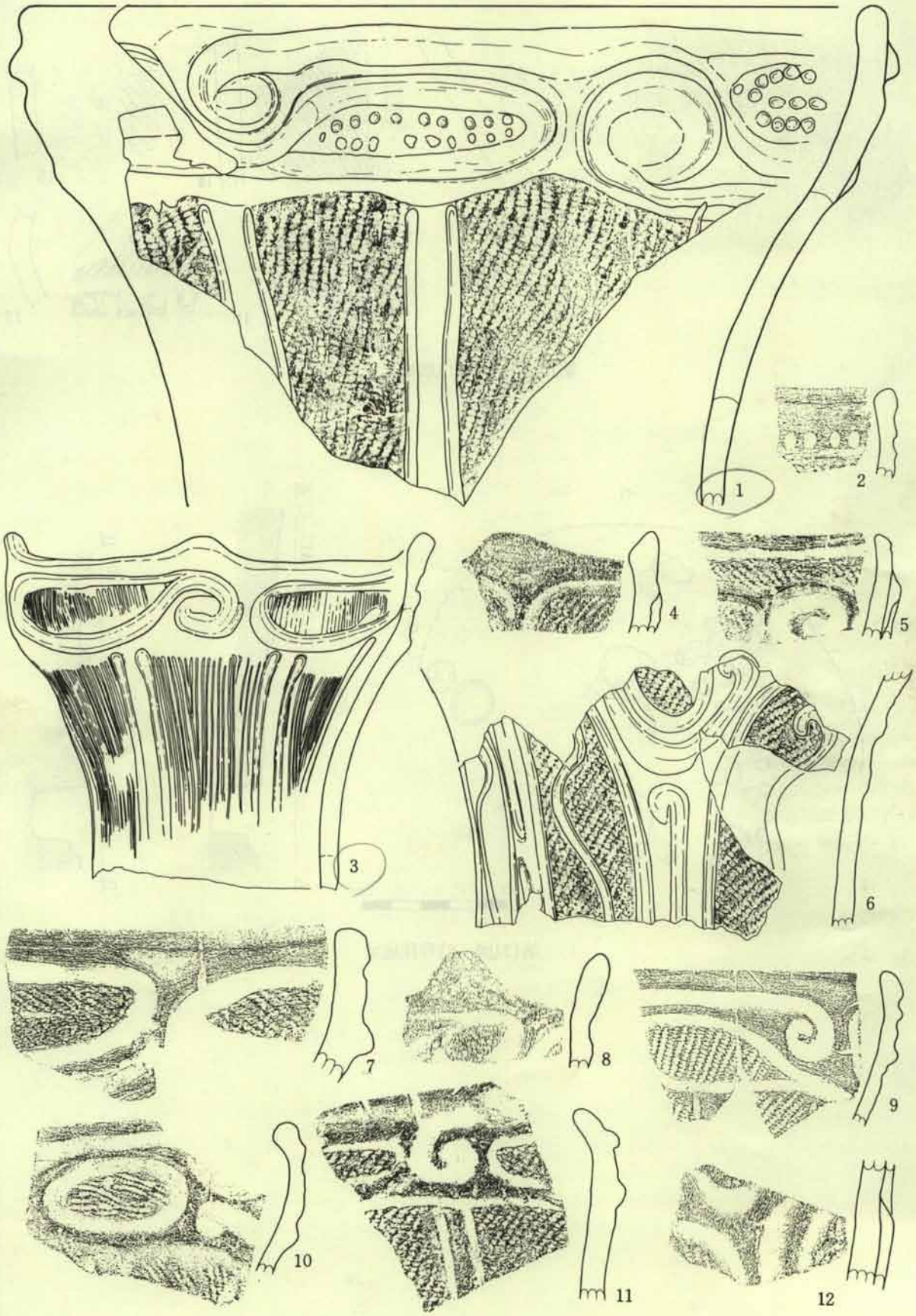
6は沈線区画による口縁部文様帯の波状文と胴部文様帯のアーチ状文が配す。胴部文様帯のアーチ状文内は縄文で充填し、沈線による先端部を蕨手状とする波状文を垂下させる。アーチ状文間の磨消懸垂帯にも沈線による懸垂文等を施している。7、10は口縁部文様帯に楕円区画文等を配す口縁部片。8は山形突起を付す口縁部片で沈線による渦巻文等を施している。9は口縁部文様帯を渦巻文と楕円区画文を入り組状に施す口縁部片。11は口縁部文様帯を隆帯により渦巻文と楕円区画文を配し、横位沈線により胴部文様帯を区画する。横位沈線より沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を垂下させる。12は隆帯による意匠文を施す胴部片。13は縦位に条線文を充填する胴部片。14～16は、沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を垂下させる胴部片。17は口縁部文様帯と胴部文様帯の区画を円形刺突文を連続して施す。

**63号住居址**（第134図）

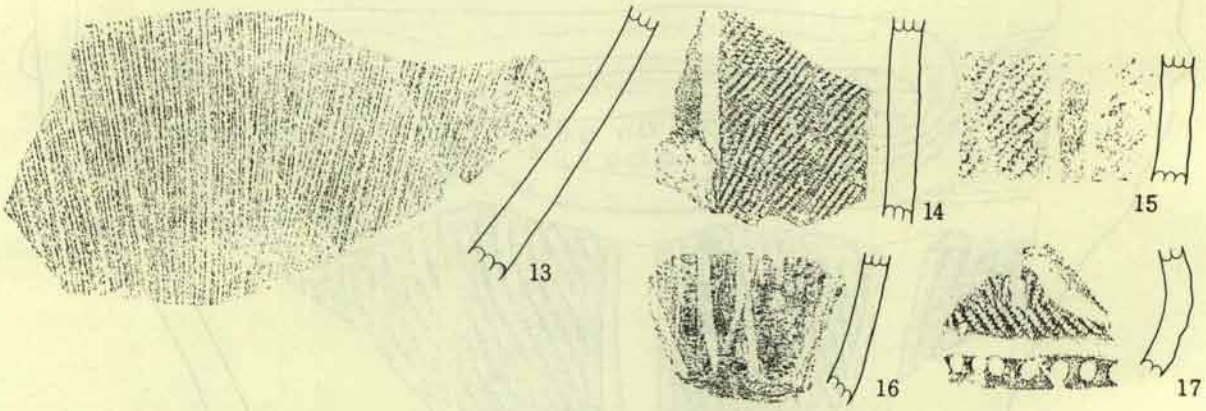
K12Grid に検出され、北方には3号方形周溝墓、住居址の南部は漏6号墳の周堀によって切られている。住居址としては最も東に位置している。

形状は、長軸6.3mほどを測る楕円形が考えられる。床面は、やや南下がりの傾斜を呈している。炉址は、検出できなかった。柱穴は、北西部に集中してランダムに検出された。その形状、規模、深さも一定でなく規則性も認められない。周溝も検出できなかった。

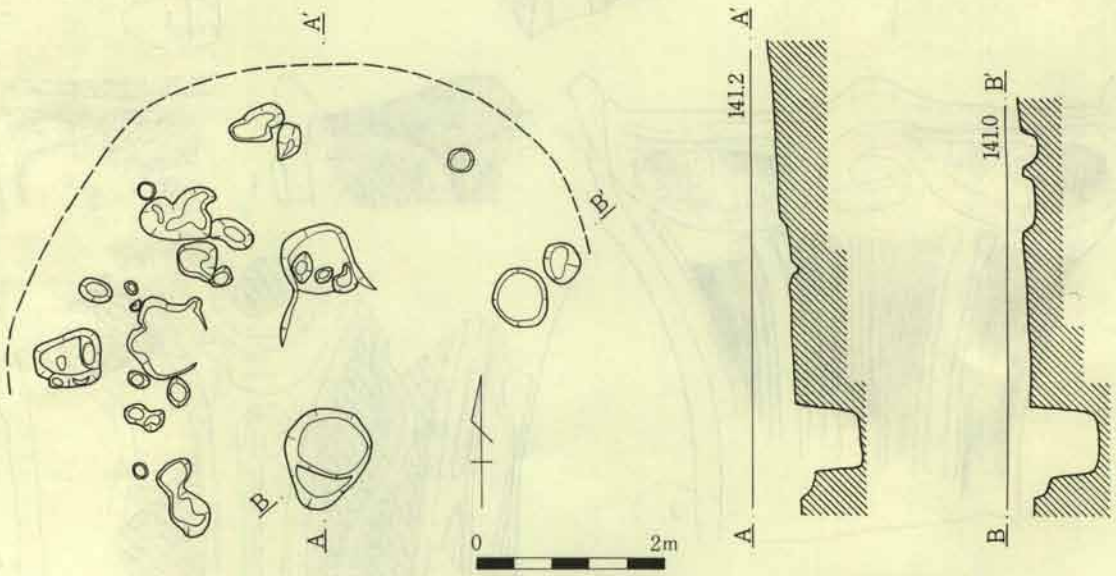
遺物の検出も皆無であった。




第132図　62号住居址出土遺物(1)




第133図　62号住居址出土遺物(2)




第134図　63号住居址

### 第２項　縄文土坑

１号土坑　漏２号墳の北側の墳丘立ち上がり部に検出された。形状は、円形を呈する。規模は、1.45m前後の径で深さ50cmを測る。

３号土坑　10号住居址の北東で６号墳の周堀に接して検出された。形状は、南北に長い楕円形を呈する。規模は、長軸長1.22m、短軸長１m、深さ50cm前後を測る。底面はやや南傾斜を呈し、壁は垂直気味に立ち上がる。

８号土坑　Ｉ３Grid の西方で23号住居址の南西に検出された。形状は東西に長い楕円形を呈する。規模は、長軸長1.72m、短軸長1.4m、深さ58cmを測る。底面は平坦を呈し、壁は垂直気味に立ち上がるが、西壁は開く。

９号土坑　８号土坑の東に隣接して検出された。形状は、東西に長い楕円形を呈する。規模は、長軸長1.40m、短軸長1.15m、深さは残存良好の南壁で85cmを測る。底面は平坦で、壁は直立気味に立ち上がる。

10号土坑　Ｊ３、４Grid にまたがって検出され、東に26号、西に22号住居址が位置する。形状は、楕円形を呈する。規模は、南方部が攪乱により破壊されているが長軸長1.16m、短軸長80cm、深さ15cmを測る。底面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。遺物は、北西部と南東部に集中して出土。

11号土坑　Ｉ４Grid の西方に検出された。形状は、円形気味を呈する。規模は、東西長1.24m、南北長1.08m、深さ43cmを測る。底面は平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。

12号土坑　Ｉ４Grid の中央やや南に検出され、13号土坑と重複する。形状は、円形気味を呈する。規模は、東西長1.13m、南北長1.10m、深さ65cmを測る。底面は平坦で、壁は直線的に開く。

13号土坑　12号土坑の北で重複する。形状は、長軸を東西とする楕円形を呈し、中央部に南北に長い楕円形の掘り込みを有する。規模は、長軸長1.33m、短軸長1.20m、深さ40cmを測る。

18号土坑　21号住居址と一部が重複する。形状は、円形を呈すると考えられる。規模は、1.5m前後の径で深さ53cmを測る。底面は平坦で、壁は上面に連れて開く。

19号土坑　Ｈ３Grid に位置し、19号住居址の北東に検出され18号土坑と隣接する。形状は、円形を呈する。規模は、2.10mの径で深さ30cmを測る。底面は平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。

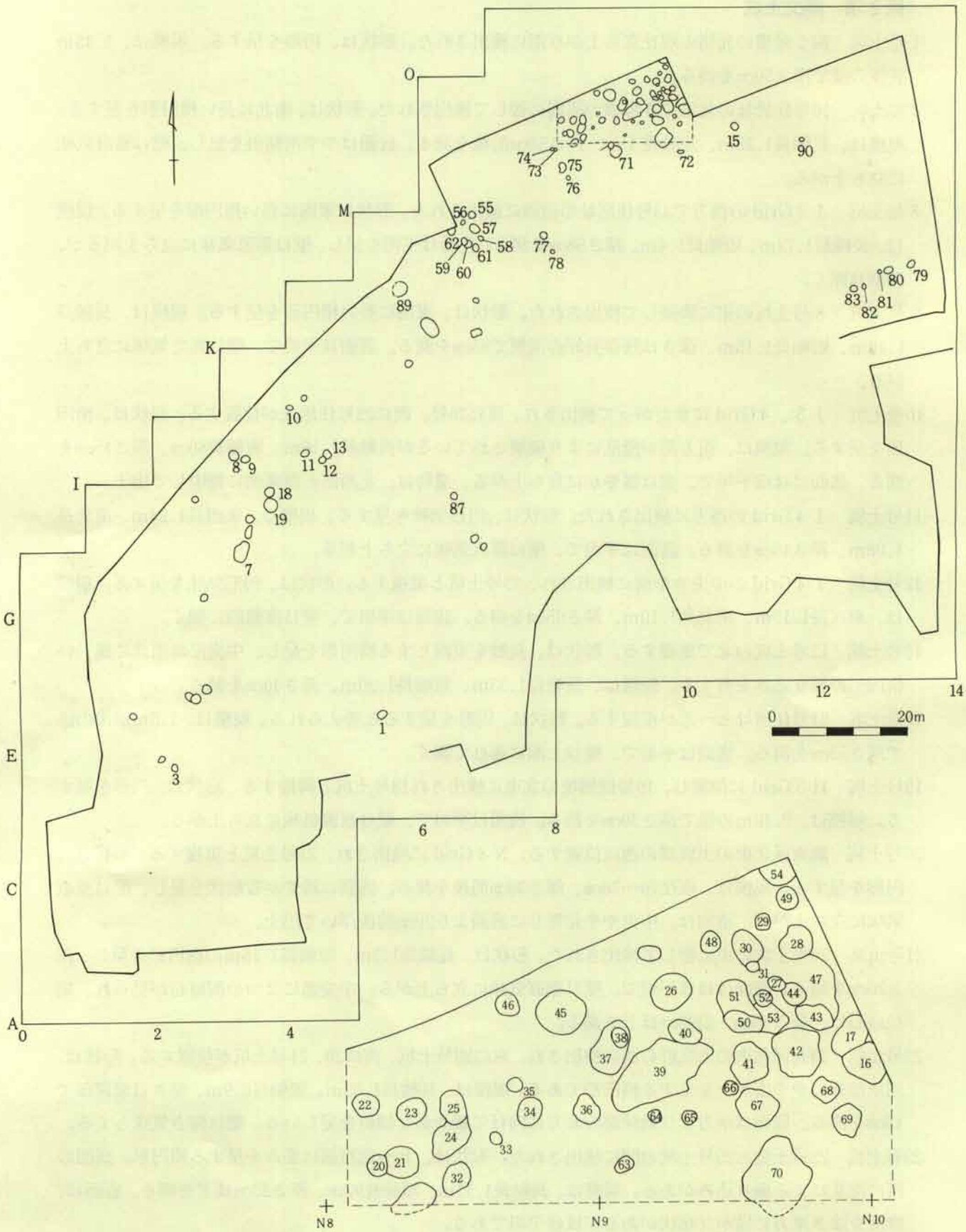
20号土坑　調査区北東の土坑群の西に位置する。Ｎ８Grid に検出され、21号土坑と重複する。形状は、円形を呈する。規模は、直径70～78cm、深さ30cm前後を測る。底面は緩やかな起伏を呈し、壁は垂直気味に立ち上がる。遺物は、中央やや北寄りに底面より20cm前後浮いて出土。

21号土坑　20号土坑の東に接して検出された。形状は、長軸長1.3m、短軸長1.16mの楕円形を呈し、深さ20cmを測る。底面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。中央部に２つの河原石が見られ、細長い石は、長さ55cm、幅20cmほどを測る。

22号土坑　調査区北東の土坑群の西に検出され、東に23号土坑、南に20、21号土坑が位置する。形状は、南東部分にやや広がりを呈する楕円形である。規模は、長軸長1.05m、短軸長0.9m、深さは最深部で13cmを測る。底面は南方より最深部の北方に向けて緩やかな傾斜を呈しいる。壁は開き気味とする。

23号土坑　22号土坑と25号土坑の間に検出された。形状は、北～北西部に歪みを呈する楕円形。底面の西に攪乱による掘り込みがある。規模は、長軸長1.15m、短軸長92cm、深さ23cmほどを測る。底面は、攪乱を除き東方に僅かな起伏があるがほぼ平坦である。

24号土坑　Ｎ８Grid の南西に検出され、北に25号土坑が接する。形状は、不定形で南方に深い楕円形の




第135図　縄文土坑分布図

掘り込みを有する。この掘り込みの規模は、長軸長55cm、短軸長40cm、深さ60cmを測る。

25号土坑　24号土坑と接して23号土坑の東に検出された。形状は、南北に長い楕円形を呈するが南西部に抉れ部が見られる。規模は、長軸長1.84m、短軸長１m、深さ43cmを測る。中央の西寄りに楕円形の掘り込みを有しテラス状の平坦部より緩やかに立ち上がる。

26号土坑　N９Grid の北西部に検出された。形状は、部分的に歪みを呈する楕円形で内部に隅丸方形を呈する掘り込みを有する。規模は、長軸長1.55m、短軸長1.30m、深さ50cmを測る。底面はほぼ平坦で内部の掘り込みが20cmほど垂直気味に立ち上がる。上部は緩やかな傾斜面を呈している。南方部には亀裂が認められる。

27号土坑　N９Grid の北東部に検出され、44号土坑と重複する。形状は、円形を呈する。規模は、直径63cm、深さ55cmほどを測る。底面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。

28号土坑　N９、10Grid にまたがって検出され、北方に49号土坑、南方に47号土坑が位置する。形状は、東西に長楕円形を呈し、東西長1.25m、南北長1.05m、深さ42cmを測り、西部に１段低い円形の掘り込みを有する。上部の底面は、ほぼ平坦で多孔石を含む４つの河原石が底面より僅かに浮いて出土。壁は垂直気味に立ち上がる。

29号土坑　O９Grid に検出され、南に30号土坑が位置する。形状は、円形を呈する。規模は、直径60cm、深さ30cmを測る。

30号土坑　N９Grid の北方部に検出され、31号土坑に接する。形状は、楕円形を呈する。規模は、長軸長60cm、短軸長50cm、深さ10cmほどを測る。底面はやや南傾斜を呈し、壁は緩やかに開く。北～西方の立ち上がり部に多孔石が出土。

31号土坑　30号土坑の南に検出された。形状は、円形を呈し北方部に突出する浅い掘り込みを設ける。規模は、45cmの径で深さ43cmを測る。底面は中央部より緩やかに立ち上がり、壁は垂直気味としている。

33号土坑　N８Grid の南方部に検出され、北東に34号土坑、西に24、25号土坑が隣接する。形状は、楕円形を呈する。規模は、長軸長50cm、短軸長44cm、深さ70cmほどを測る。

34号土坑　調査区北東の土坑群に位置し、N８Grid に検出された。形状は、楕円形を呈する。規模は、明確ではないが長軸長１m、短軸長0.75m、深さ55cmほどを測る。

35号土坑　34号土坑の北方に検出された。形状は、隅丸方形を呈する。掘り込みは、北方部にテラス状の平坦部を有する柱穴状である。規模は、長軸長60cm、短軸長52cm、最深部で58cmを測る。

36号土坑　N８Grid の東に検出された。掘り込みは、２つの土坑が重複する可能性が考えられる。北方の深い掘り込みを有する土坑の形状は、南北を長軸とする楕円形を呈する。規模は、長軸長75cm、短軸長60cm前後、深さ66cmを測る。やや南傾斜の底面より壁は垂直気味に立ち上がり、上部で開き気味とする。南方の浅い掘り込みは、楕円形を呈し長軸長98cm、短軸長88cm、深さ42cmを測る。ほぼ平坦の底面より南壁が抉れを呈している。

39号土坑　N８、９Grid にまたがって検出され、北で38号土坑と重複する。形状は、南北に長い楕円形を呈する。規模は、長軸長1.5m、短軸長1.2m、深さ32cmを測る。底面は、平坦で亀裂が蛇行しながら走行する。壁は、直線的に開く。

38号土坑　37号土坑の北で重複する。形状は、南北に長い楕円形を呈し北方部に２段のテラスを有する。規模は、長軸長1.05m、短軸長70cm前後、深さ65cmを測る。

39号土坑　N 9 Grid の西方に位置し、40号土坑と重複する。形状は、東西に長い楕円形を呈し東寄りの底面に一段低い掘り込みと柱穴状掘り込みを有する。規模は、長軸長4.3m、短軸長2.2m、最深部50cmを測る。

40号土坑　39号土坑の北方で重複して検出された。形状は、南北に長い楕円形を呈している。北方部に半月状のテラス、底面の中央に浅い掘り込みを有する。規模は、長軸長1.15m、短軸長83cm、深さは最深部で65cmを測る。底面は北方部に向けて緩やかに傾斜し、南壁の立ち上がりは直線的にやや開く。

41号土坑　N 9 Grid の中央やや東に検出され、東に42号土坑、南に66、67号土坑が位置する。形状は、北方に突出部が見られる円形を呈する。規模は、南北長1.6m、東西長1.42m、最深部で70cmを測る。南西部に楕円形の深い掘り込みを呈し、東～北方部に起伏のあるテラスを有する。

44号土坑　27号土坑と重複して検出された。形状は、隅丸方形を呈している。規模は、一辺が95cm前後で深さ45cmを測る。底面は緩やかな起伏を呈し、壁はほぼ垂直の立ち上がりとする。

45号土坑　N 8 Grid の北東部に検出され、西方に46号土坑が位置する。形状は、東西にやや長い楕円形気味である。規模は、東西1.83m、南北1.65m、深さ25cm前後を測る。底面は北方～南方に向けて緩やかな傾斜を呈している。柱穴状掘り込みが２カ所に見られ、中央部を亀裂が走る。壁は垂直気味とする。

46号土坑　N 8 Grid に検出され、東に45号土坑が位置する。形状は、楕円形を呈する。規模は、長軸長98cm、短軸長87cm、深さ75cm前後を測る。底面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がり、上部で開く。遺物は、南壁沿いの埋土中より出土。

48号土坑　N 9 Grid の北方に検出され、東に30号土坑、西に49号土坑が位置する。形状は、円形気味を呈する。規模は、65cm前後の径で深さ35cmを測る。底面はほぼ平坦で、壁は直線的にやや開く。遺物は、上面で多孔石が出土。

49号土坑　N 9 Grid の北西に検出され、東に48号土坑、南に28号土坑が位置する。形状は、楕円形を呈する。規模は、長軸長90cm、短軸長75cm、深さ60cm前後を測る。底面はやや北傾斜を呈し、壁は40cmほど垂直気味に立ち上がり上部で開く。

52号土坑　N 9 Grid の北東部に検出され、南～西方に53、50、51号土坑が位置する。形状は、楕円形を呈する。長軸長66cm、短軸長62cm、深さ36cmを測る。平坦な底面より北西部の壁が開き気味に立ち上がる。

55号土坑　L 6 Grid の北東に検出され、南西に56号土坑が位置する。形状は、円形を呈する。規模は、１～1.05mの径で深さ20cmほどを測る。やや南下がりの底面より壁は垂直気味に立ち上がる。遺物は、ほぼ中央に底面より６cmほど浮いて横位に出土。

56号土坑　L 6 Grid の北東に検出され、43号住居址の北東に位置する。明確な形状は、不明であるが楕円形が考えられ、内部に隅丸方形気味の掘り込みを有する。規模は、南北長1.15m、東西は不明、深さ65cmほどを測る。内部の掘り込みは、長軸80cm、短軸70cmである。底面は中央部が僅かに凹む皿状を呈し、壁は25cmほど垂直に立ち上がり内部の掘り込みを形成する。

57号土坑　L 6 Grid の北東に検出され、南方に58号土坑、北方に55号土坑が位置する。形状は、東方がやや突出する楕円形を呈する。規模は、長軸長1.35m、短軸長1.2m、深さ25cmを測る。底面はほぼ平坦であるが北東部に不定形の浅い掘り込みがある。壁は、緩やかに開き気味とする。

58号土坑　L 6 Grid の東方に検出され、南西に59～61号土坑、北西に57号土坑が位置する。形状は、円

形を呈する。底面はやや起伏があり、壁は北西部を除き垂直気味に立ち上がる。

59号土坑　43号住居址、60号土坑と重複して検出された。形状は、楕円形を呈する。規模は、長軸長95cm、短軸長88cm、深さ43cmを測る。底面は平坦で、壁は垂直気味とする。

60号土坑　59号土坑と重複して検出された。形状は、歪んだ楕円形を呈する。規模は、長軸長1.15m、短軸長95cm、深さ38cmを測る。底面は中央部より緩やかに立ち上がり、壁はやや開き気味とする。

61号土坑　Ｌ６Grid に検出され、60号土坑の南東に隣接する。形状は、楕円形を呈する。規模は、長軸長1.25m、短軸長1.1m、深さは残存の良い南壁付近で75cmを測る。底面はほぼ平坦で、壁は垂直に近い立ち上がりを呈する。

62号土坑　43号住居址の北方に位置する。完掘は出きなかったが、形状は円形が考えられる。規模は、直径1.1m、深さ50cmを測る。底面はほぼ平坦で、壁は直立気味に立ち上がる。南方と西方部で上部でやや開く。

70号土坑　Ｍ９、Ｎ９Grid にまたがって検出された。形状は、南北に長い菱形を呈する。内部には、北方部と西方部に円形土坑を有する。規模は、南北長3.05m、東西長2.65m、深さ30cmほどを測る。緩やかな起伏を呈する底面より、壁は緩やかに開く。北方の円形土坑は、85cm前後の径で、深さ40cmを測る。埋土中より土器片と凹石、磨石が出土。西方部の円形土坑は、南部にテラスを有する。規模は、長軸長92cm、短軸長83cmを測る。

71号土坑　49号住居址の東、Ｍ８、Ｍ９Grid にまたがって検出された。形状は、楕円形を呈する。規模は、長軸長1.72m、短軸長1.64m、深さ50cmを測る。底面はほぼ平坦で、壁は50°前後の傾斜で立ち上がる。遺物は、中央やや北寄りの埋土中より土器片が出土。

75号土坑　Ｍ８Grid の西方に検出され、49号住居址の西に位置する。形状は、南方部がやや突出気味の隅丸方形を呈する。規模は、長軸長1.5m、短軸長は突出部で1.25m、深さ28cmほどを測る。中央部には北東～南西方向に亀裂が走行している。底面は緩やかな北傾斜を呈し、壁は南方部がやや開き気味とする。

76号土坑　75号土坑の南に隣接して検出された。形状は、円形を呈する。規模は、60cm前後の径で、深さ20cmを測る。底面は平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。

78号土坑　Ｌ７、８Grid にまたがって検出された。形状は、楕円形を呈する。規模は、長軸長75cm、短軸長65cm、深さ45cmほどを測る。底面は平坦で、壁は垂直気味に立ち上がり北方部で上部がやや開く。

79号土坑　Ｌ13Grid の南西部に検出され、西方に80、81号土坑が位置する。形状は、楕円形気味を呈する。長軸長1.32m、短軸長74cm、深さ35cmを測る。底面はほぼ平坦で、壁は直立気味に立ち上がる。

80号土坑　Ｌ12、13Grid にまたがって検出され、西に81号土坑が隣接する。形状は、東西を長軸とする楕円形を呈する。規模は、長軸長1.3m、短軸長1.15m、深さ30cmを測る。底面は平坦で、壁は東～南方部がやや開き気味とする。

81号土坑　80号土坑と40cmの間隔を隔てて西に位置する。形状は、方形気味を呈する。規模は東西長60cm、南北長55cm、深さ15cmを測る。平坦な底面より壁は直立気味に立ち上がる。

82号土坑　62号住居址の北に検出され、西に83号土坑が隣接して位置する。形状は、南北に長い楕円形を呈する。規模は、長軸長90cm、短軸長34cm、深さ20cmを測る。底面は平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。

83号土坑　82号土坑に隣接して検出された。形状は、南東部がやや突出する楕円形を呈する。規模は、

長軸長1.02m、短軸長80cm、深さ25cmを測る。底面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。

87号土坑　H 6 Grid の中央やや北寄りに検出された。形状は、円形を呈する。

89号土坑　K 5 Gridに 検出され、台地の縁辺部に位置する。形状は、南北に長い楕円形を呈すると考えられる。規模は、長軸長2.35m、短軸長は不明、深さ58cmを測る。底面はやや北傾斜を呈し、壁は開き気味に立ち上がる。

90号土坑　N11Grid に検出され、西に62号住居址が位置する。形状は、東西に長い楕円形を呈する。規模は、長軸長80cm、短軸長70cm、深さ13cmを測る。底面はほぼ平坦で、壁は西方部がやや開き気味に立ち上がる。遺物は、同一個体の土器片が東方部を除いて折り重なる様に出土した。

### 第３項　集石土坑

１号集石土坑　F 1 Gridの南西部に検出され、12号住居址の北西に位置する。形状は、東方部が攪乱されているが東西に長い楕円形の掘り込みを呈する。規模は、長軸長（1.15）m、短軸長76cm、深さ15cm前後を測る。埋土はソフトローム粒子・カーボン粒子を含む暗褐色土である。集石は埋土の上面に環状に検出された。

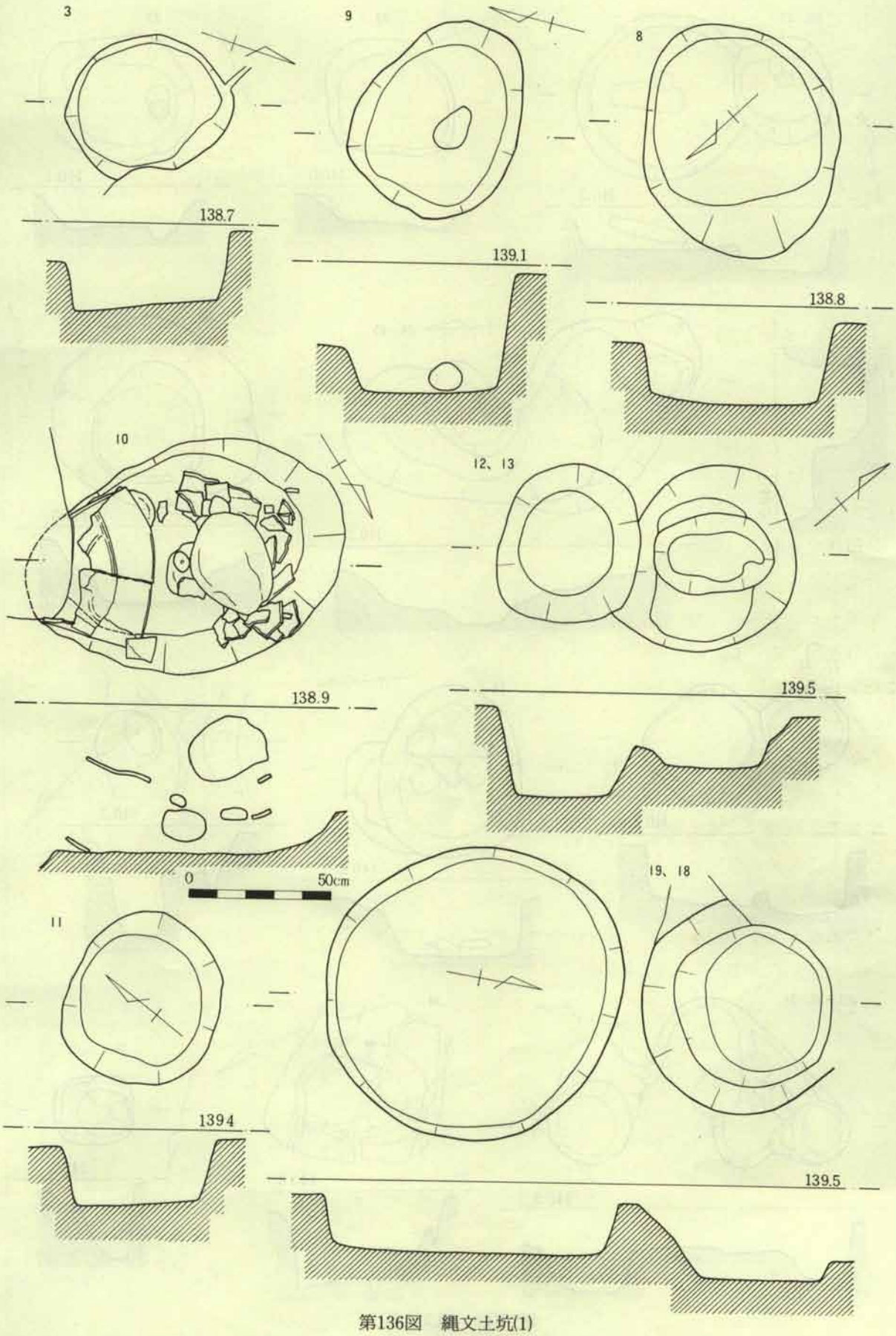
２号集石土坑　形状は、円形気味を呈する。規模は、60～65cmの径で10cm前後の深さを測る。底面は浅い皿状を呈する。集石は河原石を掘り込み内に充塡している。

３号集石土坑　22号住居址内の西方に検出され、住居址の廃絶後の所産である。形状は、円形気味を呈している。規模は、東西1.15m、南北長1.05m、深さ10cmほどを測る。底面は浅い皿状を呈する。集石は空間はあるものの全体に多孔石を含む河原石で配されている。

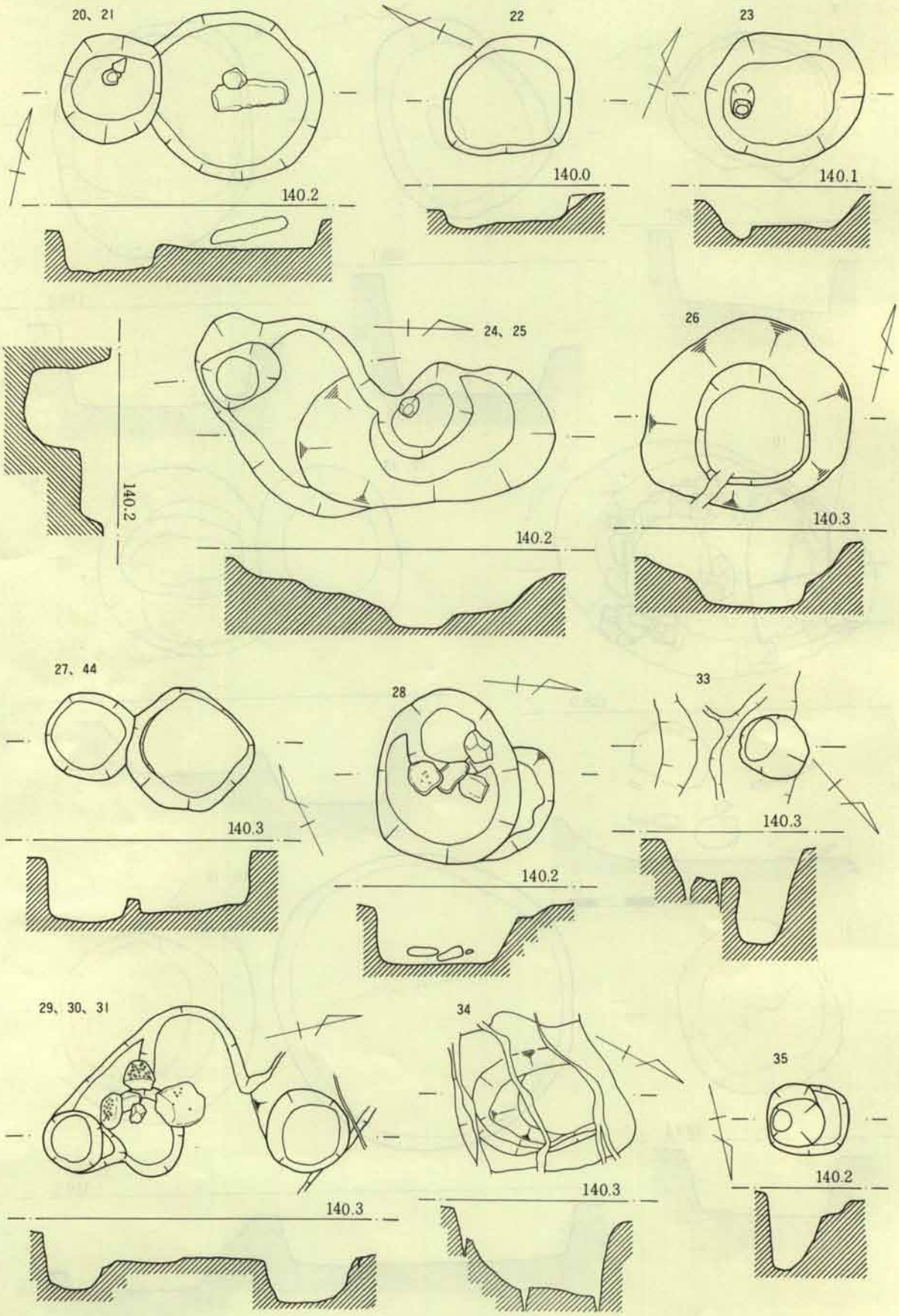
４号集石土坑　39号住居址内の東に検出された。形状は、東西に長い楕円形を呈する。規模は、長軸長1.20m、短軸長１m前後、深さ45cmを測る。底面は平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。集石は、多孔石と河原石により底面から掘り込みの上面15cmほどの間にランダムに出土。

５号集石土坑　H 3 Grid の北方に検出され、21号住居址に包括される。形状はやや東西に長い楕円形を呈する。規模は、東西長75cm、南北長65cm前後、深さ10cmを測る。底面は浅い皿状を呈する集石は周囲に多孔石を含むやや大きめの河原石で囲み、中央部には10cm前後の円礫が集中している。

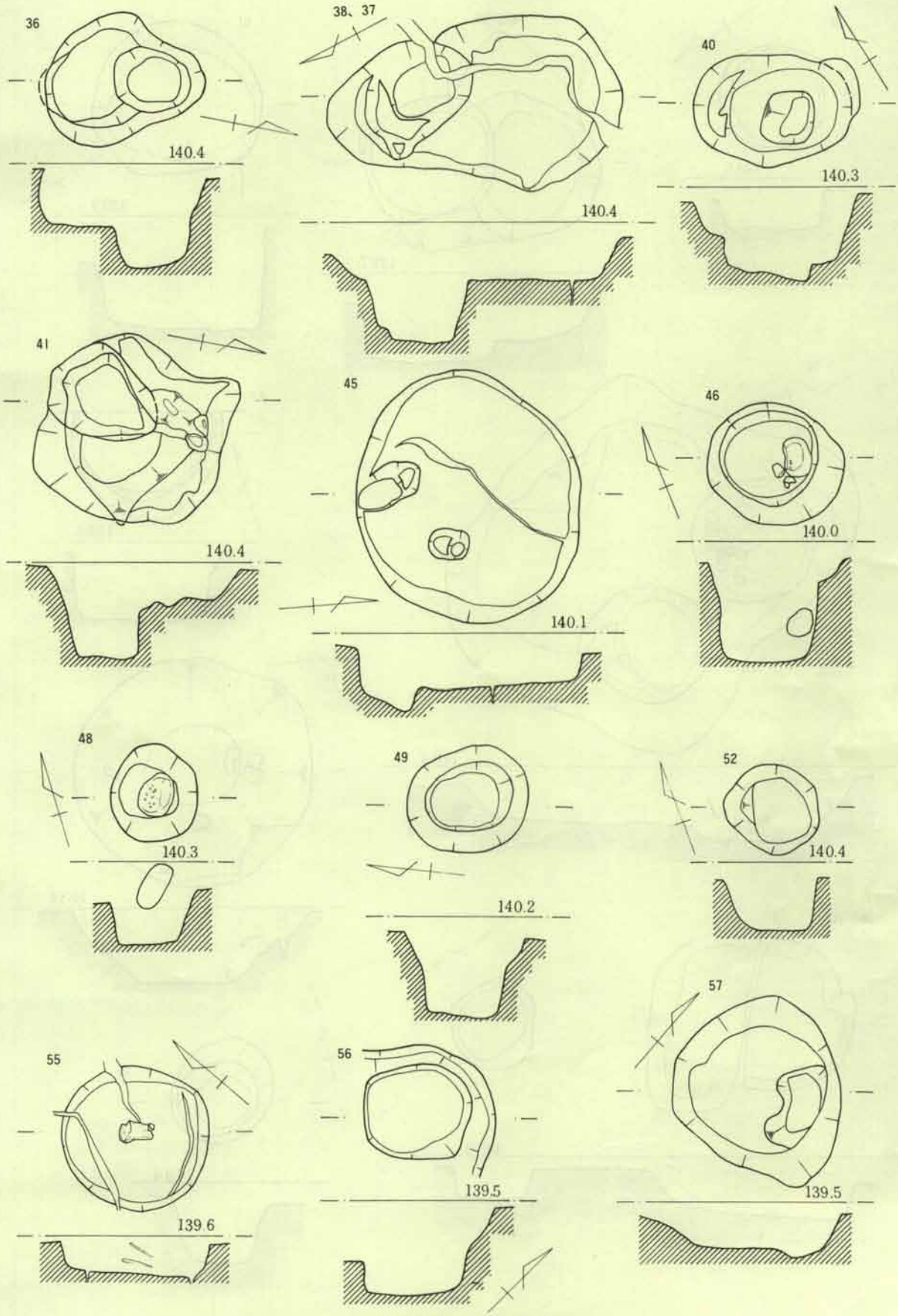
６号集石土坑　E 2、3 Grid にまたがって検出され、12号住居址の東に位置する。形状は、東西に長い隅丸方形を呈する。規模は、東西長95cm、南北長75cm前後、深さ最深部で20cmを測る。埋土はサラッとしたローム土である。集石の配列には規則性が見られないが、東西に偏平な石を立ち気味に配している。集石には多孔石を含んでいる。西方部には早期の条痕文土器が出土した。



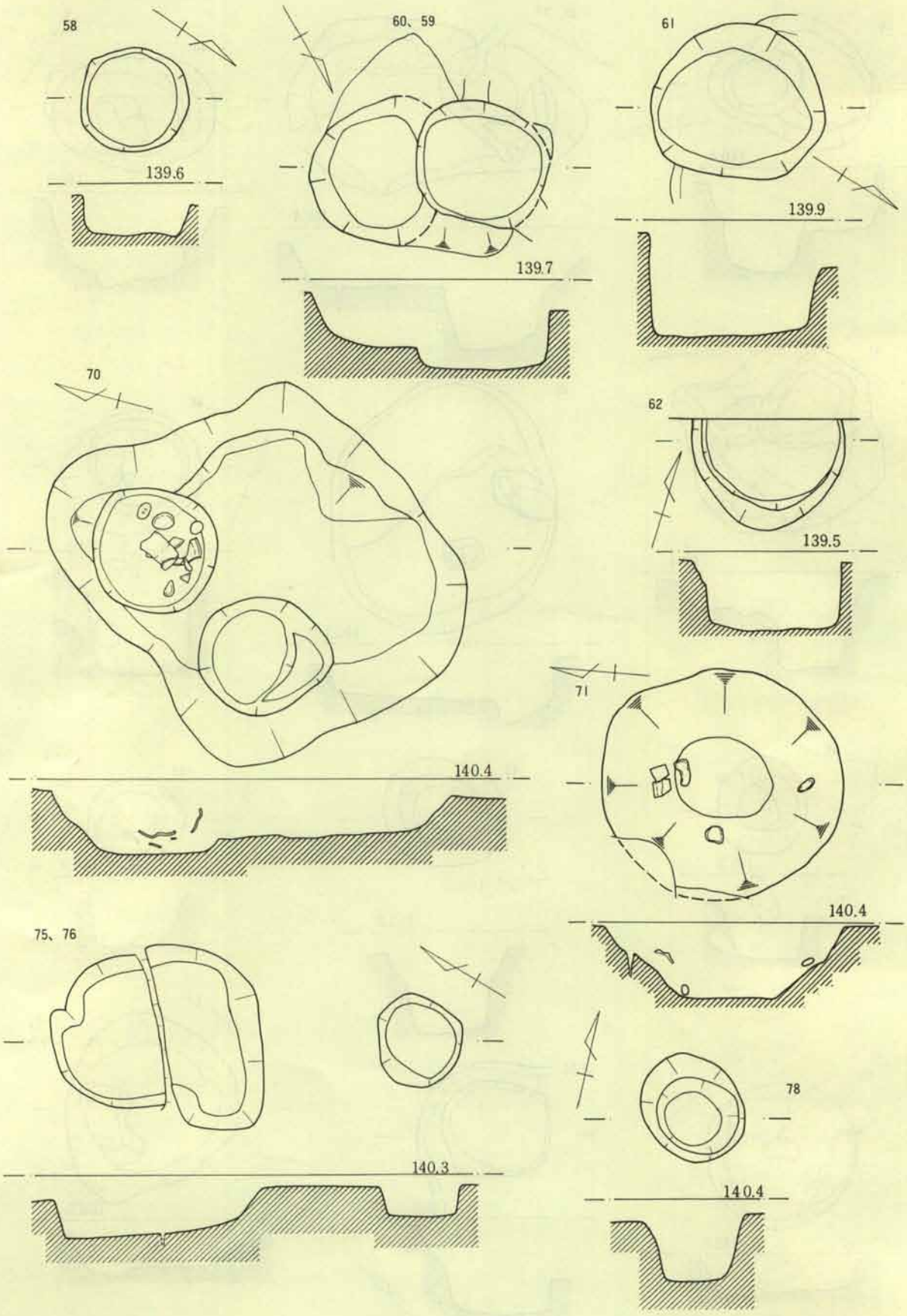

第136図　縄文土坑(1)


20、21
140.2
22
140.0
23
140.1
24、25
140.2
140.2
26
140.3
27、44
140.3
28
140.2
33
140.3
29、30、31
140.3
34
140.3
35
140.2

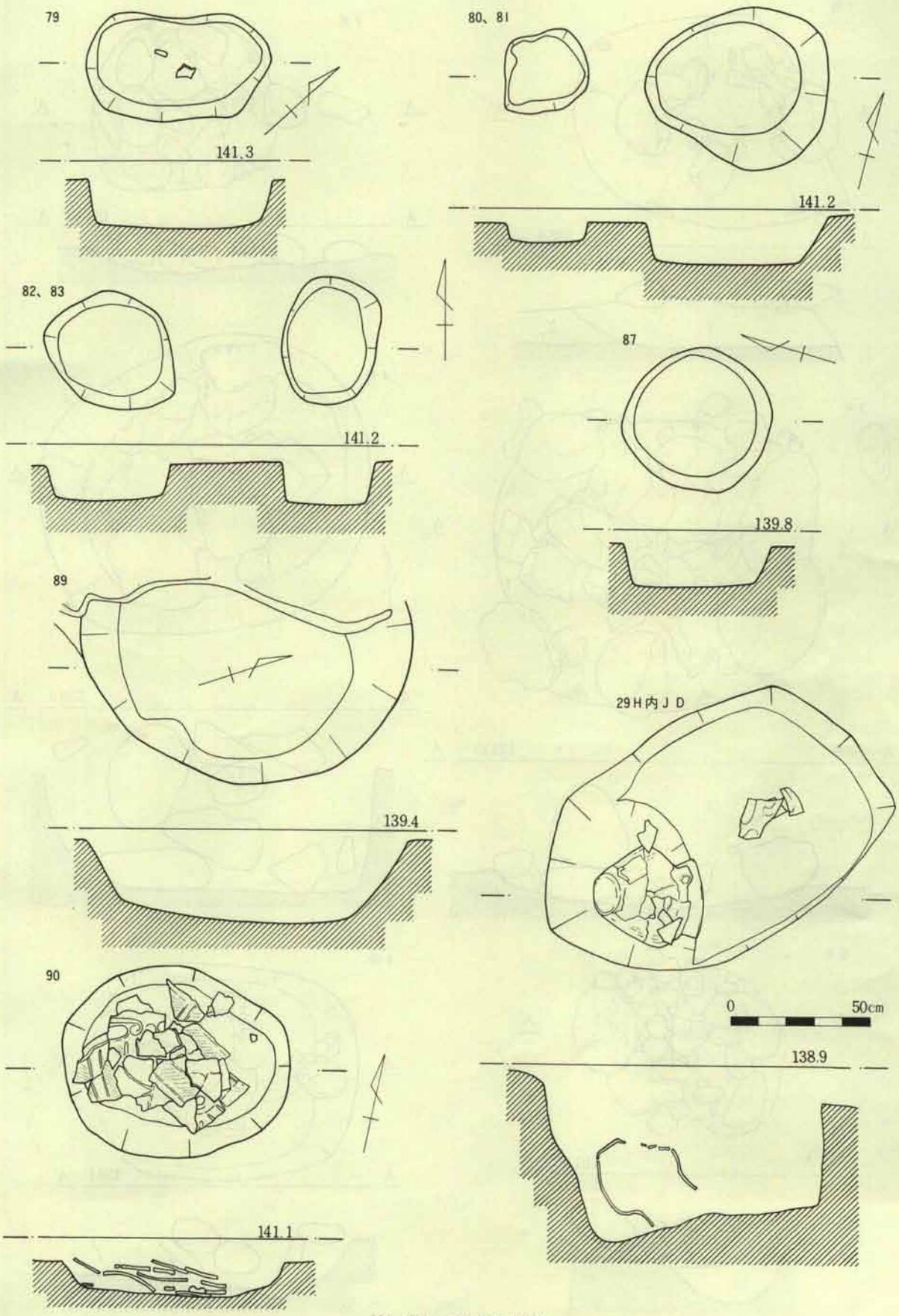
第137図　縄文土坑(2)


36
140.4
38、37
140.4
40
140.3
41
140.4
45
140.1
46
140.0
48
140.3
49
140.2
52
140.4
55
139.6
56
139.5
57
139.5

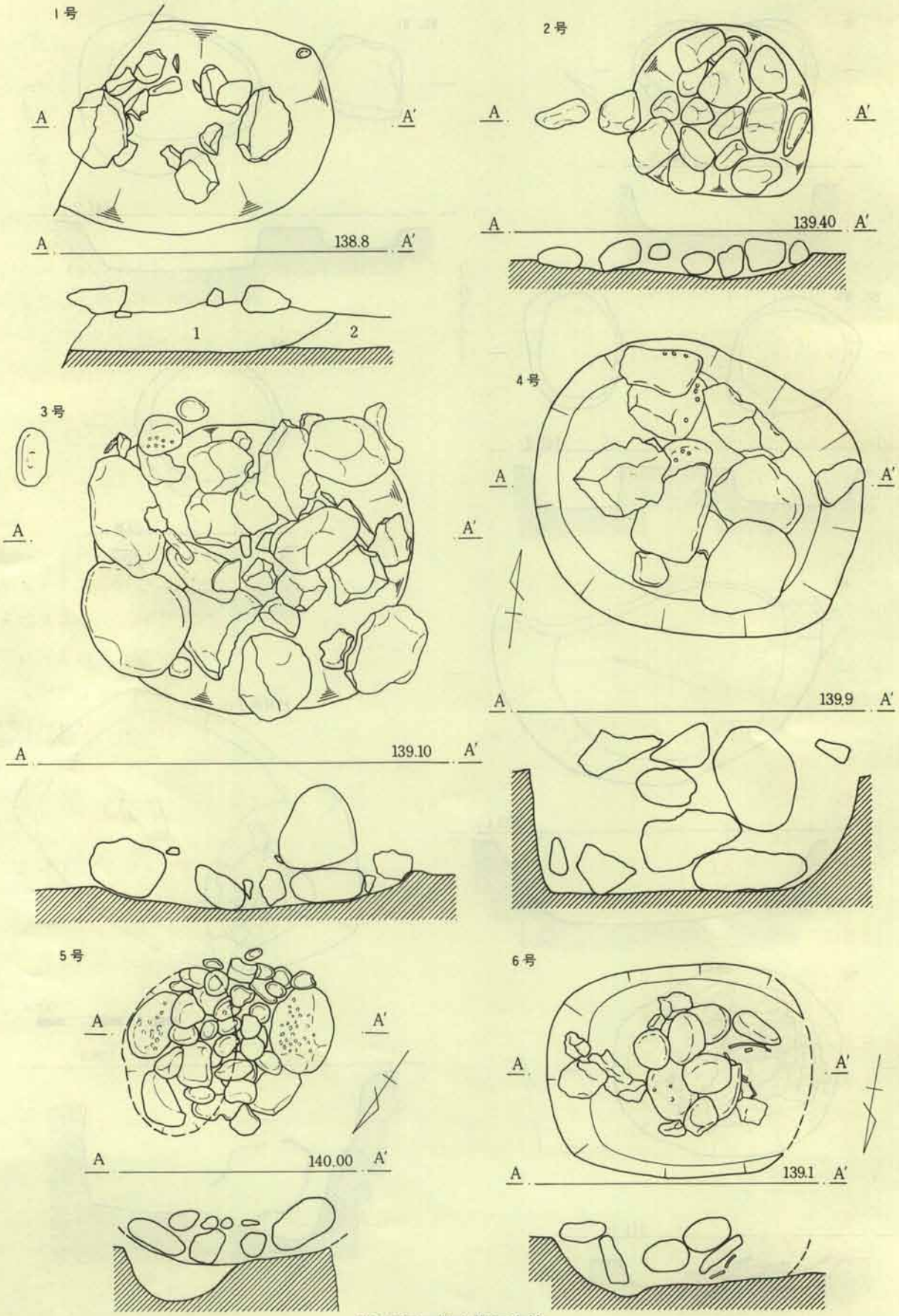
第138図　縄文土坑(3)


58
139.6
60、59
139.7
61
139.9
70
140.4
62
139.5
71
140.4
75、76
140.3
78
140.4

第139図　縄文土坑(4)


79
141.3
80、81
141.2
82、83
141.2
87
139.8
89
139.4
29Ｈ内ＪＤ
90
141.1
0
50cm
138.9

第140図　縄文土坑(5)




第141図　縄文集石土坑

## 第４項　縄文土坑出土遺物

**１号土坑出土遺物**（第142図１～７）

１は隆帯区画による楕円区画文を配し区画内を縄文で充填する口縁部片。２は口唇部下に交互刺突文を横位に巡らし、下方に沈線による意匠文を施す口縁部片。３は沈線による懸垂文と曲線文を施す胴部片。４は沈線による横位文と波状文を巡らせ、下方に波状懸垂文を垂下させるであろう。５は撚糸文を充填する。６は沈線による懸垂文を垂下する胴部片。７は縄文ＲＬを充填する。

**２号土坑出土遺物**（第142図８～14）

８は無文の浅鉢形土器の口縁部片。９は口唇部下に３条の横位沈線を巡らし、下方に３条１組の懸垂文を施す。10は頸部に連続刺突文を挟む２条の横位沈線を施す。11は口唇部下に１条の横位沈線を巡らして口縁部文様帯を区画し、下方に２段の連続刺突文と沈線による意匠文を施す。12は縄文を施す胴部片。13は沈線区画による磨消し懸垂帯と縄文帯を垂下する胴部片。14は沈線による曲線文などを施す胴部片。

**３号土坑出土遺物**（第142図15～17）

15は無文の浅鉢形土器の口縁部片。16は沈線による４条１組の懸垂文と３条１組の横位文を施す胴部片。17は緩やかな波状口縁を呈する口縁部片で、沈線によるアーチ状区画文を施す。

**７号土坑出土遺物**（第142～143図18～26）

18は網代痕を施す底部片。19は口唇部下に横位沈線で無文部を区画し、下方に縦位の条線文を充填する。20は沈線による区画文を施す口縁部片。21は口唇部下に３条の横位沈線を巡らし下方に波状文を意匠する。地文は縦位の条線文。22は口縁部無文帯を隆帯により区画し、下方を縄文で充填する。23は沈線による懸垂文を垂下させる胴部片。24は隆帯による渦巻文を施す。25は沈線による懸垂文を垂下させ、懸垂文間にクランク状文と簡略された渦巻文を伴う曲線文を施す胴部片。26は双耳付壺形土器で、直線的に開き胴部上半で強く内湾し、口縁部は直立気味とする。口縁部は無文帯と考えられ、胴部文様は隆帯によるアーチ状区画文を配し、区画内に磨消しを施す。

**８号土坑出土遺物**（第143～144図27～30）

諸磯式土器に比定される。27、28の２点は同一個体と考えられ、口縁部文様帯を口唇部下と胴部に巡らす連続爪形文を施す平行沈線で区画し、区画内を三角文と曲線文で意匠する。29は連続爪形文を伴う平行沈線により意匠文を施す。30は刻みを施す浮線文を横位に巡らす胴部片。

**９号土坑出土遺物**（第144図31～33）

31は口唇部にボタン状貼付文を付し、刻みを施す浮線文により口縁部文様帯を意匠する。32は刻みを施す浮線文を横位に巡らす。33は縄文を充填する口縁部片。

**10号土坑出土遺物**（第144図34）

口縁部に幅広の無文帯を設け、胴部文様帯との区画を２条の横位沈線で施し、沈線間に２段の連続爪形文を加える。下方は２段の波状文と円文等を施文する。

**11号土坑出土遺物**（第144図35）

諸磯式土器に比定され、口唇部下に細かい刻みを施す浮線文により梯子状文を施し、下方は連続爪形文を施す平行沈線で木葉状文等を意匠する。

**13号土坑出土遺物**（第144図36）

２本１組の隆帯による懸垂文を垂下させる胴部片。

**14号土坑出土遺物**（第144～145図37～43）

37は口縁部に無文帯を設け、隆帯による区画文を下方に施す。38は口唇部下に3条の横位沈線を巡らす。39も口唇部下に3条の横位沈線を巡らし、下方に波状文を施すであろう。40は隆帯による懸垂文と波状懸垂文を垂下させる胴部片。41は隆帯上に円形刺突文を連続して施す。42は復元口径32.6cmを測る深鉢形土器。隆帯による渦巻文と区画文を施し、隆帯の両端になぞりを施す。43は沈線区画による磨消し懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる。

**15号土坑出土遺物**（第145図44～46）

44は口唇部下に1条の横位沈線を巡らし、その下方に沈線区画による磨消し懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させ、縄文帯に波状懸垂文を垂下させる。45は沈線区画による磨消し懸垂帯と縄文帯を垂下させる。46は口唇部に無文帯を横位の隆帯により区画し、その隆帯より懸垂文と波状懸垂文を交互に垂下させ、懸垂文間に横位の沈線を充填する。

**16号土坑出土遺物**（第145～146図47～57）

47は口唇部下に沈線による楕円区画文を配す口縁部片。48は隆帯による楕円区画文等を施す口縁部片。49は口唇部下の横位区画内を斜位の沈線で充填し、その下方に隆帯を2本横位に巡らす口縁部片。50、53は沈線区画による磨消し帯と縄文帯を垂下させる。51、52は同一個体で沈線区画による磨消し帯と縄文帯を交互に垂下させる。54は口縁部下に3条の横位沈線を巡らせ、下方に波状文を施す。55は隆帯による楕円区画文内に円形刺突文を充填する。56はなぞりの沈線による楕円区画文等を配す口縁部片。57は沈線区画による幅広の磨消帯と縄文帯を垂下させる。

**17号土坑出土遺物**（第146図58～60）

58は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を垂下させる胴部片。59は無文帯を有する口縁部片。60は沈線による意匠文を施す胴部片。

**19号土坑出土遺物**（第146図61～64）

61は隆帯により口縁部無文帯を区画する口縁部片。62は隆帯による渦巻文と区画文を配す口縁部片。63も渦巻文と楕円区画文を配す口縁部片で区画文内を斜位の沈線で充填する。64は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を垂下させる胴部片。

**20号土坑出土遺物**（第146図65～68）

65は沈線による区画文を意匠し、区画文内を磨消帯と縄文帯に分ける。66は沈線による懸垂文で区画する。67は直線的に開く胴部より口縁部は直立気味に内湾すると考えられる。68は直線的に開く無文の浅鉢形土器の口縁部片。

**21号土坑出土遺物**（第146図69）

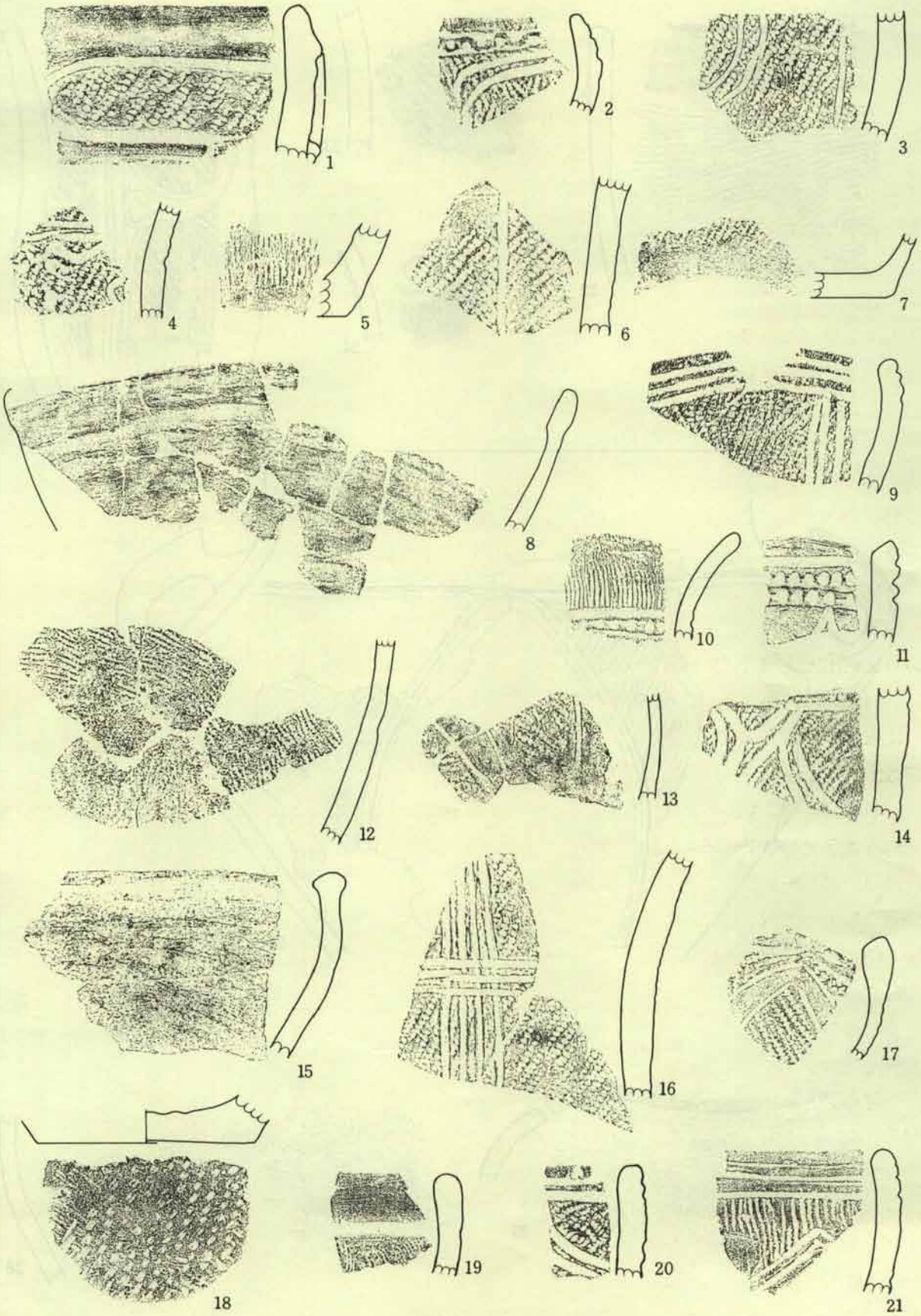
隆帯区画による磨消帯と縄文帯を交互に垂下させる胴部片。

**22号土坑出土遺物**（第146図70～72）

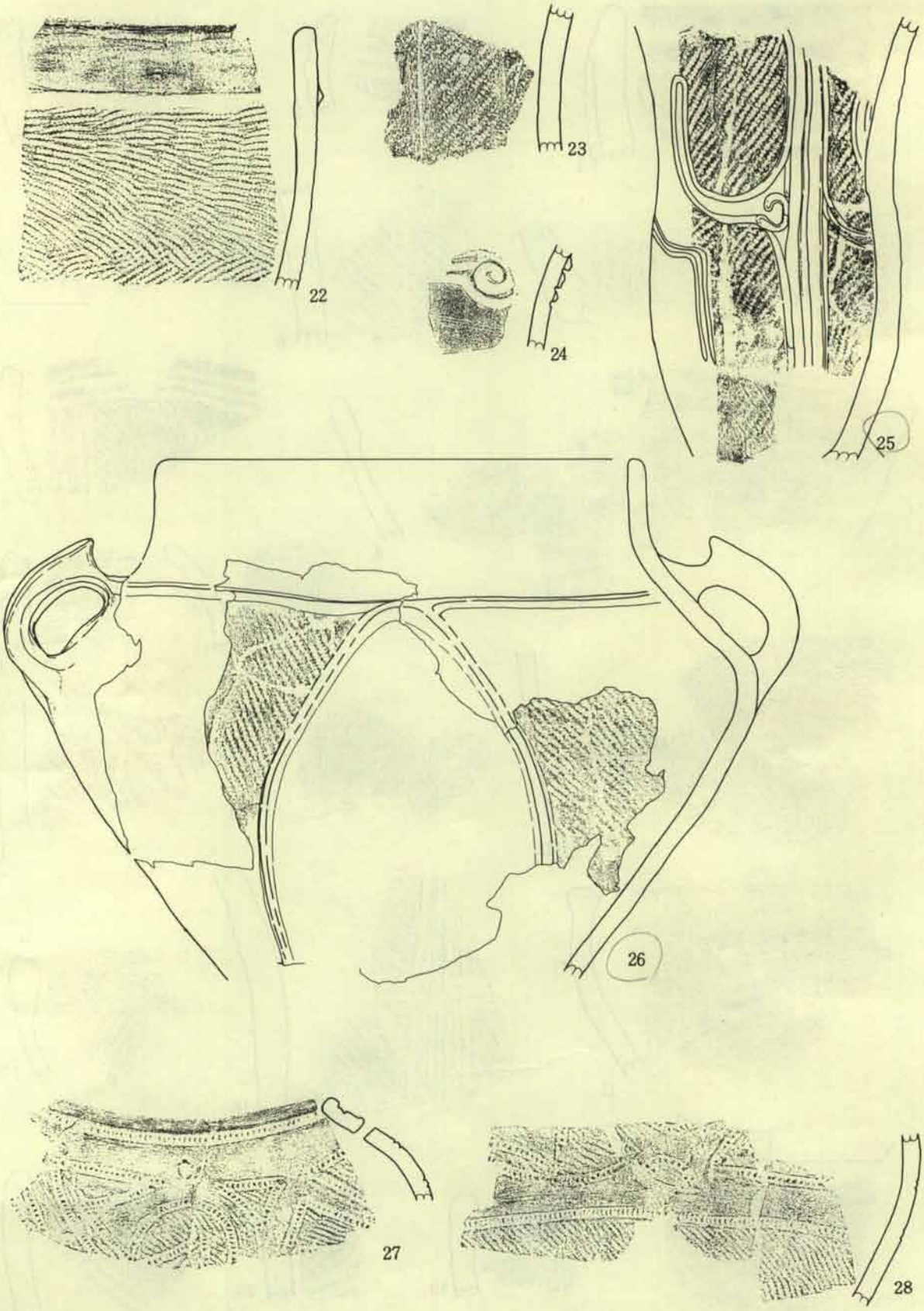
70は沈線区画によるアーチ状区画文と磨消帯を配する。区画文内は縄文で充填し、磨消帯には蕨手状沈線文を垂下させる。71は隆帯による楕円区画文を施す口縁部片。72は沈線による幅狭の磨消懸垂帯と縄文帯を垂下させる胴部片。

**23号土坑出土遺物**（第146図73～75）

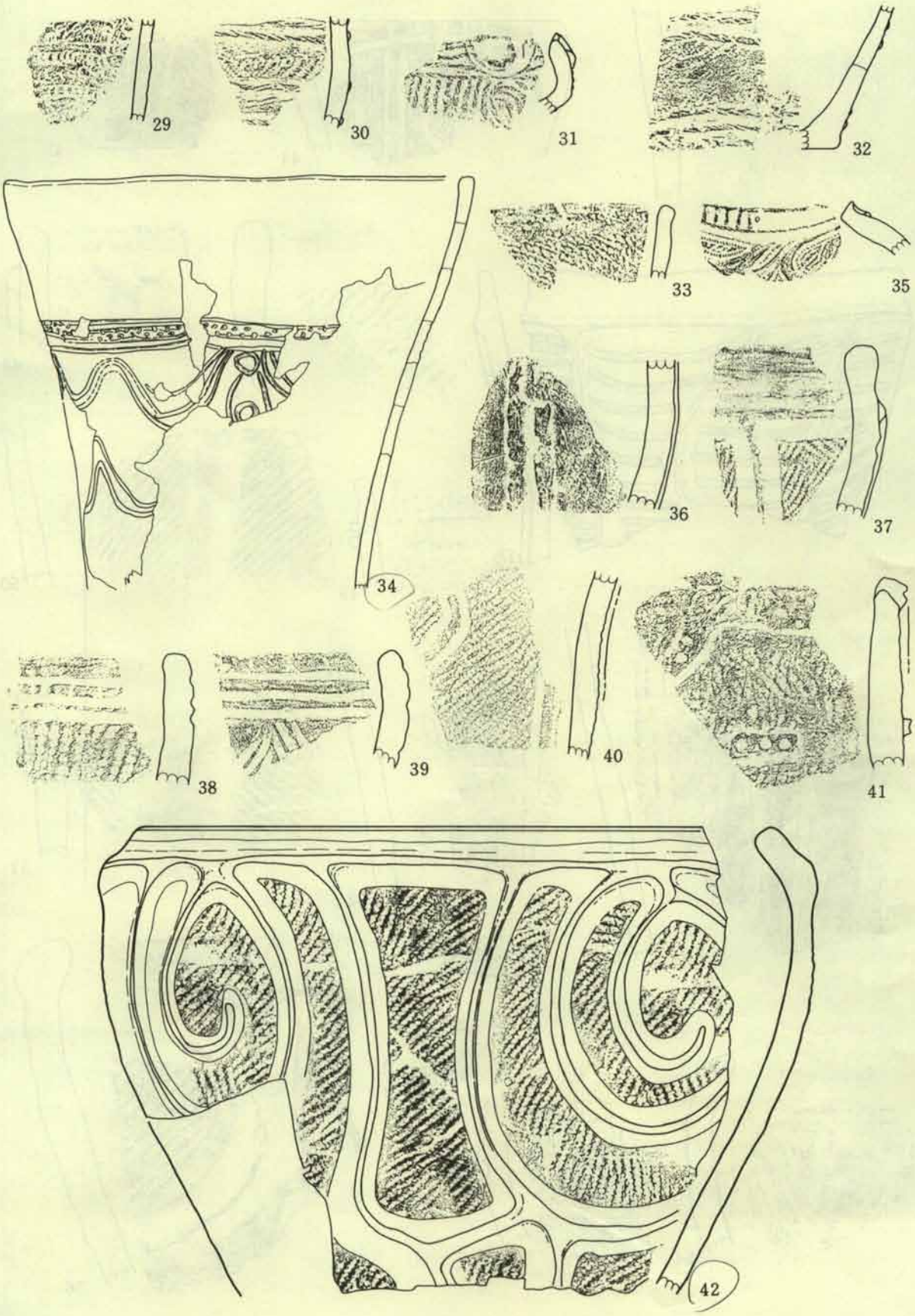
73は浅いなぞりの沈線による楕円区画文を施す口縁部片。74もなぞりの沈線による磨消懸垂帯と縄文帯を垂下させる胴部片。75は沈線による区画文を配す。



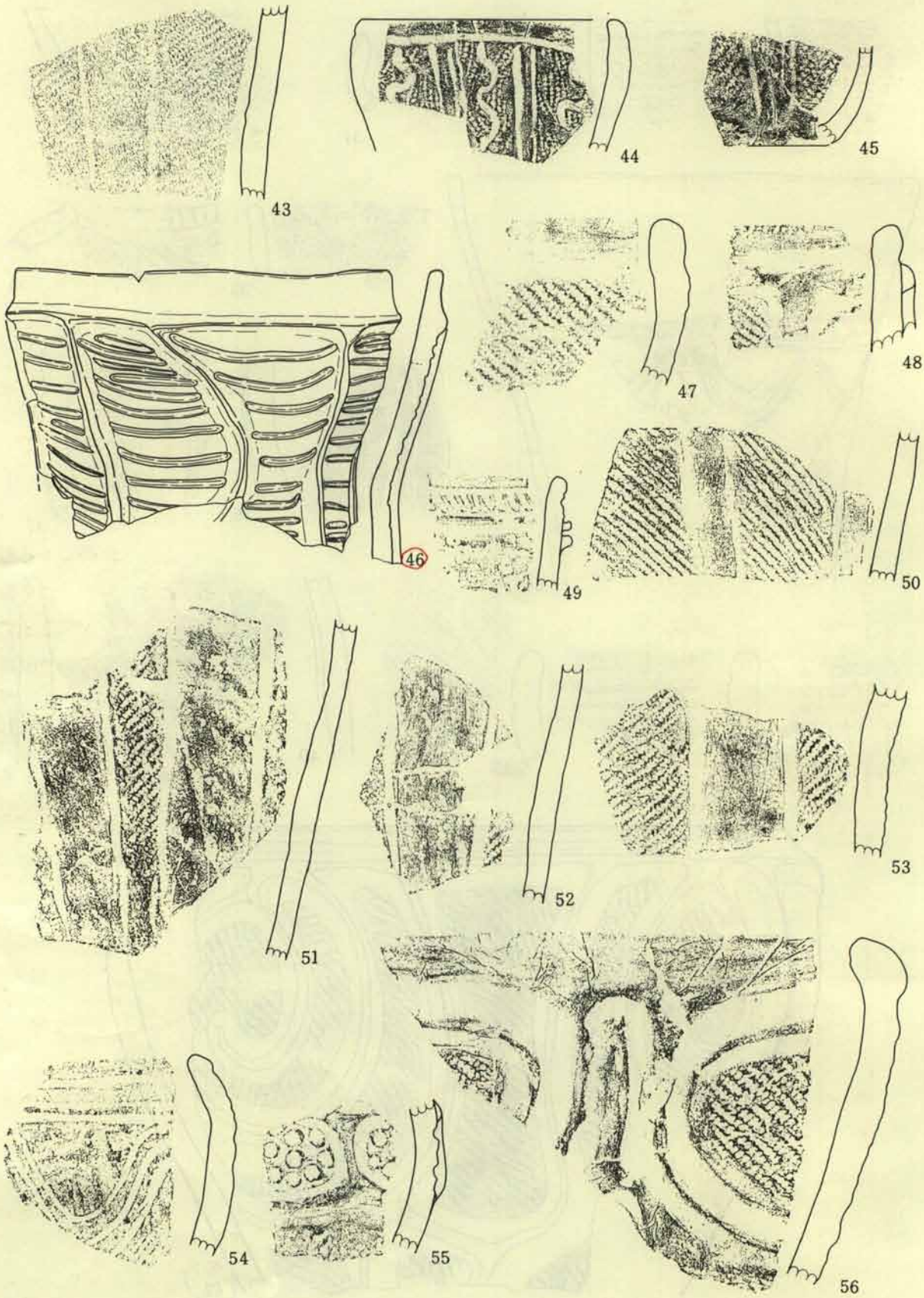

第142図　縄文土坑出土遺物(1)




第143図　縄文土坑出土遺物(2)




第144図　縄文土坑出土遺物(3)




第145図　縄文土坑出土遺物(4)

**25号土坑出土遺物**（第146図76）

沈線による蕨手状懸垂文を垂下させる胴部片。

**26号土坑出土遺物**（第146図77、78）

77は横位沈線による無文の口縁部文様帯を区画し、下方に縦位の条線文を施す。78は口唇部下に交互刺突文を施し、沈線による区画文を施す。

**28号土坑出土遺物**（第146図79）

沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を垂下する胴部片。

**30号土坑出土遺物**（第146図80）

沈線による懸垂文を垂下させる胴部片。

**31号土坑出土遺物**（第146～147図81～109）

81は条線文による波状文をランダムに充填する胴部片。82は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を垂下させ、磨消懸垂帯に沈線による円文などを配し内部を縄文で充填する。83は口縁部文様帯に沈線による楕円区画文を配し、胴部文様帯は磨消懸垂帯と縄文帯を垂下させる。84は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる。85も沈線による懸垂帯を垂下させる。86は隆帯による区画文を配す口縁部片。87は緩やかな山形突起を付す口縁部片で口唇部下に円形刺突文を巡らす。その下方は条線で波状文を充填する。88は口唇部下に２段に連続刺突文を巡らしている。89、90は隆帯による楕円区画文を配す口縁部片。91も隆帯による渦巻文と区画文を配す口縁部片。92は隆帯による渦巻文と楕円区画文を入り組状に配す。93は口唇部下に連続刺突文を巡らせ、下方に沈線による波状文を施す口縁部片。94～97は隆帯による渦巻文と楕円区画文を交互に配す口縁部片。98は口唇部下に２段の連続刺突文を巡らせる口縁部片。99～103は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を交互に垂下する胴部片。104は沈線による磨消懸垂帯と縄文帯を垂下させ縄文帯に波状懸垂文を垂下させる。105は沈線による波状懸垂文を垂下させる胴部片。106は隆帯による渦巻文と楕円区画文を配す口縁部片で下方を無文帯とする。107は隆帯による懸垂文を垂下させ隆帯に刺突文を施す。地文は縦位の条線文を充填する。108は平行沈線による懸垂文を垂下させる胴部片。109は沈線による横位波状文を施す。

**34号土坑出土遺物**（第148図110～114）

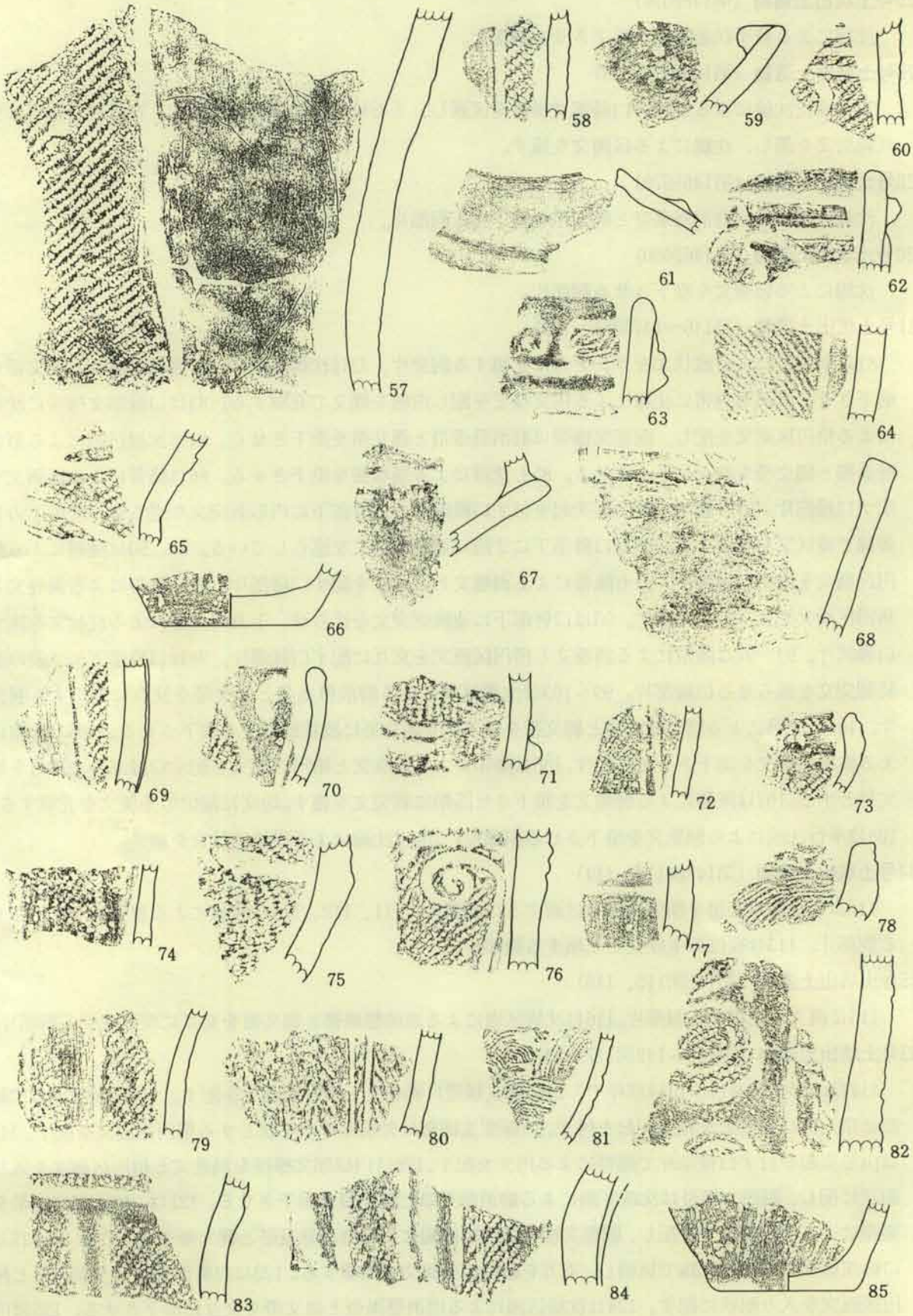
110は口縁部無文帯を横位沈線で区画する口縁部片。111、112、114は沈線による懸垂文を垂下させる胴部片。113は縦位の条線文を充填する胴部片。

**35号土坑出土遺物**（第148図115、116）

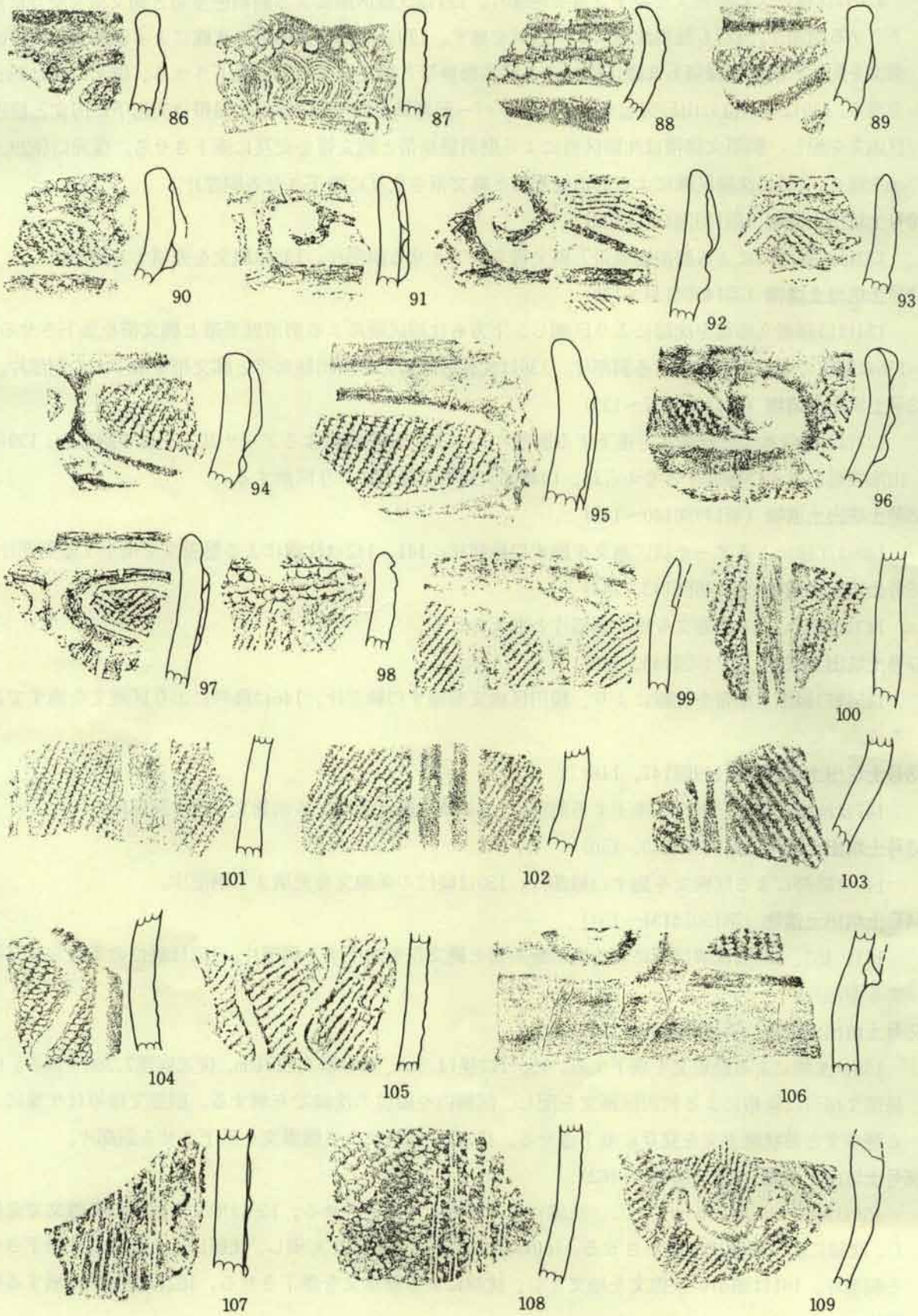
115は縄文を充填する胴部片。116は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる胴部片。

**39号土坑出土遺物**（第148～149図117～131）

117は山形突起を付す口縁部片で、口縁部文様帯に渦巻文と楕円区画文を配す。118は内湾する口縁部に頂上部に渦巻文を施す突起を付す。口縁部文様帯は先端部を蕨手状とする楕円区画文を配す。119は山形突起を付す口縁部片で隆帯による円文を配す。120は口縁部文様帯を渦巻文と楕円区画文を入り組状に配し、胴部文様帯は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を垂下させる。121は、口縁部文様帯を隆帯による楕円区画文を配し、胴部文様帯は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を垂下させる。122は口縁部無文帯を横位沈線で区画し、下方を縦位の条線文で充填する。123は口縁部文様帯を渦巻文と楕円区画文を入り組状に配す。124は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる。125は内湾する胴部に縦位の条線文を施し、口縁部を無文帯とする。




第146図　縄文土坑出土遺物(5)




第147図　縄文土坑出土遺物(6)

126は沈線による懸垂文を垂下させる胴部片。127は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる胴部片。128も懸垂沈線により区画を施す。129は口縁部文様帯を沈線による渦巻文と楕円区画文を配し、胴部文様帯も沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる。復元口径は53cmを測る。130は4単位の山形突起を付すキャリパー形深鉢土器で、口縁部文様帯は突起下に円文と楕円区画文を配し、胴部文様帯は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる。復元口径29.2cmを測る。131は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる胴部片。

**40号土坑出土遺物**（第149図132、133）

132は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を垂下させる胴部片。133は縄文を充填する胴部片。

**42号土坑出土遺物**（第149図134～136）

134は口縁部文様帯を沈線により区画し、下方も沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を垂下させる。135は縦位の条線文を充填する胴部片。136は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を垂下する胴部片。

**43号土坑出土遺物**（第149図137～139）

137は、沈線による懸垂文を垂下する胴部片。138は沈線区画によるアーチ状文を施す胴部片。139は山形突起を付す口縁部片と考えられ、口縁部文様帯を隆帯により区画する。

**45号土坑出土遺物**（第149図140～142）

140は沈線によるアーチ状区画文を施す口縁部片。141、142は沈線による懸垂文を垂下する胴部片。

**46号土坑出土遺物**（第149図143、144）

143は隆帯による渦巻文を施す胴部片と考えられる。

**47号土坑出土遺物**（第149図145、146）

145は口縁部文様帯を沈線により、楕円区画文を施す口縁部片。146は隆帯により区画文を施すであろう。

**48号土坑出土遺物**（第149図147、148）

147は沈線による懸垂文を垂下する胴部片。148は沈線区画による渦巻文を施す胴部片。

**53号土坑出土遺物**（第149図149、150）

140は隆帯による区画文を施す口縁部片。150は縦位の条線文を充填する胴部片。

**54号土坑出土遺物**（第150図151～154）

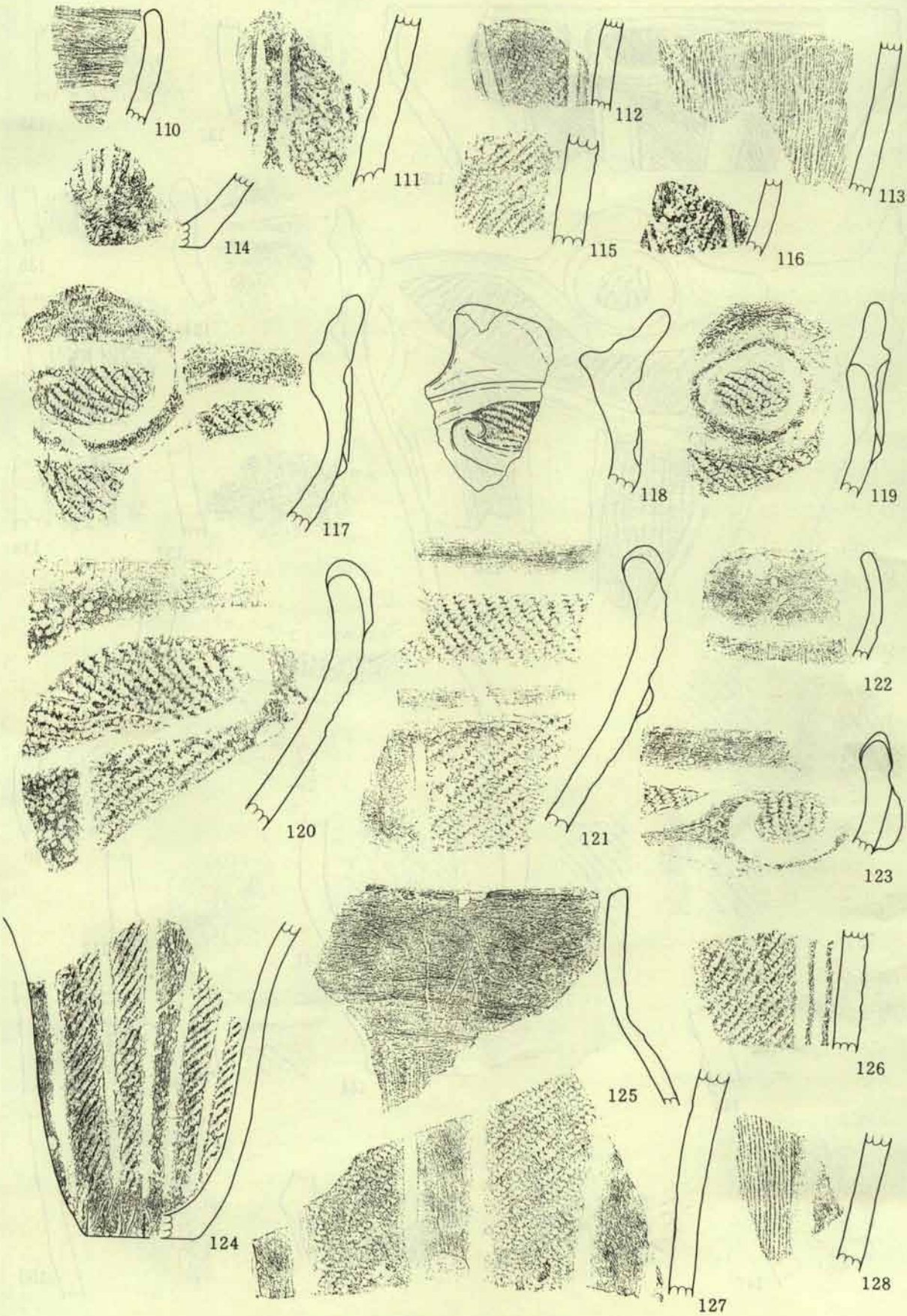
151、153、154は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を垂下する胴部片。152は縦位の条線文を充填する胴部片。

**55号土坑出土遺物**（第150図155～157）

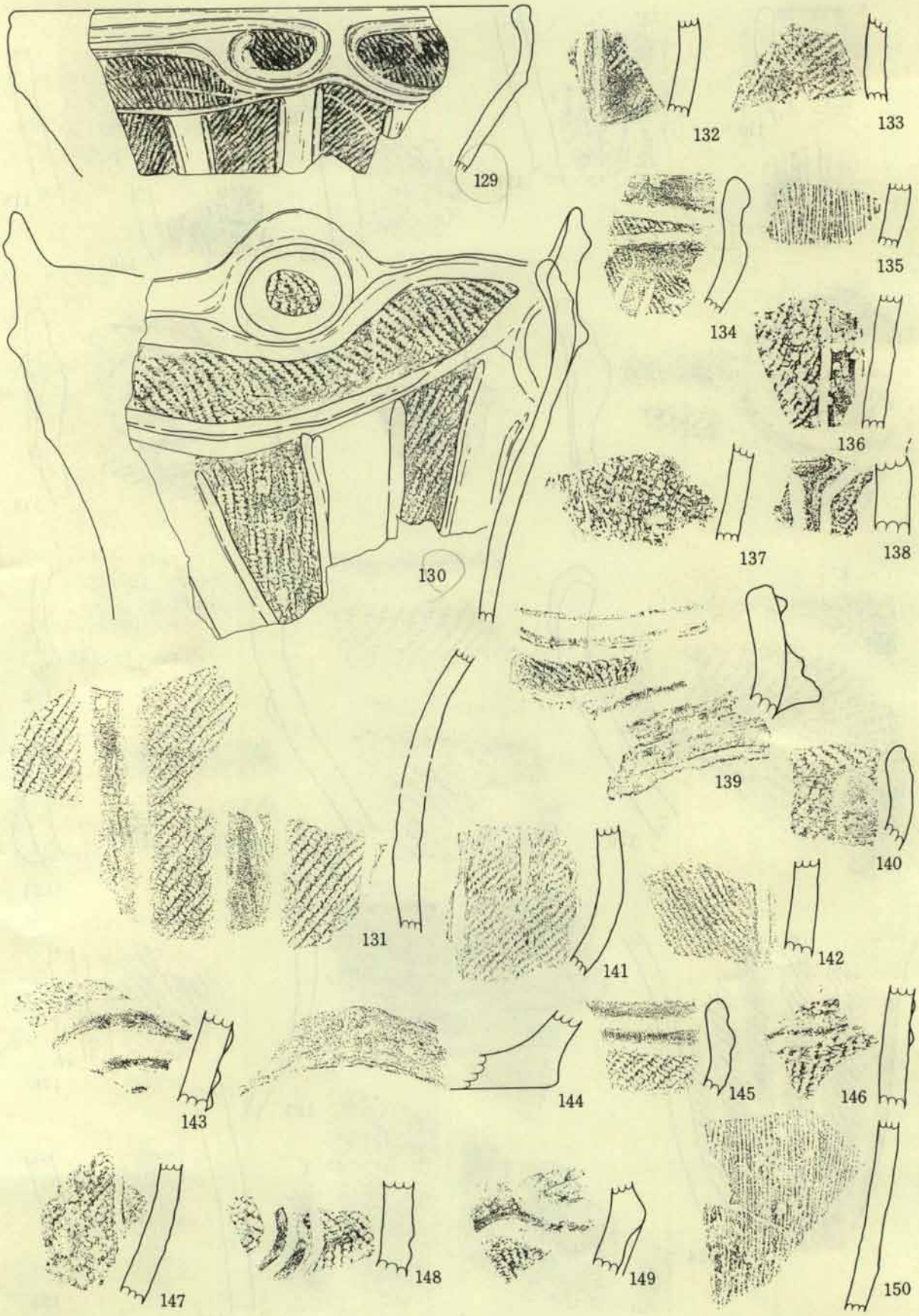
155は沈線による懸垂文を垂下する。156は口径14.5cm、残存器高22.4cm、復元底径7.2cmを測る。口縁部文様帯は隆帯による楕円区画文を配し、区画内を縦位の沈線で充填する。胴部文様帯は沈線による懸垂文と波状懸垂文を交互に垂下させる。157は、沈線による懸垂文を垂下させる胴部片。

**56号土坑出土遺物**（第150図158～162）

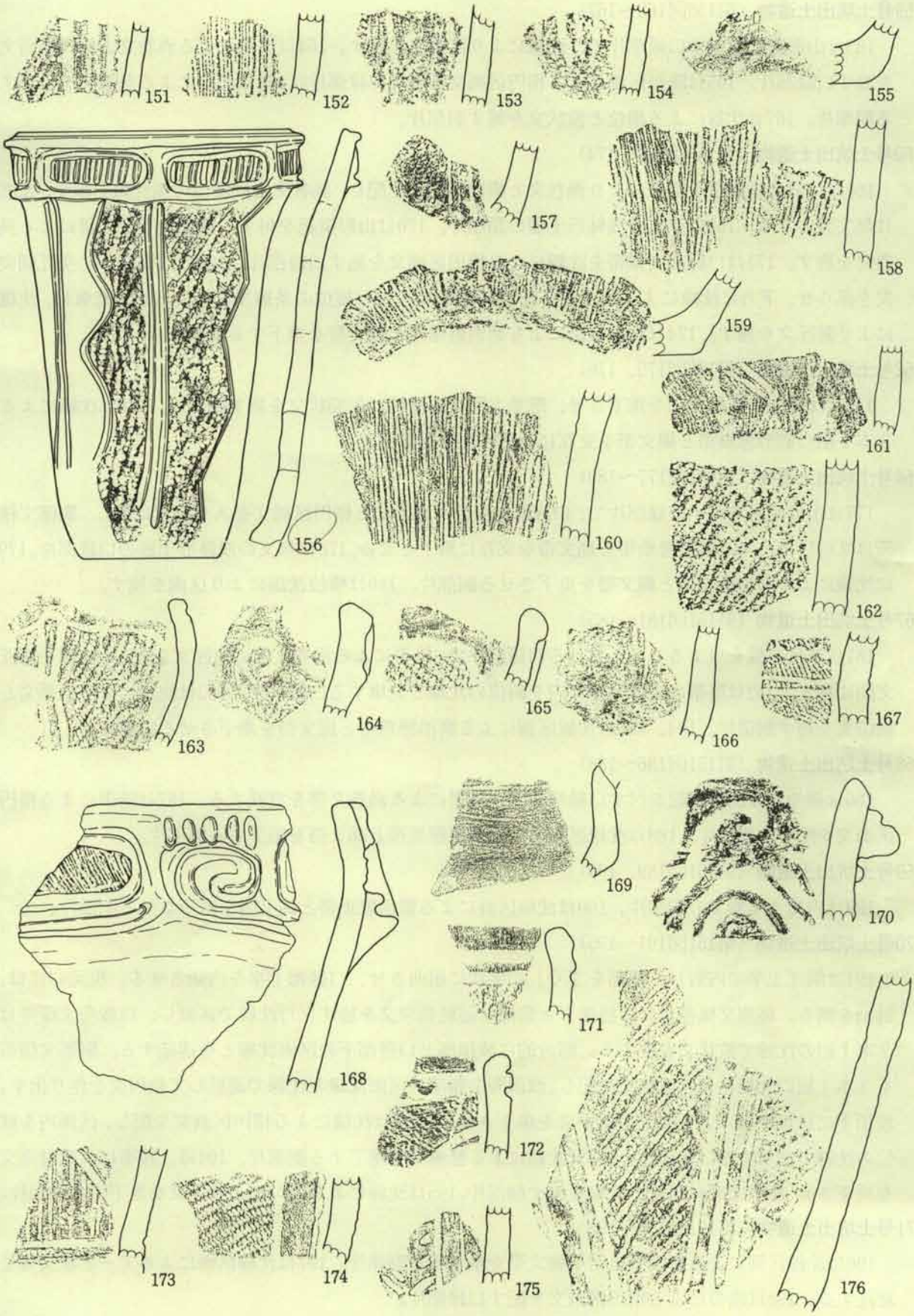
158は縦位の条線文を地文とし、沈線による懸垂文を垂下させる。159は地文を縦位の条線文で充填し、沈線により懸垂文を垂下させる。160は縦位の粗い条線文を充填し、沈線による懸垂文を垂下させる胴部片。161は細かい条線文を地文とし、沈線による懸垂文を垂下させる。162は縄文を充填する胴部片。




第148図　縄文土坑出土遺物(7)




第149図　縄文土坑出土遺物(8)




第150図　縄文土坑出土遺物(9)

**59号土坑出土遺物**（第150図163～167）

163は山形突起を付す口縁部片で、沈線により区画文を施す。164は沈線による渦巻文と楕円区画文を施す口縁部片。165は隆帯区画による楕円区画文を施す口縁部片。166は沈線による懸垂文を垂下する胴部片。167は沈線による横位と波状文を施す胴部片。

**60号土坑出土遺物**（第150図168～174）

168は口縁部文様帯を隆帯により渦巻文と楕円区画文を配し、渦巻文上に縦位の短沈線を施す。頸部は無文帯とする。169は無文の浅鉢形土器の頸部片。170は山形突起を付す口縁部片で、隆帯による渦巻文を施す。171は口縁部文様帯を沈線により楕円区画文を施す口縁部片。172は口唇部下に交互刺突文を巡らせ、下方に沈線による意匠文を施す口縁部片。173は縦位の条線文を地文として充填し、沈線により意匠文を施す。174は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を垂下する胴部片。

**62号土坑出土遺物**（第150図175、176）

175は沈線による懸垂文を垂下させ、懸垂文間を短沈線で矢羽状文を施す胴部片。176は沈線による３本１組の磨消懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる胴部片。

**64号土坑出土遺物**（第151図177～180）

177は山形突起を付す口縁部片で、口縁部文様帯は渦巻文と楕円区画文を入り組状に配し、胴部文様帯は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる。178は無文の浅鉢形土器の口縁部片。179は沈線による磨消懸垂帯と縄文帯を垂下させる胴部片。180は横位沈線により区画を施す。

**67号土坑出土遺物**（第151図181～185）

181は波状口縁を呈すると考えられる口縁部片で、隆帯による渦巻文等の意匠文を配し、沈線を意匠文間に施す。182は隆帯による区画文内を斜位の沈線で充填する口縁部片。183は沈線による懸垂文と横位文を施す胴部片。184、185は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を垂下させる胴部片。

**68号土坑出土遺物**（第151図186～188）

186は緩やかな山形突起を付す口縁部片で、隆帯による渦巻文等を意匠する。187は隆帯による楕円区画文を配す口縁部片。188は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を垂下する胴部片。

**69号土坑出土遺物**（第151図189、190）

189は内湾する無文の胴部片。190は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を垂下させる胴部片。

**70号土坑出土遺物**（第151図191～195）

191は胴部上半で内湾し、頸部を「く」の字状に屈曲させ、口縁部上半を内傾させる。復元口径は、21cmを測る。体部文様帯は、口唇部下と頸部に連続刺突文を施す平行沈線で区画し、口縁部文様帯は２本１組の沈線で波状文を配する。部分的に波頂部と口唇部下の区画沈線とを連結する。胴部文様帯も３本１組の沈線により波状文を配し、波頂間を頸部の区画沈線と沈線で連結して楕円文を作り出す。波頂下には短沈線による縦位の懸垂文を垂下させる。192は沈線による楕円区画文を配し、区画内を縦位の沈線で充填する口縁部片。193は沈線による懸垂文を垂下する胴部片。194は、隆帯による懸垂文を垂下させ、懸垂文間に斜位の沈線を施す胴部片。195は沈線による2本1組の懸垂文を垂下する胴部片。

**71号土坑出土遺物**（第151図196～198）

196は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を垂下する胴部片。197は沈線区画によるアーチ状文等を意匠する。198は隆帯による楕円区画文を配す口縁部片。

**72号土坑出土遺物**（第151図199、200）

199は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を垂下する胴部片。200は口縁部無文帯を設け、下方を縄文で充填する。復元口径は30.6cmを測る。

**75号土坑出土遺物**（第152図201）

口唇部下に２段の連続刺突文を巡らす口縁部片。

**77号土坑出土遺物**（第152図202～206）

202は口縁部文様帯を隆帯により区画し、区画内を斜位の沈線で充填する口縁部片。203、205、206は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を垂下させる。204は沈線による懸垂文と波状懸垂文を垂下させる胴部片。

**79号土坑出土遺物**（第152図207～209）

207は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる胴部片。208は口唇部下の無文帯を横位沈線で区画し、下方に沈線によるアーチ状区画文を配し区画内に磨消しを施す口縁部片。209は磨消しを伴う沈線区画による波状文を配し、波状間に沈線による懸垂文を垂下させると考えられる口縁部片。

**80号土坑出土遺物**（第152図210）

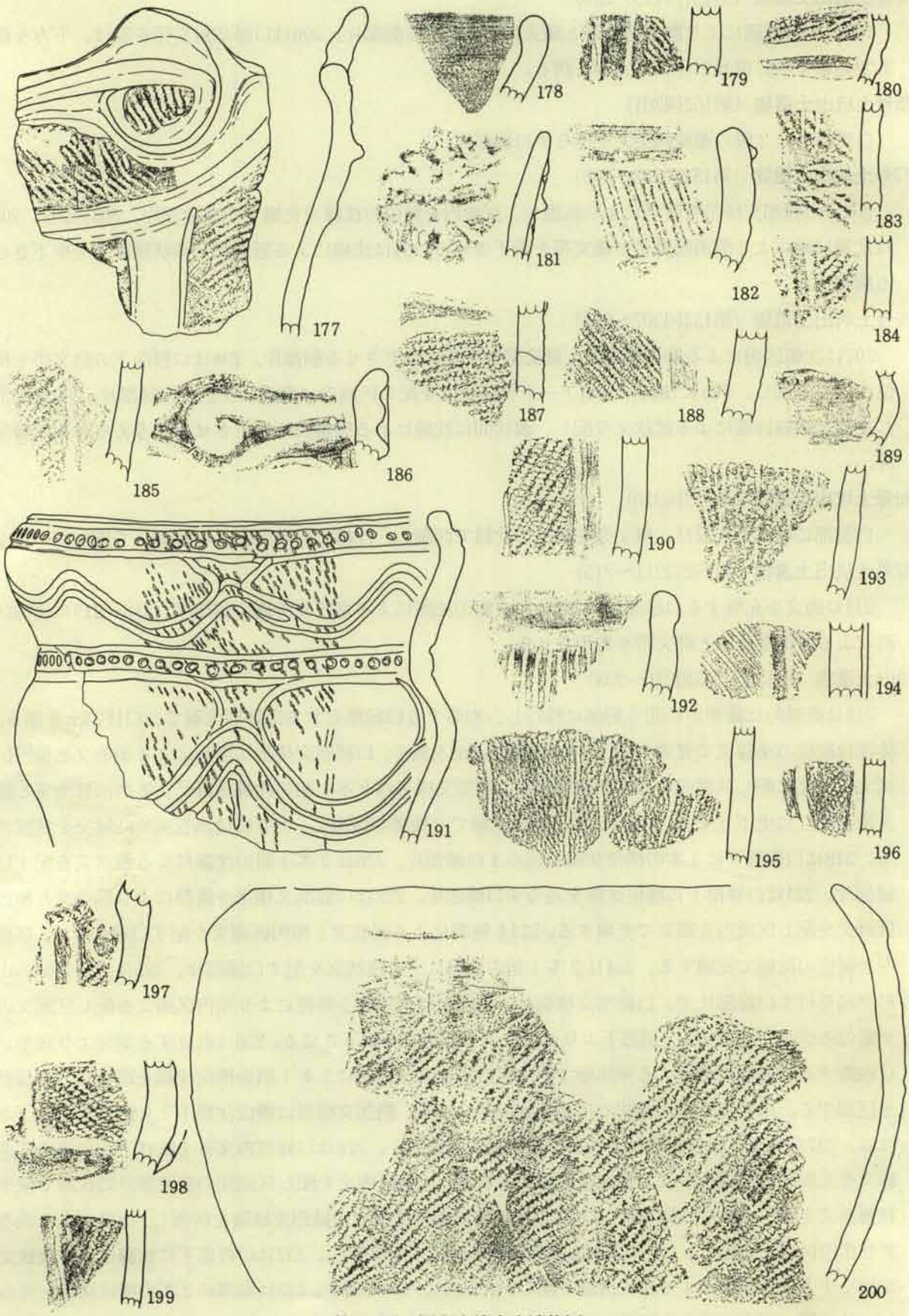
口唇部に無文帯を設け、無文帯を横位の沈線で区画し、沈線に円形刺突文を連続して施す。

**87号土坑出土遺物**（第152図211～215）

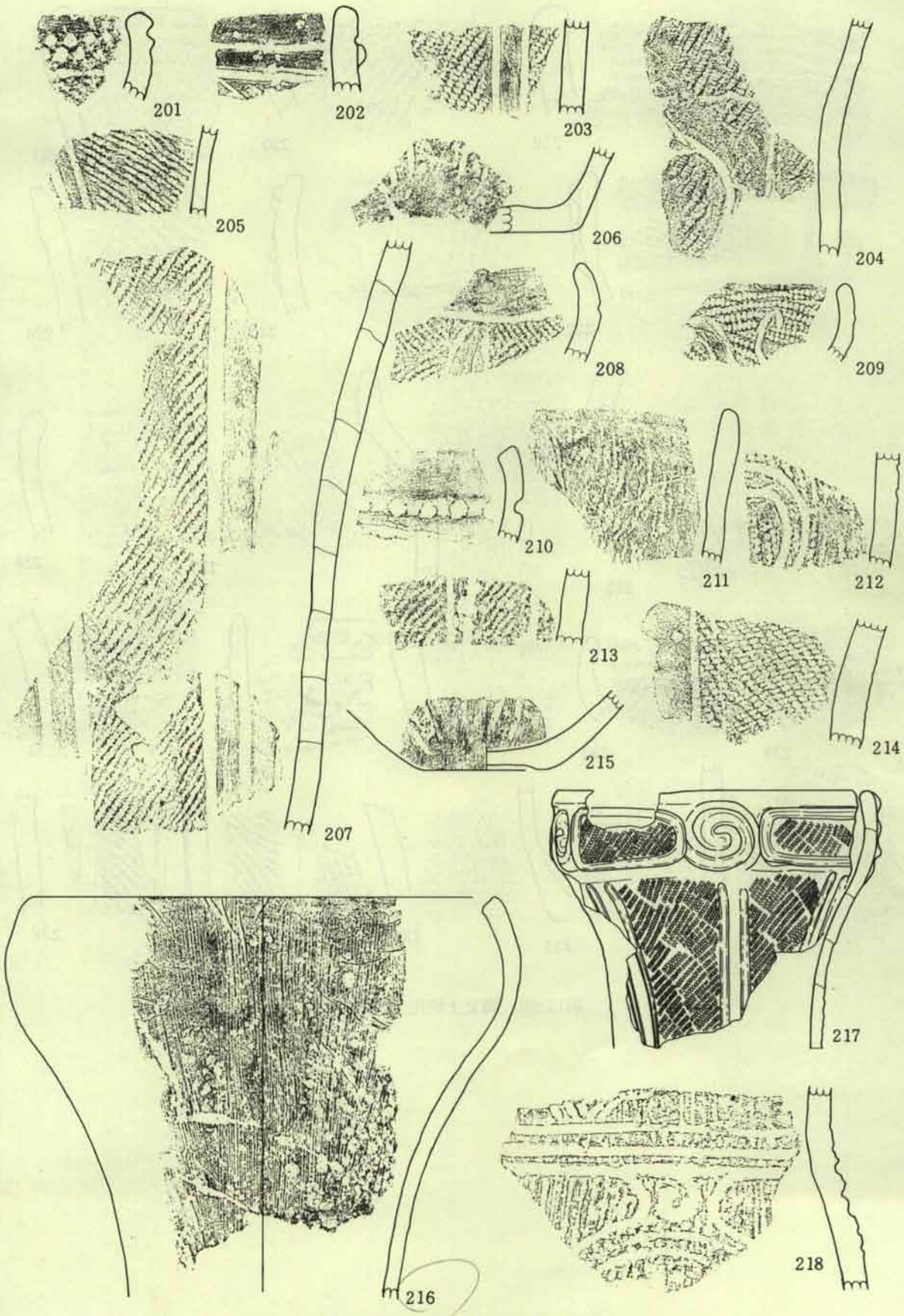
211は縄文を充填する口縁部片。212は2本1組の沈線による意匠文を施す胴部片。213～215は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を垂下させる。

**89出土遺物**（第152～153図216～238）

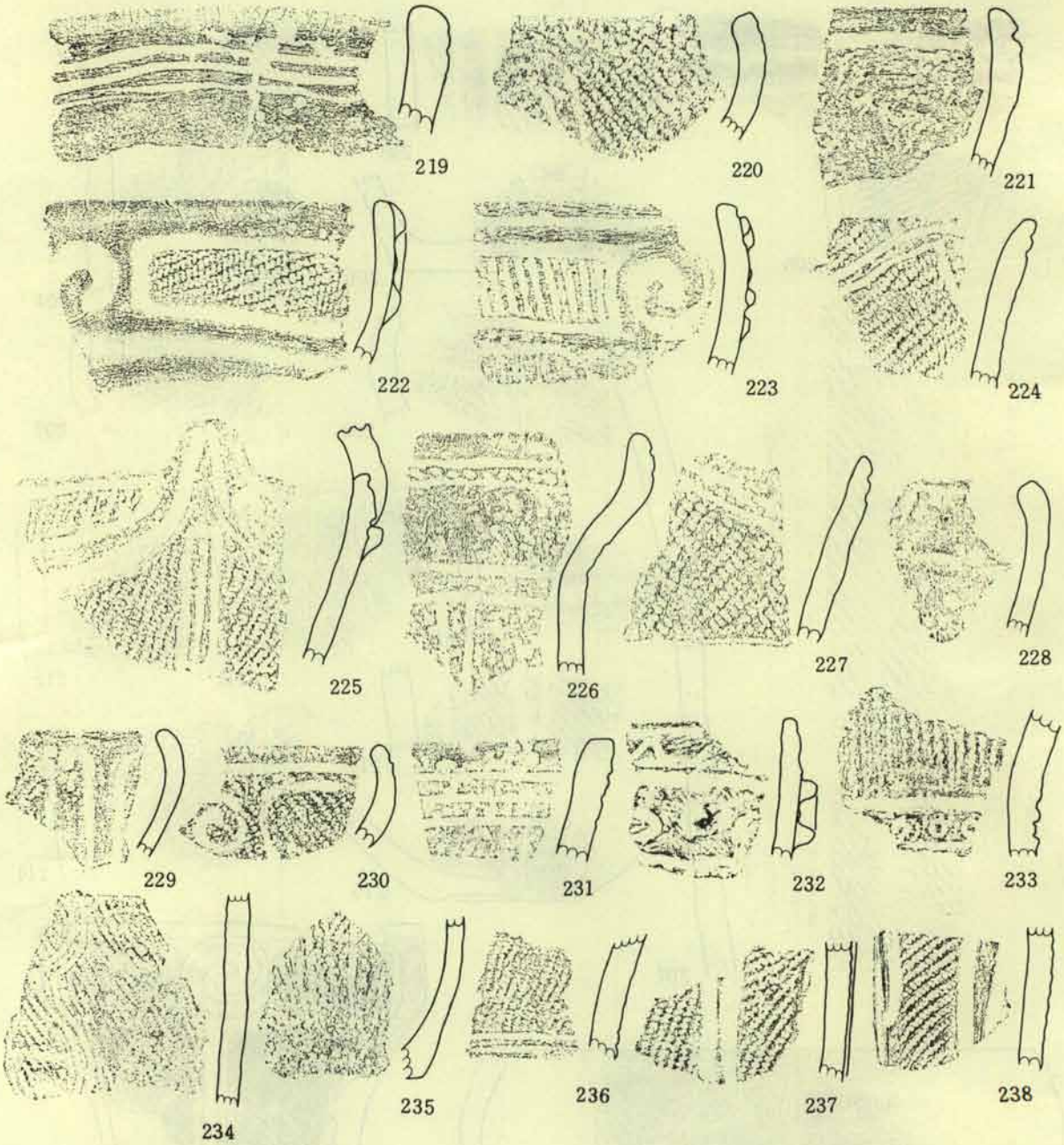
216は直線的に緩やかに開く胴部に移行し、内湾する口縁部とする深鉢形土器で、口径24cmを測る。体部は縦位の条線文で充填する。217は口径16.2cmを測る。口縁部文様帯は隆帯による渦巻文と楕円区画文を交互に配し区画内を縄文で充填する。胴部文様帯は２本１組の沈線区画による磨消懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる。218は３本の横位沈線で文様帯を区画し、下方には渦巻文や曲線文を意匠する。219は口唇部下に３本の横位沈線を巡らす口縁部片。220は２本１組の沈線による波状文を配す口縁部片。221は口唇部下に横位沈線を巡らす口縁部片。222は口縁部文様帯を隆帯により渦巻文と楕円区画文を配し区画内を縄文で充填する。224も隆帯による渦巻文と楕円区画文を配す口縁部片で、区画内を縦位の沈線で充填する。224は２本１組の沈線による波状文を配す口縁部片。225は尖り気味の山形突起を付す口縁部片で、口縁部文様帯は、頂部より垂下する隆帯により楕円区画文を配し区画文内を斜位の沈線で充填する。頂部下より沈線による懸垂文を垂下させる。226は直立する胴部より緩やかに内湾する口縁部に移行する深鉢形土器で、口唇部下と頸部に２本１組の横位沈線を巡らして文様帯を区画する。口唇部下の沈線間には連続刺突文を施す。胴部文様帯は横位沈線下より懸垂文を垂下させる。227は２本１組の沈線により意匠文を配す口縁部片。228は口縁部無文帯を設け下方に縦位の条線文を充填する口縁部片。229は沈線区画によるアーチ状区画文を配し区画間の磨消部分に沈線で蕨手状懸垂文を垂下させる口縁部片。230は口唇部下の横位沈線で口縁部文様帯を区画し、沈線による渦巻文と楕円区画文を配す。234は３本の横位沈線を巡らす口縁部片。232は口唇部下に沈線による波状文を施し下方には隆帯による横位区画を配し、区画内に円文を施す。233は頸部に２本の横位沈線を巡らし、沈線間に円形刺突文を連続して施す。234は沈線による波状懸垂文を垂下する胴部片。235は沈線




第151図　縄文土坑出土遺物(10)




第152図　縄文土坑出土遺物(11)

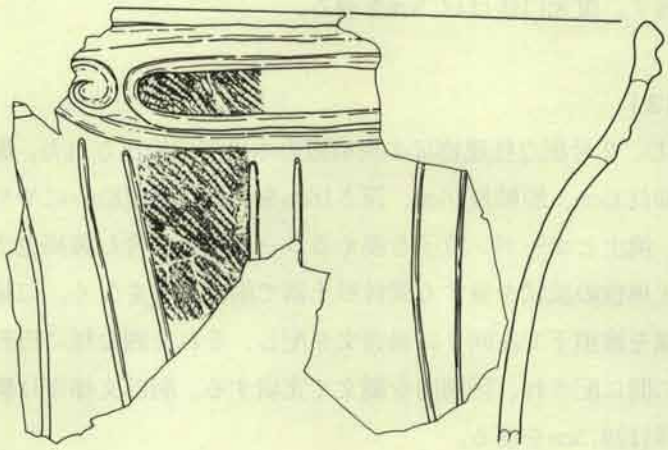


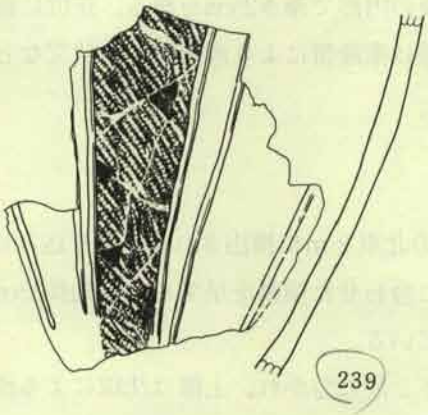

第153図　縄文土坑出土遺物(12)

による懸垂文を垂下させる。236は頸部に横位沈線を施す。237は沈線による懸垂文を垂下する胴部片。238は沈線による磨消懸垂帯と縄文帯を垂下させる胴部片。

**90号土坑出土遺物**（第154図239）

大型の深鉢。渦巻文と楕円区画文を入り組み状に口縁部に配し、胴部は沈線区画による磨消懸垂帯と縄文文を交互に垂下させる。






第154図　縄文土坑出土遺物(13)

## 第５項　埋甕

**１号埋甕**（第156図１）

Ｅ４Grid に位置し、６号墳のテラス状平坦部に検出された。50cmほどの径を測る円形で深さ南壁で20cmの掘り込みに正位に据えられている。内部の埋土は焼土粒子を含む黄褐色土である。個体の口縁部文様帯は微隆帯を波状に施し、波長の谷部と山部に交互に楕円区画文を配している。区画内は縄文で充填する。胴部文様帯は２本の沈線の区画帯と３本沈線の区画帯を縄文帯を挟んで交互に垂下させる。沈線区画帯は磨消しを施す。復元口径は42.3cmを測る。

**２号埋甕**（第156図２）

Ｋ８Grid に位置し、２号掘立柱建物址の南桁辺の中央部で検出された。掘り込みはやや東西に長い楕円形を呈する。長軸長33cm、短軸長28cm、深さ18cmを測る。東壁沿いにやや傾いて正位に据えられている。内部の埋土は、焼土とカーボン粒子を混えるローム粒子を含む黄褐色土である。

個体は緩やかな４単位の波状を呈する深鉢形土器で胴部下半を欠く。口縁部文様帯は口唇部下より巡らしたなぞりの沈線を波頂下で左回りに渦巻文を配し、それを囲む様に円形刺突文を施す。楕円区画文は渦巻文と渦巻文の間に配され、区画内を縄文で充填する。胴部文様帯は磨消し懸垂帯を縄文帯と交互に垂下させる。口径は29.5cmを測る。

**３号埋甕**（第156図３）

Ｅ５Grid に位置し、漏２号墳のテラス状平坦部に検出された。その一部は、周堀の構築により破壊されている。掘り込みは、40cm前後の円形で深さ25cmを測る。正位に据えられていたと考えられる。

個体は胴部中位が残存し、文様は微隆帯により渦巻文と波状文などが配され、区画内を縄文で充填する。

**４号埋甕**（第157図４）

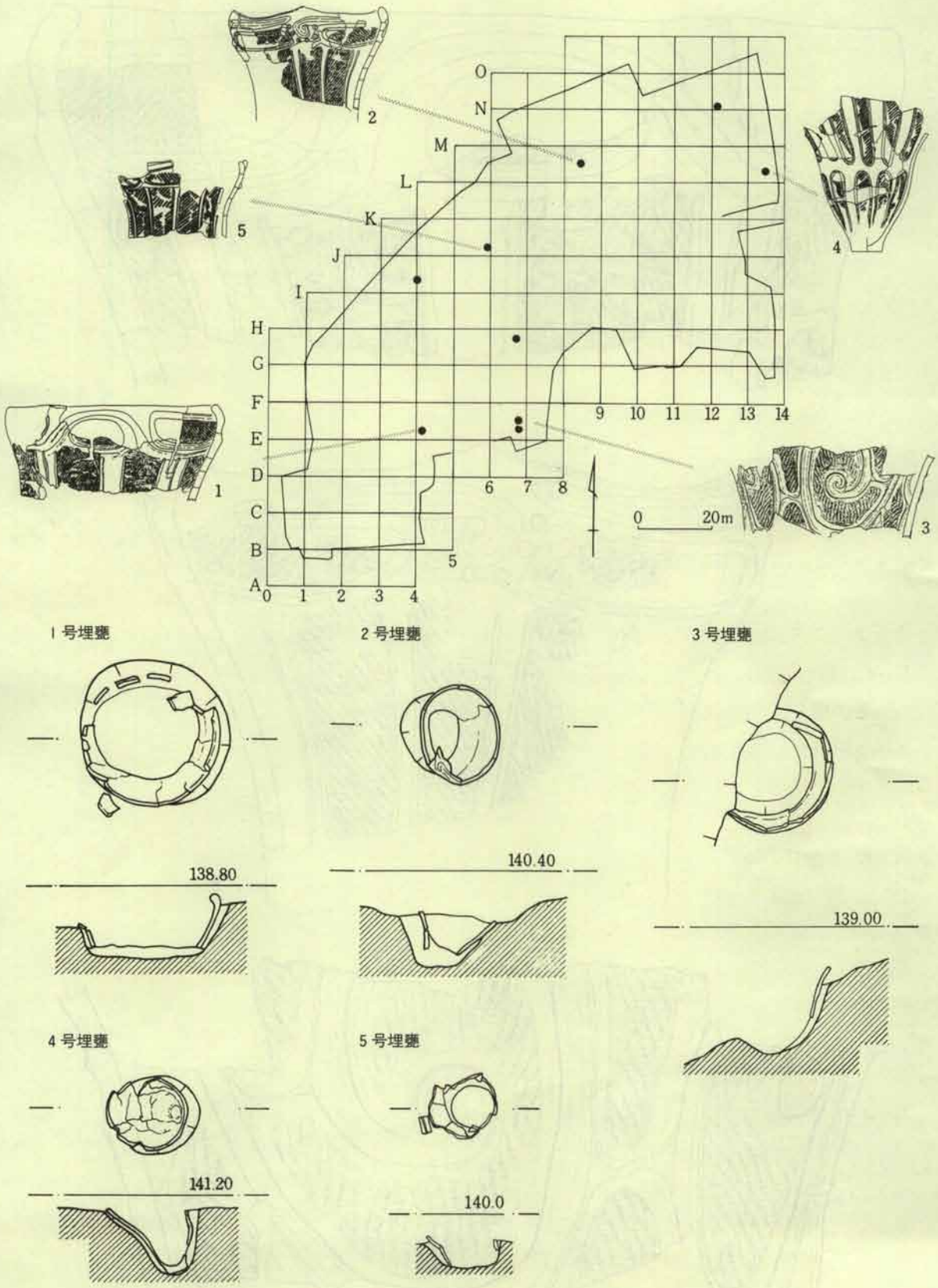
Ｌ13Grid に位置し、79号土坑の北東２ｍに検出された。掘り込みは、南北にやや長い楕円形で南壁は直立気味で北壁が個体のカーブに合わせた傾斜を呈する。長軸長33cm、短軸長27cm、深さ25cmを測る。やや北向きに傾斜して据えられている。

個体の文様構成は括れ部で上下２段に分かれ、上部は沈線による波状文、下部はアーチ状文が配されている。上下の文様は括れ部で相対する。区画内は縄文で充填する。

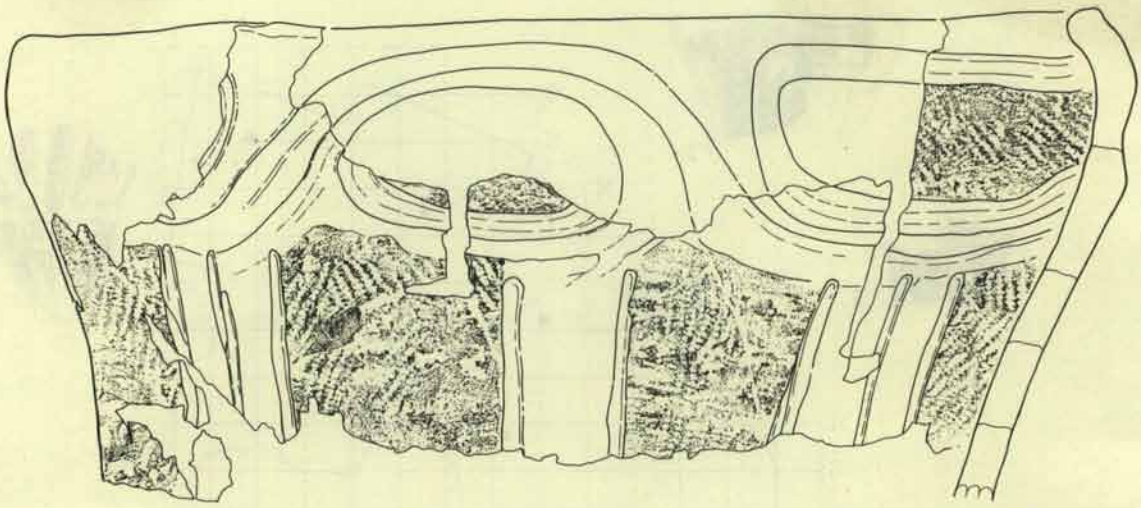
**５号埋甕**（第157図５）

Ｊ５Grid の北東部で、31号住居址の東に検出された。掘り込みは、27cm前後の円形で深さ10cmを測る。やや南傾斜であるが正位に据えられている。内部の埋土からは焼土粒子は確認できなかった。

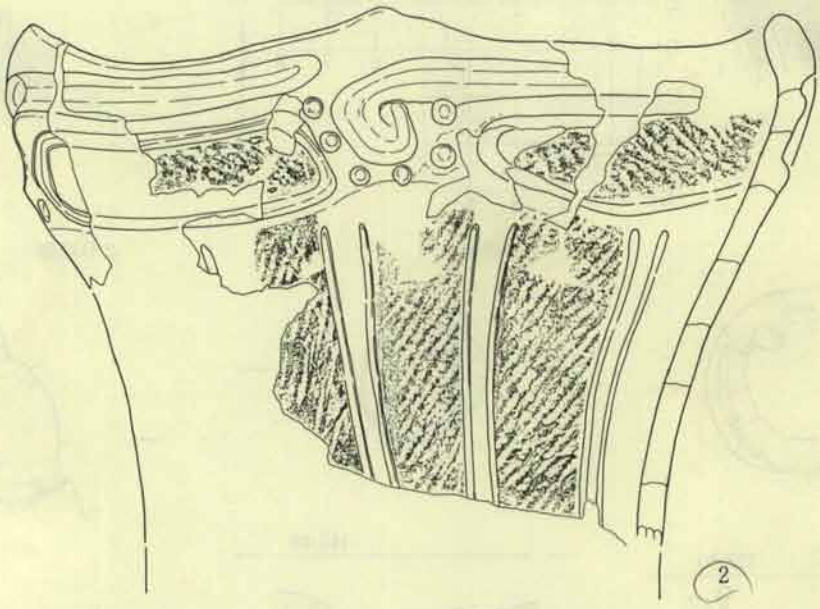
個体は口縁部の大半と胴部下半を欠く深鉢形土器で、山形突起を付すのであろう。口縁部文様帯は隆帯による楕円区画文が見られる。胴部文様帯は磨消し懸垂帯と縄文帯を交互に垂下させる。



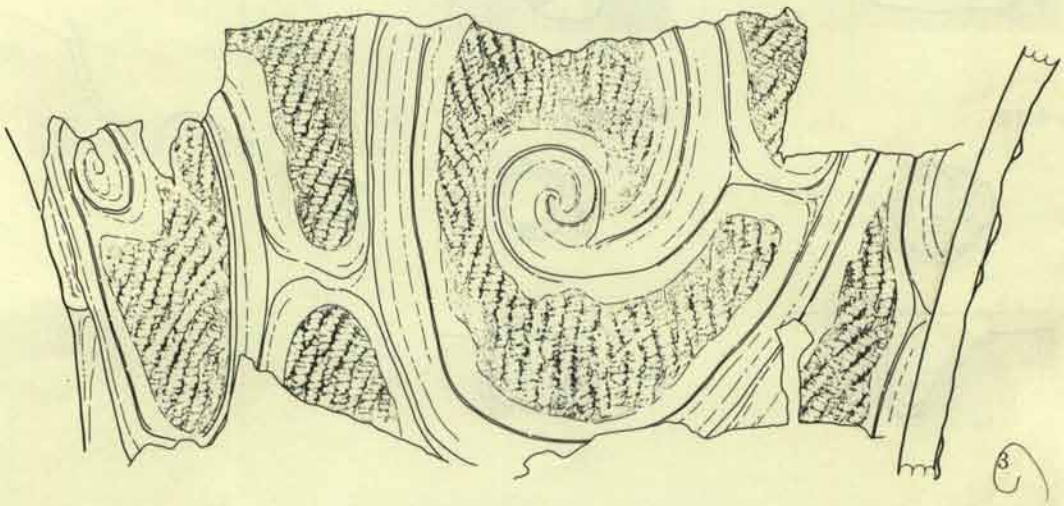

第155図　埋甕分布図と平断面図



1

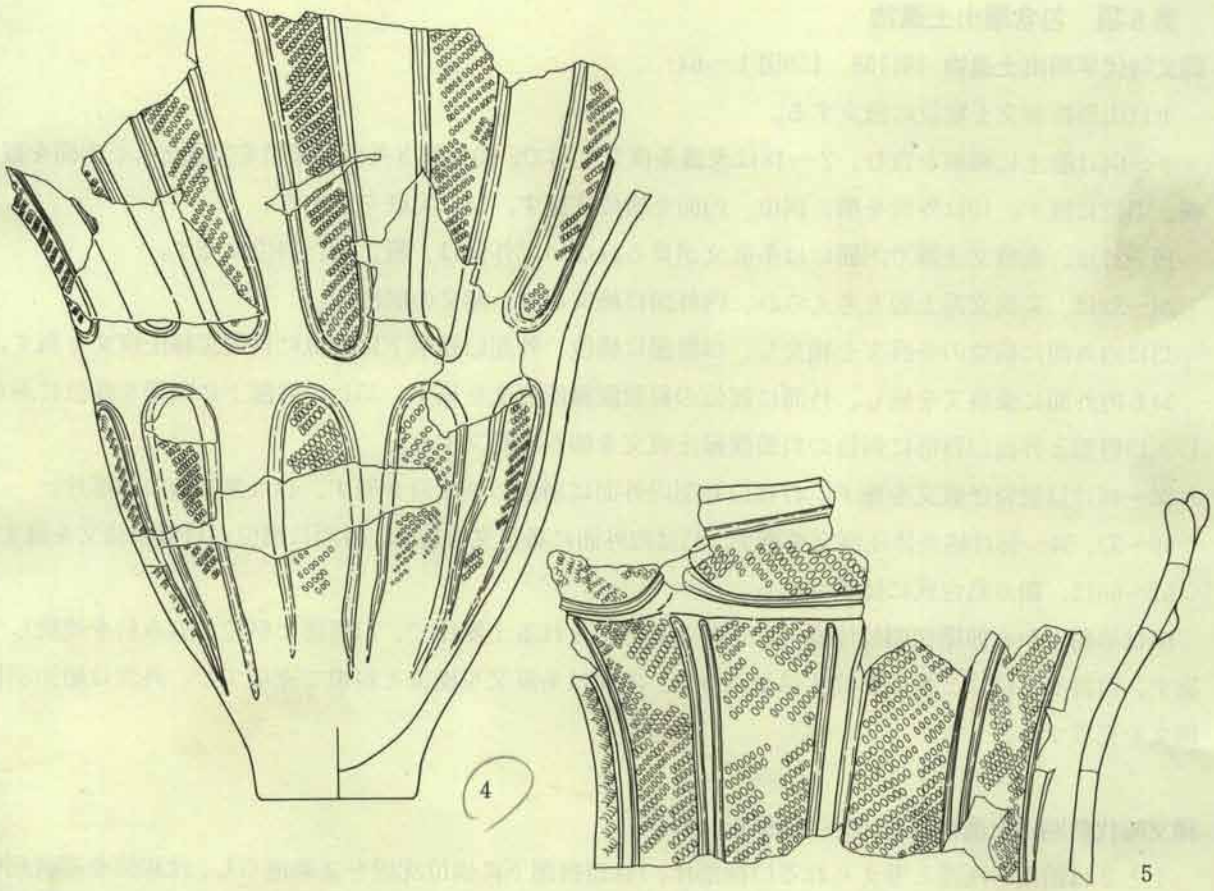


2



3

第156図　埋甕（1～3号埋甕）




第157図　埋甕（４、５号埋甕）

## 第６項　包含層出土遺物

**縄文時代早期出土遺物**（第158、159図１～64）

１は山形押型文を縦位に施文する。

２～64は胎土に繊維を含む。２～18は表裏条痕文土器で、10を除き外面は縦位を基調とし、内面を縦、横、斜位に施す。10は外面を横、斜位、内面を横位に施す。18は尖底を呈する。

19～27は、条痕文土器で内面には条痕文が見られない。外面は、縦、横、斜位に施す。

28～32は、条痕文系土器と考えられ、内外面に施文がない無文の胴部片。

33は内外面に横位の条痕文を施文し、口唇部に横位、外面口唇部下に縦位に貝殻腹縁圧痕文を施す。

34も内外面に条痕文を施し、外面に縦位の貝殻腹縁圧痕文を施す。35は口唇部下に隆帯を横位に巡らし、口唇部と外面口唇部に斜位の貝殻腹縁圧痕文を細かく施文する。

36～46は貝殻背圧痕文を施す。47は口唇部内外面に斜位の刻み目を施す。48は無文の口縁部片。

49～52、54～56は絡条体圧痕文を施す。53は内外面に条痕文を施し、外面に横位の貝殻腹縁文を施す。

57～60は、鵜ガ島台式に比定される。

64は早期末から前期初頭に位置付けされると考えられる土器片で、口唇部に斜位の刻み目を連続して施す。口唇部下には２条の横位沈線を巡らす。内面は条痕文を横位と斜位で充填する。外面は結節羽状縄文を充填する。

**縄文時代前期出土遺物**（第160～165図1～167）

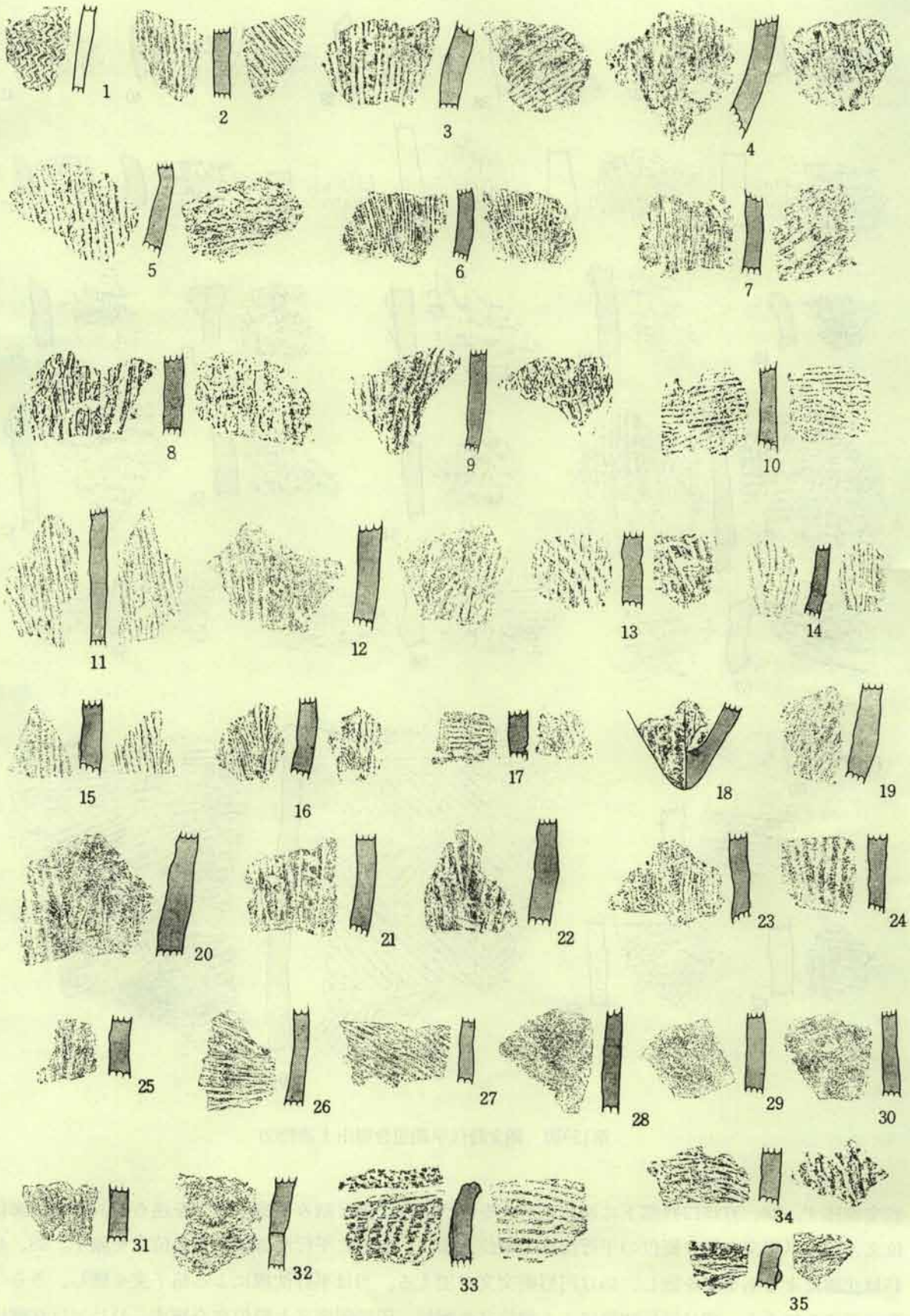
１と２は前期の所産と考えられる口縁部片。1は口唇部下に横位沈線を２条巡らし、沈線間を連続刺突文で充填する。下方は縄文ＲＬ・ＬＲを交互に充填する。２は口唇部下に１条の横位沈線を巡らし、１と同様に連続刺突文を充填する。

３～５は前期関山式土器に比定される。

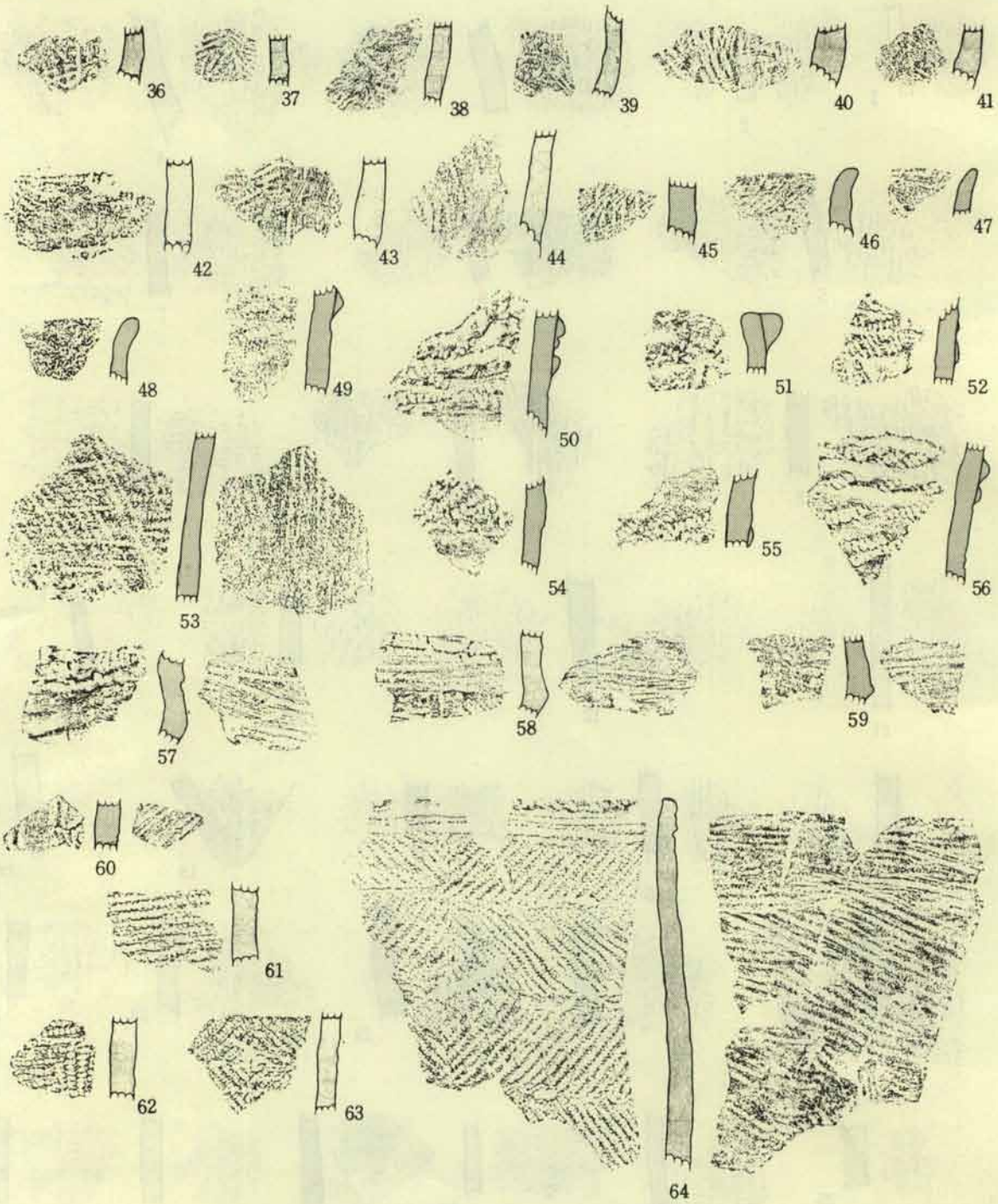
７～20は前期黒浜式土器である。６、７、11は口縁部文様帯に連続爪形文を施す横位平行沈線を巡らし、６、11は下方に付加条縄文を充填する。８、９の口縁部文様帯はコンパス文を横位に施す。10、12は平行沈線により口縁部文様帯を区画し、区画内を三角文で意匠する。13、19、20は頸部に平行沈線とコンパス文を横位に施す。14、16、17は連続爪形文を施す平行沈線で文様帯を区画する。15は沈線によりＸ字状文を意匠する。18は付加条縄文を充填する胴部片。

21～167は諸磯式土器に比定される。21～83は連続爪形文を伴う平行沈線か沈線で文様を意匠する。21は口唇部下に連続爪形文を伴う平行沈線を三条巡らす。22は連続爪形文を伴う平行沈線文で三角文等を意匠する。23、24は口縁部文様帯を平行沈線による木葉状肋骨文を充填し、縦位分割を円形刺突文で施す。25は波状口縁を呈する口縁部片で、連続爪形文を伴う平行沈線で文様を意匠する。26も波状口縁を呈する口縁部片で、口唇部下に爪形文を伴う平行沈線を三条巡らし、縦位区画を円形刺突文で施す。27は細かい連続爪形文を伴う平行沈線を二条１組として横位に巡らして区画を配し、区画内に円形刺突文を施す三角文や曲線文を配す。28は連続爪形文を伴う平行沈線で横位区画等を施す。29は連続爪形文を伴う平行沈線による木葉文を配し、内部を縄文で充填する。

30、31は連続爪形文を伴う平行沈線で横位区画を施し、縦位区画を円形刺突文で行う。32は沈線による横位波状文を施す。33は平行沈線による意匠文を施す。34は縦位区画を円形刺突文で施す。35は波状口縁を呈する口縁部片で、波頂から垂下する連続爪形文を伴う平行沈線により縦位区画し、左右対称に意

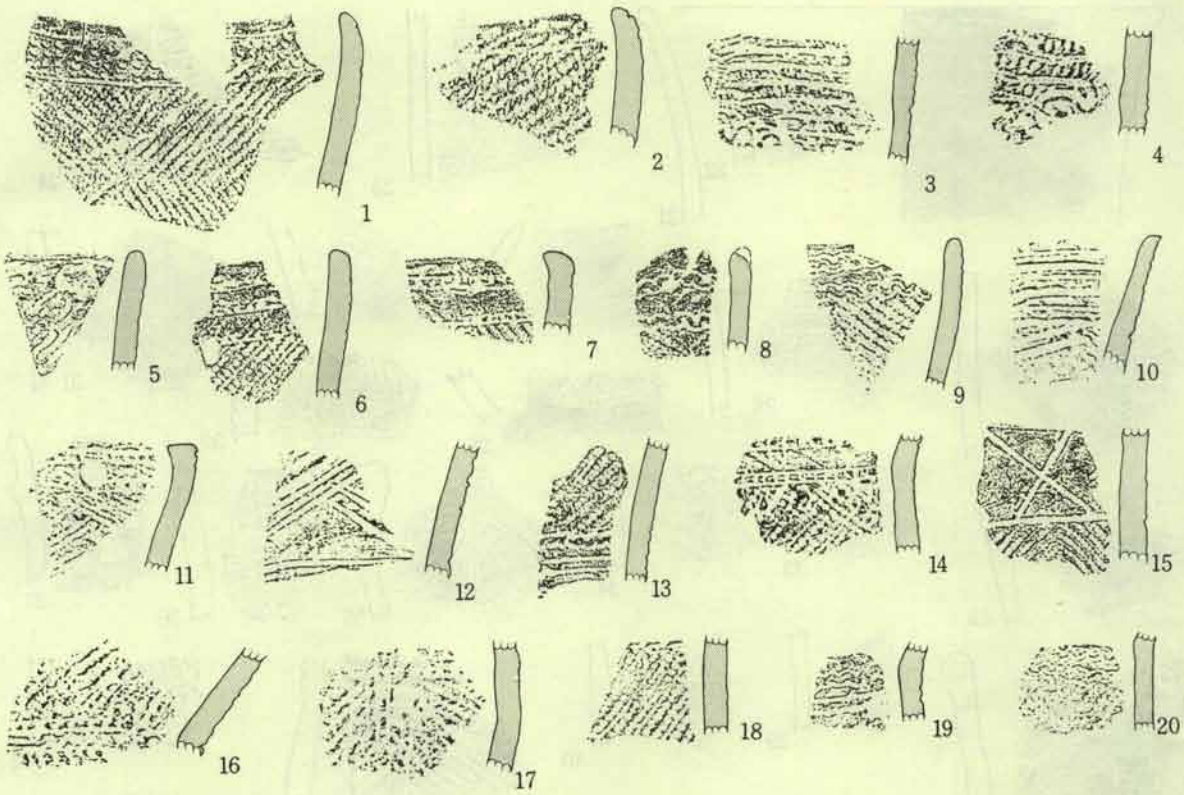



第158図　縄文時代早期包含層出土遺物(1)




第159図　縄文時代早期包含層出土遺物(2)

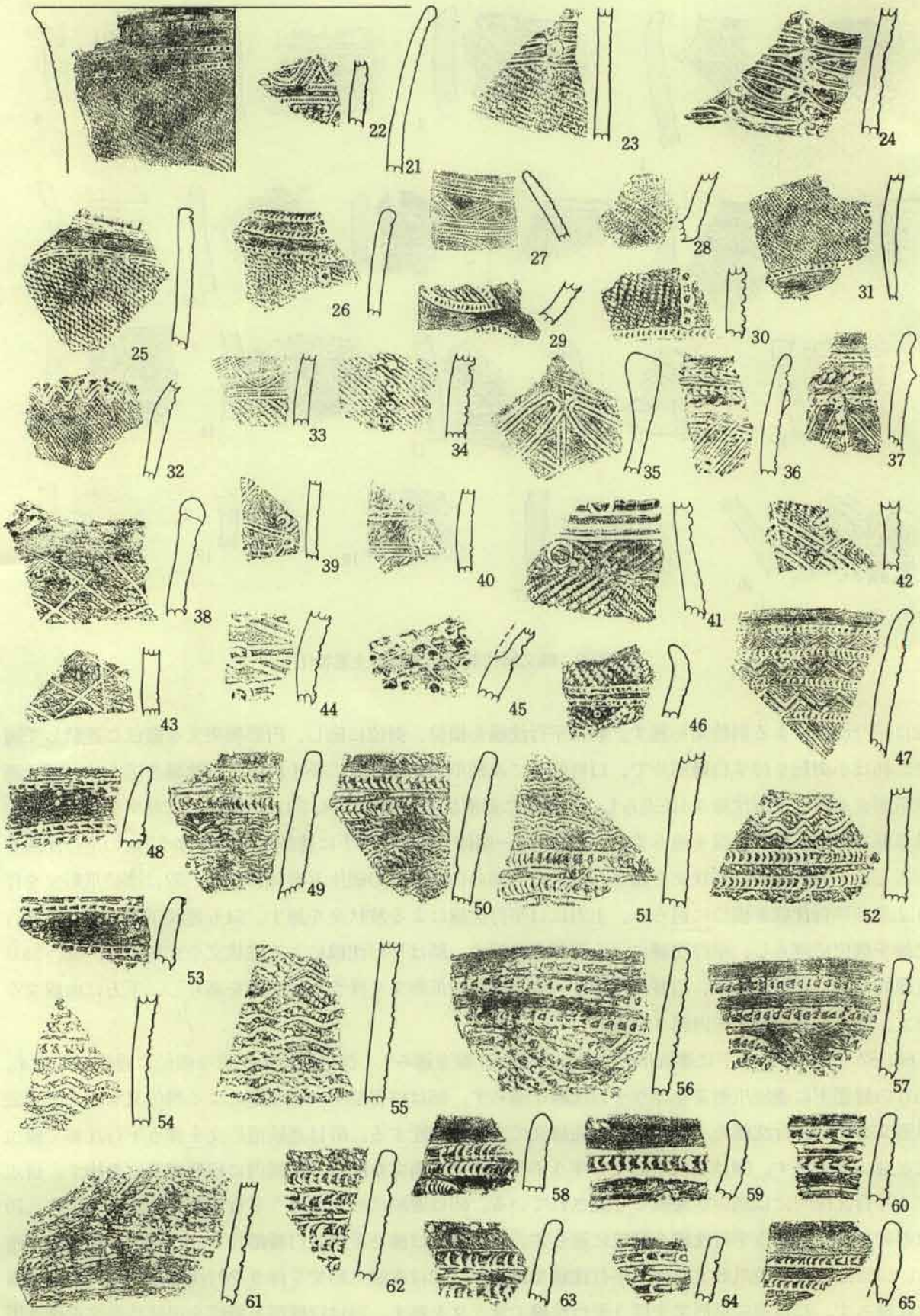
匠文を施す。36、37は口唇部下に連続爪形文を伴う平行沈線と刻みを施す隆帯を巡らし、下方に36は斜位文、37は爪形文を伴う縦位の平行沈線で縦位区画し、左右に平行沈線による斜位文を施す。38、43、45は沈線による格子文を施し、45は円形刺突文を加える。39は平行沈線による格子文を施し、さらに円形刺突文を加える。40は平行沈線による横位文を配し、円形刺突文と斜位文を施す。41は平行沈線により口縁部文様帯と胴部文様帯を区画し、円形刺突文を施す。



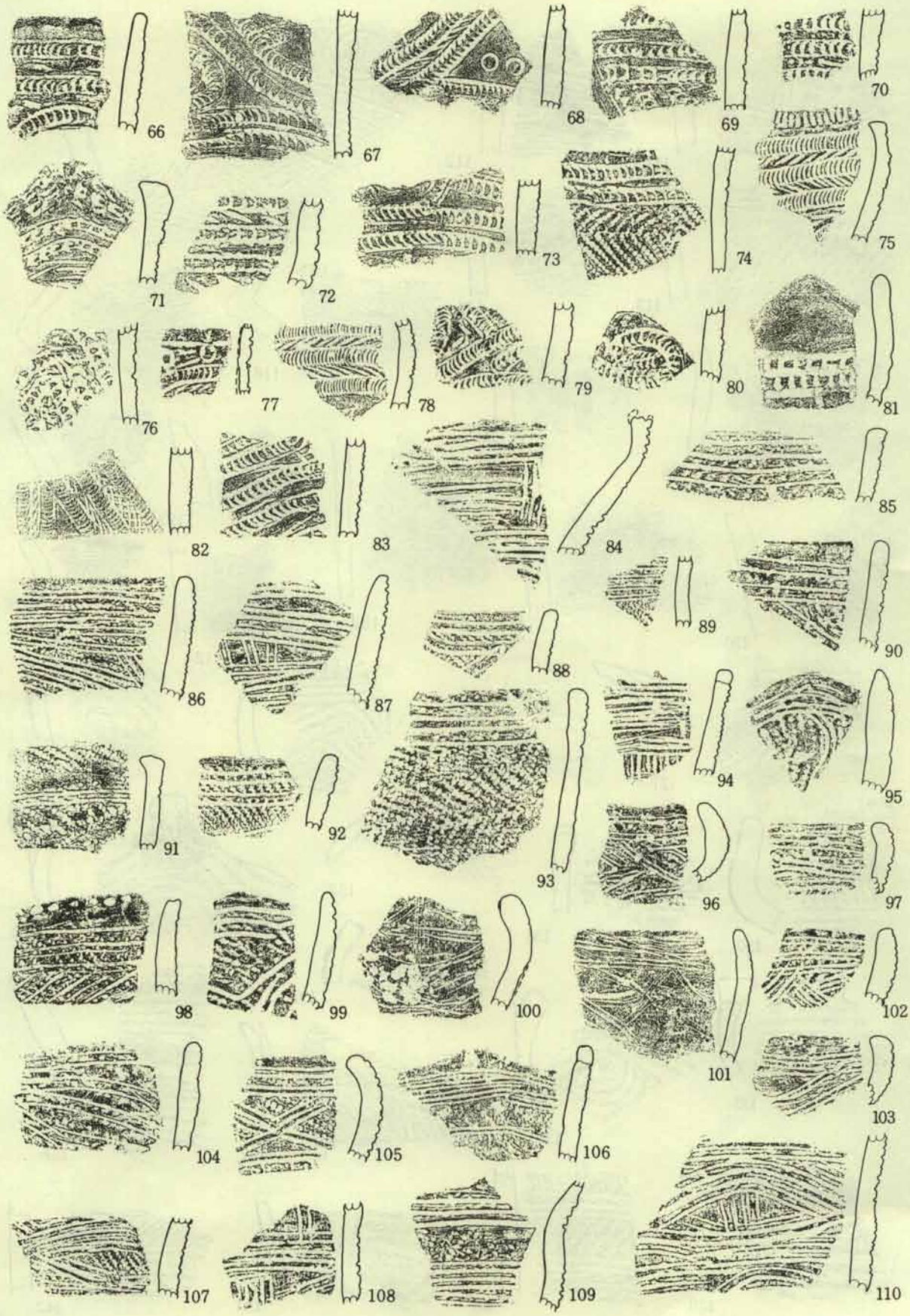

第160図　縄文時代前期包含層出土遺物(1)

42は平行沈線による斜位文を施す。44は平行沈線を横位、斜位に施し、円形刺突文を縦位に連続して施す。46は小突起を付す口縁部片で、口唇部下に連続爪形文を伴う二条１組の平行沈線を巡らす。47は連続爪形文を伴う平行沈線を4条巡らし、沈線間に鋸歯状文を施す。48、53は口唇部下に無文部を挟んで連続爪形文を伴う平行沈線を巡らす。49、50は同一個体で、口唇部下に連続爪形文を伴う2条の平行沈線を巡らし、下方に細かい波状文を施す。51は49、50の口縁部下の破片と考えられる。52は連続爪形文を伴う２条の平行沈線を横位に巡らし、上方には平行沈線による波状文を施す。54も連続爪形文を伴う平行沈線を横位に巡らし、平行沈線による波状文を施す。55は平行沈線による波状文を充填する。56～58は直線的に開く口縁部片で、口唇部下に２～３条の連続爪形文を伴う平行沈線を巡らし、下方に曲線文を施す。59は口唇部をやや内湾させる。

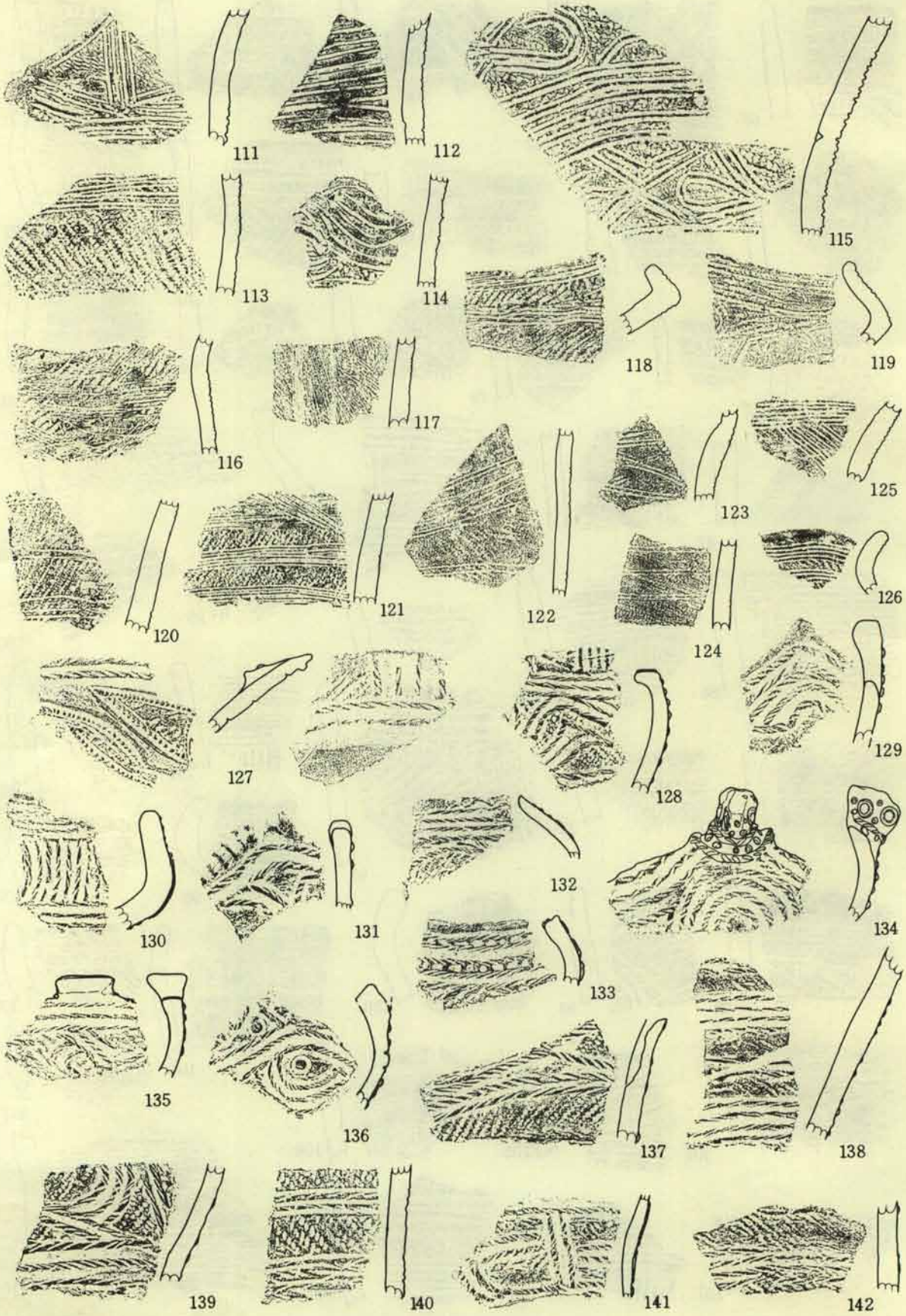
60、62～64は口唇部下に連続爪形文を伴う平行沈線を巡らし、沈線間に短沈線を横位に連続して施す。65は口唇部下に連続爪形文を伴う平行沈線を巡らす。66は口唇部下に短沈線による横位文を挟んで連続爪形文を伴う平行沈線を２条巡らし、曲線文で文様を意匠する。67は連続爪形文を伴う平行沈線で横位文と曲線文を施す。68は連続爪形文を伴う平行沈線で区画文を配し、区画内に円形刺突文を施す。併走する平行沈線間には刻みが連続して施されている。69は連続爪形文を伴う平行沈線で意匠文を施す。70は連続爪形文を伴う平行沈線を横位に巡らす。71は波状口縁を呈する口縁部片で、口唇部に刺突文を施し、口唇部下に連続爪形文を伴う平行沈線を巡らす。72は連続爪形文を伴う平行沈線と斜位の刻みを横位に巡らす。73は連続爪形文を伴う平行沈線で意匠文を施す。74は口縁部と胴部を連続爪形文を伴う平行沈線で区画する。75は口唇部に連続する刻みを施し、口唇部下に細かく連続爪形文を施す平行沈線を



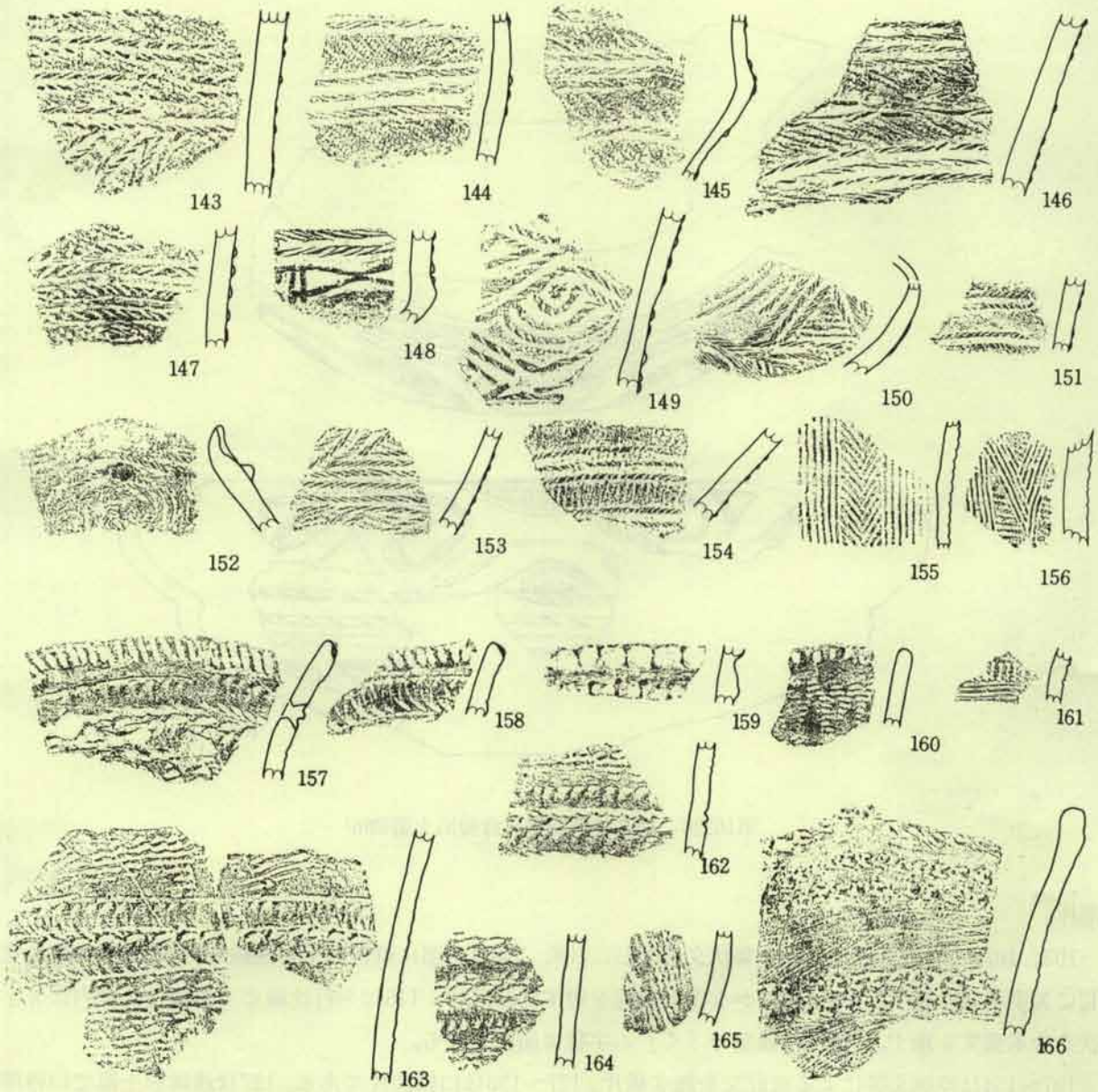

第161図　縄文時代前期包含層出土遺物(2)




第162図　縄文時代前期包含層出土遺物(3)




第163図　縄文時代前期包含層出土遺物(4)



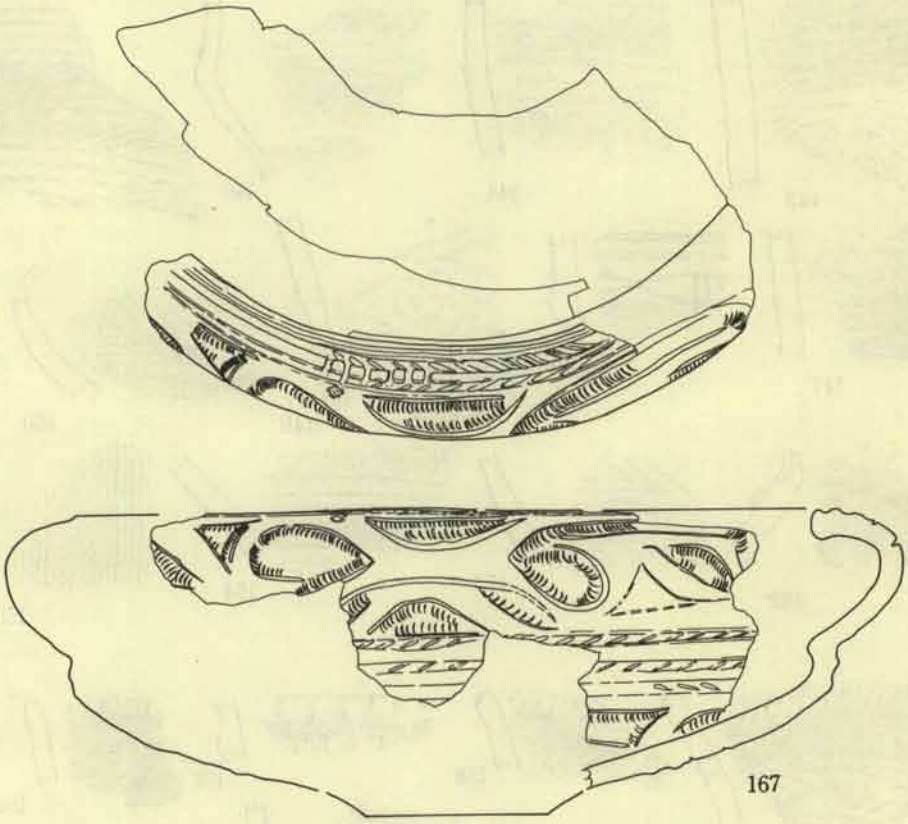

第164図　縄文時代前期包含層出土遺物(5)

三条巡らし、沈線間に斜位の刻みを連続して施す。76は連続爪形文を伴う平行沈線で意匠文を施す。77は連続爪形文を伴う平行沈線と円形刺突文等で意匠文を施す。

78は75と同一個体。79、80、82、83は連続爪形文を伴う平行沈線により意匠文を施す。

81は山形突起を付す口縁部片で、連続爪形文を伴う平行沈線を併走させる。119は口縁部を「く」の字状に屈曲させ、連続爪形文を伴う平行細沈線で文様を意匠する。123、124は連続爪形文を伴う平行細沈線で意匠文を施す。

84～122、125、126は平行沈線か沈線、又は鋸歯状文により意匠文を施す。84は横位文と縦位文を施す口縁部片。85～106は89を除き口縁部片で、口唇部下に横位文を巡らす。94は小突起を付す。95は緩やかな波状口縁を呈する口縁部片。98は口唇部に刺突文を施し、口唇部下の横位平行沈線下に斜位の沈線を施す。99は緩やかな波状を呈する口縁部で、沈線による意匠文を施す。100も緩やかな波状を呈する口縁




第165図　縄文時代前期包含層出土遺物(6)

部片。

103、107、110の胴部片は、木葉状文を配し、108、110は内部に縦位の平行沈線を施す。105は横位文間にX字状文を施す。106は緩やかな山形突起を付す口縁部片。115は平行沈線による横位区画内にX字状文や木葉文を施す。118は口縁部を「く」の字状に屈曲させる。

127～154は浮線文等による意匠文を施す破片。127～136は口縁部片である。127は浅鉢形土器で口唇部下に刻み目を施す隆帯を横位に巡らし、下方には連続爪形文を伴う平行沈線で三角文や木葉文を配す。内面は刻み目を施す浮線文により区画文等を施す。128、131～133は口唇部にも刻み目を施す浮線文を貼付し下方に意匠文を施す。129、131は波状口縁を呈する。134は獣面把手を付す。135にも把手が付されている。137～149は胴部片と考えられる。刻み目を施す浮線文を2～3本1組で横位区画を施す。区画帯間には懸垂文やX字文を配す。150～154は浮線文の高まりが低く、浮線上の刻み目も細かく丁寧である。155、156は縦位の集合沈線とV字状集合沈線を交互に施す胴部片。

157～166は浮島式、興津式に比定される。157、158は口唇部に連続する刻み目を施し、下方には波状貝殻文を施文している。159は、指頭圧痕を横位に連続させる。160は、口唇部に刻み目を連続して施し下方には貝殻腹縁により施文する。161は波状貝殻文と横位平行沈線を施す。

162～164は同一個体の可能性が考えられる。165は波状貝殻文を縦位に施す。166は小突起を付す口縁部片で、口唇部に連続する爪形文を施す。口唇部下には横位に併走する2段1組の連続爪形文を2段に配し、横位文間を条線を横、斜位に施す。167は胴部中位に屈曲部を設ける浅鉢形土器で、口唇部下と屈曲

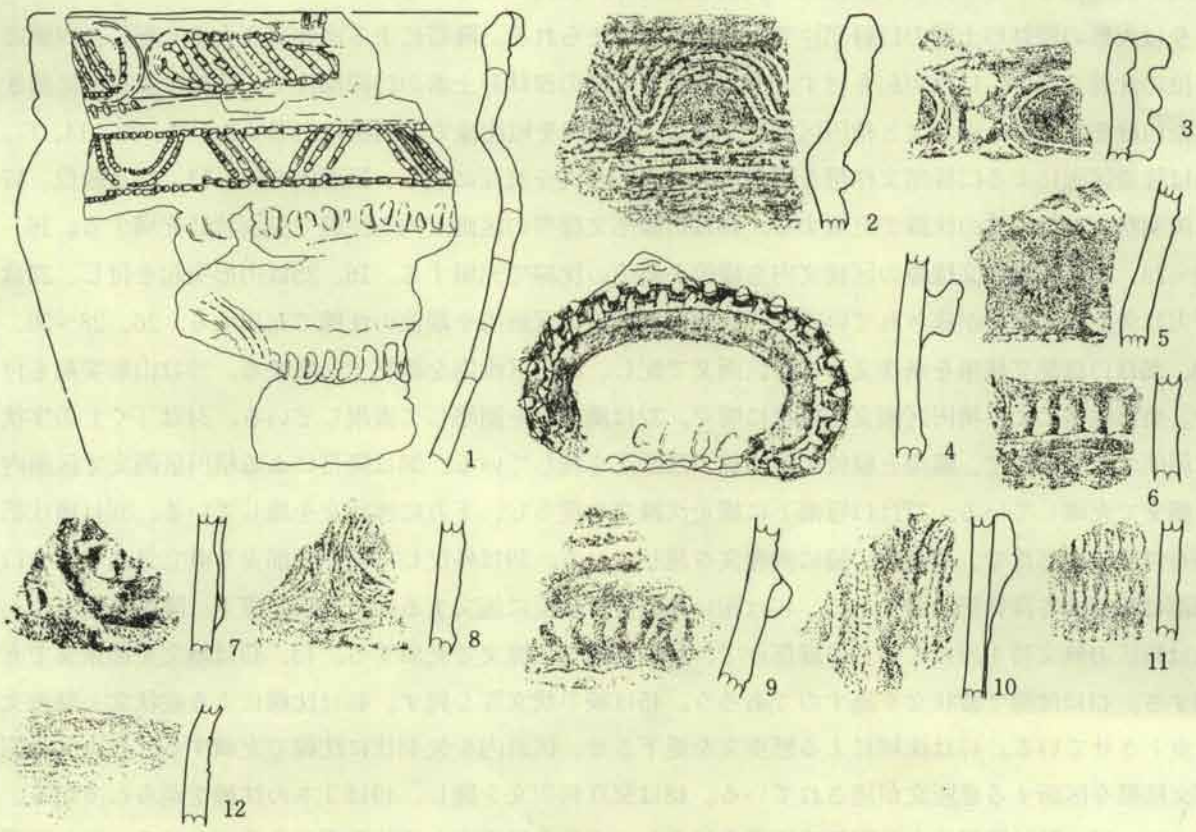
部に横位区画文を配し、区画間に沈線による半月文、木葉文、三角文等を配し、区画に沿って爪形文を連続させる。

**縄文時代中期前半の包含層出土遺物**（第166図１～11）

１は平口縁を呈する深鉢形土器。口縁部文様帯は隆帯による楕円区画文を配し、隆帯に沿い結節沈線で楕円文を施し、斜位の結節沈線を充填する。頸部には屈曲部を有し、頸部文様帯は結線沈線による二条の横位区画文を配し、区画文内に半円形と斜位の結節沈線を施す。下方には爪形文を横位に施している。

２は口唇部と頸部の隆帯で口縁部文様帯を区画し、区画内を結節沈線により波状文を施す。下位には波状沈線を横位に施す。

３は隆帯による楕円区画文を配し、区画に沿い結節沈線を施している。４は胴部に付された環状突起で、縁辺に刻みを交互に施している。５は横位に波状沈線と結節沈線を施している。７は隆帯区画による区画内に角押文を施す。８は結節沈線で楕円状文を施す。９は波状線文と爪形文を横位に施す胴部片。10は隆帯に沿い結節沈線を施す。６、11は爪形文を横位に施す胴部片。




第166図　縄文時代中期前半の包含層出土遺物

## 縄文中期後半の包含層等出土遺物

H 2 Grid（第167～170図１～62）

１は頸部に巡る沈線から３本１組で懸垂文を４単位で垂下させ、懸垂文間に沈線で幾何学的な曲線文を施文する。

２は胴部より緩やかに内湾する口縁部に移行する小形の深鉢形土器で縄文を充填する。復元口径は15.1cmを測る。

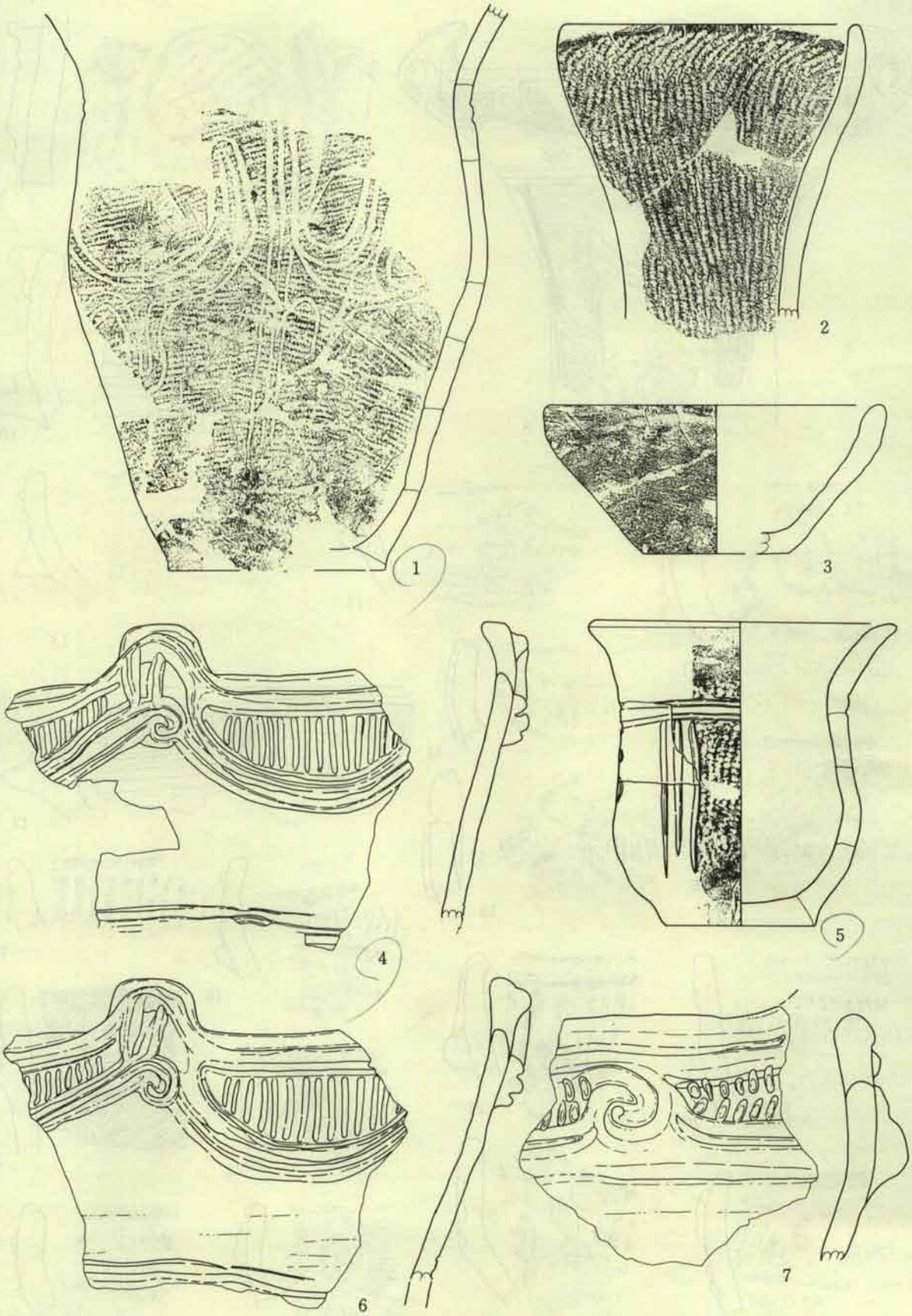
３は無文の椀形土器で口径17.1cm、器高7.7cm、底径7.5cmを測る。４、６は同一個体と考えられる。頸部無文帯を有し、舌状突起を付す。口縁部文様帯は２本の隆帯で区画され、口唇部下を巡る１本と突起下に施された渦巻文から派生した隆帯を波状にして次の突起下に施される渦巻文に繋ぐ。突起部は２本の隆帯で連結する。頸部には沈線を巡らしている。

５は頸部に２本の沈線を巡らし、胴部文様帯を区画する。その下方には懸垂文と波状懸垂文を交互に垂下させる。口径15.5cm、器高15.6cm、底径7.7cmを測る。

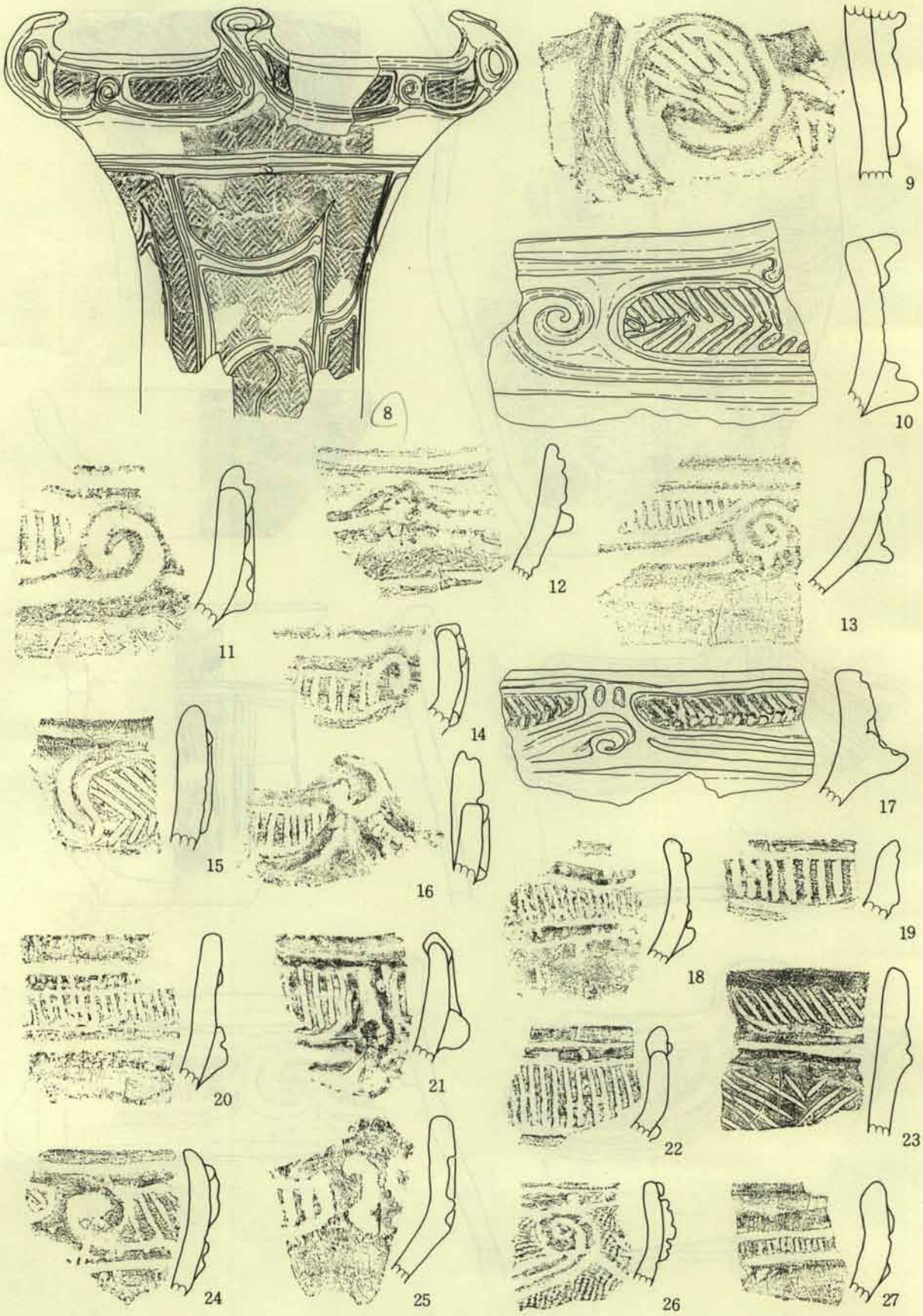
７は口縁部文様帯を隆帯による渦巻文と区画文で配し、区画内を短沈線で矢羽状に充填し、頸部は無文帯である。口唇部には突起を付すと考えられる。

８は口縁部に渦巻文を伴う４単位の橋状把手を付し、把手間には隆帯で区画された口縁部文様帯を渦巻文と楕円区画文で配し、区画内を縄文で充填する。３本１組の沈線を胴部上半に巡らして胴部文様帯を区画し、下段の沈線より懸垂文を垂下させる。懸垂文によって区画された空間にはＳ字状文を挟んで先端が剣先状とする意匠文や曲線文・波状懸垂文等が施文されている。

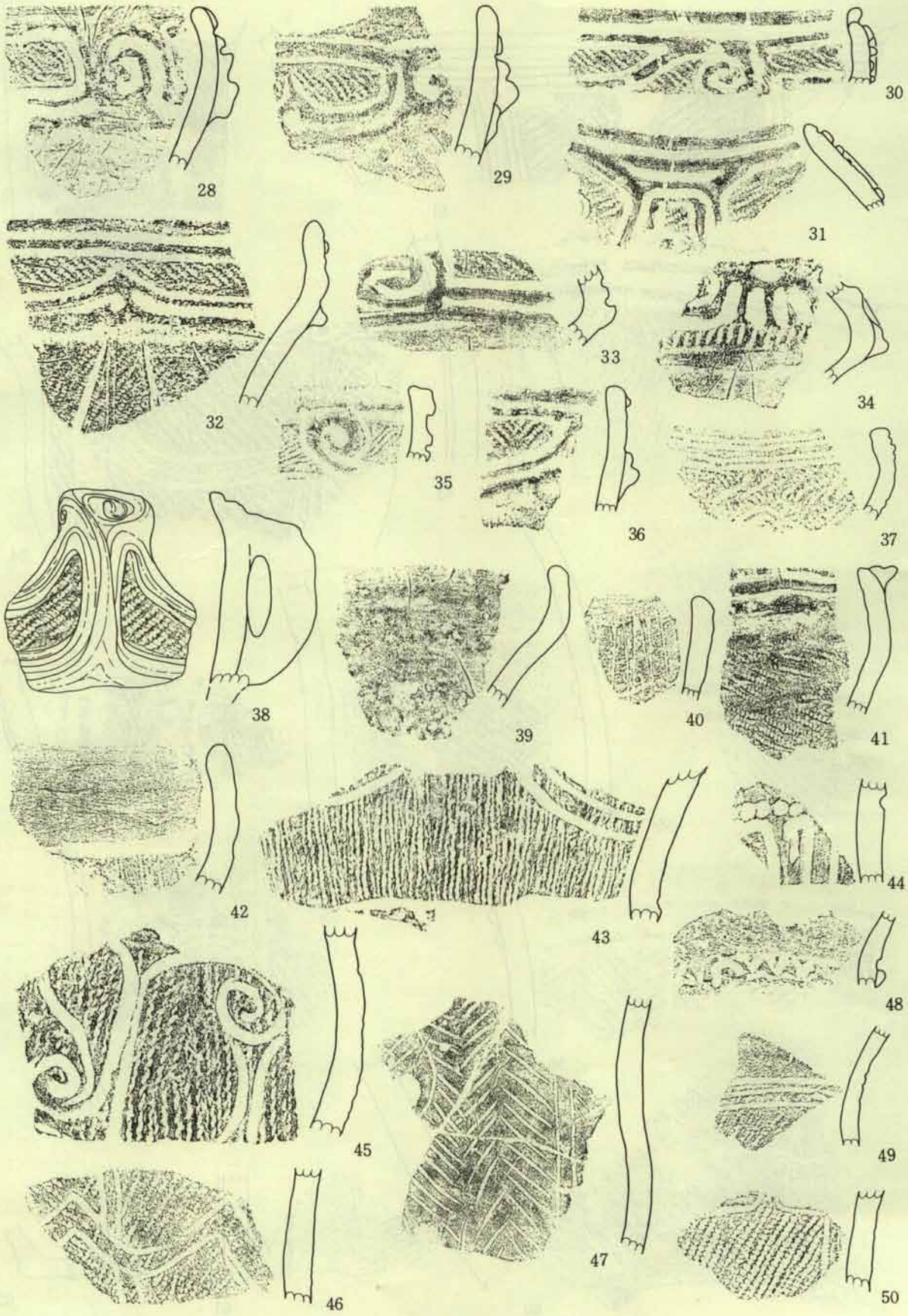
９は大形の深鉢形土器の口縁部片で、突起部と考えられる。隆帯による渦巻文を大きく施し、内部に斜位の沈線を施す。10は突起を付すと考えられる大形の深鉢形土器の口縁部片で、隆帯によって区画された口縁部文様帯を渦巻文と楕円区画文を配し、区画内を短沈線で矢羽状に充填する。11、13、14、17、24は隆帯区画による口縁部文様帯を渦巻文と楕円区画文を交互に配し、区画内を11、13、14は縦位、17は矢羽状、24は斜位の沈線で充填する。15は口縁部文様帯の区画文内を沈線で矢羽状に充填する。16、18～23、25は口縁部文様帯の区画文内を縦位か斜位の沈線で充填する。16、25は山形突起を付し、23は下方に矢羽状の施文が施されている。27は幅の狭い隆帯区画内を縦位の沈線で充填する。26、28～30、33、35は口縁部文様帯を渦巻文と楕円区画文で配し、楕円区画内を縄文で充填する。29は山形突起を付す。31は隆帯により楕円区画文を橋状に繋ぐ。32は渦巻文を簡略して表現している。34は「く」の字状に屈曲する胴部片で、隆帯と縦位の短沈線で意匠文を施している。36は隆帯による楕円区画文で区画内を縄文で充填している。37は口唇部下に横走沈線文を巡らし、下方に波状文を施している。38は橋状把手を付す口縁部片で、頂上部の脇に渦巻文を施している。39は外反して開く頸部より直立気味に立つ口縁部に移行する深鉢形土器である。40は粗い条線文を縦位に施文する。41は口唇直下に隆帯を巡らす。42は幅広の無文帯を設けている口縁部片で、区画文内を条線文で充填する。43、45は地文を撚糸文で充填する。43は沈線で波状文を施すのであろう。45は蕨手状文等を施す。46は沈線による波状文と懸垂文を垂下させている。47は沈線による懸垂文を垂下させ、区画内を矢羽状に沈線で充填する。48～50は胴部文様帯を区画する意匠文が施されている。48は交互刺突文を施し、49は３本の沈線を巡らしている。51、53、55、58は隆帯により胴部文様帯を区画し、下方を懸垂文と波状懸垂文を垂下させる。55は頸部を無文帯とし、隆帯で胴部文様帯を区画する。53は55と同一個体と考えられる。54は３本１組の沈線に



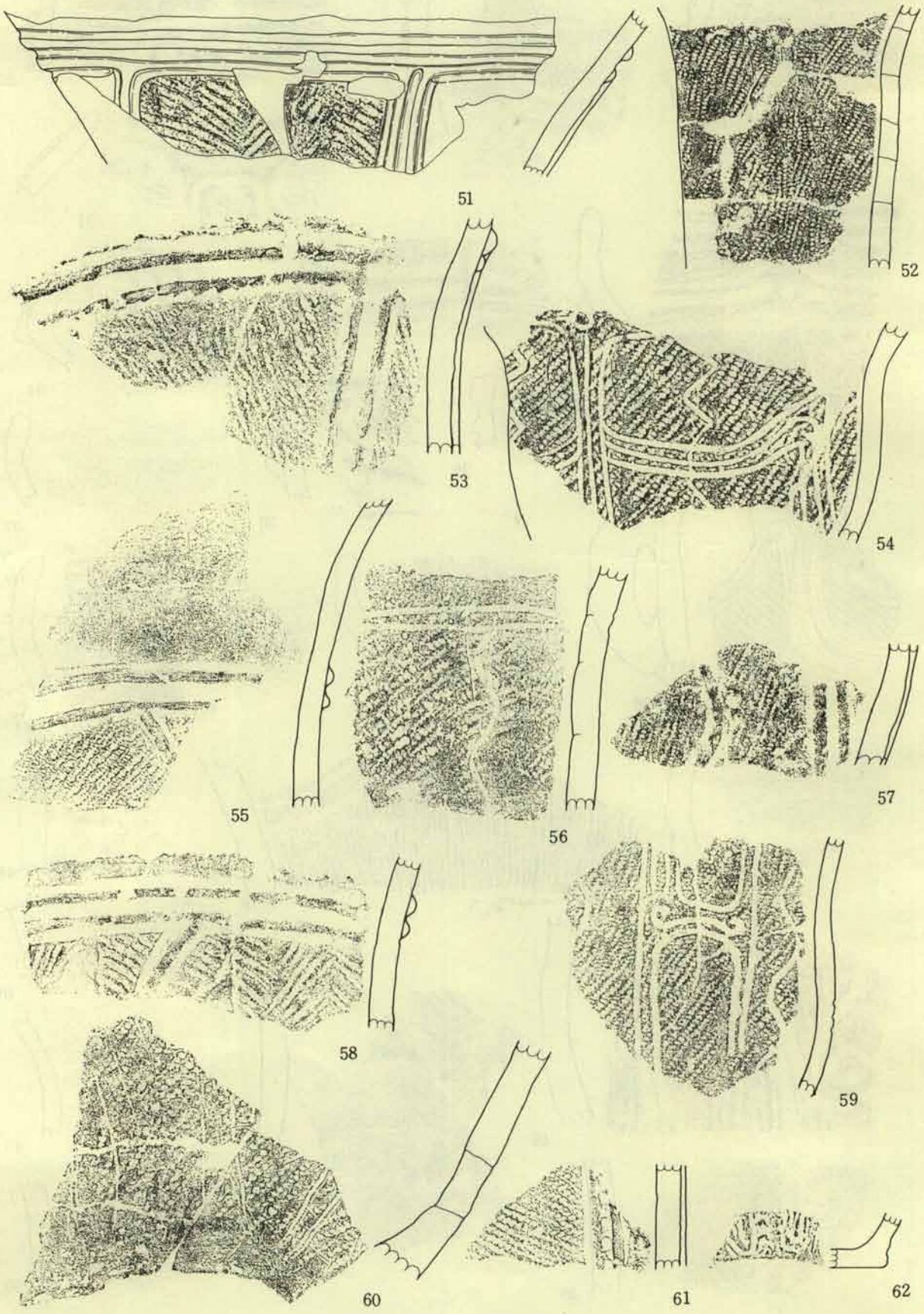

第167図　Ｈ２Grid 出土遺物(1)




第168図　H 2 Grid 出土遺物(2)




第169図　H 2 Grid 出土遺物(3)




第170図　H 2 Grid 出土遺物(4)

よる懸垂文と１本の波状懸垂文を垂下させ、懸垂文間を蕨手文を挟む波状文で繋ぐ。56は沈線によって区画された胴部文様帯に波状懸垂文を垂下させている。57は隆帯により懸垂文と波状懸垂文を垂下させる。59は横位のＳ字文を施すＨ字状区画の懸垂文と波状懸垂文を垂下させる。60は沈線による懸垂文が施されている。61は隆帯による懸垂文を垂下させ、隆帯上に連続刺突文を施す。62は曽利式土器と考えられる。

Ｈ４Ｇ～８Ｇ（第171図63～77）

63はＨ４Ｇの出土。胴部上半が内湾し、頸部より直立気味に立ち上がる口縁部へ移行する壺形土器と考えられる。胴部文様帯は沈線によりアーチ状区画文と蕨手文を交互に配す。区画内の上部に縄文、下部に条線文を施す。

64～72はＨ６Ｇの出土。64は口唇部下に三本の横走沈線文を巡らし、下方には波状文を施す。65は沈線による曲線文が施されている。66は直線的に開く無文の口縁部を有し、胴部上半には隆帯による区画文が施され、区画内を縄文で充填するのであろう。67は山形突起を付す口縁部片で渦巻文と区画文を配している。68は口唇部下に隆帯を巡らし、下方に細かい条線文を施す。69は沈線区画内を磨消しを施す波状文を描く口縁部片。70は磨消しを伴う懸垂帯と波状懸垂文を交互に垂下させる胴部片。71は微隆帯により区画文を意匠する。72は沈線文により文様帯を区画し、上方に波状文を施すのであろう。

73、74、76はＨ７Ｇの出土。73、74は隆帯により区画された口縁部文様帯に渦巻文と楕円区画文を配し、区画内を縄文で充填する。76は山形突起を付す大形の深鉢形土器の口縁部片で隆帯により渦巻文が施されている。

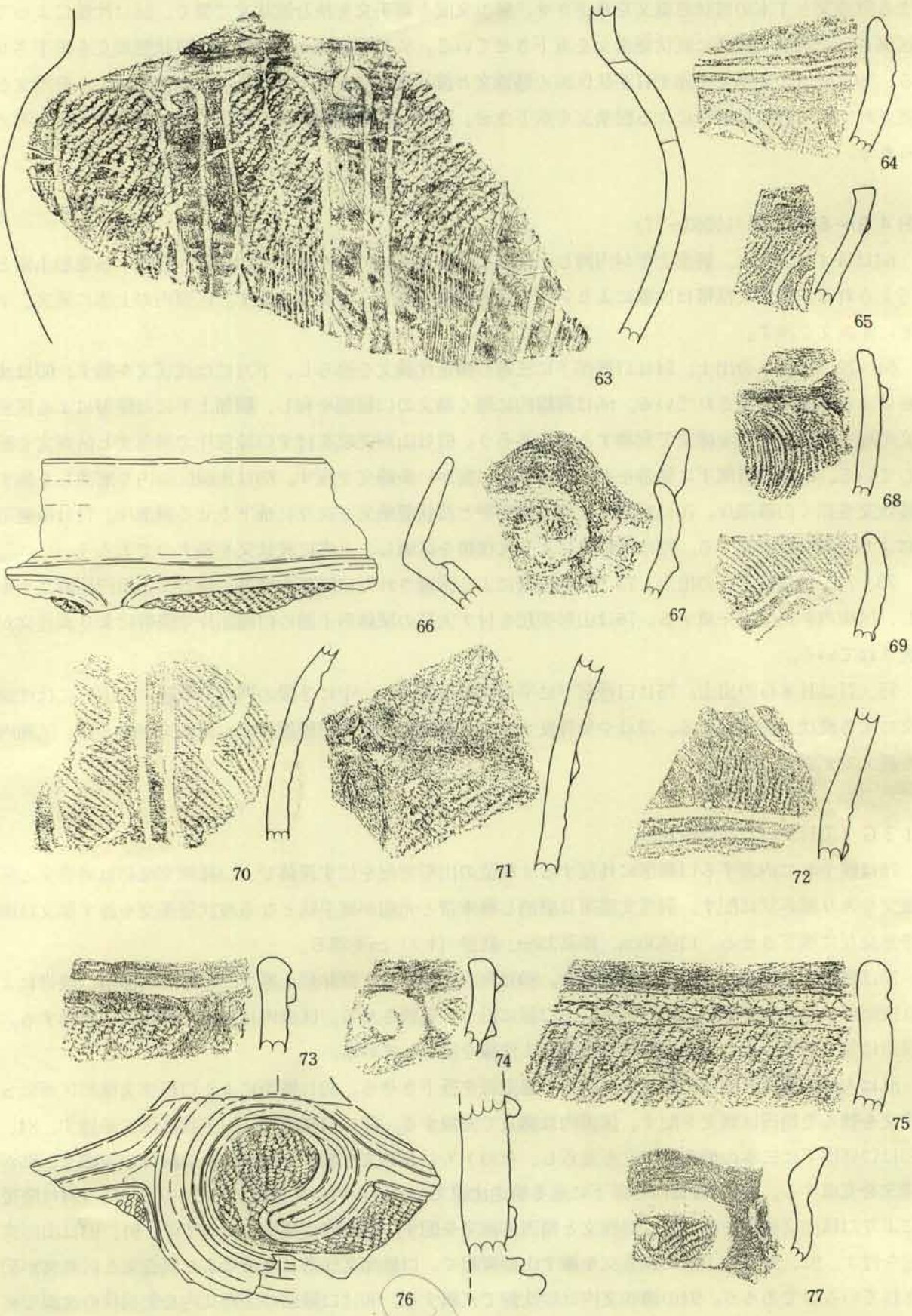
75、77はＨ８Ｇの出土。75は口唇部下に平行沈線を巡らし、中に２段の列点文を施す。下方には沈線文による波状文を施文する。77はやや外反する山形の突起を付す口縁部片で、区画文が施され、区画内を縄文で充填している。

Ｉ３Ｇ（第172～174図78～128）

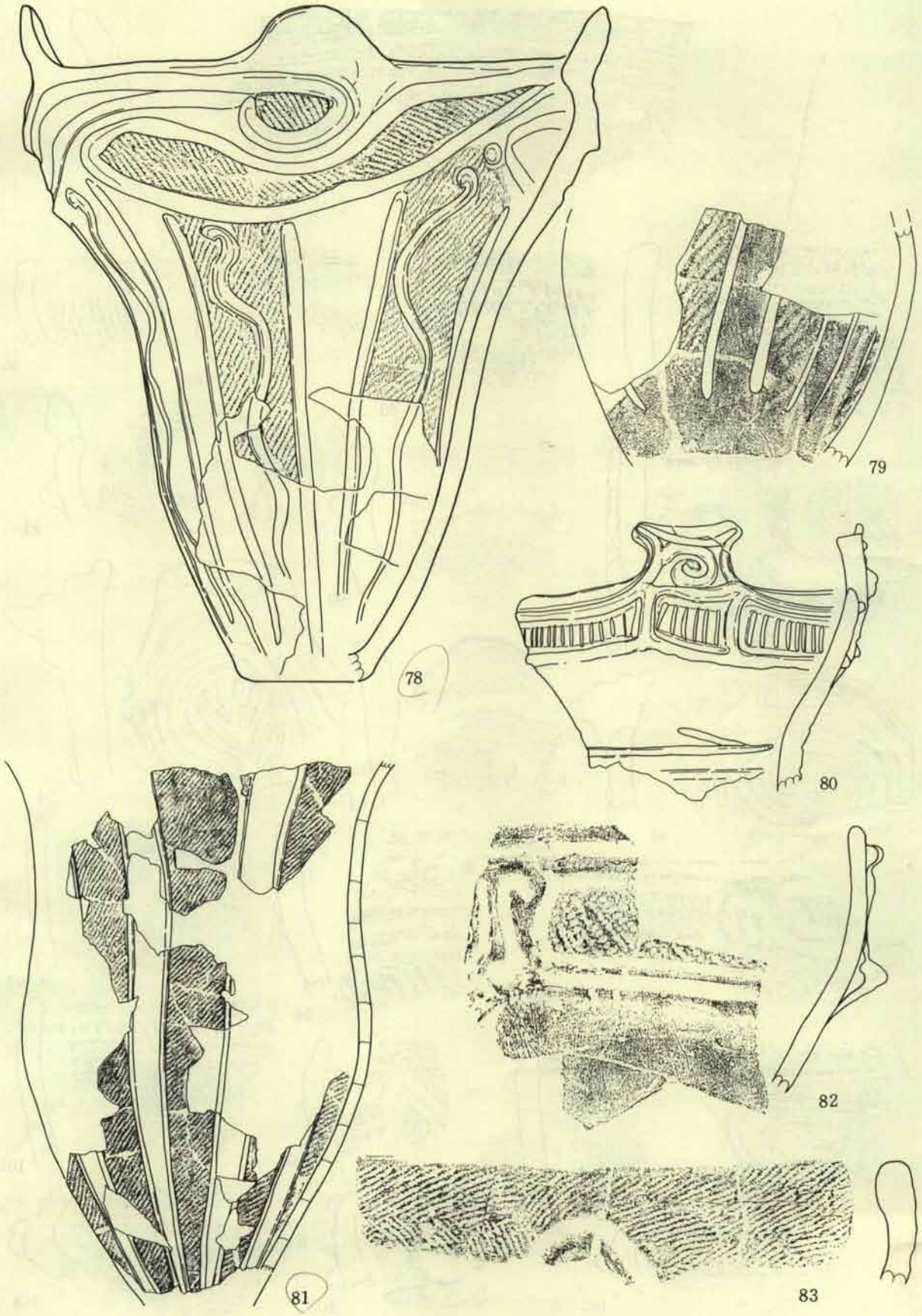
78は緩やかに内湾する口縁部に外反する４単位の山形突起を付す深鉢で、口縁部文様帯は渦巻文と区画文を入り組み状に配す。胴部文様帯は磨消し懸垂帯と先端が蕨手状となる波状懸垂文を施す縄文区画帯を交互に垂下させる。口径30cm、器高35cm、底径（4.8）cmを測る。

79は磨消し懸垂帯を垂下させる胴部片。80は角状突起を付す深鉢形土器で、口縁部文様帯は隆帯により突起部に渦巻文を施し、楕円区画文を口縁に沿って連続させる。区画内は縦位の沈線文で充填する。頸部は無文帯で下方に胴部文様帯を区画する沈線を巡らしている。

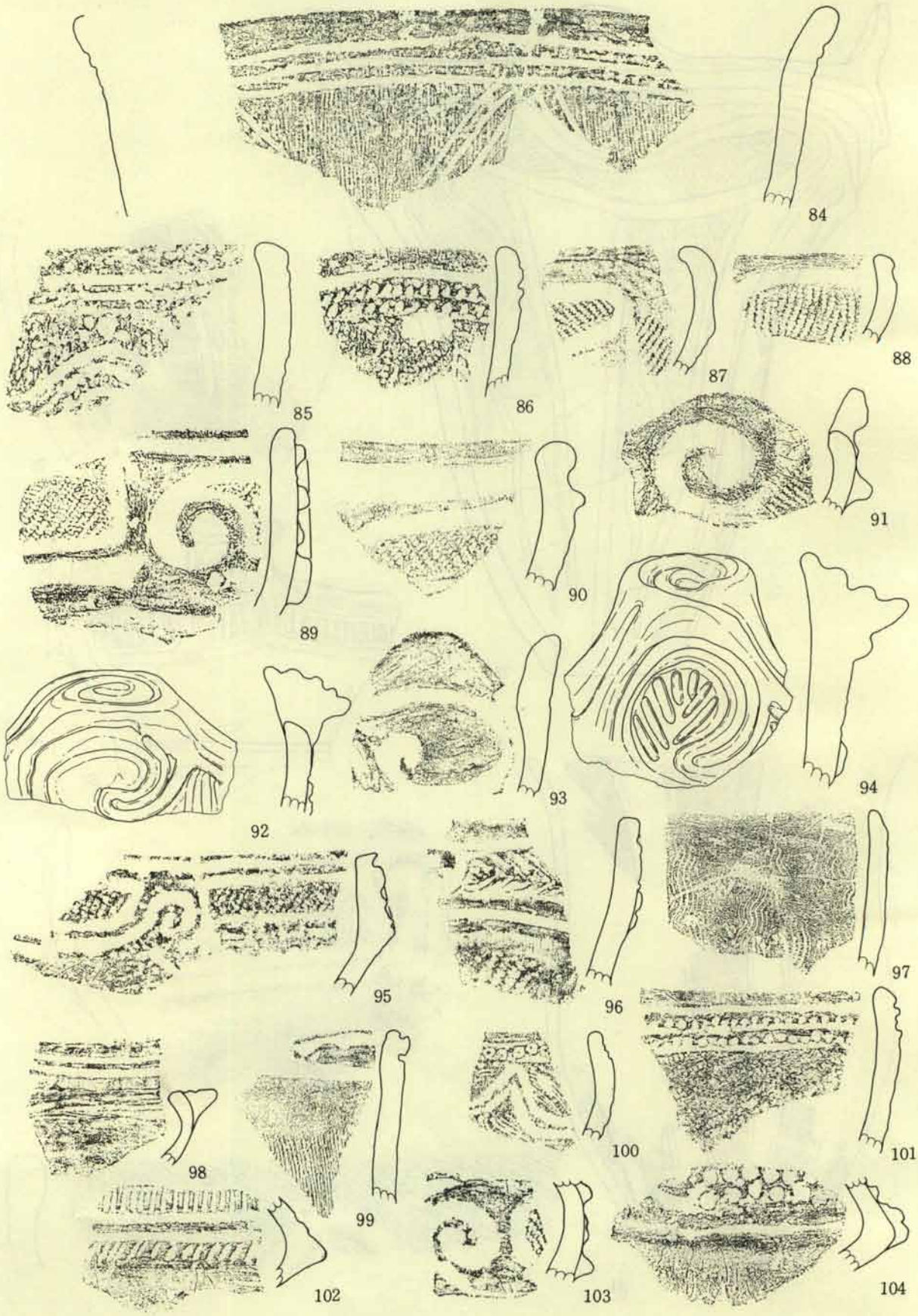
81は大形の深鉢形土器の胴部で、磨消し懸垂帯を垂下させる。82は隆帯による口縁部文様帯区画にＳ字文を挟んで楕円区画文を配す。区画内は縄文で充填する。83は口縁部にアーチ状区画文を施す。84、85は口唇部下に三本の横走沈線文を巡らし、その下方に波状文を施す。地文は84が縦位の条線文、85が縄文を充填する。86、101は口唇部下に巡る横走沈線文に二段の列点文を施す。87～91、95、104は隆帯により口縁部文様帯を区画し、渦巻文と楕円区画文を配す。区画内は縄文で充填する。91、93は山形突起を付す。92、94は頂上部に渦巻文を施す山形突起で、口縁部文様帯は隆帯により渦巻文と区画文が配されているのであろう。94の渦巻文内は短沈線で充填する。96は口縁部の区画文内を矢羽状の沈線で充填する。97は細かい条線文で縦位に波状文を施す。98は口唇部に二本の沈線を巡らしている。99は口唇



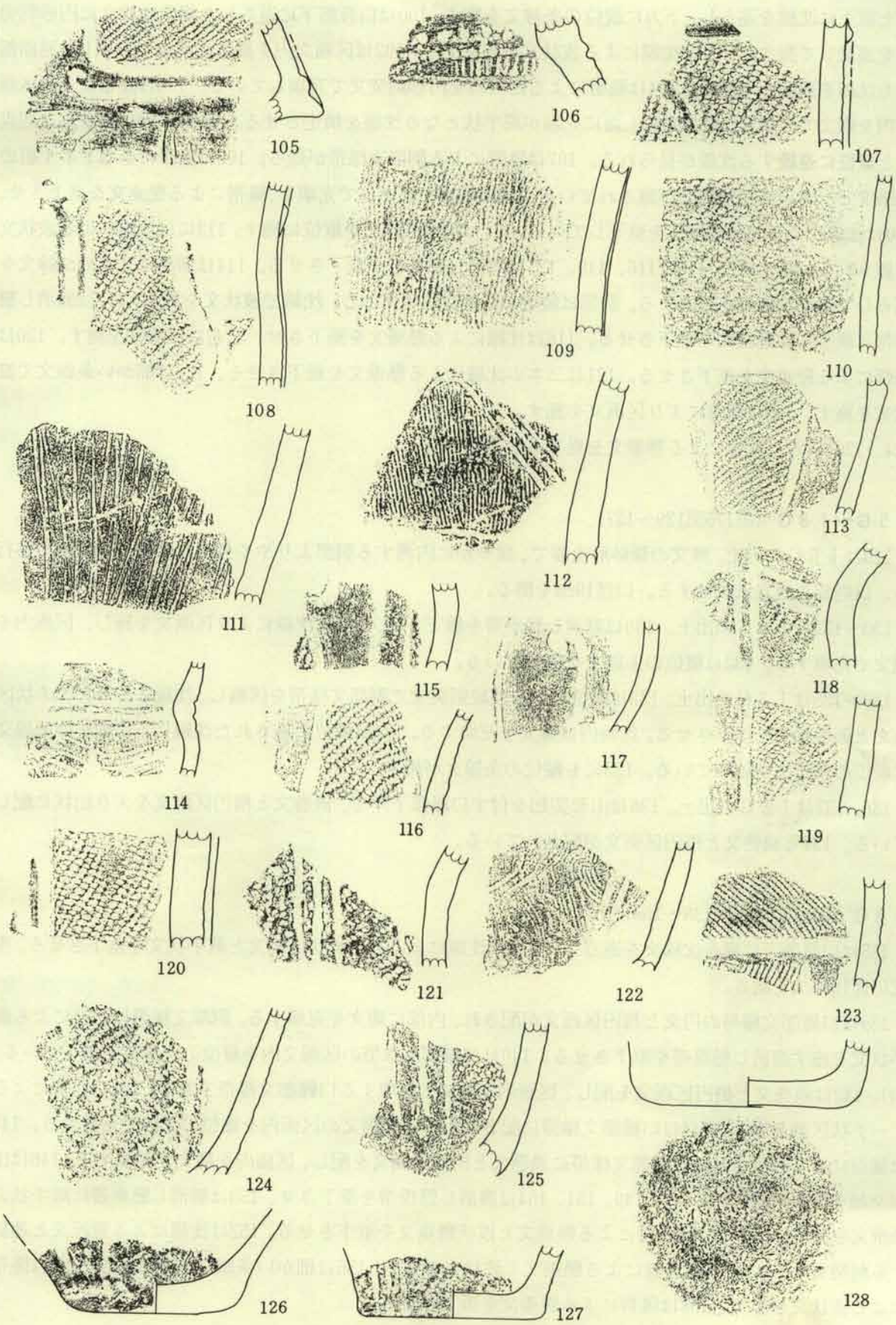

第171図　H 4 ～ 8 Grid 出土遺物




第172図　Ⅰ３Grid 出土遺物(1)




第173図　Ⅰ 3 Grid 出土遺物(2)




第174図　Ⅰ３Grid 出土遺物(3)

部と直下に沈線を巡らし、下方に縦位の条線文を施す。100は口唇部下に巡らした横走沈線文に円形刺突文を連続して施す。下方は沈線による波状文を施文する。102は区画文内を縦位の沈線で充填し、屈曲部にも沈線を連続して施す。104は隆帯による区画内を円形刺突文で充填している。105は隆帯による区画文内を縄文で充填し、屈曲部の上面に先端が蕨手状となる沈線を横走させる。106は二段に施された列点文と縦位に連続する沈線が見られる。107は隆帯による胴部文様帯が残る。108は隆帯による２本１組の懸垂文と一本の波状懸垂文が施されている。109は地文を撚糸文で充填し、隆帯による懸垂文を垂下させ、110は沈線による波状懸垂文を垂下している。111は粗い条線文を縦位に施す。112には沈線による波状文が施されている。113、115、116、119、125は磨消し懸垂帯を垂下させる。114は頸部に３本の沈線文を巡らして胴部文様帯を区画する。胴部は縦位の条線文を地文とし、沈線で波状文を施す。117は磨消し懸垂帯に蕨手状の懸垂文を垂下させる。118は沈線による懸垂文を垂下させ、左右に曲線文を施す。120は隆帯による懸垂文を垂下させる。121は三本の沈線による懸垂文を垂下させる。122は細かい条線文で波状文を施す。123は沈線により区画文を施す。
124、126、127は沈線による懸垂文を垂下させている。

Ｉ５Ｇ～Ｉ８Ｇ（第175図129～137）

129はＩ５Ｇの出土。無文の深鉢形土器で、緩やかに内湾する胴部よりやや外反して開く口縁部に移行し、口唇部を直立気味とする。口径19cmを測る。

130～132はＩ６Ｇの出土。130は磨消し懸垂帯を垂下させ、131は沈線により区画文を施し、区画内を縄文で充填する。132は縦位の条線文を施している。

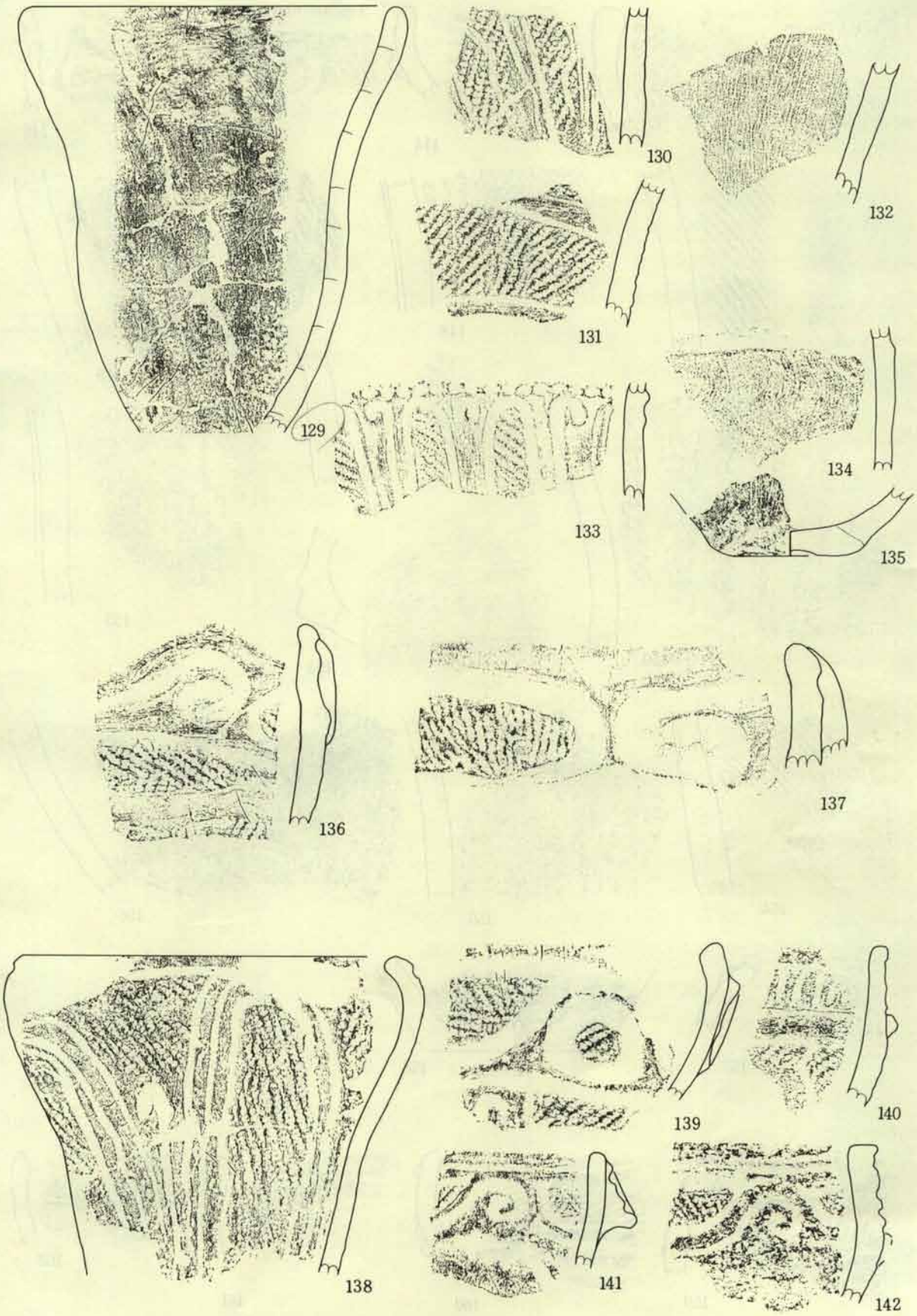
133～135はＩ７Ｇの出土。133は横位に巡る連続刺突文で胴部文様帯を区画し、沈線によるアーチ状区画文と蕨手状文を垂下させる。区画内は縄文を充填する。134は横位に施された沈線文下に細かい条線文で縦位の波状文を施している。135にも縦位の条線文が施す。

136、137はＩ８Ｇの出土。136は山形突起を付す口縁部下片で、渦巻文と楕円区画文を入り組状に配している。137も渦巻文と楕円区画文が配されている。

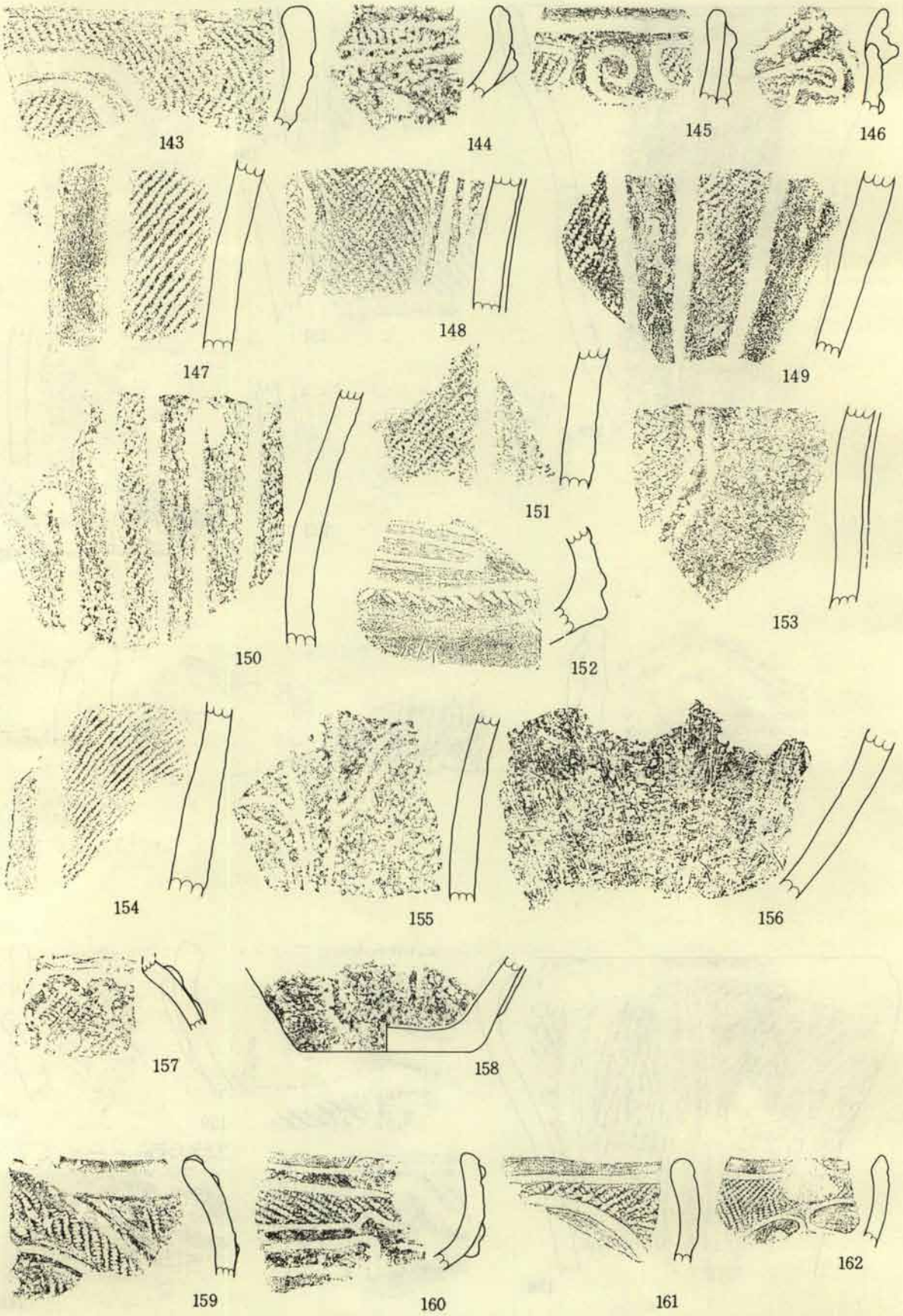
Ｊ３Ｇ（第175、176図138～158）

138は口唇部下に横走沈線文を巡らし、下方に沈線によるアーチ状区画文と蕨手状文を垂下させる。復元口径19.4cmを測る。

139は口縁部文様帯の円文と楕円区画文が配され、内部に縄文を充填する。胴部文様帯は沈線による蕨手状文を施す磨消し懸垂帯を垂下させる。140は口縁部文様帯の区画文内を縦位の沈線で充填している。141、142は渦巻文と楕円区画文を配し、区画内を縄文で充填する口縁部文様帯である。143は沈線によるアーチ状区画を施す。144は口縁部文様帯に配された楕円区画文の区画内を縦位の沈線で充填する。145は隆帯により区画された口縁部文様帯に渦巻文と楕円区画文を配し、区画内を縄文で充填する。146は山形突起を付す口縁部片。147、149、151、154は磨消し懸垂帯を垂下させ、150は磨消し懸垂帯に蕨手状の懸垂文を施す。148、153は隆帯による懸垂文と波状懸垂文を垂下させる。152は沈線による意匠文と連続する刺突文を施す。155は沈線による懸垂文と波状文を施す。156は細かい条線文を充填する。157は隆帯による波状文を施す。158は隆帯による懸垂文を垂下させる。




第175図　Ｉ５～８、Ｊ３Grid (1)出土遺物




第176図　Ｊ３(2)、Ｊ４Grid (1)出土遺物

Ｊ４Ｇ（第176、177図159～181）

159は口唇部下になぞりの沈線を巡らし、微隆帯により区画文を施す。160は隆帯により口縁部文様帯を区画し、渦巻文を簡略して蕨手状の沈線を施している。161は緩やかな山形突起を付す口縁部片で、沈線による区画文を意匠する。162は沈線により施された区画文内を磨消しを施す。163は山形突起を付す口縁部片で、頂上部に渦巻文を施す。口縁部文様帯は隆帯により意匠文を施している。164は区画文内に縄文を充填する。165は口唇部下に二本の横走沈線文を巡らし、沈線間に円形刺突文を連続して施す。下方は沈線による波状文を施文する。166は口唇部下に三本の横走沈線文を巡らし、二段の連続刺突文を施す。167は口唇部下に連続する交互刺突文を巡らし、下方は縦位の条線文を充填する。168は隆帯による区画文が施されている。169は隆帯により施された区画文内を縦位の沈線で充填する。170は沈線により区画された剣先状の区画内に磨消しを施す。171は口唇部に無文部を設け、隆帯で懸垂区画文を施す。172は沈線による幅狭いアーチ状の区画内に磨消しを施す。173は隆帯による口縁部文様帯に渦巻文と区画文を配す。174は器面が荒れているが、口唇部下に沈線が見られる。175は短く直立する無文の口縁部で、頸部下は縦位の条線文を施している。176は緩やかな波状を呈する口縁部片で、隆帯による渦巻文と区画文を配し、区画文内を縄文で充填する。177は沈線による円文？が施されている。178は沈線による曲線文を施す。179は縦位の条線文を施す。180は縦位の条線文を地文とし、沈線で意匠文を施す。181は浅鉢の胴部片で沈線により円文を施す。

Ｊ５Ｇ（第177～178図182～203）

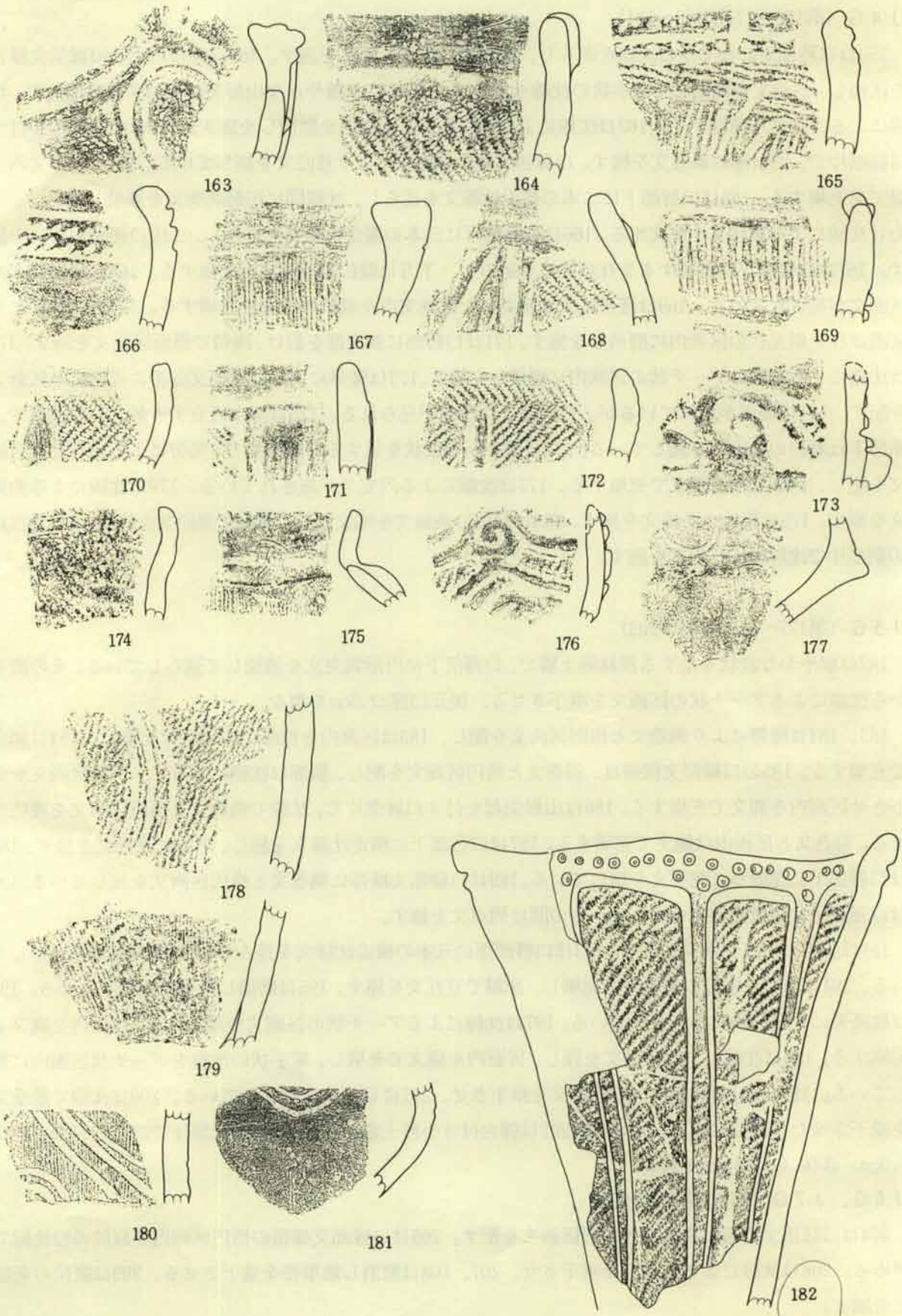
182は緩やかな波状を呈する深鉢形土器で、口唇部下に円形刺突文を連続して巡らしている。その直下から沈線によるアーチ状の区画文を垂下させる。復元口径22.5cmを測る。

183、184は隆帯により渦巻文と楕円区画文を配し、183は区画内を沈線で矢羽状に充填し、184は縄文で充填する。185の口縁部文様帯は、渦巻文と楕円区画文を配し、胴部は沈線によるアーチ状区画文を垂下させ区画内を縄文で充填する。186は山形突起を付す口縁部片で、沈線で渦巻文と楕円区画文を連結させる。渦巻文と区画内は縄文で充填する。187は口唇部下に横走沈線文を施し、下方に意匠文を施す。188は口唇部下に連続して刺突文を施している。189は口縁部文様帯に渦巻文と楕円区画文を施している。190は口唇部下に平行沈線文を巡らし、その間に列点文を施す。

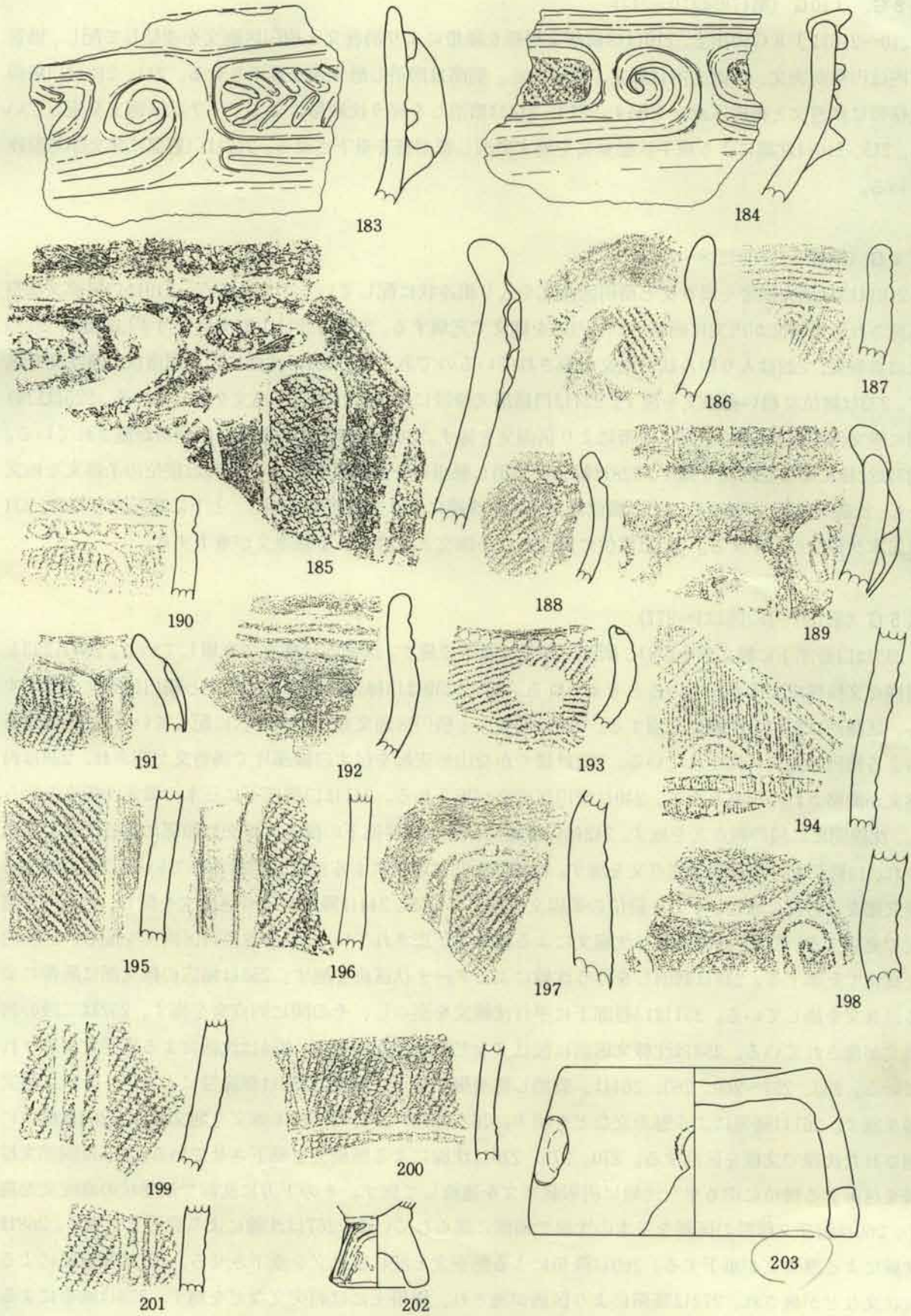
191は隆帯により区画文を施す。192は口唇部下に三本の横走沈線文を巡らし、193は列点文を巡らしている。194は地文を縦位の条線文で充填し、沈線で意匠文を施す。195は磨消し懸垂帯を垂下させる。196は微隆帯による区画文が施されている。197は沈線によるアーチ状の区画文を垂下させ、区画内を縄文で充填する。198は沈線による区画文を施し、区画内を縄文で充填し、蕨手状の沈線をアーチ状区画内に施している。199、201は沈線による懸垂文を垂下させ、201には刺突文を施している。200は沈線で懸垂文を垂下させたり横位に巡らしている。202は脚台付き小形土器。203は器台形土器片で口径13.1cm、器高8.9cm、底径（16.7）cmを測る。

Ｊ６Ｇ、Ｊ７Ｇ（第179図204～209）

204は口縁部文様帯に渦巻文と楕円区画文を配す。205は口縁部文様帯の楕円区画内を縦位の短沈線で埋める。206は沈線による懸垂文を垂下させ、207、208は磨消し懸垂帯を垂下させる。209は縦位の条線文を施す。




第177図　Ｊ４(2)、Ｊ５Grid (1)出土遺物




第178図　Ｊ５Grid (2)出土遺物

Ｊ８Ｇ、Ｊ10Ｇ（第179図210～217）

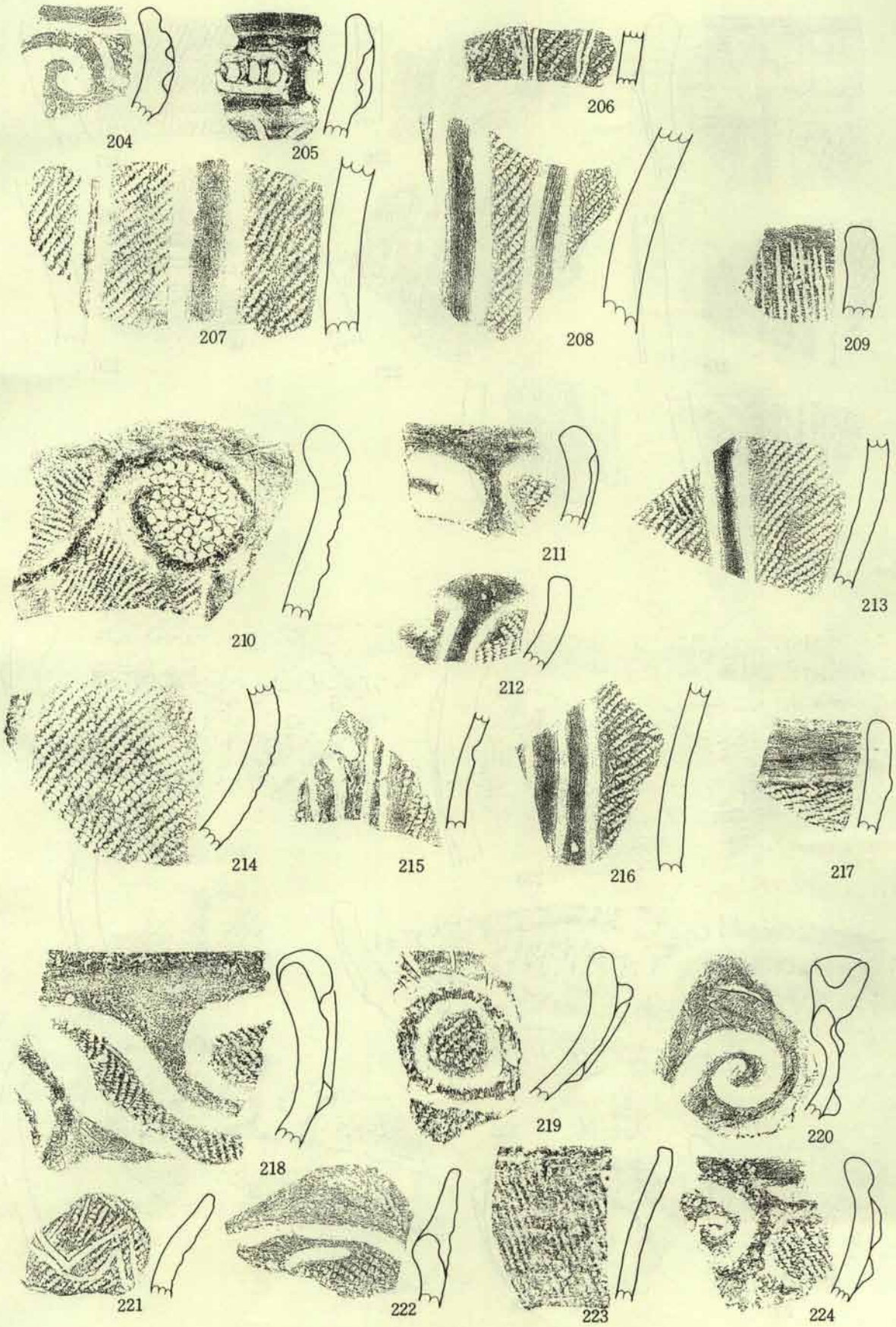
210～216はＪ８Ｇの出土。210は口縁部文様帯を隆帯により渦巻文と楕円区画文を連結して配し、渦巻文内は円形刺突文、区画文内は縄文で充填する。胴部は磨消し懸垂帯を垂下させる。211、212は口縁部文様帯に渦巻文と楕円区画文を配す。213、214は磨消しを伴う沈線帯によるアーチ状区画文を施している。215、216は沈線による蕨手状懸垂文を施す磨消し懸垂帯を垂下させる。217は口唇部に無文部を設けている。

Ｋ４Ｇ（第179、180図218～232）

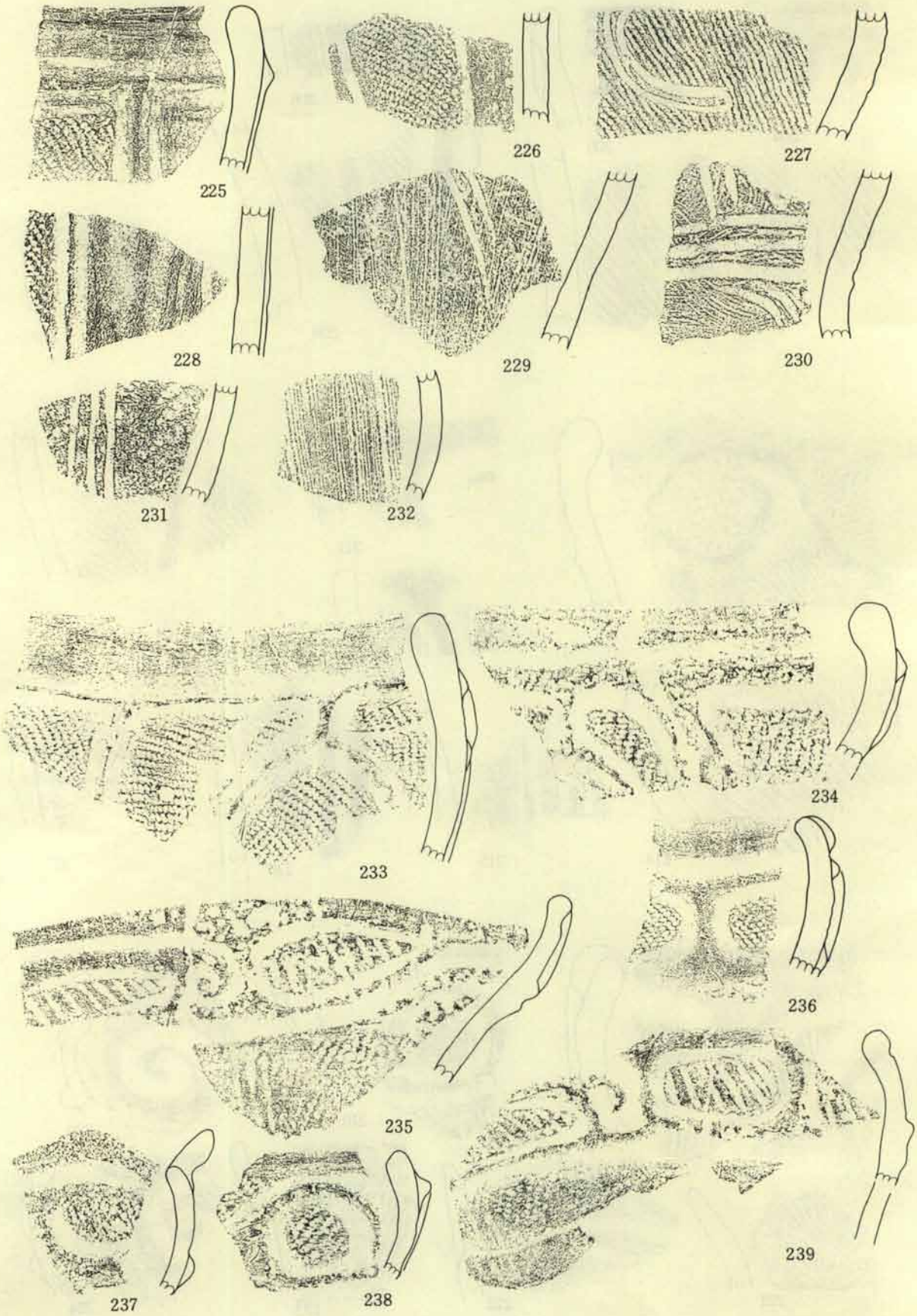
218は口縁部文様帯を渦巻文と楕円区画文を入り組み状に配しているのであろう。219は口縁部文様帯に施される渦巻文が円文に簡略され、内部を縄文で充填する。220、222は山形突起を付す口縁部片で220には渦巻文、222は入り組み状区画文が施されているのであろう。221は沈線による鋸歯状の意匠文を施す。223は縦位に粗い条線文を施す。224は口縁部文様帯に渦巻文と楕円区画文を配している。225は口唇部に無文部を設け、その下方に隆帯により区画文を施す。226は沈線による磨消し区画帯が施されている。227は沈線による意匠文を施す。228は幅広の磨消し懸垂帯を垂下させている。229は縦位の条線文を地文とし、沈線で意匠文を施す。230は横位に施された沈線により文様帯を区画し、上下に意匠文を施す。231は三本沈線文が垂下する。232は縦位に施された条線文と沈線による懸垂文が垂下する。

Ｋ５Ｇ（第180～182図233～277）

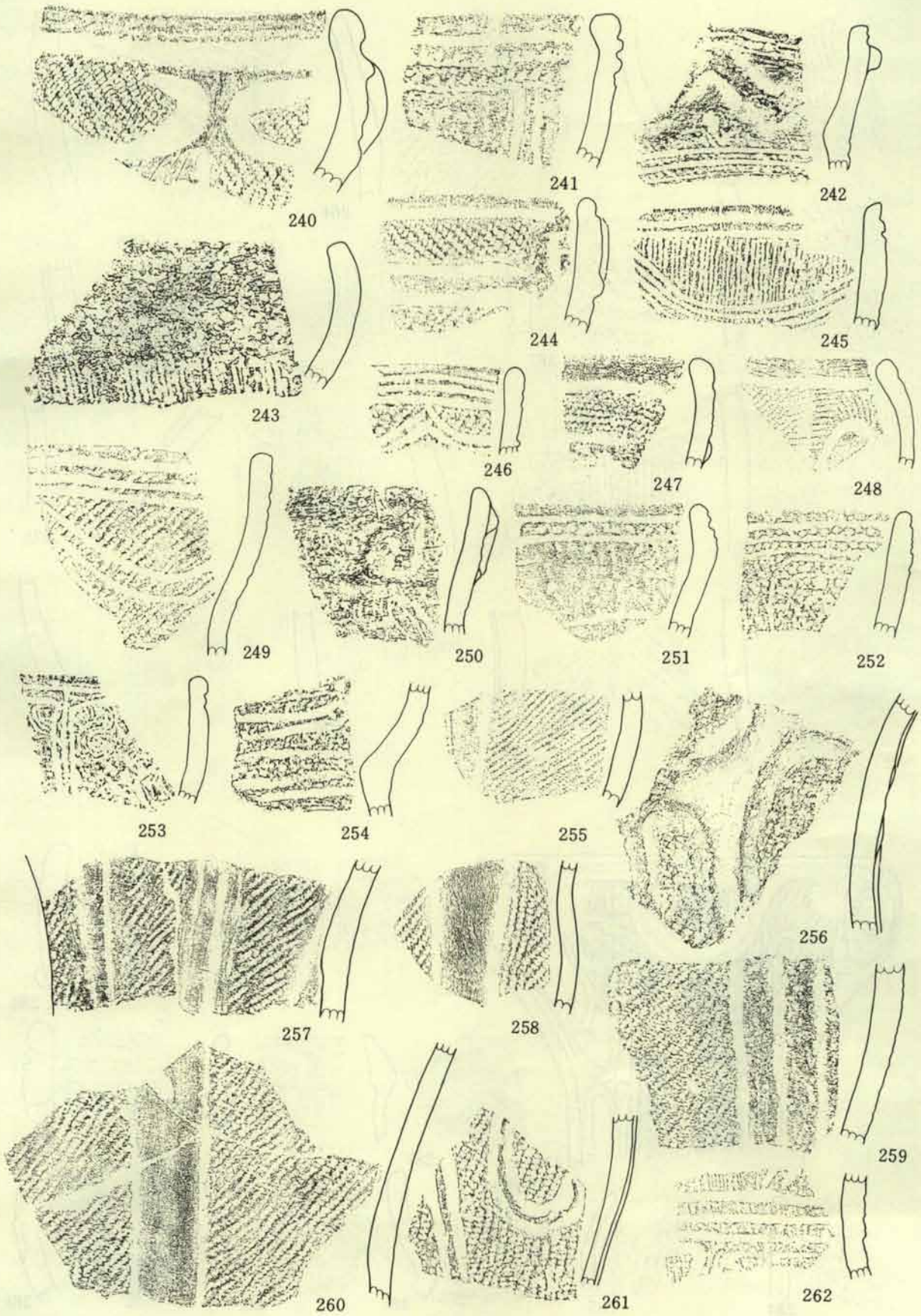
233は口唇部下に無文部を設け、胴部文様帯は隆帯で施す。区画内は縄文で充填している。234も233と同様な文様構成が施されていると考えられる。235、239は口縁部文様帯を渦巻文と楕円区画文で構成する。区画内は斜位の沈線で充填する。235は渦巻文と楕円区画文を入り組み状に配している。236は隆帯による楕円区画文が施されている。237は緩やかな山形突起を付す口縁部片で渦巻文が施され、238は渦巻文が簡略されて円文となる。240は楕円区画文が施される。241は口唇部下に三本の横走沈線文を巡らし、沈線間に二段の列点文を施す。242は口縁部文様帯は口唇部下の横走沈線文と頸部に巡る沈線で区画され、口唇部下の沈線間は列点文を施す。沈線区画間は隆帯による波状文が付されている。243は幅広の無文部を口唇部に設け、下方を縦位の条線文を施している。244は隆帯により区画文を配し、区画内を縄文で充填する。245、246、249は沈線文による波状文が施されている。247は楕円区画文を配し、区画内を縄文で充填する。248は磨消しを伴う沈線によるアーチ状区画を施す。250は幅広の無文部に隆帯による渦巻文を施している。251は口唇部下に平行沈線文を巡らし、その間に列点文を施す。252は二段の列点文が施されている。253は沈線文区画に波状文などの意匠文を施す。254は沈線による意匠文が施されている。255、257～260、263、264は、磨消し懸垂帯を垂下させる。256は微隆帯によりアーチ状区画文等を施す。261は隆帯による懸垂文などを施す。262、270～274、276は条線文を地文とし、262は横位に施された沈線で文様を区画する。270、273、276は沈線による懸垂文を垂下させている。265は胴部文様帯を区画する横位に巡る平行沈線に円形刺突文を連続して施す。その下方に沈線で渦巻状の意匠文を施す。266は胴部文様帯の区画を三本の沈線で頸部に巡らしている。267は沈線により意匠文を施す。268は沈線による懸垂文が垂下する。269は隆帯による懸垂文と波状懸垂文を垂下させる。271は沈線文による波状文などが施され、272は隆帯により区画が施され、隆帯上には刺突文などを施す。275は隆帯による垂下する懸垂文を挟んで沈線を矢羽状に施している。



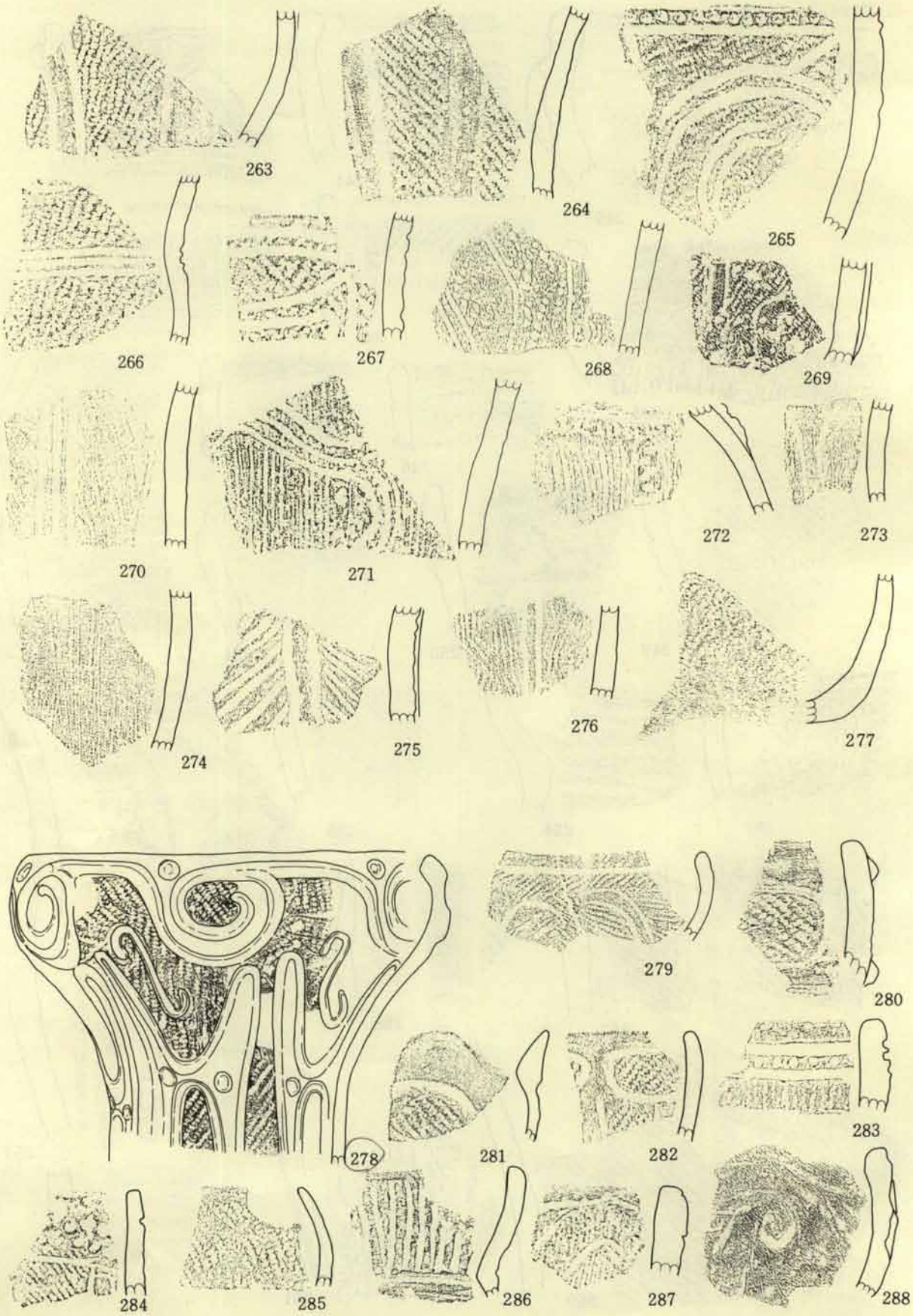

第179図　Ｊ６～８、10、Ｋ４Grid (1)出土遺物




第180図　K 4 (2)、K 5 Grid (1)出土遺物




第181図　K５Grid (2)出土遺物




第182図　K 5 (3)、K 6 Grid (1)出土遺物

Ｋ６Ｇ（第182、183図278～300）

278はキャリパー形を呈する平縁の深鉢で、口径21cmを測る。口縁部文様帯は沈線による渦巻文を連結して配している。胴部文様帯は磨消しを伴うＨ字状区画文を施す。口縁部文様帯と胴部文様帯の間にはＳ字状文を配し、口唇部とＨ字状の区画文内には円形刺突文が施してある。

279は沈線区画により相対する弧文を施し、先端は角状としている。区画内は磨消しを施す。

280、282は口縁部文様帯に楕円区画文が施され、区画内を縄文で充塡する。281は山形突起を付す口縁部片。283は口唇部下に巡る平行沈線文の間に円形の列点文を連続して施す。284は口縁部文様帯の区画内に円形刺突文を施している。285は縄文を充塡する口縁部片。286は口縁部文様帯を縦位の沈線で充塡している。287は沈線による波状文を意匠する。288は沈線による渦巻文を施す。289は山形突起を付す口縁部片で、渦巻文を簡略した円文と楕円区画文を口縁部文様帯に配し、胴部文様帯は磨消し懸垂帯を垂下させる。290、292、293、295、296、298は磨消し懸垂帯を垂下させる。293の懸垂帯は幅広で、295には口縁部文様帯の楕円区画文が施されている。298は懸垂帯に波状懸垂文と蕨手状文が垂下している。291は隆帯による懸垂文を垂下している。隆帯上には連続する刻みが施してある。294は縦位の条線文を地文とし、沈線で意匠文を施す。297は二本１組の沈線を垂下させる。299は渦巻文を施す胴部片。300は磨消しを伴う沈線区画文が施してある。

Ｌ６Ｇ（第183～185図301～330）

301は口縁部に２つの環状把手を付すと考えられる小型の深鉢形土器で、把手間は僅かな波状を呈する。体部文様帯は括れ部で分かれ、上下二段の構成を取る。上部文様構成は波頂下の楕円文を挟んで対称に三角文を配す。下部文様構成はアーチ状区画文の先端を剣先状とする区画文を配す。区画文は沈線で施し、区画内は縄文で充塡する。

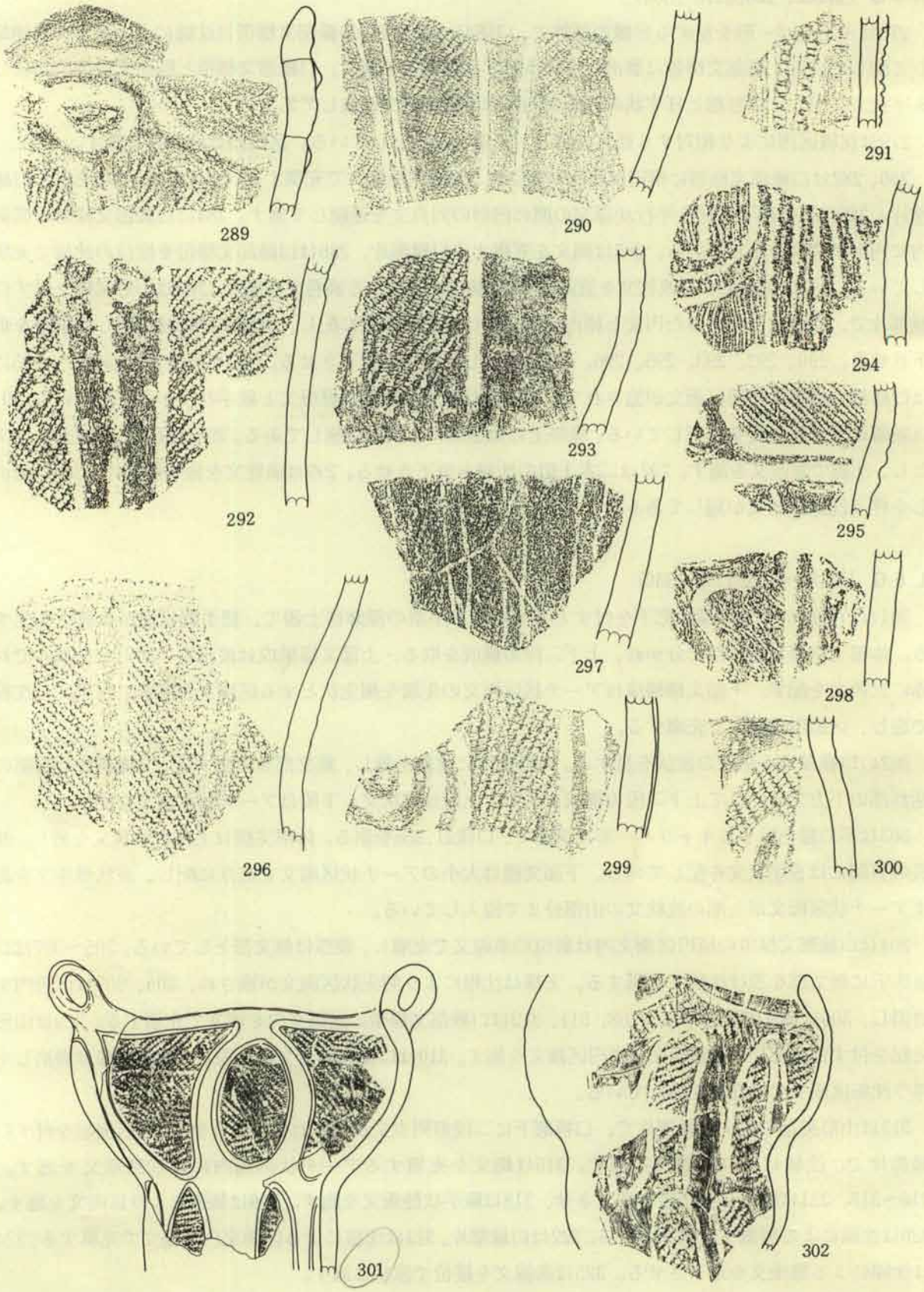
302の口縁部は４単位の波状を呈する。口唇部下に沈線を施し、無文部を区画する。文様構成は胴部の括れ部の下方で分かれて上下二段の構成とする。上段は波状文、下段はアーチ状区画文を配す。

303は平口縁を呈するキャリパー形の深鉢で、口径21.2cmを測る。体部文様は上部に波状文を施し、波長の谷間にはＳ字状文を配している。下部文様は大小のアーチ状区画文を交互に配し、波状懸垂文を施すアーチ状区画文が上部の波状文の山部分まで侵入している。

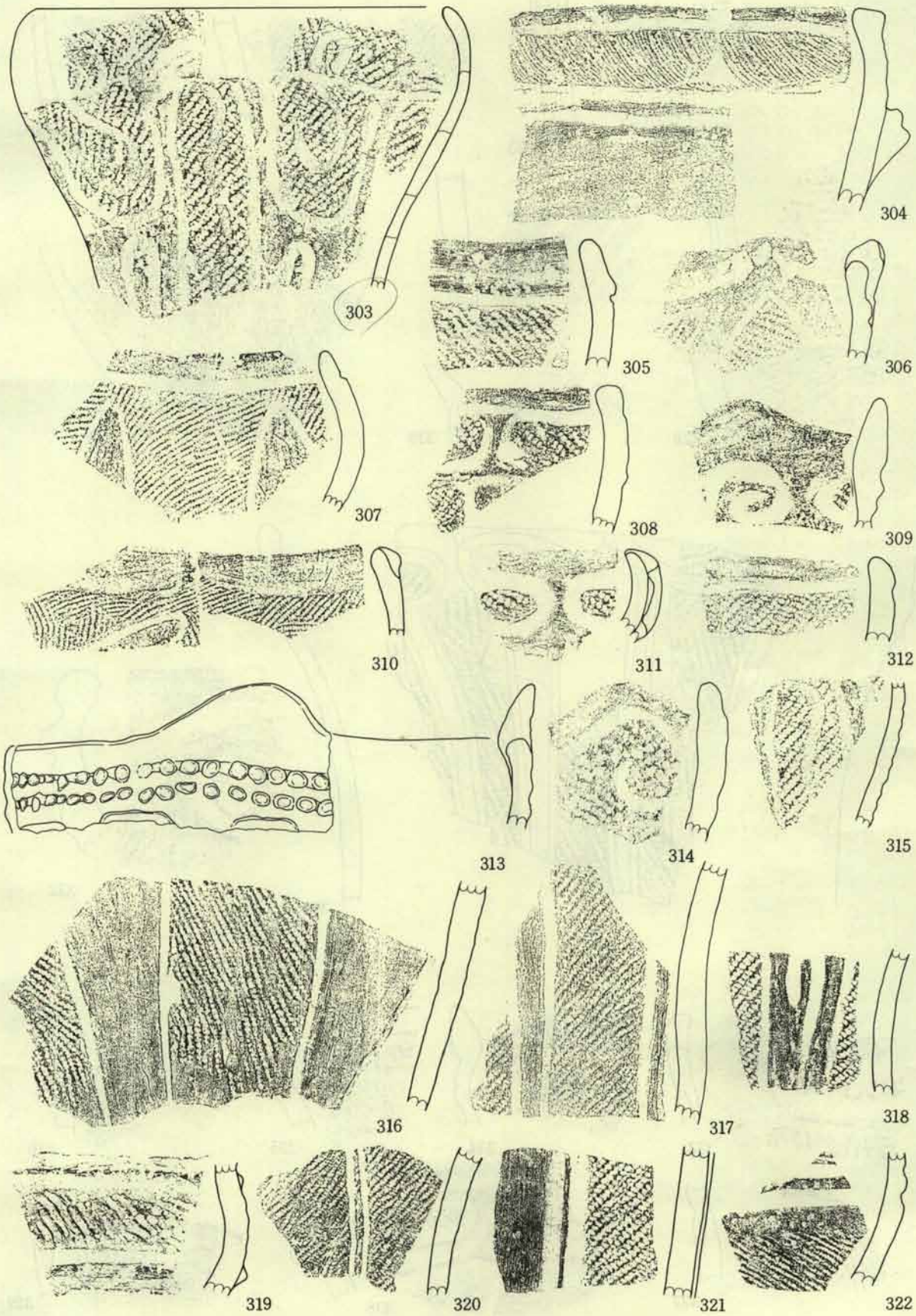
304は口縁部文様帯の楕円区画文内は斜位の条線文で充塡し、頸部は無文帯としている。305～307は口唇部下に無文部を設け沈線で区画する。文様は沈線により剣先状区画文が施され、305、307は区画内を磨消し、306は縄文で充塡する。308、311、312は口縁部文様帯の区画文内を縄文で充塡する。309は山形突起を付す口縁部片で、渦巻文と楕円区画文を施す。310は口唇部に無文部を設け、体部文様は磨消しを伴う沈線区画文で意匠文を施している。

313は山形突起を付す口縁部片で、口唇部下に二段の列点文が施されている。314は山形突起を付す口縁部片で、沈線により渦巻文を施す。315は縄文を充塡するアーチ状区画内に波状懸垂文を施す。316～318、321は磨消し懸垂帯を垂下させ、318は蕨手状懸垂文を施す。319は隆帯により区画文を施す。320は沈線による懸垂文を垂下させる。322は口縁部片。323は沈線による区画文内を縄文で充塡する。324は沈線による懸垂文を垂下させる。325は条線文を縦位で波状に施す。

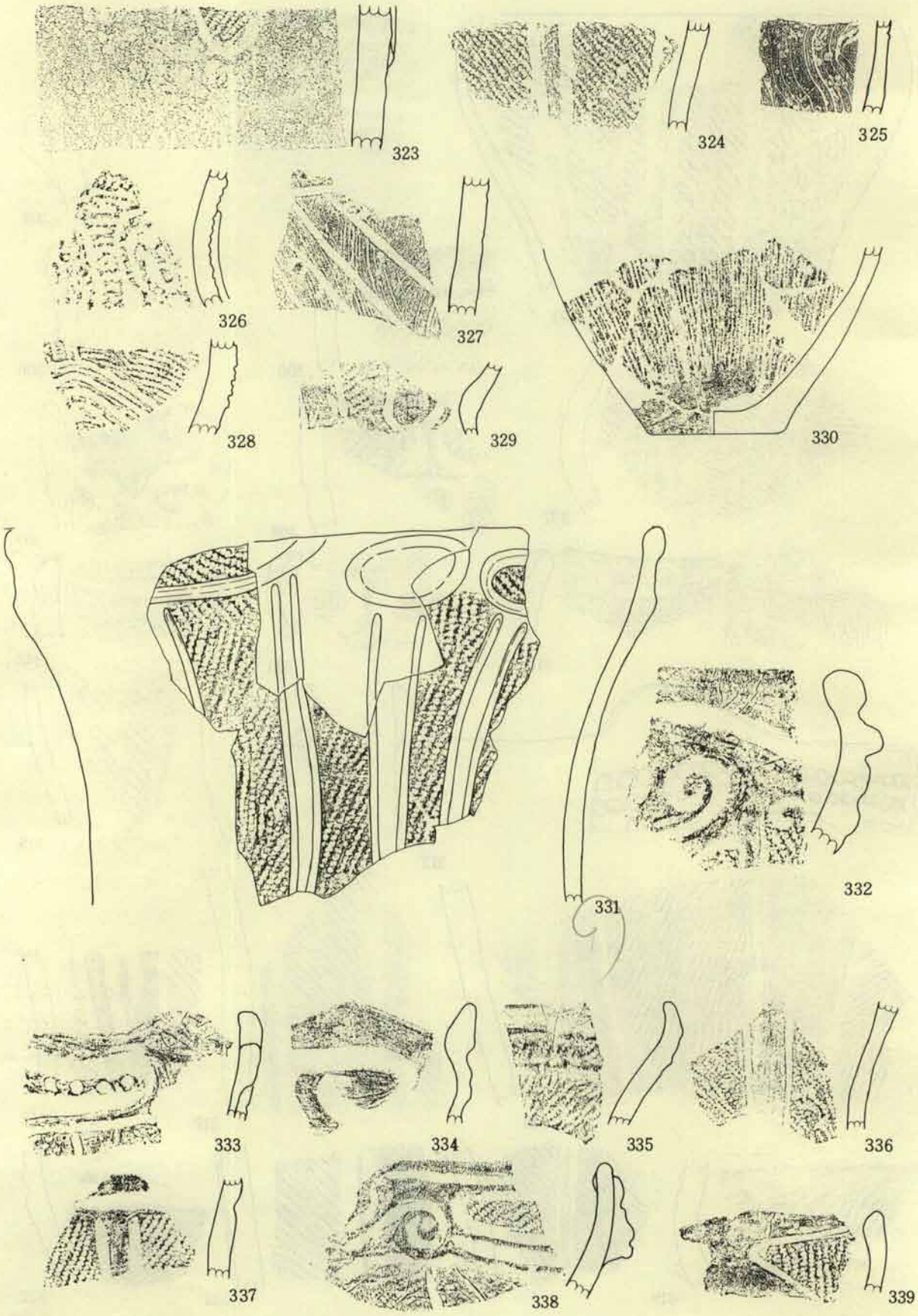
326は曽利式土器片と考えられる。327は条線文を地文とし、沈線で意匠文を施す。328は沈線による波状文を施す。329は沈線による区画文を施す。330は縦位の条線文を充塡している。




第183図　K 6(2)、L 6 Grid (1)出土遺物




第184図　Ｌ６Grid (2)出土遺物




第185図　L 6 (3)、L 7～10 Grid 出土遺物

Ｌ７Ｇ（第185図331、332）

331は口縁部文様帯は円文と楕円区画文を配し、内部を縄文で充填する。胴部は磨消し懸垂帯を垂下させている。332は渦巻文などを施す口縁部片。

Ｌ８Ｇ～Ｌ13Ｇ（第185、186図333～343）

333、334は山形突起を付す口縁部片で、333は楕円区画文内に円形の列点文を施し、334は渦巻文が施されている。335は口縁部文様帯の区画文内に縄文を充填する。336、337は磨消し懸垂帯を垂下させる。338は口縁部文様帯を渦巻文と楕円区画文で配し、区画内を縄文で充填する。339は口唇部下に施された沈線文区画内を縄文で充填する。340は沈線による懸垂文を垂下させ、懸垂文間に磨消しを施す。341は口唇部に沈線で区画された無文部を設け、下方に縦位の条線文を施す。342は磨消しを伴う沈線文区画で波状文を施す。343は隆帯による口縁部文様帯の区画文内に縄文を充填する。

Ｎ８Ｇ（第186図344～359）

344、347は口縁部文様帯を渦巻文と楕円区画文で構成し、区画文内を縄文で充填している。
345は口縁部文様帯に配された楕円区画文の内部に円形刺突文を充填する。346は口唇部下に巡る横走沈線文に刺突文を施す。348～350、355、357は口縁部文様帯の区画文を配す口縁部片で、349は二段に列点文が施されている。351は頸部に巡る平行沈線に円形の列点文を連続して施す。352、354～356は磨消し懸垂帯を垂下させている。352は縄文懸垂帯に沈線による波状懸垂文を垂下させる。353は沈線によるアーチ状区画文と蕨手状懸垂文を垂下させる。357は隆帯区画による楕円文を口縁部に配している。358は縦位の条線文を充填する。359は沈線による懸垂文を垂下させる。

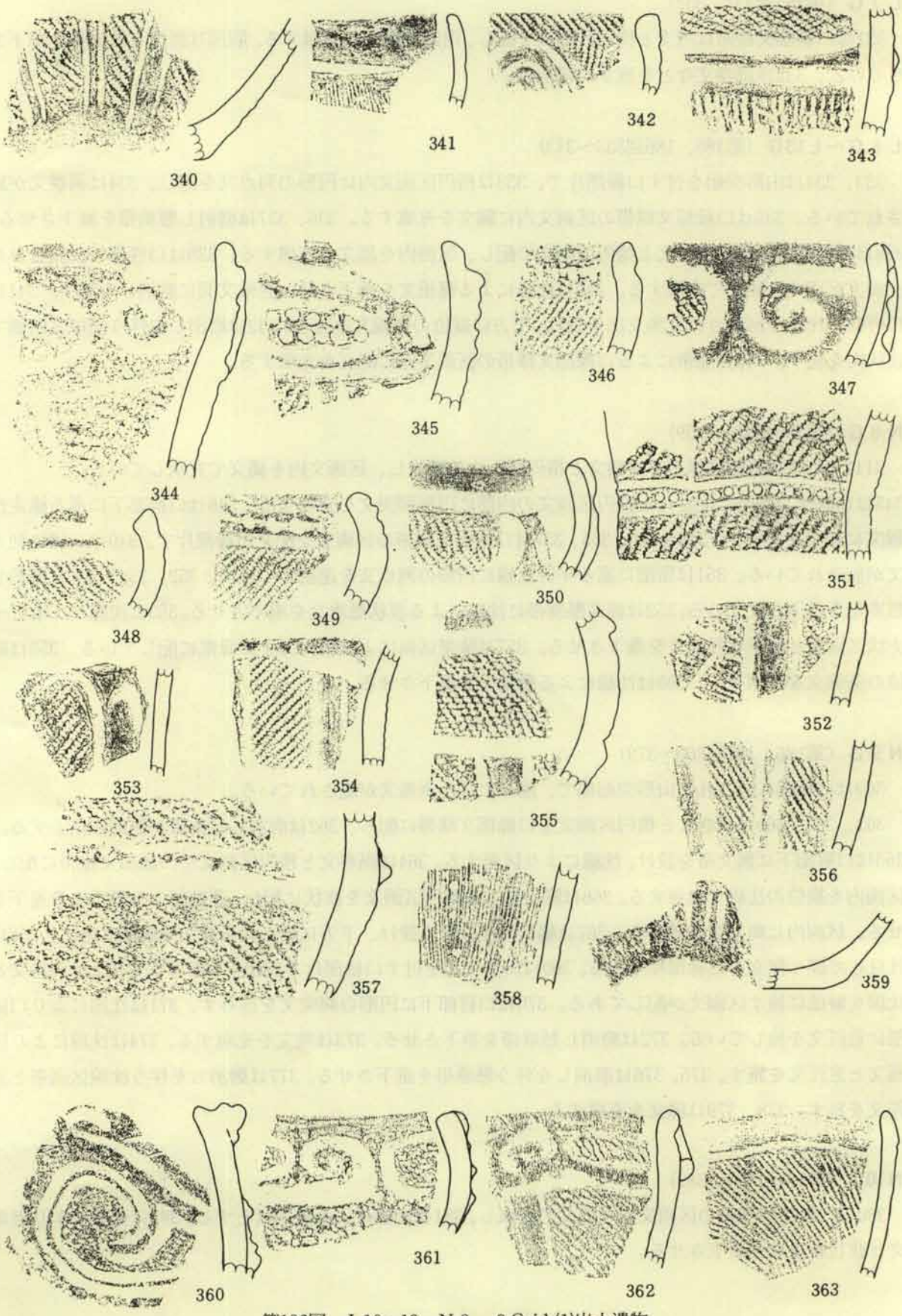
Ｎ９Ｇ（第186、187図360～379）

360は口縁部に付された山形突起部で、隆帯による渦巻文が施されている。

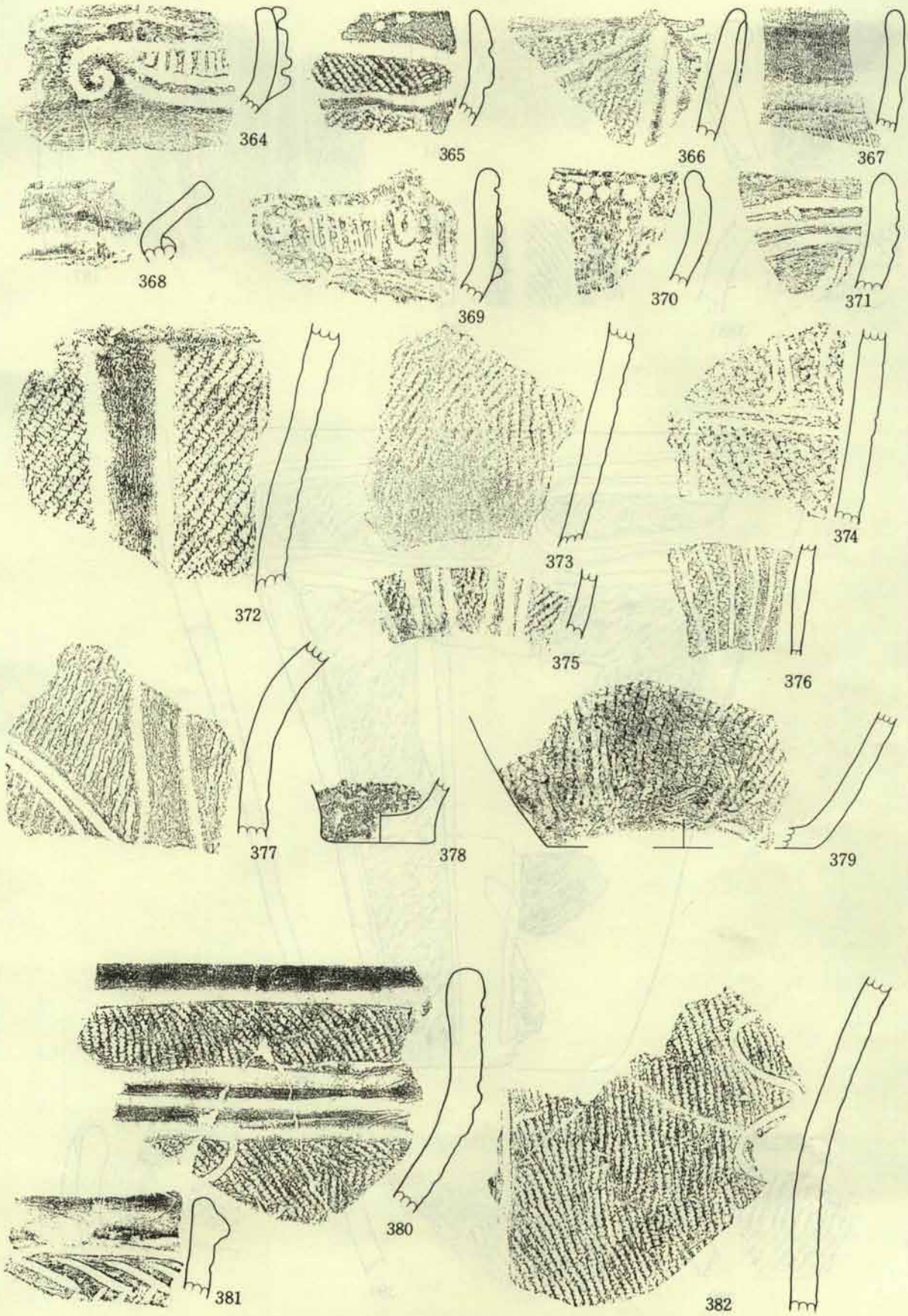
361、362、365は渦巻文と楕円区画文を口縁部文様帯に配し、362は磨消し懸垂帯が胴部に垂下する。363は口唇部下に無文帯を設け、沈線により区画する。364は渦巻文と楕円区画文を口縁部文様帯に配し、区画内を縦位の沈線で充填する。366は隆帯による楕円区画文を波状に配し、連結部より懸垂文を垂下させる。区画内は縄文で充填する。367は幅広の無文帯を設け、下方に細かい条線文を縦位に施す。368は外反して開く無文の口縁部片である。369は山形突起を付す口縁部片で突起下にＳ字文を施し、渦巻文と沈線を縦位に施す区画文が配してある。370は口唇部下に円形の刺突文を巡らす。371は沈線により口縁部に意匠文を施している。372は磨消し懸垂帯を垂下させる。373は縄文を充填する。374は沈線により区画文と意匠文を施す。375、376は磨消しを伴う懸垂帯を垂下させる。377は磨消しを伴う沈線区画帯と意匠文を施す。378、379は縄文を充填する。

Ｎ10Ｇ（第187図380～382）

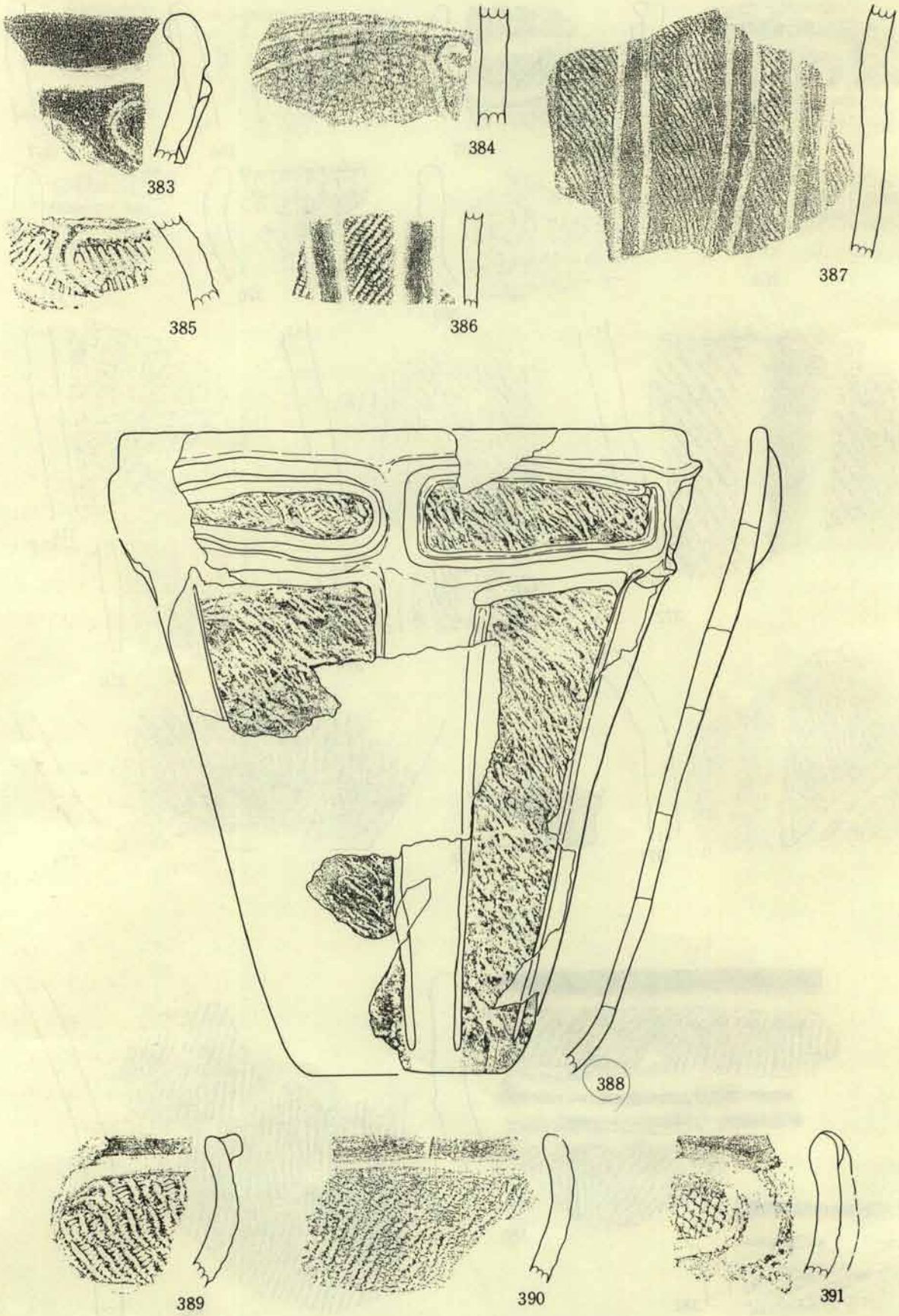
380は口縁部文様帯の区画文内を縄文で充填し、381は沈線により矢羽状とする。382は沈線により懸垂文と波状懸垂文を垂下させる。




第186図　L10～13、N 8 、9 Grid (1)出土遺物




第187図　N 9 (2)、10Grid 出土遺物




第188図　N11Grid、漏１号墳(1)出土遺物

**N11G**（第188図383～387）

383は口唇部下に無文帯を設け、口縁部文様帯は隆帯により意匠を施す。384は胴部文様帯を区画する沈線文が巡る。385は区画文内を短沈線で充填している。386、387は磨消し懸垂帯を垂下させる。

**古墳・方形周溝墓の出土土器**

**漏１号墳**（第188、189図388～411）

388は底部より直線的に緩やかに開く平口縁の深鉢形土器。口径29cm、器高33.6cm、底径（10）cmを測る。口縁部文様帯は隆帯による区画文を連結し、区画内を縄文で充填する。胴部文様帯は沈線による枠状文を配す。区画内も縄文で充填している。

389～391は口縁部に配された区画文が見られる口縁部片。392は隆帯による相対する楕円区画文を口縁部に配する。頸部無文帯を挟んで胴部文様帯を区画する隆帯が巡る。隆帯上には刺突文が施されている。393は隆帯により区画文などを意匠する口縁部片。394は口唇部下にやや広い無文帯を設けている。395は口唇部下に平行沈線文を巡らす。396は条線文により縦位の波状文を垂下させる。397は山形突起を付す口縁部片で、突起部の口唇部になぞりの沈線を「八」の字状に施し、下方に渦巻文などを配す。398も山形突起を付す口縁部片で、渦巻文などが施されている。399は渦巻文と楕円区画文を横位に配し、下方に縄文を充填する沈線区画文が施してある。400～406は磨消し懸垂帯を垂下させる。405は幅広の懸垂帯である。407は細かい縦位の条線文を地文とし、沈線で意匠文を施す。408は隆帯による意匠文が施される。409は縄文を充填する胴部片。410は地文を縦位の条線文で充填する。411は沈線による懸垂文を垂下させる。

**漏２号墳**（第190、191図412～432）

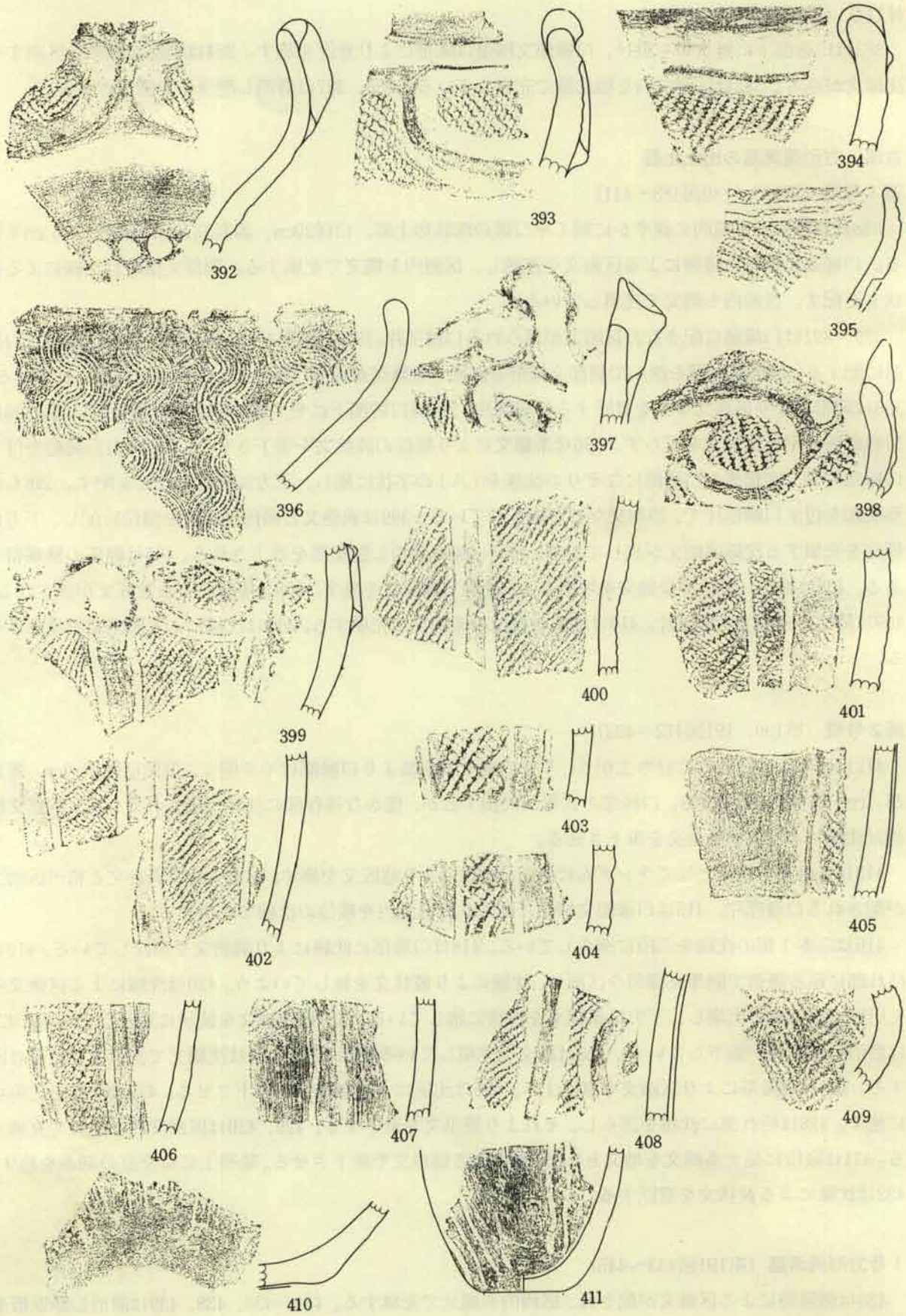
412は底部より直線的に立ち上がり、やや内湾する胴部より口縁部はやや開く。復元口径19.2cm、器高25.1cm、底径9.7cmを測る。口縁部の大半が欠損するが、僅かな残存部に沈線が施されている。胴部文様帯は沈線により波状懸垂文を垂下させる。

413は条線文を地文としてランダムに施し、沈線により意匠文を施す。414、417は渦巻文と楕円区画文が配される口縁部片。415は口縁部文様帯に配された区画内を縦位の沈線で充填する。

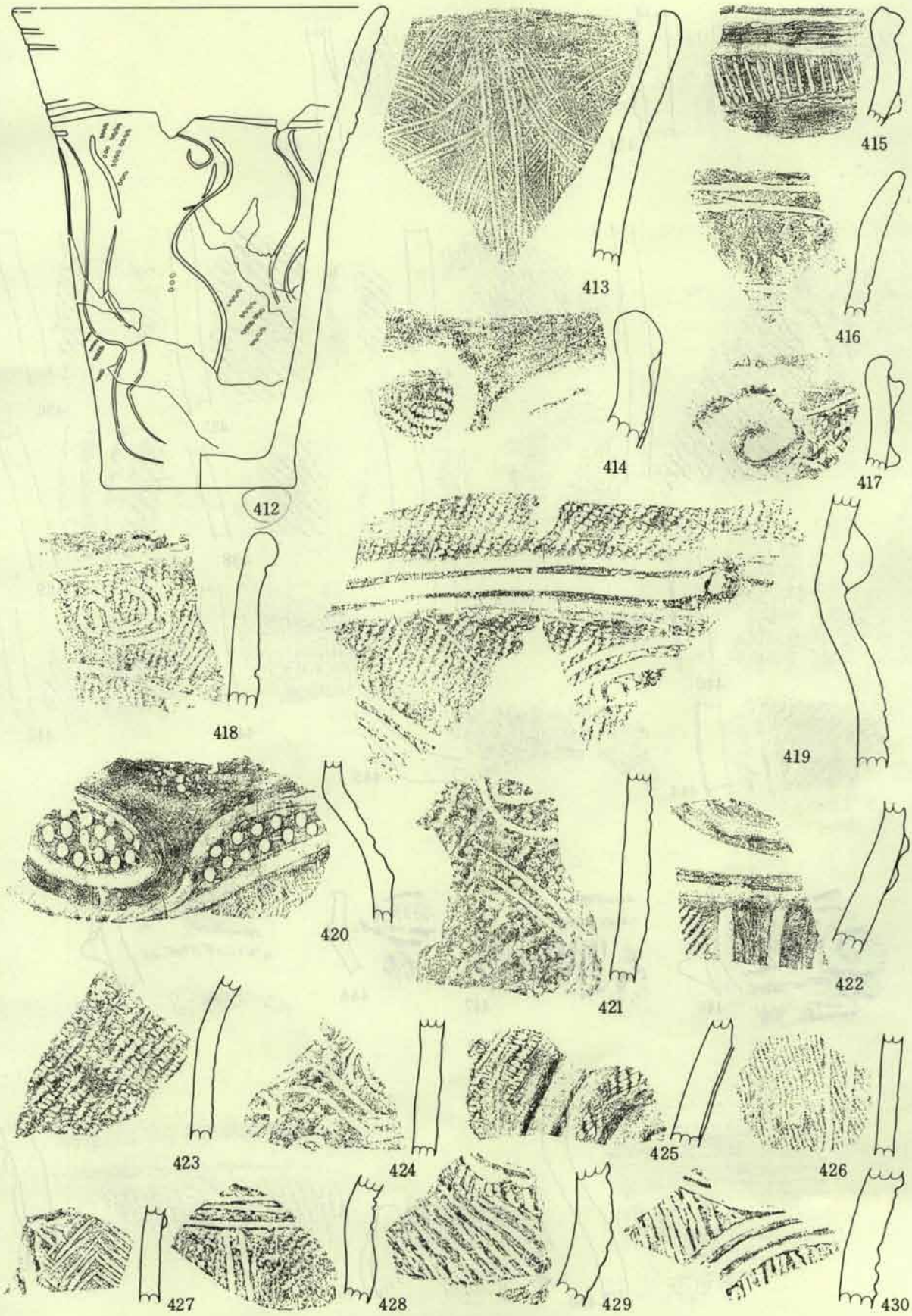
416は二本１組の沈線を二段に巡らしている。418は口縁部に沈線により渦巻文を意匠している。419は括れ部に巡る隆帯で胴部文様帯を区画し、沈線により波状文を施していよう。420は沈線による区画文内を円形の刺突文で充填し、下方に条線文を波状に施している。421は沈線文を波状に意匠して施す。422は磨消し懸垂帯が垂下している。423は縄文を充填している胴部下片。424は沈線文で波状文などを意匠する。425は微隆帯により区画文を意匠する。426は沈線により懸垂文を垂下させる。427は沈線を矢羽状に施す。428は括れ部に沈線を巡らし、それより懸垂文を垂下する。429、430は区画文内を沈線で充填する。431は縦位に施す条線文を地文とし、隆帯による懸垂文を垂下させる。隆帯上には交互の刻みを施す。432は沈線による波状文を意匠する。

**１号方形周溝墓**（第191図433～445）

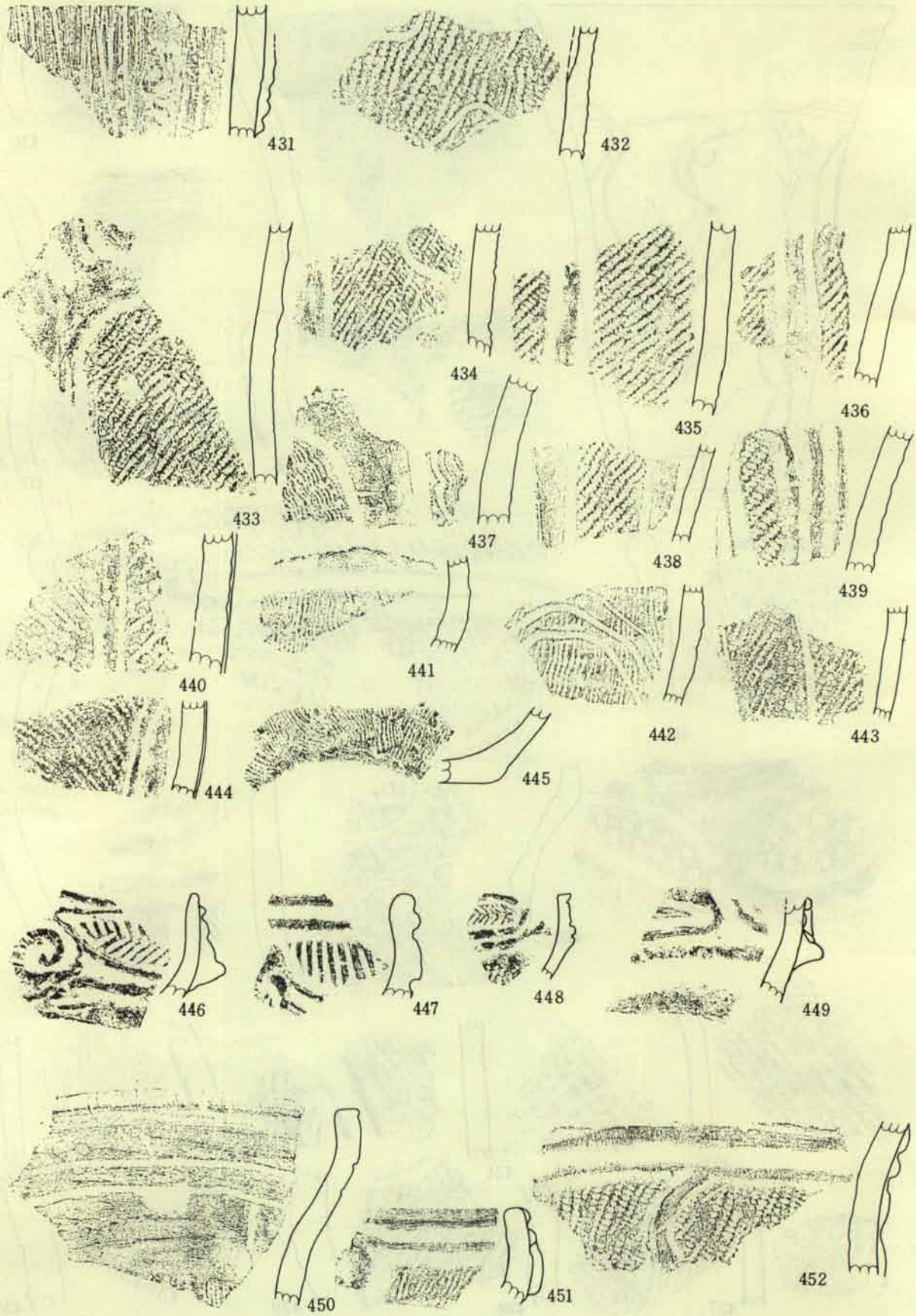
433は微隆帯による区画文が配され、区画内を縄文で充填する。434～436、438、439は磨消し懸垂帯を垂下させ、434は縄文帯に沈線による波状懸垂文を施す。437は沈線により区画文を施し区画内を条線文




第189図　漏１号墳(2)出土遺物




第190図　漏２号墳(1)出土遺物




第191図　漏２号墳(2)、１号方形周溝墓、漏３号墳、漏４号墳(1)出土遺物

で充填する。440は垂下する隆帯の左右に沈線を矢羽状に施す。441は沈線下を条線文で施す。442は沈線による波状文を意匠する。443は沈線による懸垂文を垂下させる。444は隆帯による区画文を配し、区画内を磨消しを施す。445は条線文を充填する。

**漏３号墳**（第191図446～449）

446は山形突起を付すと思われる口縁部片で、渦巻文と楕円区画文を配す。区画内は沈線で矢羽状に充填する。447は口縁部文様帯の区画文内を縦位の沈線で充填する。448も446と同様に区画内を沈線で矢羽状に充填する。449は口縁部文様帯を隆帯で意匠する。

**漏４号墳**（第191、192図450～460）

450は口縁部に平行沈線文を巡らし、括れ部より条線文を縦位に施す。451は口縁部文様帯に渦巻文と楕円区画文を配す。452は胴部文様帯を区画する隆帯と波状懸垂文が施されている。

453は山形突起を付すと考えられる口縁部片である。口縁部文様帯は隆帯による渦巻文と区画文が配され、区画内を矢羽状に沈線で充填する。454は沈線による懸垂文を垂下させる。455は条線文を地文として縦位に充填する。沈線により懸垂文と波状懸垂文を垂下させる。456は沈線により意匠文を施す。457は胴部文様帯の区画を横走沈線文で施す。458は沈線による懸垂文を垂下させる。459は隆帯による区画文を配す。460は器台形土器である。

**６号墳**（第192図461～464）

461は頸部無文帯を設け、胴部文様帯は微隆帯による区画文を施す。462は３単位の波状口縁を呈する深鉢形土器。体部文様は上下二段で構成され、上部文様は波状文を施す。下部文様はアーチ状区画文を上部の波形の谷部と相対して配し、波形の山部より蕨手状懸垂文を垂下させている。

463は沈線による楕円区画文が配され、区画内を縄文で充填する。464はなぞりの沈線により区画文を施す。

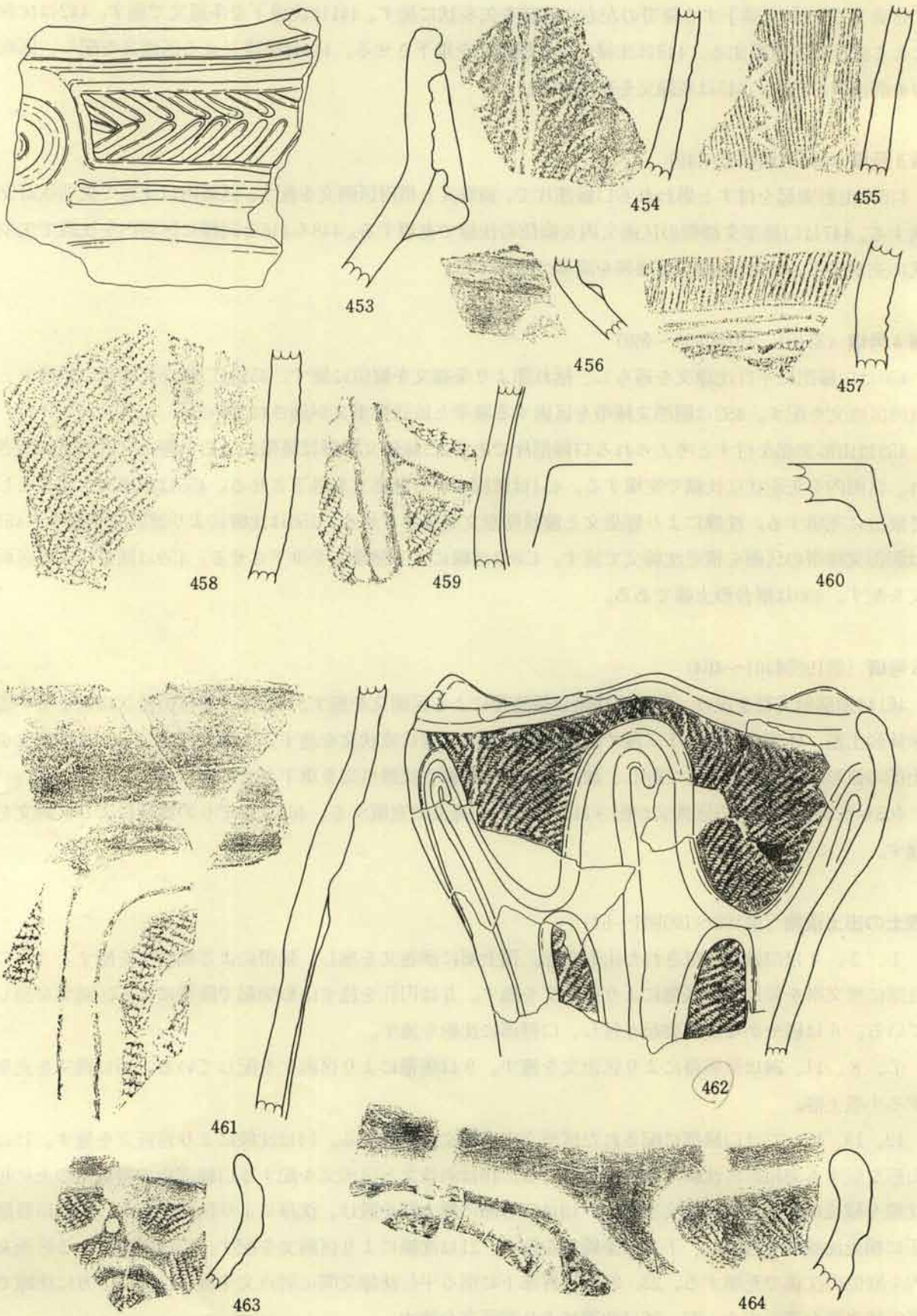
**表土の出土遺物**（第193～195図1～62）

１、２、４は口縁部に付された山形突起。頂上部に渦巻文を施し、隆帯による渦巻文を配す。３は口唇部に無文帯を設け、微隆帯により区画文を施す。５は円孔を施す山形突起で隆帯による区画文を施している。６は緩やかな山形突起を付し、口唇部に沈線を施す。

７、８、11、24は微隆帯により区画文を施す。９は隆帯により区画文を配している。10は縄文を充填する小型土器。

12、13、18、33は口縁部に配された区画文内を縄文で充填する。14は沈線により意匠文を施す。15は山形を呈する突起部に沈線で文様を意匠する。16は渦巻文と区画文を配する口縁部片で渦巻文の上に短沈線を縦位に施す。17は縄文を施す。19は口唇部に無文部を設け、沈線により区画を施す。20は口唇部下に横走沈線文を巡らし、下方に条線文を施す。21は沈線により区画文を配す。22は隆帯による区画文内を縦位の沈線で充填する。23、26は口唇部下に巡る平行沈線文間に列点文を施し、23は下方に沈線で蕨手状文等を意匠する。27、28は沈線により意匠文を施す。

29は隆帯により渦巻文を施す。30は口唇部に無文部を設け、下方を縄文で充填する。31は口唇部下に




第192図　漏４号墳(2)、漏６号墳出土遺物

巡る平行沈線文間に交互刺突文を施す。32は沈線により波状文を施す。33は沈線により区画文を施し区画内を縄文で充塡する。35は口唇部下に巡る平行沈線文間に刺突文を施し、沈線で波状文等を意匠する。36は頸部無文帯を有し、口縁部文様帯は隆帯により渦巻文と区画文を配している。区画内は沈線で充塡する。37は口唇部に沈線で区画された無文帯を設け、下方を条線文で縦位に施す。

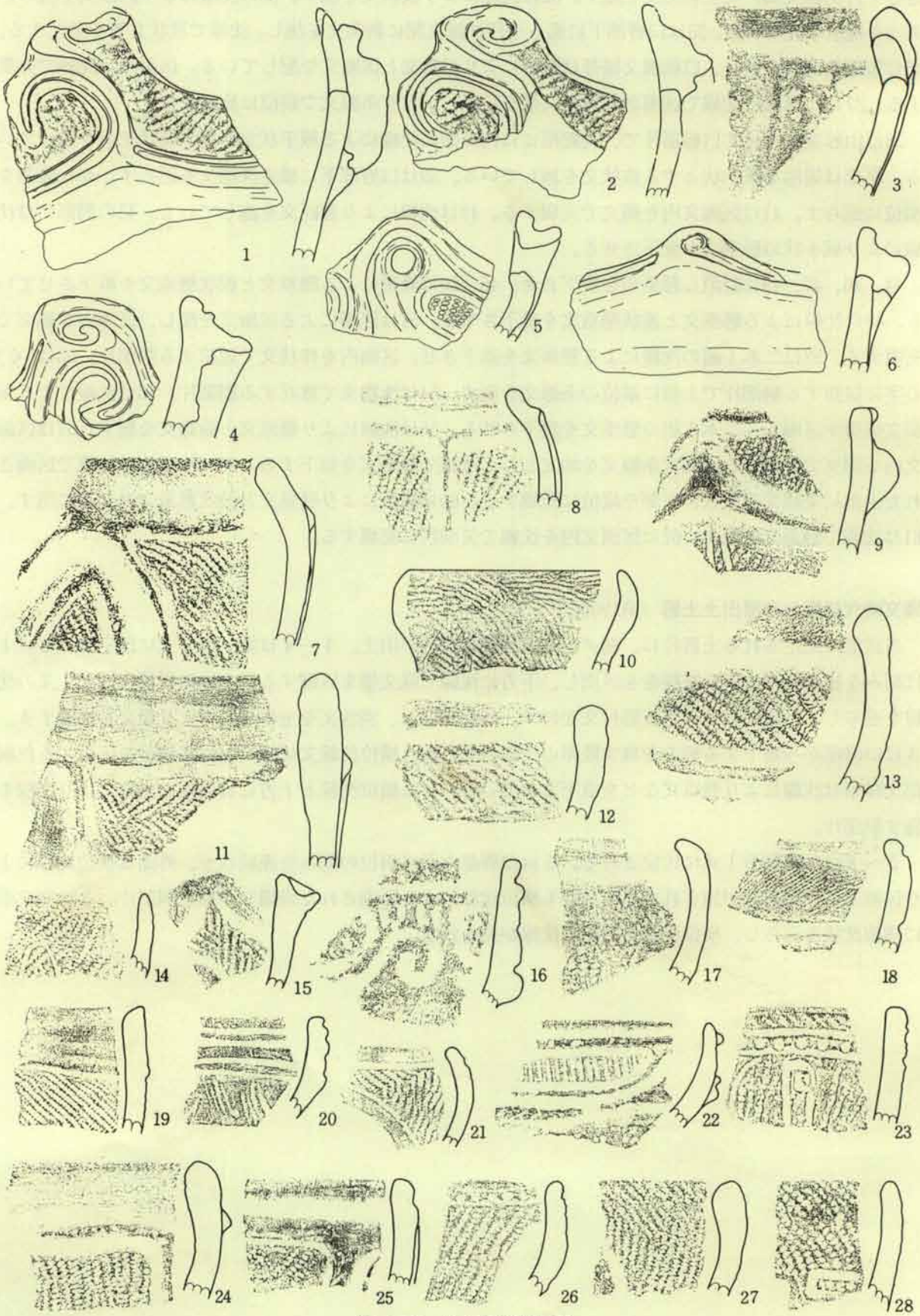
38は山形突起を付す口縁部片で、突起部には内外面に沈線による蕨手状文を施す橋状把手を設けている。胴部は端部を蕨手状とする波状文を施している。39は口唇部下に横走沈線文を巡らす。40は隆帯を横位に巡らす。41は区画文内を縄文で充塡する。42は沈線により意匠文を施している。43の胴部には沈線により蕨手状の懸垂文を垂下させる。

44、46、47、49は磨消し懸垂帯を垂下させ、45、50は隆帯による懸垂文と波状懸垂文を垂下させている。48は沈線による懸垂文と波状懸垂文を垂下させる。51は隆帯による区画文を配し、区画内を縄文で充塡する。52は二本１組の沈線による懸垂文を垂下させ、区画内を枠状文で連結する胴部片。53は「く」の字に屈曲する胴部片で上部に縦位の条線文を施す。54は沈線文で意匠する胴部片。55は沈線により胴部文様帯を区画し、二本１組の懸垂文を垂下させる。56は沈線により懸垂文と曲線文を施す。57は区画文内を縄文で充塡する。58は条線文を地文とし、沈線で懸垂文を垂下する。59はなぞりの沈線で区画された上部に条線文を波状、下部を縦位に充塡する。60は隆帯により懸垂文と波状懸垂文を交互に施す。61は沈線で懸垂文を施す。62は区画文内を沈線で矢羽状に充塡する。

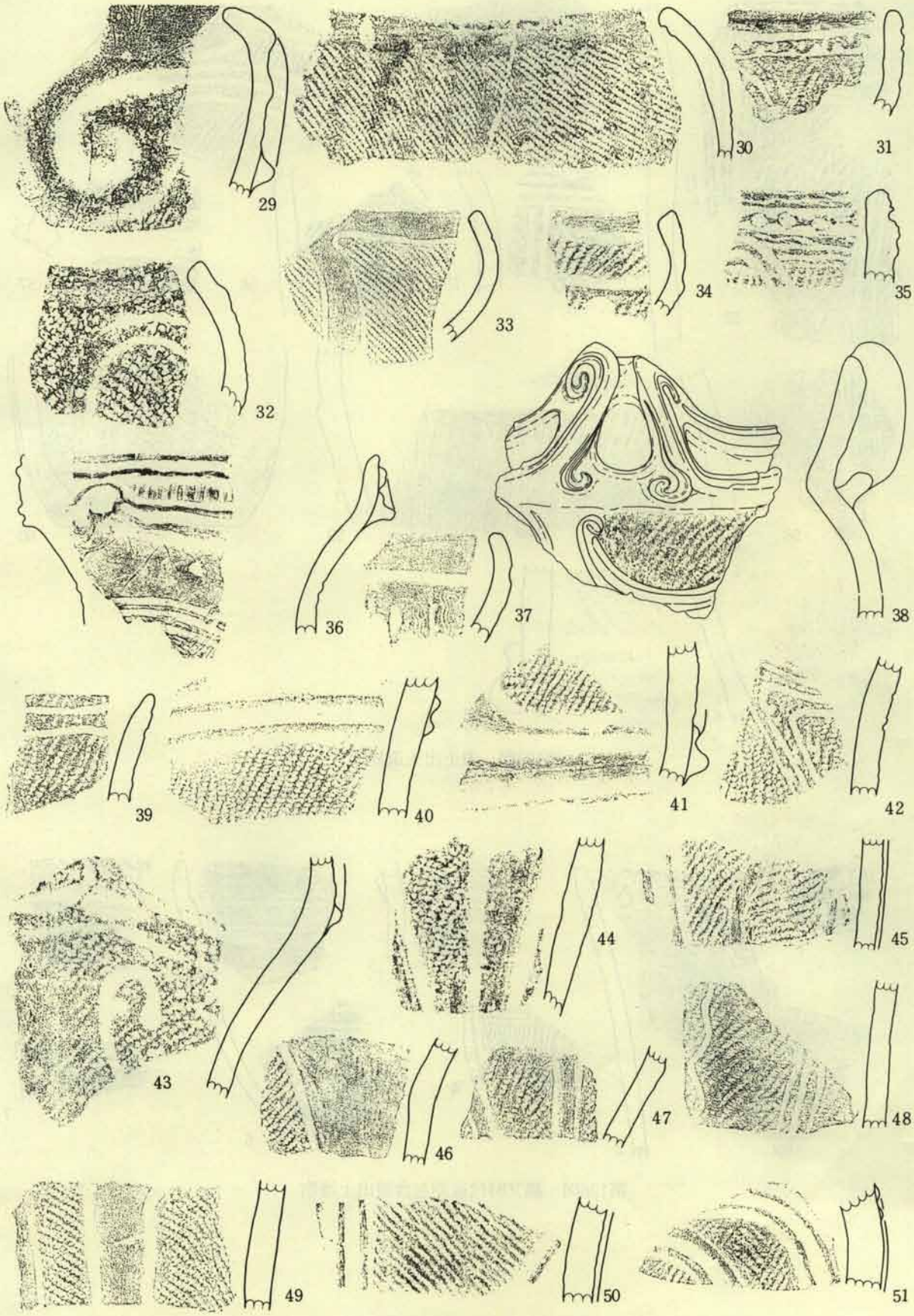
**縄文時代後期包含層出土土器**（第196図１～７）

当該期に比定される土器片は、堀ノ内式と加曽利Ｂ式が出土。１～４は堀ノ内２式に比定される。１は刻みを施す隆帯により文様帯を区画し、下方に沈線で縄文帯を区画する。２は口唇部内面に１条の沈線を巡らし、外面には８の字状貼付文を付す。体部文様は、渦巻文を主体として入り組文を構成する。３は口縁部から垂下する刻みを施す隆帯の一部が見られ、横位沈線文により胴部文様帯を区画する。胴部文様帯は沈線により懸垂文などを垂下させている。４は横位沈線と下方には曲線と直線により文様を施す胴部片。

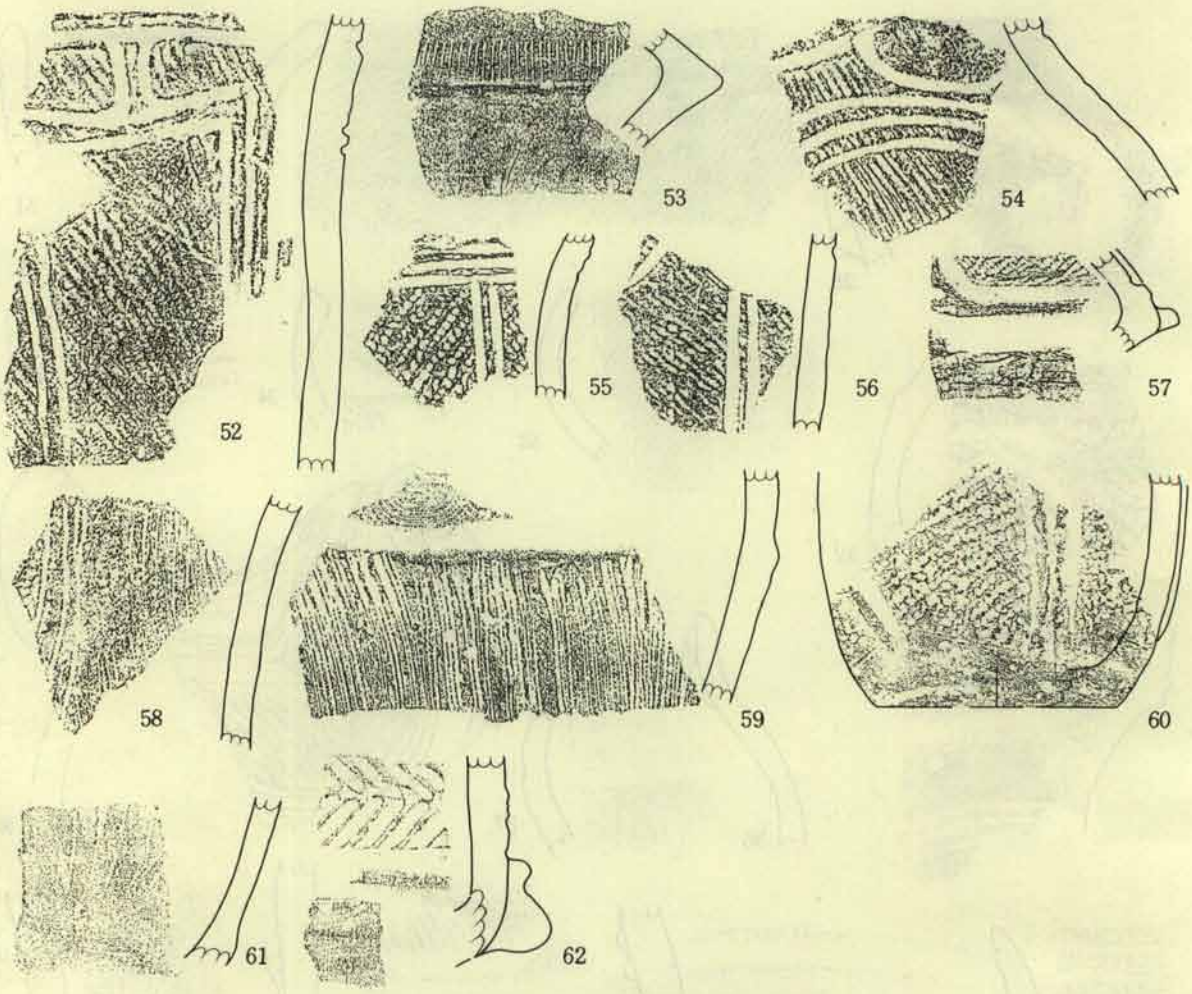
５～８は加曽利Ｂ１式に比定される。５は口唇部内面に斜位の刻みを連続させ、外面は横位沈線により区画された帯縄文が施されている。６も横位沈線により区画された帯縄文が巡る胴部片。７は縄文帯に横位沈線を巡らし、横位沈線を区切る沈線が見られる。



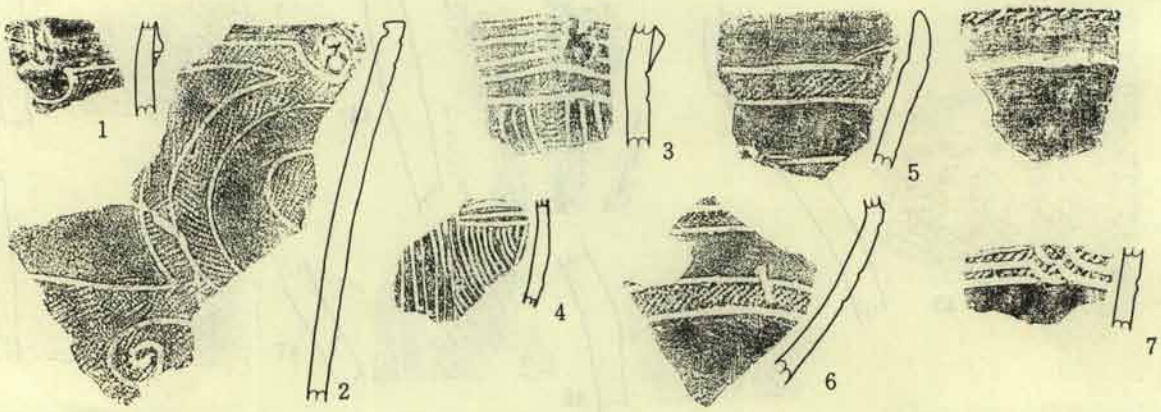

第193図　表土出土遺物(1)




第194図　表土出土遺物(2)




第195図　表土出土遺物(3)




第196図　縄文時代後期包含層出土遺物

## 第７項　石器

### 打製石斧一覧表

| No. | 出土位置 | 形状 | 長さ | 幅 | 重さ | 石材 | 図版番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | Ｉ３Ｇ | 短冊形 | 10.1 | 4.4 | 85 | 灰安 | |
| 2 | Ｊ５Ｇ | 〃 | 15.6 | 5.0 | 213 | 変質頁 | |
| 3 | 〃 | 〃 | 12.4 | 4.8 | 150 | 黒頁 | |
| 4 | 10H | 撥形 | 11.2 | 5.2 | 174 | 〃 | |
| 5 | 漏１墳周 | | (11.5) | ( 3.9) | 162 | 〃 | |
| 6 | Ｊ３Ｇ | 撥形 | 10.7 | 4.3 | 87 | 〃 | |
| 7 | Ｊ５Ｇ | | 10.3 | 5.0 | 82 | 灰安 | |
| 8 | 表採 | 短冊形 | 9.7 | 3.9 | 39 | 黒頁 | |
| 9 | Ｊ５Ｇ | 撥形 | 11.7 | 6.3 | 101 | 〃 | |
| 10 | 〃 | 短冊形 | 11.5 | 4.0 | 79 | 〃 | |
| 11 | 表採 | 〃 | 11.7 | 5.1 | | | |
| 12 | Ｊ５Ｇ | 〃 | 11.1 | 3.7 | 81 | 〃 | |
| 13 | 漏１墳周 | 撥形 | 11.2 | 4.9 | 117 | 〃 | |
| 14 | Ｊ４Ｇ | 短冊形 | 11.2 | 4.9 | 103 | 変質玄 | |
| 15 | 漏１墳周 | 〃 | 10.7 | 4.6 | 103 | 黒頁 | |
| 16 | 表採 | 撥形 | 9.4 | 4.5 | 70 | 〃 | |
| 17 | Ｉ３Ｇ | 〃 | 10.0 | 4.5 | 67 | 〃 | |
| 18 | Ｈ２Ｇ | 〃 | 12.4 | 4.7 | 136 | 細安 | |
| 19 | 漏１墳周 | 〃 | ( 9.5) | 4.8 | 55 | 黒頁 | |
| 20 | 15H | 短冊形 | 12.5 | 4.9 | 129 | 〃 | |
| 21 | Ｊ３Ｇ | 撥形 | 7.5 | 5.2 | 61 | 〃 | |
| 22 | 22H | 〃 | 7.5 | 4.6 | 71 | 〃 | |
| 23 | 37H | 短冊形 | 8.9 | 4.0 | 32 | 〃 | |
| 24 | Ｉ３Ｇ | 〃 | 11.3 | 4.4 | 84 | 〃 | |
| 25 | 表採 | 撥形 | 10.5 | 5.8 | 120 | 〃 | |
| 26 | Ｈ２Ｇ | | 5.6 | 4.1 | 51 | 〃 | |
| 27 | Ｊ４Ｇ | 短冊形 | 10.9 | 4.4 | 80 | 〃 | |
| 28 | 34H | | 7.4 | 5.4 | 89 | 〃 | |
| 29 | 37H | 撥形 | 8.0 | 5.2 | 51 | 〃 | |
| 30 | Ｊ４Ｇ | | 9.4 | 2.9 | 27 | 〃 | |
| 31 | Ｈ２Ｇ | 短冊形 | 11.0 | 5.0 | 121 | 〃 | |
| 32 | 58H | 〃 | 8.8 | 4.2 | 57 | 〃 | |
| 33 | Ｊ５Ｇ | 〃 | 8.5 | 4.0 | 56 | 〃 | |
| 34 | 表採 | 〃 | 12.3 | 5.5 | 113 | 粗粒安 | |
| 35 | Ｈ６Ｇ | 〃 | 11.9 | 4.4 | 73 | 〃 | |
| 36 | 漏３墳 | 分銅形 | 11.2 | 8.1 | 240 | 黒頁 | |
| 37 | 49H | 短冊形 | 13.9 | 5.3 | 125 | 〃 | |
| 38 | 49H | 撥形 | 13.1 | 5.1 | 189 | 灰安 | |
| 39 | 59H | 〃 | 12.6 | 5.7 | 161 | 黒頁 | |
| 40 | Ｆ７Ｇ | 〃 | 9.5 | 4.8 | 96 | 〃 | |
| 41 | Ｌ６Ｇ | 短冊形 | 9.7 | 3.9 | 82 | 〃 | 197図１ |
| 42 | Ｎ９Ｇ | 〃 | 10.6 | 4.1 | 78 | 〃 | 〃 ２ |
| 43 | Ｈ７Ｇ | 分銅形 | 9.1 | 4.0 | 49 | 〃 | 〃 ３ |
| 44 | 28H | | 7.1 | 5.6 | 95 | 〃 | 〃 ４ |
| 45 | Ｊ３Ｇ | 撥形 | 7.5 | 5.4 | 64 | 変質玄 | 〃 ５ |
| 46 | Ｉ３Ｇ | 〃 | 7.3 | 4.7 | 56 | 黒頁 | 〃 ６ |
| 47 | Ｈ２Ｇ | 短冊形 | 11.1 | 4.4 | 85 | 細安 | 〃 ７ |
| 48 | Ｈ７Ｇ | 〃 | 12.4 | 4.2 | 107 | 黒頁 | 〃 ８ |
| 49 | 20H | 撥形 | 11.3 | 4.9 | 110 | 粗粒安 | 〃 ９ |
| 50 | Ｈ７Ｇ | 短冊形 | 11.1 | 4.3 | 89 | 黒頁 | 〃 10 |
| 51 | 41H | 〃 | 13.4 | 4.7 | 160 | 細安 | 〃 11 |
| 52 | Ｎ８Ｇ | 〃 | 10.9 | 4.0 | 95 | 黒頁 | 〃 12 |
| 53 | Ｊ６Ｇ | 撥形 | 9.4 | 4.5 | 43 | 〃 | 〃 13 |
| 54 | 52H | 〃 | 11.1 | 4.5 | 67 | 〃 | 〃 14 |
| 55 | ５Ｈ | 〃 | 8.7 | 5.2 | 98 | 〃 | 〃 15 |
| 56 | 16H | 短冊形 | 11.0 | 4.3 | 102 | 〃 | 〃 16 |
| 57 | 44H | 〃 | 11.2 | 4.2 | 70 | 〃 | 〃 17 |
| 58 | 25H | 撥形 | 9.3 | 4.4 | 7.1 | 〃 | 〃 18 |
| 59 | 21H | 短冊形 | 10.0 | 3.1 | 61 | 〃 | 〃 19 |
| 60 | Ｊ６Ｇ | 撥形 | 9.7 | 5.1 | 99 | 〃 | 〃 20 |
| 61 | 49H | 分銅形 | 11.5 | 6.8 | 121 | 〃 | 198図21 |
| 62 | Ｆ６Ｇ | 撥形 | 7.1 | 4.3 | 41 | 〃 | 〃 22 |
| 63 | 59H | 分銅形 | 12.4 | 5.9 | 217 | 〃 | 〃 23 |
| 64 | 57H | 短冊形 | 10.2 | 3.9 | 53 | 〃 | 〃 24 |
| 65 | Ｈ２Ｇ | 〃 | 11.9 | 4.8 | 75 | 細安 | 〃 25 |
| 66 | 49H | 〃 | 9.0 | 4.3 | 63 | 黒頁 | 〃 26 |
| 67 | 56H | 撥形 | 9.1 | 5.0 | 100 | 〃 | 〃 27 |
| 68 | Ｋ６Ｇ | 短冊形 | 12.6 | 5.1 | 183 | 灰安 | 〃 28 |
| 69 | 20H | 〃 | 14.4 | 5.1 | 223 | 〃 | 〃 29 |
| 70 | 33H | 撥形 | 9.5 | 4.8 | 85 | 細安 | 〃 30 |
| 71 | 26H | 短冊形 | 11.8 | 4.5 | 128 | 〃 | 〃 31 |
| 72 | Ｉ４Ｇ | 〃 | 9.4 | 3.6 | 64 | 黒頁 | 〃 32 |
| 73 | Ｌ６Ｇ | 〃 | 11.1 | 4.5 | 81 | 〃 | 〃 33 |
| 74 | 表採 | 〃 | 10.1 | 4.0 | 86 | 〃 | 〃 34 |
| 75 | 13H炉 | 〃 | 13.0 | 5.5 | 138 | 〃 | 〃 35 |
| 76 | 30H | 〃 | 14.4 | 5.2 | 197 | 灰安 | 〃 36 |
| 77 | ４Ｈ | 撥形 | 10.1 | 5.1 | 86 | 〃 | 〃 37 |
| 78 | Ｉ６Ｇ | 〃 | 10.5 | 4.9 | 76 | 黒頁 | 〃 38 |
| 79 | Ｉ６Ｇ | 〃 | 10.6 | 4.3 | 75 | 〃 | 〃 39 |
| 80 | 41H | 短冊形 | 10.3 | 3.7 | 86 | 細安 | 〃 40 |
| 81 | 20H | 撥形 | 10.0 | 5.5 | 63 | 黒頁 | 199図41 |
| 82 | 57H | 短冊形 | 10.8 | 4.5 | 104 | 〃 | 〃 42 |
| 83 | ４Ｈ | 分銅形 | 10.2 | 5.0 | 119 | 〃 | 〃 43 |
| 84 | Ｈ３Ｇ | 撥形 | 10.2 | 4.8 | 81 | 〃 | 〃 44 |
| 85 | 漏１墳周 | 〃 | 10.3 | 4.6 | 65 | 〃 | 〃 45 |
| 86 | N10G | 〃 | 10.4 | 4.9 | 60 | 灰安 | 〃 46 |
| 87 | 表土 | 短冊形 | 10.5 | 4.4 | 84 | 〃 | 〃 47 |
| 88 | 15H | 撥形 | 8.9 | 5.2 | 81 | 〃 | 〃 48 |
| 89 | 57H | 〃 | 10.0 | 4.5 | 68 | 〃 | 〃 49 |
| 90 | Ｈ３Ｇ | 短冊形 | 12.3 | 4.2 | 135 | 〃 | 〃 50 |
| 91 | 28H | 〃 | 10.1 | 4.1 | 52 | 〃 | 〃 51 |
| 92 | 26H | 〃 | 9.3 | 3.0 | 40 | 黒頁 | 〃 52 |
| 93 | 26H | 撥形 | 10.9 | 5.1 | 105 | 〃 | 〃 53 |
| 94 | 59H | 短冊形 | 9.9 | 4.3 | 86 | 〃 | 〃 54 |
| 95 | 16H | 〃 | 11.2 | 3.8 | 62 | 〃 | 〃 55 |
| 96 | 27H | 〃 | 10.2 | 3.8 | 45 | 〃 | 〃 56 |
| 97 | ６墳周 | 〃 | 9.0 | 4.2 | 48 | 〃 | 〃 57 |
| 98 | ＪＤ70 | 撥形 | 11.7 | 5.1 | 83 | 灰安 | 〃 58 |
| 99 | 表土 | 〃 | 11.0 | 4.9 | 110 | 黒頁 | 〃 59 |
| 100 | 28H | 短冊形 | 10.3 | 4.5 | 87 | 〃 | 〃 60 |
| 101 | 13H | 〃 | 11.9 | 4.6 | 165 | ホルンフェルス | 200図61 |
| 102 | 57H | 〃 | 10.1 | 4.2 | 97 | 灰安 | 〃 62 |
| 103 | Ｍ８Ｇ | 分銅形 | 15.2 | 7.2 | 302 | 〃 | 〃 63 |
| 104 | K12G | 〃 | 12.5 | 5.5 | 152 | 〃 | 〃 64 |
| 105 | ＪＤ39 | 短冊形 | 12.1 | 4.5 | 117 | 珪質頁 | 〃 65 |
| 106 | 表土 | 分銅形 | 9.4 | 7.2 | 110 | 黒頁 | 〃 66 |
| 107 | 57H | 撥形 | 10.4 | 5.7 | 130 | 〃 | 〃 67 |
| 108 | 表土 | 〃 | 9.3 | 5.1 | 94 | 〃 | 〃 68 |
| 109 | 漏１墳周 | | 12.8 | 4.7 | | 〃 | |
| 110 | Ｌ６Ｇ | 短冊形 | 8.3 | 3.5 | 36 | 黒色頁 | 220図69 |

| No. | 出土位置 | 形状 | 長さ | 幅 | 重さ | 石材 | 図版番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 111 | L 6 G | 〃 | 11.0 | 4.5 | 97 | 灰安 | 〃 70 |
| 112 | 37H | 分銅形 | 9.7 | 4.4 | 88 | 黒頁 | 〃 71 |
| 113 | K 5 G | 短冊形 | 9.7 | 3.8 | 50 | 黒頁 | 〃 72 |
| 114 | 13Hpit5 | 撥形 | 9.5 | 4.5 | 75 | 黒色頁 | 〃 73 |
| 115 | J 4 G | 短冊形 | 10.2 | 4.1 | 100 | 〃 | 〃 74 |
| 116 | 表土 | 〃 | 11.0 | 4.8 | 133 | 〃 | 〃 75 |
| 117 | H 2 G | 〃 | 10.9 | 4.7 | 114 | ホルンフェルス | 〃 76 |
| 118 | 表土 | 〃 | 13.5 | 4.6 | 116 | 黒色頁 | 〃 77 |
| 119 | 漏1墳周 | 〃 | 10.4 | 4.0 | 69 | 黒頁 | 〃 78 |
| 120 | H 3 G | 〃 | 11.8 | 4.5 | 135 | 〃 | 〃 79 |
| 121 | K 5 G | 分銅形 | 10.6 | 4.9 | 111 | 細安 | 〃 80 |
| 122 | 漏7墳N | 〃 | 7.2 | 4.8 | 50 | 黒頁 | 201図81 |
| 123 | 漏1墳NE | 短冊形 | 9.0 | 3.7 | 51 | 〃 | 〃 82 |
| 124 | 36H炉5 | 〃 | 9.7 | 4.4 | 96 | 灰安 | 〃 83 |
| 125 | 41H | 〃 | 12.8 | 4.7 | 132 | 黒頁 | 〃 84 |
| 126 | I 3 G | 〃 | 8.4 | 3.9 | 60 | 〃 | 〃 85 |
| 127 | J 4 G | 〃 | 11.2 | 4.8 | 106 | 細安 | 〃 86 |
| 128 | J 4 G | 分銅形 | 10.5 | 6.8 | 143 | 黒頁 | 〃 87 |
| 129 | 漏1墳周 | 〃 | 11.6 | 4.6 | 86 | 〃 | 〃 88 |
| 130 | K 5 G | | 10.2 | 7.0 | 239 | 灰安 | 〃 89 |
| 131 | J 4 G | 撥形 | 9.9 | 4.0 | 40 | 細安 | 〃 90 |
| 132 | J 3 G | 〃 | 9.8 | 4.4 | 54 | 黒頁 | 〃 91 |
| 133 | J 3 G | | 12.3 | 4.9 | 92 | 細安 | 〃 92 |
| 134 | 表土 | 短冊形 | 9.9 | 4.7 | 74 | 灰安 | 〃 93 |
| 135 | 漏1堀S | 〃 | 11.7 | 4.3 | 122 | 黒頁 | 〃 94 |
| 136 | J 5 G | | 7.8 | 4.1 | 42 | 〃 | 〃 95 |
| 137 | 1H | 撥形 | 7.5 | 3.5 | 40 | 珪質頁 | 〃 96 |
| 138 | 表土 | 短冊形 | 10.1 | 4.0 | 55 | ホルンフェルス | 〃 97 |
| 139 | 5H | 撥形 | 10.1 | 4.8 | 119 | 黒頁 | 〃 98 |
| 140 | I 3 G | 短冊形 | 13.4 | 6.0 | 339 | 細安 | 〃 99 |
| 141 | 32H | 〃 | 10.2 | 4.6 | 80 | 粗粒安 | 〃 100 |
| 142 | 漏1周W | 撥形 | 8.1 | 4.3 | 43 | 黒頁 | 202図101 |
| 143 | I 3 G | 短冊形 | 10.0 | 4.5 | 68 | 緑色片 | 〃 102 |
| 144 | I 3 G11 | 撥形 | ( 9.0) | ( 5.5) | 134 | 黒頁 | 〃 103 |
| 145 | I 4 G | 短冊形 | ( 9.1) | ( 4.8) | 93 | 細安 | 〃 104 |
| 146 | 27H | 〃 | 10.9 | 4.3 | 73 | 黒頁 | 〃 105 |
| 147 | 32H | 〃 | 10.9 | 5.5 | 110 | 珪質頁 | 〃 106 |
| 148 | 47H | 〃 | 10.0 | 3.9 | 56 | 黒頁 | 〃 107 |
| 149 | 47H | 分銅形 | 8.2 | 4.4 | 46 | 灰安 | 〃 108 |
| 150 | 6墳周N | 短冊形 | (11.1) | ( 4.3) | 101 | 〃 | 〃 109 |
| 151 | 26H | 〃 | (11.8) | ( 5.4) | 134 | 〃 | 〃 110 |
| 152 | N 9 G | 〃 | 12.2 | 4.6 | 158 | 黒頁 | 〃 111 |
| 153 | 11H | 撥形 | 8.5 | 5.3 | 87 | 〃 | 〃 112 |
| 154 | 表土 | 短冊形 | 10.1 | 4.1 | 88 | 〃 | 〃 113 |
| 155 | 50H | 〃 | 7.6 | 4.4 | 49 | 細安 | 〃 114 |
| 156 | K 5 G | 〃 | 9.7 | 4.8 | 78 | 黒頁 | 〃 115 |
| 157 | K 6 G | 撥形 | 13.1 | 5.5 | 180 | 〃 | 〃 116 |
| 158 | 28H | 分銅形 | 13.2 | 6.6 | 195 | 〃 | 〃 117 |
| 159 | J 5 G | 短冊形 | 10.2 | 4.2 | 67 | 〃 | 〃 118 |
| 160 | 漏3墳丘 | 〃 | 8.5 | 3.4 | 43 | 灰安 | 〃 119 |
| 161 | K 5 G | 分銅形 | 13.2 | 5.9 | 140 | ホルンフェルス | 〃 120 |
| 162 | K 5 G | 〃 | 12.6 | 6.2 | 141 | 黒頁 | 203図121 |
| 163 | 表土 | | 11.6 | 4.3 | 80 | 〃 | |
| 164 | 11H | 短冊形 | ( 9.5) | ( 4.6) | 117 | 〃 | 〃 122 |
| 165 | K 5 G | 〃 | 11.7 | 5.1 | 86 | 〃 | 〃 123 |
| 166 | K 5 G | 〃 | 14.0 | 4.3 | 114 | 〃 | 〃 124 |
| 167 | K 5 G | 〃 | 11.6 | 4.6 | 113 | 〃 | 〃 125 |
| 168 | K 6 G | 分銅形 | 13.5 | 6.6 | 321 | 変質玄 | 〃 126 |
| 169 | K 5 G | 短冊形 | 11.4 | 5.5 | 149 | 〃 | 〃 127 |
| 170 | K 5 G | 〃 | 10.1 | 4.3 | 82 | 灰安 | 〃 128 |
| 171 | I 3 G | 〃 | ( 9.6) | ( 4.4) | 90 | 黒頁 | 〃 129 |
| 172 | K 6 G | 〃 | 10.5 | 4.4 | 58 | 〃 | 〃 130 |
| 173 | 57H | 撥形 | (10.1) | ( 6.2) | 124 | 灰安 | 〃 131 |
| 174 | I 3 G | 短冊形 | 9.3 | 4.3 | 64 | 〃 | 〃 132 |
| 175 | K 4 G | 〃 | 10.1 | 4.0 | 69 | 黒頁 | 〃 133 |
| 176 | 13H | 〃 | 11.9 | 4.9 | 112 | 細安 | 〃 134 |
| 177 | K 5 G | 撥形 | 11.7 | 5.5 | 89 | 黒頁 | 〃 135 |
| 178 | K 6 G | 短冊形 | (12.8) | ( 4.2) | 81 | 灰安 | 〃 136 |
| 179 | 漏7墳 | 〃 | 14.3 | 4.7 | 160 | 粗粒安 | 〃 137 |
| 180 | K 6 G | 〃 | 11.0 | 4.5 | 120 | 細安 | 〃 138 |
| 181 | K 5 G | 短冊形 | 10.1 | 3.4 | 28 | 黒色頁 | 〃 139 |
| 182 | 漏1周NW | 〃 | 9.9 | 4.0 | 80 | 点紋頁 | 〃 140 |
| 183 | 44H | 〃 | 10.1 | 4.3 | 87 | 黒色頁 | 204図141 |
| 184 | M 9 G | 〃 | 13.8 | 5.0 | 232 | 珪質頁 | 〃 142 |
| 185 | 表土 | | 10.5 | 4.9 | 86 | 黒頁 | 〃 143 |
| 186 | M 8 G | | 14.0 | 5.9 | 104 | 黒頁 | 〃 144 |
| 187 | J D14 | 撥形 | 12.8 | 5.8 | 182 | 〃 | 〃 145 |
| 188 | 漏2周N | 〃 | 8.9 | 4.9 | 58 | 灰安 | 〃 146 |
| 189 | 44H | 短冊形 | (10.3) | ( 4.7) | 106 | 黒頁 | 〃 147 |
| 190 | I 5 G | 〃 | 10.2 | 4.0 | 67 | 灰安 | 〃 148 |
| 191 | M 6 G | 〃 | 10.3 | 4.4 | 85 | 黒頁 | 〃 149 |
| 192 | 漏2周 | 〃 | 11.1 | 4.9 | 101 | 〃 | 〃 150 |
| 193 | 漏1周SE | 〃 | 11.1 | 5.5 | 166 | 細安 | 〃 151 |
| 194 | 漏2墳 | 撥形 | 8.8 | 5.0 | 67 | 黒頁 | 〃 152 |
| 195 | M 6 G | | 11.5 | 5.6 | 70 | 〃 | 〃 153 |
| 196 | 表土 | | 9.2 | 3.8 | 51 | 灰安 | 〃 154 |
| 197 | 表土 | 短冊形 | 10.4 | 4.4 | 73 | 細安 | 〃 155 |
| 198 | J 6 G | 〃 | 10.5 | 4.5 | 120 | 灰安 | 〃 156 |
| 199 | 34H | 撥形 | 10.8 | 4.4 | 61 | | |
| 200 | 6墳周S | 〃 | 10.6 | 5.0 | 101 | 細安 | |
| 201 | 34H | 短冊形 | 12.5 | 4.3 | 138 | 黒頁 | |
| 202 | 漏2墳周 | 撥形 | ( 9.2) | ( 5.1) | 81 | 〃 | |
| 203 | 漏2周N | 〃 | 21.1 | 7.8 | 324 | 〃 | |
| 204 | 32H | 〃 | 11.7 | 5.0 | 120 | 〃 | |
| 205 | 34H | 短冊形 | 13.2 | 4.1 | 112 | 灰安 | |
| 206 | 14H | 〃 | 9.5 | 3.4 | 39 | 黒頁 | |
| 207 | J D14 | 分銅形 | (11.4) | ( 6.7) | 187 | 砂岩 | |
| 208 | 30H | 撥形 | 11.9 | 5.0 | 115 | 黒頁 | |
| 209 | 20H | 短冊形 | 9.3 | 4.1 | 50 | 〃 | |
| 210 | 23H | 撥形 | 10.1 | 6.4 | 149 | 〃 | |
| 211 | 31H | 短冊形 | ( 7.3) | ( 4.3) | 47 | 〃 | |
| 212 | 37H | 〃 | 10.3 | 4.3 | 80 | 〃 | |
| 213 | 6墳周W | 撥形 | 15.2 | 6.8 | 330 | 変質玄 | |
| 214 | 58H | 短冊形 | 9.5 | 4.5 | 78 | 細安 | |
| 215 | 26H | 〃 | (10.2) | ( 5.1) | 147 | ホルンフェルス | |
| 216 | 32H | 〃 | 12.8 | 4.6 | 134 | 黒頁 | |
| 217 | I 3 G | 〃 | 11.3 | 5.1 | 119 | 砂岩 | |
| 218 | 10H | 〃 | 14.8 | 5.7 | 222 | 黒頁 | |
| 219 | 10H | 〃 | 12.7 | 5.2 | 213 | 灰安 | |
| 220 | 10H | 〃 | (10.0) | ( 3.9) | 64 | 黒頁 | |
| 221 | 58H | 〃 | 7.6 | 4.6 | 83 | ホルンフェルス | |
| 222 | 28H | 撥形 | 9.7 | 4.5 | 54 | 黒頁 | |
| 223 | 漏3墳 | 〃 | 7.0 | 4.0 | 37 | 〃 | |
| 224 | I 3 G | 短冊形 | 10.1 | 3.3 | 35 | 珪質頁 | |
| 225 | J 6 G | 撥形 | 11.2 | 5.7 | 128 | 粗粒安 | |
| 226 | 10H | 短冊形 | ( 8.0) | ( 5.0) | 86 | 黒頁 | |
| 227 | 28H | 〃 | (10.7) | ( 3.9) | 94 | 黒頁 | |
| 228 | 漏2周N | 〃 | 11.9 | 4.0 | 112 | 〃 | |
| 229 | 31H | 〃 | 10.0 | 3.9 | 58 | 〃 | |
| 230 | 31H | 撥形 | 10.6 | 5.0 | 57 | 〃 | |

| No. | 出土位置 | 形状 | 長さ | 幅 | 重さ | 石材 | 図版番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 231 | J 4 G | 〃 | ( 9.0) | ( 5.4) | 66 | 細安 | |
| 232 | I 5 G | 短冊形 | 12.7 | 5.0 | 120 | 〃 | |
| 233 | 6 墳周 | 撥形 | 11.6 | 4.6 | 71 | 黒頁 | |
| 234 | 23H | 〃 | 10.5 | 5.5 | 128 | 〃 | |
| 235 | H 2 G | 短冊形 | (10.5) | ( 5.2) | 134 | 細安 | |
| 236 | J D55 | 撥形 | (10.7) | ( 5.2) | 124 | 黒頁 | |
| 237 | 28H | 短冊形 | 10.1 | 4.0 | 70 | 灰安 | |
| 238 | 漏2周N | 〃 | 10.8 | 4.0 | 54 | 黒頁 | |
| 239 | 31H | 〃 | ( 9.8) | ( 4.5) | 52 | 〃 | |
| 240 | N 6 G | 〃 | 10.8 | 4.4 | 81 | 〃 | |
| 241 | K 6 G | 〃 | 10.7 | 3.5 | 68 | 黒頁 | |
| 242 | K 6 G | 〃 | 11.4 | 4.1 | 95 | 〃 | |
| 243 | K 4 G | 〃 | ( 8.2) | ( 4.1) | 75 | 〃 | |
| 244 | I 6 G | 撥形 | 9.2 | 5.0 | 99 | 〃 | |
| 245 | H 2 G | 〃 | 8.5 | 5.4 | 69 | 〃 | |
| 246 | 34H | 短冊形 | 10.6 | 4.3 | 80 | 〃 | |
| 247 | L 7 G | 撥形 | (13.3) | ( 5.5) | 160 | 灰安 | |
| 248 | K 6 G | 短冊形 | ( 6.2) | ( 3.5) | 38 | 〃 | |
| 249 | K 5 G | 〃 | (10.3) | ( 6.7) | 351 | 変質玄 | |
| 250 | L 6 G | 〃 | 9.2 | 3.8 | 46 | 黒頁 | |
| 251 | N 8 G | 撥形 | 8.0 | 4.0 | 47 | 〃 | |
| 252 | 集石3 | 短冊形 | (10.8) | ( 5.0) | 126 | 細安 | |
| 253 | 42H | 〃 | (13.2) | ( 5.1) | 140 | 〃 | |
| 254 | J D31 | 撥形 | (12.0) | ( 4.9) | 153 | 〃 | |
| 255 | 5 墳N | 〃 | ( 9.3) | ( 5.2) | 127 | 黒頁 | |
| 256 | 漏2墳 | 短冊形 | (10.4) | ( 4.9) | 123 | 灰安 | |
| 257 | 56H | 〃 | (12.1) | ( 4.2) | 92 | 〃 | |
| 258 | 1 M | 撥形 | ( 8.6) | ( 4.5) | 65 | 変質玄 | |
| 259 | K 6 G | 短冊形 | ( 7.4) | ( 4.1) | 42 | 黒頁 | |
| 260 | 50H17 | 撥形 | ( 9.8) | ( 6.7) | 180 | 〃 | |
| 261 | 5 墳N | 〃 | ( 7.4) | ( 5.0) | 60 | 〃 | |
| 262 | 表土 | | ( 8.5) | ( 4.8) | 68 | 〃 | |
| 263 | J 5 G | | ( 6.1) | ( 3.5) | 33 | 〃 | |
| 264 | 6 墳 | 短冊形 | ( 6.0) | ( 3.5) | 29 | 〃 | |
| 265 | 6 墳周 | | ( 7.0) | ( 4.7) | 76 | 珪質頁 | |
| 266 | J D47 | 撥形 | (11.0) | ( 5.4) | 81 | 黒頁 | |
| 267 | I 4 G | 短冊形 | 10.9 | 4.7 | 67 | 〃 | |
| 268 | 漏2周 | 〃 | 10.4 | 5.9 | 266 | 輝緑岩 | |
| 269 | 13H炉 | 撥形 | ( 6.9) | ( 4.0) | 44 | ホルンフェルス | |
| 270 | 表土 | 短冊形 | ( 7.2) | ( 3.4) | 25 | 黒頁 | |
| 271 | 19H | 撥形 | 10.5 | 5.7 | 93 | 〃 | |
| 272 | K 5 G | 〃 | ( 9.3) | ( 5.1) | 61 | 〃 | |
| 273 | N 9 G | 〃 | 9.0 | 5.4 | 91 | ホルンフェルス | |
| 274 | 19H | 撥形 | ( 9.4) | ( 4.4) | 65 | 黒頁 | |
| 275 | 56H | 短冊形 | (11.5) | ( 5.3) | 91 | 〃 | |
| 276 | J D89 | 〃 | (11.6) | ( 4.7) | 94 | 珪質頁 | |
| 277 | J D89 | 〃 | (10.8) | ( 4.7) | 109 | 黒頁 | |
| 278 | J 3 G | 〃 | ( 7.9) | ( 4.8) | 82 | 細安 | |
| 279 | K 5 G | 〃 | ( 8.2) | ( 5.0) | 94 | 灰安 | |
| 280 | 20H | 撥形 | (14.0) | ( 5.9) | 103 | 黒頁 | |
| 281 | 24H | 〃 | 10.4 | 4.8 | 67 | 細安 | |
| 282 | 表土 | 短冊形 | ( 8.3) | ( 3.3) | 42 | 黒頁 | |
| 283 | 28H | 撥形 | ( 9.5) | ( 4.5) | 60 | 〃 | |
| 284 | J D31 | 〃 | (10.6) | ( 5.6) | 110 | 〃 | |
| 285 | 36H 7 | 短冊形 | (11.3) | ( 4.4) | 81 | 〃 | |
| 286 | J 6 G | 〃 | ( 9.2) | ( 5.2) | 97 | 細安 | |
| 287 | H 2 G | 〃 | 10.1 | 3.7 | 59 | 黒頁 | |
| 288 | 13H | 〃 | ( 6.3) | ( 3.8) | 36 | 〃 | |
| 289 | J 3 G | 〃 | ( 9.7) | ( 4.4) | 124 | 灰安 | |
| 290 | 32H | 〃 | ( 7.9) | ( 4.0) | 77 | 黒頁 | |

| No. | 出土位置 | 形状 | 長さ | 幅 | 重さ | 石材 | 図版番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 291 | H 8 G | 〃 | ( 6.0) | ( 4.1) | 47 | 黒頁 | |
| 292 | I 3 G | 〃 | ( 8.0) | ( 4.3) | 88 | 〃 | |
| 293 | J 5 G | 〃 | ( 8.4) | ( 4.9) | 115 | 〃 | |
| 294 | 26H | 〃 | ( 9.5) | ( 6.1) | 225 | 細安 | |
| 295 | 漏1周 | 〃 | ( 6.1) | ( 3.7) | 32 | 灰安 | |
| 296 | 表土 | 〃 | ( 8.4) | ( 5.4) | 91 | 細安 | |
| 297 | H 4 G | 撥形 | ( 6.6) | ( 5.1) | 54 | 黒頁 | |
| 298 | 漏2周 | 〃 | ( 7.8) | ( 4.2) | 104 | 〃 | |
| 299 | 26H | 短冊形 | ( 9.2) | ( 4.4) | 52 | 〃 | |
| 300 | 24H | 分銅形 | ( 9.9) | ( 5.3) | 108 | 〃 | |
| 301 | 26H | 短冊形 | 7.8 | 4.9 | 93 | 〃 | |
| 302 | J 5 G | | ( 7.6) | ( 5.1) | 68 | 細安 | |
| 303 | 37H | 短冊形 | ( 8.0) | ( 3.8) | 42 | 黒頁 | |
| 304 | 40H | 〃 | ( 9.7) | ( 5.8) | 152 | 細安 | |
| 305 | 1 墳M | 分銅形 | ( 9.8) | ( 5.7) | 115 | 黒頁 | |
| 306 | I 3 G | 短冊形 | ( 8.0) | ( 3.8) | 45 | 〃 | |
| 307 | 32H | 〃 | ( 9.6) | ( 4.8) | 100 | 細安 | |
| 308 | 14H | 〃 | (10.6) | ( 4.9) | 144 | ホルンフェルス | |
| 309 | 56H | 〃 | ( 8.8) | ( 3.9) | 55 | 砂岩 | |
| 310 | 56H | 〃 | ( 8.7) | ( 4.7) | 120 | 黒頁 | |
| 311 | 10H | 撥形 | ( 8.7) | ( 4.6) | 63 | 灰安 | |
| 312 | 漏7墳 | 〃 | ( 7.7) | ( 5.7) | 102 | 細安 | |
| 313 | I 3 G | 〃 | ( 7.7) | ( 5.6) | 83 | 灰安 | |
| 314 | 12H | 〃 | ( 6.8) | ( 5.5) | 76 | 黒頁 | |
| 315 | L 8 G | 短冊形 | ( 9.0) | ( 4.6) | 89 | 〃 | |
| 316 | 20H | 短冊形 | ( 8.0) | ( 5.4) | 109 | 細安 | |
| 317 | 32H | 撥形 | ( 6.3) | ( 4.3) | 53 | 灰安 | |
| 318 | M 8 G | 〃 | (12.6) | ( 4.7) | 43 | 黒頁 | |
| 319 | 30H | 短冊形 | ( 8.7) | ( 5.0) | 104 | 細安 | |
| 320 | 6 墳周 | 撥形 | ( 7.8) | ( 6.1) | 111 | 黒頁 | |
| 321 | I 3 G | 短冊形 | ( 8.3) | ( 4.1) | 55 | 灰安 | |
| 322 | 49H | 撥形 | ( 8.5) | ( 4.4) | 48 | 黒頁 | |
| 323 | 表土 | 短冊形 | ( 6.7) | ( 4.3) | 71 | 細安 | |
| 324 | J 4 G | 〃 | ( 6.5) | ( 3.6) | 43 | 黒頁 | |
| 325 | J D70 | 〃 | (10.7) | ( 4.4) | 50 | 細安 | |
| 326 | J 4 G | 〃 | ( 8.7) | ( 3.5) | 48 | 黒頁 | |
| 327 | 漏1周 | | ( 8.0) | ( 5.5) | 45 | 〃 | |
| 328 | I 3 G | 短冊形 | ( 6.4) | ( 4.7) | 59 | 〃 | |
| 329 | 27H | 〃 | ( 9.2) | ( 4.4) | 51 | 灰安 | |
| 330 | K 6 G | 〃 | ( 7.3) | ( 4.7) | 64 | 細安 | |
| 331 | 9 H | 撥形 | ( 8.3) | ( 5.3) | 57 | 黒頁 | |
| 332 | K 6 G | 短冊形 | ( 8.2) | ( 4.8) | 75 | 〃 | |
| 333 | 32H | 〃 | ( 6.5) | ( 4.2) | 58 | 〃 | |
| 334 | J D31B | 〃 | ( 8.7) | ( 4.6) | 66 | 灰安 | |
| 335 | I 3 G | 〃 | ( 7.4) | ( 5.2) | 88 | 細安 | |
| 336 | J D89 | 撥形 | (10.8) | ( 4.4) | 108 | 黒頁 | |
| 337 | J 6 G | 短冊形 | (11.3) | ( 5.3) | 198 | 〃 | |
| 338 | 58H | 〃 | ( 7.5) | ( 4.1) | 59 | 〃 | |
| 339 | N 9 G | 〃 | ( 5.7) | ( 5.3) | 52 | 灰安 | |
| 340 | M 9 G | | ( 6.9) | ( 4.3) | 57 | 黒頁 | |
| 341 | J 5 G | 撥形 | ( 7.0) | ( 6.0) | 109 | 灰安 | |
| 342 | 26H | 〃 | (10.3) | ( 6.9) | 222 | 細安 | |
| 343 | 45H | 短冊形 | ( 8.1) | ( 4.1) | 78 | ホルンフェルス | |
| 344 | 漏2周E | 〃 | ( 7.1) | ( 5.2) | 91 | 黒頁 | |
| 345 | 28H | 〃 | ( 9.5) | ( 5.0) | 111 | 細安 | |
| 346 | 漏2周 | 〃 | ( 8.2) | ( 4.5) | 99 | 黒頁 | |
| 347 | J 4 G | 〃 | ( 9.1) | ( 4.0) | 79 | 〃 | |
| 348 | I 3 G | | ( 7.4) | ( 6.3) | 183 | 珪質頁 | |
| 349 | J 5 G | 短冊形 | ( 9.5) | ( 5.4) | 140 | 黒頁 | |
| 350 | I 3 G | 〃 | ( 9.2) | ( 4.6) | 118 | 粗粒安 | |

| No | 出土位置 | 形状 | 長さ | 幅 | 重さ | 石材 | 図版番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 351 | 漏1周 | 〃 | (7.5) | (3.9) | 119 | 変質玄 | |
| 352 | M9G | 〃 | (9.5) | (3.6) | 50 | 砂岩 | |
| 353 | H2G | 〃 | (7.7) | (4.1) | | | |
| 354 | 20H | 〃 | (8.2) | (4.2) | 73 | 黒頁 | |
| 355 | 表採 | 〃 | (6.3) | (4.1) | 39 | 〃 | |
| 356 | 36H | 〃 | (6.5) | (3.5) | 42 | 〃 | |
| 357 | J4G | 〃 | (7.9) | (4.5) | 92 | 細安 | |
| 358 | 13H | 〃 | (7.6) | (4.3) | 61 | 〃 | |
| 359 | JD60 | 〃 | (9.4) | (5.2) | 132 | 〃 | |
| 360 | H2G | 〃 | 13.5 | 4.2 | 105 | 黒頁 | |
| 361 | 漏2墳周E | 〃 | (6.3) | (3.4) | 35 | 〃 | |
| 362 | 53H | 撥形 | (7.5) | (7.2) | 118 | 灰安 | |
| 363 | 62H | 撥形 | (8.3) | (5.4) | 108 | 黒頁 | |
| 364 | L6G | 〃 | (7.8) | (5.5) | 70 | 〃 | |
| 365 | J5G | 短冊形 | (7.1) | (4.7) | 69 | 灰安 | |
| 366 | JD31 | 撥形 | (7.6) | (5.1) | 44 | 黒頁 | |
| 367 | 37H | 〃 | (7.3) | (4.5) | 67 | 〃 | |
| 368 | 42H | 短冊形 | (8.6) | (4.2) | 94 | 〃 | |
| 369 | 1墳M | 〃 | (3.8) | (3.9) | 48 | ホルンフェルス | |
| 370 | 49H | 〃 | (6.9) | (3.5) | 45 | 黒頁 | |
| 371 | I3G | 〃 | (9.1) | (4.3) | 103 | 砂岩 | |
| 372 | H2G | | (6.7) | (4.5) | 53 | 灰安 | |
| 373 | F7G | | (6.5) | (5.1) | 50 | 黒頁 | |
| 374 | 漏2墳下 | 短冊形 | (7.3) | (3.7) | 53 | 〃 | |
| 375 | L6G | 〃 | (6.2) | (4.1) | 54 | 〃 | |
| 376 | L6G | 〃 | (7.0) | (4.0) | 70 | 〃 | |
| 377 | 漏3周 | 〃 | (9.7) | (4.5) | 85 | 〃 | |
| 378 | H2G | 〃 | (7.3) | (4.8) | 63 | | |
| 379 | 表採 | 撥形 | (8.5) | (4.7) | 85 | 珪質頁 | |
| 380 | L6G | 短冊形 | (7.3) | (4.4) | 69 | 黒頁 | |
| 381 | H2G | 〃 | (5.2) | (4.4) | 36 | 細安 | |
| 382 | 31H | 〃 | (8.7) | (4.1) | 52 | | |
| 383 | 9H | 〃 | (6.9) | (4.1) | 56 | 黒頁 | |
| 384 | 表土 | 〃 | (6.4) | (4.7) | 109 | 灰安 | |
| 385 | 漏3墳 | 〃 | (7.7) | (4.9) | 103 | 黒頁 | |
| 386 | 16H | 〃 | (6.8) | (4.3) | 75 | 〃 | |
| 387 | K6G | 〃 | (7.0) | (4.1) | 83 | 〃 | |
| 388 | 表土 | 〃 | (8.9) | (4.2) | 71 | 〃 | |
| 389 | I3G | 〃 | (7.2) | (4.7) | 68 | 灰安 | |
| 390 | 44H | 〃 | (6.2) | (4.5) | 50 | 黒頁 | |
| 391 | 1墳M | 撥形 | (9.7) | (5.5) | 98 | 細安 | |
| 392 | 表土 | 短冊形 | (9.3) | (5.0) | 109 | 〃 | |
| 393 | 53H | | (8.0) | (4.6) | 77 | 灰安 | |
| 394 | 48H17 | 撥形 | (11.9) | (5.2) | 117 | 〃 | |
| 395 | 45H | 短冊形 | (8.0) | (3.7) | 64 | 〃 | |
| 396 | J3G | 〃 | (7.1) | (4.2) | 63 | 細安 | |
| 397 | 22H | 撥形 | (8.3) | (4.0) | 77 | 変質安 | |
| 398 | K6G | 短冊形 | (7.0) | (3.6) | 42 | 灰安 | |
| 399 | H7G | 〃 | (9.0) | (4.9) | 139 | 黒頁 | |
| 400 | 58H | 〃 | (6.7) | (4.3) | 59 | 細安 | |
| 401 | 13H | 〃 | (8.2) | (5.7) | 111 | 〃 | |
| 402 | JD2 | 撥形 | (7.3) | (4.9) | 65 | 〃 | |
| 403 | I3G | 短冊形 | (5.5) | (5.6) | 62 | 灰安 | |
| 404 | 表土 | 〃 | (7.4) | (4.4) | 62 | 〃 | |
| 405 | 漏3周 | 〃 | (7.3) | (4.0) | 50 | 細安 | |
| 406 | 14H | 〃 | (5.1) | (4.4) | 52 | 灰安 | |
| 407 | 26H | 撥形 | (7.9) | (5.0) | 75 | 細安 | |
| 408 | J5G | 短冊形 | (7.4) | (5.2) | 114 | 〃 | |
| 409 | 表土 | 〃 | (6.8) | (4.7) | 96 | 黒頁 | |
| 410 | JD39 | 〃 | (9.9) | (4.6) | 101 | 灰安 | |

| No | 出土位置 | 形状 | 長さ | 幅 | 重さ | 石材 | 図版番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 411 | 22H | 撥形 | (7.9) | (4.7) | 96 | 黒頁 | |
| 412 | 9H | 短冊形 | (7.7) | (5.3) | 102 | 灰安 | |
| 413 | 28H | 〃 | (7.3) | (4.4) | 62 | 細安 | |
| 414 | J4G | 〃 | (8.2) | (4.9) | 98 | 黒頁 | |
| 415 | 37H | 〃 | (9.9) | (5.8) | 117 | 細安 | |
| 416 | 漏1周 | 〃 | (7.8) | (5.4) | 112 | 灰安 | |
| 417 | 漏1周 | 〃 | (9.8) | (5.5) | 86 | 黒頁 | |
| 418 | 45H13 | 〃 | (6.2) | (5.7) | 73 | 細安 | |
| 419 | 漏3 | | (10.4) | (7.1) | 191 | 黒頁 | |
| 420 | K6G | 短冊形 | (9.3) | (7.4) | 195 | 細安 | |
| 421 | 25H | | (7.8) | (5.8) | 106 | 〃 | |
| 422 | K6G | 短冊形 | (7.7) | (4.8) | 81 | 灰安 | |
| 423 | K6G | 〃 | (6.6) | (4.0) | 54 | 細安 | |
| 424 | H2G | 短冊形 | (7.7) | (4.7) | 83 | 〃 | |
| 425 | 45H | 撥形 | (7.5) | (4.7) | 64 | 粗粒安 | |
| 426 | 20H | 短冊形 | (7.4) | (4.5) | 76 | 灰安 | |
| 427 | 62H | 〃 | (6.1) | (4.0) | 41 | 細安 | |
| 428 | 34H | 〃 | (7.5) | (4.3) | 87 | 〃 | |
| 429 | 漏2墳下 | 撥形 | (7.4) | (6.0) | 98 | 黒頁 | |
| 430 | K6G | 〃 | (7.8) | (6.8) | 105 | 〃 | |
| 431 | K6G | 〃 | (7.5) | (7.0) | 98 | 細安 | |
| 432 | 34H | 短冊形 | (7.2) | (4.6) | 88 | 文象斑 | |
| 433 | 34H | 撥形 | (7.3) | (5.4) | 47 | 細安 | |
| 434 | 28H | 〃 | (7.3) | (4.8) | 83 | 黒頁 | |
| 435 | 漏3周 | 短冊形 | (6.8) | (5.0) | 53 | 〃 | |
| 436 | JD70 | 〃 | (6.5) | (4.1) | 55 | 〃 | |
| 437 | 62H | 〃 | (5.6) | (3.7) | 30 | 〃 | |
| 438 | 28H | 〃 | (6.5) | (4.9) | 96 | 灰安 | |
| 439 | 36H | 〃 | (6.2) | (4.4) | 51 | 黒頁 | |
| 440 | N9G | 撥形 | (7.3) | (7.2) | 166 | 〃 | |
| 441 | J3G | 短冊形 | (6.3) | (4.8) | 61 | 灰安 | |
| 442 | H2G | | (7.1) | (4.5) | 72 | 閃緑岩 | |
| 443 | 15H | 短冊形 | (8.3) | (3.9) | 65 | 珪質頁 | |
| 444 | 49H | 〃 | (6.0) | (4.7) | 83 | 細安 | |
| 445 | K5G | 〃 | (7.6) | (4.5) | 77 | 黒頁 | |
| 446 | N9G | 〃 | (4.7) | (4.7) | 43 | 灰安 | |
| 447 | I3G | 〃 | (5.9) | (5.2) | 71 | 粗粒安 | |
| 448 | 3H | 撥形 | (6.0) | (4.5) | 46 | 灰安 | |
| 449 | K4G | | (6.7) | (5.5) | 93 | 細安 | |
| 450 | 漏1周SE | 撥形 | (7.6) | (5.5) | 95 | 〃 | |
| 451 | 28H | 短冊形 | (8.0) | (4.4) | 74 | 黒頁 | |
| 452 | H2G | 〃 | (5.9) | (3.7) | 61 | 〃 | |
| 453 | L6G | 〃 | (6.4) | (4.2) | 50 | 細安 | |
| 454 | JD89 | 〃 | (8.5) | (4.6) | 115 | 変質玄 | |
| 455 | J4G | 〃 | (5.6) | (4.5) | 44 | 黒頁 | |
| 456 | 表土 | 〃 | (7.8) | (4.2) | 66 | 灰安 | |
| 457 | N9G | 〃 | (7.0) | (4.4) | 76 | 〃 | |
| 458 | J3G | | (7.0) | (4.9) | 83 | 細安 | |
| 459 | I4G | | (6.0) | (4.0) | 66 | 変質玄 | |
| 460 | 49H22 | | (5.9) | (4.5) | 70 | 黒頁 | |
| 461 | L8G | 撥形 | (6.9) | (4.7) | 47 | | |
| 462 | N8G | 短冊形 | (5.9) | (4.2) | 31 | 灰安 | |
| 463 | L6G | 〃 | (6.3) | (3.7) | 35 | 黒頁 | |
| 464 | JD39 | 〃 | (5.8) | (4.2) | 33 | 〃 | |
| 465 | JD89 | 〃 | (6.1) | (3.8) | 38 | 灰安 | |
| 466 | 34H | | (6.3) | (4.7) | 69 | 黒頁 | |
| 467 | H2G | | (6.8) | (4.7) | 92 | 細安 | |
| 468 | 33H | 短冊形 | (5.8) | (3.9) | 50 | 珪質頁 | |
| 469 | I3G | 〃 | (5.3) | (4.0) | 35 | 黒頁 | |
| 470 | 漏3周S | 撥形 | (6.9) | (6.6) | 106 | 変質玄 | |

| No | 出土位置 | 形状 | 長さ | 幅 | 重さ | 石材 | 図版番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 471 | 58H | | (7.8) | (3.9) | 56 | 黒頁 | |
| 472 | 22H | | (6.6) | (4.5) | 55 | 細安 | |
| 473 | L7G | 短冊形 | (7.5) | (3.8) | 71 | 黒頁 | |
| 474 | 33H | 〃 | (7.6) | (3.8) | 45 | 〃 | |
| 475 | 36H | 〃 | (5.3) | (4.3) | 38 | 灰安 | |
| 476 | 42H | 〃 | (6.5) | (5.5) | 57 | 細安 | |
| 477 | 45H | 〃 | (6.9) | (4.6) | 49 | 黒頁 | |
| 478 | I3G | 〃 | (5.6) | (4.8) | 41 | 〃 | |
| 479 | H5G | 〃 | (6.1) | (4.8) | 49 | 灰安 | |
| 480 | 表土 | 〃 | (7.5) | (3.9) | 47 | 黒頁 | |
| 481 | I7G | 撥形 | (7.2) | (5.9) | 97 | 〃 | |
| 482 | JD54 | 短冊形 | (7.8) | (4.4) | 75 | 〃 | |
| 483 | 漏2墳下 | 〃 | (8.4) | (4.9) | 101 | 細安 | |
| 484 | JD7 | 〃 | (4.0) | (3.7) | 24 | 黒頁 | |
| 485 | 漏1墳 | 短冊形 | (5.5) | (3.6) | 41 | 〃 | |
| 486 | 49H | 〃 | (6.6) | (3.8) | 57 | 〃 | |
| 487 | J4G | 〃 | (6.3) | (5.2) | 78 | 細安 | |
| 488 | K5G | 〃 | (6.1) | (6.5) | 101 | 珪質頁 | |
| 489 | F5G | 〃 | (5.6) | (4.0) | 33 | 細安 | |
| 490 | J7G | 〃 | (7.5) | (4.5) | 85 | 灰安 | |
| 491 | 38H | 〃 | (6.5) | (4.7) | 73 | 黒頁 | |
| 492 | N8G | 〃 | (7.1) | (3.7) | 70 | 灰安 | |
| 493 | J4G | 〃 | (8.7) | (4.5) | 118 | 〃 | |
| 494 | H2G | 〃 | (8.8) | (4.6) | 129 | 黒頁 | |
| 495 | 4H | 〃 | (9.9) | (4.0) | 80 | 灰安 | |
| 496 | H2G | 〃 | (8.2) | (4.2) | 67 | 黒頁 | |
| 497 | I8G | 〃 | (4.8) | (4.3) | 61 | 〃 | |
| 498 | K6G | 〃 | (6.7) | (3.9) | 54 | 粗粒安 | |
| 499 | 34H | 〃 | (7.3) | (4.5) | 81 | 変質玄 | |
| 500 | 50H | 〃 | 10.7 | 3.7 | 65 | 黒頁 | |
| 501 | 37H | 〃 | (8.5) | (3.9) | 66 | 砂岩 | |
| 502 | 53H | 〃 | (6.9) | (3.7) | 33 | 黒頁 | |
| 503 | 50H | 〃 | (4.8) | (4.4) | 48 | 灰安 | |
| 504 | M7G | 撥形 | (8.4) | (4.0) | 74 | 細安 | |
| 505 | J6G | 短冊形 | (8.8) | (3.4) | 65 | 黒頁 | |
| 506 | J3G | 〃 | (5.7) | (4.6) | 52 | 細安 | |
| 507 | 表採 | 撥形 | (7.7) | (3.7) | 33 | 〃 | |
| 508 | 漏8周 | 短冊形 | (5.2) | (3.7) | 39 | 黒頁 | |
| 509 | 58H | 〃 | (7.1) | (4.8) | 98 | 〃 | |
| 510 | H2G | 撥形 | (7.0) | (4.8) | 50 | 〃 | |
| 511 | 7H5 | 短冊形 | (6.8) | (5.7) | 106 | 〃 | |
| 512 | I3G | 〃 | (6.1) | (3.8) | 46 | 〃 | |
| 513 | 6墳周N | 〃 | (6.5) | (3.7) | 31 | 〃 | |
| 514 | 漏3墳 | 〃 | (4.7) | (4.7) | 33 | 灰安 | |
| 515 | 8H | 〃 | (5.6) | (4.7) | 57 | 黒頁 | |
| 516 | J3G | 撥形 | (6.8) | (4.8) | 48 | 細安 | |
| 517 | H2G | 短冊形 | (7.6) | (4.5) | 85 | 〃 | |
| 518 | 漏2墳 | 撥形 | (6.6) | (4.8) | 91 | 灰安 | |
| 519 | 表土 | 短冊形 | (5.9) | (4.3) | 46 | 細安 | |
| 520 | K5G | ? | (6.6) | (4.7) | 67 | 粗粒安 | |
| 521 | 表土 | 短冊形 | (5.3) | (4.0) | 28 | 黒頁 | |
| 522 | 15H5 | 撥形 | (4.9) | (5.0) | 110 | 灰安 | |
| 523 | 31H | 短冊形 | (7.6) | (5.6) | 91 | 細安 | |
| 524 | 漏3周N | 〃 | (4.0) | (4.9) | 27 | | |
| 525 | 22H | 〃 | (4.3) | (3.9) | 30 | 黒頁 | |
| 526 | 23H | 〃 | (5.1) | (3.8) | 34 | 灰安 | |
| 527 | K4G | | (4.6) | (4.8) | 36 | 細安 | |
| 528 | 37H | 短冊形 | (6.6) | (4.3) | 48 | 〃 | |
| 529 | L6G | 〃 | (7.5) | (4.6) | 89 | 〃 | |
| 530 | J4G | | (7.6) | (5.1) | 117 | 黒頁 | |

| No | 出土位置 | 形状 | 長さ | 幅 | 重さ | 石材 | 図版番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 531 | 32H | 短冊形 | (5.7) | (5.0) | 57 | 〃 | |
| 532 | 表土 | 撥形 | (8.6) | (6.6) | 83 | 変質玄 | |
| 533 | 漏3周NW | 短冊形 | (5.8) | (4.0) | 30 | 黒頁 | |
| 534 | 48H | 〃 | (5.1) | (4.7) | 39 | 細安 | |
| 535 | K5G | 〃 | (5.7) | (3.8) | 39 | 〃 | |
| 536 | 漏2周E | 〃 | (9.5) | (4.4) | 84 | 〃 | |
| 537 | 7H28 | 〃 | (4.1) | (4.8) | 39 | 〃 | |
| 538 | H2G | 〃 | (4.9) | (5.0) | 51 | 灰安 | |
| 539 | J4G | 〃 | (5.8) | (4.5) | 68 | 〃 | |
| 540 | 62H | 〃 | (5.7) | (4.0) | 50 | 〃 | |
| 541 | 表土 | 撥形 | (6.4) | (7.8) | 122 | 黒頁 | |
| 542 | 23H | 短冊形 | (7.6) | (3.5) | 67 | 〃 | |
| 543 | 表土 | 〃 | (5.2) | (3.3) | 44 | 〃 | |
| 544 | JD39 | | (11.8) | (5.9) | 167 | 〃 | |
| 545 | JD39 | 短冊形 | (7.1) | (5.5) | 65 | 細安 | |
| 546 | 34H | 撥形 | (11.3) | (6.5) | 111 | 黒頁 | |
| 547 | 40H | | (10.6) | (5.9) | 155 | 〃 | |
| 548 | 漏1周S | | (8.7) | (5.3) | 82 | 細安 | |
| 549 | K5G | 撥形 | (6.9) | (4.2) | 33 | 黒頁 | |
| 550 | 20H | 〃 | (7.1) | (4.3) | 43 | 〃 | |
| 551 | 表土 | 短冊形 | 13.0 | 4.7 | 135 | 〃 | |
| 552 | 17H | 〃 | (11.4) | (6.7) | 234 | 〃 | |
| 553 | K6G | ハクヘン石器 | (9.2) | (4.7) | 84 | 〃 | |
| 554 | 34H9 | ? | (8.5) | (5.5) | 176 | 〃 | |
| 555 | 10H | ? | (6.7) | (4.8) | 77 | 〃 | |
| 556 | 表土 | ? | (6.0) | (5.4) | 91 | 細安 | |
| 557 | 表土 | ? | (5.9) | (5.3) | 41 | 黒頁 | |
| 558 | JD89 | 短冊形 | (6.6) | (4.9) | 89 | 〃 | |
| 559 | N6G | 〃 | (7.2) | (5.5) | 85 | 灰安 | |
| 560 | J3G | 〃 | (7.3) | (5.4) | 89 | 黒頁 | |
| 561 | 14H | 〃 | (6.2) | (3.8) | 44 | 〃 | |
| 562 | 32H | 撥形 | (5.7) | (4.7) | 28 | 〃 | |
| 563 | 漏3 | | (6.6) | (5.4) | 75 | 〃 | |
| 564 | 28H | 短冊形 | (6.0) | (3.5) | 28 | 細安 | |
| 565 | 7H | 〃 | (5.9) | (4.1) | 52 | 〃 | |
| 566 | 9H | 撥形 | (6.9) | (5.1) | 51 | 黒頁 | |
| 567 | H2G | 短冊形 | (7.2) | (4.6) | 65 | 細安 | |
| 568 | 34H | 〃 | (8.0) | (4.2) | 58 | 〃 | |
| 569 | 20H | 撥形 | (6.1) | (5.7) | 73 | 黒頁 | |
| 570 | 59H | ? | (9.1) | (6.4) | 131 | 〃 | |
| 571 | 10H | 短冊形 | (7.9) | (5.9) | 82 | 〃 | |
| 572 | 22H | ? | (5.6) | (6.1) | 88 | 〃 | |
| 573 | K5G | 短冊形 | (5.5) | (4.4) | 38 | 〃 | |
| 574 | I3G | 〃 | (5.3) | (4.0) | 32 | 〃 | |
| 575 | 漏1周 | 撥形 | (10.6) | (5.6) | 60 | 〃 | |
| 576 | J3G | 短冊形 | (4.0) | (3.0) | 16 | 〃 | |
| 577 | 漏1周 | 〃 | (7.1) | (3.7) | 63 | 〃 | |
| 578 | 28H | 〃 | (5.8) | (3.7) | 44 | 粗粒安 | |
| 579 | 27H | 〃 | (7.5) | (4.3) | 41 | 細安 | |
| 580 | J4G | 〃 | (6.6) | (4.4) | 62 | 粗粒安 | |
| 581 | 27H | 〃 | (4.7) | (4.0) | 31 | 黒頁 | |
| 582 | 11H | 〃 | (5.9) | (4.5) | 60 | 粗粒安 | |
| 583 | J4G | | (8.0) | (4.5) | 50 | 細安 | |
| 584 | F1G | 短冊形 | (6.3) | (5.3) | 97 | 灰安 | |
| 585 | 44H | 〃 | (4.9) | (3.4) | 18 | 黒頁 | |
| 586 | 37H | 〃 | (4.1) | (4.4) | 31 | 〃 | |
| 587 | H11G | | (5.8) | (4.2) | 45 | 〃 | |
| 588 | 49H | 撥形 | (7.2) | (5.7) | 76 | 〃 | |
| 589 | J4G | | (6.3) | (4.6) | 45 | 〃 | |

| No. | 出土位置 | 形状 | 長さ | 幅 | 重さ | 石　材 | 図版番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 590 | K 6 G | 短冊形 | ( 5.3) | ( 4.2) | 27 | 〃 | |
| 591 | 37H | 〃 | ( 6.9) | ( 3.6) | 47 | 黒　頁 | |
| 592 | 34H | 〃 | ( 5.0) | ( 3.7) | 24 | 細　安 | |
| 593 | I 6 G | 〃 | ( 6.3) | ( 4.9) | 63 | 黒　頁 | |
| 594 | 55H | 撥　形 | ( 6.6) | ( 4.8) | 68 | 〃 | |
| 595 | K 5 G | | ( 5.4) | ( 4.9) | 33 | 〃 | |
| 596 | 23H | 短冊形 | ( 7.2) | ( 4.0) | 69 | 〃 | |
| 597 | 37H | 撥　形 | ( 7.6) | ( 4.2) | 52 | 〃 | |
| 598 | 表土 | 短冊形 | ( 6.2) | ( 4.3) | 56 | 〃 | |
| 599 | 27H | 〃 | ( 6.8) | ( 3.4) | 45 | 〃 | |
| 600 | 表土 | 〃 | ( 7.6) | ( 4.3) | 73 | 〃 | |
| 601 | 45HSD | 〃 | ( 6.7) | ( 4.2) | 52 | 〃 | |
| 602 | K 5 G | 〃 | ( 6.3) | ( 4.4) | 52 | 〃 | |
| 603 | J 3 G | 〃 | ( 6.4) | ( 4.1) | 60 | 〃 | |
| 604 | 19H | | ( 4.7) | ( 7.3) | 69 | 細　安 | |
| 605 | D 4 | 短冊形 | ( 6.8) | ( 4.1) | 45 | 〃 | |
| 606 | JD14 | 〃 | ( 7.5) | ( 5.5) | 73 | 黒　頁 | |
| 607 | 26H | 〃 | ( 6.0) | ( 4.5) | 47 | 〃 | |
| 608 | H 2 G | 〃 | ( 6.9) | ( 4.8) | 87 | ホルンフェルス | |
| 609 | J 4 G | 撥　形 | ( 6.3) | ( 4.4) | 61 | 黒　頁 | |
| 610 | K 5 G | 短冊形 | ( 6.4) | ( 4.6) | 49 | 〃 | |
| 611 | N 9 G | 〃 | ( 7.3) | ( 3.4) | 49 | 〃 | |
| 612 | J 5 G | 〃 | ( 7.6) | ( 4.0) | 64 | 〃 | |
| 613 | 6 H | 〃 | ( 7.9) | ( 4.5) | 60 | 〃 | |
| 614 | 表採 | | ( 7.1) | ( 5.4) | 70 | 黒　色　安 | |
| 615 | J 3 G | 短冊形 | ( 5.0) | ( 4.4) | 51 | 黒　頁 | |
| 616 | 34H | 撥　形 | ( 7.7) | ( 4.9) | 68 | 〃 | |
| 617 | 59H | 短冊形 | ( 7.2) | ( 4.4) | 69 | 〃 | |
| 618 | 表土 | | ( 7.3) | ( 4.6) | 97 | 〃 | |
| 619 | 27H | 短冊形 | ( 6.7) | ( 3.8) | 55 | 〃 | |
| 620 | J 4 G | 〃 | ( 7.6) | ( 4.5) | 74 | 〃 | |
| 621 | 37H | 〃 | ( 5.9) | ( 4.2) | 57 | 〃 | |
| 622 | 30H | 〃 | ( 6.5) | ( 4.8) | 56 | 〃 | |
| 623 | J 5 G | 〃 | ( 7.3) | ( 4.2) | 49 | 〃 | |
| 624 | 32H | 〃 | ( 7.9) | ( 4.4) | 60 | 〃 | |
| 625 | 漏1周 | 〃 | ( 6.5) | ( 3.7) | 44 | 〃 | |
| 626 | 漏2周 | 〃 | ( 7.5) | ( 4.5) | 102 | 〃 | |
| 627 | J 3 G | 〃 | ( 6.0) | ( 3.9) | 39 | 〃 | |
| 628 | 表土 | | ( 7.1) | ( 3.4) | 57 | 〃 | |
| 629 | J 9 G | 短冊形 | ( 5.7) | ( 3.3) | 44 | 〃 | |
| 630 | I 3 G | 撥　形 | ( 6.6) | ( 5.3) | 73 | 〃 | |
| 631 | H 2 G | 〃 | ( 6.1) | ( 4.5) | 35 | 〃 | |
| 632 | 49H46 | 短冊形 | ( 7.9) | ( 4.3) | 47 | 〃 | |
| 633 | G 6 G | | ( 6.6) | ( 6.3) | 108 | 〃 | |
| 634 | 漏2墳 | 短冊形 | ( 6.3) | ( 4.5) | 74 | 〃 | |
| 635 | 42H | 〃 | ( 7.9) | ( 3.9) | 50 | 灰　安 | |
| 636 | K 4 G | 短冊形 | ( 6.0) | ( 3.9) | 43 | 黒　頁 | |
| 637 | 21H | 〃 | ( 5.8) | ( 4.4) | 61 | 〃 | |
| 638 | 49H | 撥　形 | ( 6.7) | ( 4.6) | 57 | 細　安 | |
| 539 | 漏3墳 | 短冊形 | ( 6.1) | ( 3.4) | 57 | 黒　頁 | |
| 640 | H 2 G | 〃 | ( 7.1) | ( 3.8) | 45 | 〃 | |
| 641 | K 6 G | 〃 | ( 6.8) | ( 4.0) | 36 | 〃 | |
| 642 | 60H | 〃 | ( 6.1) | ( 5.0) | 95 | 〃 | |
| 643 | N 9 G | 〃 | ( 6.1) | ( 4.3) | 46 | 〃 | |
| 644 | ? | 〃 | ( 6.1) | ( 4.1) | 57 | 細　安 | |
| 645 | 27H | 〃 | ( 6.0) | ( 3.8) | 40 | 黒　頁 | |
| 646 | 17H | 〃 | ( 6.3) | ( 3.5) | 62 | 〃 | |
| 647 | I 6 G | | ( 8.7) | ( 4.5) | 48 | 〃 | |
| 648 | 42H | 短冊形 | ( 6.2) | ( 5.2) | 81 | 〃 | |
| 649 | K 6 G | 〃 | ( 6.5) | ( 3.5) | 37 | 〃 | |

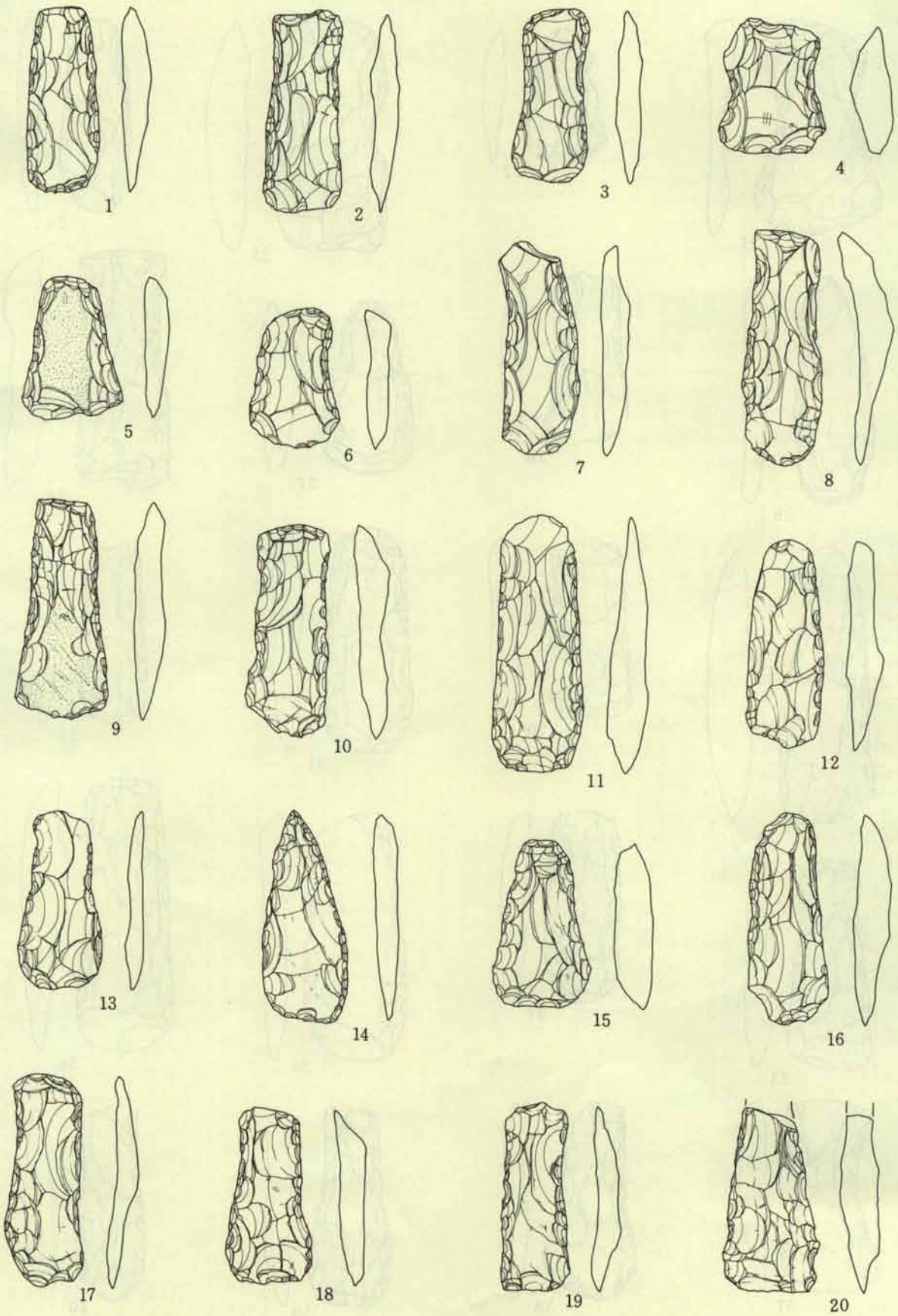
| No. | 出土位置 | 形状 | 長さ | 幅 | 重さ | 石　材 | 図版番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 650 | K 6 G | 〃 | ( 7.0) | ( 4.5) | 73 | 〃 | |
| 651 | L 7 G | | ( 7.7) | ( 4.4) | 68 | 細　安 | |
| 652 | 54H | 短冊形 | ( 6.6) | ( 4.7) | 59 | 黒　頁 | |
| 653 | 25H | | ( 5.7) | ( 4.0) | 28 | 〃 | |
| 654 | J 4 G | 短冊形 | ( 7.4) | ( 3.7) | 63 | 〃 | |
| 655 | 漏2周 | 〃 | ( 5.8) | ( 4.0) | 41 | 〃 | |
| 656 | 表土 | 〃 | ( 7.1) | ( 4.6) | 76 | 〃 | |
| 657 | 表土 | 〃 | ( 5.7) | ( 3.4) | 45 | 〃 | |
| 658 | H 2 G | | ( 6.7) | ( 4.9) | 46 | 〃 | |
| 659 | 6墳 | | ( 4.1) | ( 5.7) | 35 | 〃 | |
| 660 | 漏2周 | 短冊形 | ( 8.3) | ( 4.0) | 50 | 〃 | |
| 661 | 漏1周 | 〃 | (10.8) | ( 4.4) | 111 | 細　安 | |
| 662 | J 6 G | | ( 6.1) | ( 5.2) | 49 | 黒　頁 | |
| 663 | 30H | 短冊形 | ( 3.9) | ( 4.3) | 34 | 細　安 | |
| 664 | J 3 G | 〃 | ( 5.9) | ( 3.6) | 38 | 黒　頁 | |
| 665 | J 4 G | 〃 | ( 6.6) | ( 4.3) | 49 | 〃 | |
| 666 | 26H | | ( 6.1) | ( 4.7) | 97 | 〃 | |
| 667 | 28H | 撥　形 | ( 5.7) | ( 5.1) | 32 | 〃 | |
| 668 | 31H 1 | | ( 9.7) | ( 4.5) | 83 | 灰　安 | |
| 669 | 表土 | | ( 7.7) | ( 4.1) | 51 | 黒　頁 | |
| 670 | 漏3墳 | | ( 6.4) | ( 4.6) | 90 | 灰　安 | |
| 671 | JD23 | 撥　形 | ( 4.9) | ( 4.2) | 38 | 黒　頁 | |
| 672 | 58H | 〃 | ( 6.1) | ( 4.2) | 27 | 黒　色　安 | |
| 673 | 19H | 短冊形 | ( 5.4) | ( 4.4) | 51 | 黒　頁 | |
| 674 | J 4 G | 〃 | ( 5.9) | ( 3.9) | 41 | 〃 | |
| 675 | 6墳 | 〃 | ( 4.4) | ( 4.2) | 43 | 〃 | |
| 676 | I 3 G | 〃 | ( 5.2) | ( 3.3) | 32 | 〃 | |
| 677 | 漏2墳 | 〃 | ( 8.8) | ( 4.7) | 76 | 〃 | |
| 678 | 表土 | 〃 | ( 4.3) | ( 4.4) | 65 | 〃 | |
| 679 | 31H | 〃 | ( 6.6) | ( 4.3) | 62 | 〃 | |
| 680 | 33H 9 | 〃 | ( 5.7) | ( 4.5) | 49 | 〃 | |
| 681 | 漏1周 | 〃 | ( 4.3) | ( 3.8) | 29 | ホルンフェルス | |
| 682 | I 3 G | | ( 5.0) | ( 4.4) | 44 | 黒　頁 | |
| 683 | JD71 | 短冊形 | ( 4.3) | ( 4.8) | 43 | 〃 | |
| 684 | 22H12 | 〃 | ( 5.7) | ( 4.2) | 50 | 〃 | |
| 685 | M 7 G | 〃 | ( 5.0) | ( 5.6) | 119 | 細　安 | |
| 686 | 表土 | 〃 | ( 3.0) | ( 4.2) | 14 | 黒　頁 | |
| 687 | 表土 | 〃 | ( 5.3) | ( 4.3) | 34 | 細　安 | |
| 688 | K 5 G | | ( 4.5) | ( 5.3) | 32 | 灰　安 | |
| 689 | E 6 G | 短冊形 | ( 3.6) | ( 4.1) | 34 | 黒　頁 | |
| 690 | 表土 | | ( 5.6) | ( 6.1) | 69 | 〃 | |
| 691 | 28H | 撥　形 | ( 5.5) | ( 4.4) | 45 | 〃 | |
| 692 | 表土 | 短冊形 | ( 3.8) | ( 4.1) | 25 | 〃 | |
| 693 | J 5 G | 〃 | ( 5.8) | ( 3.6) | 34 | 〃 | |
| 694 | 62H | 短冊形 | ( 4.6) | ( 4.1) | 27 | 〃 | |
| 695 | 40H | | ( 5.4) | ( 3.9) | 28 | 〃 | |
| 696 | 漏2周E | 短冊形 | ( 7.1) | ( 4.1) | 53 | 〃 | |
| 697 | 漏2周E | 短冊形 | ( 7.7) | ( 4.3) | 46 | 〃 | |
| 698 | 5墳N | 〃 | ( 5.3) | ( 4.6) | 37 | 〃 | |
| 699 | 49H | 〃 | ( 4.4) | ( 4.4) | 23 | 〃 | |
| 700 | 40H | | ( 6.0) | ( 4.3) | 42 | 〃 | |
| 701 | JD70 | 短冊形 | ( 5.3) | ( 3.4) | 33 | 〃 | |
| 702 | 33H 9 | 〃 | ( 4.9) | ( 4.3) | 47 | 〃 | |
| 703 | 13H | 〃 | ( 4.5) | ( 4.2) | 46 | 〃 | |
| 704 | JD89 | 〃 | ( 4.3) | ( 3.8) | 31 | 〃 | |
| 705 | JD42 | 〃 | ( 5.2) | ( 3.7) | 52 | 〃 | |
| 706 | 表土 | 〃 | ( 3.3) | ( 4.4) | 21 | 〃 | |
| 707 | K 4 G | 〃 | ( 5.5) | ( 4.0) | 40 | 〃 | |
| 708 | 31H | 〃 | 10.0 | 3.7 | 46 | 緑　色　片 | |
| 709 | I 5 G | 〃 | ( 4.7) | ( 5.0) | 32 | 黒　頁 | |

| No. | 出土位置 | 形状 | 長さ | 幅 | 重さ | 石　材 | 図版番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 710 | 17H | 〃 | (6.0) | (4.6) | 57 | 〃 | |
| 711 | 表土 | 〃 | (6.1) | (4.9) | 48 | 〃 | |
| 712 | J６G | 〃 | (6.6) | (4.1) | 48 | 〃 | |
| 713 | 58H | 〃 | (3.8) | (3.8) | 28 | 細　安 | |
| 714 | J３G | 〃 | (6.2) | (3.7) | 39 | 黒　頁 | |
| 715 | 漏１周 | 〃 | (6.0) | (4.1) | 48 | 灰　安 | |
| 716 | 45H | 〃 | (7.0) | (4.4) | 52 | 細　安 | |
| 717 | 60H | 〃 | (4.9) | (5.0) | 43 | 灰　安 | |
| 718 | 36H１ | 〃 | (4.7) | (3.6) | 28 | 〃 | |
| 719 | D４ | 〃 | (3.9) | (4.7) | 29 | 細　安 | |
| 720 | 37H | 〃 | (5.5) | (4.2) | 52 | 黒　頁 | |
| 721 | 36H | 〃 | (6.1) | (4.4) | 37 | 〃 | |
| 722 | 30H | 〃 | (5.0) | (4.5) | 50 | 粗粒　安 | |
| 723 | 表土 | 〃 | (5.5) | (4.0) | 36 | 黒　頁 | |
| 724 | 表土 | 〃 | (5.6) | (3.8) | 31 | 粗粒　安 | |
| 725 | 34H | 〃 | (6.0) | (4.3) | 90 | 黒　頁 | |
| 726 | M７G | 〃 | (6.1) | (4.7) | 76 | 変質　玄 | |
| 727 | G６G | 短冊形 | (5.6) | (4.3) | 57 | 灰　安 | |
| 728 | 28H | 〃 | (5.0) | (3.9) | 36 | 黒　頁 | |
| 729 | JD７ | 〃 | (4.3) | (3.5) | 22 | 〃 | |
| 730 | 36H | 〃 | (5.7) | (4.4) | 56 | 〃 | |
| 731 | I３G | 〃 | (5.3) | (3.5) | 33 | 細　安 | |
| 732 | 56H | | (3.4) | (3.9) | 21 | 黒　頁 | |
| 733 | K５G | 短冊形 | (3.8) | (4.6) | 27 | 〃 | |
| 734 | M７G | 〃 | (4.6) | (4.7) | 30 | 〃 | |
| 735 | 45H | 〃 | (4.6) | (3.8) | 26 | 〃 | |
| 736 | H４G | | (2.6) | (4.3) | 23 | 〃 | |
| 737 | 27H | 短冊形 | (2.8) | (4.0) | 12 | | |
| 738 | K４G | 〃 | (5.5) | (6.5) | 102 | 粗粒　安 | |
| 739 | 49H | 〃 | (3.8) | (4.3) | 31 | 黒　頁 | |
| 740 | J４G | 〃 | (4.4) | (4.3) | 27 | 〃 | |
| 741 | ９H | 〃 | (5.7) | (4.6) | 44 | ホルンフェルス | |
| 742 | K５G | 〃 | (5.1) | (3.6) | 36 | 黒　頁 | |
| 743 | K５G | 〃 | (5.2) | (3.6) | 37 | 〃 | |
| 744 | ６墳周N | 〃 | (5.9) | (3.6) | 44 | 灰　安 | |
| 745 | 14H | 〃 | (5.2) | (3.8) | 39 | 黒　頁 | |
| 746 | 27H | 〃 | (3.9) | (4.4) | 25 | 〃 | |
| 747 | 漏４周 | | (7.0) | (4.8) | 100 | 黒色　安 | |
| 748 | １墳M | 短冊形 | (7.1) | (4.7) | 57 | 黒　頁 | |
| 749 | 漏３ | 〃 | (5.1) | (4.8) | 46 | 〃 | |
| 750 | H２G | 〃 | (6.7) | (4.6) | 42 | 細　安 | |
| 751 | 表土 | | (4.1) | (3.4) | 40 | 黒　頁 | |
| 752 | 50H | 短冊形 | (4.0) | (3.9) | 35 | 〃 | |
| 753 | K６G | 〃 | (6.2) | (3.6) | 53 | 〃 | |
| 754 | １墳M | 〃 | (5.7) | (4.0) | 38 | 細　安 | |
| 755 | 漏１周 | 〃 | (5.7) | (3.6) | 32 | 〃 | |
| 756 | 45H | 〃 | (3.3) | (3.9) | 21 | 黒　頁 | |
| 757 | K５G | 〃 | (4.7) | (3.3) | 28 | 細　安 | |
| 758 | 36H | 短冊形 | (4.7) | (4.4) | 36 | 灰　安 | |
| 759 | 27H | | (2.4) | (4.8) | 25 | 細　安 | |
| 760 | I３G | 短冊形 | (5.6) | (4.0) | 27 | 黒　頁 | |
| 761 | 26H | 〃 | (4.3) | (3.5) | 28 | 細　安 | |
| 762 | J４G | 〃 | (4.0) | (4.1) | 35 | 黒　頁 | |
| 763 | 34H | 〃 | (7.1) | (4.3) | 44 | 灰　安 | |
| 764 | 19H | | (4.6) | (4.3) | 33 | 細　安 | |
| 765 | 32H | | (4.1) | (5.2) | 33 | 黒　頁 | |
| 766 | 漏２墳 | 短冊形 | (5.7) | (5.2) | 51 | 細　安 | |
| 767 | I３G | 〃 | (5.2) | (3.7) | 34 | 〃 | |
| 768 | J４G | | (4.5) | (4.3) | 24 | 〃 | |
| 769 | 32H | 短冊形 | (5.3) | (4.2) | 37 | 黒　頁 | |

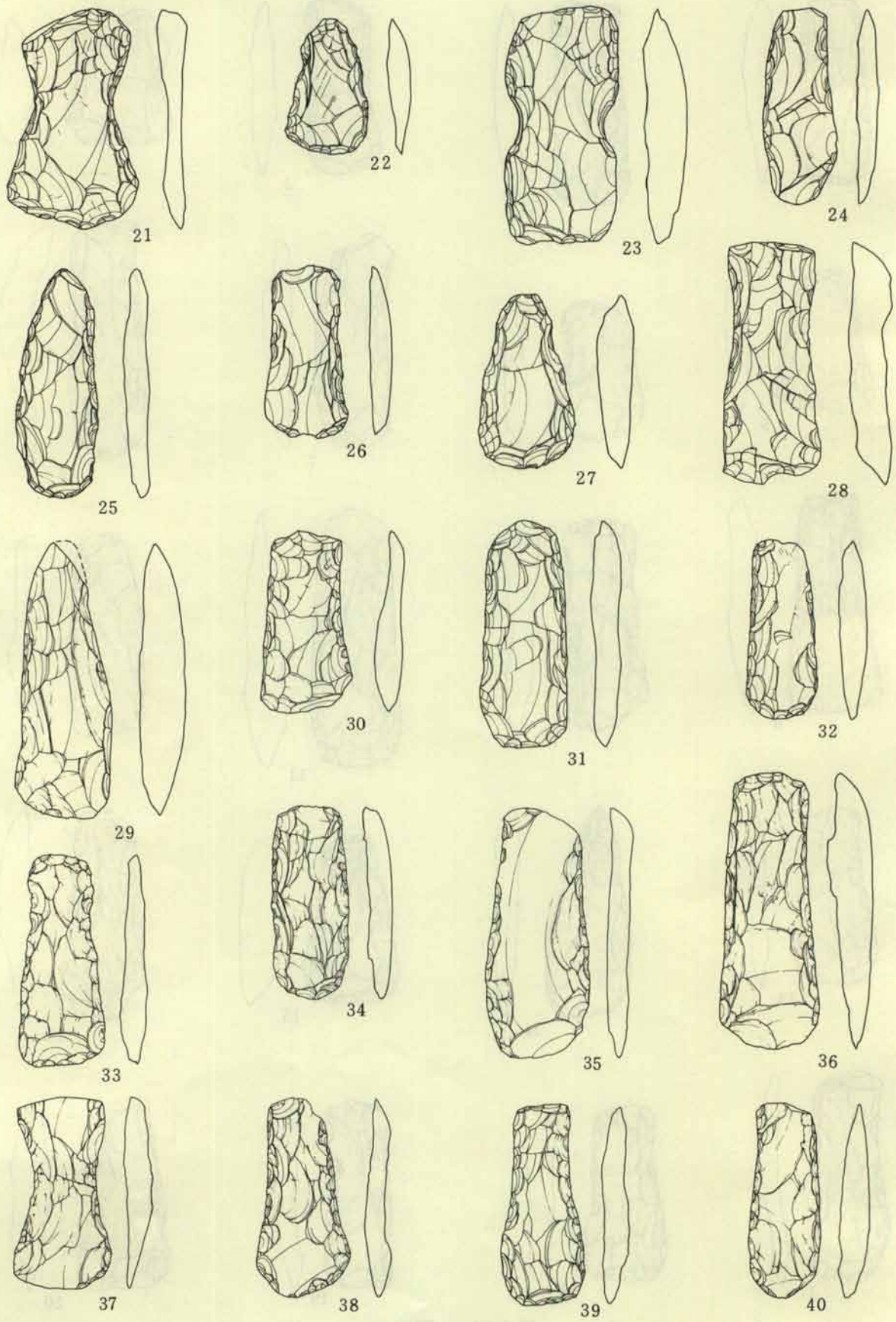
| No. | 出土位置 | 形状 | 長さ | 幅 | 重さ | 石　材 | 図版番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 770 | 45H | 〃 | (6.7) | (5.4) | 62 | 細　安 | |
| 771 | N９G | 〃 | (5.1) | (3.9) | 27 | 粗粒　安 | |
| 772 | I３G | | (4.3) | (5.1) | 41 | 細　安 | |
| 773 | I６G | 短冊形 | (4.8) | (4.0) | 35 | 黒　頁 | |
| 774 | 45H | 〃 | (3.2) | (4.4) | 18 | 灰　安 | |
| 775 | 19H | 〃 | (4.2) | (4.1) | 28 | 黒　頁 | |
| 776 | J４G | 〃 | (3.5) | (6.0) | 26 | 〃 | |
| 777 | 漏２周E | 〃 | (5.0) | (3.2) | 32 | 〃 | |
| 778 | 58H１ | | (5.6) | (4.2) | 37 | 〃 | |
| 779 | 表土 | 短冊形 | (2.8) | (3.1) | 13 | 〃 | |
| 780 | 表土 | | (2.1) | (3.7) | 9 | 〃 | |
| 781 | 表土 | | (4.3) | (4.4) | 23 | 〃 | |
| 782 | J４G | 短冊形 | (2.4) | (3.6) | 21 | 黒色　安 | |
| 783 | 49H | 〃 | (4.5) | (4.4) | 30 | 黒色　頁 | |
| 784 | 表土 | 〃 | (4.3) | (3.8) | 38 | 黒色　安 | |
| 785 | I４G | 〃 | (4.1) | (2.7) | 18 | 黒　頁 | |
| 786 | 37H | 〃 | (3.0) | (4.2) | 16 | 黒色　安 | |
| 787 | 37H | 〃 | (5.0) | (3.9) | 44 | 灰　安 | |
| 788 | I３G | 〃 | (5.3) | (4.2) | 42 | 細　安 | |
| 789 | GIG | 〃 | (3.5) | (4.4) | 21 | 黒　頁 | |
| 790 | N９G | 〃 | (5.0) | (4.0) | 35 | 灰　安 | |
| 791 | I３G | 〃 | (5.8) | (4.1) | 42 | 黒　頁 | |
| 792 | 表土 | 〃 | (3.2) | (4.3) | 29 | 〃 | |
| 793 | 表土 | 〃 | (3.9) | (6.4) | 44 | 黒色　安 | |
| 794 | J４G | 〃 | (5.2) | (5.4) | 52 | 黒色　頁 | |
| 795 | K５G | 〃 | (6.7) | (4.0) | 45 | 〃 | |
| 796 | H２G | 〃 | (3.7) | (4.3) | 29 | 灰　安 | |
| 797 | 28H | 〃 | 10.0 | 3.7 | 51 | 緑色　片 | |
| 798 | N11G | 〃 | (5.7) | (4.1) | 50 | 細　安 | |
| 799 | 45H | 〃 | (4.3) | (3.4) | 32 | 〃 | |
| 800 | K６G | | (5.5) | (3.4) | 33 | 〃 | |
| 801 | F７G | 短冊形 | (4.9) | (3.9) | 36 | 黒　頁 | |
| 802 | 漏７周 | 〃 | (5.2) | (3.3) | 24 | 〃 | |
| 803 | K５G | 〃 | (5.6) | (4.2) | 51 | 灰　安 | |
| 804 | K５G | 〃 | (6.4) | (4.0) | 34 | 黒　頁 | |
| 805 | 表土 | 〃 | (4.0) | (4.1) | 22 | 細　安 | |
| 806 | I３G | 〃 | (6.3) | (4.1) | 66 | 灰　安 | |
| 807 | 漏３墳 | 〃 | (4.7) | (4.0) | 41 | 黒　頁 | |
| 808 | 44H | 〃 | (5.1) | (3.8) | 43 | 〃 | |
| 809 | ２H | 〃 | (3.8) | (3.4) | 19 | 〃 | |
| 810 | 31H | 〃 | (6.2) | (4.0) | 33 | 〃 | |
| 811 | J４G | 〃 | (4.6) | (4.6) | 43 | 細　安 | |
| 812 | L６G | 〃 | (4.9) | (4.0) | 28 | 黒色　安 | |
| 813 | 漏３墳 | | (4.2) | (3.4) | 21 | 〃 | |
| 814 | 37H | 短冊形 | (4.9) | (4.1) | 44 | 灰　安 | |
| 815 | 58H | 〃 | (5.7) | (4.5) | 41 | 黒　頁 | |
| 816 | 10H | 〃 | (6.2) | (4.7) | 52 | 〃 | |
| 817 | 漏３周E | | (4.2) | (4.9) | 44 | 〃 | |
| 818 | J４G | 短冊形 | (5.4) | (3.9) | 44 | 〃 | |
| 819 | J６G | 〃 | (6.0) | (4.4) | 38 | 細　安 | |
| 820 | I３G | | (6.1) | (4.1) | 45 | 黒　頁 | |
| 821 | J５G | | (6.0) | (3.7) | 49 | 〃 | |
| 822 | 57H | 短冊形 | (5.7) | (3.8) | 35 | 細　安 | |
| 823 | J３G | 〃 | (4.8) | (5.6) | 71 | 黒色　安 | |
| 824 | 漏４墳 | 〃 | (4.7) | (4.1) | 38 | 黒　頁 | |
| 825 | 60H | 〃 | (4.3) | (3.8) | 26 | 〃 | |
| 826 | I３G | | (4.4) | (4.1) | 33 | 〃 | |
| 827 | I３G | 短冊形 | (6.8) | (4.0) | 42 | ホルンフェルス | |
| 828 | 12H | | (3.9) | (5.0) | 36 | 黒　頁 | |
| 829 | 58H | 短冊形 | (3.8) | (4.4) | 25 | 〃 | |

| No. | 出土位置 | 形状 | 長さ | 幅 | 重さ | 石材 | 図版番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 830 | 49H | 〃 | (6.8) | (4.1) | 84 | 〃 | |
| 831 | 13H | 〃 | (3.3) | (4.6) | 23 | 灰安 | |
| 832 | 23H | | (5.5) | (4.1) | 32 | 細安 | |
| 833 | 36H | 短冊形 | (4.4) | (4.2) | 30 | 変質玄 | |
| 834 | 32H | | (3.2) | (4.3) | 24 | 黒頁 | |
| 835 | 45H | | (3.7) | (3.6) | 20 | 変質玄 | |
| 836 | I 5 G | 短冊形 | (3.3) | (4.0) | 29 | 細安 | |
| 837 | 漏2周N | 〃 | (4.3) | (3.8) | 39 | 灰安 | |
| 838 | 58H | 〃 | (5.0) | (4.8) | 48 | 黒頁 | |
| 839 | 表土 | 〃 | (6.5) | (4.1) | 44 | 〃 | |
| 840 | J D39 | | (5.0) | (3.5) | 29 | 〃 | |
| 841 | I 3 G | | (4.6) | (3.5) | 23 | 〃 | |
| 842 | 9 H | 撥形 | (5.4) | (6.1) | 66 | 〃 | |
| 843 | 表土 | | (6.1) | (4.8) | 39 | 〃 | |
| 844 | 22H | 短冊形 | (5.6) | (4.5) | 35 | 細安 | |
| 845 | 50H | | (6.7) | (3.2) | 34 | 黒頁 | |
| 846 | I 3 G | 短冊形 | (4.8) | (4.3) | 45 | 細安 | |
| 847 | 45H | 〃 | (5.5) | (4.0) | 25 | 黒頁 | |
| 848 | 表採 | 〃 | (6.3) | (5.2) | 83 | 灰安 | |
| 849 | I 3 G | | (3.4) | (4.0) | 19 | 黒色安 | |
| 850 | K 6 G | 短冊形 | (4.2) | (3.7) | 19 | 黒頁 | |
| 851 | 26H | 〃 | (3.4) | (4.4) | 26 | 〃 | |
| 852 | 30H | | (3.6) | (3.2) | 20 | 黒色安 | |
| 853 | K 5 G | 短冊形 | (4.2) | (4.0) | 32 | 黒頁 | |
| 854 | 27H | 〃 | (5.3) | (3.8) | 24 | 〃 | |
| 855 | 12H | 〃 | (2.3) | (2.7) | 8 | 黒色安 | |
| 856 | 9 H | 〃 | (3.1) | (3.3) | 17 | 黒頁 | |
| 857 | 9 H | 〃 | (5.8) | (4.0) | 45 | 〃 | |
| 858 | 6墳周N | 〃 | (5.9) | (2.9) | 27 | 灰安 | |
| 859 | 表土 | | (7.3) | (5.2) | 101 | 〃 | |
| 860 | N 9 G | | (2.8) | (4.1) | 19 | 細安 | |
| 861 | 34H | 短冊形 | (4.9) | (4.8) | 40 | 黒頁 | |
| 862 | K 9 G | 〃 | (2.8) | (4.0) | 11 | 黒色安 | |
| 863 | J 4 G | 〃 | (5.9) | (3.9) | 47 | 黒頁 | |
| 864 | 28H | 〃 | (5.6) | (6.7) | 79 | 〃 | |
| 865 | N 9 G | 〃 | (3.9) | (3.9) | 33 | 〃 | |
| 866 | K 6 G | | (7.0) | (5.0) | 60 | 〃 | |
| 867 | J D89 | 短冊形 | (5.0) | (4.6) | 51 | 〃 | |
| 868 | N 9 G | 〃 | (2.4) | (3.8) | 14 | 〃 | |
| 869 | J 6 G | 〃 | (4.1) | (3.7) | 39 | 〃 | |
| 870 | 36H | 〃 | (5.6) | (4.4) | 67 | 細安 | |
| 871 | 漏1周 | 〃 | (7.8) | (4.2) | 65 | 黒頁 | |
| 872 | 表採 | 〃 | (4.4) | (3.8) | 31 | 細安 | |
| 873 | 漏3墳 | 〃 | (6.4) | (4.5) | 85 | 〃 | |
| 874 | 漏3墳 | 〃 | (8.4) | (2.9) | 41 | | |
| 875 | H 2 G | 〃 | (5.9) | (4.3) | 70 | 細安 | |
| 876 | 19H | 〃 | (5.0) | (5.5) | 42 | 黒頁 | |
| 877 | J D89 | | (6.5) | (7.5) | 101 | 〃 | |
| 878 | J 4 G | | (7.6) | (5.1) | 70 | 〃 | |
| 879 | M10G | 撥形 | (5.3) | (5.9) | 53 | | |
| 880 | 28H | 短冊形 | (8.3) | (4.4) | 41 | 黒頁 | |
| 881 | I 3 G | 〃 | (8.2) | (4.3) | 68 | 細安 | |
| 882 | 漏7墳N | 〃 | (4.8) | (5.1) | 54 | 黒頁 | |
| 883 | H 7 G | 木の葉形 | (9.7) | (5.8) | 104 | 〃 | |
| 884 | 19H | 石槍形 | (6.6) | (3.4) | 33 | 黒色安 | |
| 885 | I 3 G | 短冊形 | (5.8) | (5.3) | 89 | 灰安 | |
| 886 | 風倒木 | 〃 | (2.7) | (3.4) | 10 | 黒頁 | |
| 887 | 4 H | | (5.1) | (4.3) | 29 | 〃 | |
| 888 | 表土 | | (3.0) | (5.2) | 16 | 〃 | |
| 889 | 漏1周 | 短冊形 | (11.2) | (5.0) | 117 | 〃 | |

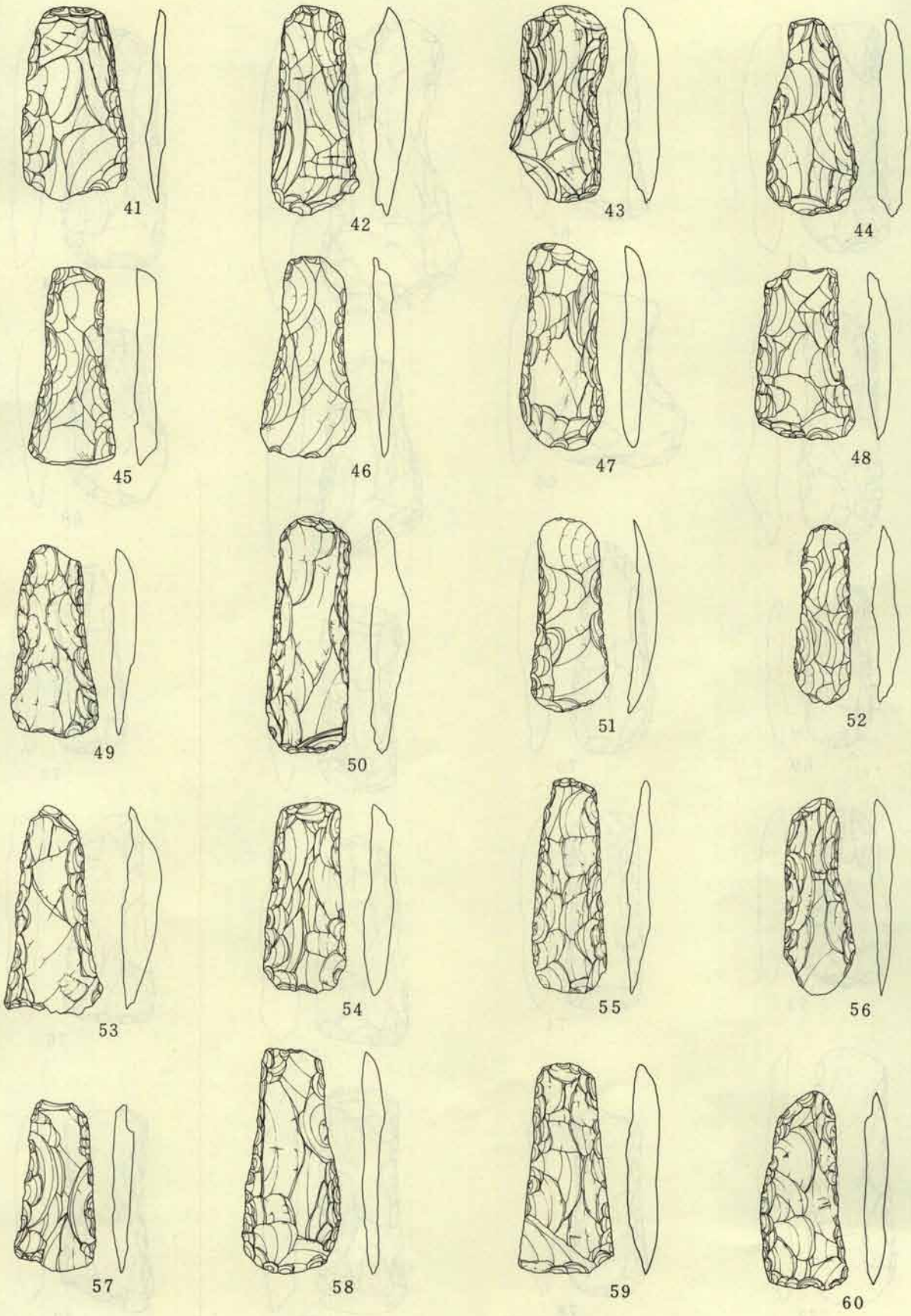
| No. | 出土位置 | 形状 | 長さ | 幅 | 重さ | 石材 | 図版番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 890 | 17H | 〃 | 13.6 | 5.1 | 155 | 細安 | |
| 891 | 漏1墳S | 撥形 | 13.8 | 6.0 | 149 | 〃 | |
| 892 | 22H | 〃 | 11.4 | 4.6 | 111 | 〃 | |
| 893 | 45H | 短冊形 | 10.6 | 4.0 | 73 | 〃 | |
| 894 | 22H | 〃 | 10.2 | 4.6 | 84 | 黒頁 | |
| 895 | 28H | 分銅形 | 12.9 | 7.9 | 306 | 〃 | |
| 896 | 上表 | 〃 | 9.8 | 6.7 | 126 | 〃 | |
| 897 | I 3 G | 撥形 | 14.7 | 6.0 | 185 | 〃 | |
| 898 | 1 H | 撥形 | 9.9 | 6.2 | 150 | 〃 | |
| 899 | N 9 G | 短冊形 | 12.0 | 4.7 | 143 | 〃 | |
| 900 | J D72 | 分銅形 | 11.9 | 6.6 | 184 | 〃 | |
| 901 | 5墳 | 短冊形 | 11.2 | 4.6 | 98 | 〃 | |
| 902 | 45H | 〃 | 12.2 | 3.8 | 82 | 〃 | |
| 903 | 表土 | 分銅形 | 8.2 | 5.3 | 72 | 〃 | |
| 904 | 4 H | 撥形 | 12.2 | 4.6 | 87 | 〃 | |
| 905 | 表土 | 〃 | 10.1 | 4.1 | 78 | 〃 | |
| 906 | 11H | 〃 | 9.3 | 4.3 | 69 | 〃 | |
| 907 | N 9 G | 〃 | 8.8 | 4.0 | 65 | 〃 | |
| 908 | I 3 G | 〃 | 10.8 | 4.2 | 68 | 〃 | |
| 909 | J D32 | 〃 | 20.5 | 10.4 | 929 | 粗粒安 | |
| 910 | J D31 | 短冊形 | 10.3 | 5.2 | 106 | 〃 | |
| 911 | 漏3墳丘 | 分銅形 | 12.5 | 7.0 | 234 | 〃 | |



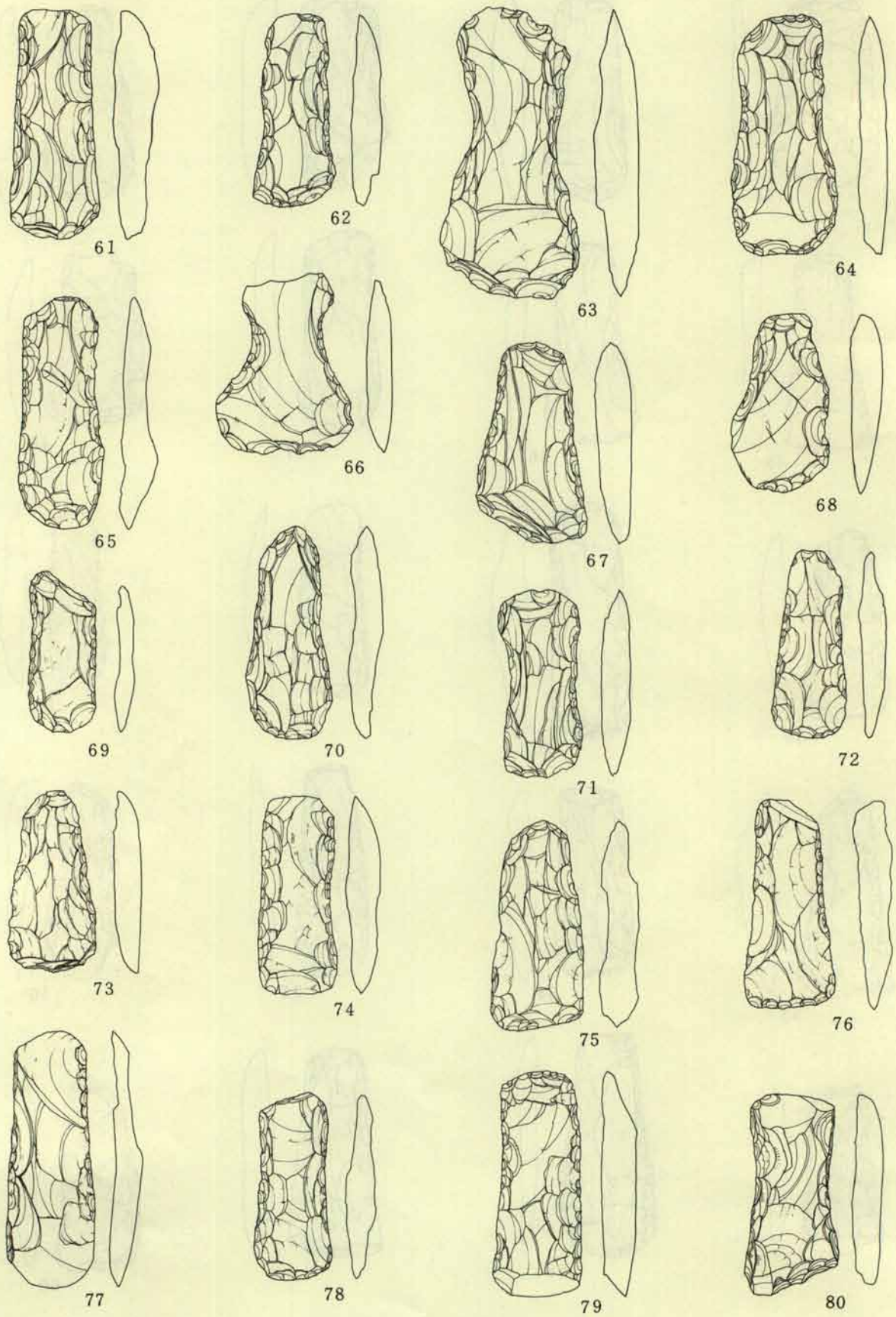

第197図　打製石斧(1)



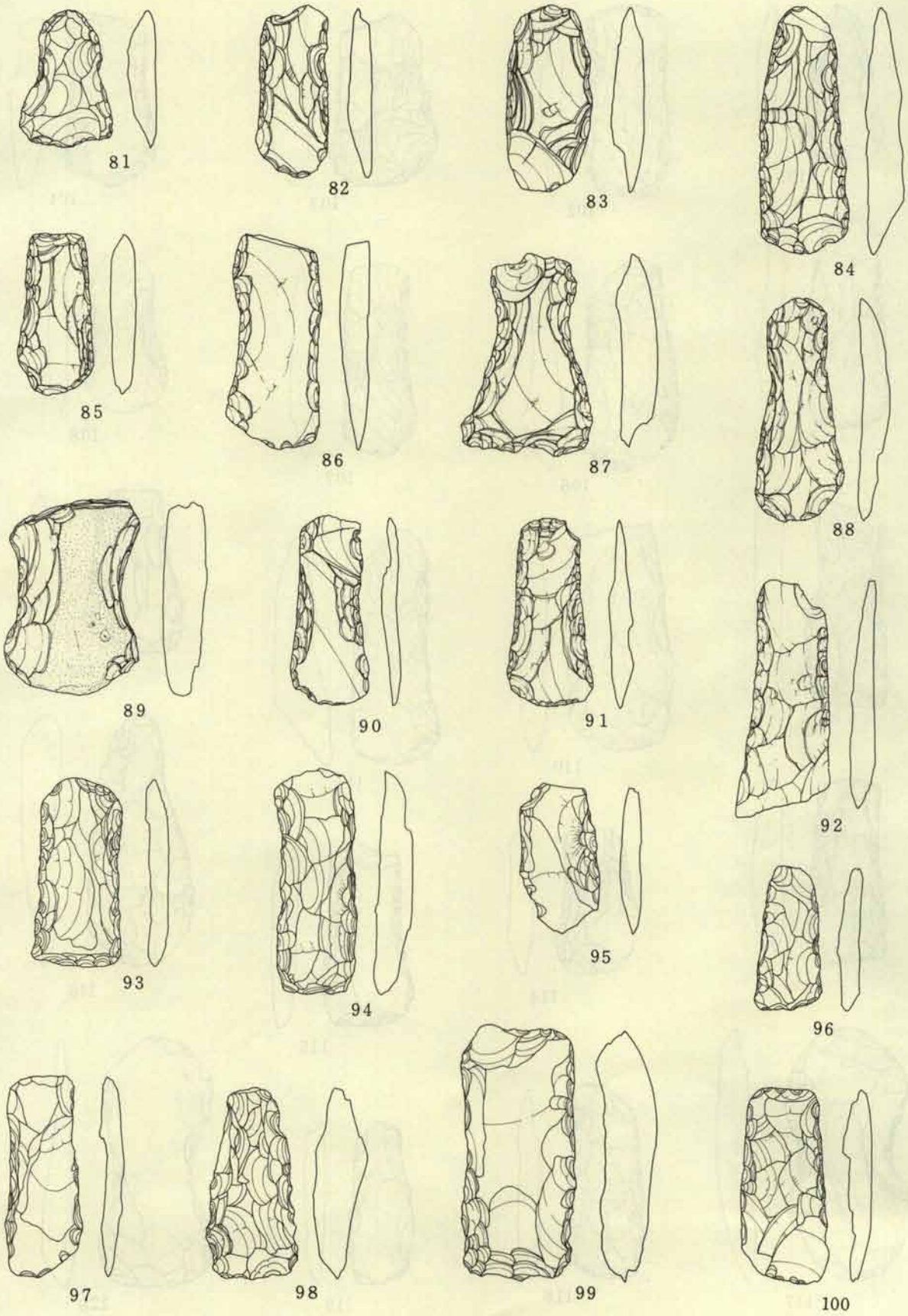

第198図　打製石斧(2)



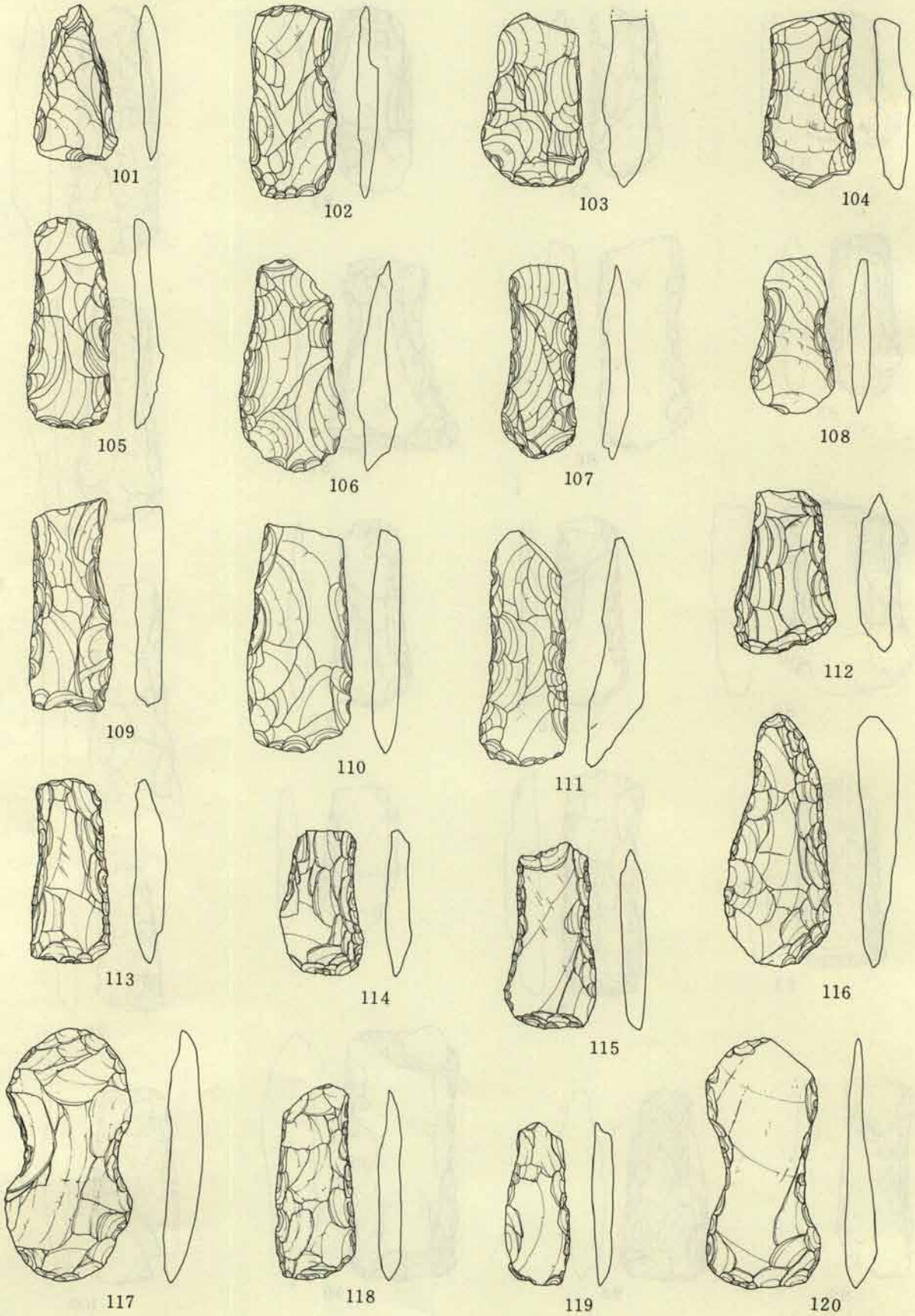

第199図　打製石斧(3)



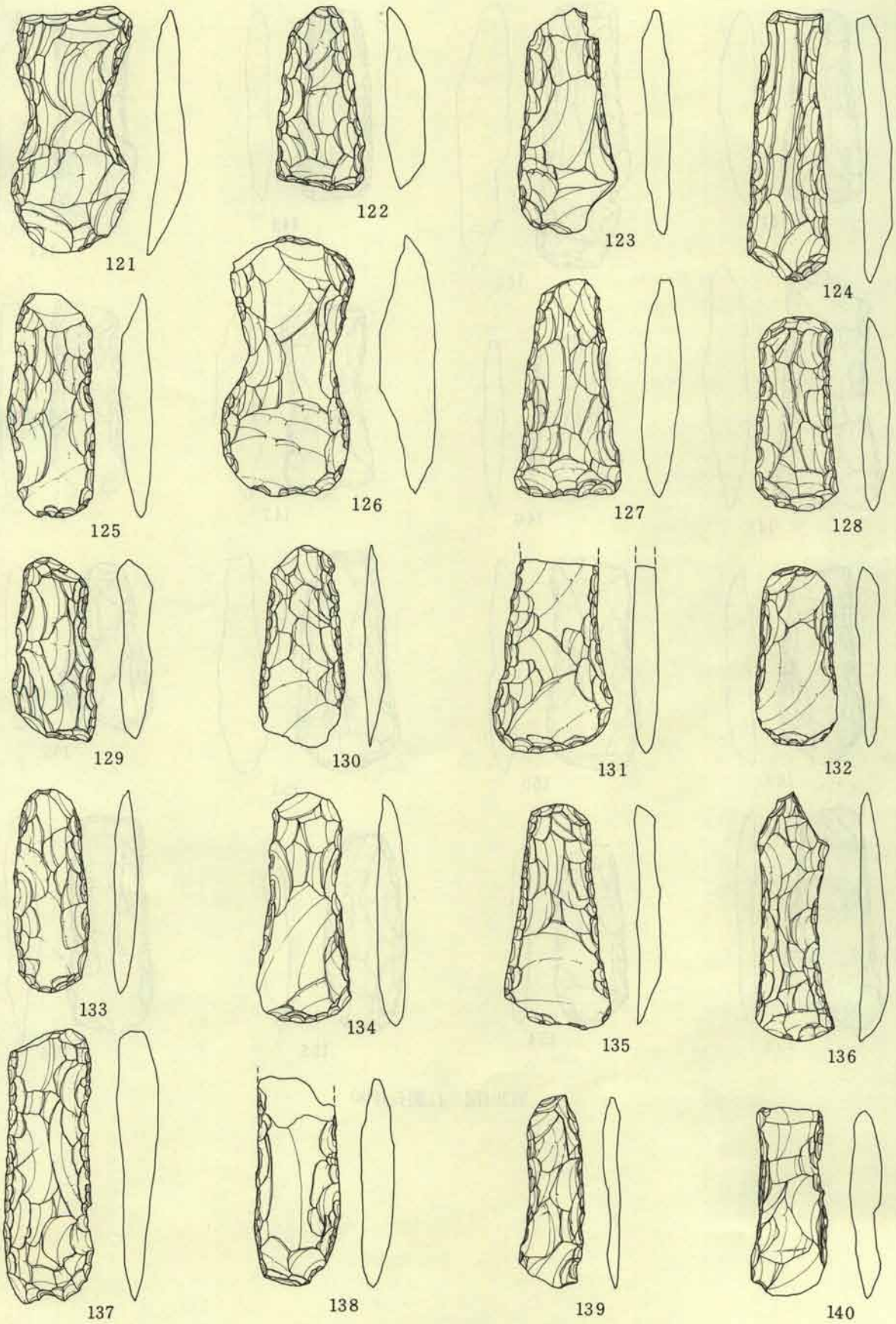

第200図　打製石斧(4)



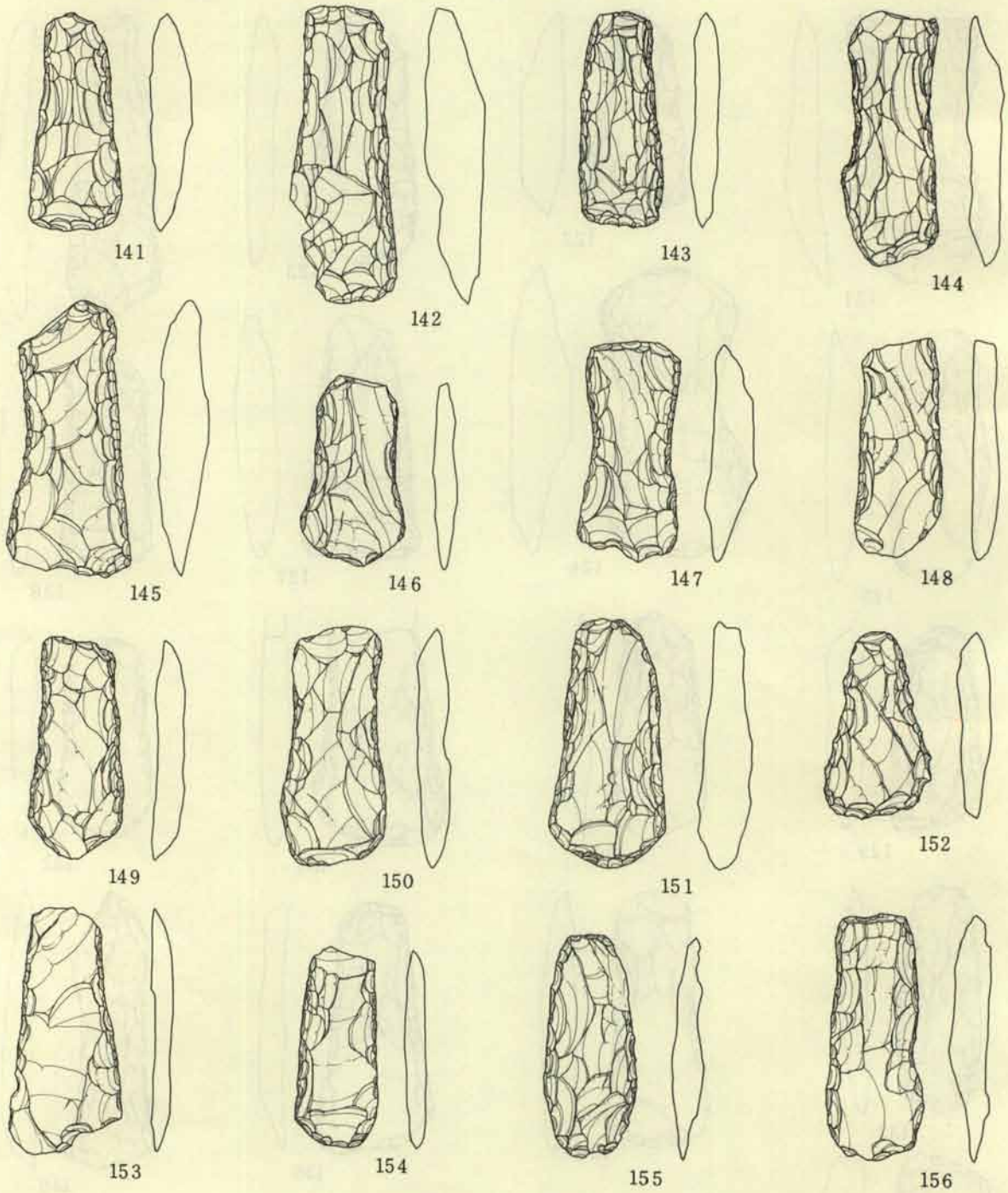

第201図　打製石斧(5)


101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120

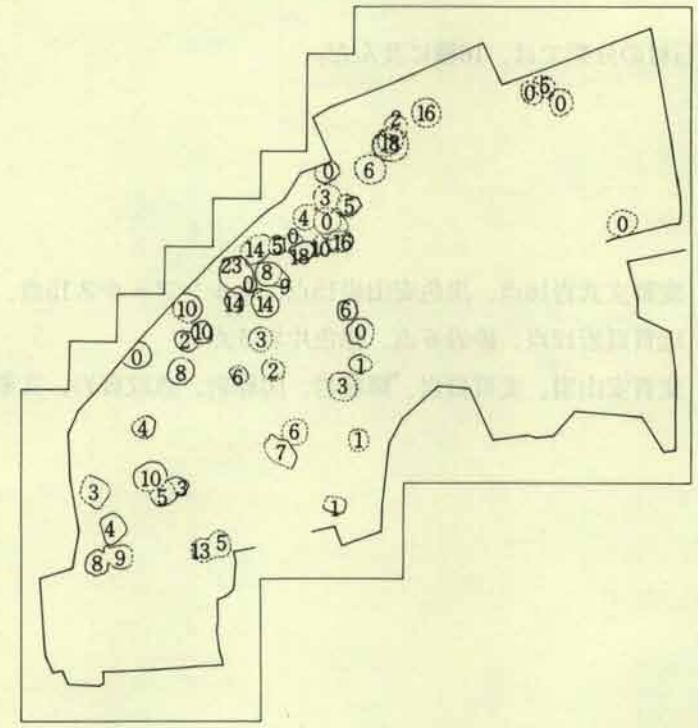
第202図　打製石斧(6)

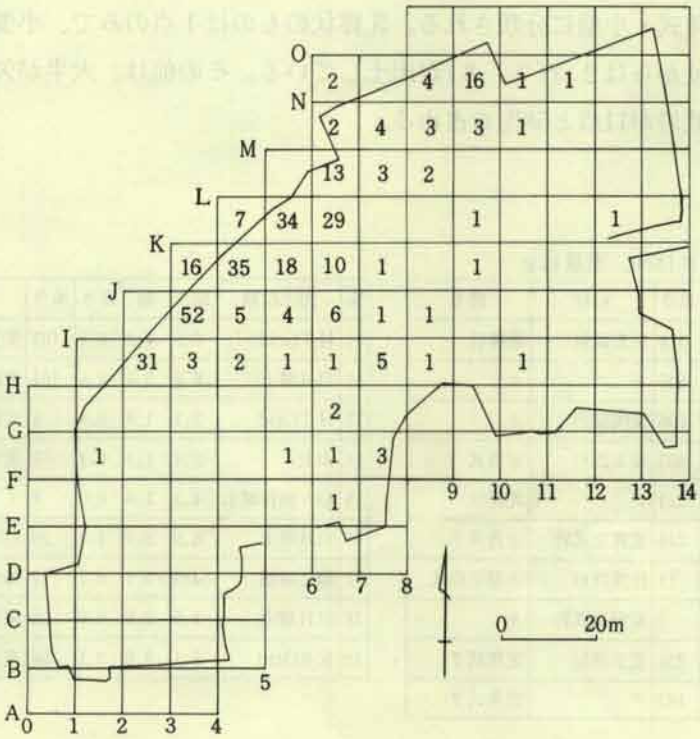

121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140

第203図　打製石斧(7)




第204図　打製石斧(8)






第205図　打製石斧の住居、グリット別出土分布図

### 打製石斧の石材

出土総数911点に於ける石材の分類では、16種に及んだ。

① 黒色頁岩　61%
② 細粒安山岩　16%
③ 灰色安山岩　13%
④ 粗粒安山岩　2%
⑤ その他　8%　変質玄武岩16点、黒色安山岩15点、ホルンフェルス15点、
珪質頁岩12点、砂岩６点、緑色片岩３点、
変質安山岩、変質頁岩、輝緑岩、閃緑岩、点紋頁岩、文象班文岩各１点

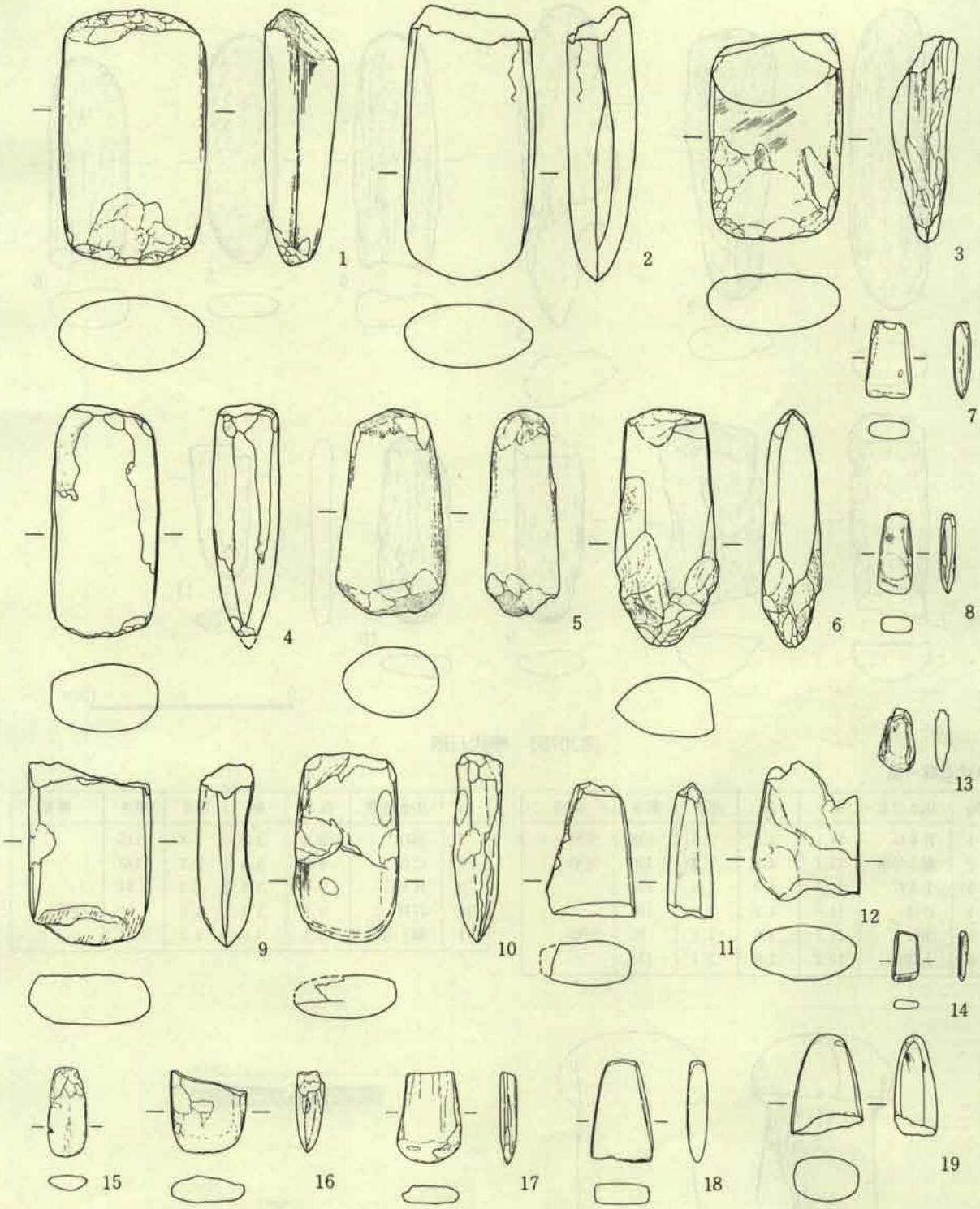
### 磨製石斧（第206図１～19）

出土総数は19点を数える。その出土は、11点が加曽利Ｅ式に比定される住居址の埋土中である。その他はグリットとその他の遺構である。

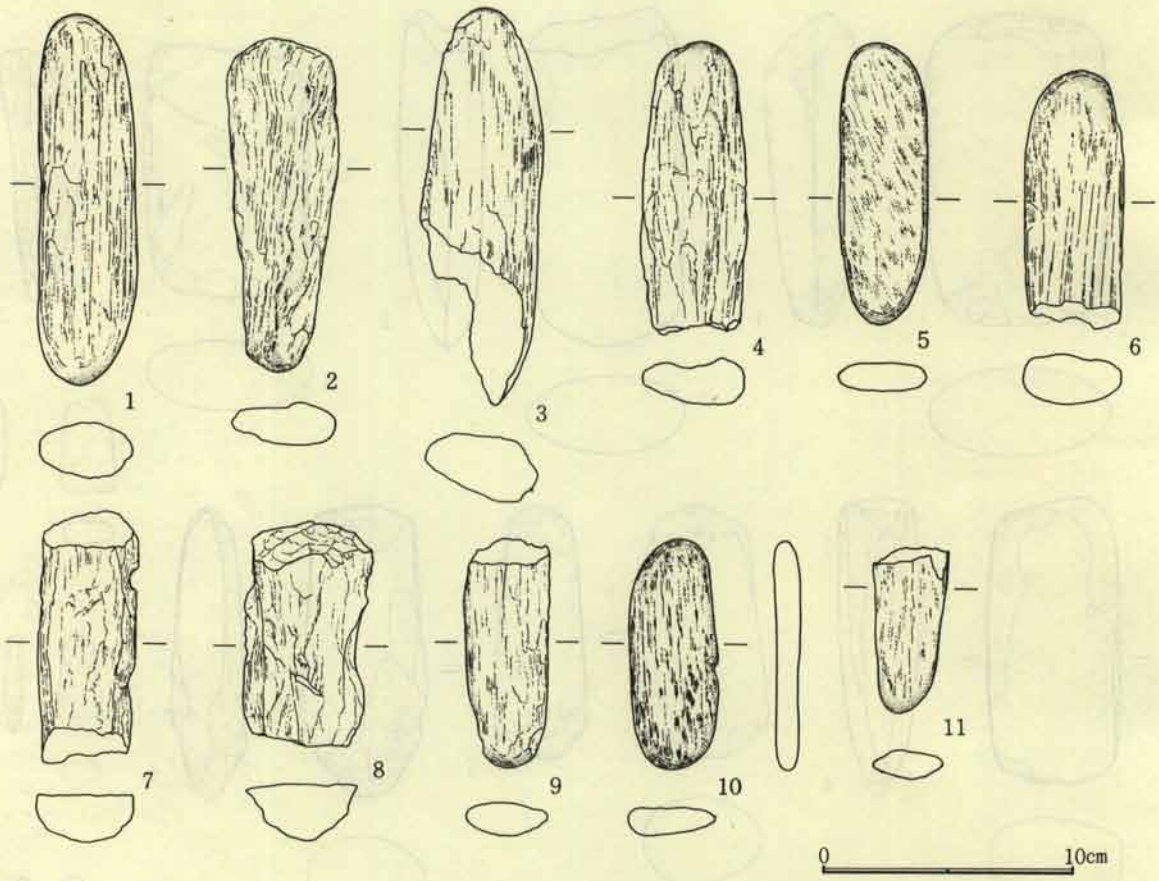
これらは、乳棒状・定角式・小型に分類される。乳棒状のものは１点のみで、小型定角式に完形品が多く見られる。21号住居址からは２点（７、８）が出土している。その他は、大半が欠損している。　石材は、変玄武岩と変質玄武岩が11点と58%を占める。

**磨製石斧一覧**　長さ・幅・厚さはcm、重量はｇ

| No. | 出土位置 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ | 石材 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ４Ｈ埋土 | 12.4 | 7.2 | 3.6 | 578 | 変玄武岩 | 乳棒状 |
| 2 | 49Ｈ埋土 | 13.3 | 6.4 | 3.4 | 505 | 〃 | 〃 |
| 3 | 30Ｈ埋土 | 9.9 | 6.5 | 3.1 | 296 | 変閃緑岩 | 〃 |
| 4 | ？ | 11.3 | 5.3 | 3.3 | 402 | 変玄武岩 | 定角式 |
| 5 | 21Ｈ炉内 | 10.0 | 5.3 | 3.7 | 324 | 〃 | 乳棒状 |
| 6 | 漏２墳堀 | 11.5 | 5.1 | 2.9 | 246 | 変質玄武岩 | 定角式？ |
| 7 | 21Ｈ埋土 | 3.7 | 2.2 | 0.8 | 11 | 珪質頁岩 | 小型定角式 |
| 8 | 〃 | 3.9 | 1.7 | 0.7 | 9 | 変質玄武岩 | 〃 |
| 9 | 49Ｈ埋土 | 8.9 | 6.0 | 2.6 | 251 | 変玄武岩 | 定角式？ |
| 10 | 30Ｈ埋土 | 9.2 | 5.0 | 2.2 | 183 | 〃 | 定角式？ |
| 11 | Ｈ７Grid | 6.6 | 4.3 | 2.1 | 101 | 変玄武岩 | 定角式 |
| 12 | 41Ｈ埋土 | 6.8 | 5.4 | 2.6 | 101 | 変輝緑岩 | 〃 |
| 13 | Ｈ７Grid | 3.1 | 1.8 | 0.6 | 4 | 変質頁岩 | 小型定角式 |
| 14 | 表土 | 2.4 | 1.3 | 0.4 | 2 | 変質蛇紋岩？ | 小型定角式 |
| 15 | 45～48Ｈ埋土 | 4.3 | 1.8 | 8.0 | 8 | 〃 | 小型定角式？ |
| 16 | 21Ｈ埋土 | 3.9 | 3.7 | 1.4 | 29 | 片状ホルンフェルス | 定角式 |
| 17 | 漏２墳堀 | 4.5 | 3.1 | 0.7 | 17 | 緑色片岩 | 小型定角式？ |
| 18 | 51Ｈ埋土 | 4.9 | 2.9 | 0.9 | 25 | 変質蛇紋岩？ | 小型定角式 |
| 19 | Ｋ６Grid | 5.1 | 3.6 | 2.1 | 56 | 変玄武岩 | 定角式 |



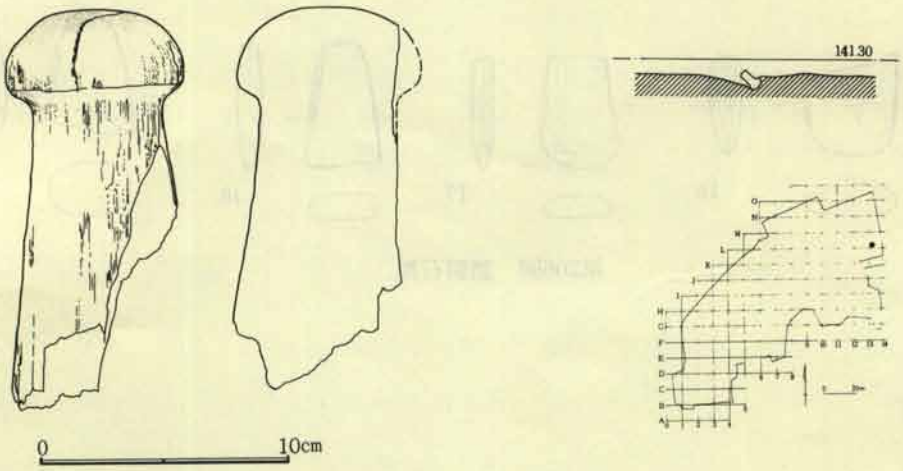

第206図　磨製石斧




第207図　棒状石器

棒状石器一覧

| No. | 出土位置 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | K 6 G | 14.5 | 3.8 | 2.5 | 218 | 完形 |
| 2 | 漏 2 号墳 | 13.1 | 4.6 | 1.6 | 130 | 完形 |
| 3 | I 3 G | 15.7 | 4.8 | 2.6 | 225 | |
| 4 | 40H | 11.5 | 4.2 | 1.8 | 130 | |
| 5 | 20H | 11.1 | 3.5 | 1.2 | 83 | 完形 |
| 6 | J D89 | 10.2 | 3.9 | 2.1 | 135 | |
| 7 | 26H | 9.9 | 3.8 | 1.8 | 115 | |
| 8 | 12H | 8.9 | 5.0 | 2.2 | 143 | |
| 9 | H 6 G | 9.0 | 3.4 | 1.3 | 64 | |
| 10 | 27H | 9.1 | 3.4 | 1.0 | 52 | 完形 |
| 11 | 漏 1 号墳 | 6.5 | 3.0 | 1.2 | 35 | |




第208図　石棒

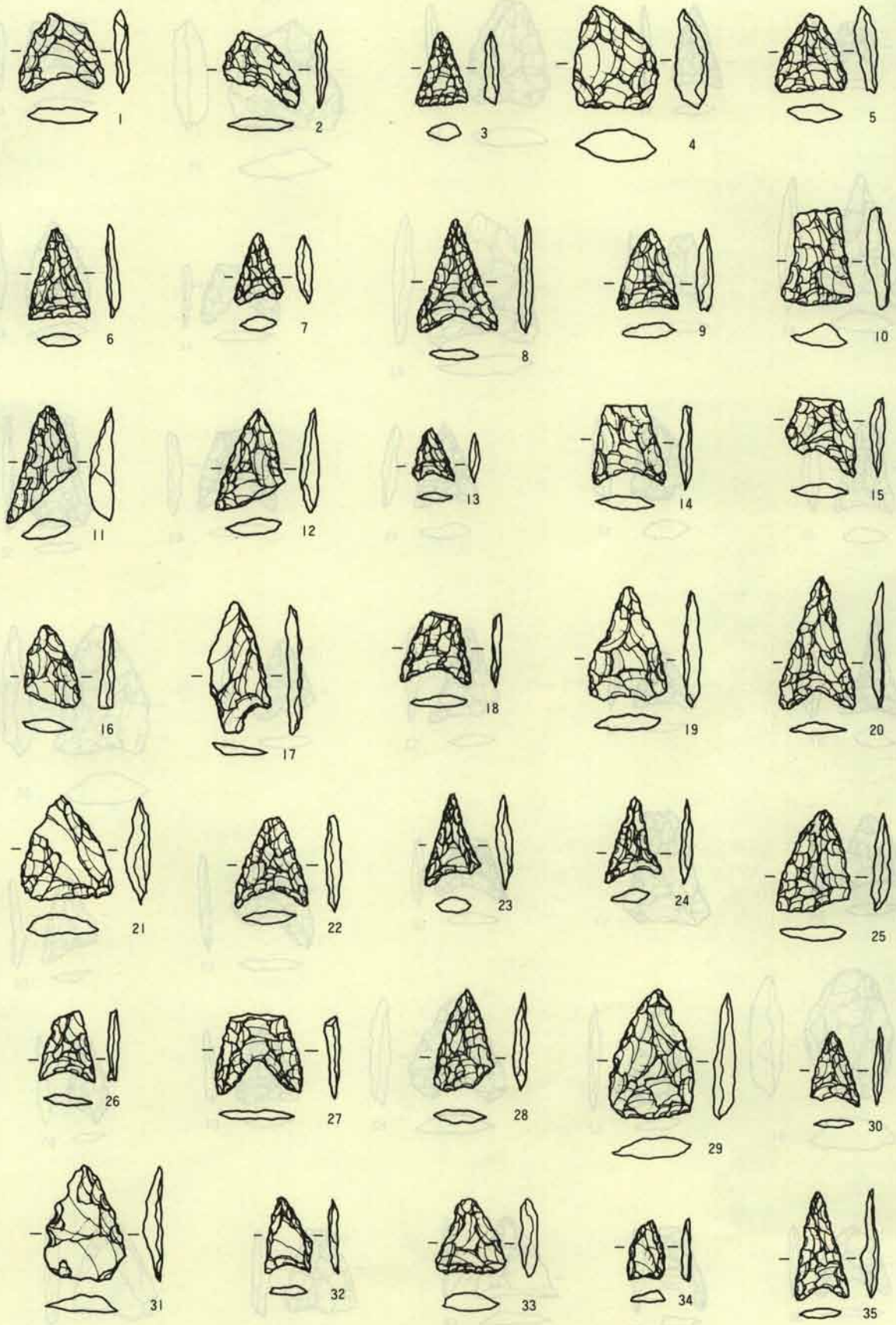
## 石鏃（第209～214図）

総数は240点を数える。石材は４種類に分類され、その頻度は黒色安山岩52％、チャート27％、黒曜石10％、黒色頁岩９％、珪質頁岩２％である。

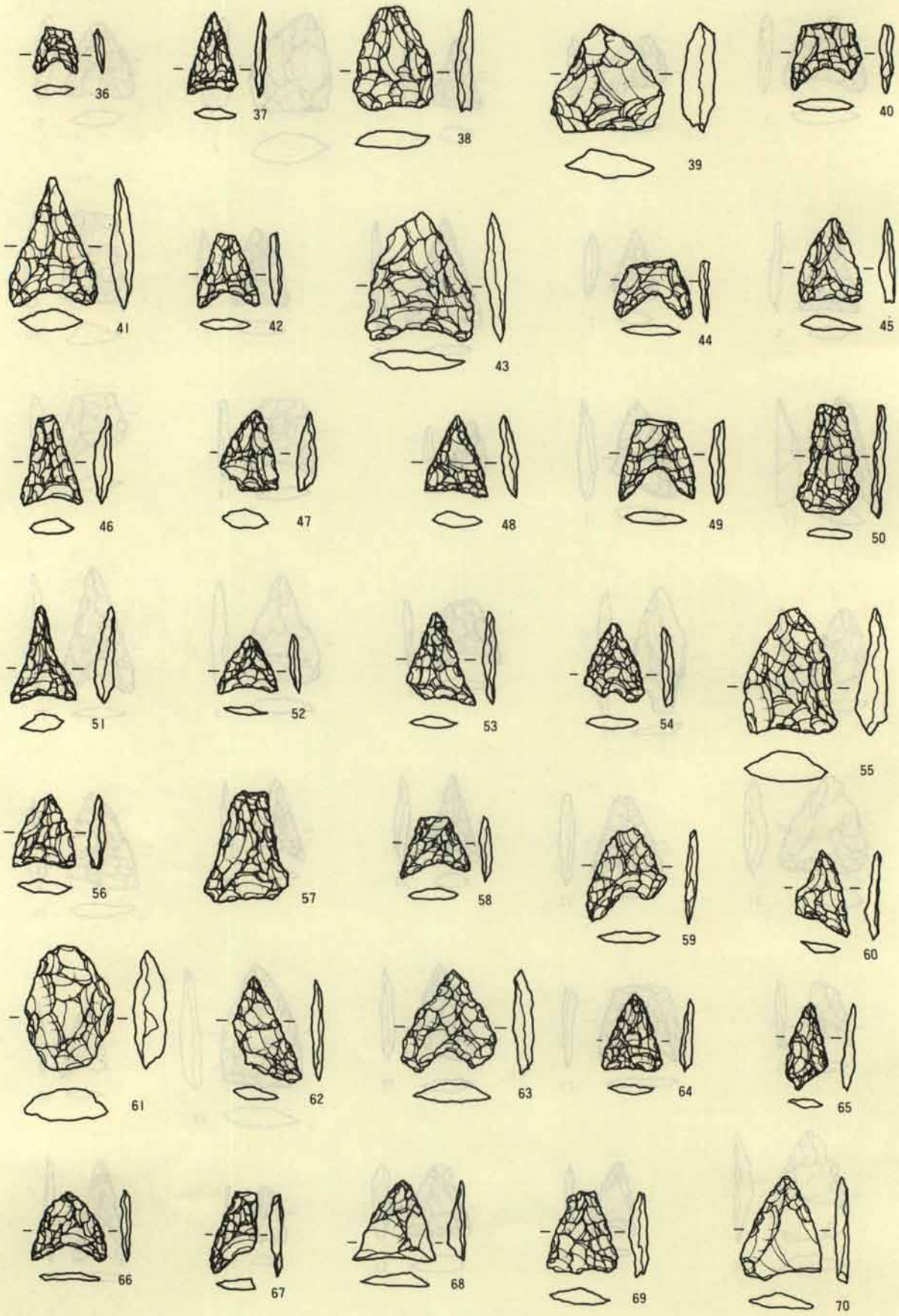
### 石鏃一覧

| No. | 出土位置 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ | 石材 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1H | (1.95) | 2.1 | 0.41 | (1.7) | 黒色頁岩 | 先欠 |
| 2 | 5H | (2.2) | (1.65) | (0.33) | (0.9) | 黒色安山岩 | 先脚欠 |
| 3 | 55H | 1.85 | 1.3 | 0.45 | 0.9 | チャート | 完形 |
| 4 | 〃 | 2.8 | (2.25) | 0.9 | (4.5) | 黒色安山岩 | 側欠 |
| 5 | 12H | (2.0) | 1.8 | 0.6 | (1.7) | 〃 | 先欠 |
| 6 | 〃 | 2.3 | 1.55 | 0.35 | 0.9 | 黒色頁岩 | 完形 |
| 7 | 〃 | 1.8 | (1.2) | 0.35 | (0.6) | チャート | 脚欠 |
| 8 | 〃 | 2.8 | 2.05 | 0.33 | 1.3 | 〃 | 完形 |
| 9 | 〃 | 2.0 | 1.45 | 0.45 | 1.0 | 〃 | 完形 |
| 10 | 〃 | (2.35) | 1.85 | 0.6 | (2.2) | 黒色安山岩 | 先脚欠 |
| 11 | 〃 | (3.05) | (1.8) | 0.6 | (1.9) | チャート | 側脚欠 |
| 12 | 17H | (2.6) | (1.8) | 0.45 | (1.6) | 黒色安山岩 | 脚欠 |
| 13 | 19H | 1.4 | (1.1) | 0.25 | (0.3) | チャート | 脚欠 |
| 14 | 〃 | (2.0) | 1.8 | 0.3 | (1.2) | 黒色安山岩 | 先欠 |
| 15 | 〃 | (2.0) | (1.85) | 0.4 | (1.1) | 〃 | 先脚欠 |
| 16 | 〃 | (2.2) | (1.4) | (0.45) | (1.2) | 〃 | 脚欠 |
| 17 | 〃 | (3.35) | (1.6) | (0.3) | (1.7) | 黒色頁岩 | 側脚欠 |
| 18 | 〃 | (1.8) | 1.8 | 0.35 | (1.0) | 黒色安山岩 | 先欠 |
| 19 | 7H | (2.85) | (2.0) | 0.45 | (2.4) | 〃 | 脚欠 |
| 20 | 〃 | 3.35 | 1.9 | 0.3 | 1.5 | 黒色頁岩 | 完形 |
| 21 | 〃 | 2.6 | 2.25 | 0.6 | 3.5 | チャート | 完形 |
| 22 | 6H | (2.25) | 1.8 | 0.4 | (1.2) | 〃 | 先欠 |
| 23 | 9H | 2.4 | (1.45) | 0.4 | (0.8) | 黒色安山岩 | 脚欠 |
| 24 | 11H | 2.05 | 1.45 | 0.4 | 0.8 | チャート | 完形 |
| 25 | 〃 | 2.65 | (1.85) | 0.55 | (2.0) | 黒色安山岩 | 脚欠 |
| 26 | 〃 | (1.8) | 1.4 | 0.35 | (0.7) | 黒色安山岩 | 先欠 |
| 27 | 〃 | (2.0) | 2.2 | 0.35 | (1.4) | チャート | 先欠 |
| 28 | 〃 | (2.25) | (1.55) | 0.4 | (1.3) | 黒色安山岩 | 脚欠 |
| 29 | 13H炉 | 3.25 | 2.15 | 0.6 | 4.1 | 〃 | 完形 |
| 30 | 19H周辺 | 1.95 | (1.3) | 0.25 | (0.5) | チャート | 脚欠 |
| 31 | 22H | 2.95 | (2.05) | 0.45 | (2.6) | 黒色安山岩 | 側脚欠 |
| 32 | 〃 | 1.95 | (1.3) | 0.3 | (0.8) | 〃 | 〃 |
| 33 | 〃 | (1.95) | 1.8 | 0.5 | (1.7) | 〃 | 先欠 |
| 34 | 32H | (1.6) | 1.0 | 0.3 | (0.5) | 黒曜石 | 先脚欠 |
| 35 | 〃 | 2.8 | 1.4 | 0.4 | 1.0 | 黒色安山岩 | 完形 |
| 36 | 28H | (1.2) | 1.15 | 0.25 | (0.3) | 黒曜石 | 先欠 |
| 37 | 〃 | 2.15 | (1.35) | 0.3 | (0.7) | 〃 | 脚欠 |
| 38 | 52H | (2.7) | 2.15 | 0.45 | (3.1) | 黒色安山岩 | 先欠 |
| 39 | 〃 | (2.75) | 3.0 | 0.9 | (7.0) | チャート | 脚欠 |
| 40 | 34H | (1.65) | (1.9) | 0.35 | (1.0) | 黒色安山岩 | 先脚欠 |
| 41 | 〃 | 3.25 | 2.3 | 0.65 | 3.3 | チャート | 完形 |
| 42 | 〃 | (1.9) | 1.65 | 0.35 | (0.9) | 黒色安山岩 | 先欠 |
| 43 | 〃 | (3.4) | (2.9) | 0.6 | (4.8) | 黒色頁岩 | 先欠 |
| 44 | 〃 | (1.6) | 2.0 | 0.3 | (0.8) | 黒色安山岩 | 先欠 |
| 45 | 30H | 2.2 | 1.65 | 0.45 | 1.4 | 〃 | 完形 |
| 46 | 26H | (2.3) | 1.6 | 0.4 | (1.2) | 黒色頁岩 | 先欠 |
| 47 | 20H | (2.1) | 1.6 | 0.55 | (1.4) | 黒曜石 | 脚欠 |
| 48 | 21H | 2.2 | 1.65 | 0.4 | 1.1 | チャート | 完形 |
| 49 | 39H | (2.1) | 2.0 | 0.35 | (1.2) | 黒色安山岩 | 先欠 |
| 50 | 〃 | (2.9) | (1.6) | 0.3 | (1.3) | 黒曜石 | 先脚欠 |
| 51 | 〃 | 2.55 | 1.8 | 0.6 | 1.7 | 黒色頁岩 | 完形 |
| 52 | 41H | 1.5 | 1.65 | 0.2 | 0.5 | 黒色安山岩 | 完形 |
| 53 | 〃 | 2.45 | (1.85) | 0.4 | (1.3) | チャート | 脚欠 |
| 54 | 〃 | (1.9) | (1.6) | 0.3 | (0.8) | 黒曜石 | 脚欠 |
| 55 | 〃 | (3.3) | 2.4 | 0.8 | (5.5) | 黒色安山岩 | 先脚欠 |
| 56 | 36H | (1.9) | 1.65 | 0.4 | (1.1) | 〃 | 先欠 |
| 57 | 60H | (2.9) | (2.2) | 0.6 | (3.1) | 〃 | 先脚欠 |
| 58 | 48H | (1.55) | (1.9) | 0.3 | (0.7) | 〃 | 先欠 |
| 59 | 37H | (2.3) | (2.2) | 0.25 | (1.2) | 〃 | 先脚欠 |
| 60 | 48H | 2.25 | (1.8) | 0.4 | (0.8) | チャート | 脚欠 |
| 61 | 〃 | 3.2 | 2.3 | 0.8 | 7.1 | 黒色安山岩 | 完形 |
| 62 | 〃 | (2.8) | (1.8) | 0.4 | (1.4) | チャート | 脚欠 |
| 63 | 〃 | (2.6) | (2.7) | 0.6 | (2.9) | 〃 | 〃 |
| 64 | 45.46H | 2.0 | 1.6 | 0.3 | 0.8 | 黒曜石 | 完形 |
| 65 | 〃 | (2.3) | (1.1) | 0.3 | (0.6) | 〃 | 脚欠 |
| 66 | 〃 | (1.8) | (1.9) | 0.3 | (0.9) | 黒色安山岩 | 先脚欠 |
| 67 | 〃 | (2.3) | (1.1) | 0.3 | (0.9) | 〃 | 先側脚欠 |
| 68 | 〃 | (2.1) | (2.2) | 0.6 | (1.8) | 〃 | 側脚欠 |
| 69 | 〃 | (2.2) | (1.85) | 0.5 | (1.8) | 〃 | 先脚欠 |
| 70 | 〃 | (2.7) | (2.2) | 0.4 | (2.3) | 黒色頁岩 | 側脚欠 |
| 71 | 〃 | (1.55) | 1.3 | 0.3 | (0.5) | 黒色安山岩 | 先欠 |
| 72 | 〃 | 1.5 | 2.2 | 0.3 | 0.6 | 黒曜石 | 完形 |
| 73 | 〃 | (2.3) | 1.6 | 0.3 | (1.0) | チャート | 脚欠 |
| 74 | 〃 | (3.5) | (2.25) | 0.8 | (4.4) | 黒色安山岩 | 先脚欠 |
| 75 | 〃 | (3.5) | (2.4) | 0.65 | (4.7) | 黒色頁岩 | 先脚欠 |
| 76 | 〃 | (2.75) | (2.3) | 0.75 | (4.1) | 〃 | 側脚欠 |
| 77 | 〃 | (2.3) | 1.9 | 0.6 | (2.0) | チャート | 側欠 |
| 78 | 〃 | (2.25) | (1.2) | 0.3 | (0.7) | 黒色安山岩 | 側脚欠 |
| 79 | 〃 | (1.7) | (1.4) | 0.3 | (0.7) | 〃 | 脚欠 |
| 80 | 〃 | (2.0) | (1.3) | 0.35 | (1.1) | 〃 | 脚欠 |
| 81 | 42H | (2.4) | (2.45) | 0.45 | (2.8) | 〃 | 先欠 |
| 82 | 43H | (2.15) | (2.1) | 0.4 | (1.2) | 〃 | 先欠 |
| 83 | 44H | (2.7) | (2.2) | 0.4 | (1.8) | 〃 | 脚欠 |
| 84 | 〃 | (2.55) | (2.1) | 0.45 | (1.8) | チャート | 脚欠 |
| 85 | 〃 | 2.65 | 2.1 | 0.8 | 4.3 | 〃 | 完形 |
| 86 | 〃 | (3.4) | (2.1) | 0.7 | (3.8) | 〃 | 脚欠 |
| 87 | 〃 | (2.6) | (1.85) | 0.5 | (2.3) | 黒色安山岩 | 先脚欠 |
| 88 | 49H | (3.1) | (1.85) | 0.35 | (1.7) | 〃 | 先脚欠 |
| 89 | 〃 | 2.8 | (2.0) | 0.7 | (3.8) | 〃 | 脚欠 |
| 90 | 〃 | 2.2 | 1.5 | 0.3 | 0.8 | 〃 | 完形 |
| 91 | 〃 | (3.15) | (1.7) | 0.3 | (1.2) | 黒色頁岩 | 先脚欠 |
| 92 | 58H | (2.65) | (1.7) | 0.3 | (1.3) | 黒色安山岩 | 脚欠 |
| 93 | 〃 | 2.15 | 1.8 | 0.5 | 1.2 | 〃 | 完形 |
| 94 | 〃 | (2.2) | (2.0) | 0.6 | (1.9) | 〃 | 先脚欠 |
| 95 | 〃 | (2.15) | 1.65 | 0.4 | (1.2) | 〃 | 先脚欠 |
| 96 | JD7 | (2.45) | 1.4 | 0.35 | (0.8) | 〃 | 先欠 |
| 97 | 〃 | (1.3) | (1.3) | 0.3 | (0.3) | 黒曜石 | 先脚欠 |
| 98 | JD27 | (2.7) | (1.35) | 0.3 | (1.0) | 〃 | 先脚欠 |
| 99 | JD31 | (2.8) | (1.8) | 0.4 | (1.7) | 黒色安山岩 | 脚欠 |
| 100 | JD31B | 2.8 | (1.6) | 0.3 | (1.1) | 〃 | 脚欠 |
| 101 | 〃 | (2.1) | (1.6) | 0.3 | (0.9) | 〃 | 脚欠 |
| 102 | JD42 | (2.6) | (2.0) | 0.8 | (3.2) | 〃 | 脚欠 |
| 103 | JD54 | 2.35 | (1.9) | 0.5 | (1.3) | 〃 | 脚欠 |
| 104 | JD61 | (3.0) | (2.2) | 0.85 | (4.5) | 〃 | 脚欠 |
| 105 | JD67 | (2.6) | (2.1) | 0.4 | (2.2) | 〃 | 先脚欠 |
| 106 | E2G | 1.35 | 1.1 | 0.2 | 0.2 | チャート | 完形 |

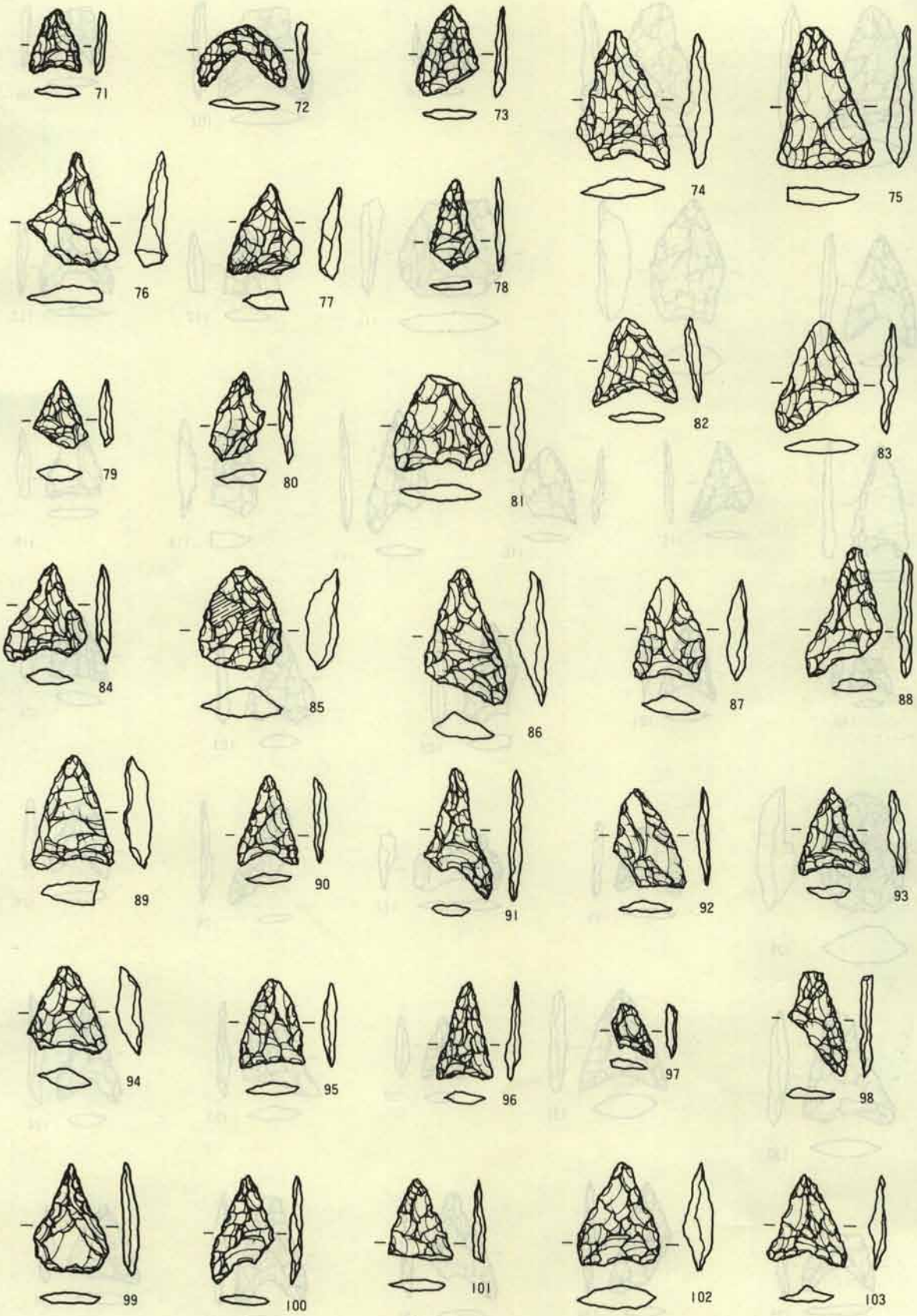
| No. | 出土位置 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ | 石材 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 107 | E 5 G | (2.3) | 2.3 | 0.35 | (2.0) | 黒色安山岩 | 先欠 |
| 108 | F 1 G | (1.6) | 1.5 | 0.25 | (0.6) | チャート | 先欠 |
| 109 | F 2 G | 2.75 | 1.85 | 0.4 | 1.6 | 黒色安山岩 | 完形 |
| 110 | F 4 G | (3.15) | (1.9) | 0.8 | (4.7) | チャート | 先脚欠 |
| 111 | 〃 | (2.45) | 2.7 | 0.7 | (4.8) | 黒色頁岩 | 先欠 |
| 112 | F 6 G | (1.7) | (1.5) | 0.4 | (1.0) | 黒色安山岩 | 脚欠 |
| 113 | 〃 | 1.8 | 1.9 | 0.3 | 0.7 | 〃 | 完形 |
| 114 | G 2 G | 2.85 | 1.5 | 0.3 | 1.3 | 黒色頁岩 | 完形 |
| 115 | 〃 | (1.85) | (1.7) | 0.2 | (0.5) | 黒色安山岩 | 先脚欠 |
| 116 | 〃 | (1.9) | (1.6) | 0.2 | (0.6) | 〃 | 脚欠 |
| 117 | G 4 G | (3.1) | (1.5) | 0.3 | (1.1) | 〃 | 脚欠 |
| 118 | 〃 | (2.35) | (1.25) | 0.4 | (1.3) | チャート | 側脚欠 |
| 119 | H 2 G | 1.15 | 0.9 | 0.3 | 0.2 | 黒色安山岩 | 完形 |
| 120 | H 3 G | (1.7) | (1.4) | 0.3 | (0.8) | 〃 | 先欠 |
| 121 | 〃 | (1.9) | 1.45 | 0.25 | (0.5) | チャート | 先欠 |
| 122 | H 7 G | (2.55) | (1.5) | 0.4 | (1.2) | 黒色安山岩 | 側脚欠 |
| 123 | 〃 | (2.4) | (1.75) | 0.25 | (1.0) | 珪質頁岩 | 脚欠 |
| 124 | I 3 G | (1.8) | (1.5) | 0.35 | (0.7) | 黒曜石 | 脚欠 |
| 125 | I 4 G | 3.0 | 2.25 | 0.95 | 6.4 | チャート | 完形 |
| 126 | I 5 G | (1.8) | 1.75 | 0.3 | (0.8) | 黒色安山岩 | 先欠 |
| 127 | I 6 G | (1.4) | 2.2 | 0.4 | (1.3) | 〃 | 先欠 |
| 128 | 〃 | 2.65 | (1.75) | 0.4 | (0.9) | 〃 | 脚欠 |
| 129 | I 8 G | (1.9) | 1.5 | 0.3 | (0.8) | 〃 | 先欠 |
| 130 | J 4 G | (3.0) | (2.3) | 0.5 | (2.7) | 〃 | 先脚欠 |
| 131 | J 5 G | 2.6 | 2.25 | 0.5 | 2.1 | 〃 | 完形 |
| 132 | 〃 | 1.6 | 1.1 | 0.35 | 0.5 | 黒曜石 | 完形 |
| 133 | 〃 | 2.7 | (1.8) | 0.35 | (1.1) | 黒色安山岩 | 脚欠 |
| 134 | J 6 G | 2.7 | 1.65 | 0.4 | 1.1 | 〃 | 完形 |
| 135 | 〃 | (1.55) | 1.9 | 0.35 | (0.7) | 黒色頁岩 | 先欠 |
| 136 | K 5 G | (2.8) | (1.8) | 0.25 | (1.1) | チャート | 脚欠 |
| 137 | 〃 | (2.8) | (1.7) | 0.3 | (1.3) | 黒色安山岩 | 脚欠 |
| 138 | 〃 | (2.7) | 1.85 | 0.4 | (1.5) | チャート | 先欠 |
| 139 | K 6 G | 1.9 | 1.9 | 0.3 | (1.0) | 黒色安山岩 | 脚欠 |
| 140 | 〃 | 1.65 | 1.5 | 0.3 | 0.5 | 黒曜石 | 完形 |
| 141 | 〃 | (2.5) | (1.6) | 0.3 | (1.0) | 黒色安山岩 | 脚欠 |
| 142 | 〃 | (3.0) | (2.0) | 0.5 | (2.7) | 珪質頁岩 | 脚欠 |
| 143 | 〃 | (2.45) | (2.65) | 0.5 | (2.7) | 黒色安山岩 | 先欠 |
| 144 | 〃 | (1.8) | (1.5) | 0.3 | 0.7 | チャート | 先脚欠 |
| 145 | 〃 | (1.7) | 1.4 | 0.3 | (0.6) | 〃 | 先欠 |
| 146 | 〃 | 2.0 | (0.9) | 0.5 | (0.7) | 黒曜石 | 脚欠 |
| 147 | 〃 | (1.9) | 2.1 | 0.3 | (0.9) | チャート | 先欠 |
| 148 | 〃 | (1.35) | (1.3) | 0.3 | (0.6) | 〃 | 脚欠 |
| 149 | 〃 | (1.6) | 1.7 | 0.25 | (0.5) | 黒色安山岩 | 先欠 |
| 150 | 〃 | 1.9 | 1.6 | 0.3 | 0.8 | 〃 | 完形 |
| 151 | 〃 | (2.1) | (2.0) | 0.5 | (1.9) | 黒色頁岩 | 先脚欠 |
| 152 | 〃 | 2.3 | (1.6) | 0.5 | (1.4) | 黒色安山岩 | 脚欠 |
| 153 | 〃 | (2.9) | (2.2) | 0.7 | (2.5) | チャート | 先脚欠 |
| 154 | K 7 G | 1.9 | 1.7 | 0.4 | 1.0 | 黒色安山岩 | 完形 |
| 155 | L 6 G | (2.1) | (1.6) | 0.4 | (1.3) | 〃 | 脚欠 |
| 156 | 〃 | (1.95) | 2.0 | 0.4 | (1.5) | 〃 | 先欠 |
| 157 | 〃 | (2.95) | (2.65) | 0.75 | (4.3) | チャート | 側脚欠 |
| 158 | 〃 | (1.7) | (1.5) | 0.3 | (0.7) | 黒曜石 | 脚欠 |
| 159 | L 7 G | (2.0) | (1.3) | 0.6 | (1.0) | チャート | 先脚欠 |
| 160 | M 6 G | 1.7 | (1.4) | 0.3 | (0.6) | 〃 | 脚欠 |
| 161 | 〃 | 2.85 | (2.5) | 0.7 | (3.7) | 〃 | 先欠 |
| 162 | 〃 | (2.8) | 2.7 | 0.4 | (3.0) | 黒色頁岩 | 先欠 |
| 163 | M 7 G | 1.4 | 1.5 | 0.2 | 0.5 | 黒色安山岩 | 完形 |
| 164 | 〃 | (2.5) | (2.3) | 0.4 | (2.2) | 黒色頁岩 | 先欠 |
| 165 | M 8 G | (1.0) | 1.5 | 0.2 | (0.3) | 黒色安山岩 | 先欠 |
| 166 | M 9 G | 1.6 | 1.9 | 0.4 | 1.3 | 〃 | 完形 |
| 167 | N 8 G | 1.85 | 1.5 | 0.4 | (0.9) | 〃 | 脚欠 |
| 168 | 〃 | 2.1 | 1.8 | 0.45 | 1.4 | 〃 | 完形 |
| 169 | 〃 | (2.1) | 1.55 | 0.3 | (0.7) | 黒曜石 | 脚欠 |
| 170 | 〃 | (2.8) | 2.4 | 0.3 | (2.2) | 黒色安山岩 | 先欠 |
| 171 | N 9 G | 2.9 | (1.8) | 0.35 | (1.2) | 〃 | 脚欠 |
| 172 | 〃 | (1.9) | 1.65 | 0.35 | (0.9) | チャート | 先欠 |
| 173 | 表土 | (1.8) | (1.0) | 0.6 | (0.7) | 黒色頁岩 | 脚欠 |
| 174 | 〃 | (2.95) | (2.6) | 0.8 | (6.3) | 黒色安山岩 | 先欠 |
| 175 | 〃 | (2.2) | 1.4 | 0.4 | (1.0) | チャート | 先欠 |
| 176 | 〃 | (2.2) | (1.7) | 0.4 | (0.9) | 黒色安山岩 | 脚欠 |
| 177 | 〃 | 2.55 | (1.5) | 0.4 | (1.3) | 〃 | 脚欠 |
| 178 | 〃 | 2.95 | (2.5) | 0.8 | (4.8) | 〃 | 脚欠 |
| 179 | 〃 | 1.4 | (1.2) | 0.4 | (0.6) | チャート | 脚欠 |
| 180 | 表土 | 2.8 | (1.3) | 0.35 | (0.9) | チャート | 脚欠 |
| 181 | 〃 | (2.4) | 1.7 | 0.4 | (1.4) | 黒色安山岩 | 先欠 |
| 182 | 〃 | (1.75) | 1.65 | 0.35 | (1.0) | チャート | 先欠 |
| 183 | 〃 | 1.55 | (1.3) | 0.2 | (0.3) | 黒曜石 | 脚欠 |
| 184 | 〃 | (1.35) | (1.8) | 0.3 | (0.7) | 〃 | 先脚欠 |
| 185 | 〃 | 3.0 | (1.85) | 0.6 | (2.9) | 黒色安山岩 | 脚欠 |
| 186 | 〃 | (1.45) | (1.1) | 0.3 | (0.4) | 黒曜石 | 脚欠 |
| 187 | 〃 | (1.3) | 1.1 | 0.3 | (0.5) | 黒色安山岩 | 先脚欠 |
| 188 | 〃 | (2.1) | 1.9 | 0.4 | (1.5) | 珪質頁岩 | 先欠 |
| 189 | 〃 | 2.2 | 1.6 | 0.4 | 1.2 | 黒色頁岩 | 完形 |
| 190 | 〃 | (1.9) | (1.4) | 0.4 | (0.8) | チャート | 側脚欠 |
| 191 | 〃 | (2.25) | (1.8) | 0.35 | (1.2) | 黒色安山岩 | 先脚欠 |
| 192 | 〃 | 1.6 | (2.1) | 0.55 | (1.6) | チャート | 先欠 |
| 193 | 〃 | (2.4) | (1.6) | 0.3 | (1.0) | 黒色安山岩 | 先脚欠 |
| 194 | 〃 | 2.3 | 1.5 | 0.4 | 1.0 | 〃 | 完形 |
| 195 | 〃 | (2.3) | 2.2 | 0.65 | (2.5) | チャート | 先欠 |
| 196 | 〃 | (2.15) | (1.3) | 0.4 | (0.8) | 黒曜石 | 脚欠 |
| 197 | 〃 | (2.3) | (1.1) | 0.3 | (0.6) | チャート | 先側脚欠 |
| 198 | 〃 | (2.1) | (2.0) | 0.35 | (1.4) | 黒色安山岩 | 先脚欠 |
| 199 | 〃 | (2.75) | 2.4 | 0.75 | (5.5) | チャート | 先欠 |
| 200 | 〃 | (2.9) | (2.5) | 0.55 | (3.3) | 黒色頁岩 | 脚欠 |
| 201 | 〃 | 2.6 | (1.9) | 0.4 | (1.8) | チャート | 脚欠 |
| 202 | 〃 | 3.2 | (2.5) | 0.85 | (5.0) | 〃 | 側欠 |
| 203 | 〃 | 1.4 | 1.4 | 0.25 | 0.4 | 〃 | 完形 |
| 204 | 〃 | 2.6 | 1.65 | 0.4 | 1.3 | 〃 | 完形 |


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35

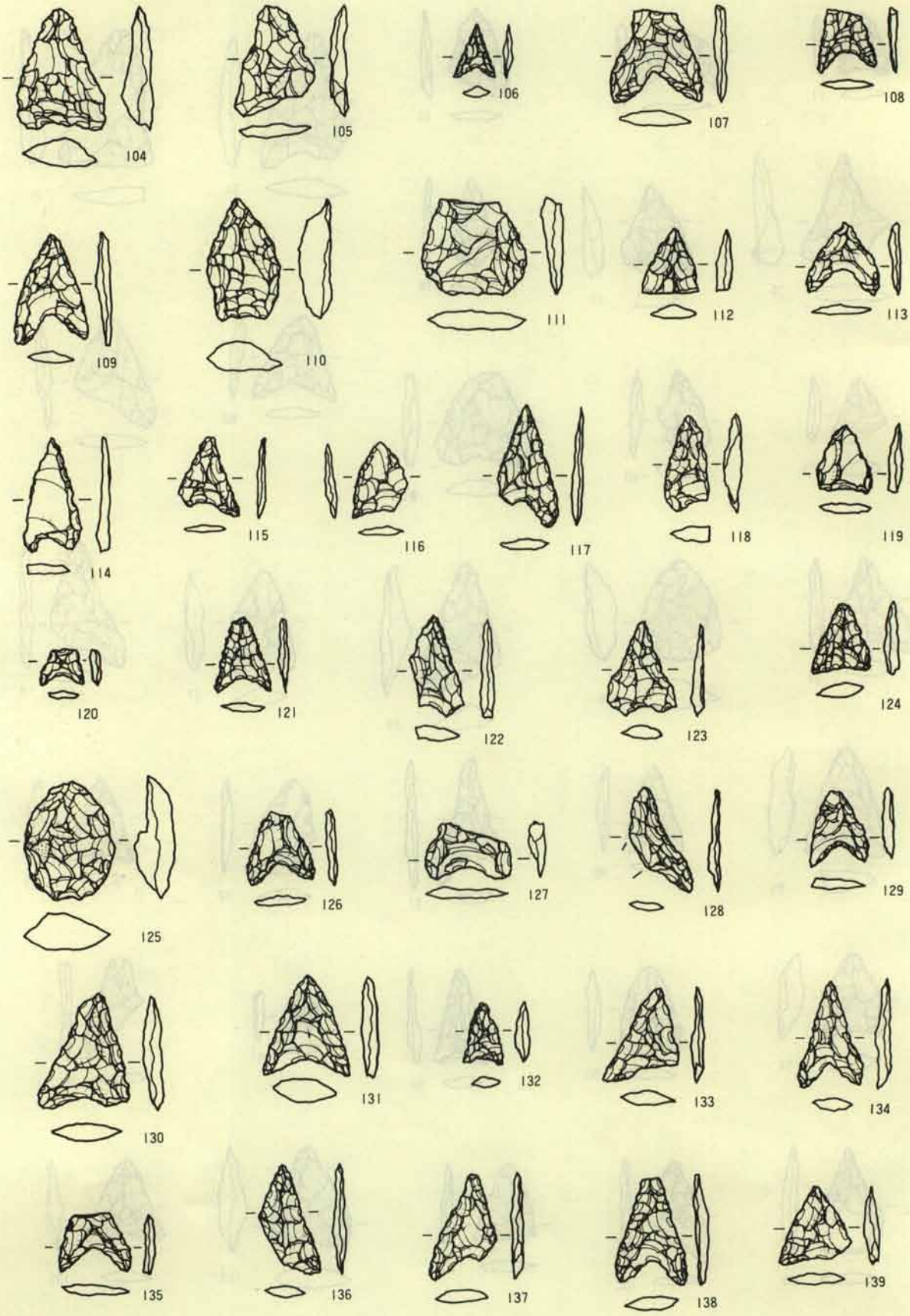
第209図　石鏃(1)


36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70

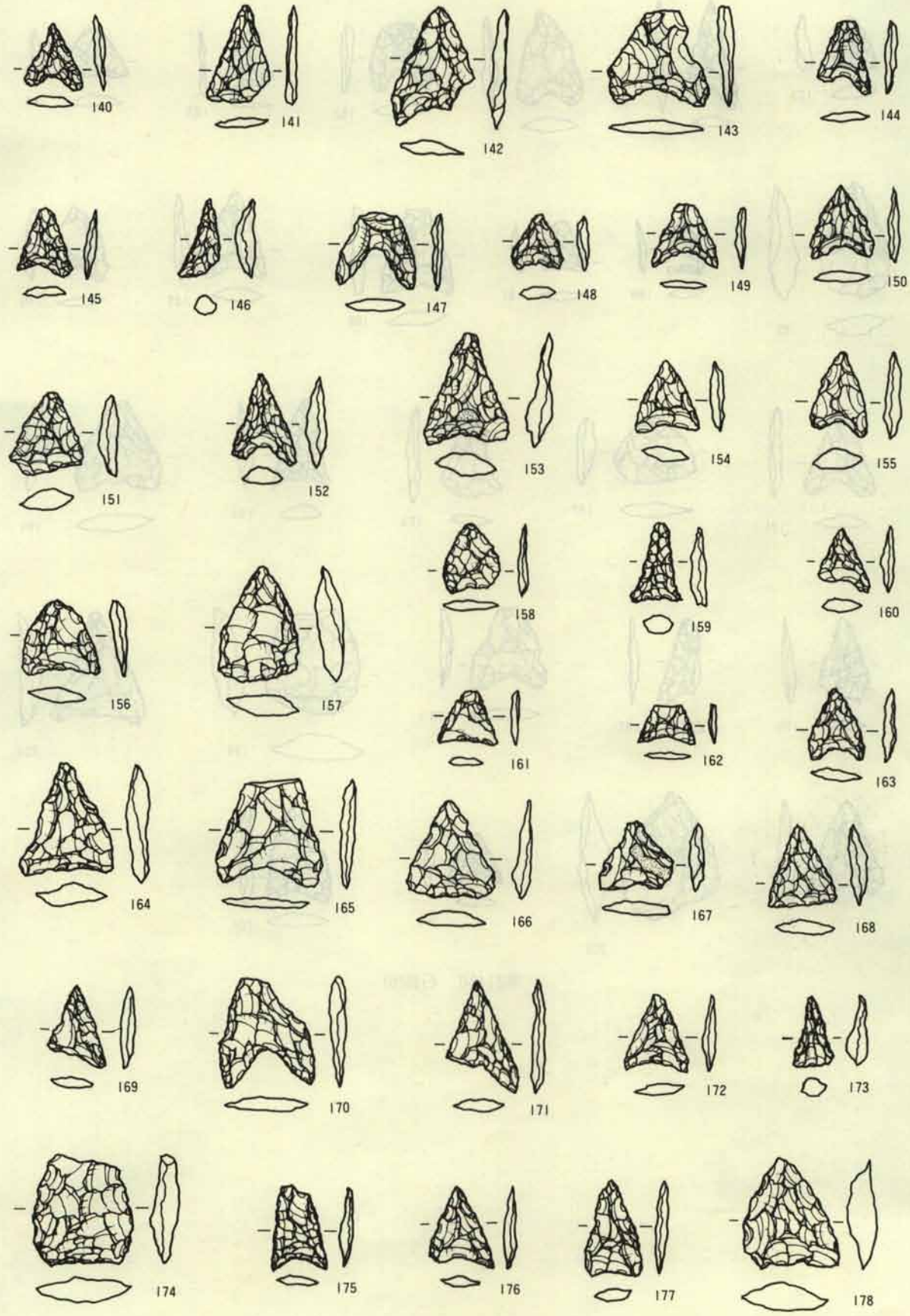
第210図　石鏃(2)


71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103

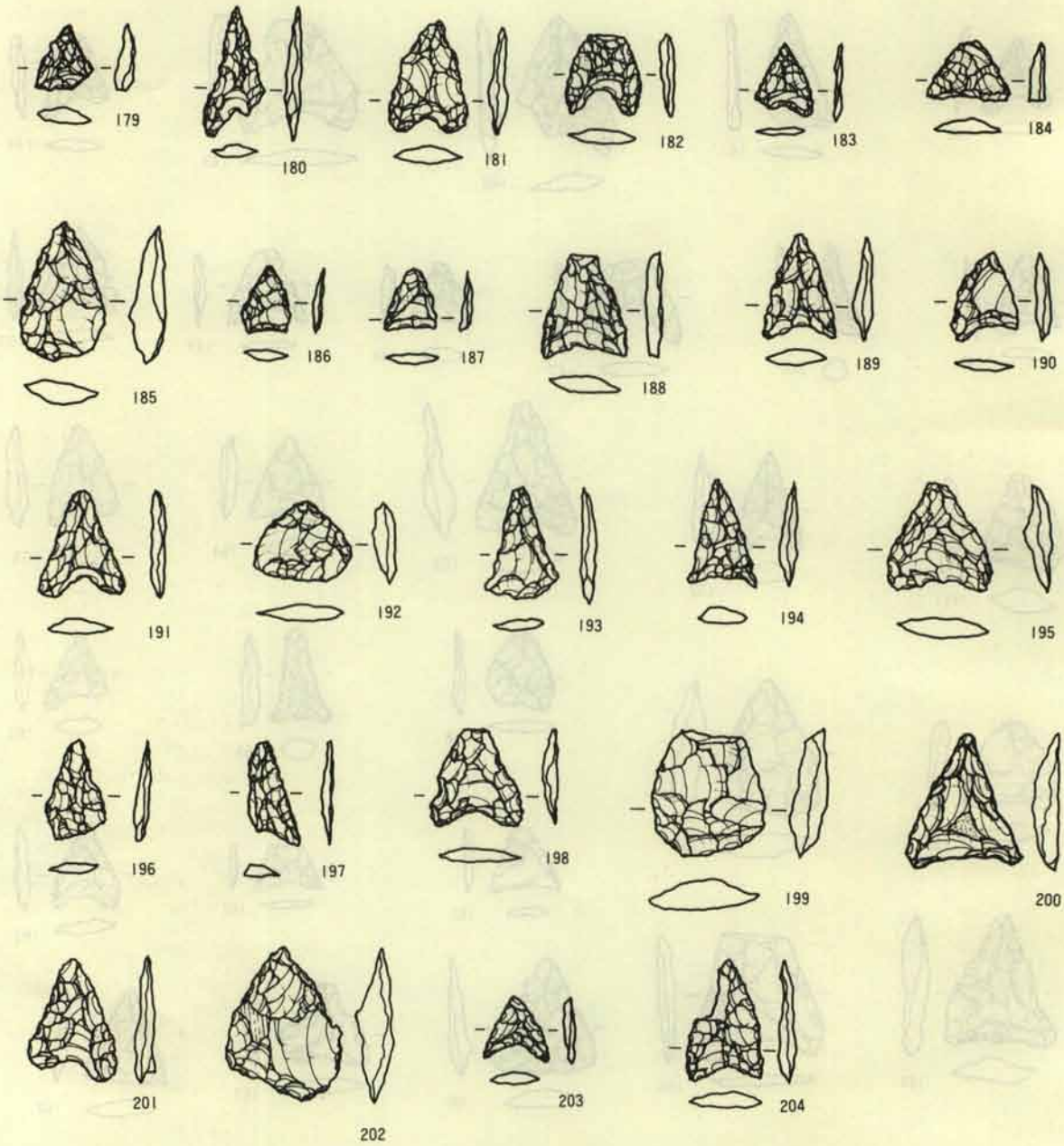
第211図　石鏃(3)


104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139

第212図　石鏃(4)


140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178

第213図　石鏃(5)


179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204

第214図　石鏃(6)

**磨石、凹石、敲石等**（第215～239図）

ものを磨り潰したり、砕いたり、敲いたりする機能により磨石、凹石、敲石等と名称される石器には、各機能が複数存在している。

これらを形状、凹孔形、凹孔の使用面の数、磨面の数に分類する。

形状　Ⅰ、円形　Ⅱ、楕円形　Ⅲ、石鹸形　Ⅳ、棒状形　Ⅴ、三角形　Ⅵ、方形　Ⅶ、不定形

凹孔形　A、点状　B、円錐形　C、皿状　D、矩形

凹孔を施す使用面の数により、１～４面に分かれる。

磨面　a、全面　b、表裏面　c、片面　d、側面

磨石、凹石、敲石等一覧

| No. | 出土位置 | 形状 | 凹孔形 | 凹孔面 | 磨面数 | 長さ | 幅 | 重さ | 石材 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2H | Ⅰ | A C | 2 | | 11.8 | 11.1 | 530 | 粗粒安山岩 | 完形　端部敲打痕 |
| 2 | 4H | Ⅱ | | | b | (11.4) | 8.5 | 577 | 〃 | ¼欠損 |
| 3 | 6H | Ⅰ | BC | 2 | | 9.9 | 8.3 | 443 | 〃 | 完形 |
| 4 | 〃 | Ⅵ | A C | 2 | c | 11.8 | 9.3 | 461 | 〃 | 〃 |
| 5 | 〃 | Ⅴ | | | | 11.6 | 9.6 | 486 | 〃 | 〃　端，側縁部敲打痕 |
| 6 | 〃 | Ⅵ | C | 2 | | 10.6 | 7.1 | 395 | 〃 | 〃 |
| 7 | 〃 | Ⅳ | B | 2 | | 20.4 | 10.8 | 1136 | 〃 | 〃 |
| 8 | 〃 | Ⅱ | B | 2 | | 9.3 | 7.4 | 359 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 9 | 〃 | Ⅱ | A | 2 | | (6.5) | 7.4 | 245 | 〃 | 半欠 |
| 10 | 7H | Ⅱ | A C | 2 | | 10.9 | 7.7 | 588 | 〃 | 完形 |
| 11 | 〃 | Ⅱ | | | b | 14.0 | 7.8 | 840 | 〃 | 〃 |
| 12 | 〃 | Ⅱ | BC | 2 | | 10.3 | 7.6 | 441 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 13 | 〃 | Ⅰ | A C | 2 | | 9.6 | 8.0 | 458 | 〃 | 〃 |
| 14 | 〃 | Ⅳ | B | 2 | | 12.5 | 6.5 | 587 | 〃 | 側縁部欠損 |
| 15 | 〃 | Ⅳ | ABC | 2 | | 16.5 | 6.3 | 628 | 〃 | 完形 |
| 16 | 〃 | Ⅱ | BC | 2 | | 13.5 | 7.9 | 543 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 17 | 〃 | Ⅱ | B | 1？ | | (9.9) | (12.6) | 800 | 〃 | ½強欠損 |
| 18 | 9H | Ⅰ | B | 1 | | 8.2 | 7.5 | 294 | 〃 | 完形 |
| 19 | 〃 | Ⅲ | A C | 2 | a | 11.4 | 8.7 | 825 | 石英閃緑岩 | 〃 |
| 20 | 〃 | Ⅱ | | | a | 14.7 | 8.9 | 965 | 〃 | 〃 |
| 21 | 12H | Ⅳ | A | | | 18.6 | 5.4 | 1246 | 粗粒安山岩 | 〃 |
| 22 | 〃 | Ⅱ | | | a | 13.3 | 8.4 | 595 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 23 | 〃 | Ⅱ | BC | 2 | | 10.1 | 7.4 | 371 | 〃 | 〃　両端部敲打痕 |
| 24 | 〃 | Ⅱ | C | 1 | | 9.7 | 7.9 | 368 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 25 | 〃 | Ⅶ | A | 1 | | (15.9) | 10.6 | 1285 | 〃 | ¼欠損 |
| 26 | 14H | Ⅳ | BC | 2 | | 12.3 | 5.9 | 439 | 石英閃緑岩 | 完形　端部敲打　焼成受ける |
| 27 | 〃 | Ⅲ | C | ? | | (4.4) | 5.9 | 86 | 粗粒安山岩 | ¾欠損 |
| 28 | 〃 | Ⅳ | | | | 8.9 | 3.5 | 114 | かんらん岩 | 完形　敲石 |
| 29 | 15H | Ⅱ | | | a | 10.1 | 5.9 | 283 | 粗粒安山岩 | 〃　両端部敲打痕 |
| 30 | 〃 | Ⅳ | C | 2 | | 12.9 | 7.3 | 539 | 〃 | 〃　焼成受ける |
| 31 | 16H | Ⅱ | A C | 2 | | 13.9 | 10.7 | 676 | 〃 | 〃 |
| 32 | 17H | Ⅲ | B | 1 | c＋d | 16.7 | 7.8 | 730 | 〃 | 〃 |
| 33 | 〃 | Ⅳ | A C | 2 | | 13.3 | 6.3 | 567 | 〃 | 〃　端部敲打痕 |
| 34 | 〃 | Ⅳ | | | a＋d | 19.6 | 7.5 | 1325 | 〃 | 〃　〃 |
| 35 | 〃 | Ⅱ | C | 2 | | 16.0 | 9.1 | 674 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 36 | 〃 | Ⅱ | BC | 2 | | 13.0 | 9.5 | 591 | 〃 | 〃 |
| 37 | 〃 | Ⅱ | A | 2 | | (7.5) | 7.8 | 266 | 〃 | ½強欠損 |
| 38 | 20H | Ⅱ | A | 1 | b | 12.2 | 7.9 | 663 | 〃 | 完形 |
| 39 | 〃 | Ⅱ | C | 2 | | 10.9 | 8.9 | 539 | 〃 | 〃 |
| 40 | 〃 | Ⅱ | BC | 2 | | 11.4 | 8.9 | 648 | 〃 | 〃 |
| 41 | 〃 | Ⅱ | BC | 2 | | 10.3 | 7.1 | 329 | 〃 | 側縁部欠損 |
| 42 | 22H | Ⅱ | BC | 2 | | 12.7 | 9.4 | 539 | 〃 | 完形 |
| 43 | 23H | Ⅳ | | | | 17.9 | 7.5 | 1168 | 〃 | 〃　穀磨石 |
| 44 | 〃 | Ⅱ | BC | 2 | | 12.2 | 10.4 | 575 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |

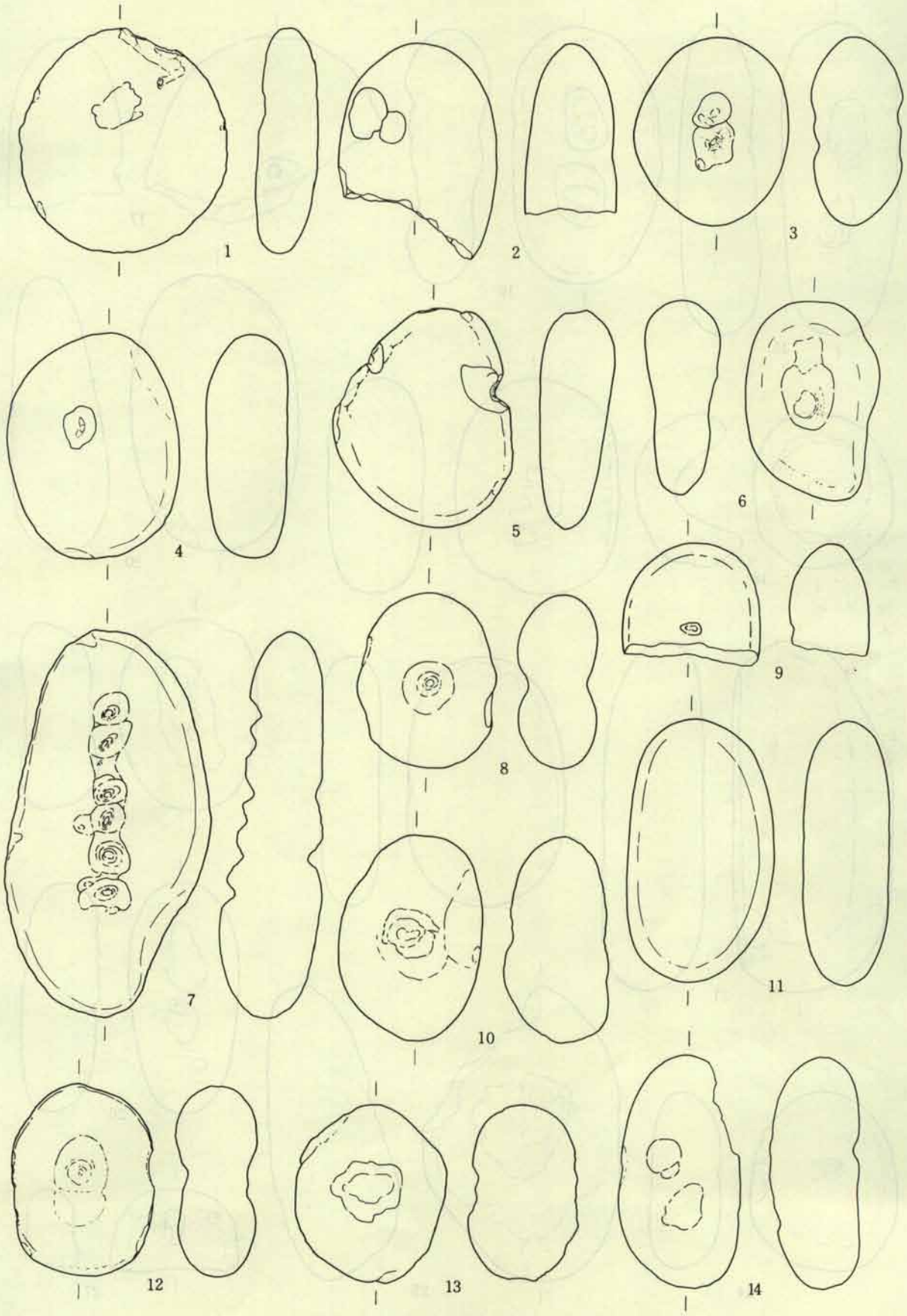
| No | 出土位置 | 形状 | 凹孔形 | 凹孔面 | 磨面数 | 長さ | 幅 | 重さ | 石　材 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 45 | 〃 | II | C | 2 | | 11.2 | 7.8 | 425 | 〃 | 〃　〃 |
| 46 | 〃 | I | CD | 2 | | 7.8 | 6.9 | 282 | 〃 | 〃 |
| 47 | 〃 | II | A C | 2 | | 10.2 | 8.5 | 451 | 〃 | 〃　端部敲打痕 |
| 48 | 〃 | VII | C | 2 | | 12.5 | 8.4 | 390 | 〃 | 〃 |
| 49 | 24H | III | A C | 2 | a＋d | 17.2 | 9.1 | 1122 | 〃 | 端部欠損 |
| 50 | 〃 | IV | A | 1 | | 13.7 | 6.7 | 534 | 〃 | 完形 |
| 51 | 〃 | VI | A C | 2 | | 11.9 | 7.0 | 434 | 〃 | 〃 |
| 52 | 〃 | I | AB | 2 | | 10.5 | 9.7 | 513 | 〃 | 〃 |
| 53 | 25H | II | C | 2 | | (10.7) | 7.8 | 368 | 〃 | ½欠損 |
| 54 | 〃 | III | C | 2 | | 10.0 | 5.7 | 348 | 〃 | 完形　端部敲打痕 |
| 55 | 〃 | II | B | 2 | | 15.3 | 10.2 | 1033 | 〃 | 〃 |
| 56 | 〃 | IV | C | 4 | | 15.0 | 7.2 | 629 | 〃 | 〃 |
| 57 | 〃 | II | A C | 2 | | 12.3 | 7.5 | 526 | 〃 | 〃　焼成受ける |
| 58 | 〃 | II | D | 1 | | 13.0 | 8.8 | 677 | 〃 | 〃 |
| 59 | 〃 | II | C | 2 | a | 12.9 | 10.2 | 732 | 〃 | 〃 |
| 60 | 25H | II | A C | 2 | | 9.7 | 7.5 | 436 | 粗粒安山岩 | 完形 |
| 61 | 〃 | I | | | a | 10.5 | 8.3 | 631 | 〃 | 〃 |
| 62 | 〃 | IV | A C | 2 | | 14.7 | 7.4 | 625 | 〃 | 〃　端，側縁部敲打痕 |
| 63 | 〃 | VI | BC | 2 | | 11.9 | 9.4 | 931 | 〃 | 〃 |
| 64 | 〃 | II | AB | 2 | | 10.5 | 6.7 | 313 | 〃 | 〃 |
| 65 | 26H | II | BC | 2 | | 12.1 | 9.5 | 736 | 〃 | 〃 |
| 66 | 〃 | II | CD | 2 | b | 14.3 | 8.5 | 749 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 67 | 27H | II | C | 2 | | 11.9 | 7.0 | 383 | 〃 | 〃　〃 |
| 68 | 〃 | II | A | 2 | | 12.1 | 8.3 | 913 | 〃 | 〃 |
| 69 | 〃 | II | C | 2 | | (9.0) | 6.3 | 212 | 〃 | 端部欠損 |
| 70 | 〃 | III | A C | 2 | | 11.6 | 6.0 | 381 | 〃 | 完形 |
| 71 | 28H | VI | AB | 2 | | 8.5 | 7.2 | 384 | 〃 | 〃 |
| 72 | 〃 | V | A C | 2 | | 10.9 | 9.0 | 633 | 〃 | 〃 |
| 73 | 29H炉石 | II | C | 2 | | 10.2 | 7.8 | 378 | 〃 | 〃 |
| 74 | 〃 | IV | C | 2 | | 18.7 | 9.9 | 1035 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 75 | 〃 | III | A C | 4 | c | 11.8 | 5.8 | 334 | 〃 | 〃 |
| 76 | 30H | II | C | 3 | | 10.5 | 7.9 | 626 | 〃 | 〃 |
| 77 | 〃 | III | CD | 2 | | (7.4) | 6.5 | 313 | 〃 | 半欠 |
| 78 | 〃 | VII | BC | 2 | | 11.8 | 7.6 | 520 | 〃 | 側縁部欠損 |
| 79 | 〃 | II | A C | 3 | | 13.2 | 9.0 | 574 | 〃 | 完形　側縁部敲打痕 |
| 80 | 〃 | III | C | 2 | a？ | 13.8 | 7.9 | 702 | 〃 | 〃　両端部敲打痕 |
| 81 | 〃 | II | A C | 4 | | 11.7 | 8.1 | 485 | 〃 | 〃 |
| 82 | 〃 | II | A C | 2 | | 13.0 | 8.9 | 758 | 〃 | 〃 |
| 83 | 〃 | II | AB | 2 | | 12.7 | 8.3 | 598 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 84 | 〃 | II | | | b | 13.8 | 8.0 | 636 | 〃 | 〃　〃 |
| 85 | 〃 | II | A C | 2 | a | 11.3 | 8.2 | 663 | 〃 | 〃　端部敲打痕 |
| 86 | 〃 | IV | | | a | 14.6 | 6.0 | 374 | 〃 | 〃　〃 |
| 87 | 31H | I | | | a | 11.6 | 9.6 | 726 | 〃 | 〃 |
| 88 | 〃 | II | B | 1？ | | 13.8 | 11.1 | 613 | 〃 | 片面欠損 |
| 89 | 〃 | II | A C | 2 | | 12.6 | 7.5 | 555 | 〃 | 完形 |
| 90 | 〃 | I | | | b | 11.6 | 9.4 | 824 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 91 | 〃 | II | BC | 2 | | 11.9 | 9.0 | 501 | 〃 | 〃　端部敲打痕 |
| 92 | 〃 | II | A C | 2 | | 12.0 | 7.9 | 676 | 〃 | 〃　〃 |
| 93 | 〃 | II | C | 3 | | 10.8 | 8.0 | 556 | 〃 | 〃　〃 |
| 94 | 〃 | II | A C | 2 | c | 10.4 | 7.3 | 397 | 〃 | 〃 |
| 95 | 32H | II | BC | 2 | | 10.0 | 6.0 | 306 | 〃 | 〃 |
| 96 | 〃 | II | A C | 2 | a | 12.3 | 9.3 | 774 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 97 | 〃 | II | BC | 2 | | 14.0 | 9.6 | 789 | 〃 | 〃　〃 |
| 98 | 〃 | VII | BC | 2 | | 13.7 | 9.8 | 748 | 〃 | 〃　〃 |
| 99 | 〃 | VI | A C | 2 | | 12.3 | 8.8 | 441 | 〃 | 〃 |
| 100 | 〃 | I | B | 2 | | 12.9 | 11.5 | 940 | 〃 | 〃 |
| 101 | 〃 | II | A C | 2 | | 10.7 | 9.6 | 653 | 〃 | 〃 |
| 102 | 33H炉石 | IV | A C | 2 | | 12.8 | 6.5 | 285 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 103 | 〃 | II | A | 2 | a | 13.1 | 8.9 | 871 | 〃 | 〃 |
| 104 | 34H | VI | A C | 2 | | 10.4 | 7.9 | 458 | 〃 | 〃 |
| 105 | 〃 | V | BC | 2 | | 12.2 | 8.3 | 601 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |

| No. | 出土位置 | 形状 | 凹孔形 | 凹孔面 | 磨面数 | 長さ | 幅 | 重さ | 石　材 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 106 | 35H | Ⅲ | BC | 2 | | 14.9 | 12.2 | 932 | 〃 | 端部欠損 |
| 107 | 〃 | Ⅴ | A C | 2 | | 11.5 | 10.8 | 769 | 〃 | 完形 |
| 108 | 〃 | Ⅳ | | | b | 13.7 | 5.8 | 416 | 砂　岩 | 〃 |
| 109 | 〃 | Ⅱ | C | 2 | | 12.4 | 8.2 | 589 | 粗粒安山岩 | 〃 |
| 110 | 〃 | Ⅱ | C | 2 | | 12.4 | 10.0 | 736 | 〃 | 〃 |
| 111 | 〃 | Ⅱ | A | | b | 11.1 | 7.1 | 495 | ひ　ん　岩 | 端部欠損 |
| 112 | 37H炉石 | Ⅳ | BC | 2 | | 14.4 | 7.9 | 494 | 粗粒安山岩 | 完形　側縁部敲打痕 |
| 113 | 〃 | Ⅳ | C | 1 | | 11.2 | 5.3 | 440 | 〃 | 〃 |
| 114 | 〃 | Ⅲ | A C | 2 | | 14.3 | 8.6 | 412 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 115 | 〃 | Ⅱ | A C | 2 | | (17.4) | 7.3 | 181 | 〃 | 半欠 |
| 116 | 〃 | Ⅱ | A | 2 | a | (8.2) | (6.4) | 287 | 〃 | 〃 |
| 117 | 40H | Ⅲ | | | | 11.2 | 3.7 | 159 | ホルンフェルス | 完形　敲石 |
| 118 | 45H | Ⅵ | A C | 2 | | 10.6 | 8.5 | 536 | 粗粒安山岩 | 〃 |
| 119 | 〃 | Ⅱ | BC | 2 | | 12.9 | 7.5 | 641 | 〃 | 〃 |
| 120 | 〃 | Ⅵ | A | 2 | | 12.3 | 8.6 | 729 | 〃 | 〃 |
| 121 | 46H | Ⅱ | BC | 2 | | 13.1 | 8.9 | 715 | 粗粒安山岩 | 敲石　側縁部敲打痕 |
| 122 | 〃 | Ⅰ | B | 2 | | 11.6 | 10.4 | 691 | 〃 | 〃　〃 |
| 123 | 〃 | Ⅳ | AB | 2 | | 10.7 | 6.0 | 374 | 〃 | 〃 |
| 124 | 〃 | Ⅲ | C | 2 | | (9.3) | 7.9 | 319 | 〃 | ¼欠損　端、側縁部敲打痕 |
| 125 | 48H | Ⅱ | C | 2 | a | 13.7 | 7.5 | 724 | 石英閃緑岩 | 完形　側縁部敲打痕 |
| 126 | 〃 | Ⅱ | C | 2 | | 14.1 | 8.4 | 693 | 粗粒安山岩 | 〃 |
| 127 | 〃 | Ⅱ | A | 2 | | 12.2 | 8.4 | 746 | 〃 | 〃 |
| 128 | 〃 | Ⅱ | C | 2 | | 10.8 | 7.8 | 330 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 129 | 49H | Ⅱ | A C | 2 | | 11.8 | 8.0 | 610 | 〃 | 〃 |
| 130 | 〃 | Ⅲ | A C | 2 | | 15.7 | 10.1 | 858 | 〃 | 〃 |
| 131 | 〃 | Ⅱ | C | 2 | | 10.4 | 7.5 | 392 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 132 | 52H | Ⅵ | B | 2 | | 13.2 | 10.6 | 778 | 〃 | 〃 |
| 133 | 〃 | Ⅱ | B | 3 | | 11.1 | 7.0 | 562 | 〃 | 〃 |
| 134 | 56H | Ⅳ | C | 2 | | 15.9 | 7.4 | 463 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 135 | 〃 | Ⅱ | BC | 2 | | 12.6 | 8.3 | 517 | 〃 | 端部欠損 |
| 136 | 〃 | Ⅵ | BC | 2 | | (10.9) | 11.1 | 551 | 〃 | 半欠　側縁部敲打痕 |
| 137 | 〃 | Ⅱ | A C | 4 | | 13.1 | 9.1 | 707 | 〃 | 完形 |
| 138 | 〃 | Ⅱ | BC | 3 | | 12.5 | 7.7 | 617 | 〃 | 〃 |
| 139 | 〃 | Ⅵ | A C | 2 | | 8.9 | 8.8 | 420 | 〃 | 端部欠損 |
| 140 | 〃 | Ⅰ | A C | 2 | | 7.7 | 6.9 | 183 | 〃 | 完形 |
| 141 | 〃 | Ⅴ | C | 2 | | 10.0 | 8.3 | 352 | 〃 | 〃 |
| 142 | 58H炉石 | Ⅱ | B | 2 | | (5.7) | 8.5 | 133 | 〃 | 半欠　焼成受ける |
| 143 | 〃　〃 | Ⅱ | BC | 2 | a？ | (9.0) | 8.7 | 274 | 〃 | 〃　〃 |
| 144 | 〃 | Ⅱ | B | 2 | | 17.3 | 13.2 | 1286 | 〃 | 完形　側縁部敲打痕 |
| 145 | ＪＤ１ | Ⅱ | | | a | 15.0 | 8.6 | 771 | 流　紋　岩 | 〃　〃 |
| 146 | 〃 | Ⅰ | B | 2 | | 10.3 | 10.3 | 760 | 粗粒安山岩 | 〃　〃 |
| 147 | ＪＤ２ | Ⅱ | BC | 2 | | 11.8 | 8.9 | 622 | 〃 | 〃　〃 |
| 148 | ＪＤ７ | Ⅱ | A C | 2 | | 10.9 | 8.8 | 443 | 〃 | 〃 |
| 149 | 〃 | Ⅰ | BC | 2 | | 9.7 | 7.9 | 421 | 〃 | 〃 |
| 150 | 〃 | Ⅰ | A | 2 | | 10.2 | 8.4 | 362 | 〃 | 端部欠損　焼成受ける |
| 151 | ＪＤ８ | Ⅱ | A | 2 | a | 14.2 | 9.5 | 845 | 〃 | 完形　端部敲打痕 |
| 152 | ＪＤ10 | Ⅳ | AB | 2 | | (6.5) | 5.5 | 118 | 〃 | 半欠 |
| 153 | ＪＤ11 | Ⅲ | AB | 2 | | (8.1) | 9.1 | 311 | 〃 | 〃 |
| 154 | ＪＤ16 | Ⅱ | A C | 2 | | (11.0) | 7.4 | 314 | 〃 | 端部欠損 |
| 155 | 〃 | Ⅶ | BC | 2 | | 13.0 | 9.7 | 574 | 〃 | 完形 |
| 156 | 〃 | Ⅱ | | | a | (5.4) | (8.6) | 261 | 石英閃緑岩 | ⅔欠損　焼成受ける |
| 157 | ＪＤ19 | Ⅳ | | | a | 12.3 | 6.7 | 422 | 粗粒安山岩 | 完形 |
| 158 | 〃 | Ⅴ | BC | 3 | | 10.0 | 9.1 | 448 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 159 | ＪＤ31 | Ⅳ | BC | 2 | | 16.3 | 7.3 | 656 | 〃 | 〃 |
| 160 | 〃 | Ⅶ | C | 3 | | 9.6 | 6.4 | 318 | 〃 | 〃 |
| 161 | 〃 | Ⅶ | BC | 3 | | 13.9 | 8.2 | 529 | 〃 | 〃 |
| 162 | 〃 | Ⅳ | C | 2 | | 12.5 | 7.1 | 577 | 〃 | 〃 |
| 163 | ＪＤ39 | Ⅱ | AB | 1 | | 12.6 | 9.5 | 727 | 〃 | 〃 |
| 164 | 〃 | Ⅱ | A C | 2 | | 12.4 | 8.5 | 694 | 〃 | 〃 |
| 165 | ＪＤ66 | Ⅳ | AB | 2 | | 13.7 | 7.2 | 453 | 〃 | 〃 |
| 166 | ＪＤ70 | Ⅱ | A C | 2 | | 13.2 | 8.7 | 641 | 〃 | 〃 |

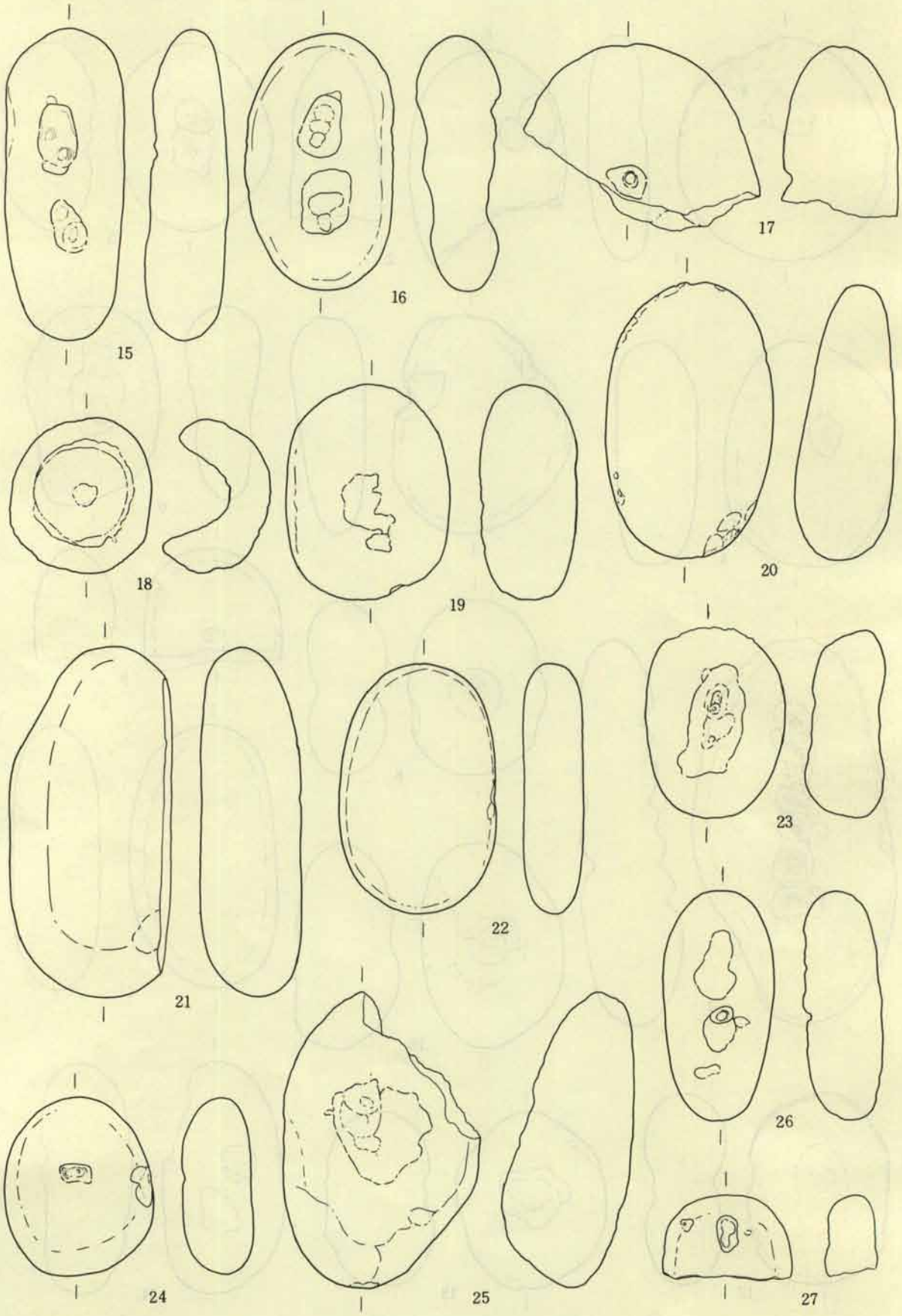
| No. | 出土位置 | 形状 | 凹孔形 | 凹孔面 | 磨面数 | 長さ | 幅 | 重さ | 石材 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 167 | 〃 | Ⅰ | A | 1 | a | 9.6 | 7.9 | 446 | 〃 | 〃　端部敲打痕 |
| 168 | JD71 | Ⅱ | | | a | 12.4 | 6.9 | 315 | ひん岩 | 〃 |
| 169 | JD89 | Ⅱ | A C | 1 | a＋d | 10.7 | 5.7 | 551 | 粗粒安山岩 | 〃 |
| 170 | 〃 | Ⅱ | BC | 2 | | 13.1 | 9.7 | 731 | 〃 | 〃 |
| 171 | 〃 | Ⅰ | C | 1 | b | 9.8 | 7.9 | 598 | 〃 | 〃 |
| 172 | 表土 | Ⅰ | C | 2 | | 7.9 | 7.3 | 295 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 173 | 〃 | Ⅱ | C | 2 | | 11.3 | 7.5 | 574 | 〃 | 〃 |
| 174 | 〃 | Ⅵ | A C | 2 | | 9.9 | 6.6 | 464 | 〃 | 〃 |
| 175 | 〃 | Ⅳ | A C | 3 | | 11.0 | 6.1 | 424 | 〃 | 〃　端部敲打痕 |
| 176 | 〃 | Ⅵ | BC | 2 | | 12.8 | 8.1 | 694 | 〃 | 〃 |
| 177 | 〃 | Ⅱ | A | 1 | a | 10.8 | 7.1 | 325 | 〃 | 〃　端部敲打痕 |
| 178 | 〃 | Ⅱ | A | 1 | a | 10.3 | 6.8 | 460 | 〃 | 〃　〃 |
| 179 | 〃 | Ⅵ | AB | 2 | | 10.1 | 9.8 | 709 | 〃 | 〃 |
| 180 | 〃 | Ⅰ | AB | 2 | a | (6.3) | 9.1 | 396 | 〃 | 半欠　焼成受ける |
| 181 | 〃 | Ⅴ | A C | 2 | | 12.1 | 9.2 | 602 | 〃 | 完形 |
| 182 | 表土 | Ⅱ | A | 2 | | 9.7 | 6.6 | 261 | 粗粒安山岩 | 完形 |
| 183 | 〃 | Ⅱ | BC | 2 | | 12.9 | 9.7 | 720 | 〃 | 〃 |
| 184 | 〃 | Ⅱ | ABC | 2 | | 13.4 | 9.0 | 875 | 〃 | 〃　端、側縁部敲打痕 |
| 185 | 〃 | Ⅱ | D | 1 | | 12.6 | 9.0 | 970 | 〃 | 〃 |
| 186 | 〃 | Ⅵ | A C | 2 | | 10.6 | 7.4 | 466 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 187 | 〃 | Ⅱ | BC | 2 | | 12.3 | 8.8 | 608 | 〃 | 〃 |
| 188 | 〃 | Ⅱ | BC | 2 | | 11.6 | 8.4 | 464 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 189 | 〃 | Ⅶ | C | 2 | | 12.0 | 10.7 | 599 | 〃 | 端部欠損 |
| 190 | 〃 | Ⅱ | BC | 4 | | 13.6 | 8.3 | 656 | 〃 | 〃 |
| 191 | 〃 | Ⅱ | A | 2 | a | 12.6 | 7.9 | 626 | 〃 | 完形 |
| 192 | 〃 | Ⅱ | A C | 2 | | 12.2 | 8.6 | 665 | 〃 | 〃 |
| 193 | 〃 | Ⅳ | A C | 4 | | 13.2 | 7.4 | 712 | 〃 | 〃 |
| 194 | 〃 | Ⅱ | A C | 2 | | 10.6 | 8.6 | 537 | 〃 | 〃 |
| 195 | 〃 | Ⅱ | A C | 2 | | 11.0 | 9.5 | 375 | 〃 | 〃 |
| 196 | 6号墳 | Ⅳ | | | b | (10.6) | 7.8 | 566 | 〃 | 半欠 |
| 197 | 〃 | Ⅱ | AB | 2 | | 13.1 | 8.1 | 602 | 〃 | 完形 |
| 198 | 〃 | Ⅱ | B | 2 | | 13.6 | 9.1 | 709 | 〃 | 〃 |
| 199 | 〃 | Ⅰ | A | 2 | | 8.4 | 7.7 | 337 | 〃 | 〃 |
| 200 | 〃 | Ⅱ | C | ? | c | (6.1) | 7.8 | 143 | 〃 | ⅔欠損 |
| 201 | 1M | Ⅳ | | | a | (5.5) | 6.5 | 274 | 〃 | 両端部欠損 |
| 202 | 〃 | Ⅳ | | | | 11.5 | 3.3 | 167 | 頁岩 | 完形　敲石 |
| 203 | 漏1墳 | Ⅶ | C | 1 | | 10.0 | 6.1 | 249 | 粗粒安山岩 | 〃 |
| 204 | 漏2墳 | Ⅲ | C | 2 | c | 11.4 | 8.0 | 538 | 〃 | 〃 |
| 205 | 漏1墳 | Ⅳ | | | a | 14.1 | 6.9 | 562 | 〃 | 〃 |
| 206 | 漏2墳 | Ⅳ | | | a | (10.3) | 6.9 | 561 | 〃 | ⅓欠損 |
| 207 | 〃 | Ⅲ | C | 2 | | 10.8 | 7.1 | 411 | 〃 | 完形　端、側縁部敲打痕 |
| 208 | 〃 | Ⅱ | B D | 2 | | 10.3 | 6.8 | 335 | 〃 | 〃　端部敲打痕 |
| 209 | 〃 | Ⅲ | | | c | 17.7 | 9.2 | 1227 | 〃 | 〃　片面敲打痕 |
| 210 | 〃 | Ⅱ | ABC | 3 | | 13.0 | 9.0 | 647 | 〃 | 〃　端部敲打痕 |
| 211 | 〃 | Ⅱ | A | 2 | a | 12.3 | 7.2 | 593 | 石英閃緑岩 | 〃 |
| 212 | 〃 | Ⅶ | C | 2 | | 15.1 | 8.0 | 494 | 粗粒安山岩 | 〃 |
| 213 | 〃 | Ⅶ | A C | 3 | | 12.7 | 6.9 | 595 | 〃 | 〃 |
| 214 | 〃 | Ⅳ | BC | 4 | | 10.5 | 4.9 | 226 | 〃 | 〃 |
| 215 | 1号方形周 | Ⅰ | A C | 2 | | 9.4 | 8.8 | 383 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 216 | 〃 | Ⅰ | A | 2 | a | 9.5 | 6.8 | 292 | 〃 | 〃 |
| 217 | 〃 | Ⅱ | C | 2 | | 12.2 | 9.4 | 683 | 〃 | 〃 |
| 218 | 〃 | Ⅱ | C | 2 | | 10.7 | 8.1 | 375 | 〃 | 〃 |
| 219 | 〃 | Ⅰ | C | 2 | | 8.2 | 7.6 | 344 | 〃 | 〃 |
| 220 | 〃 | Ⅱ | BC | 2 | | 11.8 | 8.9 | 512 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 221 | 〃 | Ⅱ | A | 1 | | 9.4 | 7.8 | 328 | 〃 | 〃 |
| 222 | 〃 | Ⅱ | C | 2 | a | 12.4 | 8.9 | 394 | 砂岩 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 223 | 漏3号墳 | Ⅵ | A | 4 | ? | 13.5 | 5.4 | 578 | 粗粒安山岩 | 〃　端部敲打痕 |
| 224 | 漏4号墳 | Ⅱ | C | 1 | | 10.7 | 7.7 | 369 | 〃 | 〃 |
| 225 | 〃 | Ⅶ | AB | 2 | | 10.1 | 8.1 | 552 | 〃 | 〃 |
| 226 | 5M | Ⅰ | A C | 2 | | 12.4 | 10.8 | 1050 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 227 | 2M | Ⅰ | AB | 2 | | 9.4 | 8.8 | 532 | 〃 | 〃 |

| No. | 出土位置 | 形状 | 凹孔形 | 凹孔面 | 磨面数 | 長さ | 幅 | 重さ | 石　材 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 228 | 地下式土坑 | Ⅲ | A？ | 1 | a＋d | 12.7 | 6.6 | 429 | 〃 | 〃　焼成受ける |
| 229 | 6号集石 | Ⅳ | | | a＋d | (13.1) | 7.4 | 796 | 〃 | 半欠 |
| 230 | 5号集石 | Ⅶ | BC | 2 | | 9.5 | 8.0 | 330 | 〃 | ⅓欠損　焼成受ける |
| 231 | 2号方形周 | Ⅳ | | | b | 13.8 | 5.2 | 522 | 変質玄武岩 | 完形 |
| 232 | 3号方形周 | Ⅱ | BC | 2 | ? | 10.7 | 7.0 | 420 | 粗粒安山岩 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 233 | 1号井戸 | Ⅱ | C | 3 | | 9.8 | 6.3 | 396 | 砂岩 | 〃 |
| 234 | G7G | Ⅱ | A | 1 | a | 11.7 | 8.2 | 493 | 粗粒安山岩 | 〃 |
| 235 | H2G | Ⅵ | B | 2 | | (19.5) | 8.6 | 321 | 〃 | 半欠 |
| 236 | 〃 | Ⅴ | BC | 2 | | 11.0 | 8.5 | 528 | 〃 | 完形 |
| 237 | 〃 | Ⅰ | | | b | 4.3 | 3.9 | 87 | ひん岩 | 〃　丸石 |
| 238 | 〃 | Ⅱ | B | 1 | | 15.2 | 9.8 | 1096 | 粗粒安山岩 | 〃 |
| 239 | 〃 | Ⅰ | A | 1 | | 12.5 | 10.7 | 747 | 〃 | 〃 |
| 240 | 〃 | Ⅱ | C | 2 | | 12.1 | 7.5 | 517 | 〃 | 側縁部欠損 |
| 241 | 〃 | Ⅳ | AC | 2 | | 13.2 | 7.9 | 813 | 〃 | 完形 |
| 242 | 〃 | Ⅰ | C | 1 | | 9.3 | 8.3 | 235 | 〃 | 〃 |
| 243 | H3G | Ⅰ | BC | 4 | | 8.8 | 7.5 | 311 | 粗粒安山岩 | 完形 |
| 244 | 〃 | Ⅱ | AC | 2 | a | 11.1 | 8.6 | 595 | 〃 | 〃 |
| 245 | 〃 | Ⅳ | C | 2 | | 10.8 | 5.6 | 340 | 〃 | 〃 |
| 246 | H4G | Ⅳ | BC | 2 | a | 14.5 | 7.7 | 681 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 247 | H6G | Ⅵ | CD | 2 | | 11.2 | 9.8 | 565 | 〃 | 〃 |
| 248 | 〃 | Ⅰ | BC | 2 | a | 9.0 | 7.6 | 436 | 〃 | 〃　端部敲打痕 |
| 249 | H7G | Ⅱ | | | b | 14.4 | 10.5 | 1268 | 〃 | 〃 |
| 250 | I3G | Ⅱ | C | 2 | | 10.8 | 7.9 | 487 | 〃 | 〃 |
| 251 | 〃 | Ⅱ | C | 2 | | 12.8 | 9.4 | 752 | 〃 | 〃 |
| 252 | 〃 | Ⅱ | BC | 2 | | 11.0 | 7.4 | 378 | 〃 | 〃 |
| 253 | 〃 | Ⅰ | C | 2 | | 11.2 | 8.7 | 536 | 〃 | 〃 |
| 254 | 〃 | Ⅳ | | | | 10.8 | 4.5 | 234 | 頁岩 | 〃　敲石 |
| 255 | 〃 | Ⅵ | AD | 2 | | 13.6 | 11.5 | 807 | 粗粒安山岩 | 側縁部欠損 |
| 256 | 〃 | Ⅴ | C | 2 | | 11.2 | 7.1 | 300 | 〃 | 完形 |
| 257 | 〃 | Ⅱ | C | 1 | | 10.1 | 7.3 | 497 | 〃 | 〃 |
| 258 | 〃 | Ⅳ | | | b | 14.4 | 7.7 | 736 | 〃 | 〃　端、側縁部敲打痕 |
| 259 | 〃 | Ⅱ | AC | 2 | | 11.0 | 7.1 | 391 | 〃 | 〃 |
| 260 | 〃 | Ⅱ | C | 2 | a？ | 11.6 | 7.4 | 440 | 〃 | 〃 |
| 261 | 〃 | Ⅰ | AD | 4 | | 9.0 | 8.1 | 468 | 〃 | 〃 |
| 262 | 〃 | Ⅱ | B | 2 | | (6.8) | 6.1 | 183 | 〃 | 半欠 |
| 263 | 〃 | Ⅱ | A | 2 | | 10.1 | 7.3 | 497 | 〃 | 完形 |
| 264 | 〃 | Ⅱ | AC | 2 | | 10.3 | 8.5 | 540 | 〃 | 〃 |
| 265 | I4G | Ⅱ | ABC | 2 | | 13.7 | 9.3 | 848 | 〃 | 〃 |
| 266 | 〃 | Ⅳ | AC | 2 | a | 11.0 | 5.5 | 422 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 267 | 〃 | Ⅵ | C | 2 | | (11.4) | 8.2 | 594 | 〃 | 端部欠損 |
| 268 | 〃 | Ⅱ | BC | 2 | | 9.1 | 6.8 | 295 | 〃 | 完形 |
| 269 | 〃 | Ⅲ | BC | 2 | | 12.6 | 7.1 | 539 | 〃 | 〃 |
| 270 | I3G | Ⅱ | C | 1 | | 10.7 | 7.1 | 464 | 〃 | 〃 |
| 271 | I6G | Ⅱ | C | 2 | | 11.4 | 7.2 | 463 | 〃 | 〃 |
| 272 | J3G | Ⅳ | C | 2 | | 13.8 | 7.7 | 654 | 〃 | 〃 |
| 273 | 〃 | Ⅴ | C | 2 | | (10.9) | 8.0 | 446 | 〃 | 端部欠損 |
| 274 | 〃 | Ⅴ | BC | 2 | c？ | 9.2 | 9.1 | 557 | 〃 | 完形 |
| 275 | 〃 | Ⅳ | BC | 4 | | 13.5 | 6.3 | 511 | 〃 | 〃 |
| 276 | 〃 | Ⅰ | AC | 2 | | 10.0 | 8.2 | 459 | 〃 | 〃 |
| 277 | 〃 | Ⅳ | | | a | 15.0 | 7.5 | 655 | 〃 | 〃　焼成受ける |
| 278 | J4G | Ⅵ | AB | 2 | | 14.9 | 11.7 | 1540 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 279 | 〃 | Ⅱ | A | 1 | a＋d | 13.0 | 8.3 | 709 | 〃 | 〃　焼成受ける |
| 280 | J3G | Ⅲ | C | 1 | a＋d | 12.4 | 6.6 | 435 | 〃 | 〃 |
| 281 | J4G | Ⅰ | AB | 2 | | 10.7 | 9.3 | 604 | 〃 | 〃 |
| 282 | 〃 | Ⅱ | AC | 2 | | 12.6 | 8.7 | 505 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 283 | 〃 | Ⅲ | AC | 2 | a | 11.1 | 6.4 | 388 | 〃 | 〃　端、側縁部敲打痕 |
| 284 | 〃 | Ⅰ | C | 2 | | 10.8 | 8.4 | 539 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 285 | 〃 | Ⅱ | B | 2 | | 10.8 | 7.8 | 486 | 〃 | 〃 |
| 286 | 〃 | Ⅱ | C | 2 | | 10.4 | 7.5 | 403 | 〃 | 〃 |
| 287 | 〃 | Ⅱ | C | 2 | | 11.0 | 7.0 | 415 | 〃 | 〃　端、側縁部敲打痕 |
| 288 | J5G | Ⅳ | A | 2 | | (8.5) | 7.0 | (424) | 〃 | 半欠 |

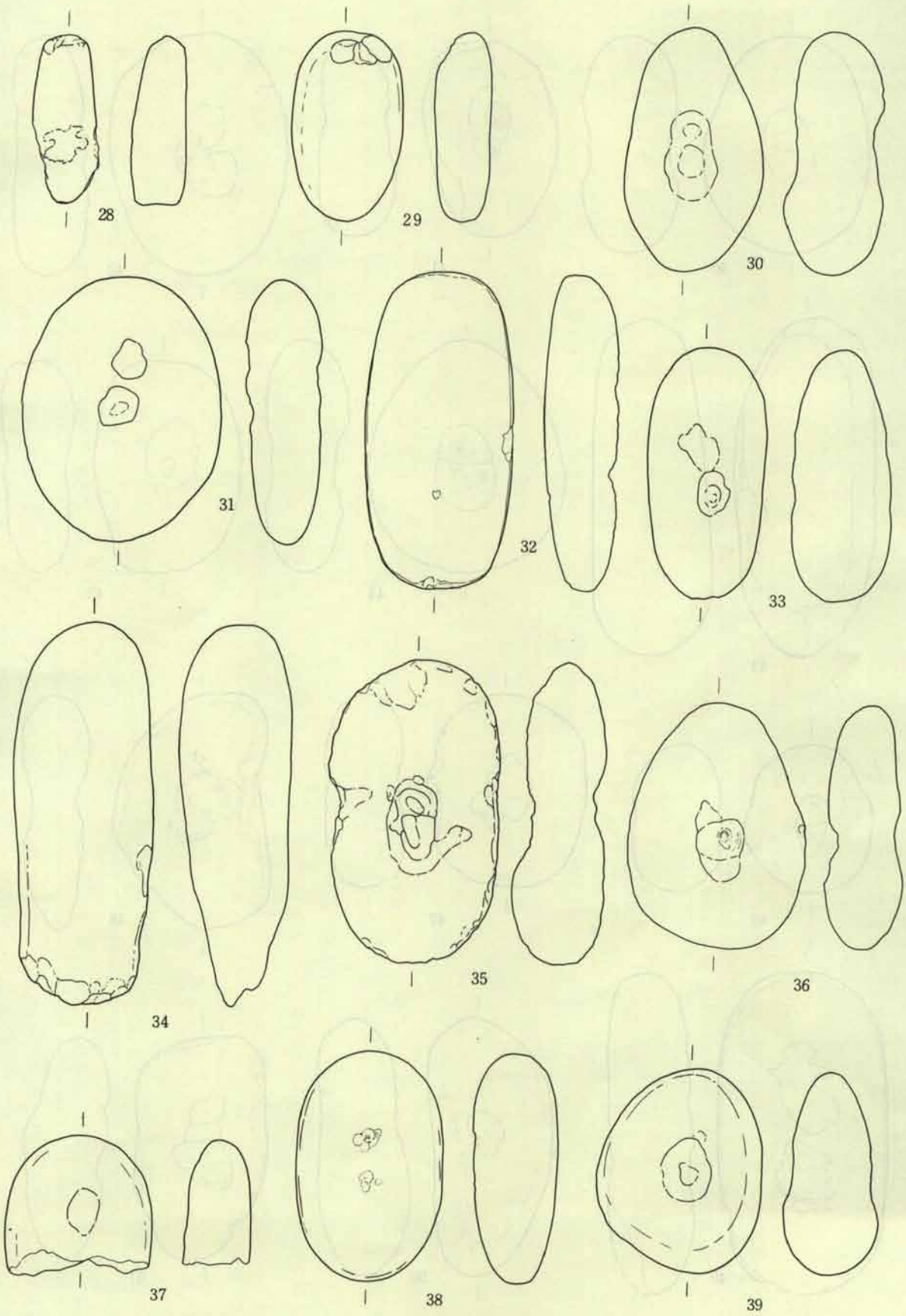
| No. | 出土位置 | 形状 | 凹孔形 | 凹孔面 | 磨面数 | 長さ | 幅 | 重さ | 石　材 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 289 | 〃 | Ⅳ | | | | 15.0 | 7.8 | 758 | 〃 | 完形 |
| 290 | 〃 | Ⅲ | BC | 2 | | 13.5 | 7.6 | 548 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 291 | 〃 | Ⅶ | BC | 2 | | 12.5 | 8.4 | 384 | 〃 | 〃 |
| 292 | J6G | Ⅳ | | | | (7.0) | (5.2) | (156) | 〃 | 半欠 |
| 293 | K5G | Ⅵ | A　C | 2 | | 9.6 | 8.6 | 586 | 〃 | 完形 |
| 294 | 〃 | Ⅱ | | | | (13.4) | 7.9 | 645 | 〃 | 端部欠損　側縁部敲打痕 |
| 295 | 〃 | Ⅶ | C | 2 | | 16.2 | 9.6 | 698 | 〃 | 完形　側縁部敲打痕 |
| 296 | 〃 | Ⅳ | A　C | 2 | | 16.0 | 8.4 | 1195 | 〃 | 〃 |
| 297 | 〃 | Ⅳ | A | 1 | | 15.1 | 6.0 | 667 | 変質玄武岩 | 〃　端部敲打痕 |
| 298 | 〃 | Ⅱ | ABC | 3 | | 12.5 | 8.9 | 763 | 粗粒安山岩 | 〃　〃 |
| 299 | 〃 | Ⅲ | A　C | 2 | c | (13.2) | 8.7 | 604 | 〃 | 側縁部欠損 |
| 300 | 〃 | Ⅱ | A　C | 2 | a | 13.3 | 8.7 | 696 | 〃 | 完形 |
| 301 | 〃 | Ⅰ | A　　D | 2 | a | 11.5 | 10.1 | 809 | 〃 | 〃　焼成受ける |
| 302 | K6G | Ⅴ | C | 2 | d | 13.1 | 8.6 | 668 | 〃 | 〃 |
| 303 | 〃 | Ⅱ | C | 1 | c | 17.8 | 11.0 | 746 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 304 | K6G | Ⅳ | | | c | 15.2 | 6.1 | 510 | 輝緑岩 | 完形 |
| 305 | 〃 | Ⅲ | A　C | 2 | a | 14.7 | 6.7 | 803 | 粗粒安山岩 | 〃 |
| 306 | 〃 | Ⅵ | C | 2 | c | 12.5 | 8.7 | 570 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 307 | 〃 | Ⅳ | A　C | 2 | a | 13.0 | 6.7 | 664 | 〃 | 〃 |
| 308 | 〃 | Ⅳ | | | a | 14.3 | 5.7 | 293 | 灰色安山岩 | 〃　砥石？ |
| 309 | 〃 | Ⅵ | A | 2 | | 10.1 | 8.5 | 490 | 粗粒安山岩 | 〃 |
| 310 | 〃 | Ⅱ | C | 2 | | 10.1 | 7.7 | 447 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 311 | 〃 | Ⅵ | A | 1 | | 11.9 | 7.9 | 397 | 〃 | 〃　〃 |
| 312 | 〃 | Ⅵ | B | 2 | | 16.7 | 12.3 | 1406 | 〃 | 〃 |
| 313 | L6G | Ⅳ | BC | 2 | | 17.3 | 8.0 | 689 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 314 | 〃 | Ⅱ | B | ? | | (11.5) | 7.0 | 169 | 〃 | 半欠 |
| 315 | M6G | Ⅳ | A | 1 | c | (10.4) | (5.9) | 351 | 溶結安山岩 | 〃 |
| 316 | 〃 | Ⅱ | C | 1？ | | (7.7) | (8.6) | 275 | 粗粒安山岩 | 〃 |
| 317 | M7G | Ⅱ | C | 2 | | 11.8 | 8.4 | 576 | 〃 | 完形　側縁部敲打痕 |
| 318 | M9G | Ⅱ | C | 2 | | 11.4 | 7.4 | 385 | 〃 | 〃　〃 |
| 319 | 〃 | Ⅱ | AB | 1 | | 12.2 | 9.7 | 581 | 〃 | 〃 |
| 320 | 〃 | Ⅱ | B | 2 | | 8.7 | 7.4 | 308 | 〃 | 〃　側縁部敲打痕 |
| 321 | 〃 | Ⅳ | AB | 2 | | 11.0 | 6.7 | 491 | 〃 | 〃 |
| 322 | 〃 | Ⅱ | A　　D | 2 | a | 11.7 | 8.3 | 606 | 〃 | 〃 |
| 323 | 〃 | Ⅳ | A | 2 | | 13.1 | 7.5 | 435 | 石英閃緑岩 | 〃 |



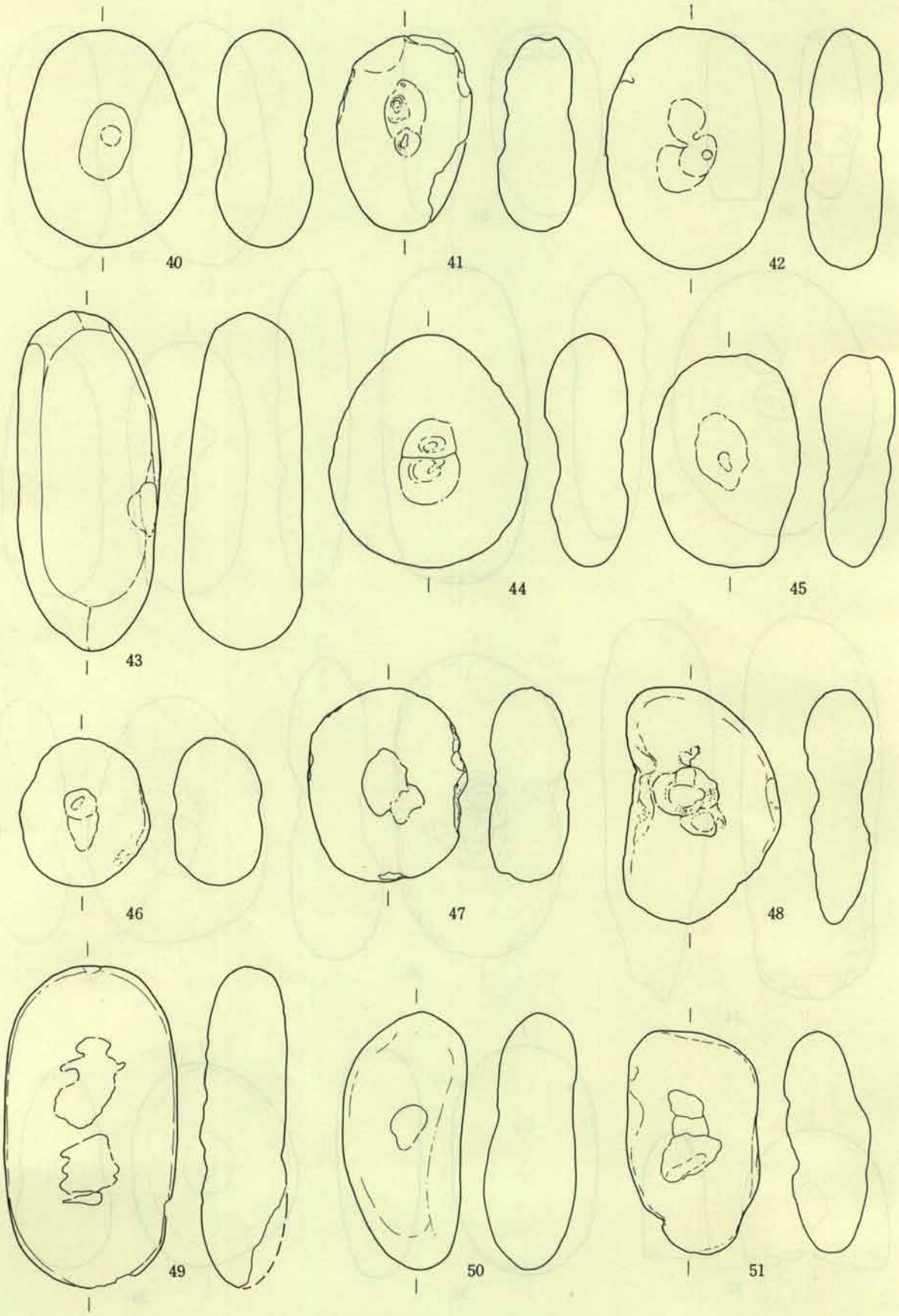

第215図　磨石・凹石・敲石等(1)



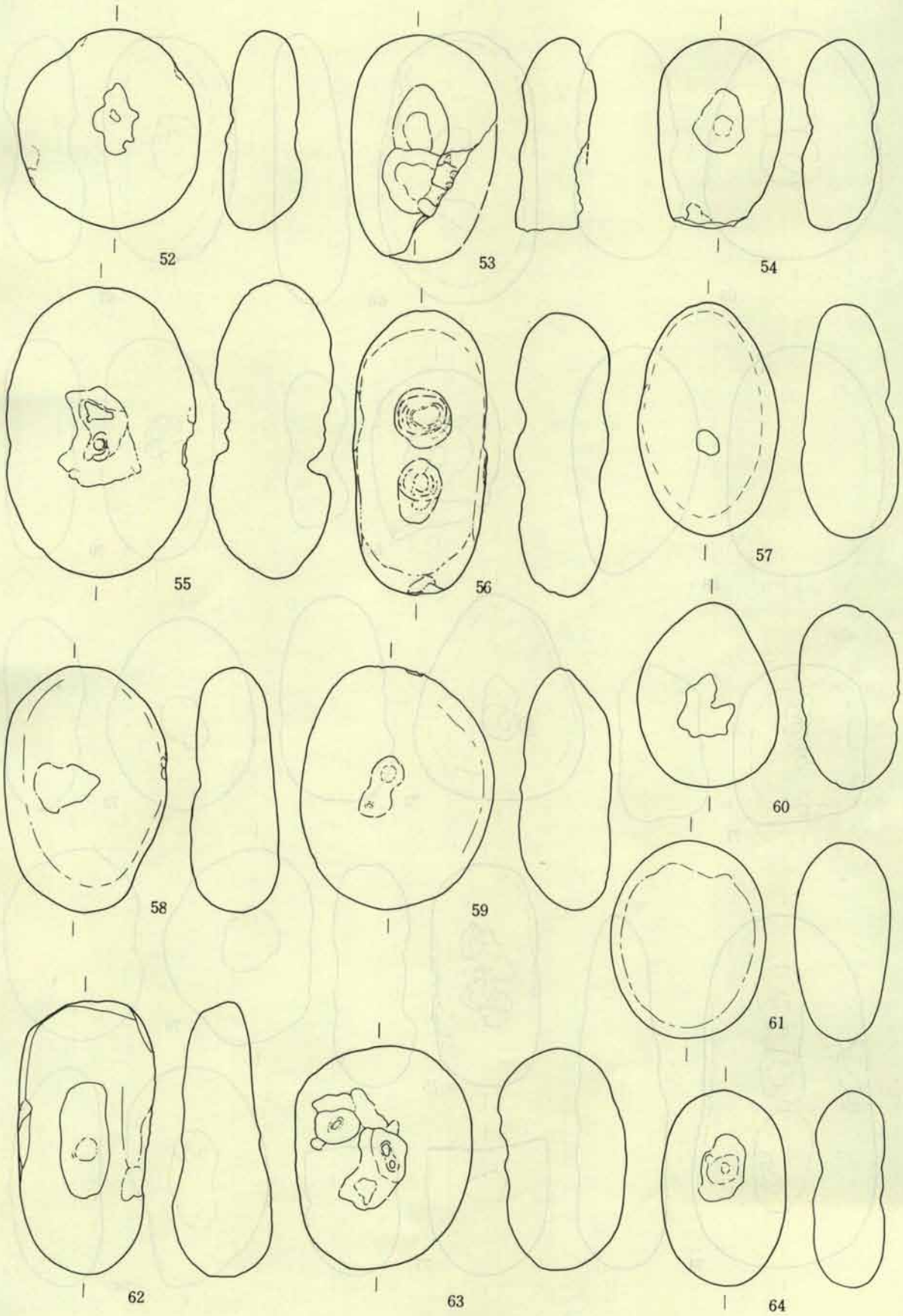

第216図　磨石・凹石・敲石等(2)



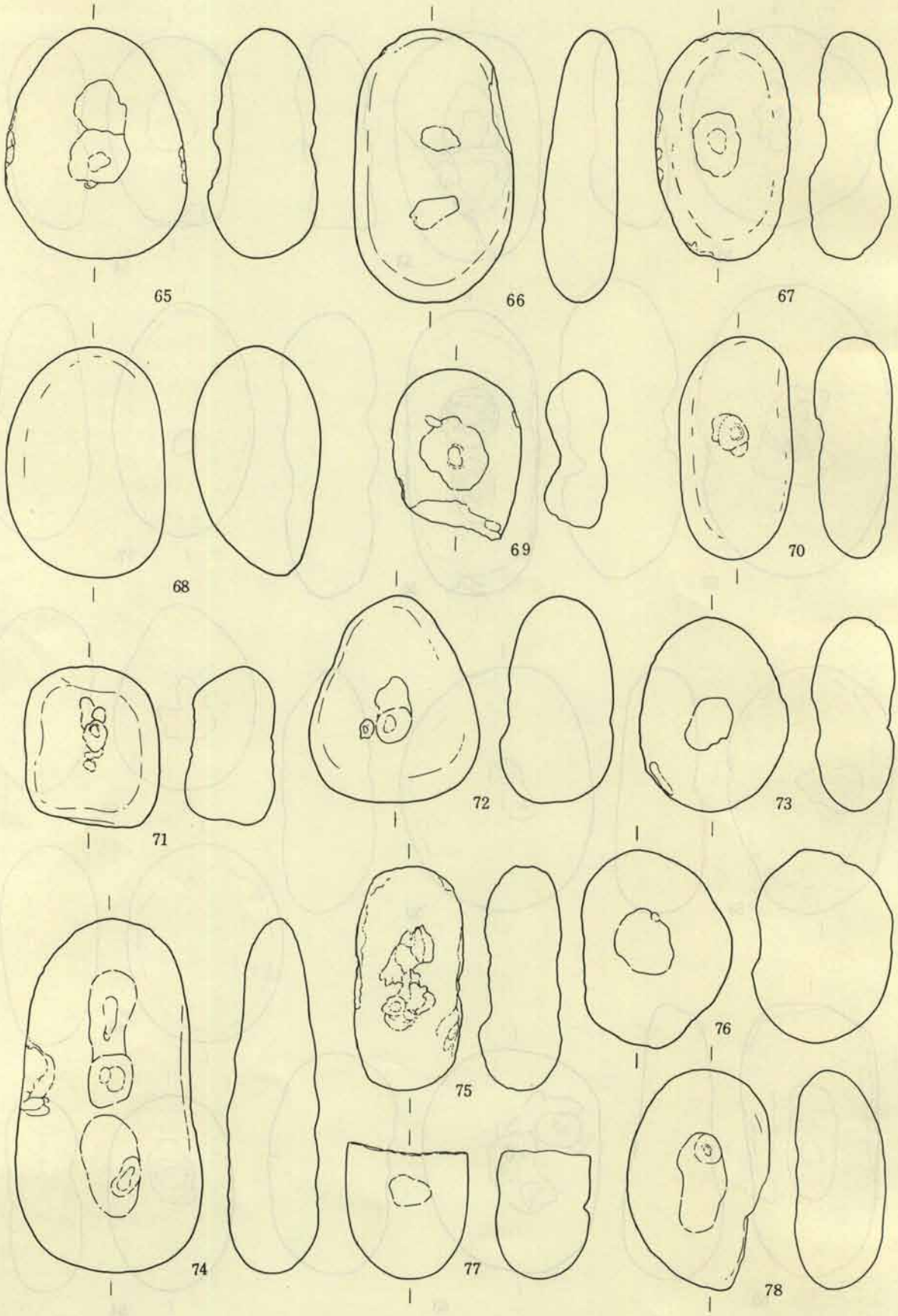

第217図　磨石・凹石・敲石等(3)



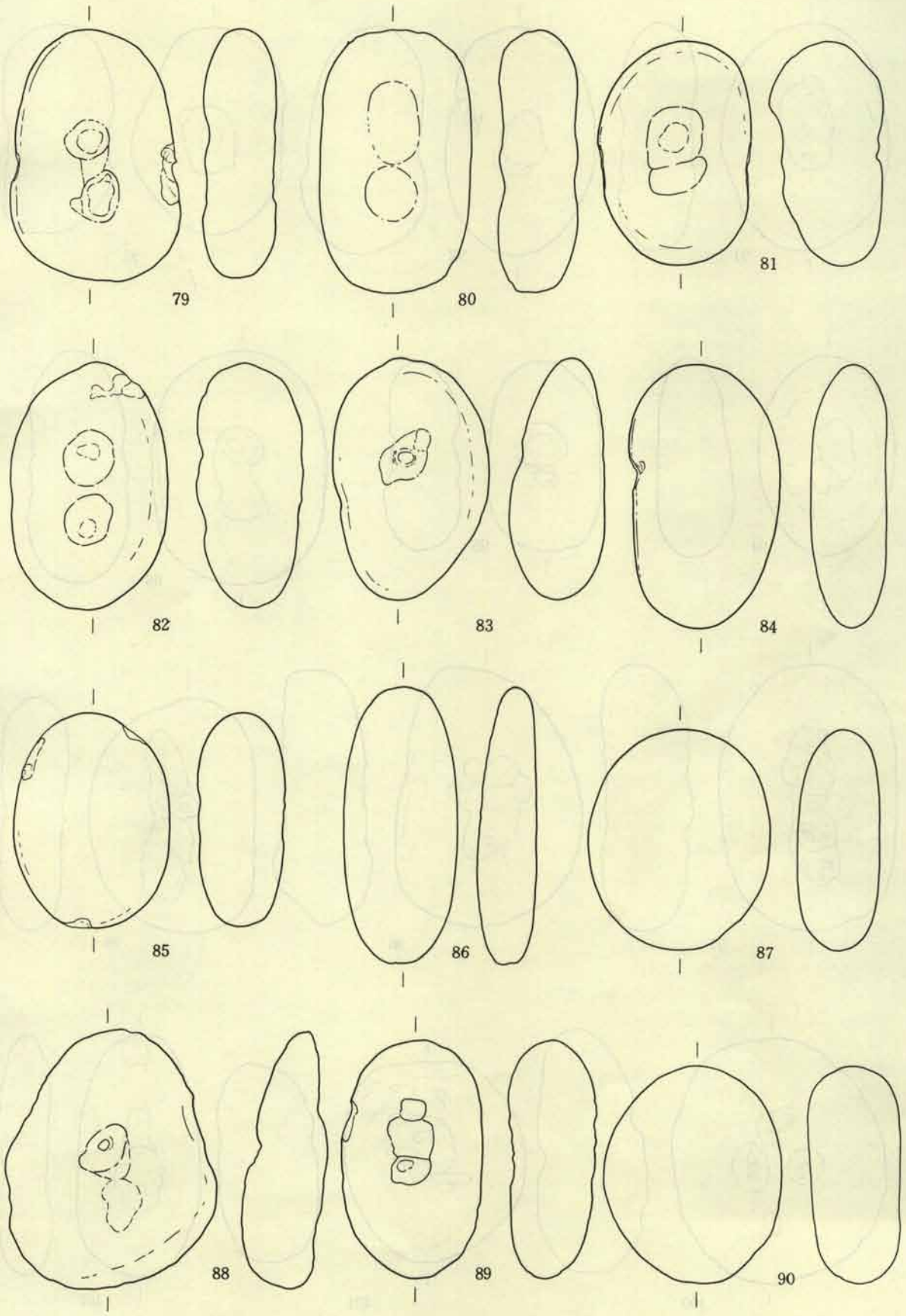

第218図　磨石・凹石・敲石等(4)



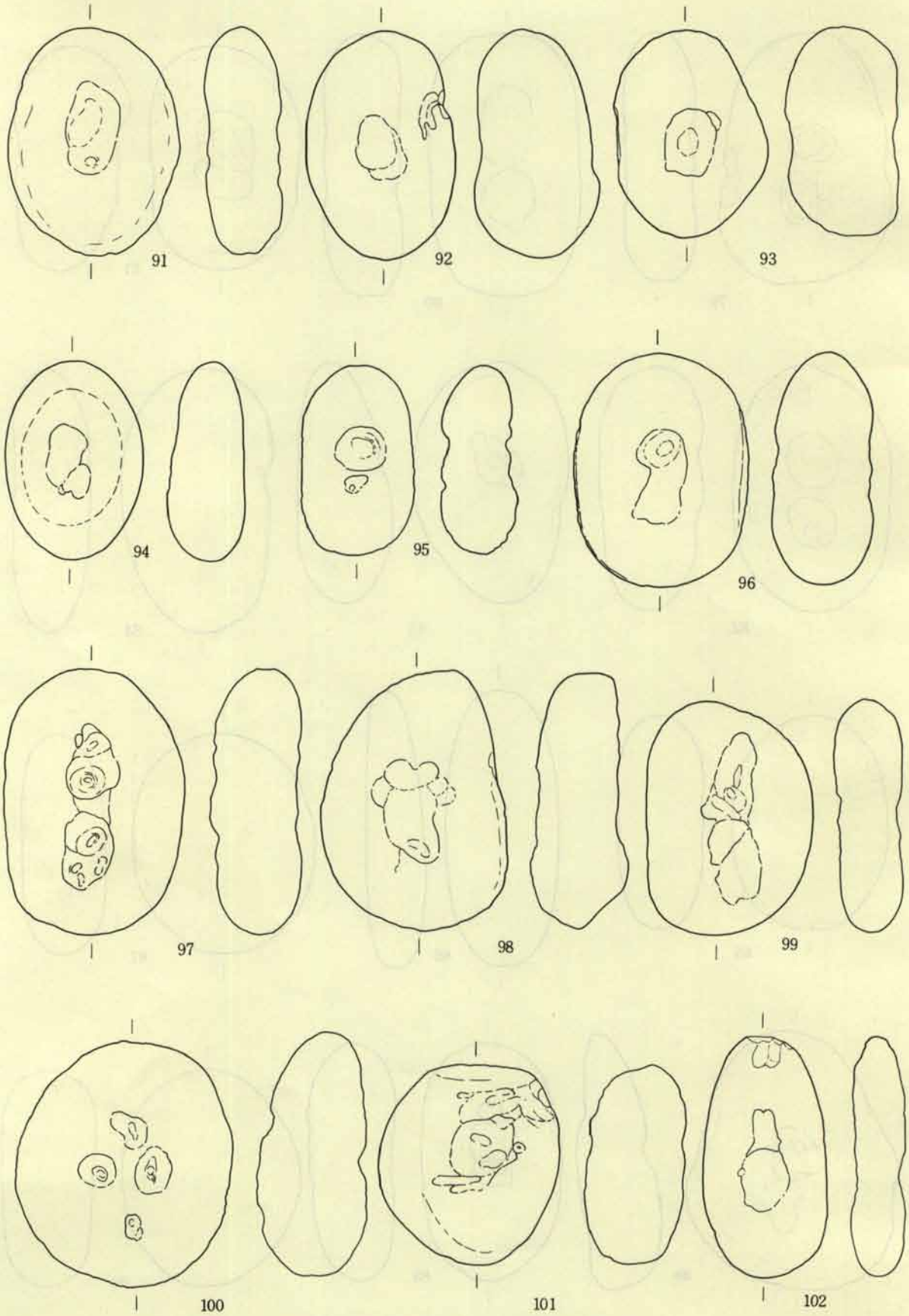

第219図　磨石・凹石・敲石等(5)



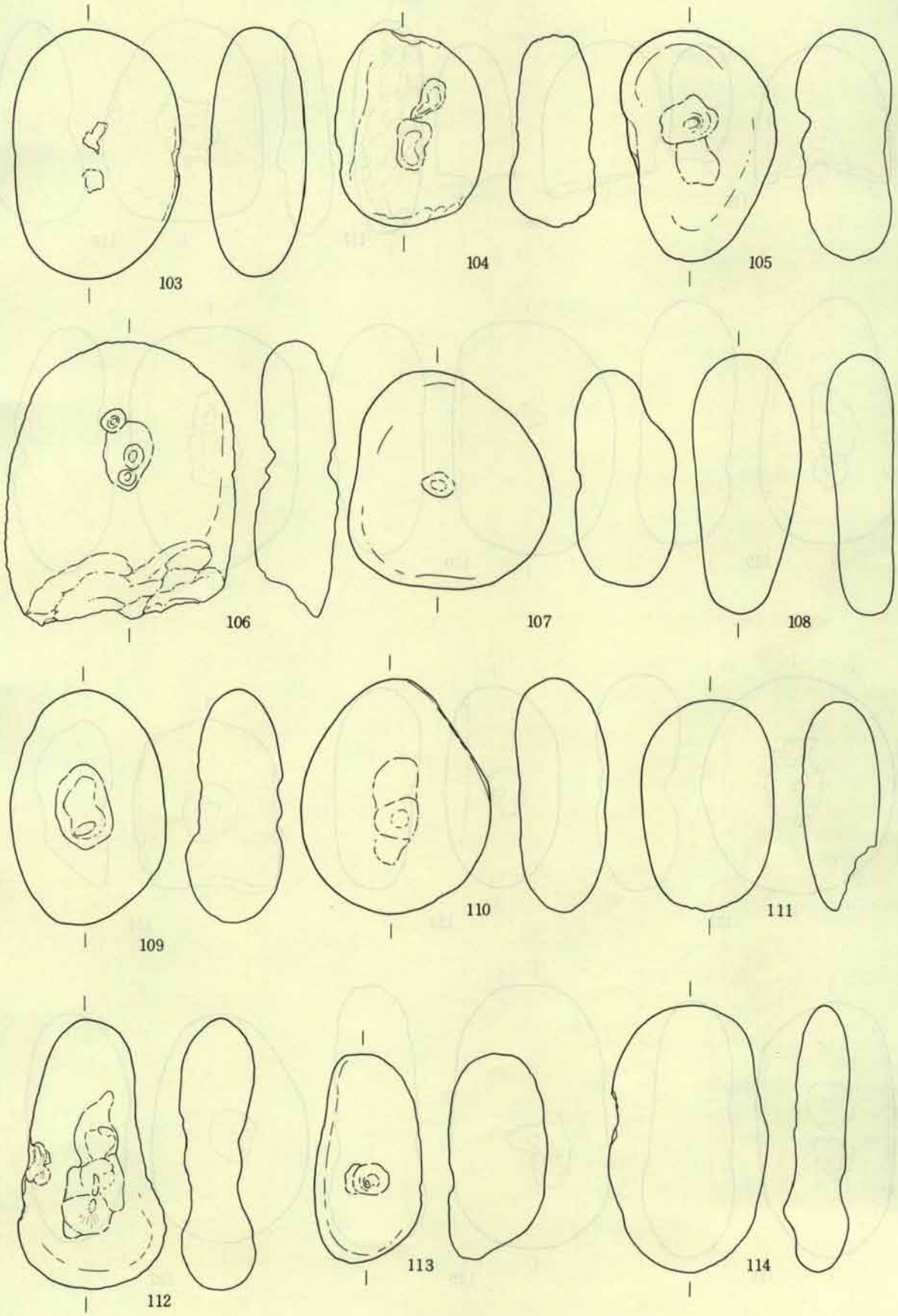

第220図　磨石・凹石・敲石等(6)



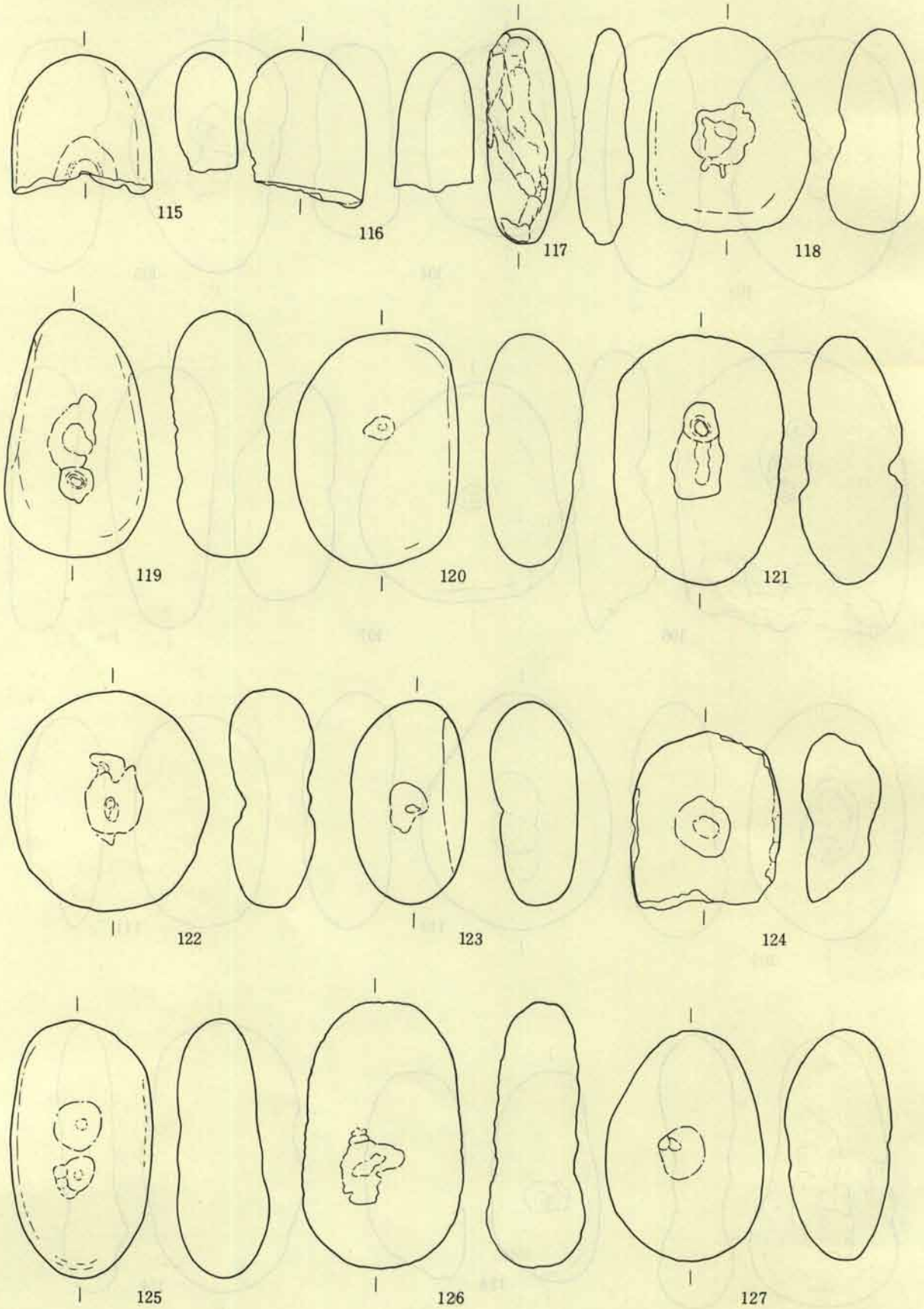

第221図　磨石・凹石・敲石等(7)



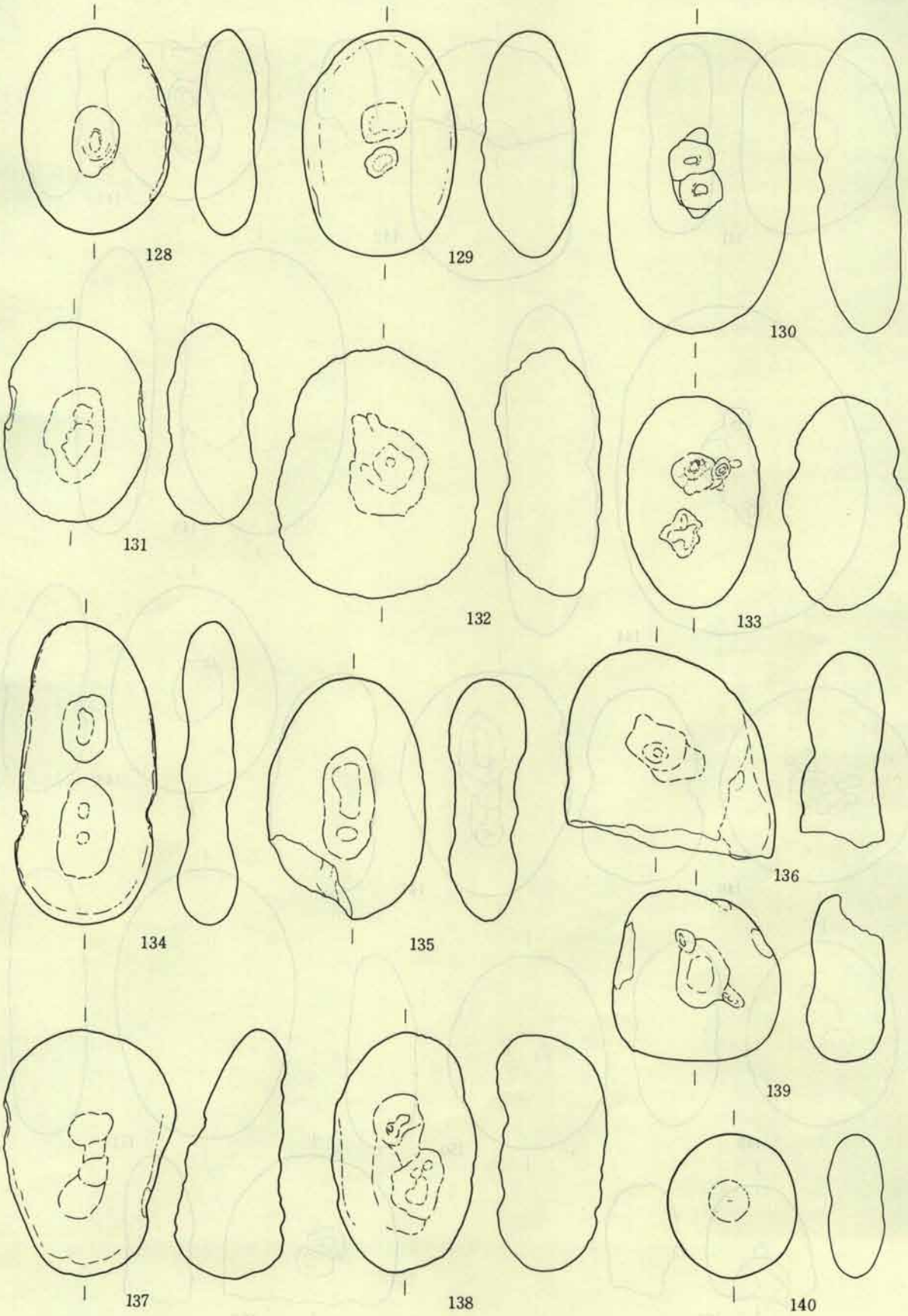

第222図　磨石・凹石・敲石等(8)



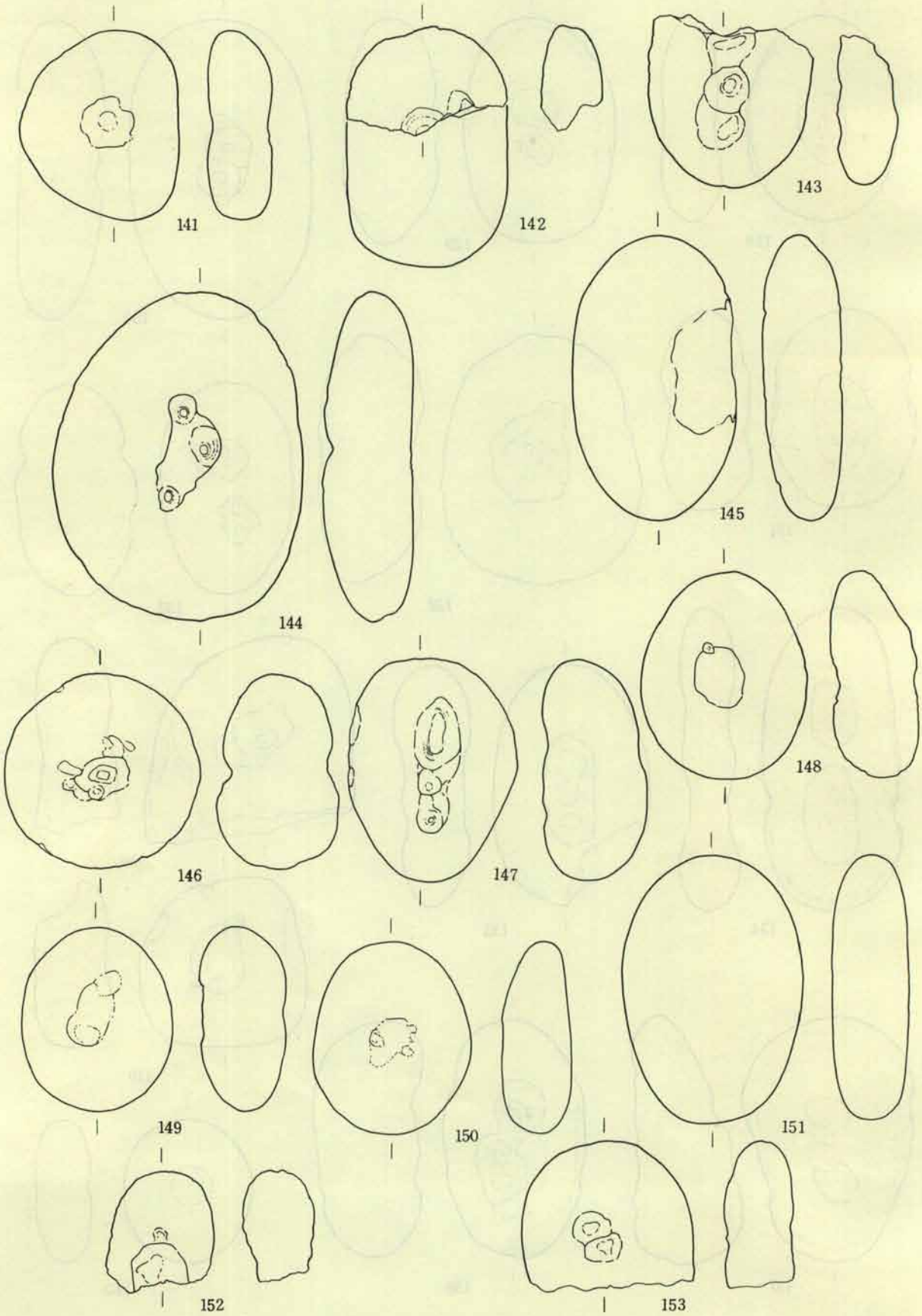

第223図　磨石・凹石・敲石等(9)



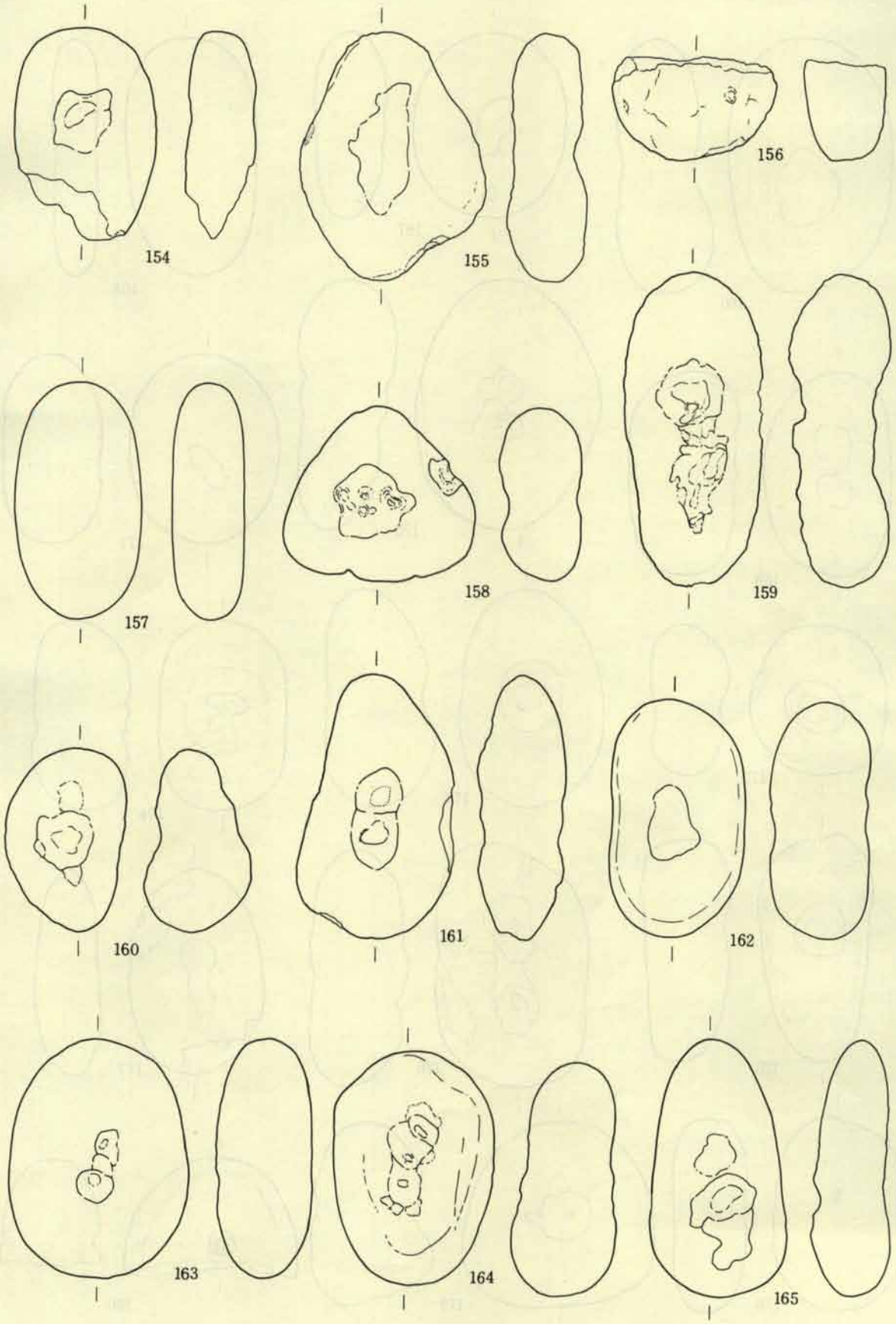

第224図　磨石・凹石・敲石等(10)



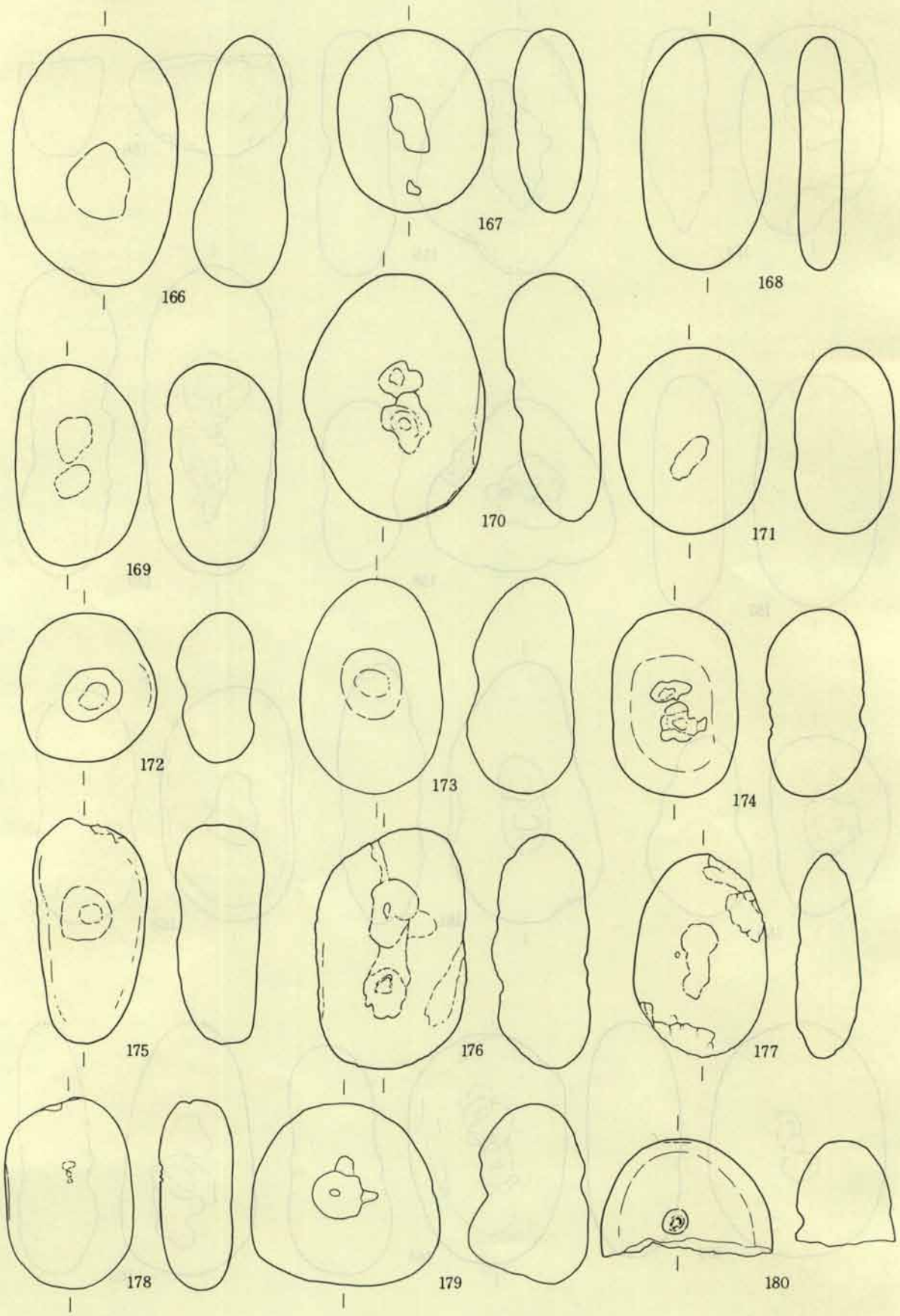

第225図　磨石・凹石・敲石等(11)



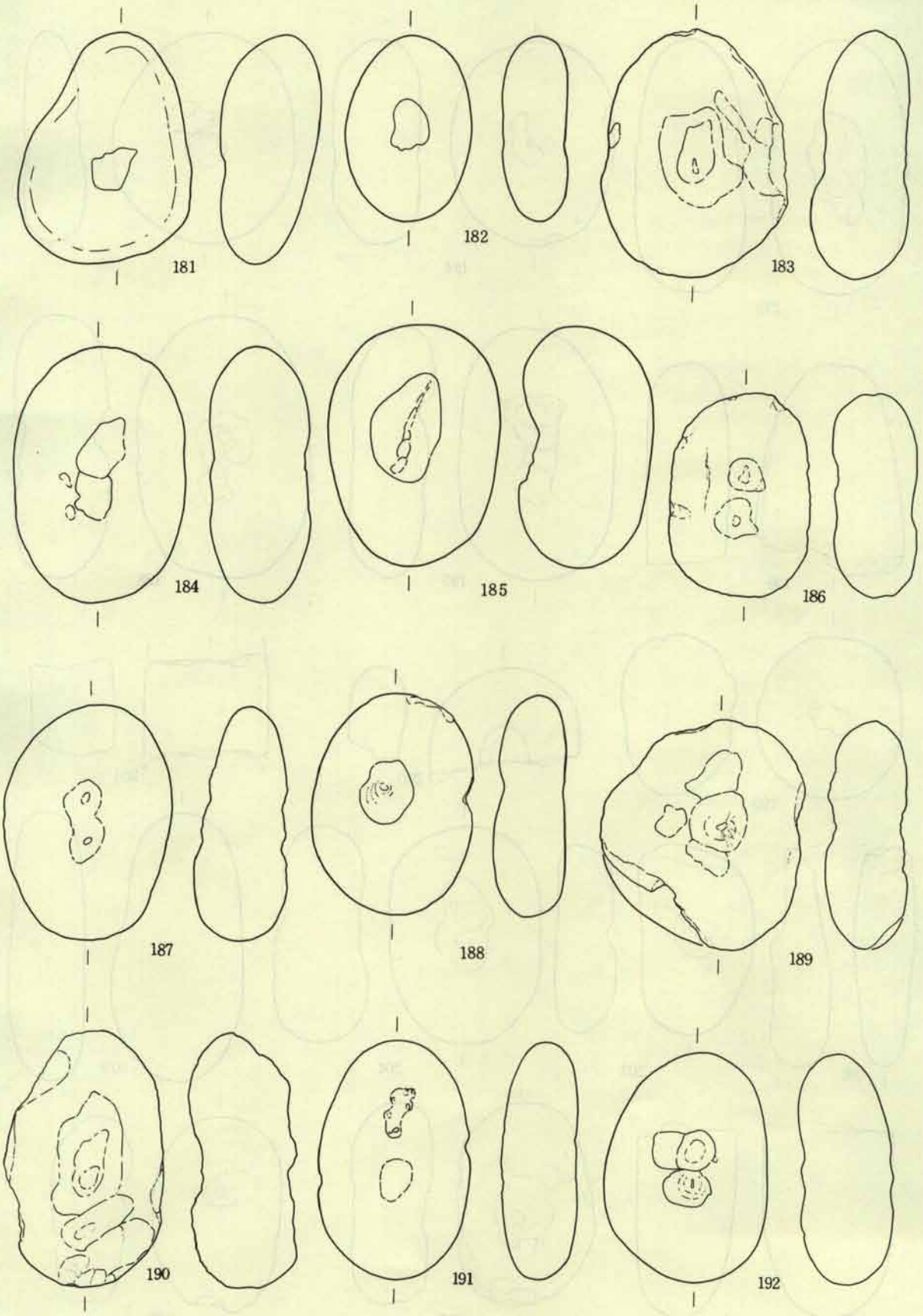

第226図　磨石・凹石・敲石等(12)



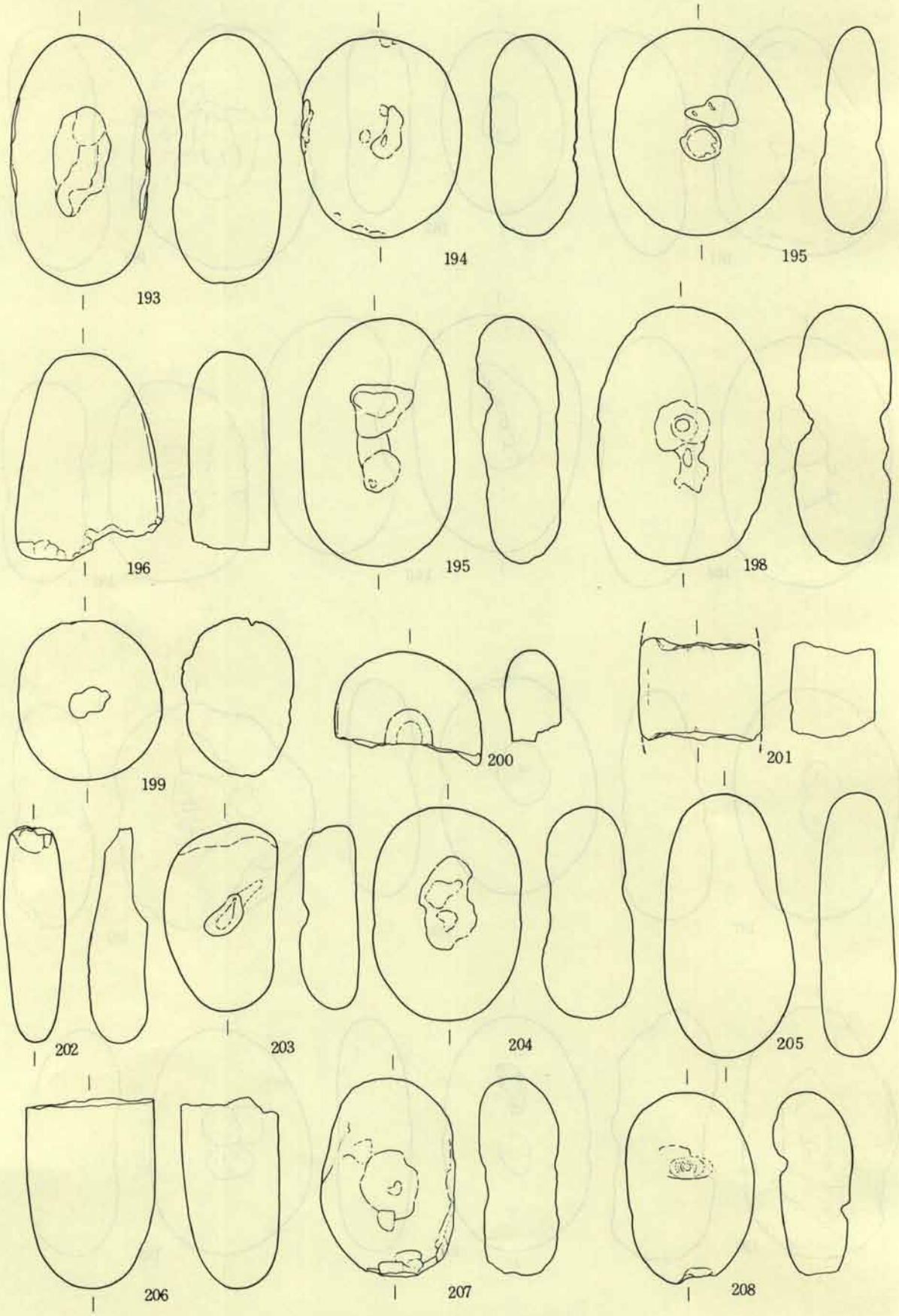

第227図　磨石・凹石・敲石等(13)



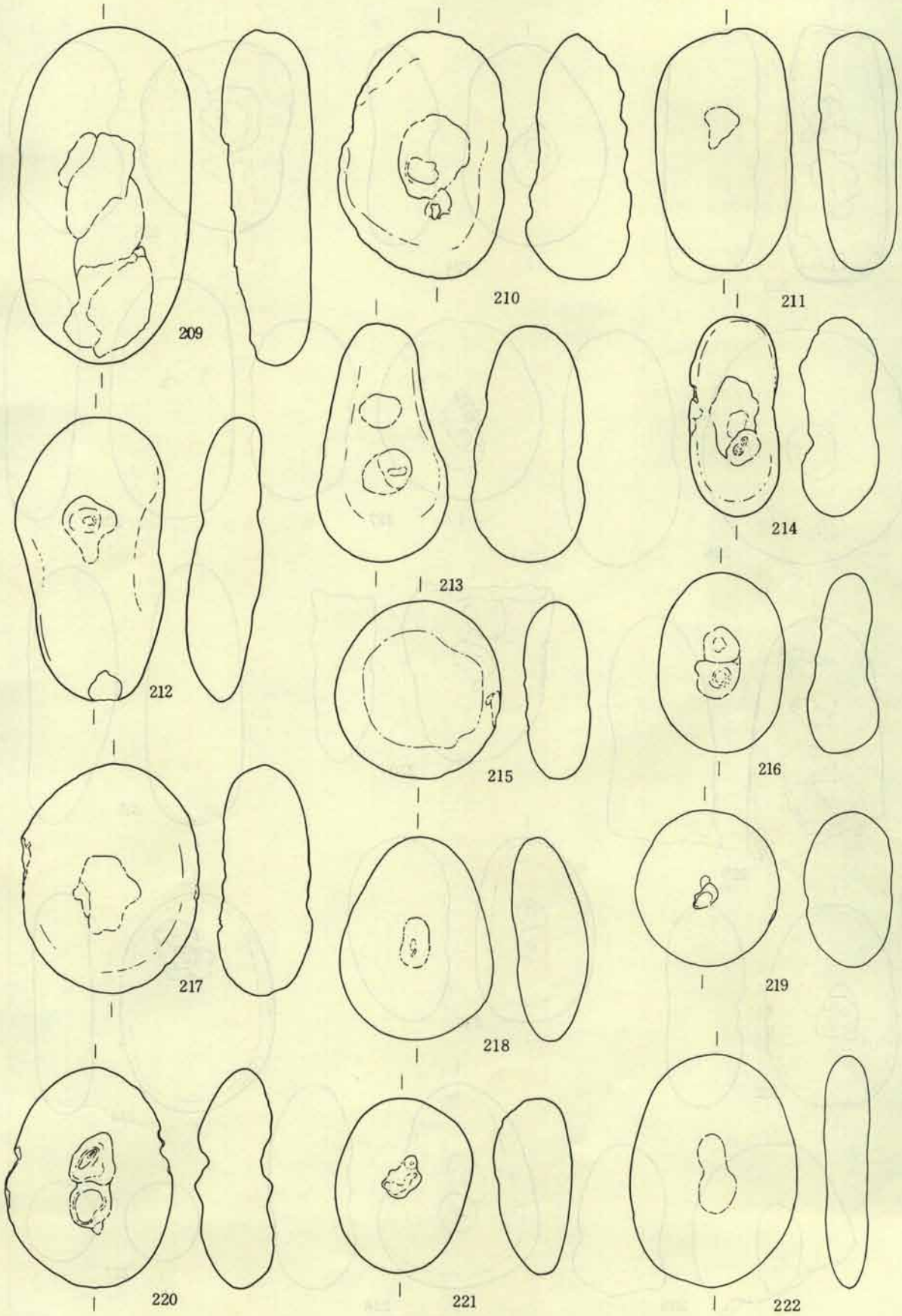

第228図　磨石・凹石・敲石等(14)



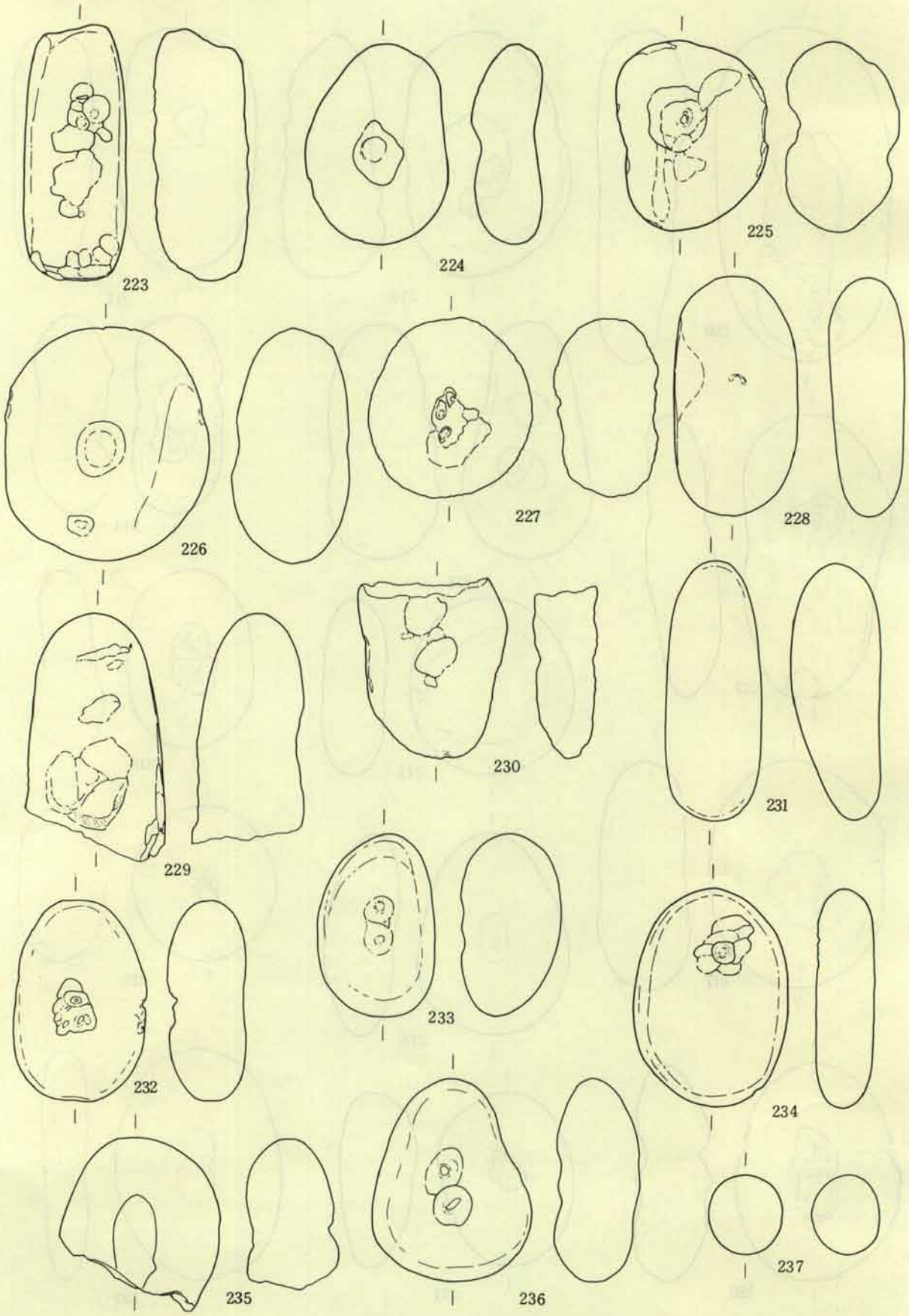

第229図　磨石・凹石・敲石等(15)



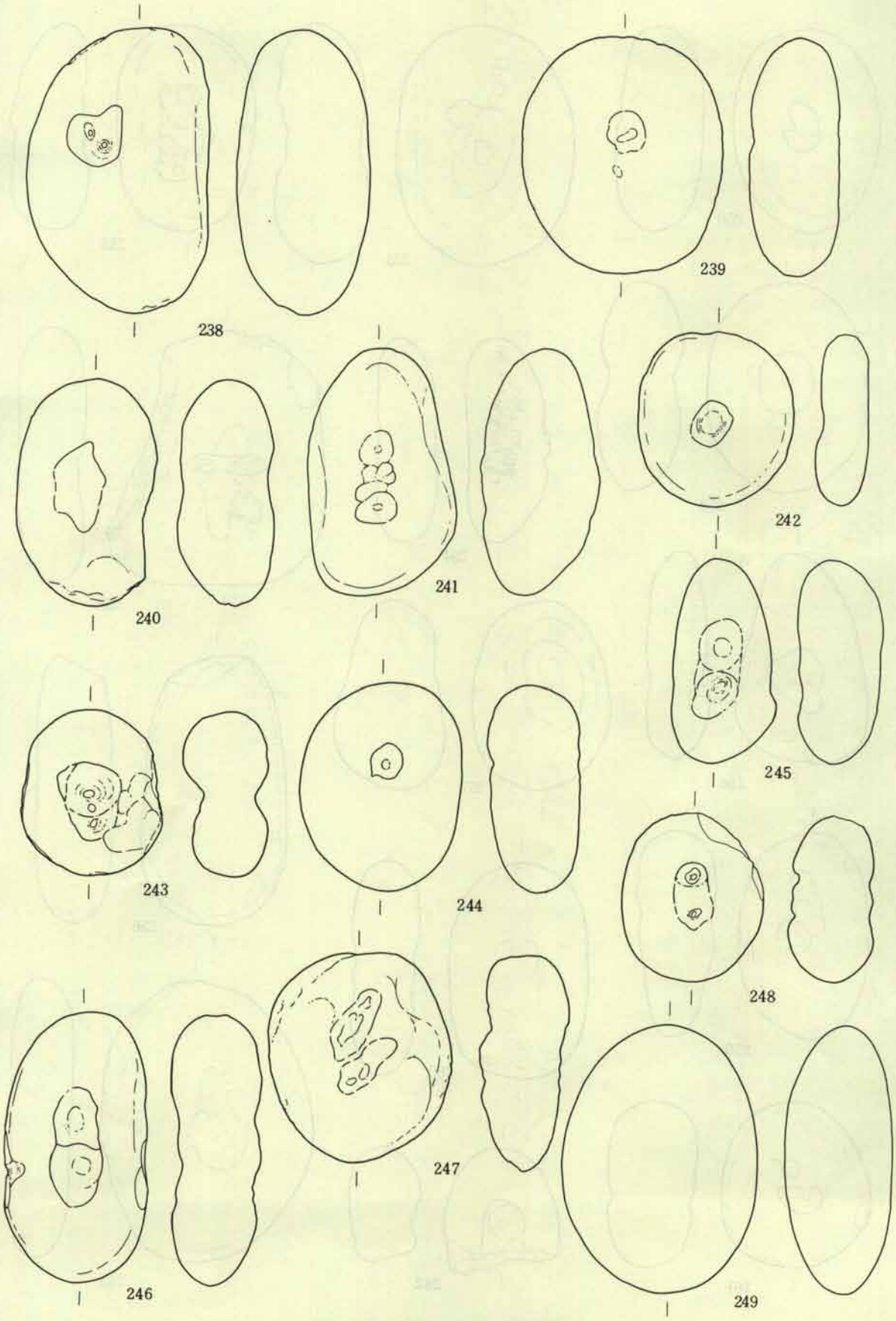

第230図　磨石・凹石・敲石等(16)



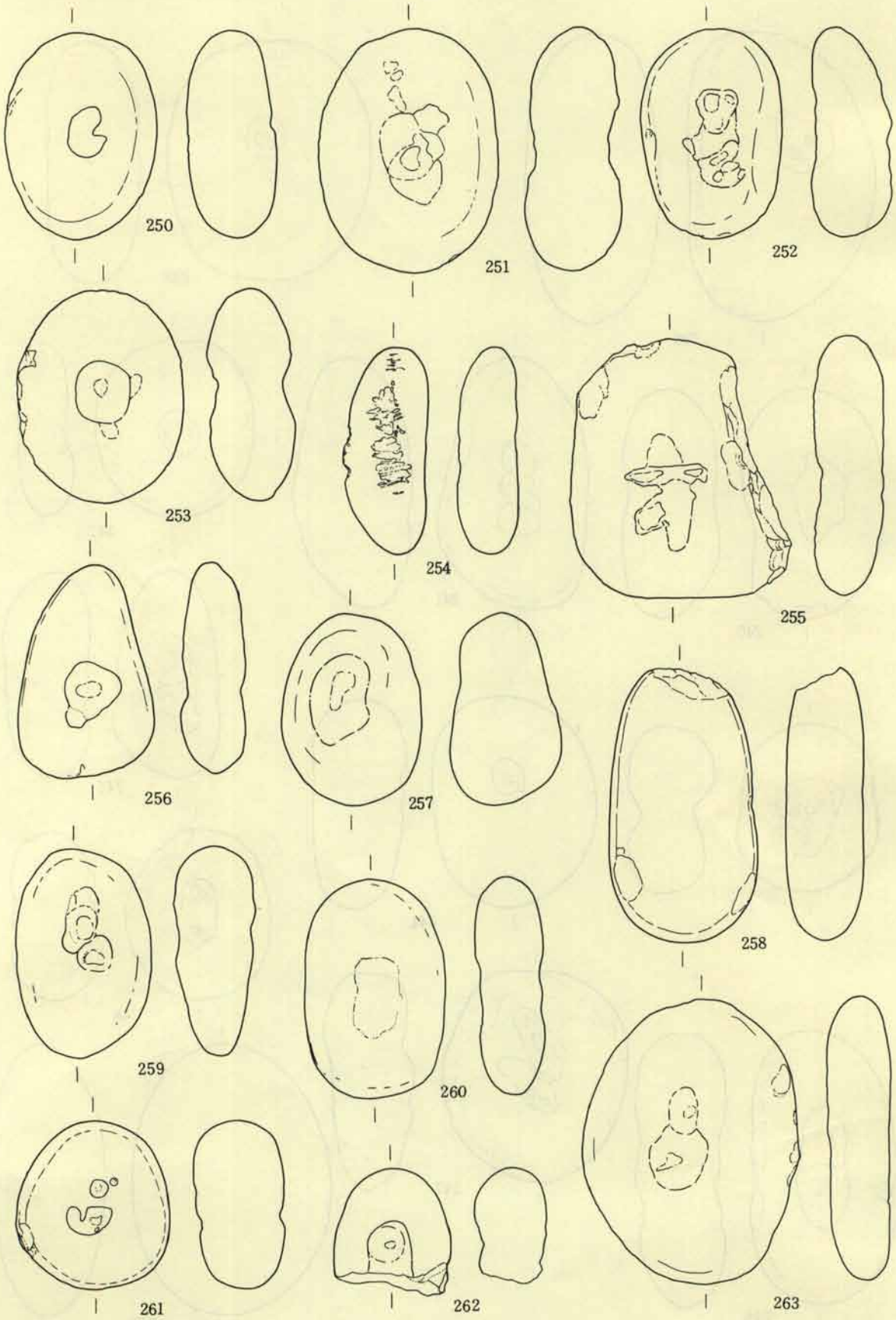

第231図　磨石・凹石・敲石等(17)



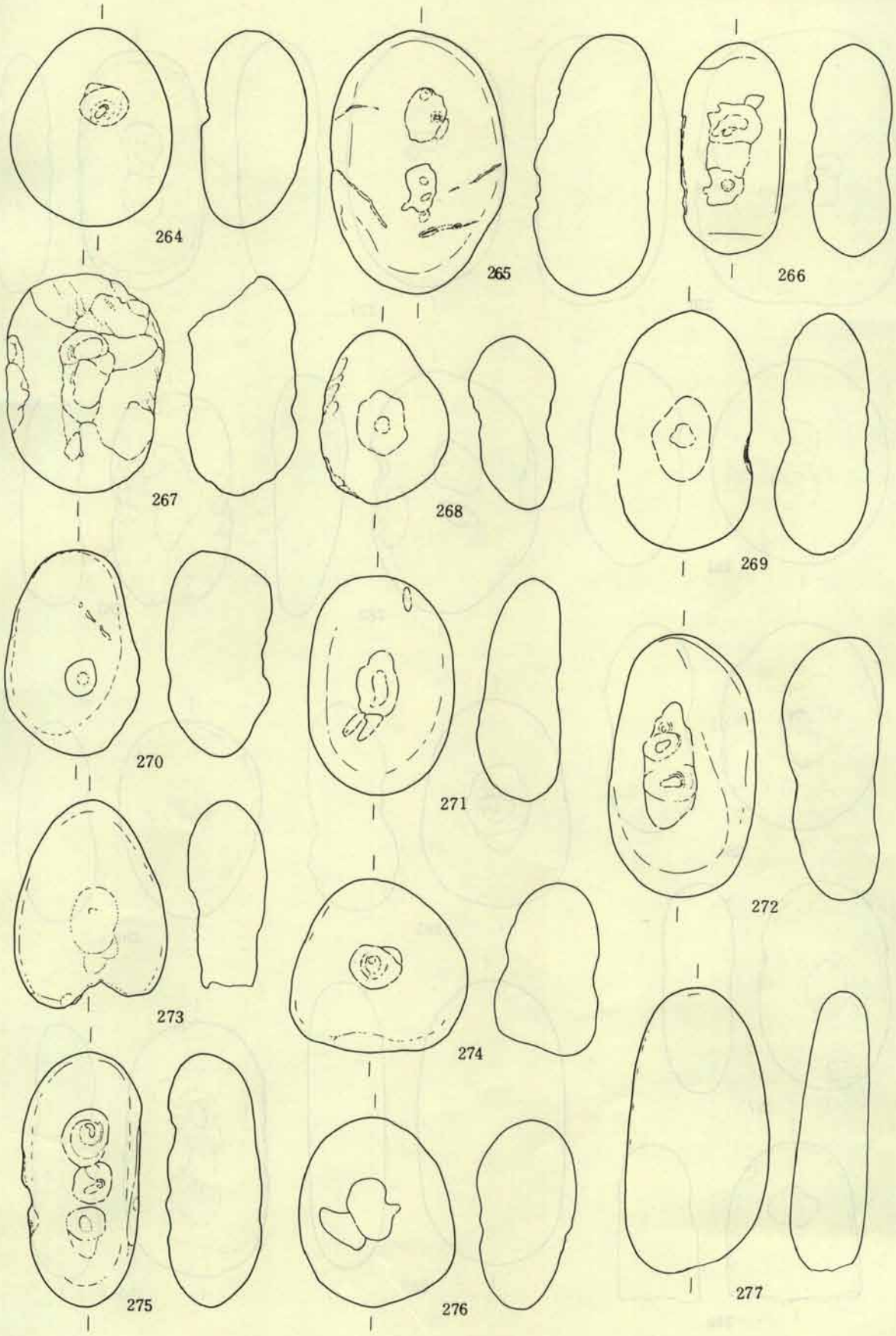

第232図　磨石・凹石・敲石等(18)



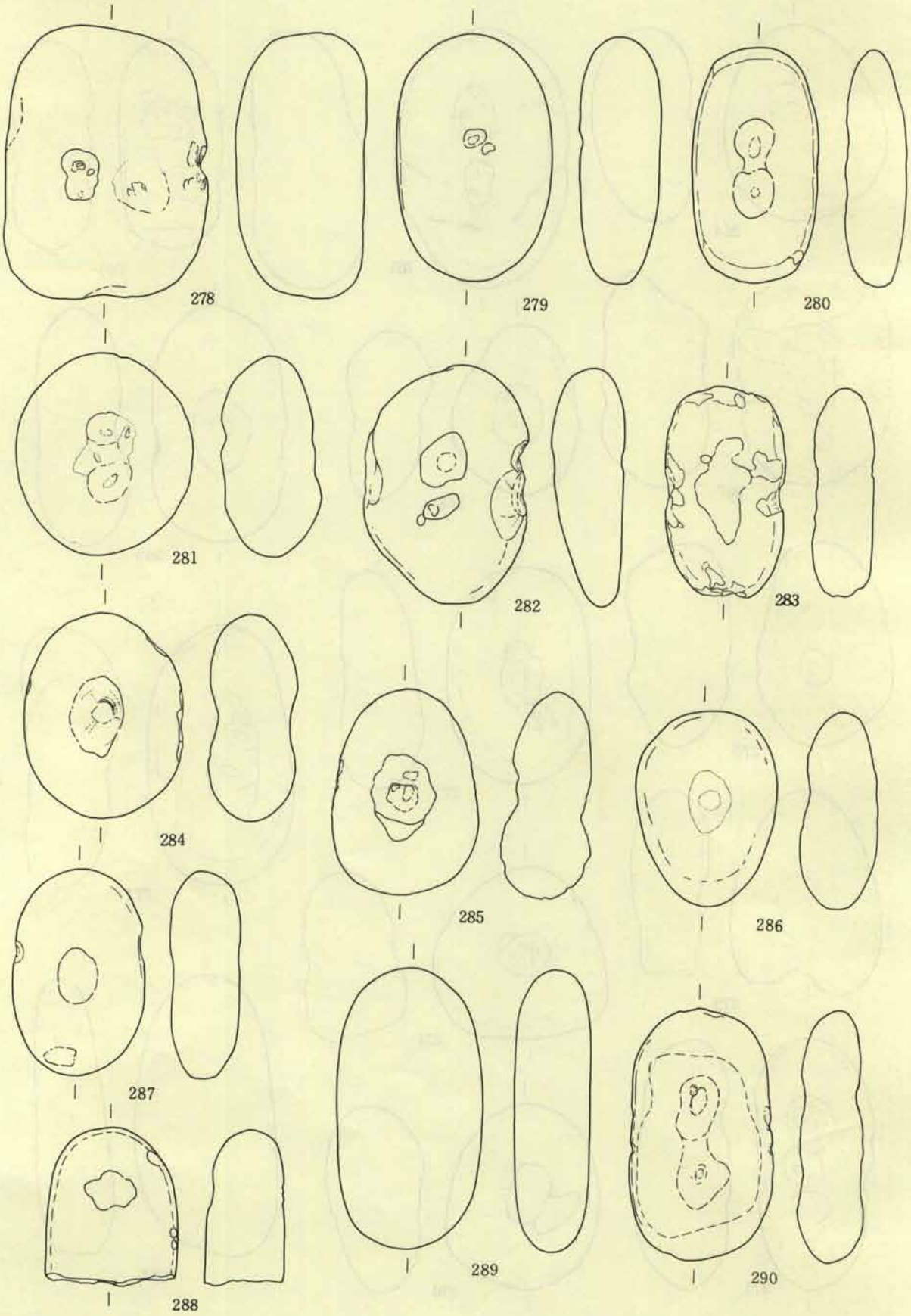

第233図　磨石・凹石・敲石等(19)



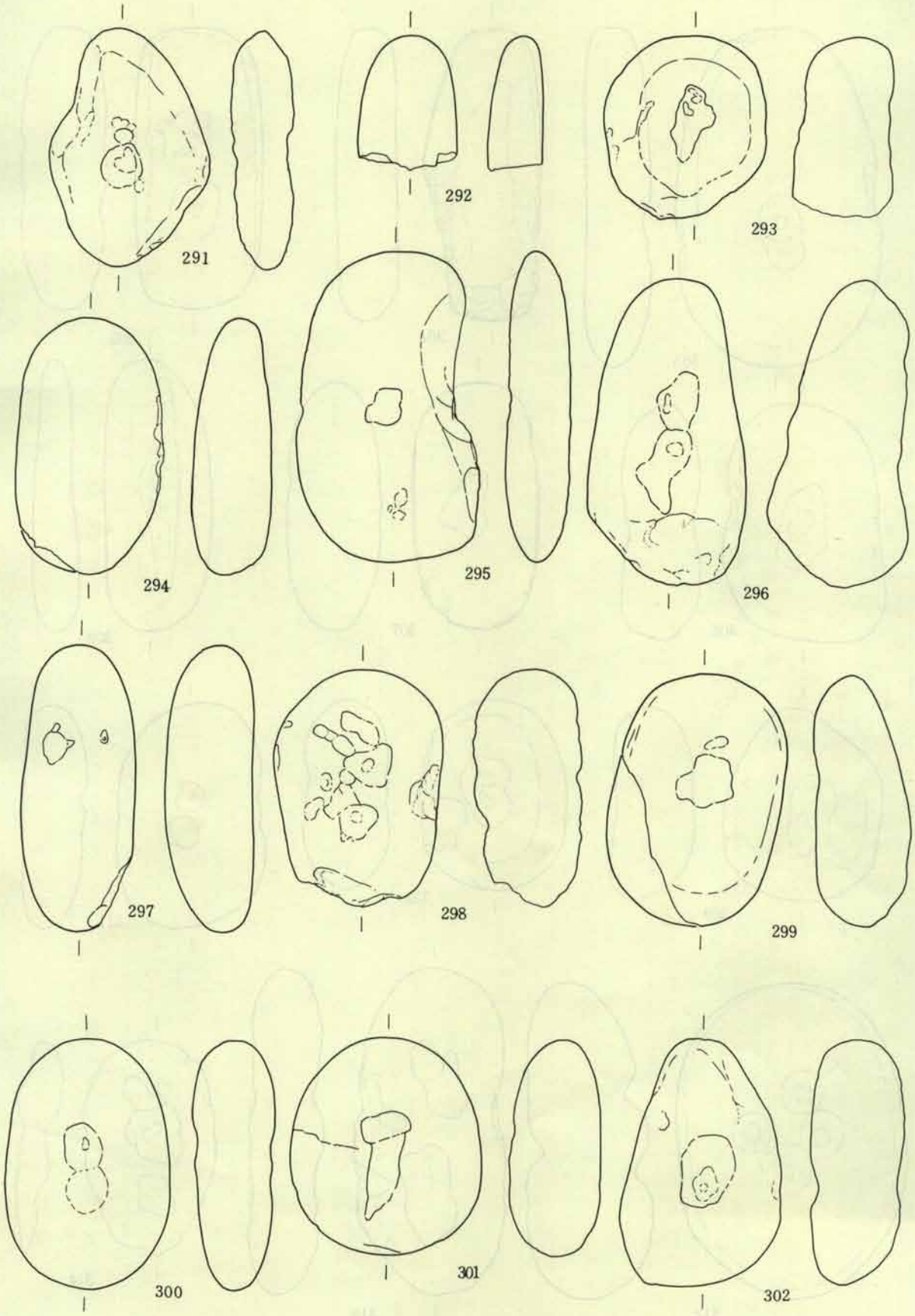

第234図　磨石・凹石・敲石等(20)



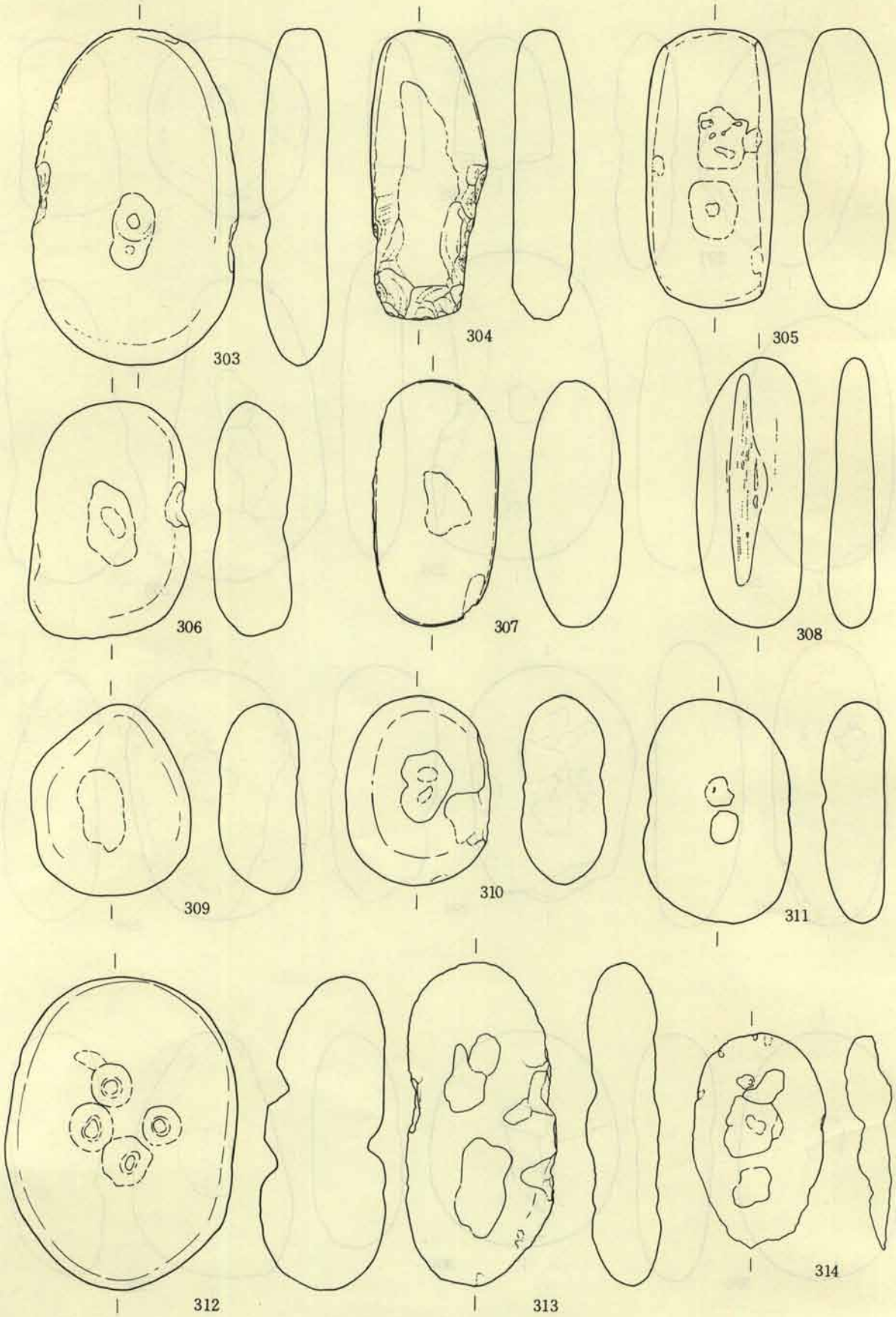

第235図　磨石・凹石・敲石等(21)



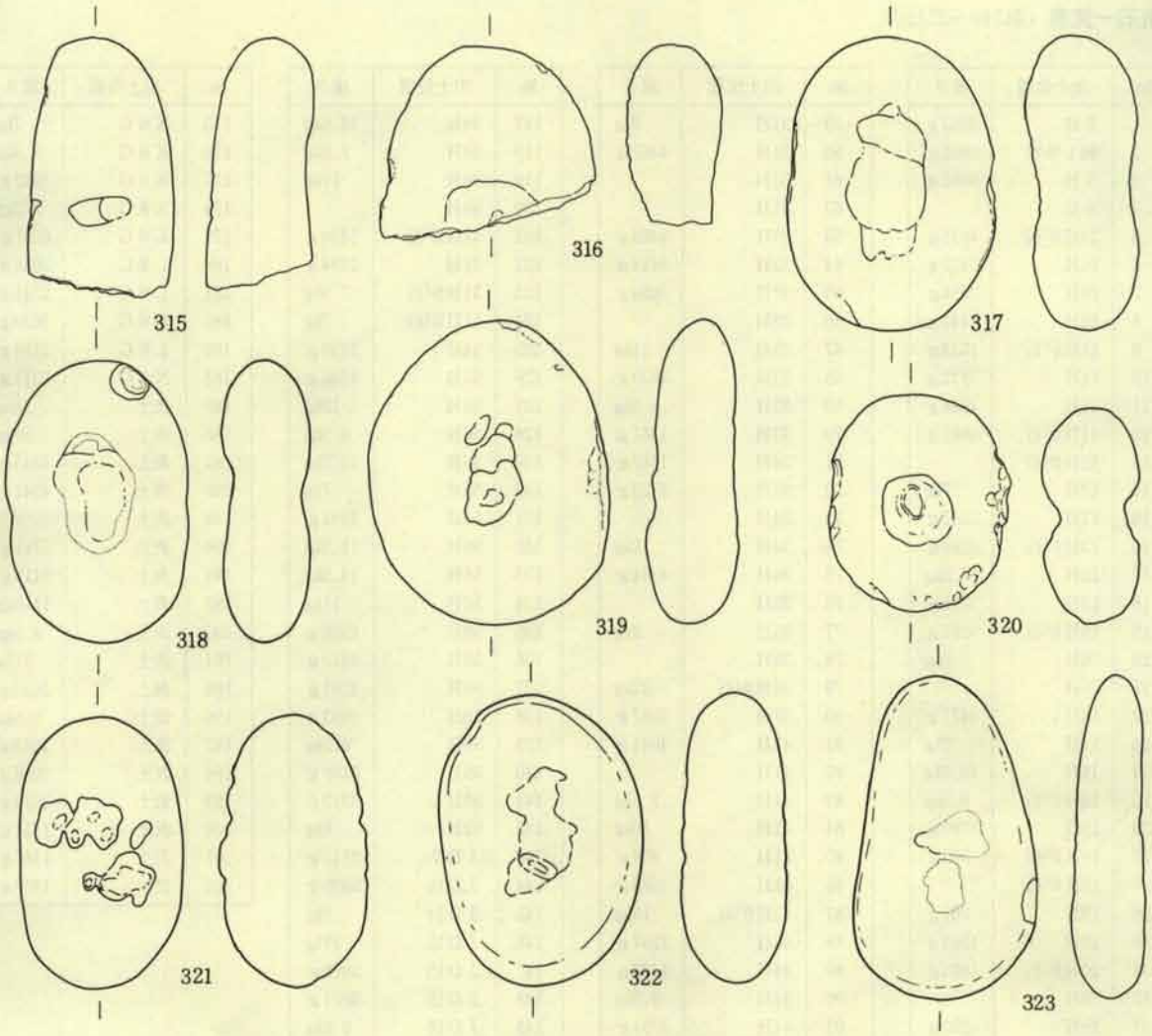

第236図　磨石・凹石・敲石等(22)




第237図　磨石・凹石・敲石等(23)




第238図　磨石・凹石・敲石等(24)




第239図　磨石・凹石・敲石等(25)

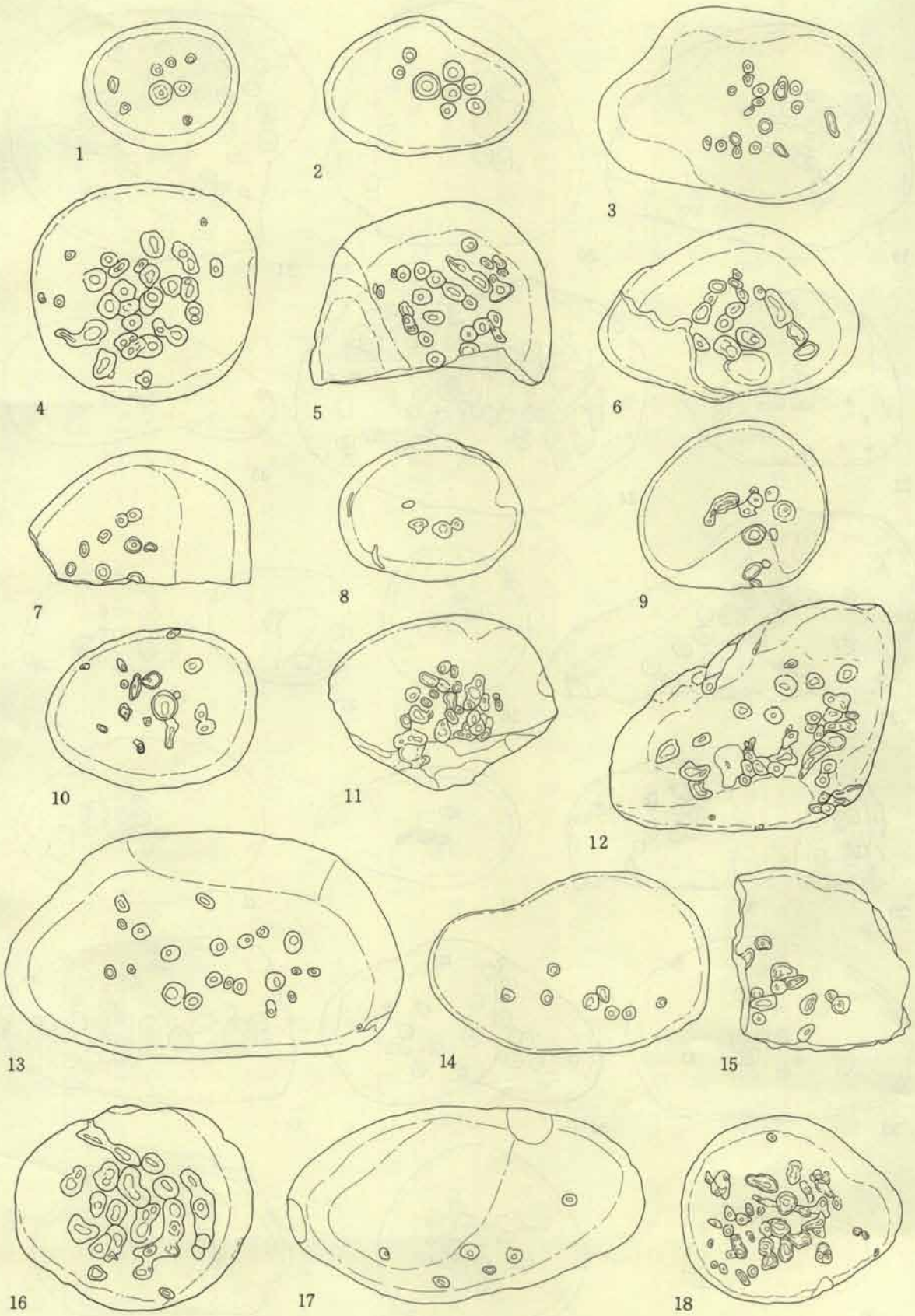
## 多孔石一覧表（第240～251図）

| No. | 出土位置 | 重さ |
|---|---|---|
| 1 | 5 H | 2353 g |
| 2 | 漏 1 号墳 | 2001 g |
| 3 | 5 H | 6091 g |
| 4 | 6 H | |
| 5 | 10H炉石 | 4811 g |
| 6 | 10H | 2427 g |
| 7 | 10H | 2594 g |
| 8 | 10H | 2440 g |
| 9 | 11H炉石 | 1528 g |
| 10 | 11H | 3112 g |
| 11 | 11H | 4088 g |
| 12 | 11H炉石 | 5861 g |
| 13 | 12H炉石 | |
| 14 | 12H | 7kg |
| 15 | 12H | 2347 g |
| 16 | 13H炉石 | 4289 g |
| 17 | 15H | 13.5kg |
| 18 | 15H | 3206 g |
| 19 | 16H炉石 | 5291 g |
| 20 | 16H | 8kg |
| 21 | 16H | |
| 22 | 16H | 4471 g |
| 23 | 17H | 7kg |
| 24 | 18H | 10.5kg |
| 25 | 18H炉石 | 6.5kg |
| 26 | 19H | 1789 g |
| 27 | 19H炉石 | 895 g |
| 28 | 19H炉石 | |
| 29 | 19H | 767 g |
| 30 | 19H | 1269 g |
| 31 | 20H炉石 | 1805 g |
| 32 | 20H | |
| 33 | 20H | 252 g |
| 34 | 20H | 6kg |
| 35 | 21H | 6.5kg |
| 36 | 21H | 1400 g |
| 37 | 21H | 3830 g |
| 38 | 21H | 4568 g |
| 39 | 22H | 4960 g |
| 40 | 22H | 3783 g |
| 41 | 22H | 2353 g |
| 42 | 22H | 1331 g |
| 43 | 22H炉石 | 1421 g |
| 44 | 22H | 2736 g |
| 45 | 24H | 8.5kg |
| 46 | 24H | 124kg |
| 47 | 25H | 1483 g |
| 48 | 25H | 13kg |
| 49 | 26H | 2221 g |
| 50 | 28H | 6.5kg |
| 51 | 28H | 3584 g |
| 52 | 28H | 21kg |
| 53 | 30H炉石 | |
| 54 | 30H | 1076 g |
| 55 | 30H炉石 | 2937 g |
| 56 | 31H | 4092 g |
| 57 | 31H | 2362 g |
| 58 | 31H | 9kg |

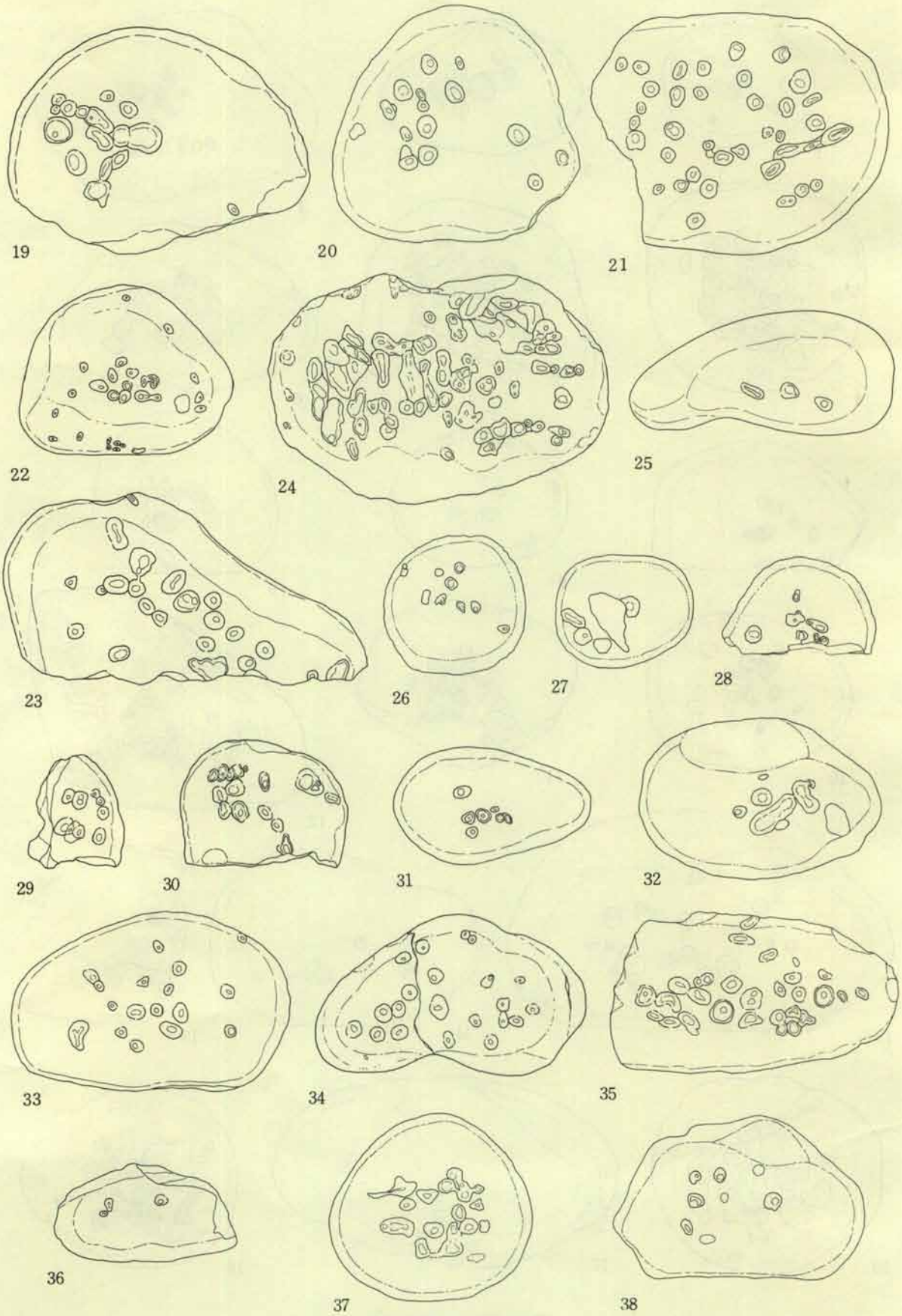
| No. | 出土位置 | 重さ |
|---|---|---|
| 59 | 31H | 9kg |
| 60 | 31H | 4467 g |
| 61 | 31H | |
| 62 | 31H | |
| 63 | 31H | 4486 g |
| 64 | 32H | 3414 g |
| 65 | 32H | 2094 g |
| 66 | 33H | |
| 67 | 33H | 11kg |
| 68 | 33H | 3830 g |
| 69 | 33H | 8.5kg |
| 70 | 33H | 1367 g |
| 71 | 34H | 1167 g |
| 72 | 34H | 3735 g |
| 73 | 34H | |
| 74 | 34H | 12kg |
| 75 | 34H | 4361 g |
| 76 | 35H | |
| 77 | 35H | 8kg |
| 78 | 35H | |
| 79 | 36H炉石 | 22kg |
| 80 | 37H | 2567 g |
| 81 | 41H | 4044 g |
| 82 | 41H | |
| 83 | 41H | 7.5kg |
| 84 | 41H | 10kg |
| 85 | 41H | 898 g |
| 86 | 41H | 1676 g |
| 87 | 42H炉石 | 10kg |
| 88 | 43H | 2157 g |
| 89 | 44H | 1483 g |
| 90 | 44H | 6.5kg |
| 91 | 44H | 3704 g |
| 92 | 44H | 3966 g |
| 93 | 44H | 10kg |
| 94 | 44H | 3701 g |
| 95 | 44H | 3966 g |
| 96 | 47H炉石 | 23.5kg |
| 97 | 47H | 15.5kg |
| 98 | 47H炉石 | 6kg |
| 99 | 47H | 8kg |
| 100 | 47H炉石 | 5626 g |
| 101 | 47H | 5546 g |
| 102 | 47H | 5264 g |
| 103 | 47H | 7.5kg |
| 104 | 47H | 5861 g |
| 105 | 47H | 2978 g |
| 106 | 47H | 3609 g |
| 107 | 47H | 6.5kg |
| 108 | 49H | 13.5kg |
| 109 | 49H | 13.5kg |
| 110 | 49H | 3589 g |
| 111 | 49H | 1871 g |
| 112 | 49H | 1732 g |
| 113 | 49H | 3807 g |
| 114 | 50H | 20.5kg |
| 115 | 50H | 11kg |
| 116 | 50H | 9.5kg |

| No. | 出土位置 | 重さ |
|---|---|---|
| 117 | 50H | 18.5kg |
| 118 | 50H | 7.5kg |
| 119 | 50H | 11kg |
| 120 | 50H | |
| 121 | 51H炉石 | 1490 g |
| 122 | 51H | 2494 g |
| 123 | 51H炉石 | 7.5kg |
| 124 | 51H炉石 | 7kg |
| 125 | 54H | 2859 g |
| 126 | 55H | 4206 g |
| 127 | 56H | 13kg |
| 128 | 56H | 8.5kg |
| 129 | 56H | 10.5kg |
| 130 | 56H | 7kg |
| 131 | 56H | 3984 g |
| 132 | 56H | 11.5kg |
| 133 | 56H | 14.5kg |
| 134 | 56H | 11kg |
| 135 | 58H | 1586 g |
| 136 | 58H | 4079 g |
| 137 | 58H | 3261 g |
| 138 | 59H | 2693 g |
| 139 | 59H | 6.5kg |
| 140 | 59H | 5160 g |
| 141 | 59H | 3312 g |
| 142 | 62H | 8kg |
| 143 | J D 7 | 2145 g |
| 144 | J D10 | 5839 g |
| 145 | J D14 | 9kg |
| 146 | J D15 | 17kg |
| 147 | J D15 | 5690 g |
| 148 | J D15 | 3271 g |
| 149 | J D16 | 6.5kg |
| 150 | J D28 | 4509 g |
| 151 | J D30 | 7kg |
| 152 | J D30 | 4730 g |
| 153 | J D22 | 3272 g |
| 154 | J D44 | 11kg |
| 155 | J D48 | 22kg |
| 156 | J D53 | 5071 g |
| 157 | 3 号集石 | 5565 g |
| 158 | 漏 2 号墳堀 | 633 g |
| 159 | 漏 2 号墳堀 | 1345 g |
| 160 | 漏 3 号墳堀 | 727 g |
| 161 | 漏 4 号墳 | 1676 g |
| 162 | I 5 G | 6.5kg |
| 163 | J 3 G | 13kg |
| 164 | J 5 G | 2282 g |
| 165 | J 5 G | 12.5kg |
| 166 | J 7 G | 4003 g |
| 167 | K 5 G | 4369 g |
| 168 | K 5 G | 4442 g |
| 169 | K 5 G | 5394 g |
| 170 | K 5 G | 5241 g |
| 171 | K 6 G | 2494 g |
| 172 | K 6 G | 1212 g |
| 173 | K 6 G | 1356 g |
| 174 | K 6 G | |

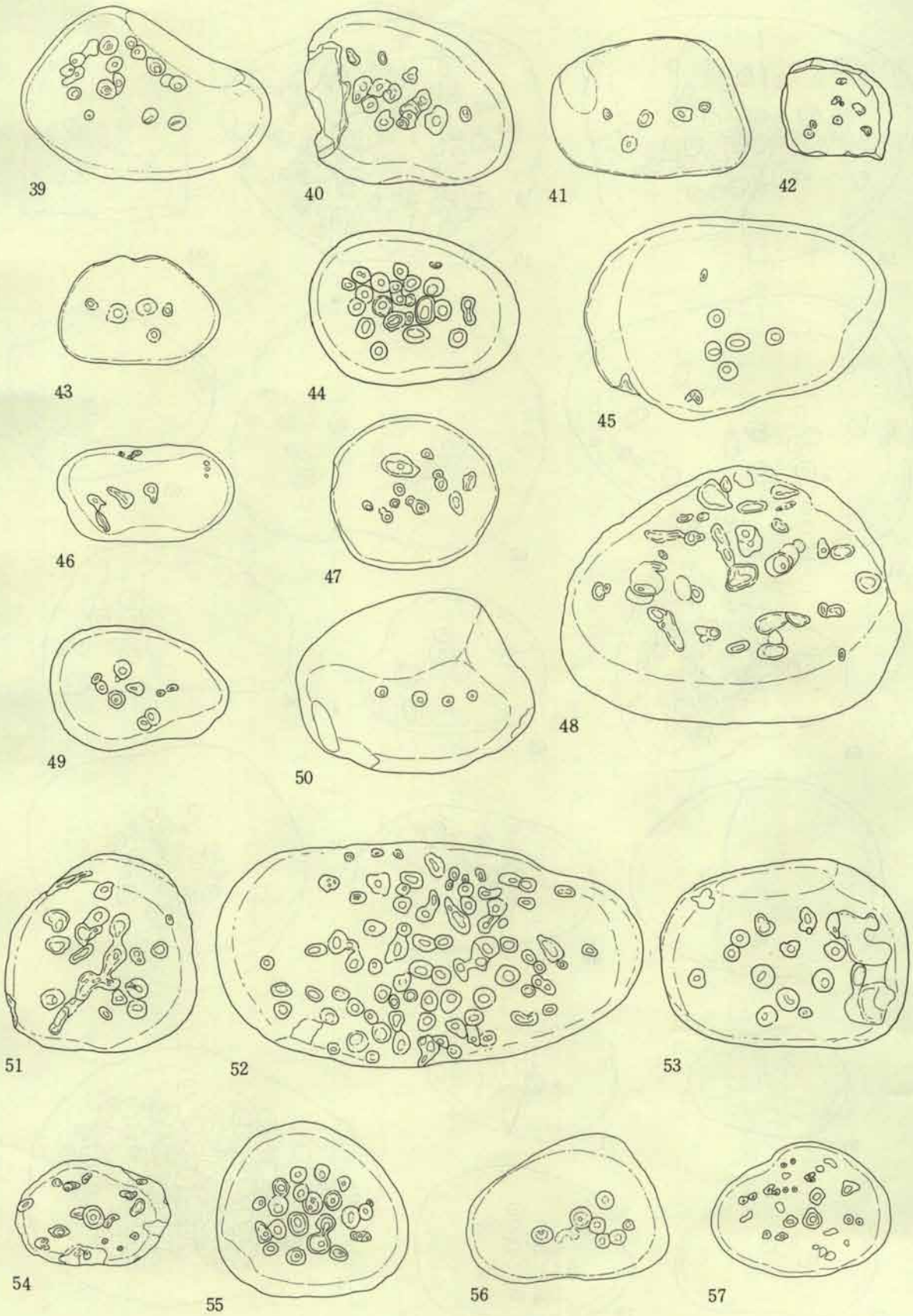
| No. | 出土位置 | 重さ |
|---|---|---|
| 175 | K 6 G | 7kg |
| 176 | K 6 G | 8.5kg |
| 177 | K 6 G | 3932 g |
| 178 | K 6 G | 7.5kg |
| 179 | K 6 G | 6031 g |
| 180 | L 8 G | 2984 g |
| 181 | L 6 G | 2341 g |
| 182 | L 6 G | 3010 g |
| 183 | L 6 G | 3186 g |
| 184 | N 8 G | 3311 g |
| 185 | 表土 | 14kg |
| 186 | 表土 | 10kg |
| 187 | 表土 | 4545 g |
| 188 | 表土 | 4341 g |
| 189 | 表土 | |
| 190 | 表土 | 5741 g |
| 191 | 表土 | 3411 g |
| 192 | 表土 | 11.5kg |
| 193 | 表土 | 9.5kg |
| 194 | 表土 | 11kg |
| 195 | 表土 | 3653 g |
| 196 | 表土 | 9.5kg |
| 197 | 表土 | 2258 g |
| 198 | 表土 | 2058 g |
| 199 | 表土 | 2519 g |
| 200 | 表土 | 1252 g |
| 201 | 表土 | 1167 g |
| 202 | 表土 | 1909 g |



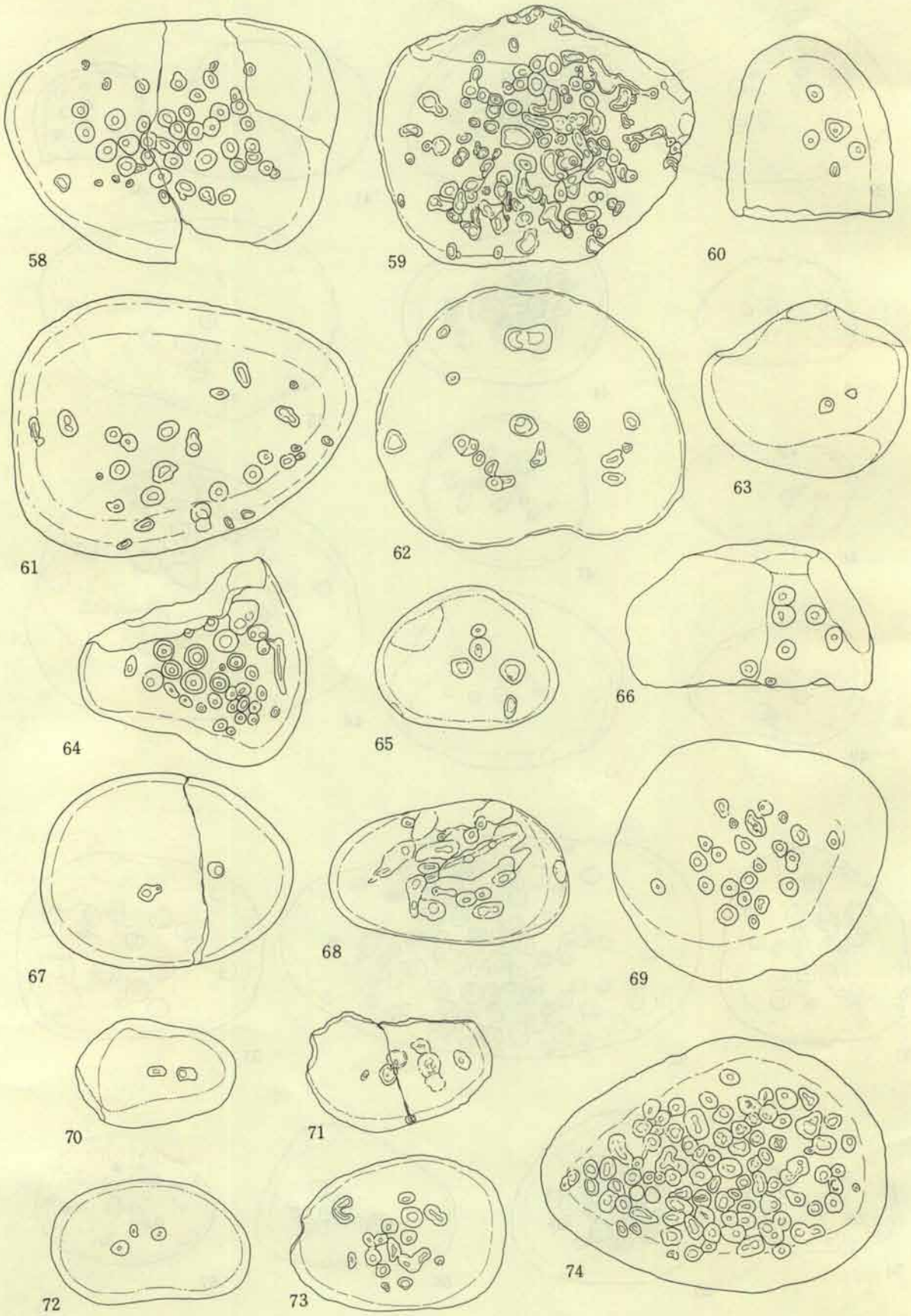

第240図　多孔石(1)



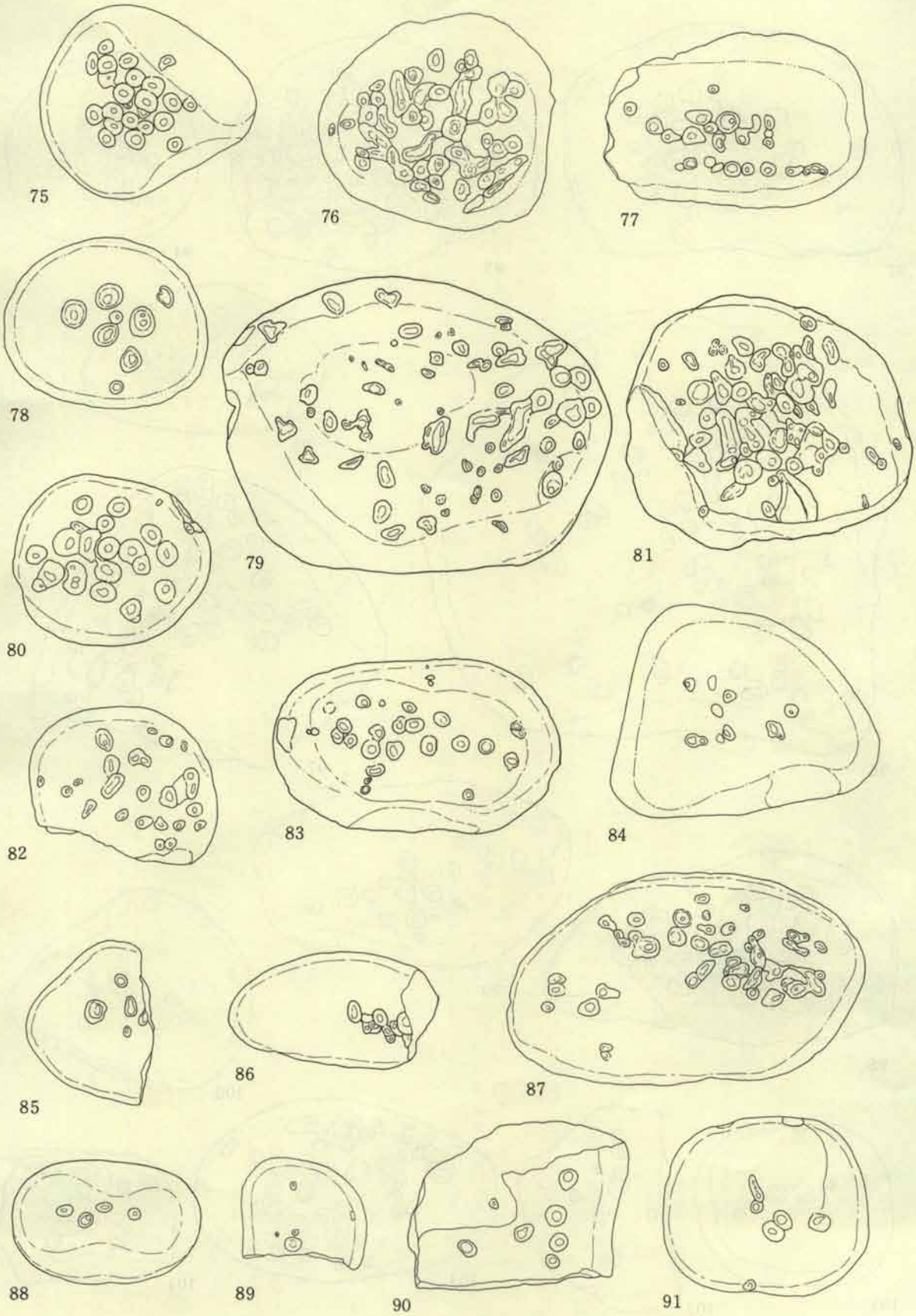

第241図　多孔石(2)



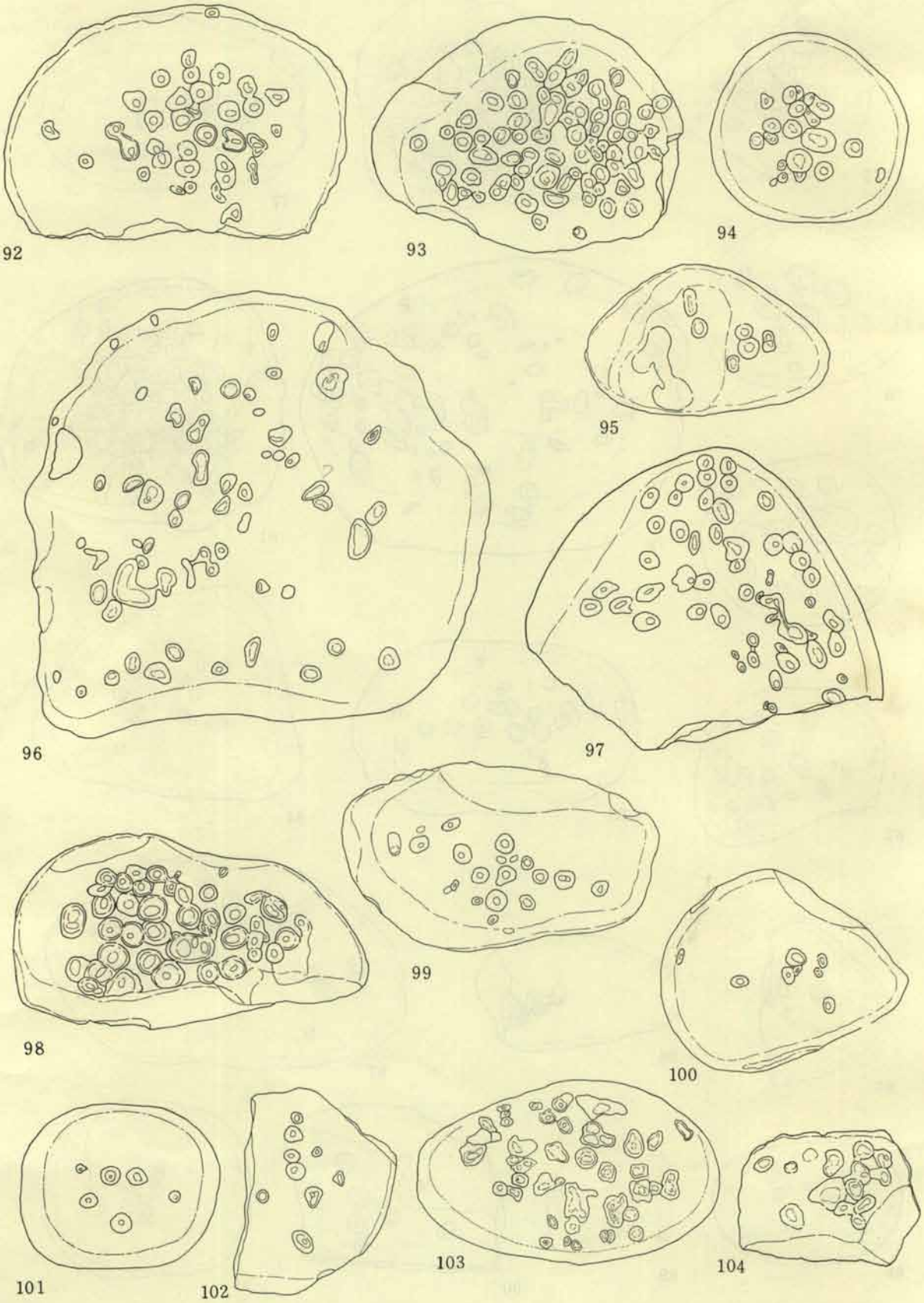

第242図　多孔石(3)



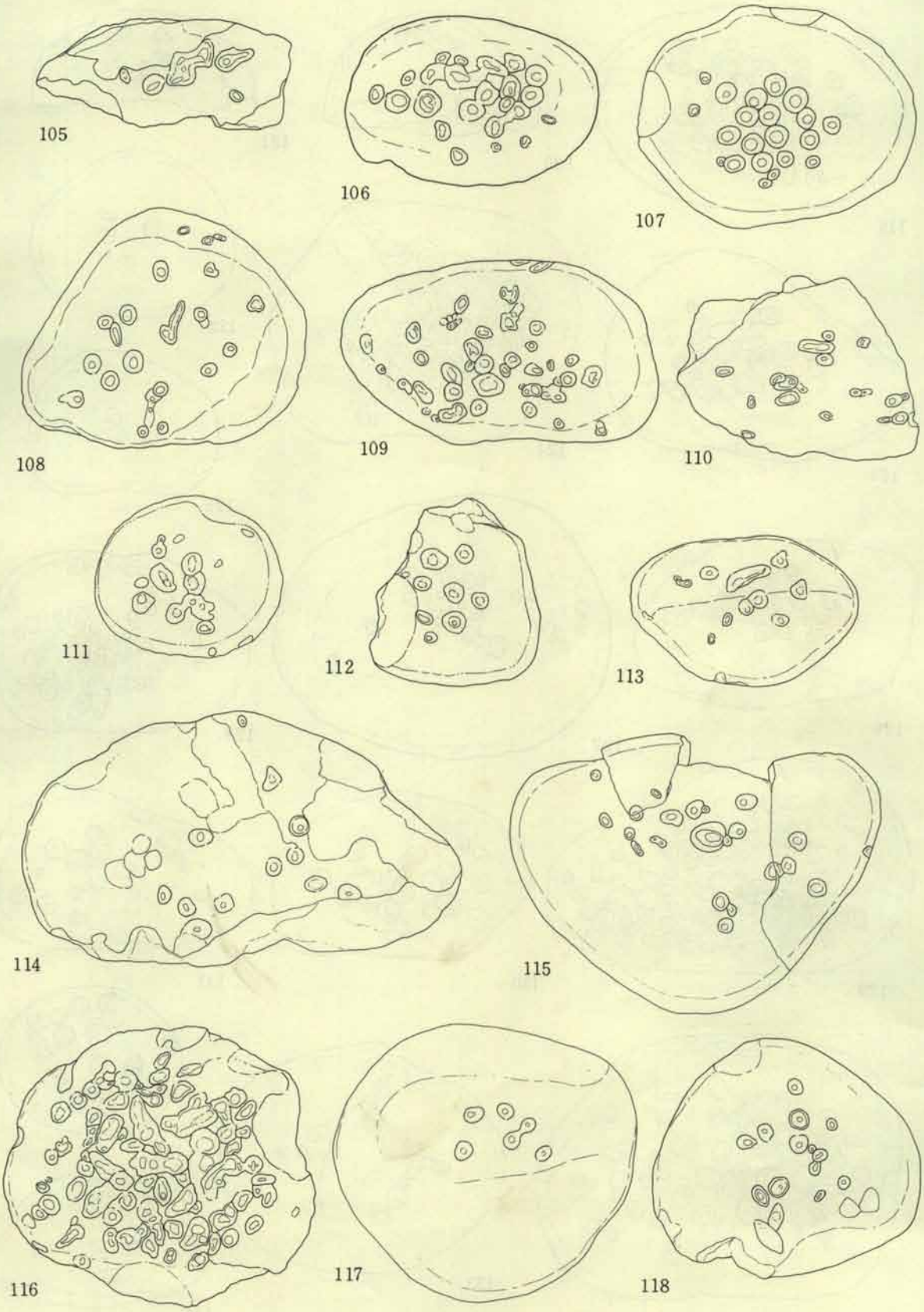

第243図　多孔石(4)



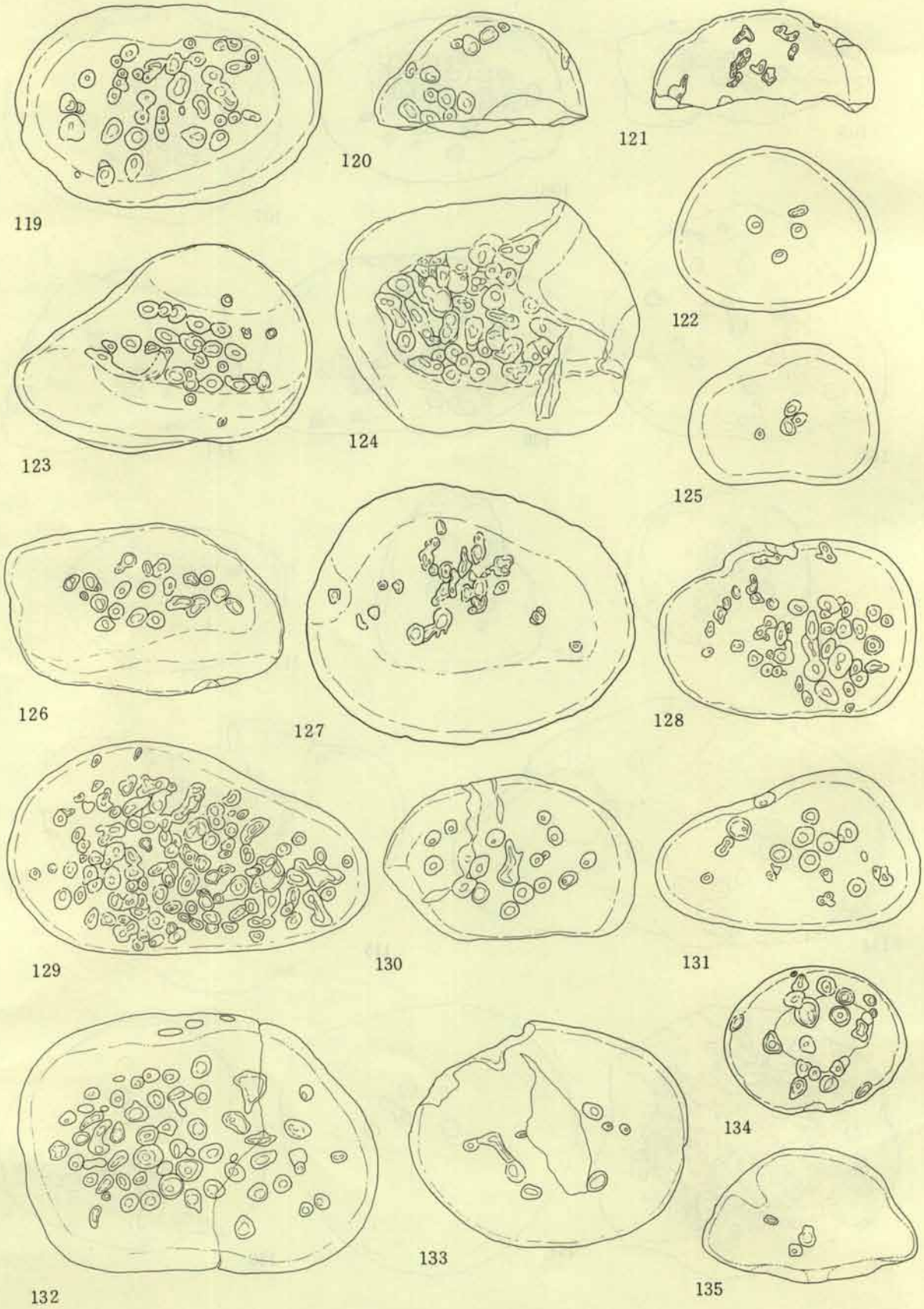

第244図　多孔石(5)



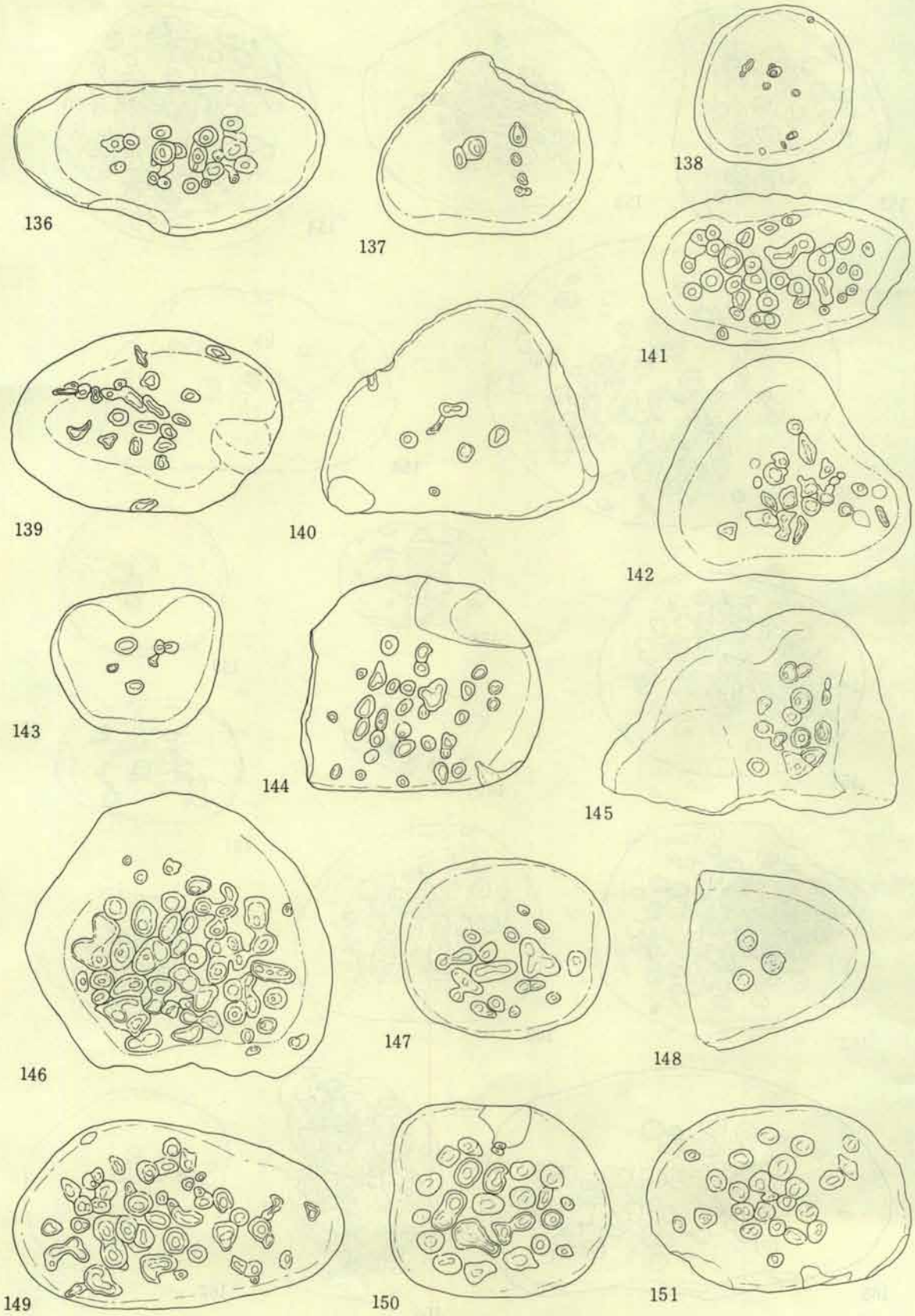

第245図　多孔石(6)



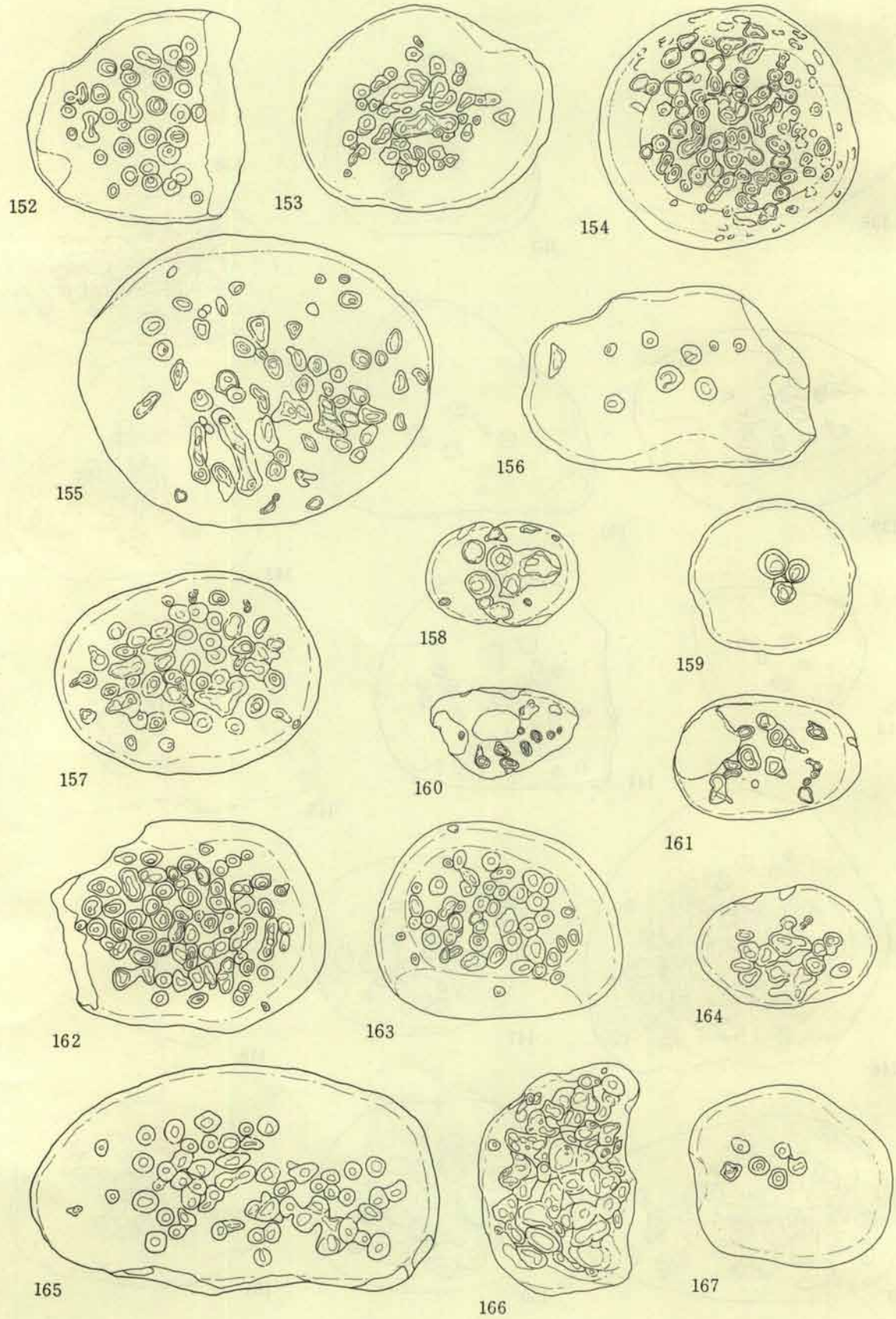

第246図　多孔石(7)


119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135

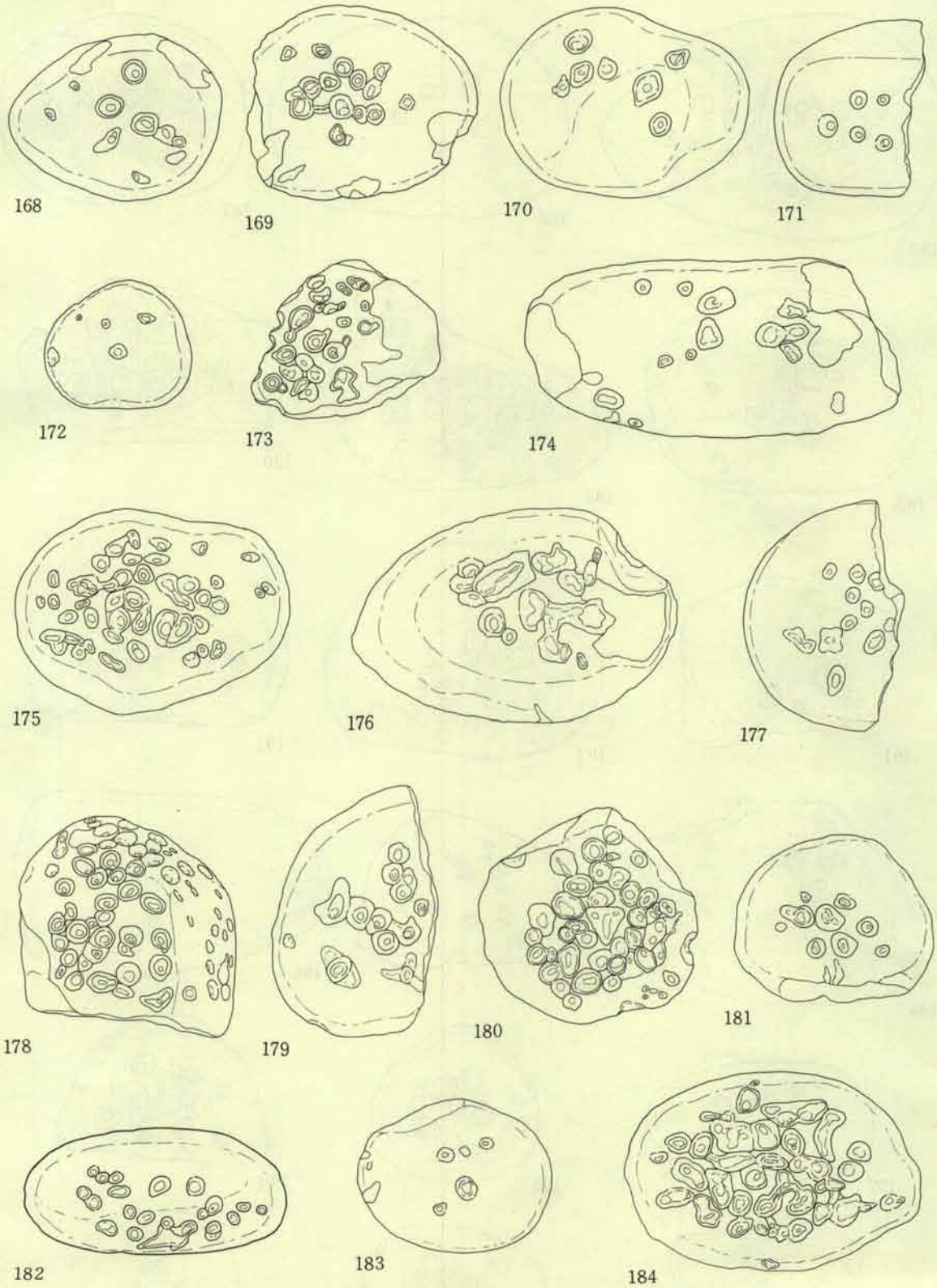
第247図　多孔石(8)



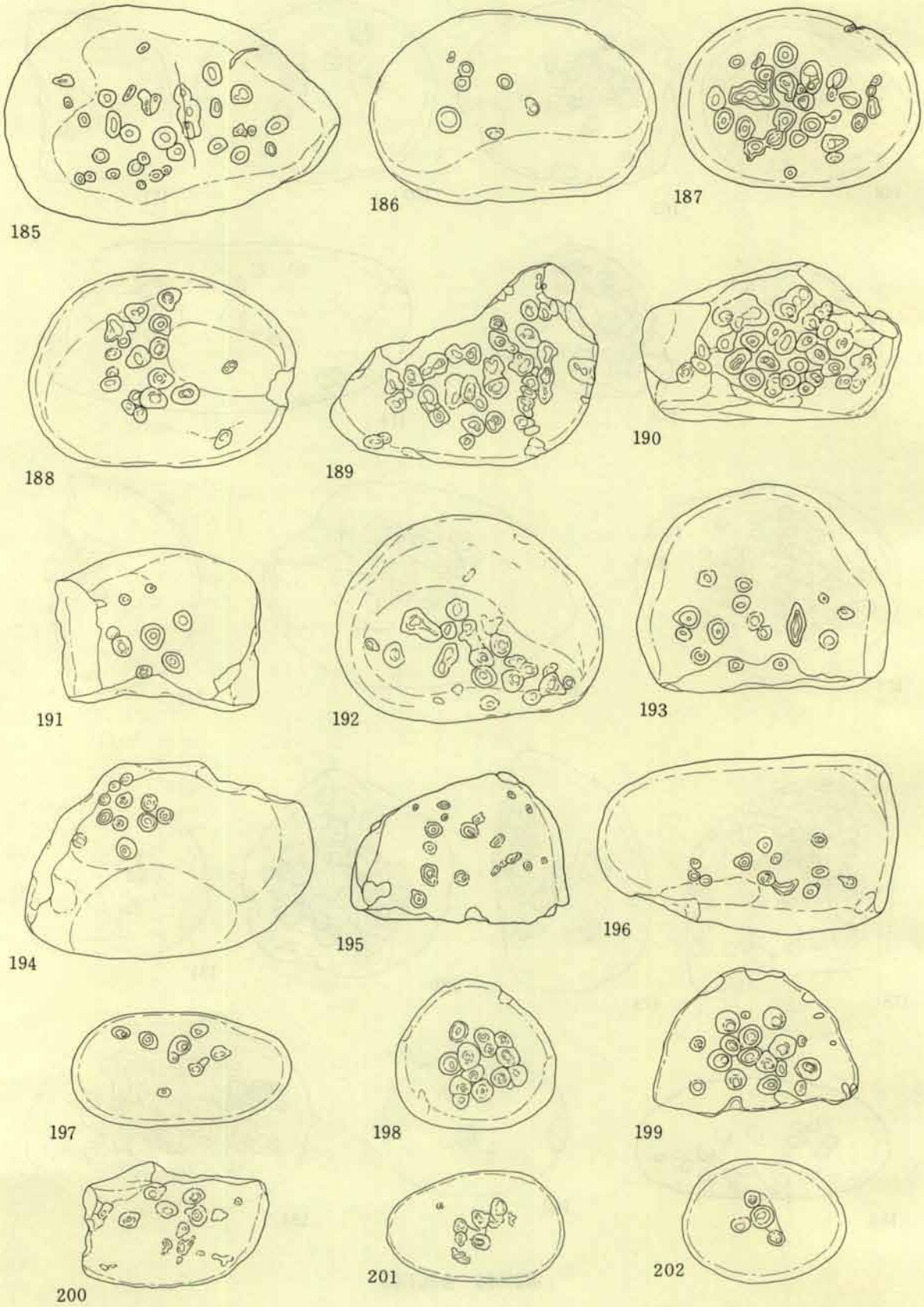

第248図　多孔石(9)




第249図　多孔石(10)


168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184

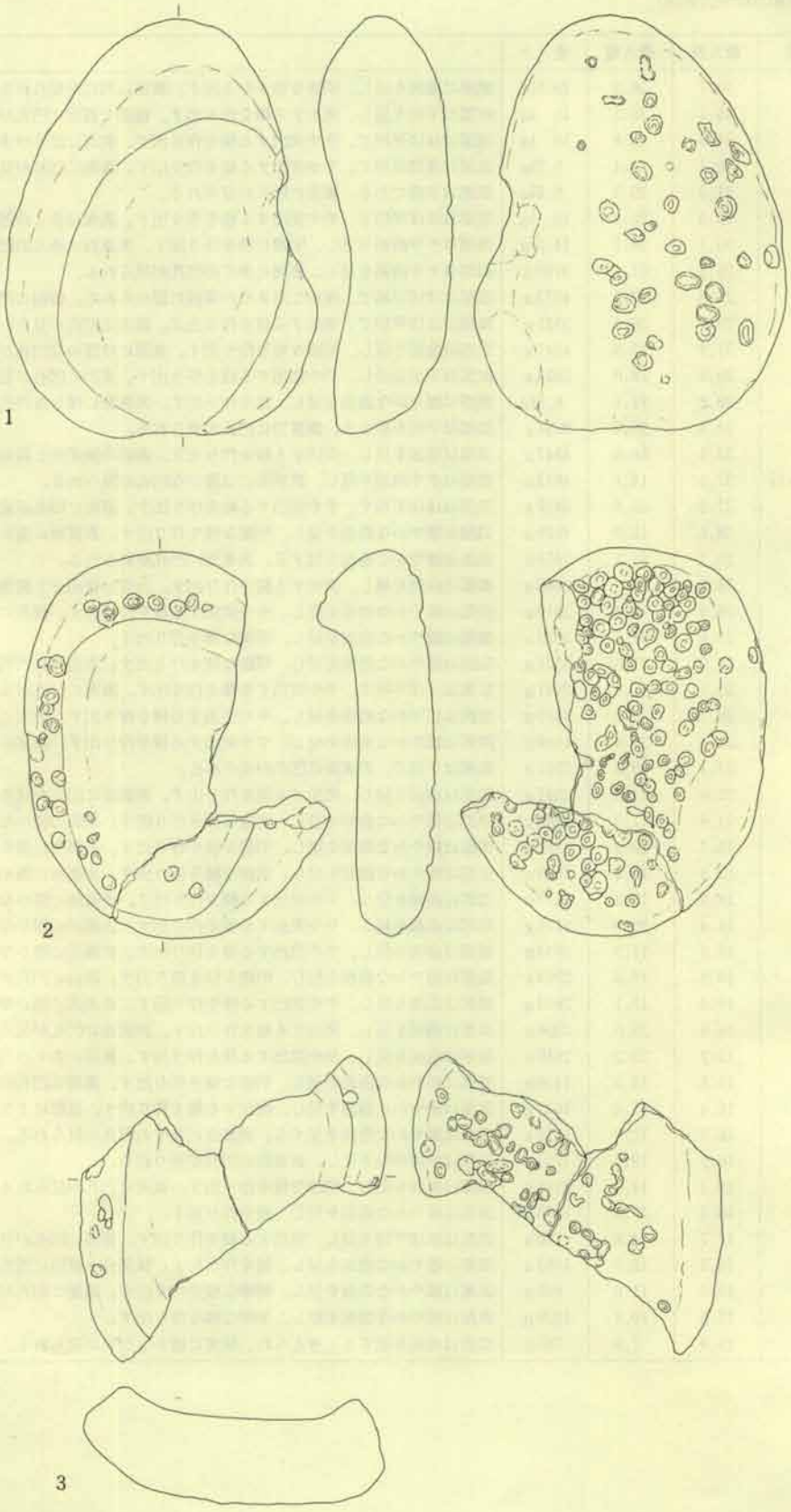
第250図　多孔石(11)


185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202

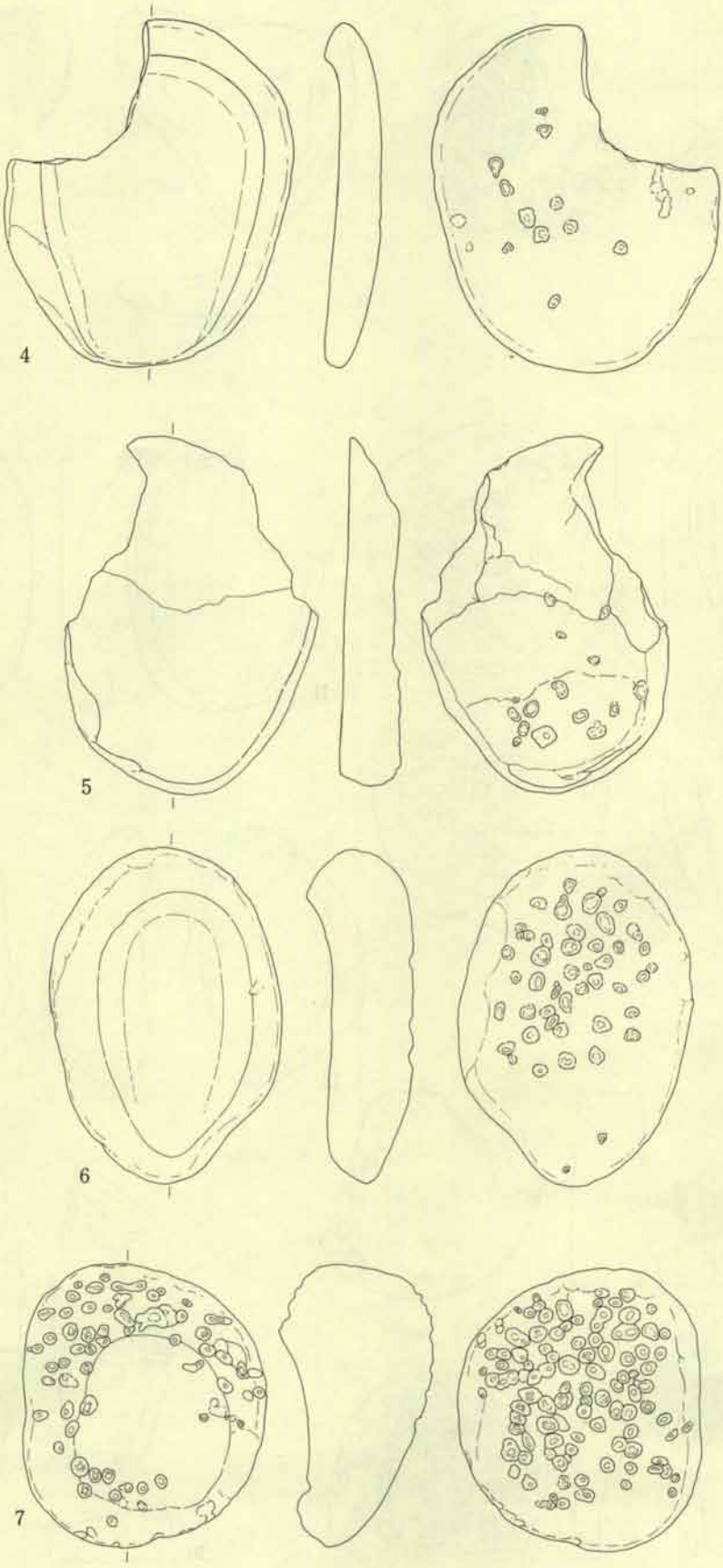
第251図　多孔石(12)

**石皿石一覧表**（第252～258図）

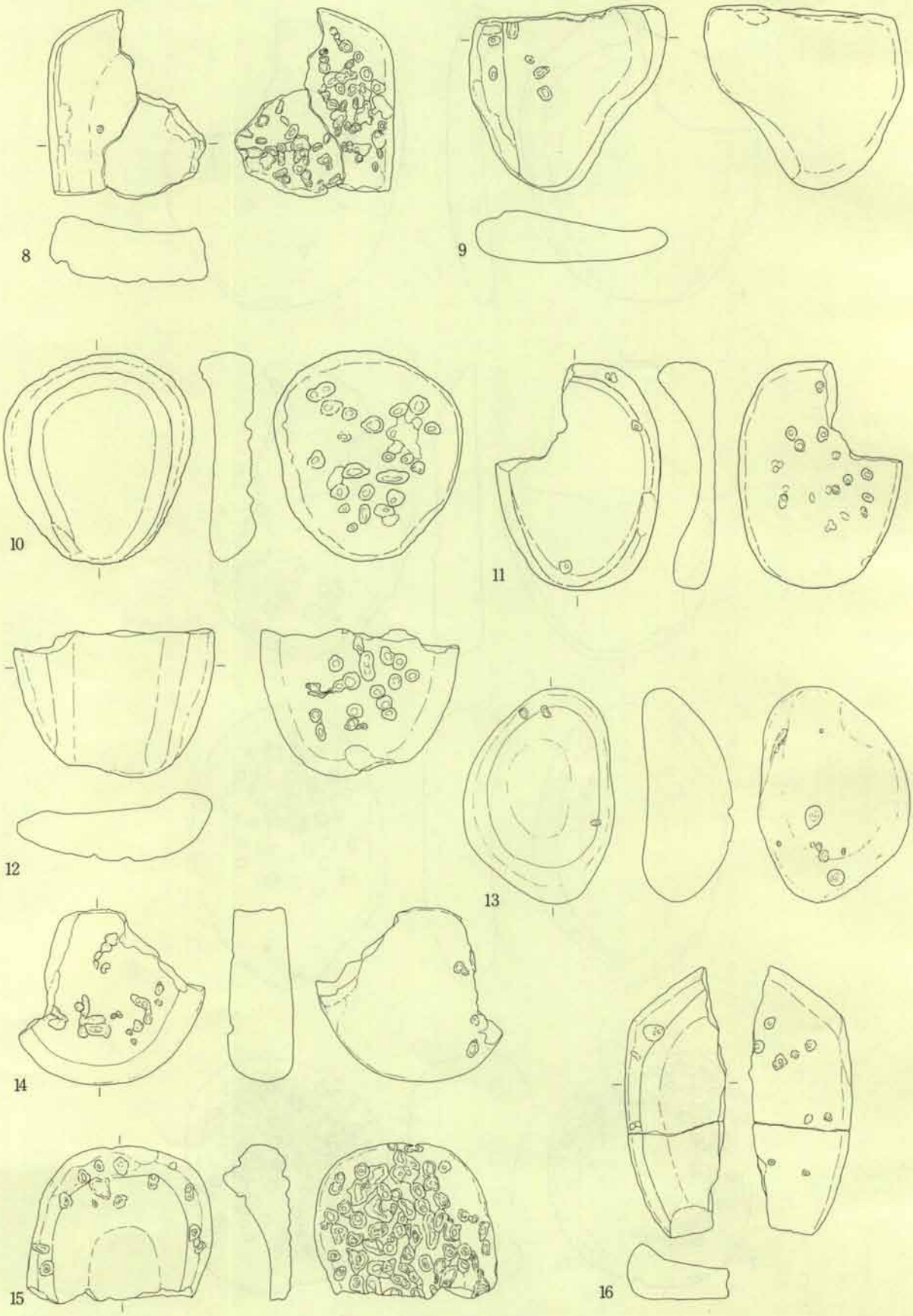
| No. | 出土位置 | 最大長 | 最大幅 | 重　さ | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 15H | 48.7 | 36.3 | 28.5kg | 皿部は曲面を呈し、明瞭な稜を作り出す。裏面は凹孔が見られる。 |
| 2 | 21H炉石 | 45.1 | 35.5 | 15　kg | 皿部は平坦を呈し、突出する稜を作り出す。稜部と裏面に凹孔が多く見られる。 |
| 3 | 11H | 35.5 | 35.8 | 10　kg | 皿部はほぼ平坦で、やや突出する稜を作り出す。裏面に凹孔が多く見られる。 |
| 4 | 15H | 40.1 | 33.4 | 9.5kg | 皿部はほぼ平坦で、やや突出する稜を作り出す。裏面に凹孔が見られる。 |
| 5 | 表土 | 41.3 | 29.3 | 8.5kg | 皿部は平坦である。裏面に凹孔が見られる。 |
| 6 | 22H | 39.0 | 26.8 | 15　kg | 皿部はほぼ平坦で、やや突出する稜を作り出す。裏面に多くの凹孔が見られる。 |
| 7 | 11H | 33.1 | 28.1 | 14.5kg | 皿部はやや曲面を呈し、明瞭な稜を作り出す。表裏面に多くの凹孔が見られる。 |
| 8 | 20H | 26.3 | 21.7 | 4709g | 皿部はやや曲面を呈し、裏面に多くの凹孔が見られる。 |
| 9 | 22H炉石 | 25.6 | 27.5 | 4573g | 皿部はほぼ平坦で、僅かな高まりが周囲に認められる。表面に凹孔が見られる。 |
| 10 | 38H | 29.1 | 26.1 | 5521g | 皿部はほぼ平坦で、突出する稜を作り出す。裏面に凹孔が見られる。 |
| 11 | 42H | 31.3 | 22.9 | 4247g | 皿部は曲面を呈し、明瞭な稜を作り出す。表面には僅かな凹孔が見られる。 |
| 12 | K６G | 20.5 | 28.0 | 5874g | 皿部は平坦を呈し、やや突出する稜を作り出す。裏面に凹孔が見られる。 |
| 13 | 表土 | 29.8 | 21.1 | 6.5kg | 皿部は緩やかな曲面を呈し、稜を作り出す。表裏面に僅かな凹孔が見られる。 |
| 14 | 10H | 24.3 | 25.9 | 5234g | 皿部は平坦を呈する。表裏面に凹孔が見られる。 |
| 15 | 56H | 22.1 | 26.0 | 4547g | 皿部は曲面を呈し、突出する稜を作り出す。表面の稜部分と裏面に凹孔が見られる。 |
| 16 | 33H＋K５G | 37.6 | 14.1 | 4613g | 皿部はやや曲面を呈し、表裏面には僅かな凹孔が見られる。 |
| 17 | 22H | 22.2 | 23.6 | 3427g | 皿部はほぼ平坦で、やや突出する稜を作り出す。裏面に凹孔が見られる。 |
| 18 | 19H炉内 | 28.6 | 15.9 | 4079g | 皿部は緩やかな曲面を呈し、明瞭な稜を作り出す。表裏面に僅かな凹孔が見られる。 |
| 19 | 24H | 23.7 | 21.1 | 2858g | 皿部は緩やかな曲面を呈する。表裏面に凹孔が見られる。 |
| 20 | 17H | 28.5 | 14.2 | 2966g | 皿部は曲面を呈し、突出する稜を作り出す。表面の稜部分と裏面に凹孔が見られる。 |
| 21 | Ｉ３G | 26.9 | 18.4 | 2919g | 皿部は緩やかな曲面を呈し、やや突出する稜を作り出す。裏面に凹孔が見られる。 |
| 22 | Ｊ４G | 23.6 | 27.7 | 3955g | 皿部は緩やかな曲面を呈し、明瞭な稜を作り出す。 |
| 23 | 35H | 24.0 | 21.5 | 3501g | 皿部は緩やかな曲面を呈し、明瞭な稜を作り出す。表裏面に凹孔が見られる。 |
| 24 | 44H | 25.5 | 17.4 | 2441g | 皿部はほぼ平坦で、やや突出する稜を作り出す。裏面に凹孔が見られる。 |
| 25 | Ｊ５G | 20.7 | 24.3 | 3870g | 皿部は緩やかな曲面を呈し、やや突出する稜を作り出す。表面に凹孔が見られる。 |
| 26 | ＪD14 | 23.1 | 13.6 | 1659g | 皿部は緩やかな曲面を呈し、やや突出する稜を作り出す。表裏面に凹孔が見られる。 |
| 27 | K６G | 23.4 | 20.3 | 2561g | 皿部は平坦で、表裏面に凹孔が見られる。 |
| 28 | K６G | 26.0 | 14.9 | 2591g | 皿部は曲面を呈し、突出する稜を作り出す。表裏面に凹孔が見られる。 |
| 29 | 22H | 24.9 | 17.3 | 4388g | 皿部は緩やかな曲面を呈し、明瞭な稜を作り出す。裏面に僅かな凹孔が見られる。 |
| 30 | ＪD47 | 15.7 | 19.4 | 2692g | 皿部は緩やかな曲面を呈し、明瞭な稜を作り出す。表裏面に僅かな凹孔が見られる。 |
| 31 | 56H | 22.4 | 16.4 | 2993g | 皿部は緩やかな曲面を呈し、明瞭な稜を作り出す。表裏面に僅かな凹孔が見られる。 |
| 32 | 32H | 18.9 | 13.2 | 1521g | 皿部は曲面を呈し、やや突出する稜を作り出す。表裏面に僅かな凹孔が見られる。 |
| 33 | ３号集石 | 14.4 | 20.3 | 2116g | 皿部は曲面を呈し、やや突出する稜を作り出す。表裏面に僅かな凹孔が見られる。 |
| 34 | 11H炉石 | 18.5 | 17.3 | 2634g | 皿部は曲面を呈し、やや突出する稜を作り出す。表裏面に僅かな凹孔が見られる。 |
| 35 | 30H | 19.8 | 15.6 | 2264g | 皿部は緩やかな曲面を呈し、明瞭な稜を作り出す。裏面に凹孔が見られる。 |
| 36 | 54H | 19.4 | 17.1 | 2634g | 皿部は曲面を呈し、やや突出する稜を作り出す。表裏面に僅かな凹孔が見られる。 |
| 37 | 58H | 16.6 | 20.0 | 2356g | 皿部は曲面を呈し、突出する稜を作り出す。表裏面に凹孔が見られる。 |
| 38 | 30H | 15.2 | 20.2 | 2610g | 皿部は曲面を呈し、やや突出する稜を作り出す。裏面に多くの凹孔が見られる。 |
| 39 | 34H | 16.8 | 15.5 | 1416g | 皿部は緩やかな曲面を呈し、明瞭な稜を作り出す。裏面に凹孔が見られる。 |
| 40 | 表土 | 16.4 | 15.4 | 1633g | 皿部は緩やかな曲面を呈し、突出する稜を作り出す。皿部に１ケ所凹孔が見られる。 |
| 41 | 表土 | 16.7 | 12.9 | 1776g | 皿部は緩やかな曲面を呈する。表裏面に多くの凹孔が見られる。 |
| 42 | 34H炉石 | 16.2 | 19.8 | 1751g | 皿部はほぼ平坦を呈し、表裏面に凹孔が見られる。 |
| 43 | 27H | 19.4 | 14.4 | 2185g | 皿部は曲面を呈し、明瞭な稜を作り出す。裏面に凹孔が見られる。 |
| 44 | 51H | 16.2 | 17.3 | 2523g | 皿部は緩やかな曲面を呈し、稜を作り出す。 |
| 45 | Ｉ３G | 11.7 | 14.8 | 740g | 皿部はほぼ平坦を呈し、突出する稜を作り出す。裏面に凹孔が見られる。 |
| 46 | Ｂ３G | 16.2 | 12.9 | 1081g | 皿部は緩やかな曲面を呈し、稜を作り出す。稜部分と裏面に凹孔が見られる。 |
| 47 | 表土 | 15.0 | 11.0 | 865g | 皿部は緩やかな曲面を呈し、明瞭な稜を作り出す。裏面に凹孔が見られる。 |
| 48 | K５G | 17.6 | 10.8 | 1029g | 皿部は緩やかな曲面を呈し、明瞭な稜を作り出す。 |
| 49 | 26H | 15.9 | 7.9 | 765g | 皿部は曲面を呈すると考えられ、稜部に僅かな凹孔が見られる。 |



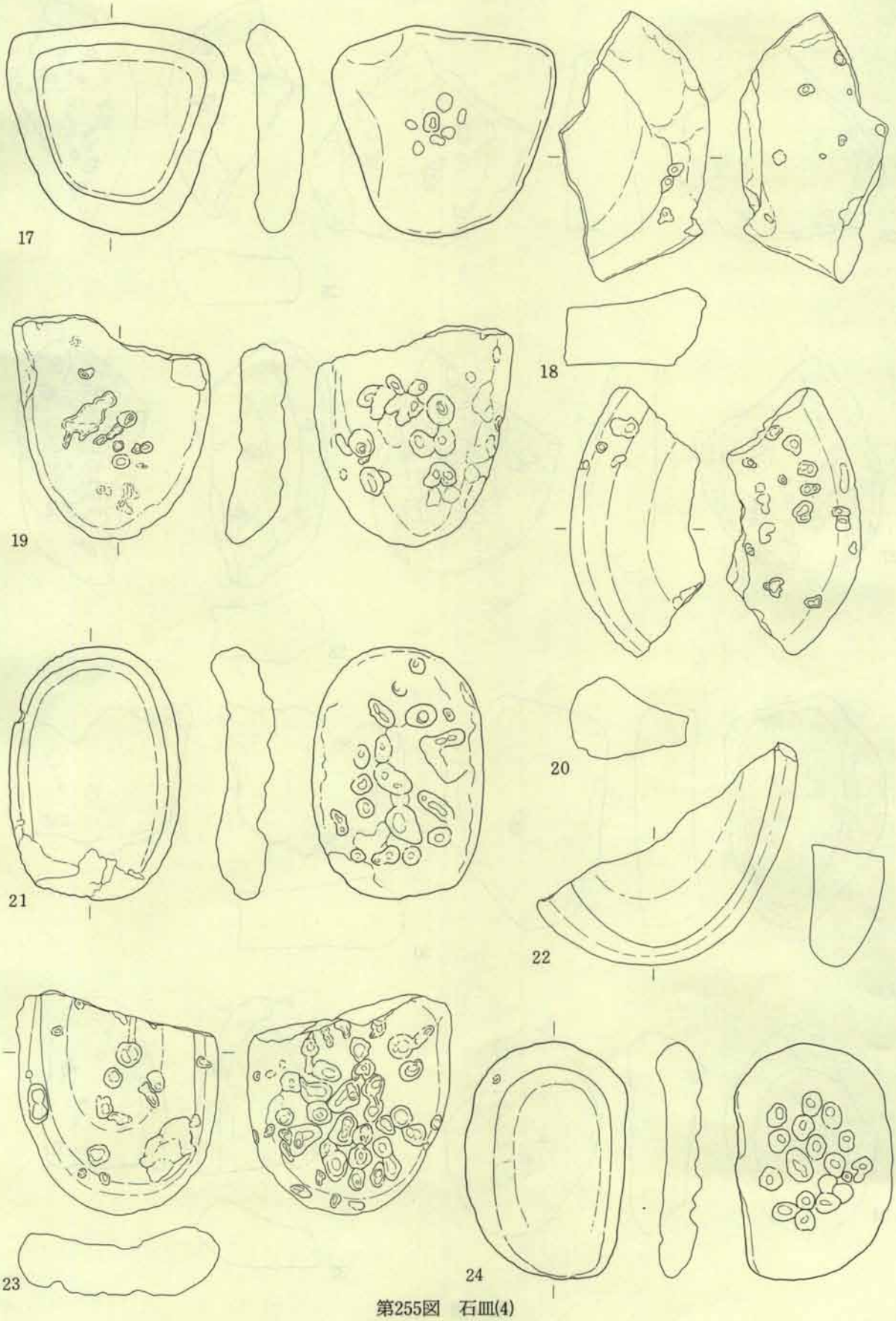

第252図　石皿(1)



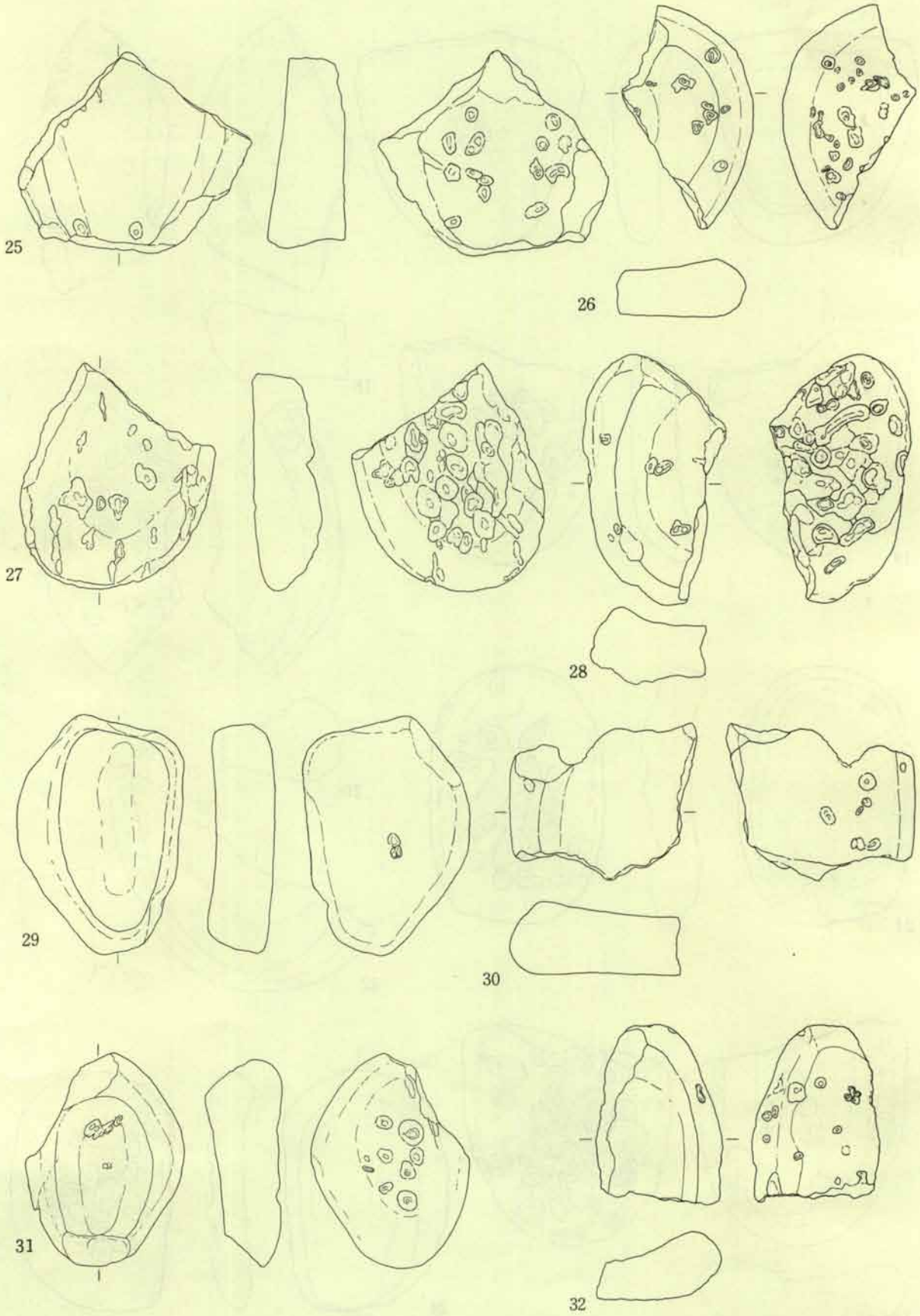

第253図　石皿(2)



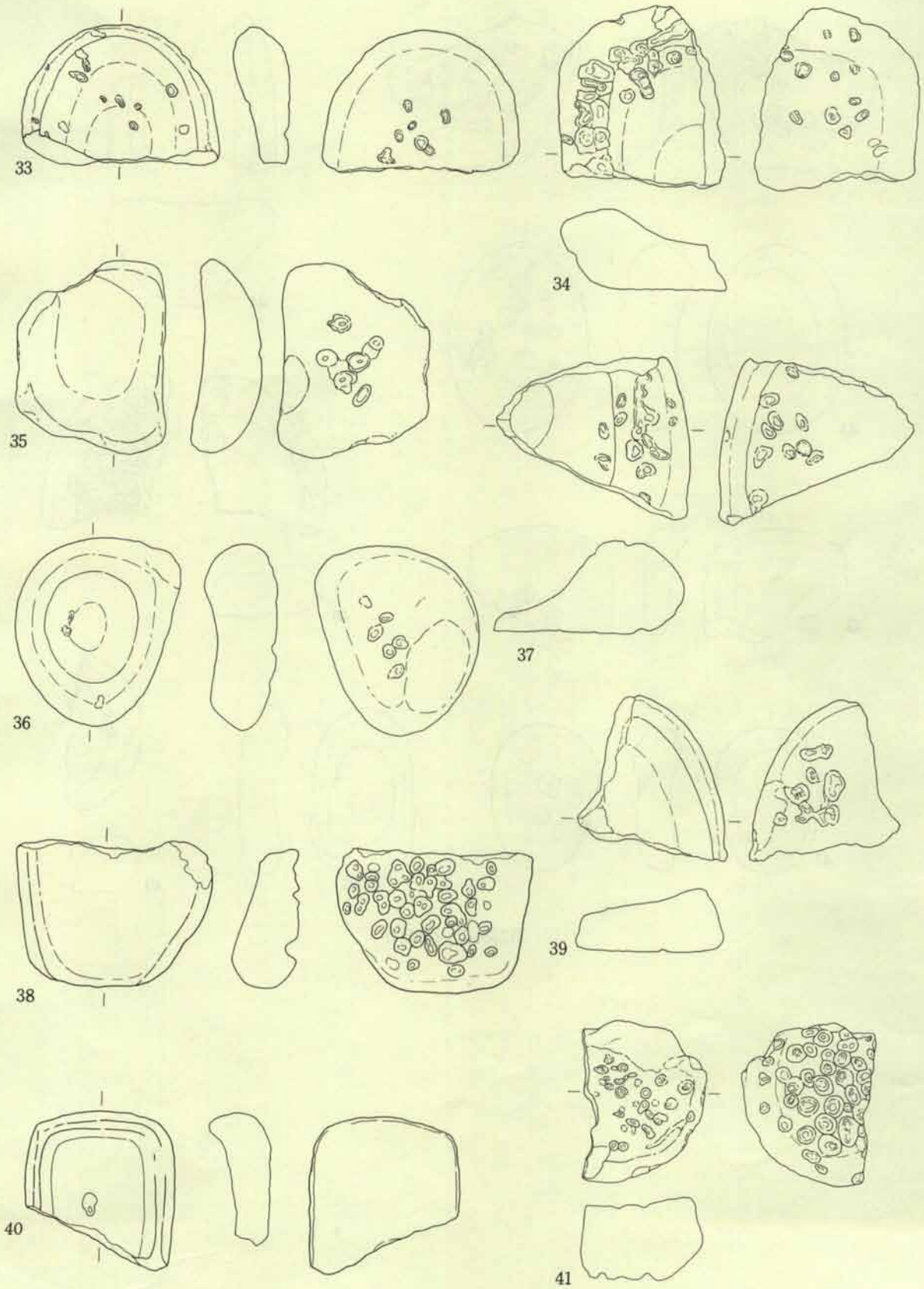

第254図　石皿(3)



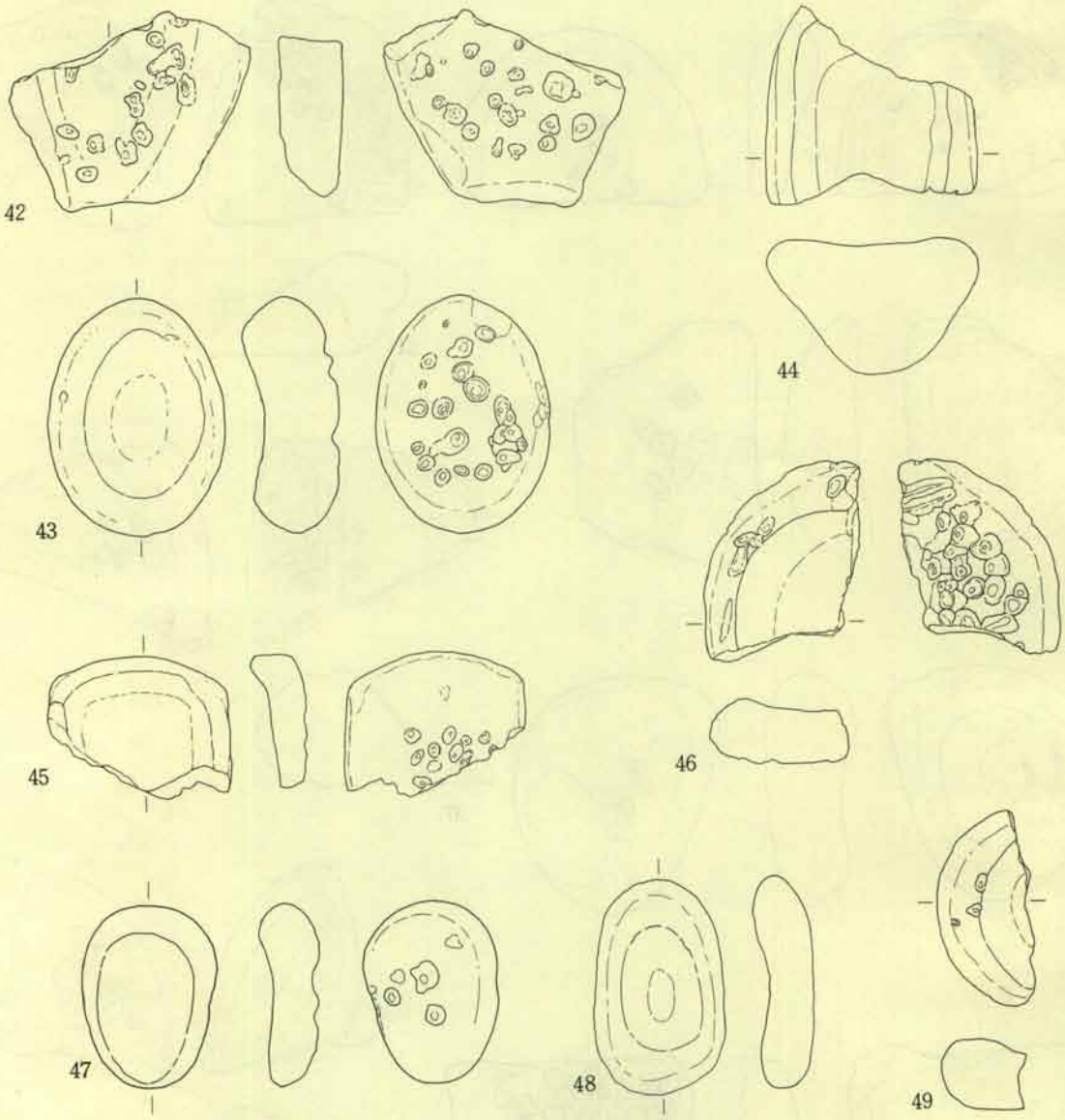

第255図　石皿(4)




第256図　石皿(5)




第257図　石皿(6)




第258図　石皿(7)

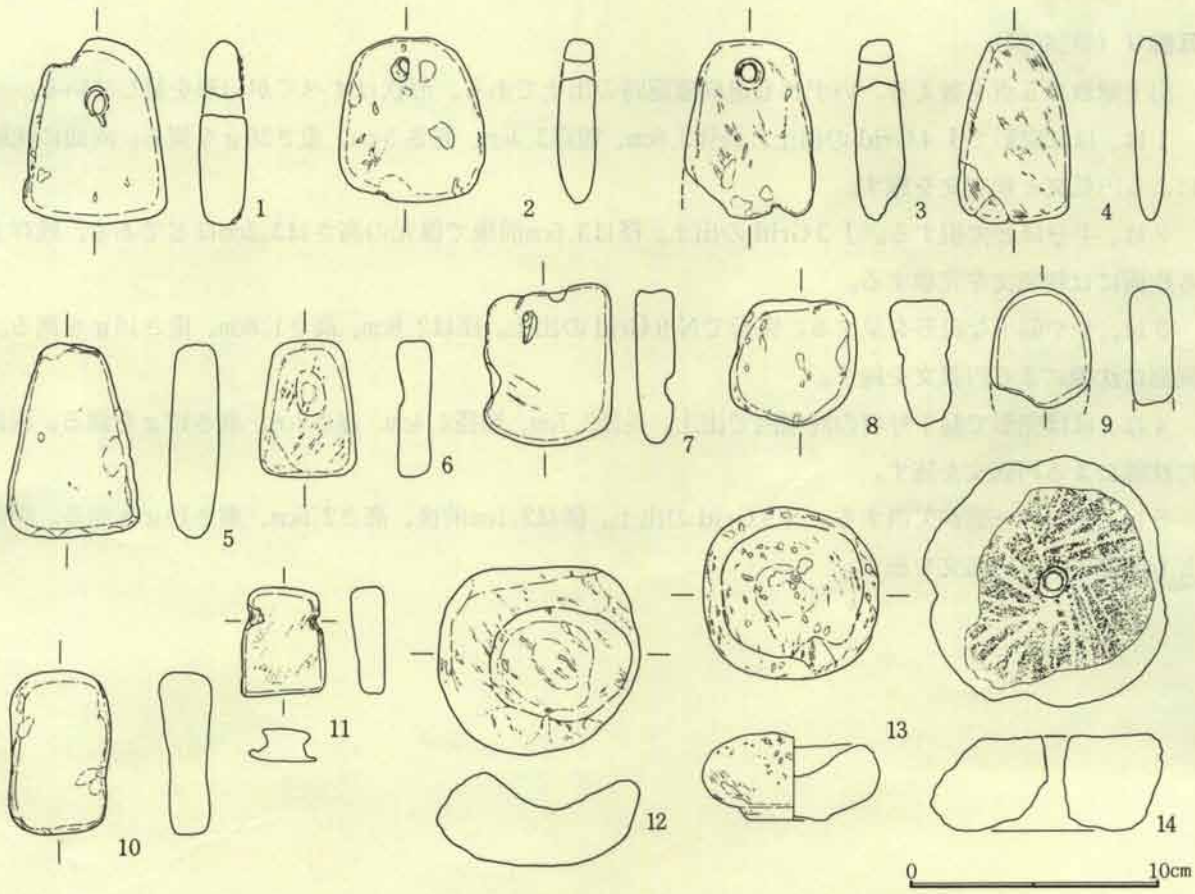
**軽石製品**（第259図１～14）

出土総数は14点を数えるが、14は石臼の模倣品で中近世の所産と考えられる。１～６は箆状の形状を呈し、１～３には穿孔が施されている。７～11は方形か楕円形を呈する。11は両側面に穿孔を施す。12と13は内面に凹孔を施し、13の底部には高台を作り出している。

**軽石製品一覧**

| No. | 出土位置 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | K 6 Grid | 7.3 | 5.7 | 1.9 | 42 | 8×6㎜の穿孔 |
| 2 | 表土 | 6.6 | 5.8 | 1.3 | 18 | 6×3㎜の穿孔 |
| 3 | L 6 Grid | 7.1 | 5.2 | 1.8 | 28 | 9㎜の穿孔 |
| 4 | 24H | 7.3 | 4.4 | 1.3 | 22 | |
| 5 | １号方形周溝墓 | 7.7 | 5.2 | 1.9 | 71 | |
| 6 | H 3 Grid | 5.4 | 3.8 | 1.4 | 15 | |
| 7 | M 8 Grid | 6.5 | 5.2 | 1.5 | 24 | |

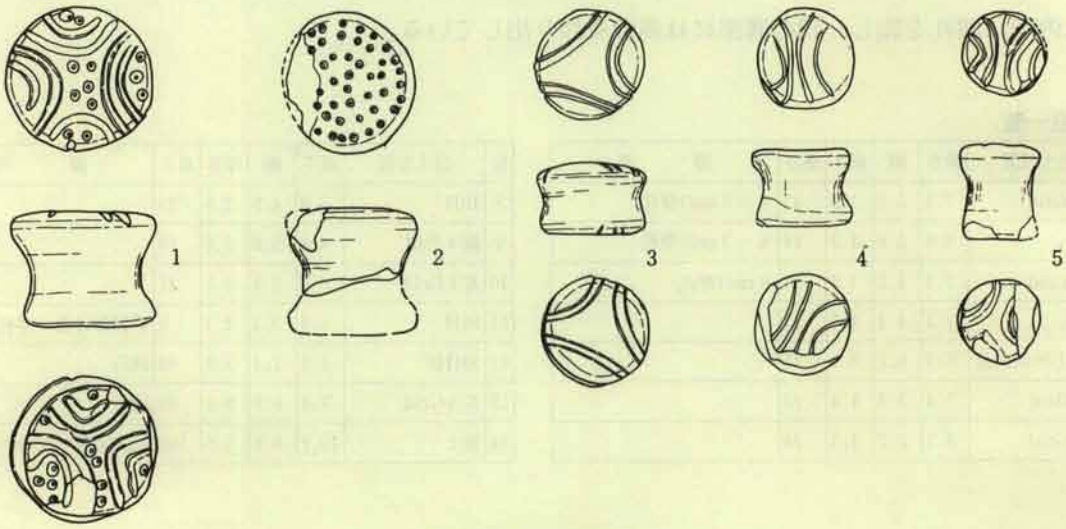
| No. | 出土位置 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 8 | 10H | 5.0 | 4.9 | 2.5 | 29 | |
| 9 | 漏４号墳 | 4.6 | 3.9 | 1.6 | 16 | |
| 10 | K 6 Grid | 6.5 | 3.9 | 2.1 | 27 | |
| 11 | 56H | 4.3 | 3.3 | 1.3 | 8 | 両側面に浅い穿孔 |
| 12 | 30H炉 | 7.9 | 7.4 | 3.9 | 90 | 凹石 |
| 13 | K 5 Grid | 7.0 | 6.8 | 3.3 | 69 | 椀形 |
| 14 | 表土 | 10.2 | 9.8 | 3.8 | 188 | 石臼の模倣で中近世の所産か？ |




第259図　軽石製品

## 第８項　土製品

当遺跡に於ける土製品は、耳飾りと土製円盤である。




第260図　耳飾り

**耳飾り**（第260図）

出土総数は５点を数える。いずれも遺構確認時の出土である。形状はすべてが臼形を呈している。

１は、ほぼ完形でＪ４Grid の出土。長径3.8cm、短径3.4cm、高さ３cm、重さ36ｇを測る。両面に沈線による円弧文と刺突文を施す。

２は、半分ほど欠損する。Ｊ３Grid の出土。径は3.6cm前後で復元の高さは3.2cmほどである。残存する片面には刺突文を充填する。

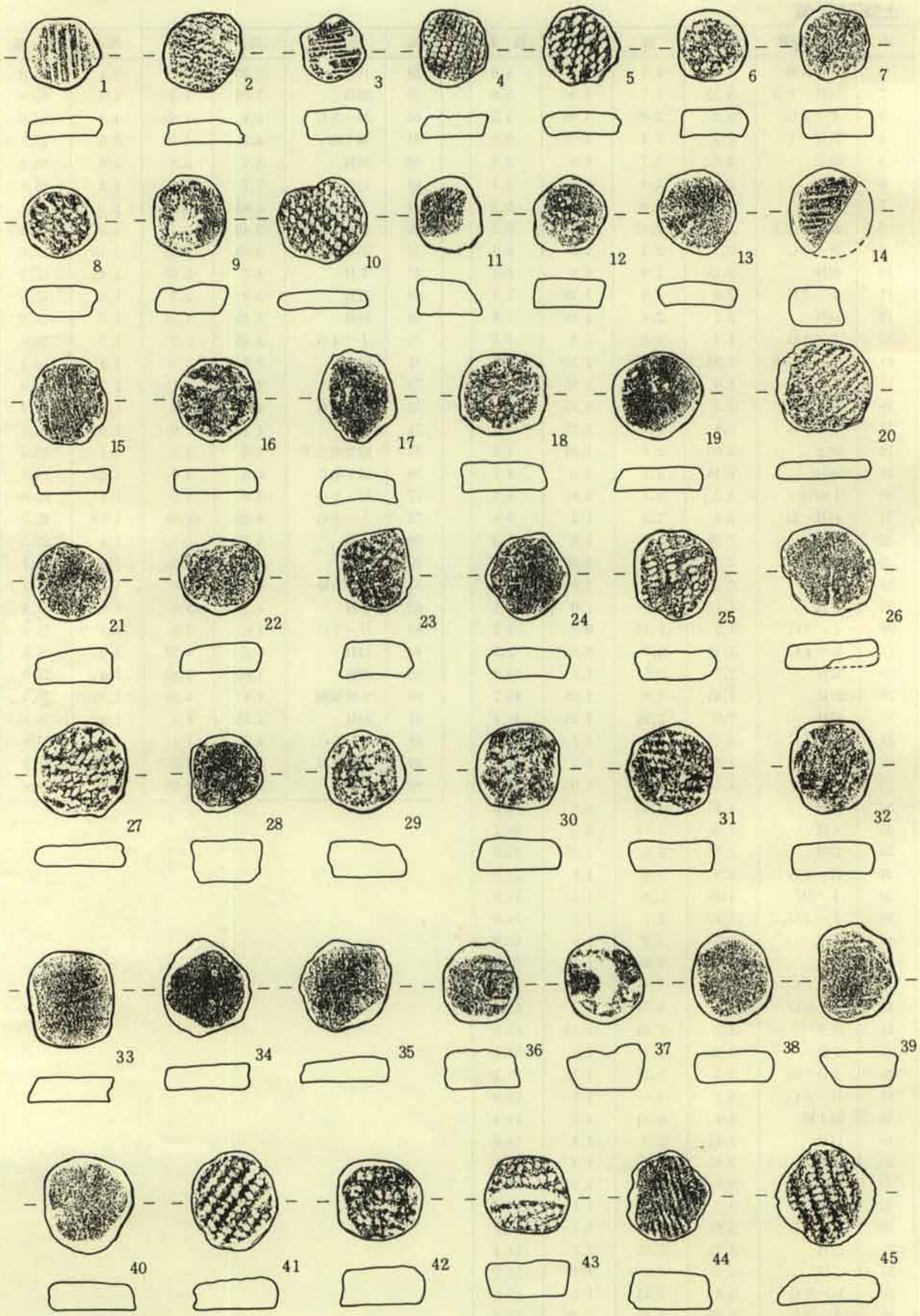
３は、やや偏平な臼形を呈する。完形でＮ９Grid の出土。径は2.8cm、高さ1.8cm、重さ16ｇを測る。両面に沈線による円弧文を施す。

４は、ほぼ完形で漏１号墳の周堀内で出土。長径2.7cm、短径2.4cm、高さ2cm、重さ12ｇを測る。両面に沈線による円弧文を施す。

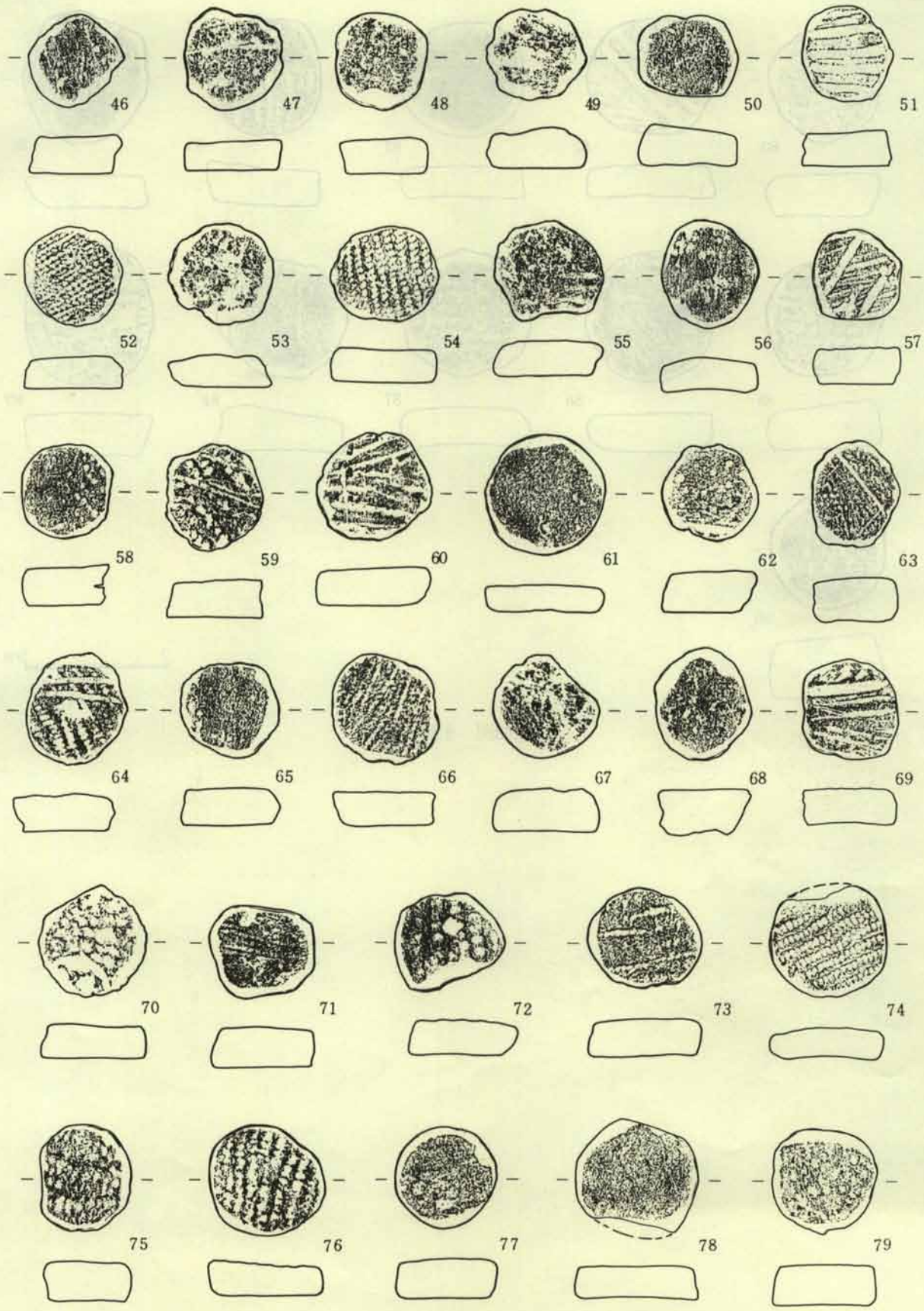
５は、片面の一部が欠損する。Ｎ９Grid の出土。径は2.1cm前後、高さ2.5cm、重さ10ｇを測る。両面とも沈線による円弧文を施す。

**土製円盤一覧**

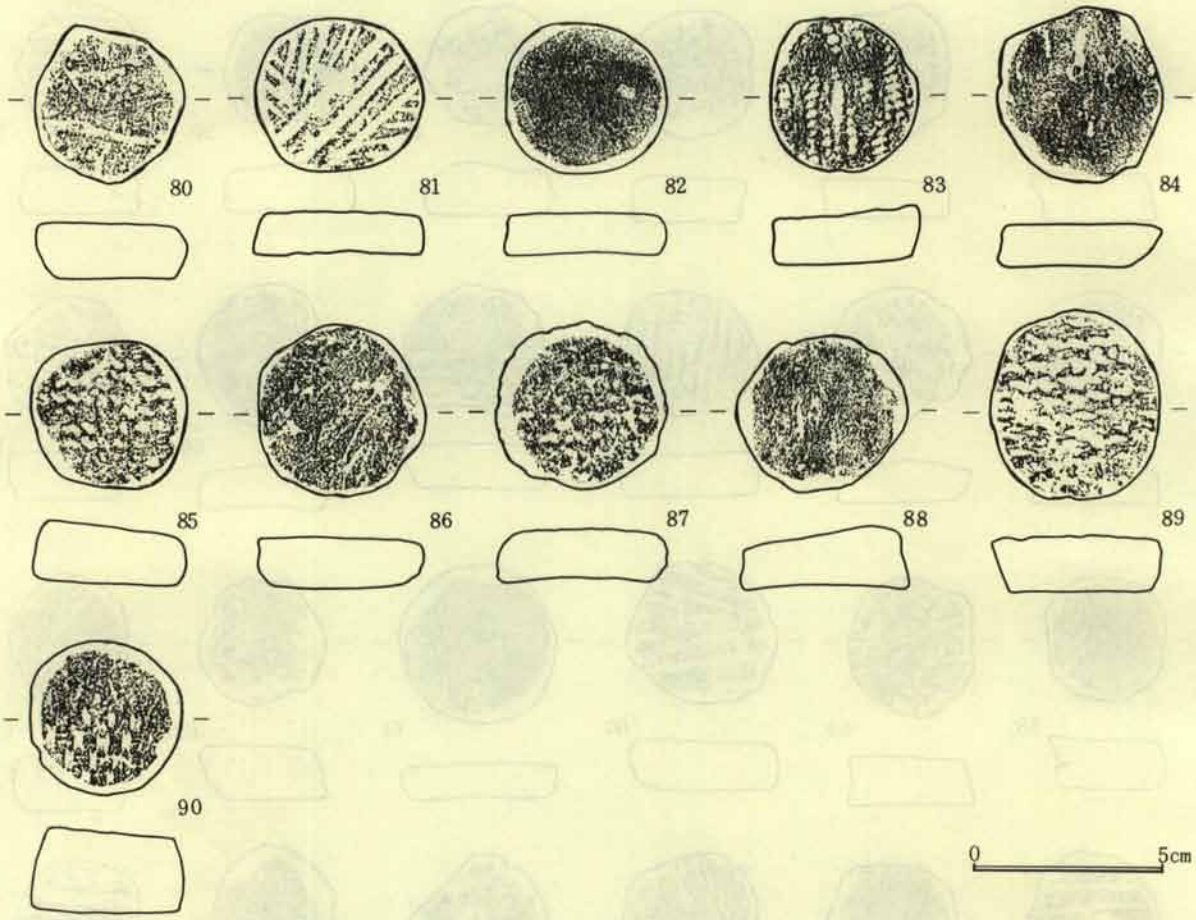
| No. | 出土位置 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重　量 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | Ｊ５Ｇ表 | 2.6 | 2.5 | 0.7 | 4.6 |
| 2 | 35H－Ｐ５ | 3.15 | 2.7 | 0.8 | 5.8 |
| 3 | Ｉ－３Ｇ | 2.3 | 2.05 | 1.05 | 5.7 |
| 4 | 31H－１ | 2.7 | 2.4 | 0.75 | 5.9 |
| 5 | 表土 | 2.8 | 2.7 | 8.0 | 5.8 |
| 6 | 43H | 2.5 | 2.4 | 1.0 | 6.1 |
| 7 | 58H－７ | 2.55 | 2.45 | 0.9 | 6.4 |
| 8 | 漏２墳丘下 | 2.6 | 2.45 | 2.1 | 6.3 |
| 9 | Ｎ－９Ｇ | 2.7 | 2.5 | 1.0 | 6.5 |
| 10 | 40H | 3.15 | 2.9 | 0.6 | 6.4 |
| 11 | Ｉ－３Ｇ | 2.6 | 2.3 | 1.25 | 7.3 |
| 12 | 14H | 2.7 | 2.4 | 1.05 | 7.8 |
| 13 | Ｉ－３Ｇ | 2.9 | 2.8 | 0.8 | 7.1 |
| 14 | Ｉ－４Ｇ表 | 2.95 | ? | 1.35 | 7.3 |
| 15 | Ｋ－５Ｇ | 3.0 | 2.65 | 0.85 | 7.4 |
| 16 | 24H | 3.0 | 2.8 | 0.85 | 7.5 |
| 17 | Ｉ－３Ｇ | 2.8 | 2.75 | 1.25 | 8.4 |
| 18 | 表土 | 3.05 | 2.8 | 1.05 | 8.6 |
| 19 | 58H | 3.15 | 3.1 | 0.8 | 8.7 |
| 20 | L10G | 3.3 | 3.1 | 0.6 | 8.3 |
| 21 | 44H－13 | 2.8 | 2.8 | 1.1 | 9.6 |
| 22 | 58H | 2.95 | 2.7 | 1.0 | 9.3 |
| 23 | 24H | 2.9 | 2.6 | 1.25 | 9.4 |
| 24 | 23H | 2.95 | 2.8 | 1.0 | 9.1 |
| 25 | ５Ｈ | 3.1 | 2.9 | 1.0 | 9.1 |
| 26 | Ｉ－３Ｇ | 3.2 | 3.15 | 0.9 | 9.2 |
| 27 | Ｋ－４Ｇ | 3.45 | 3.3 | 0.85 | 9.7 |
| 28 | 32H | 2.7 | 2.5 | 1.5 | 10.6 |
| 29 | 25H | 2.85 | 2.8 | 1.25 | 10.2 |
| 30 | 47H | 3.0 | 2.95 | 1.25 | 10.4 |
| 31 | Ｉ－３Ｇ | 3.15 | 3.0 | 1.1 | 10.6 |
| 32 | 表土 | 3.2 | 2.9 | 1.1 | 11.8 |
| 33 | 58H | 3.3 | 3.0 | 0.9 | 10.8 |
| 34 | 33H | 3.45 | 3.05 | 0.9 | 10.8 |
| 35 | ６Ｈ | 3.55 | 3.15 | 8.5 | 10.2 |
| 36 | 23H | 2.75 | 2.6 | 1.35 | 11.6 |
| 37 | Ｈ－２Ｇ | 2.9 | 2.6 | 1.6 | 11.8 |
| 38 | Ｉ－3G | 3.25 | 2.8 | 1.1 | 11.0 |
| 39 | Ｆ－３Ｇ | 3.45 | 2.7 | 1.2 | 11.8 |
| 40 | 表土 | 3.5 | 3.2 | 1.0 | 12.8 |
| 41 | 30H | 3.6 | 3.05 | 1.1 | 12.6 |
| 42 | Ｉ－３Ｇ | 3.0 | 2.8 | 1.35 | 13.0 |
| 43 | Ｎ－９Ｇ | 3.0 | 2.75 | 1.3 | 13.2 |
| 44 | 表土 | 3.2 | 2.95 | 1.35 | 13.0 |
| 45 | ７Ｈ | 3.25 | 3.2 | 1.0 | 13.4 |
| 46 | ＪＤ－60 | 3.3 | 3.25 | 1.35 | 13.2 |
| 47 | Ｈ－２Ｇ | 3.5 | 3.5 | 1.0 | 13.0 |
| 48 | 漏１周 | 3.4 | 3.15 | 1.2 | 14.4 |
| 49 | 14H | 3.45 | 3.2 | 1.4 | 14.6 |
| 50 | 12H７ | 3.45 | 2.8 | 1.4 | 14.4 |
| 51 | Ｈ－６Ｇ | 3.5 | 3.25 | 1.25 | 14.8 |
| 52 | 58H | 3.5 | 3.4 | 1.1 | 14.8 |
| 53 | Ｈ－２Ｇ | 3.65 | 3.6 | 1.1 | 14.2 |
| 54 | 22H | 3.75 | 2.25 | 1.1 | 14.4 |
| 55 | ７Ｈ | 3.85 | 3.6 | 1.15 | 14.2 |
| 56 | Ｎ－９Ｇ | 3.8 | 3.45 | 1.1 | 15.0 |
| 57 | Ｉ－３Ｇ | 3.05 | 3.15 | 1.25 | 15.2 |
| 58 | 15H | 3.25 | 3.2 | 1.4 | 15.0 |
| 59 | 32H | 3.75 | 3.3 | 1.3 | 15.8 |
| 60 | Ｍ－９Ｇ | 3.9 | 3.65 | 1.3 | 16.6 |
| 61 | 漏１周 | 4.2 | 4.15 | 0.9 | 15.8 |
| 62 | 35H | 3.5 | 3.3 | 1.4 | 16.4 |
| 63 | 15H | 3.7 | 3.1 | 1.5 | 16.4 |
| 64 | Ｉ－３Ｇ | 3.85 | 3.4 | 1.3 | 16.4 |
| 65 | Ｈ－３Ｇ | 3.45 | 3.3 | 1.3 | 17.4 |
| 66 | 35H | 3.65 | 3.65 | 1.15 | 17.6 |
| 67 | ７Ｈ | 3.7 | 3.55 | 1.45 | 17.2 |
| 68 | 32H | 3.9 | 3.3 | 1.6 | 17.6 |
| 69 | 15H | 3.45 | 3.35 | 1.2 | 18.2 |
| 70 | Ｊ－４Ｇ | 3.55 | 3.2 | 1.2 | 18.6 |
| 71 | 23H | 3.6 | 3.3 | 1.4 | 18.4 |
| 72 | 58H | 3.8 | 3.15 | 1.2 | 18.0 |
| 73 | Ｈ－２Ｇ | 4.0 | 3.5 | 1.3 | 18.4 |
| 74 | 表土 | 4.2 | (4.0) | 1.05 | 18.0 |
| 75 | 漏２墳丘下 | 3.8 | 3.2 | 1.4 | 19.6 |
| 76 | 漏２墳丘 | 4.0 | 3.9 | 1.25 | 19.0 |
| 77 | Ｍ－９Ｇ | 3.5 | 3.5 | 1.4 | 20.0 |
| 78 | Ｉ－３Ｇ | 4.25 | (3.9) | 1.15 | 21.2 |
| 79 | 23H | 3.85 | 3.7 | 1.4 | 22.2 |
| 80 | 37H | 4.2 | 3.95 | 1.5 | 23.4 |
| 81 | Ｋ－５Ｇ | 4.5 | 4.0 | 1.1 | 23.8 |
| 82 | 48H | 4.3 | 3.9 | 1.0 | 24.8 |
| 83 | Ｈ－２Ｇ | 4.0 | 3.9 | 1.3 | 25.0 |
| 84 | 42H | 4.6 | 4.35 | 1.05 | 25.8 |
| 85 | 32H | 4.05 | 3.85 | 1.6 | 27.0 |
| 86 | ６墳周堀 | 4.6 | 4.35 | 1.35 | 28.4 |
| 87 | 32H | 4.55 | 4.4 | 1.3 | 30.4 |
| 88 | Ｈ－２Ｇ | 4.5 | 4.1 | 1.6 | 31.8 |
| 89 | Ｌ－７Ｇ | 5.0 | 4.5 | 1.6 | 37.0 |
| 90 | 37H | 4.05 | 4.05 | 2.15 | 40.6 |


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45

第261図　土製円盤(1)


46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79

第262図　土製円盤(2)




第263図　土製円盤(3)